

平成 30 年度国土交通省補助事業

平成 30 年度住宅市場整備推進等事業
住宅省エネ化推進体制強化事業

～省エネ設計・施工に関する実態調査～
報告書

平成 3 1 年 3 月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

～省エネ設計・施工に関する実態調査～ 報告書

《目次》

1. 業務の目的	1	6. 講習内容・資料検討に関する調査結果	60
2. 業務の内容	1	(1) 施工技術者講習	60
3. 調査の内容	2	①講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)	
(1) 共通事項	2	②講習内容、説明方法	
(2) 省エネ設計・施工の実態把握	2	③修了考査	
(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集	6	④講師の説明	
(4) 講習会運営に関する情報収集	6	(2) 設計者講習	75
4. 調査の実施概要	11	①講習会資料(テキスト)	
(1) 調査実施概要	11	②講習内容、説明方法	
(2) アンケート調査票	13	③演習	
(3) 回答者の属性	19	④修了考査	
(4) 省エネ設計・施工に関する実態調査結果概要	21	⑤講師の説明	
(5) 資料、講習内容等の調査結果概要	25	7. 講習会運営に関する調査結果	93
(6) 講習会運営に関する調査結果概要	27	(1) 講習会開催の認知経路	93
5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果	28	(2) 講習会への参加動機	94
(1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料	28	(3) 講習時間	95
(2) 施工技術者講習で説明のあった 断熱施工と実態とのギャップ	49	(4) 講習会運営に関する意見	98
(3) 今回の講習内容で施工する場合の手間	52	(5) 講師、スタッフ、受講者への意見	100
(4) 断熱仕様について設計時に記載または 現場管理時のチェックに使用する図面	54		
(5) 普段目指している省エネ基準レベル、および 手がけている住宅の省エネ基準レベル	55		
(6) 断熱性能を決める方法	57		
(7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先	58		
(8) 最適な断熱住宅を普及・建設していく ための意識啓発	59		

《資料編》

・平成30年度講習会アンケート調査結果

本文中の略称凡例

- ・全国協議会：全国木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・地域協議会：各都道府県の木造住宅生産体制強化推進協議会
- ・施工技術者講習会、施工講習 および 施工
：住宅省エネルギー技術 施工技術者講習会
- ・設計者講習会、設計講習 および 設計
：住宅省エネルギー技術 設計者講習会 (※)
※詳細計算ルートおよび仕様・簡易計算ルート講習
会の受講者を合算した回答を用いている。

1. 業務の目的

エネルギーの需給構造の安定化と地球温暖化対策の両面から、省エネルギー対策の推進は不可欠とされており、地球温暖化対策計画等に基づき、住宅・建築分野においては、2030年度のエネルギー消費量を2013年度と比較して約2割削減することが求められている。

喫緊の課題となっている住宅・建築物の省エネルギー性能の向上を図るために、国では住宅・建築物の省エネルギー基準への段階的な適合化を進めている。

このために、全国で住宅の新築や増改築に関わる地域の大工・工務店において、省エネルギーのための適正な知識や技術の習得が求められている。

このような中、全国木造住宅生産体制推進協議会は、大工・工務店に向けて住宅の省エネルギー技術講習会を平成24年から平成30年までの7年間、開催した。

本報告書は、平成30年度に開催された省エネルギー技術講習会において、省エネ設計・施工に関する実態調査をアンケート形式により実施し、省エネ設計・施工の現状と実態の把握を行った。

併せて講習会の内容、資料、運営面についてもアンケートを実施し、講習会運営方法等の検証を行ったものである。

2. 業務の内容

本業務の内容は以下の通りとする。

- ①アンケート調査票の作成
- ②アンケート調査票の配布、回収
- ③調査結果の集計
- ④調査結果の分析・まとめ

3. 調査の内容

本調査は省エネ設計・施工の実態把握、及び住宅省エネルギー技術講習会の運営・資料作成の検討に資する情報の収集を目的として実施した。平成 24～30 年度に実施された調査の 7 年目の調査である。調査内容は今年度もこれまでと同様としており、以下に内容を示す。

(1) 共通事項

①調査方法

調査票を用いたアンケート調査。

A4×2 枚、回答所要時間 5 分程度の内容とした。

②回答者属性の把握

年齢層、職種、業種を把握した。

③1 日講習会・半日講習会

本年度は、昨年度と同様、1 日講習会と半日講習会のカリキュラムを作成した。地域協議会の裁量により、1 日と半日を選択できる。

(2) 省エネ設計・施工の実態把握

①省エネ設計・施工の実態把握の視点

省エネ設計・施工の実態把握を以下の視点から行った。

- 多用される断熱工法、断熱材料は何か。
- 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
- 講習会で説明する施工方法と現状の施工実態に相違があるか。
- 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。
- 多用される省エネレベルは何か。
- 省エネ性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。
- 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているか。
- 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

②調査対象者

調査対象者は、質問の内容によりそれぞれ現場施工者、設計者、現場管理者を対象とした。

●現場施工に関する質問

主に現場施工者、現場管理者の参加を想定し、各都道府県で開催された施工技術者講習の受講者を対象とした。

●設計、現場管理に関する質問

主に設計者、現場管理者の参加を想定し、各都道府県で開催された設計者講習の受講者を対象とした。

③具体的な調査内容

1) 現場施工、設計、現場管理に共通する質問

●普段携わっている断熱工法は何か、断熱材料は何か。

- ・多用される断熱工法、断熱材料は何かを把握。
- ・取合い部分における断熱工法、断熱材料にはそれぞれどのような組合せが多いかを把握。
- ・取合い部分とは「外壁と屋根・天井」、「外壁と床・基礎」とした。
- ・断熱工法毎に断熱材料は何が多用されているのかを把握。
- ・断熱工法は部位毎に以下の工法を選択肢とした。

《屋根・天井》天井断熱、屋根野地上断熱、垂木間充填断熱。

《外壁》充填断熱、外張断熱、充填外張併用断熱。

《床・基礎》床断熱(根太間充填)、床断熱(大引間充填)、床断熱(根太+大引間充填)、基礎断熱。

- ・断熱材料はグラスウール・ロックウール、発泡プラスチック系断熱材(ボード状)、その他を選択肢とした。

●断熱・施工方法の情報入手先

- ・省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのかを把握。
- ・職場内研修、住宅生産関連団体の講習会などから、公的講習会・仕様書から、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから、建築雑誌から、その他を選択肢とした。

●最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・「断熱住宅」のキーパーソンは誰かを把握。
- ・設計従事者、施工管理者、現場施工者、建築主、その他を選択肢とした。

2) 主に現場施工に関する質問

現場の施工実態と理想形(施工技術者講習会で示す原理原則)とのギャップには何があるか、どれくらいあるかを把握した。また自由記述からも意見を抽出した。現実の施工とギャップがあった場合、改善していく為には今後の講習会で何に取り組むべきか、テキストなどに何を追加または割愛すべきか、講習会以外にもギャップを埋める為にどんなサポートが出来るのかを結果から考察する。

- 講習を受講して、普段の施工方法に勘違い等はあったか。
 - ・現場施工者は正しい断熱施工を把握しているかを確認。
 - ・施工技術者講習会の受講内容を基準として「今まで正しく施工していなかったところ」、「難しい・やりにくいなと感じたところ」はどこか。
 - ・「講習内容の施工」に取り組むためのハードルはどの部分か。
 - ・壁への施工、屋根への施工、天井への施工、下屋への施工、筋かい部への施工、真壁への施工、浴室への施工、気流止めの施工、基礎への施工、その他を選択肢とした。

- 適切な施工を行うにはどの程度の手間賃のアップが必要か。
 - ・現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。
 - ・「講習内容の施工」に取り組みにくいか、取り組みやすいか。感じている負担度合いを把握。
 - ・ほとんど変わらない、坪あたり〇〇人工程度増加、坪あたり〇〇人工程度減少を選択肢とした。
 - ・人工増なら普段は「講習内容の施工」をしていないと解釈した。
 - ・人工増は何人工ほどの増となるかを把握。

3) 主に設計、現場管理に関する質問

- 断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面は何か。
 - ・設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。
 - ・特記仕様書、仕上表、平面図、平面詳細図、矩計図、その他を選択肢とした。

- 普段目指している省エネ基準レベルは何か、手がけている住宅の省エネ基準レベルは何か。
 - ・多用されている省エネレベルを把握。
 - ・H28年基準を超えたレベル以上、H28・H25・H11年基準レベル、H4年基準レベル以下を選択肢とした。

- ・ 目指している省エネ基準レベルについて、断熱性能の決定方法として外皮計算等を行う、もしくは仕様基準等に従うと回答したものを「手がけている住宅の省エネ基準レベル」と解釈した。

●断熱性能の決定方法は何か。

- ・ 断熱性能をどのように決めているのか、断熱設計への取り組み実態を把握。
- ・ 性能基準に従い外皮計算等を行う、仕様基準に従い外皮等の仕様を決める、何もしていないを選択肢とした。

(3) 講習内容・資料検討に関する情報収集

講習資料、講習内容、修了考査、講師について受講者の感想を把握した。また自由記述からも感想、意見を抽出した。講習資料のうち、設計者（仕様・簡易計算ルート）テキストは、本年度は事業の途中から配布したためアンケートの対象から除いている。

①調査対象者

調査対象者は施工技術者講習及び設計者講習の受講者。

②具体的な調査内容

●テキスト等の講習資料、講師

- ・大変わかりやすかった、わかりやすかった、普通、わかりにくかった、大変わかりにくかったを選択肢とした。

●講習内容、修了考査、演習

- ・難しかった、難しいとは思わない、易しいを選択肢とした。

(4) 講習会運営に関する情報収集

講習会開催情報の認知経路、参加理由、講習時間について把握した。また自由記述からも感想、意見を抽出した。

①調査対象者

調査対象者は施工技術者講習及び設計者講習の受講者。

②具体的な調査内容

●講習会開催情報の認知経路

- ・会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて、各都道府県の地域協議会からの情報、所属業界団体(会社等)からの情報・依頼、その他を選択肢とした。

●参加理由

- ・これからの業務に必要または参考にできると思ったから、所属業界団体または会社等から受講を指示されたから、その他を選択肢とした。

●講習時間

- ・長い、ちょうどよい、短いを選択肢とした。

	NO	質問内容 [選択肢]	施工技術者 講習	設計(詳細) 講習	設計(仕様) 講習	
	0	講習種別 [1.1日講習 2.半日講習]	-	-	-	
属性	1	業種 [1.工務店 2.住宅メーカー/建設会社 3.設計事務所 4.その他()]	質問1	質問1	質問1	
	2	職種 [1.施工 2.現場管理 3.設計 4.その他()]	質問2	質問2	質問2	
	3	年齢層 [1.19歳以下 2.20歳代 3.30歳代 4.40歳代 5.50歳代 6.60歳代以上]	質問3	質問3	質問3	
省エネ設計・施工の実態把握	4	普段施工(設計または現場管理)している断熱工法(※:()内は設計者講習での設問文面)(複数選択) ①屋根:天井[1.天井断熱 2.屋根野地上断熱 3.垂木間充填断熱] ②外壁 [1.充填断熱 2.外張断熱 3.充填外張併用断熱] ③床:基礎 [1.根太間充填床断熱 2.大引間充填床断熱 3.根太+大引間充填床断熱 4.基礎断熱]	質問11-1	質問12-1	質問12-1	
	5	上記で回答した工法で使っている断熱材(複数選択) ①屋根:天井[1・2・3] ②外壁[1・2・3] ③床:基礎[1・2・3] [1.グラスウール,ロックウール 2.発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3.その他()]	質問11-2	質問12-2	質問12-2	
	6	断熱施工の中で ①今まで正しく施工していなかったところ[1・2・3・4・5・6・7・8・9・10](複数選択) ②難しいやりにくいなど感じたところ[1・2・3・4・5・6・7・8・9・10](複数選択) [1.屋根への施工 2.屋根への施工 3.天井への施工 4.下屋への施工 5.筋かい部への施工 6.真壁への施工 7.浴室への施工 8.気流止めの施工 9.基礎への施工 10.その他()]	質問11-3	-	-	
	7	今回の講習内容で施工する場合の時間は普段と比べてどれくらい変わるか。 [1.ほとんど変わらない 2.坪あたり()人工程度増加する 3.坪あたり()人工程度減少する]	質問11-5	-	-	
	8	断熱仕様について設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面(複数選択) ①屋根:天井[1・2・3・4・5・6] ②外壁[1・2・3・4・5・6] ③床:基礎[1・2・3・4・5・6] [1.特記仕様書 2.仕上表 3.平面図 4.平面詳細図 5.短計図 6.その他()]	-	質問12-3	質問12-3	
	9	普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル [1.H28年基準を超えたレベル以上 2.H28・H25・H11年基準レベル 3.H4年基準レベル以下]	-	質問12-4	質問12-4	
	10	断熱性能を決める方法は何か。 [1.性能基準に従い外皮計算等を行う 2.仕様基準に従い外皮等の仕様を決める 3.何もしていない]	-	質問12-5	質問12-5	
	11	断熱:施工方法に関する情報の主な入手先(複数選択) [1.職場内研修から 2.住宅生産関連団体の講習会などから 3.公的講習会:仕様書から 4.建材:設備メカの講習会:マニュアルから 5.建築雑誌から 6.その他()]	質問11-4	質問12-6	質問12-6	
	12	最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か(複数選択) [1.設計従事者 2.施工管理者 3.現場施工者 4.建築主 5.その他()]	質問11-6	質問12-7	質問12-7	
	講習内容・資料関連	13	施工技術者講習の資料について ①テキスト[1・2・3・4・5] ②DVD[1・2・3・4・5] ③カットモデル[1・2・3・4・5] ※1日講習を受講の方のみ回答ください。 [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問7	-	-
		14	施工技術者講習の講習内容について ①基本編テキストについて 1)これからの住まい[1・2・3] 2)建築による省エネ化/設備による省エネ化[1・2・3] 3)断熱設計/開口部設計[1・2・3] 4)省エネルギー基準/関連基準と制度[1・2・3] ②施工編テキストについて[1・2・3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問8	-	-
		15	設計者講習のテキストについて [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	-	質問7	質問7
16-1 【☆】		設計者講習の講義内容について ①基本編テキストについて ※1日講習を受講の方のみ回答ください。 1)これからの住まい[1・2・3] 2)建築による省エネ化/設備による省エネ化[1・2・3] 3)断熱設計/開口部設計[1・2・3] 4)省エネルギー基準/関連基準と制度[1・2・3]	-	質問8 ①	質問8 ①	
16-2 【☆】		②設計編テキストについて 1)外皮性能の計算[1・2・3] 2)一次エネルギー消費量の計算[1・2・3] 3)仕様基準による基準判定方法[1・2・3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	質問8 ②	-	
16-3 【☆】		③設計編テキスト(仕様ルートと簡易計算ルート)について 1)仕様ルート1 計算が不要な方法[1・2・3] 2)仕様ルート2 計算を要する方法[1・2・3] 3)簡易計算ルート 外皮性能計算[1・2・3] 4)簡易計算ルート 一次エネルギー消費量計算[1・2・3] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	-	質問8 ②	
17		設計者講習の演習について[1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	質問9	質問9	
18		修了審査について[1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問9	質問10	質問10	
19		講師の説明について [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問10	質問11	質問11	
講習会運営関連		20	講習会を何で知ったか(複数選択) [1.会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2.各都道府県の地域協議会からの情報 3.所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4.その他()]	質問4	質問4	質問4
	21	講習会への参加理由:目的(複数選択) [1.これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2.所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3.その他()]	質問5	質問5	質問5	
	22	講習時間について [1.長い 2.ちょうどよい 3.短い]	質問6	質問6	質問6	
共通	23	自由記述	質問12	質問13	質問13	

図 3-1 質問内容、対象講習一覧

平成 30 年度 住宅省エネルギー 施工技術講習会 標準カリキュラム (1日講習会)

時間割	講義科目	実施者
9:00～ 9:30 (30分)	受付	事務局
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
9:40～10:40 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計	講師
10:40～10:50 (10分)	【休憩】	—
10:50～12:05 (75分)	DVD放映 断熱施工(42分)、設備配管(30分)	—
12:05～13:00 (55分)	【昼休憩】	—
13:00～14:40 (100分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-施工編』	講師
14:40～14:55 (15分)	【休憩】	—
14:55～15:15 (20分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
15:15～16:00 (45分)	模型解説	講師
16:00～16:10 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
16:10～16:40 (30分)	修了考査	—
16:40～16:55 (15分)	考査問題解説	講師
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入	—
17:00	閉会	—

平成 30 年度 住宅省エネルギー 施工技術講習会 標準カリキュラム (半日講習会)

時間割	講義科目	実施者
12:30～ 13:00 (30分)	受付	事務局
13:00～ 13:10 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
13:10～14:10 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
14:10～14:35 (25分)	DVD放映 断熱施工(要約編)	—
14:35～14:45 (10分)	【休憩】	—
14:45～16:25 (100分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-施工編』	講師
16:25～16:35 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
16:35～17:05 (30分)	修了考査	—
17:05～17:20 (15分)	考査問題解説	講師
17:20～17:25 (5分)	アンケート記入	—
17:25	閉会	—

図 3-2 平成 30 年度住宅省エネルギー技術講習会 施工技術講習会 標準カリキュラム

平成 30 年度 住宅省エネルギー 設計（詳細計算ルート）講習 標準カリキュラム （1日講習会）

時間割	講義科目	実施者
9:00～ 9:30 (30分)	受付	事務局
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
9:40～10:40 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計	講師
10:40～10:50 (10分)	【休憩】	—
10:50～12:15 (85分)	『設計テキスト 詳細計算ルート』 はじめに 省エネ計画編 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要 第2章 外皮性能の計算	講師
12:15～13:15 (60分)	【昼休憩】	—
13:15～15:15 (120分) ※小休憩10分含む	第3章 一次エネルギー消費量の計算 第4章 仕様ルートによる基準判定方法 第5章 外皮性能確保のための配慮事項 第6章 計算例 演習問題	講師
15:15～15:30 (15分)	【休憩】	—
15:30～15:50 (20分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
15:50～16:00 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
16:00～16:40 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)	—
16:40～16:55 (15分)	考査問題解説	講師
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入	—
17:00	閉会	—

平成 30 年度 標準カリキュラム 設計（詳細計算ルート）講習 （半日講習会）

時間割	講義科目	実施者
12:30～ 13:00 (30分)	受付	事務局
13:00～ 13:10 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
13:10～14:35 (85分)	『設計テキスト 詳細計算ルート』 はじめに 省エネ計画編 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要 第2章 外皮性能の計算	講師
14:35～14:45 (10分)	【休憩】	—
14:45～15:55 (70分)	第3章 一次エネルギー消費量の計算 第4章 仕様ルートによる基準判定方法 第5章 外皮性能確保のための配慮事項 第6章 計算例	講師
15:55～16:15 (20分)	演習問題	講師
16:15～16:25 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
16:25～17:05 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)	—
17:05～17:20 (15分)	考査問題解説	講師
17:20～17:25 (5分)	アンケート記入	—
17:25	閉会	—

図 3-3 平成 30 年度住宅省エネルギー技術講習会 設計（詳細計算ルート）講習会 標準カリキュラム

平成 30 年度 標準カリキュラム 設計（仕様・簡易計算ルート）講習（1日講習会）

時間割	講義科目	実施者
9:00～ 9:30 (30分)	受付	事務局
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
9:40～10:40 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計	講師
10:40～10:50 (10分)	【休憩】	—
10:50～12:00 (70分)	『設計者講習(仕様ルートと簡易計算ルート)テキスト』 はじめに 第1部 仕様ルート 第1章 計算が不要な方法 第2章 計算を要する方法 演習問題	講師
12:00～13:00 (60分)	【昼休憩】	—
13:00～14:50 (110分)	第2部 簡易計算ルート 第1章 外皮性能計算 第2章 一次エネルギー消費量計算 演習問題	講師
14:50～15:00 (10分)	【休憩】	—
15:00～15:20 (20分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
15:20～15:30 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
15:30～16:10 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)	—
16:10～16:25 (15分)	考査問題解説	講師
16:25～16:30 (5分)	アンケート記入	—
16:30	閉会	—

平成 30 年度 標準カリキュラム 設計（仕様・簡易計算ルート）講習（半日講習会）

時間割	講義科目	実施者
12:30～ 13:00 (30分)	受付	事務局
13:00～ 13:10 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
13:10～14:20 (70分)	『設計者講習(仕様ルートと簡易計算ルート)テキスト』 はじめに 第1部 仕様ルート 第1章 計算が不要な方法 第2章 計算を要する方法 演習問題	講師
14:20～14:30 (10分)	【休憩】	—
14:30～16:20 (110分)	第2部 簡易計算ルート 第1章 外皮性能計算 第2章 一次エネルギー消費量計算 演習問題	講師
16:20～16:30 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
16:30～17:10 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)	—
17:10～17:25 (15分)	考査問題解説	講師
17:25～17:30 (5分)	アンケート記入	—
17:30	閉会	—

図 3-4 平成 30 年度住宅省エネルギー技術講習会 設計(仕様・簡易計算ルート)講習会
標準カリキュラム

4. 調査の実施概要

(1) 調査実施概要

- ・調査対象
：主に現場施工者、現場管理者、設計者

- ・調査期間
：2018年9月～2019年2月

- ・調査場所
：全国47都道府県で開催の平成30年度住宅省エネルギー技術者講習会
会場
○施工技術者講習会 306会場
○設計者（詳細計算ルート）講習会 177会場
○設計者（仕様・簡易計算ルート）講習会 177会場
全 660会場

- ・アンケート票配布及び回収方法
：講習会場にて教材と共に配布。
修了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

- ・アンケート票回収数
：全国で10,666票

地域	回答数
北海道	208
東北	1,578
関東	1,870
北陸	673
中部	1,637
近畿	1,442
中国	936
四国	528
九州・沖縄	1,794
全体	10,666

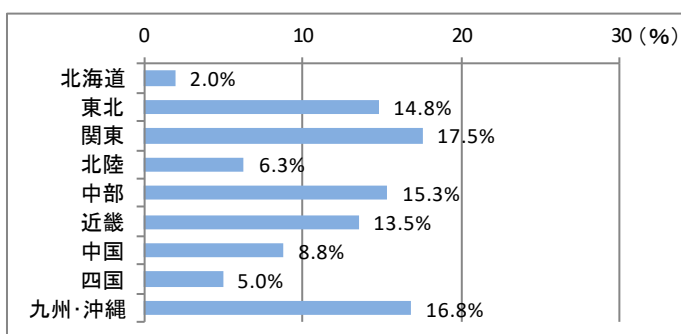


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けは講習会応募地域分けに倣う。以下同様。)

地域	都道府県	回答数
北海道	北海道	208
東北	青森県	178
	岩手県	268
	宮城県	287
	秋田県	94
	山形県	279
関東	福島県	472
	茨城県	175
	栃木県	263
	群馬県	184
	埼玉県	208
	千葉県	141
	東京都	518
	神奈川県	281
	山梨県	100
	新潟県	275
北陸	富山県	146
	石川県	123
	福井県	129
	長野県	346
中部	岐阜県	388
	静岡県	234
	愛知県	567
	三重県	102
	滋賀県	61
近畿	京都府	302
	大阪府	440
	兵庫県	559
	奈良県	11
	和歌山県	69
中国	鳥取県	68
	島根県	97
	岡山県	153
	広島県	504
	山口県	114
四国	徳島県	65
	香川県	107
	愛媛県	258
	高知県	98
九州・沖縄	福岡県	207
	佐賀県	188
	長崎県	263
	熊本県	403
	大分県	117
	宮崎県	138
	鹿児島県	337
沖縄県	141	
全体	10,666	

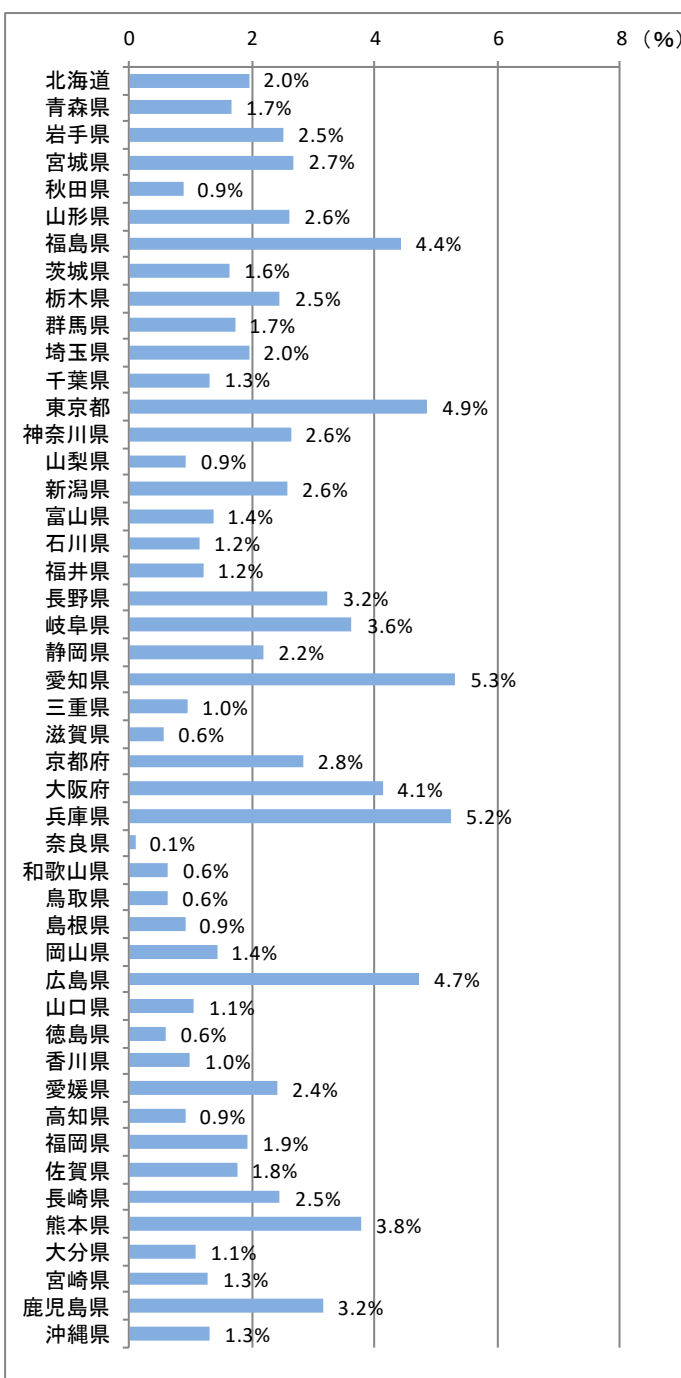


図 4-1-2b 都道府県別回答数

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()
② 難しい・やりにくいと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。(複数選択可)

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり()人工程度増加する
3. 坪あたり()人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

②設計者（詳細計算ルート）講習アンケート調査票

設計者（詳細計算ルート）講習では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「省エネ技術講習会(設計者講習会 詳細計算ルート)」に 関するアンケート</u>		設計 詳細計算 ルート
<p>受講者各位</p> <p style="text-align: right;">全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会</p> <p>この度は、省エネ技術講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。</p> <p>受講日:平成 年 月 日() 会場:_____会場(都道府県名でお書きください) 本日受講された講習会に○をご記入ください。(ひとつに○)</p> <p style="text-align: center;">1:1日講習 2:半日講習</p>		
回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>	
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>	
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. テキストについてお聞きます。(ひとつに○) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. <u>基本編テキストについて ※1日講習を受講の方のみ回答ください。</u></p> <p>1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 断熱施工/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>8-2. <u>設計編テキスト・省エネ基準編について</u></p> <p>1)第2章 外皮性能の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第3章 一次エネルギー消費量の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 仕様ルートによる基準判定方法 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問9. 演習についてお聞きます。(ひとつに○) 1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問10. 修了審査についてお聞きます。(ひとつに○) 1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問11. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p style="text-align: right;">※ 裏面に続きます</p>	

質問12. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

12-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

12-2. 12-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

12-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()

12-4. 普段、目指している住宅の断熱性能レベルに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. H28年基準を超えたレベル	2. H28・H25・H11年基準レベル
3. H4年基準レベル以下	※()内は性能表示等級

12-5. 普段、断熱性能をどのように決めているか、あてはまるものに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. 性能基準に従い外皮計算等を行う	2. 仕様基準に従い外皮等の仕様を決める
3. 何もしていない	

12-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

12-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要とご思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問13. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。
本日はお疲れさまでした。このアンケートは**お帰りの際、受付にご提出下さい。**

③設計者（仕様・簡易計算ルート）講習アンケート調査票

設計者（仕様・簡易計算ルート）講習では以下のアンケート調査票を用いた。

<u>「省エネ講習会(設計者講習会 仕様・簡易計算ルート)」に 関するアンケート</u>		設計 仕様・簡易 計算ルート																																
<p>受講者各位</p> <p style="text-align: right;">全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局 一般社団法人 木を活かす建築推進協議会</p> <p>この度は、省エネ技術講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。</p> <p>受講日：平成 年 月 日() 会場：_____ 会場(都道府県名でお書きください)</p> <p>本日受講された講習会に○をご記入ください。(ひとつに○)</p> <p style="padding-left: 20px;">1:1日講習 2:半日講習</p>																																		
回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>																																	
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</p> <p>1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</p> <p>1: これからの業務に必要または参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>																																	
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. テキストについてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. 基本編テキストについて ※1日講習を受講の方のみ回答ください。</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1)第1章 これからの住まい</td> <td style="width: 20%;">[1:難しかった</td> <td style="width: 20%;">2:難しいとは思わない</td> <td style="width: 10%;">3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化</td> <td>[1:難しかった</td> <td>2:難しいとは思わない</td> <td>3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計</td> <td>[1:難しかった</td> <td>2:難しいとは思わない</td> <td>3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度</td> <td>[1:難しかった</td> <td>2:難しいとは思わない</td> <td>3:易しい]</td> </tr> </table> <p>8-2. 設計編テキスト(仕様ルートと簡易計算ルート)について</p> <table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">1)第1部 仕様ルート [1] 計算が不要な方法</td> <td style="width: 20%;">[1:難しかった</td> <td style="width: 20%;">2:難しいとは思わない</td> <td style="width: 10%;">3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>2)第1部 仕様ルート [2] 計算を要する方法</td> <td>[1:難しかった</td> <td>2:難しいとは思わない</td> <td>3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>3)第2章 簡易計算ルート [1] 外皮性能計算</td> <td>[1:難しかった</td> <td>2:難しいとは思わない</td> <td>3:易しい]</td> </tr> <tr> <td>4)第2章 簡易計算ルート [2] 一次エネルギー消費量計算</td> <td>[1:難しかった</td> <td>2:難しいとは思わない</td> <td>3:易しい]</td> </tr> </table> <p>質問9. 演習についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問10. 修了考査についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問11. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>	1)第1章 これからの住まい	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	1)第1部 仕様ルート [1] 計算が不要な方法	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	2)第1部 仕様ルート [2] 計算を要する方法	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	3)第2章 簡易計算ルート [1] 外皮性能計算	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	4)第2章 簡易計算ルート [2] 一次エネルギー消費量計算	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]	
1)第1章 これからの住まい	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
1)第1部 仕様ルート [1] 計算が不要な方法	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
2)第1部 仕様ルート [2] 計算を要する方法	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
3)第2章 簡易計算ルート [1] 外皮性能計算	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															
4)第2章 簡易計算ルート [2] 一次エネルギー消費量計算	[1:難しかった	2:難しいとは思わない	3:易しい]																															

※ 裏面に続きます

質問12. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

12-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

12-2. 12-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

12-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であればまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()

12-4. 普段、目指している住宅の断熱性能レベルに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. H28年基準を超えたレベル	2. H28・H25・H11年基準(等級4)レベル
3. H4年基準(等級3)レベル以下 ※ ()内は性能表示等級	

12-5. 普段、断熱性能をどのように決めているか、あてはまるものに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. 性能基準に従い外皮計算等を行う	2. 仕様基準に従い外皮等の仕様を決める
3. 何もしていない	

12-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

12-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問13. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

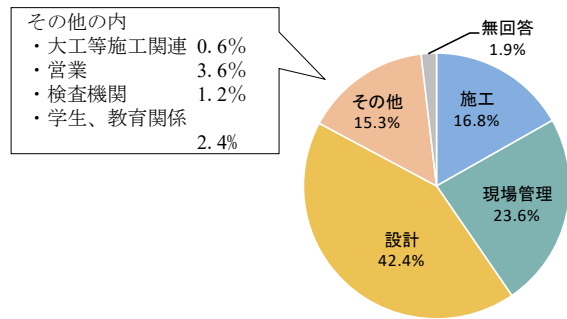
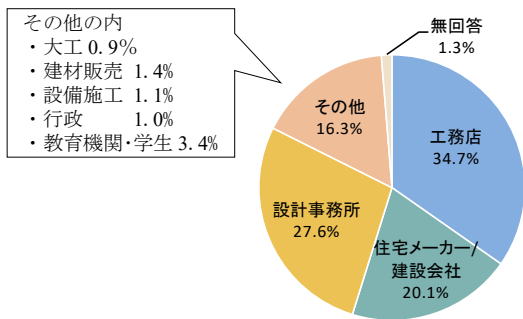
(3) 回答者の属性

1) 業種と職種

業種は「工務店」が3,704人(全体の34.7%、前年度-0.2%)、「住宅メーカー・建設会社」が2,142人(20.1%、前年度-0.1%)、施工に関わる業種は合計5,846人(54.8%、前年度-0.3%)であった。「設計事務所」は2,942人(27.6%、前年度+1.1%)であった。前年度同様、施工に関わる業種は減少し、設計事務所が増加した。

職種は「施工」が1,791人(16.8%、前年度-1.9%)、「現場管理」が2,521人(23.6%、前年度-0.7%)で施工現場に関わる職種は合計4,312人(40.4%、前年度-2.6%)、「設計」が4,522人(42.4%、前年度+2.9%)であった。

本年度初めて、「設計」が施工に関わる職種を上回った。

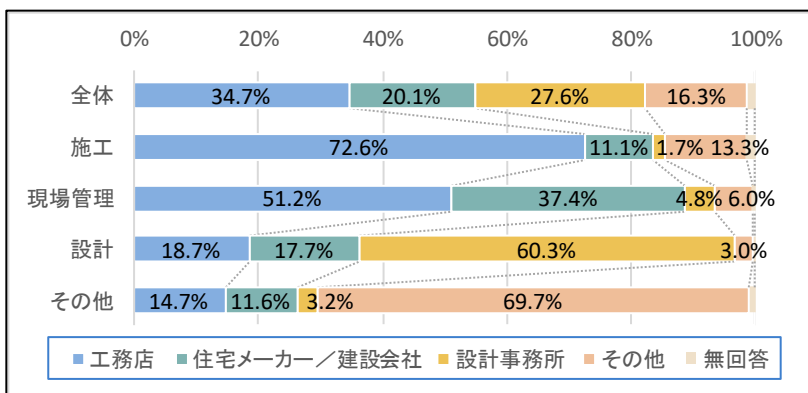


業種	回答数	内訳	
		施工講習	設計講習
工務店	3,704	2,118	1,586
住宅メーカー/建設会社	2,142	1,043	1,099
設計事務所	2,942	363	2,579
その他	1,742	961	781
無回答	136	89	47
全体	10,666	4,574	6,092

職種	回答数	内訳	
		施工講習	設計講習
施工	1,791	1,406	385
現場管理	2,521	1,620	901
設計	4,522	623	3,899
その他	1,634	803	831
無回答	198	122	76
全体	10,666	4,574	6,092

図 4-1-3a 業種

図 4-1-3b 職種



※無回答の数値は省略

図 4-1-3c 職種別の所属業種

2) 年齢層

年齢構成は、前年度と同様、40代の割合が25.9%と全年代で最も多いが、30～60代以上の各年代がおよそ20%ずつ受講している。各年代の比率は、20代が14.6%（前年度+2.1%）と増加した。職種別では、「設計」は50～60代以上が全体より5.5%多く、「その他」は30代以下が過半数を占めている。

年齢	回答数	内訳	
		施工講習	設計講習
10代	301	214	87
20代	1,558	756	802
30代	1,983	863	1,120
40代	2,767	1,161	1,606
50代	1,931	809	1,122
60代以上	2,044	730	1,314
無回答	82	41	41
全体	10,666	4,574	6,092

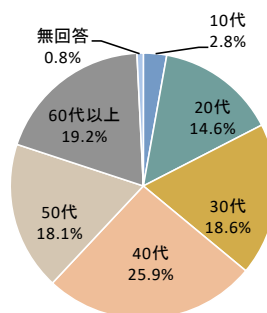
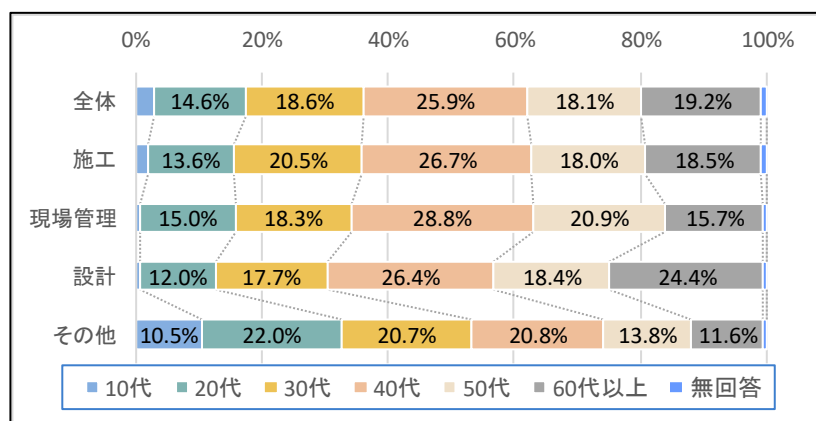


図 4-1-4a 年齢層



※10%以下の数値は省略

図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

(4) 省エネ設計・施工に関する実態調査結果概要

省エネ設計・施工の実態について実態調査結果を以下に整理した。

1) 地域別回答数および回答者属性

●地域別回答者数

地域別の回答数は前年度と同程度の割合であった。

《回答者数》	・北海道	2%	(208人、前年度3%)
	・東北	15%	(1,578人、前年度14%)
	・関東	18%	(1,870人、前年度18%)
	・北陸	6%	(673人、前年度9%)
	・中部	15%	(1,637人、前年度17%)
	・近畿	14%	(1,442人、前年度13%)
	・中国	9%	(936人、前年度8%)
	・四国	5%	(528人、前年度5%)
	・九州・沖縄	17%	(1,794人、前年度15%)

●回答者属性

回答者の職種は現場施工者 17% (前年度 19%)、現場管理者 24% (前年度 24%)、設計者 42% (前年度 40%)、その他 15% (前年度 16%) であった。前年度と比較して現場施工者が減少し、設計者が増加している。

2) 多用される断熱工法、断熱材料

多用される断熱工法、断熱材料、組合せは以下の通りである。北海道地域がその他の地域と異なる等の地域別の傾向や、工法や使用材料の割合は前年度と同様であった。

●断熱工法

- 《屋根・天井》
- ・天井断熱 60%が最多。
 - ・その内 76%はグラスウール・ロックウール。
 - ・全地域で天井断熱が最多。
- 《外壁》
- ・充填断熱 67%が最多。
 - ・その内 77%はグラスウール・ロックウール。
 - ・北海道地域は充填外張併用断熱 52%が最多で他地域と断熱工法が異なる。
- 《床・基礎》
- ・根太間充填断熱と大引間充填断熱が 33%ずつ。
 - ・その内 80%は発泡プラスチック系断熱材(ボード状)。
 - ・北海道地域は基礎断熱 69%が最多で他地域と断熱工法が異なる。

●断熱材料

- 《屋根・天井》 ・グラスウール・ロックウール 76%が最多。
・全地域でグラスウール・ロックウールが7～8割程度で最多。
- 《 外 壁 》 ・グラスウール・ロックウール 77%が最多。
・全地域でグラスウール・ロックウールが7～8割程度で最多。
・北海道地域では発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が54%あり、全国集計結果(以降、全体平均という)の約2倍。
- 《 床 》 ・発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 80%で最多。
・北海道以外で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が最多。
・北海道地域は、グラスウール系の使用が全体平均の2～3倍。
- 《 基 礎 》 ・発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 83%が最多。
・全地域で発泡プラスチック系断熱材(ボード状)が8～9割で最多。

●取合い部分における断熱工法、断熱材料

《外壁×屋根・天井》断熱工法

- ・全体では外壁の断熱工法の種類に関わらず天井断熱との組合せが7～8割で最多。
- ・外壁が外張断熱では、天井断熱67%より、屋根断熱83%(野地上断熱49%、垂木間充填断熱34%)が多い。
- ・外壁が充填外張併用断熱では、天井断熱71%より、屋根断熱94%(野地上断熱49%、垂木間充填断熱45%)が多い。
- ・北海道では外壁の断熱工法に関わらず天井断熱との組合せが最多。

《外壁×床・基礎》断熱工法

- ・全体では外壁の断熱工法の種類に関わらず床断熱との組合せが最多。
- ・外壁が外張断熱(併用含む)では、床断熱:基礎断熱が6:4程度。
- ・北海道地域は他の地域と異なりどの外壁断熱工法でも基礎断熱が最多。

《外壁×屋根・天井》断熱材料

- ・外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せは、同じ断熱材料同士の組合せが最多。ただし、外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)の組合せでは、屋根天井が発泡プラスチック系77%に次いで、グラスウール・ロックウール64%の割合が多い。
- ・北海道、四国地域は外壁が発泡プラスチック系断熱材(ボード状)の場合も、屋根・天井はグラスウール・ロックウールとする割合が高い。

《外壁×床・基礎》断熱材料

- ・外壁の断熱材料の種類に関わらず床・基礎を発泡プラスチック系断熱材(ボード状)とする組合せが最多。

- ・「その他」の断熱材を外壁に使っている場合は、床・基礎に「その他」の断熱材が使われる組合せが全体と比べて増加する。
- ・北海道、東北地域は「その他」同士の組合せの割合が全体平均より 20% 程度多い。

3) 現場施工者は正しい断熱施工の方法を把握しているか。

講習内容と比較して正しく施工できていなかった部分は毎年同様の傾向で、気流止めと筋交いの回答が多い。講習内容で施工を行う場合の手間賃増減も毎年同様の回答の割合であった。

目指している省エネレベルおよび手がけている省エネレベルは、H28 年基準相当の定着が進んでいる。

地域別にみると、北海道地域は講習内容レベルの断熱施工や H28 年基準以上の省エネレベルの設計が普段から行われていると考えられ、その他の地域とは結果が異なっている。

- 正しく施工できていなかった部分(施工技術者講習内容を基準として)
 - ・正しく施工できていなかった部分は、気流止め 30%、筋かい部 22%、浴室 15%が多い。
 - ・北海道地域の設問回答率がその他の地域より低く、断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。その他の地域では、全体平均と同様、気流止め、筋かい部、浴室の割合が多い。
- 受講して難しい、やりにくいと感じた部分(施工技術者講習内容を基準として)
 - ・難しい、やりにくいと感じた部分は、筋かい部 28%、気流止め 21%が多い。
 - ・北海道地域の設問回答率がその他の地域より低く断熱施工に慣れていることが影響していると考えられる。
- 断熱施工の手間賃増減(施工技術者講習内容で施工を行う場合)
 - ・受講内容で断熱施工を行う場合、ほとんど変わらないが 35%で最も多い。人工増 28%、人工減 1%未満、無回答 37%であった。
 - ・人工増の回答について、坪あたり平均 1.39 人工増であった。
 - ・人工増の回答は講習内容の施工をしていないと言える。
 - ・北海道地域は、ほとんど変わらないが 61%、人工増が 7%となっており、講習内容の施工が普段から行われていると考えられる。

4) 設計者、現場管理者は断熱仕様の担保に何を用いているか。

- ・断熱仕様を担保するものとして、断熱仕様を記載する図面、現場チェックに使う図面に何を用いているかを把握した。いずれの部位も前年度と同様の結果となった。
- ・屋根・天井：矩計図 59%、仕上表 51%、特記仕様書 32%であった。

- ・外壁 : 矩計図 57%、仕上表 50%、特記仕様書 31%であった。
- ・床・基礎 : 矩計図 56%、仕上表 47%、特記仕様書 31%であった。
- ・床・基礎では、他の部位より「その他」の図書の使用割合が高く、基礎伏図などの構造関連図書が4%程度使用されている。

5) 多用される省エネレベルは何か。

- ・多用される省エネレベルは「平成 28・H25・H 11 年基準」37%が最も多く、「平成 28 年基準以上」は 32%であった。
- ・北海道地域では「平成 28 年基準以上」が 62%で、「平成 28・H 25・H 11 年基準」の 30%を上回っている。
- ・「平成 28・H25・H11 年基準」では仕様基準、「平成 28 年基準以上」は性能基準による断熱性能の決定が多い。

6) 性能を把握するための計算がどれくらい行われているか。

- ・断熱性能を決める方法について、「性能基準に従い外皮計算等を行う」は 24%、「仕様基準に従い外皮等の仕様を決める」は 32%であった。
- ・北海道地域は「性能基準」54%「仕様基準」27%で、他地域と異なり「性能基準」の採用が多い。

7) 省エネ設計・施工の情報はどこから得ているのか。

- ・断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 35%が最多。

8) 最適な断熱住宅の普及・建設にはどの分野の意識啓発が必要か。

- ・意識啓発が必要とされる分野は設計者 50%、施工管理者 47%、現場施工者 50%、建築主 23%となった。

(5) 資料、講習内容等の調査結果概要

1) 資料等について

《施工技術者講習の資料（テキスト、DVD、カットモデル）》

前年度同様、施工技術者講習で使用するテキストとDVDについては9割以上、カットモデルは8割程度の受講者が「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」「普通」と回答しており、適切な講習会用の資料であるとの結果が得られた。

●テキスト

「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」「普通」が合計で96%であり好評であった。

●DVD

「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」「普通」が合計で93%であり好評であった。

●カットモデル

「大変分かりやすかった」「わかりやすかった」「普通」が合計で78%であった。

《設計者講習の資料（テキスト）》

前年度同様、設計者講習で使用するテキストについて89%の受講者が「大変わかりやすかった」「わかりやすかった」「普通」と感じており、適切な講習会用の資料であるとの結果が得られた。

2) 講習内容、説明方法

《施工技術者講習》

●基本テキスト

全章を通して、「難しいとはおもわない」「易しい」が8割程度占めている。

「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」は、「難しいとはおもわない」「易しい」が10%程度低かった。

職種別では、設計が「易しい」と答える割合が全体平均の1.5～2倍である。

●施工テキスト

「難しいとはおもわない」「易しい」が合計で78%であった。

●修了考査

「難しいとはおもわない」「易しい」が合計で73%であった。

《設計者講習》

●設計テキスト 詳細計算ルート

「外皮性能の計算」「一次消費エネルギー量計算」は、3割程度が「難しかった」と回答した。「仕様基準による基準判定方法」は、「難しかった」が2割程度であった。

職種別では現場管理が「難しかった」と答える割合が35～38%で全体平均より10%程度高い。

●設計テキスト 仕様ルートと簡易計算ルート

「仕様ルート」（「計算が不要な方法」17%、「計算を要する方法」21%、）は2割程度が「難しかった」と回答した。「計算が不要な方法」の割合の方がやや少なく簡単であると考えられる。

「簡易計算ルート」について「難しかった」という割合は3割弱程度であった。

●演習

演習については24%の受講者が難しいと感じており、前年と同様の傾向である。

3) 修了考査

施工技術者講習、設計者講習ともに、前年度と同様、約7割が「難しいとはおもわない」「易しい」との回答であった。

4) 講師

施工技術者講習においては、92%の受講者が「大変分かりやすかった」、「わかりやすかった」、「普通」と感じている。

設計者講習では、85%が「大変分かりやすかった」、「わかりやすかった」、「普通」と感じている。

(6) 講習会運営に関する調査結果概要

1) 広報・開催案内・内容案内・持参物案内

施工技術者講習、設計者講習ともに、前年度同様、土日に開催してほしい、平日に開催してほしい、一日講習を開催してほしい・半日講習にしてほしい等の希望があった。

少数意見であるが、視力に応じた席の移動の希望、講習内容を事前に詳細に案内してほしいという意見があった。

2) 講習会場選定

各地域協議会の会場選定に当たって、「マイクの接続が悪い」など音響や、「寒い」「暑い」など空調の不備など会場への不満が、前年度同様1%程度あった。

3) 講習時間

講習時間の長さが「ちょうどよい」は72%、「長い」17%であった。

施工技術者講習会と設計者講習会もほぼ同様の割合である。

半日講習会は「ちょうどよい」が74%、1日講習会は65%であった。

設計者講習の自由意見は、「講習時間が不足、説明速い」が最も多く10%を占めていた。

4) 講師、スタッフ、講習者について

施工技術者講習、設計者講習ともに、スタッフや講師、受講者へのマナーに関する意見はほとんどなかった。

5. 省エネ設計・施工に関する実態調査結果

省エネ設計・施工に関する実態調査においては以下の項目について結果を整理し考察を行った。

- (1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料
- (2) 講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ
- (3) 今回の講習内容で施工する場合の手間
- (4) 断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時のチェックに使用する図面
- (5) 普段目指している省エネ基準レベル、および手がけている住宅の省エネ基準レベル
- (6) 断熱性能を決める方法
- (7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先
- (8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

(1) 普段たずさわっている断熱工法・断熱材料

A. 普段たずさわっている断熱工法

1) 「屋根・天井」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法は「天井断熱」が60.1%で最も多い。地域別では、東北と北海道地域で「天井断熱」が全体平均より10%以上多い。中部・近畿地域では、「垂木間充填断熱」の割合が全体平均より6%程度高い。

屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	6,413
屋根野地上断熱	1,889
垂木間充填断熱	2,481
無回答	2,300
全体	10,666

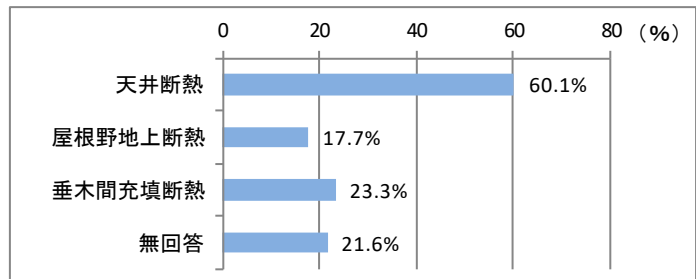


図 5-1-1a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	10,666	60.1	17.7	23.3	21.6
北海道	208	76.0	22.1	15.9	11.1
(全体との差)		+15.8	+4.4	-7.4	-
東北	1,578	70.6	15.7	18.8	15.1
(全体との差)		+10.5	-2.0	-4.5	-
関東	1,870	55.5	20.5	25.6	24.2
(全体との差)		-4.7	+2.8	+2.3	-
北陸	673	64.6	13.2	19.3	21.4
(全体との差)		+4.5	-4.5	-3.9	-
中部	1,637	55.7	19.2	29.1	22.8
(全体との差)		-4.5	+1.5	+5.8	-
近畿	1,442	57.7	20.7	27.2	20.2
(全体との差)		-2.4	+3.0	+3.9	-
中国	936	66.7	15.7	21.9	16.5
(全体との差)		+6.5	-2.0	-1.4	-
四国	528	58.0	15.3	16.7	31.4
(全体との差)		-2.2	-2.4	-6.6	-
九州・沖縄	1,794	55.5	15.7	21.3	25.6
(全体との差)		-4.6	-2.0	-1.9	-

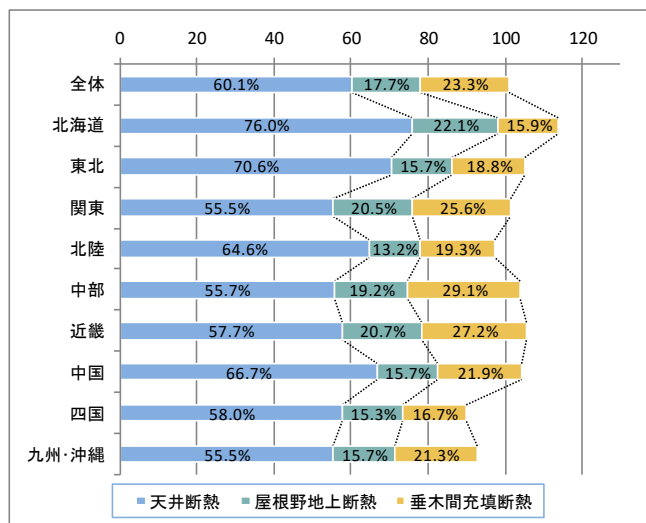


図 5-1-1b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

2) 「外壁」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている外壁の断熱工法は「充填断熱」が66.9%で最も多い。

地域別では、前年度同様、北海道地域で「充填外張併用断熱」が「充填断熱」を上回っており、併用断熱が多いことについて付加断熱の採用が多いと推測される。その他の地域では、「充填断熱」が約6割以上を占めている。北海道、東北地域では、「外張断熱」の割合が全体平均より5%程度高い。地域別の外壁の断熱工法は、前年度と比較して割合の変動はほとんどみられない。

外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	7,134
外張断熱	1,166
充填外張併用断熱	723
無回答	2,463
全体	10,666

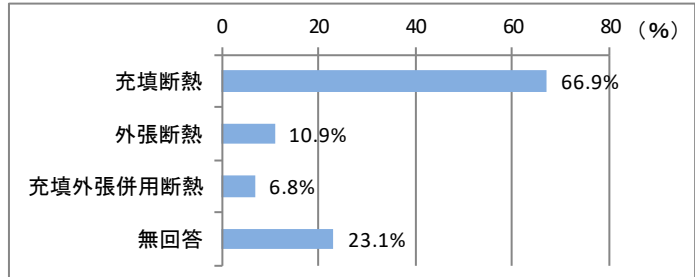


図 5-1-2a 普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	10,666	66.9	10.9	6.8	23.1
北海道 (全体との差)	208	38.0 -28.9	16.3 +5.4	51.9 +45.1	8.7 -
東北 (全体との差)	1,578	72.4 +5.5	14.4 +3.5	8.6 +1.8	15.8 -
関東 (全体との差)	1,870	67.4 +0.5	10.9 -0.0	6.4 -0.4	24.9 -
北陸 (全体との差)	673	72.5 +5.6	8.8 -2.2	4.8 -2.0	21.1 -
中部 (全体との差)	1,637	67.6 +0.7	10.0 -0.9	6.6 -0.2	23.7 -
近畿 (全体との差)	1,442	69.7 +2.8	10.1 -0.8	4.9 -1.9	21.6 -
中国 (全体との差)	936	72.6 +5.8	9.3 -1.6	6.2 -0.6	18.1 -
四国 (全体との差)	528	56.4 -10.4	12.3 +1.4	5.3 -1.5	33.9 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,794	59.8 -7.1	10.0 -0.9	3.6 -3.2	30.2 -

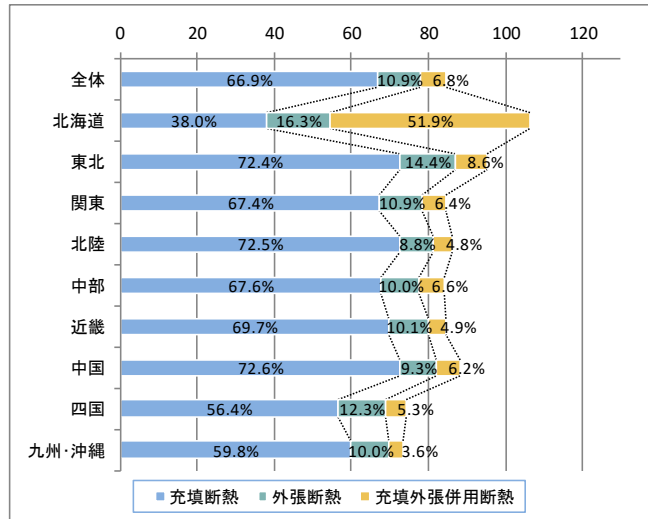


図 5-1-2b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

3) 「床・基礎」にて普段たずさわっている断熱工法

普段たずさわっている床・基礎の断熱工法は「根太間充填断熱」が 33.2%、「大引間充填断熱」は 32.5%とほぼ同じ割合となっている。「基礎断熱」は 20.6%であり、様々な工法の選択が行われていることが窺える。

地域別では、北海道地域は他の地域と異なり、「基礎断熱」が 68.8%で最も多い。北陸、中国、四国、九州・沖縄地域では、「根太間充填」が「大引間断熱」を上回る。

床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	3,540
床断熱 (大引間充填)	3,465
床断熱(根太 +大引間充填)	770
基礎断熱	2,198
無回答	2,600
全体	10,666

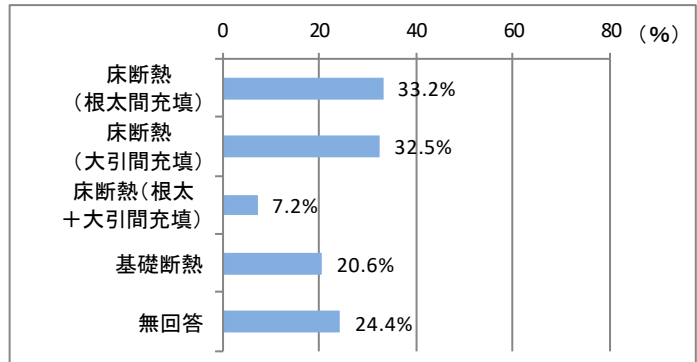


図 5-1-3a 普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	10,666	33.2	32.5	7.2	20.6	24.4
北海道	208	10.1	14.4	14.4	68.8	12.0
(全体との差)		-23.1	-18.1	+7.2	+48.1	-
東北	1,578	30.9	38.3	9.6	25.4	17.8
(全体との差)		-2.3	+5.8	+2.3	+4.8	-
関東	1,870	31.6	33.4	6.8	22.1	26.2
(全体との差)		-1.6	+0.9	-0.4	+1.5	-
北陸	673	38.6	33.4	4.5	16.2	23.8
(全体との差)		+5.4	+0.9	-2.8	-4.4	-
中部	1,637	32.7	34.3	6.8	20.3	24.6
(全体との差)		-0.5	+1.8	-0.4	-0.3	-
近畿	1,442	32.9	37.3	7.5	17.1	22.1
(全体との差)		-0.2	+4.8	+0.3	-3.5	-
中国	936	36.9	35.6	8.0	20.5	18.3
(全体との差)		+3.7	+3.1	+0.8	-0.1	-
四国	528	36.7	24.4	7.8	15.2	34.3
(全体との差)		+3.6	-8.1	+0.5	-5.5	-
九州・沖縄	1,794	35.3	23.5	5.3	15.6	31.8
(全体との差)		+2.1	-9.0	-1.9	-5.0	-

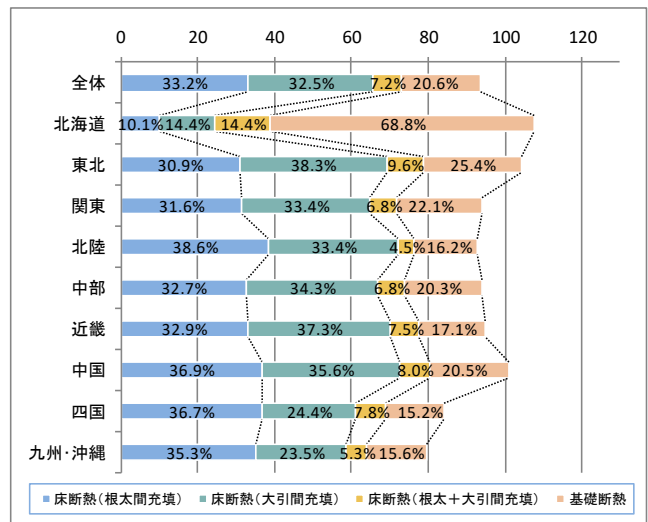


図 5-1-3b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

4) 普段たずさわっている「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

前年度と同様、外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せは、外壁の断熱工法に関わらず「天井断熱」との組合せが最も多い。外壁が外張断熱（併用断熱含む）の採用の場合、屋根断熱（野地上断熱、垂木間充填断熱）の組合せが増加する。

地域別にみると、北海道地域では、外壁が「充填外張併用断熱」の場合、「天井断熱」85.2%で全体平均より14.5%多い。関東、中部、近畿地域では、外壁の断熱工法に関わらず屋根断熱とする割合が、全体平均よりわずかに増加する。

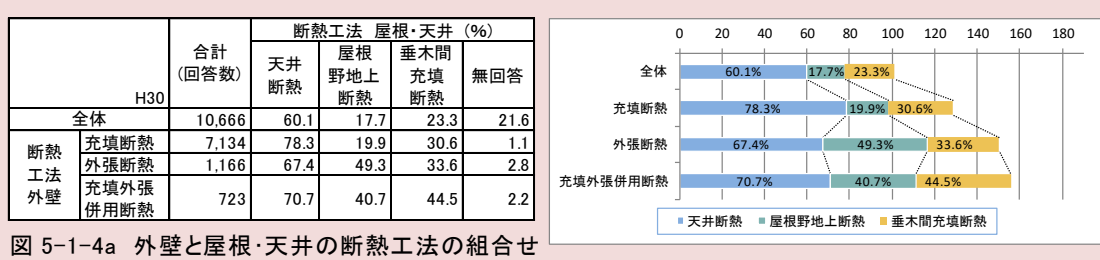


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

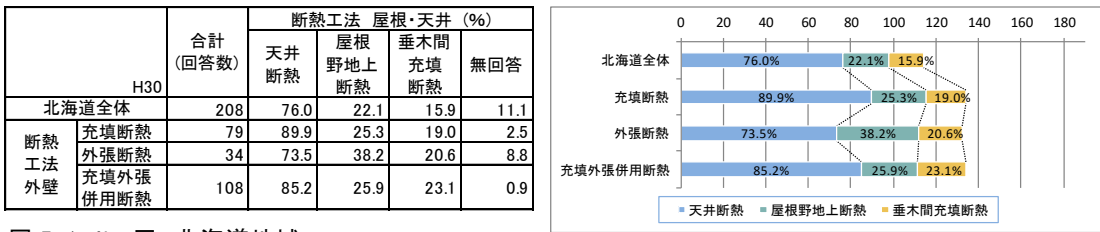


図 5-1-4b 同 北海道地域

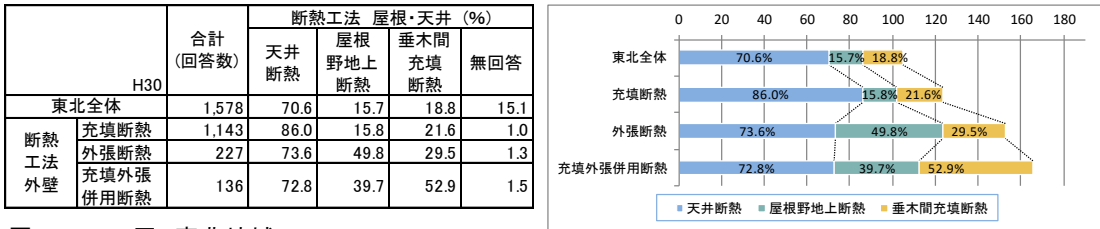


図 5-1-4c 同 東北地域

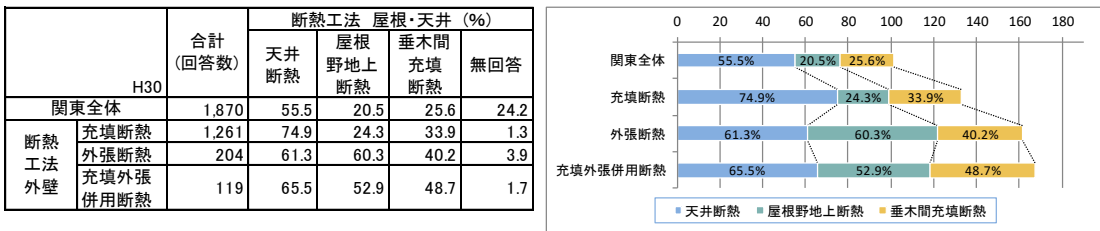


図 5-1-4d 同 関東地域

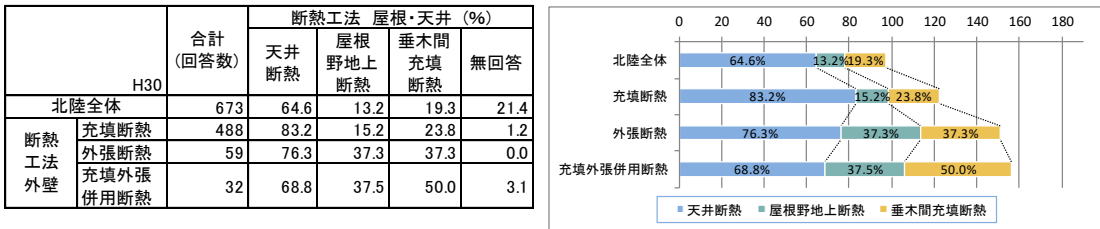
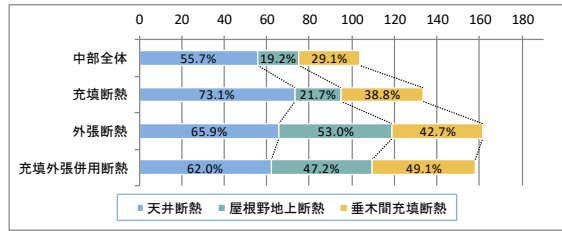


図 5-1-4e 同 北陸地域

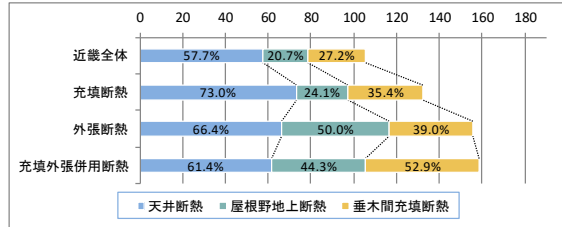
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
中部全体	1,637	55.7	19.2	29.1	22.8	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,107	73.1	21.7	38.8	1.3
	外張断熱	164	65.9	53.0	42.7	2.4
	充填外張 併用断熱	108	62.0	47.2	49.1	2.8

図 5-1-4f 同 中部地域



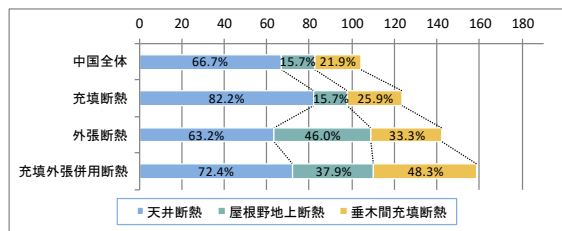
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
近畿全体	1,442	57.7	20.7	27.2	20.2	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,005	73.0	24.1	35.4	1.0
	外張断熱	146	66.4	50.0	39.0	2.7
	充填外張 併用断熱	70	61.4	44.3	52.9	4.3

図 5-1-4g 同 近畿地域



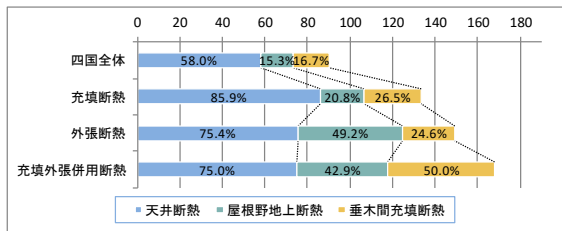
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
中国全体	936	66.7	15.7	21.9	16.5	
断熱工法 外壁	充填断熱	680	82.2	15.7	25.9	1.2
	外張断熱	87	63.2	46.0	33.3	2.3
	充填外張 併用断熱	58	72.4	37.9	48.3	3.4

図 5-1-4h 同 中国地域



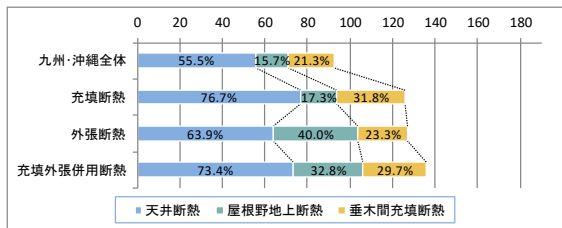
	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
四国全体	528	58.0	15.3	16.7	31.4	
断熱工法 外壁	充填断熱	298	85.9	20.8	26.5	1.3
	外張断熱	65	75.4	49.2	24.6	1.5
	充填外張 併用断熱	28	75.0	42.9	50.0	3.6

図 5-1-4i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
九州・沖縄全体	1,794	55.5	15.7	21.3	25.6	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,073	76.7	17.3	31.8	0.8
	外張断熱	180	63.9	40.0	23.3	4.4
	充填外張 併用断熱	64	73.4	32.8	29.7	1.6

図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域



5) 普段たずさわっている「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

前年度と同様、外壁「充填断熱」の場合「床断熱」の組合せが多く、外壁「外張断熱」「充填外張併用断熱」では「基礎断熱」の組合せが多く、外壁「外張断熱」では「基礎断熱」50.0%、「充填外張併用断熱」では「基礎断熱」58.2%で、全体平均の2.4~2.8倍に増加する。

地域別にみると、北海道地域では、「基礎断熱」の割合が約70%と高く、標準的な工法となっていることが窺える。四国、九州・沖縄地域では、外壁「充填外張併用断熱」の場合「根太間充填」の組合せが全体平均より多く、「基礎断熱」は全体平均より約20%低くなる。

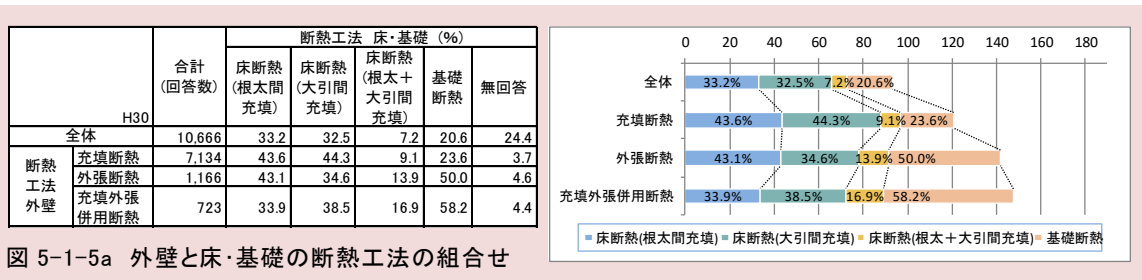


図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

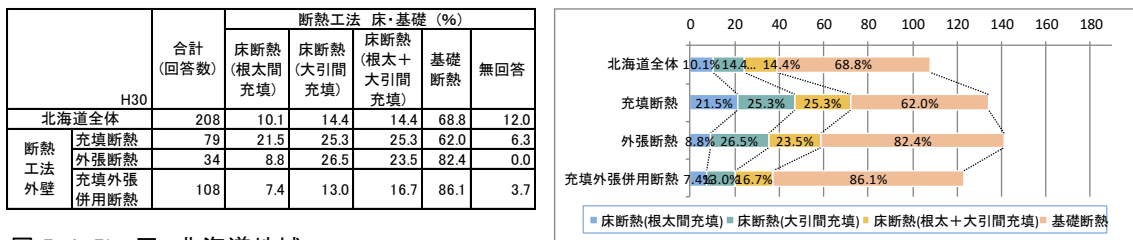


図 5-1-5b 同 北海道地域

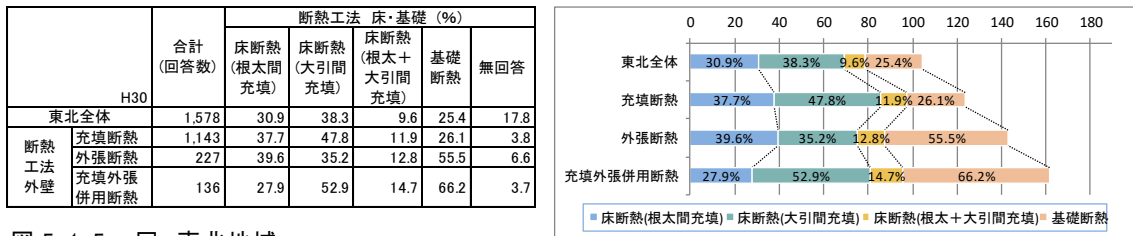


図 5-1-5c 同 東北地域

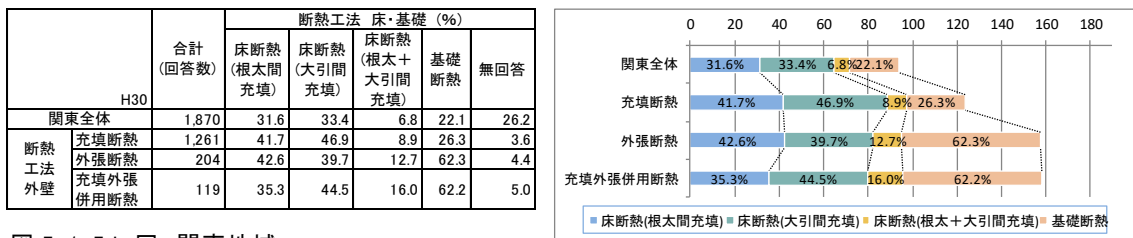


図 5-1-5d 同 関東地域

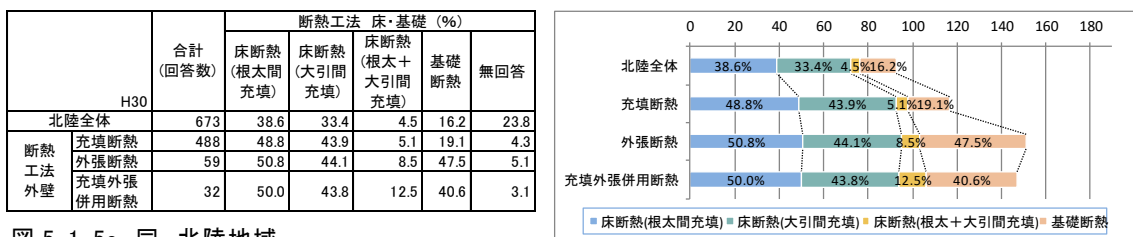
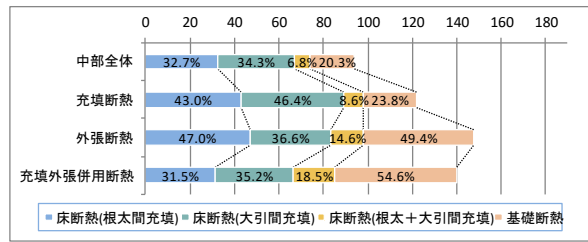


図 5-1-5e 同 北陸地域

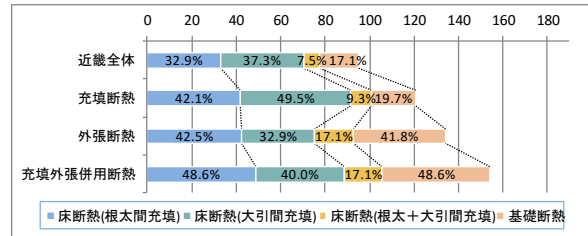
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
中部全体	1,637	32.7	34.3	6.8	20.3	24.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,107	43.0	46.4	8.6	23.8	3.1
	外張断熱	164	47.0	36.6	14.6	49.4	4.3
	充填外張 併用断熱	108	31.5	35.2	18.5	54.6	6.5

図 5-1-5f 同 中部地域



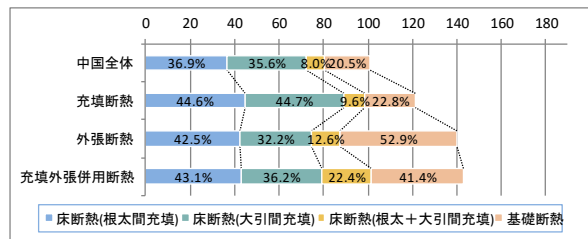
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
近畿全体	1,442	32.9	37.3	7.5	17.1	22.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,005	42.1	49.5	9.3	19.7	2.5
	外張断熱	146	42.5	32.9	17.1	41.8	4.1
	充填外張 併用断熱	70	48.6	40.0	17.1	48.6	2.9

図 5-1-5g 同 近畿地域



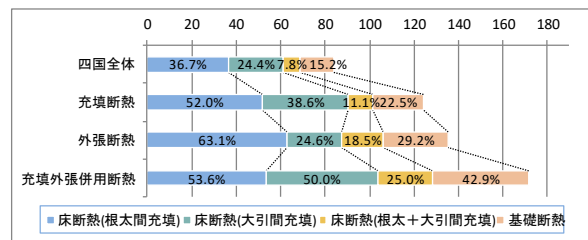
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
中国全体	936	36.9	35.6	8.0	20.5	18.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	680	44.6	44.7	9.6	22.8	2.4
	外張断熱	87	42.5	32.2	12.6	52.9	1.1
	充填外張 併用断熱	58	43.1	36.2	22.4	41.4	3.4

図 5-1-5h 同 中国地域



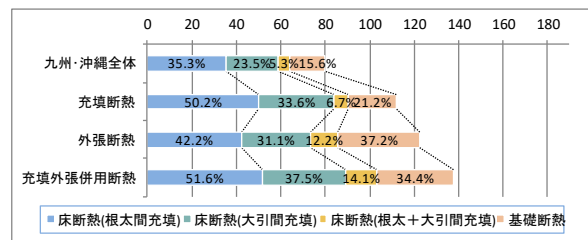
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
四国全体	528	36.7	24.4	7.8	15.2	34.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	298	52.0	38.6	11.1	22.5	6.4
	外張断熱	65	63.1	24.6	18.5	29.2	6.2
	充填外張 併用断熱	28	53.6	50.0	25.0	42.9	3.6

図 5-1-5i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
九州・沖縄全体	1,794	35.3	23.5	5.3	15.6	31.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,073	50.2	33.6	6.7	21.2	5.0
	外張断熱	180	42.2	31.1	12.2	37.2	5.0
	充填外張 併用断熱	64	51.6	37.5	14.1	34.4	6.3

図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域



B. 普段たずさわっている断熱材料

1) 「屋根・天井」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料は、「グラスウール・ロックウール」が76.2%で最も多い。いずれの地域も同様の傾向となっている。「屋根・天井」に使用する断熱材料はどの地域も前年度と同様の割合となっており、使用材料に変化がないことが窺える。

「その他」の断熱材の中では、「現場発泡ウレタン」5.4%が最も多い。ウレタン系断熱材（現場発泡ウレタン、ウレタン(aかbか不明)）は、7年間で純増しており、使用割合が4.7%から7%に増加した。

屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、ロックウール	6,376
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	2,335
その他	1,395
無回答	92
全体	8,366

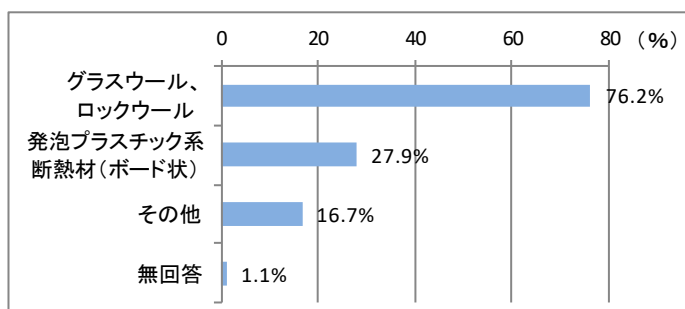


図 5-1-6a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	8,366	76.2	27.9	16.7	1.1
北海道	185	79.5	23.8	15.1	0.5
(全体との差)		+3.2	-4.1	-1.5	-
東北	1,340	79.5	25.8	13.5	0.8
(全体との差)		+3.3	-2.1	-3.2	-
関東	1,418	77.3	29.6	17.0	0.9
(全体との差)		+1.1	+1.7	+0.3	-
北陸	529	73.7	25.1	22.1	0.8
(全体との差)		-2.5	-2.8	+5.4	-
中部	1,264	72.2	30.6	20.2	1.2
(全体との差)		-4.1	+2.7	+3.5	-
近畿	1,151	77.3	27.8	16.9	0.8
(全体との差)		+1.1	-0.1	+0.2	-
中国	782	80.4	26.2	12.0	1.3
(全体との差)		+4.2	-1.7	-4.7	-
四国	362	84.5	25.7	12.7	0.6
(全体との差)		+8.3	-2.2	-4.0	-
九州・沖縄	1,335	70.5	29.0	17.9	2.0
(全体との差)		-5.7	+1.1	+1.2	-

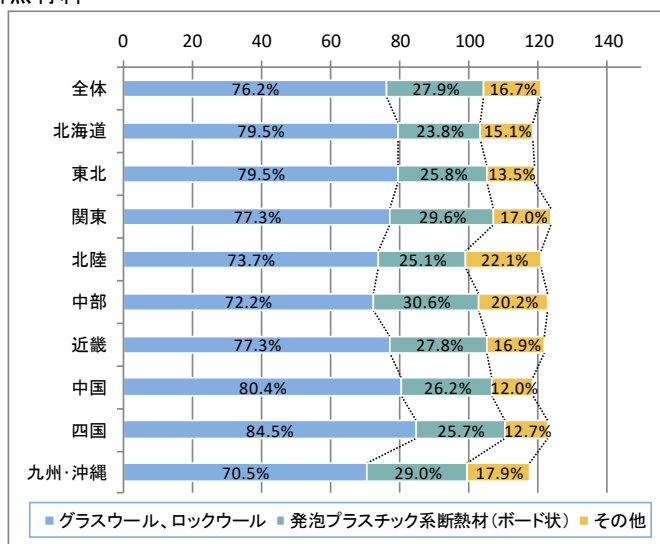


図 5-1-6b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	230	2.2%
吹込グラスウール、ロックウール	12	0.1%
吹込その他	17	0.2%
現場発泡ウレタン(a)	577	5.4%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	42	0.4%
ウレタン(aかbか不明)	167	1.6%
ポリエステル	14	0.1%
木質系	14	0.1%
羊毛	26	0.2%
コルク		0.0%
未分類	34	0.3%
2種類以上の記載のあるもの	43	0.4%
その他記入有り合計	1,176	11.0%
その他全体	1,395	13.1%
全体	10,666	100.0%

図 5-1-6c 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料「その他」記述

2) 「外壁」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている外壁の断熱材料は、「グラスウール・ロックウール」が76.5%で最も多い。「その他」17.2%のうち、「現場発泡ウレタン」が4.2%を占めている。ウレタン系断熱材は平成24年度の4.7%から昨年度8.4%まで純増していた。「羊毛」は7年間で減少し続け、0.8%から0.3%に減少した。そのほかの断熱材料は前年度と同様の割合となっており、使用材料に変化がないことが窺える。

地域別にみると、北海道地域では、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が53.7%と全体平均より倍程度多く、外壁「充填外張併用断熱」が多いことに関係すると考えられる(「2)「外壁」にて普段たずさわっている断熱工法、p29を参照)。

外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、ロックウール	6,276
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	2,069
その他	1,415
無回答	114
全体	8,203

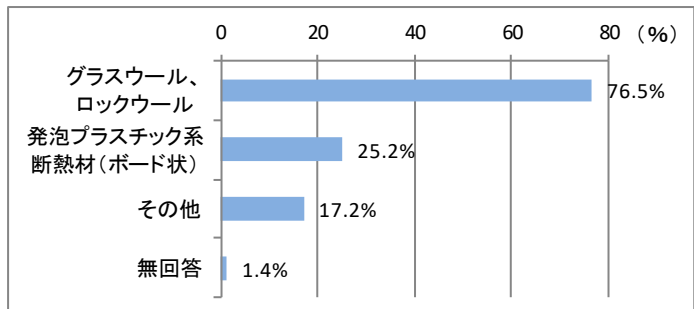


図 5-1-7a 普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	8,203	76.5	25.2	17.2	1.4
北海道	190	75.3	53.7	13.7	1.6
(全体との差)		-1.2	+28.5	-3.6	-
東北	1,329	77.0	28.5	12.8	1.2
(全体との差)		+0.5	+3.3	-4.5	-
関東	1,405	78.9	23.3	18.0	1.6
(全体との差)		+2.4	-1.9	+0.8	-
北陸	531	74.4	26.6	21.5	0.8
(全体との差)		-2.1	+1.3	+4.2	-
中部	1,249	70.4	29.4	22.0	1.1
(全体との差)		-6.1	+4.2	+4.8	-
近畿	1,130	78.0	21.2	17.7	1.7
(全体との差)		+1.5	-4.1	+0.4	-
中国	767	82.9	21.6	13.2	1.3
(全体との差)		+6.4	-3.6	-4.1	-
四国	349	83.1	21.5	13.5	1.7
(全体との差)		+6.6	-3.7	-3.8	-
九州・沖縄	1,253	73.5	21.8	18.3	1.6
(全体との差)		-3.0	-3.4	+1.0	-

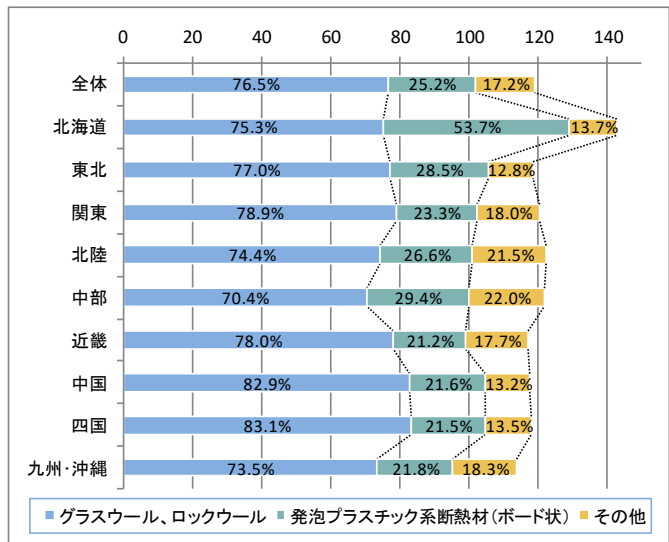


図 5-1-7b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	197	1.8%
吹込グラスウール、ロックウール	3	0.0%
吹込その他	148	1.4%
現場発泡ウレタン(a)	445	4.2%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	55	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	183	1.7%
ポリエステル	19	0.2%
木質系	15	0.1%
羊毛	28	0.3%
コルク		0.0%
未分類	35	0.3%
2種類以上の記載のあるもの	50	0.5%
その他記入有り合計	1,178	11.0%
その他全体	1,415	13.3%
全体	10,666	100.0%

図 5-1-7c 普段たずさわっている外壁の断熱材料「その他」記述

3) 「床・基礎」にて普段たずさわっている断熱材料

普段たずさわっている床・基礎の断熱材料は「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が79.5%で最も多い。「その他」6.6%のうち、「現場発泡ウレタン」が1.3%を占めている。「羊毛」は7年間で、0.3%から0.1%に減少した。「床・基礎」の断熱材料の使用割合は7年間ほぼ横ばいとなっており、使用材料に変化がないことが窺える。

どの地域でも「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多い。「グラスウール・ロックウール」は、四国地域32.3%で全体平均より8.8%多く、北陸地域14.8%と全体平均より8.6%少ない。前年度と比較して、北海道地域で「グラスウール・ロックウール」、四国地域で「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」の使用割合が10%程度減少している。

床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、ロックウール	1,890
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	6,414
その他	531
無回答	150
全体	8,066

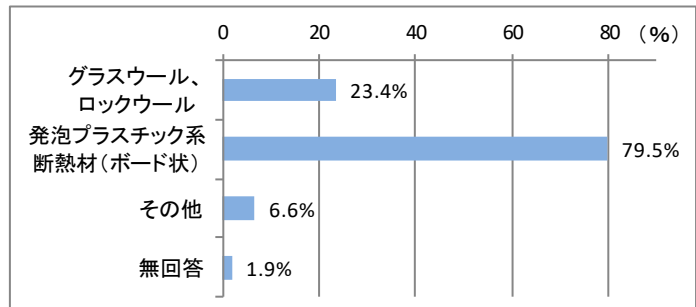


図 5-1-8a 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	8,066	23.4	79.5	6.6	1.9
北海道	183	27.3	78.7	8.2	0.5
(全体との差)		+3.9	-0.8	+1.6	-
東北	1,297	24.1	79.6	7.8	1.0
(全体との差)		+0.7	+0.1	+1.2	-
関東	1,380	26.8	76.8	7.3	2.5
(全体との差)		+3.4	-2.7	+0.7	-
北陸	513	14.8	85.2	7.0	0.8
(全体との差)		-8.6	+5.7	+0.4	-
中部	1,235	27.4	77.2	7.8	1.8
(全体との差)		+4.0	-2.4	+1.2	-
近畿	1,123	22.0	81.8	4.7	1.4
(全体との差)		-1.4	+2.3	-1.9	-
中国	765	18.7	83.8	4.3	2.5
(全体との差)		-4.7	+4.3	-2.3	-
四国	347	32.3	70.3	7.5	1.2
(全体との差)		+8.8	-9.2	+0.9	-
九州・沖縄	1,223	19.6	80.4	5.7	2.9
(全体との差)		-3.8	+0.9	-0.9	-

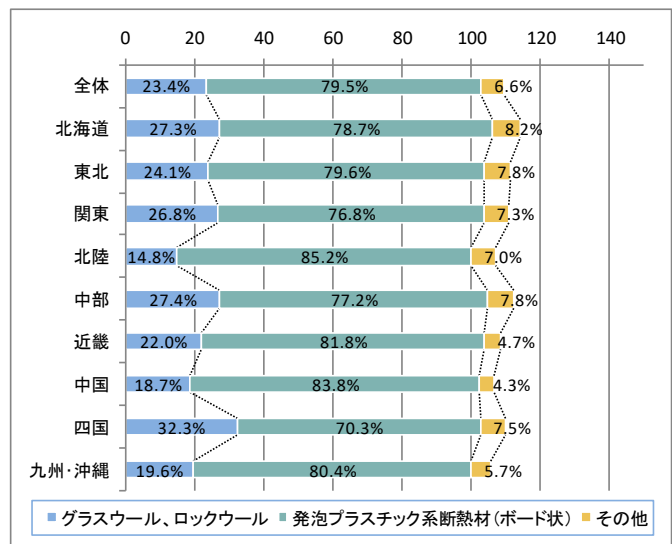


図 5-1-8b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	47	0.4%
吹込グラスウール、ロックウール	2	0.0%
吹込その他		0.0%
現場発泡ウレタン(a)	138	1.3%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	96	0.9%
ウレタン(aかbか不明)	56	0.5%
ポリエステル	8	0.1%
木質系	10	0.1%
羊毛	15	0.1%
コルク	1	0.0%
未分類	25	0.2%
2種類以上の記載のあるもの	10	0.1%
	123	
その他記入有り合計	408	3.8%
その他全体	531	5.0%
全体	10,666	100.0%

図 5-1-8c 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料「その他」記述

4) 普段たずさわっている「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

前年度同様、「外壁」と「屋根・天井」が同じ断熱材料の組合せが多く、「グラスウール・ロックウール」同士 94.6%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」同士 76.5%、「その他」同士 88.8%であった。外壁「発泡プラスチック系」と屋根・天井「グラスウール・ロックウール」は 63.7%で、前年度同様、「発泡プラスチック系」同士と割合に近い。

地域別にみると、外壁「発泡プラスチック系」と屋根・天井「グラスウール・ロックウール」は、北海道 82.8%、四国 81.3%で、全体平均 63.7%より 20%程度多い。

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30 全体		8,366	76.2	27.9	16.7	1.1
断熱材料	グラスウール、ロックウール	6,214	94.6	24.7	7.3	0.1
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	2,043	63.7	76.5	9.5	0.2
外壁	その他	1,387	35.3	14.6	88.8	0.1

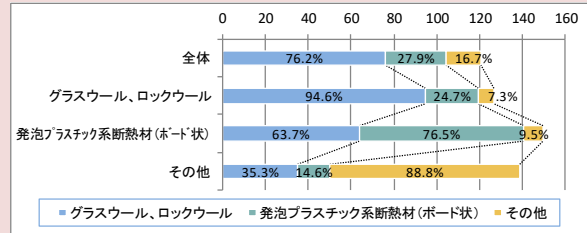


図 5-1-9a1 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

H30 断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	168	16.1%
吹込GW.RW × 吹込GW.RW	2	0.2%
吹込その他 × 吹込その他	2	0.2%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	391	37.5%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	35	3.4%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	147	14.1%
ポリエステル × ポリエステル	12	1.1%
木質系 × 木質系	10	1.0%
羊毛 × 羊毛	22	2.1%
コルク × コルク	0	0.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	789	75.6%
異なる断熱材料の組合せ.片方未記入.両方未記入	255	24.4%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	1,044	100.0%

図 5-1-9a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30 北海道全体		185	79.5	23.8	15.1	0.5
断熱材料	グラスウール、ロックウール	141	91.5	22.0	8.5	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	99	82.8	38.4	7.1	0.0
外壁	その他	25	48.0	8.0	64.0	0.0

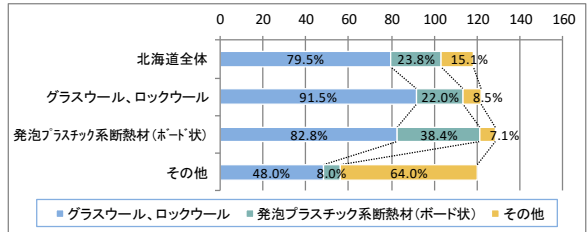


図 5-1-9b 同 北海道地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30 東北全体		1,340	79.5	25.8	13.5	0.8
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,015	96.4	21.4	5.8	0.1
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	376	63.0	72.1	9.6	0.5
外壁	その他	168	35.7	13.1	82.1	0.0

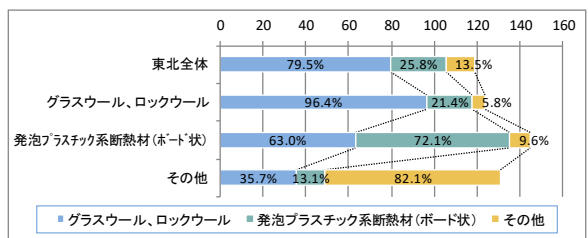


図 5-1-9c 同 東北地域

		合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30 関東全体		1,418	77.3	29.6	17.0	0.9
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,095	94.3	27.7	7.5	0.0
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	322	64.6	83.2	11.5	0.0
外壁	その他	247	36.4	19.0	89.1	0.0

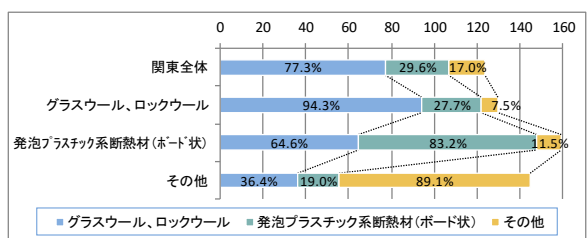
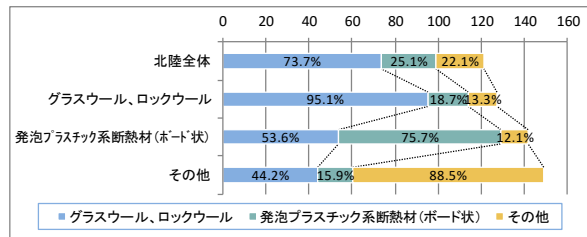


図 5-1-9d 同 関東地域

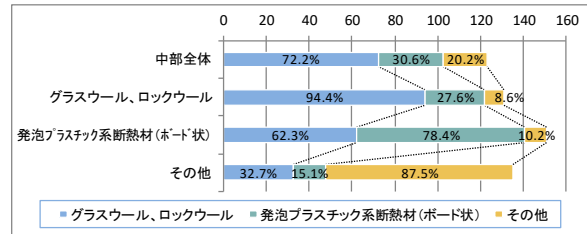
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	その他	無回答	
H30						
北陸全体	529	73.7	25.1	22.1	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	391	95.1	18.7	13.3	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	140	53.6	75.7	12.1	0.7
	その他	113	44.2	15.9	88.5	0.9

図 5-1-9e 同 北陸地域



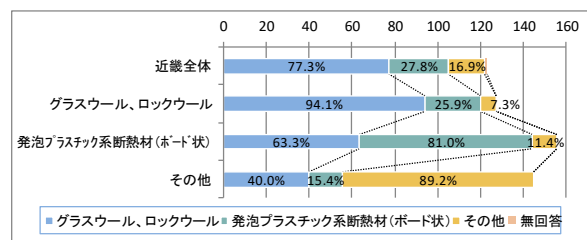
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	その他	無回答	
H30						
中部全体	1,264	72.2	30.6	20.2	1.2	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	868	94.4	27.6	8.6	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	361	62.3	78.4	10.2	0.3
	その他	272	32.7	15.1	87.5	0.0

図 5-1-9f 同 中部地域



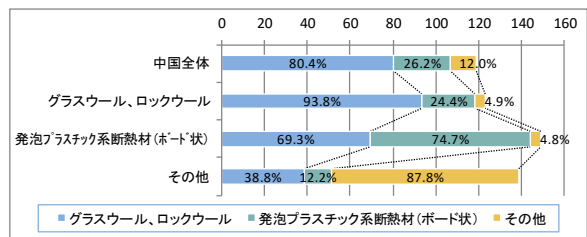
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	その他	無回答	
H30						
近畿全体	1,151	77.3	27.8	16.9	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	875	94.1	25.9	7.3	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	237	63.3	81.0	11.4	0.0
	その他	195	40.0	15.4	89.2	0.0

図 5-1-9g 同 近畿地域



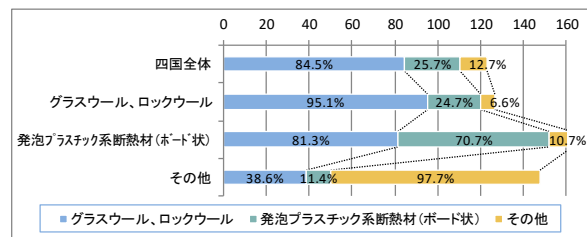
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	その他	無回答	
H30						
中国全体	782	80.4	26.2	12.0	1.3	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	627	93.8	24.4	4.9	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	166	69.3	74.7	4.8	0.0
	その他	98	38.8	12.2	87.8	0.0

図 5-1-9h 同 中国地域



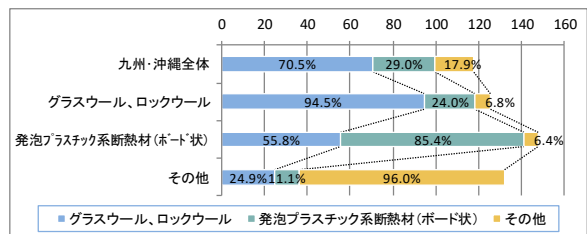
	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	その他	無回答	
H30						
四国全体	362	84.5	25.7	12.7	0.6	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	288	95.1	24.7	6.6	0.3
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	75	81.3	70.7	10.7	0.0
	その他	44	38.6	11.4	97.7	0.0

図 5-1-9i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	その他	無回答	
H30						
九州・沖縄全体	1,335	70.5	29.0	17.9	2.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	914	94.5	24.0	6.8	0.1
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ホード状)	267	55.8	85.4	6.4	0.0
	その他	225	24.9	11.1	96.0	0.0

図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域



5) 普段たずさわっている「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

前年度と同様、外壁の断熱材料の種類に関わらず、床・基礎を「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」とする組合せが最も多い。

地域別にみると、北海道、東北、四国地域では外壁「その他」の場合、床・基礎「その他」が全体平均より20%程度増加する。北陸では、外壁の断熱材料に関わらず「グラスウール・ロックウール」を使用する割合が10%程度低い。四国では、外壁「その他」の場合を除き、床・基礎に「グラスウール・ロックウール」を使用する割合が10%程度高い。

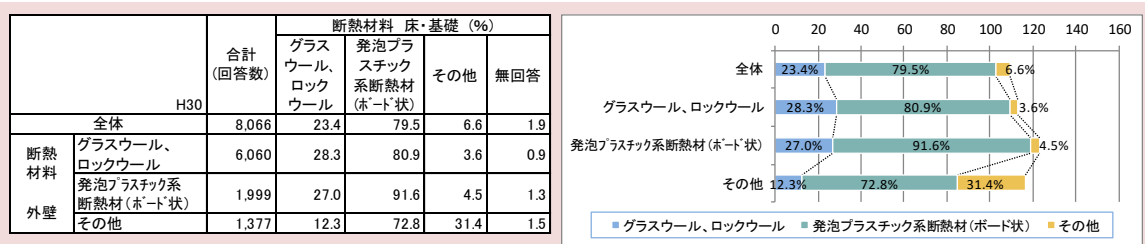


図 5-1-10a 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

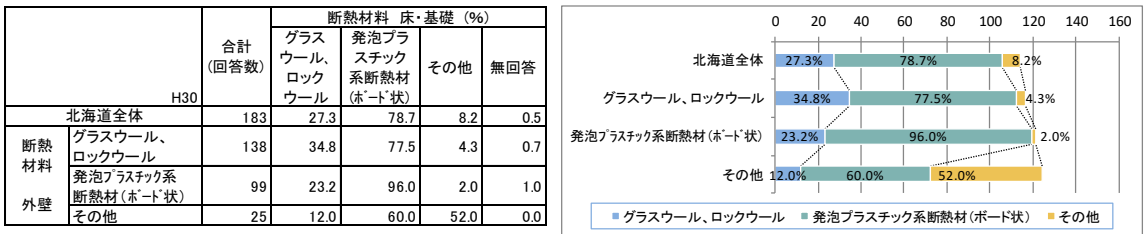


図 5-1-10b 同 北海道地域

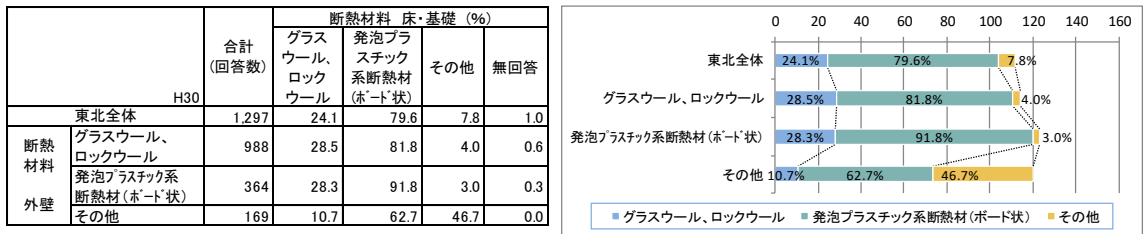


図 5-1-10c 同 東北地域

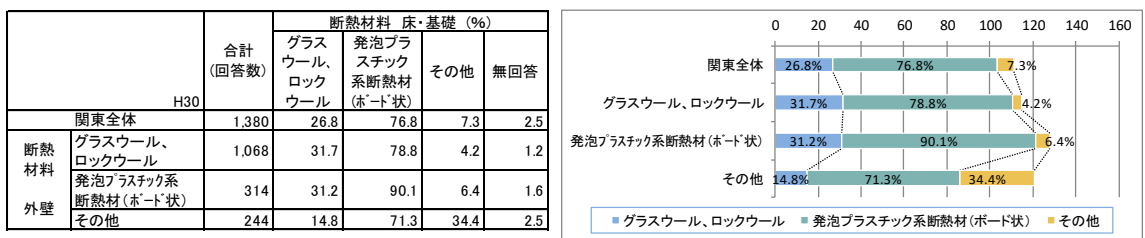


図 5-1-10d 同 関東地域

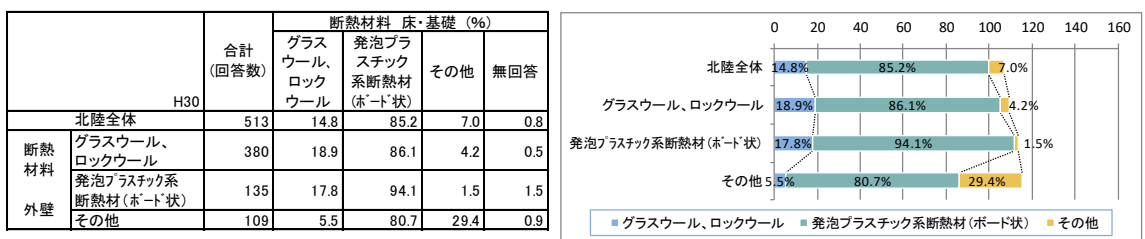
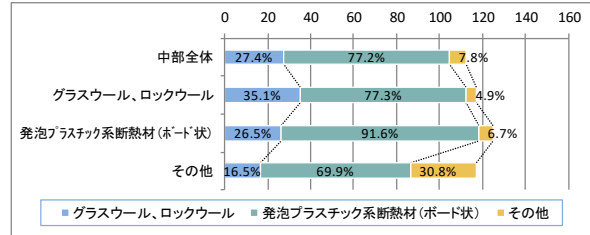


図 5-1-10e 同 北陸地域

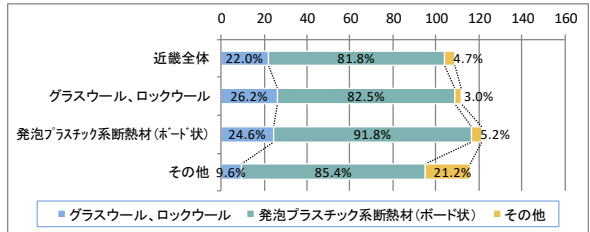
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 中部全体		1,235	27.4	77.2	7.8	1.8
断熱材料	グラスウール、ロックウール	852	35.1	77.3	4.9	0.6
	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	359	26.5	91.6	6.7	1.1
外壁	その他	266	16.5	69.9	30.8	0.8

図 5-1-10f 同 中部地域



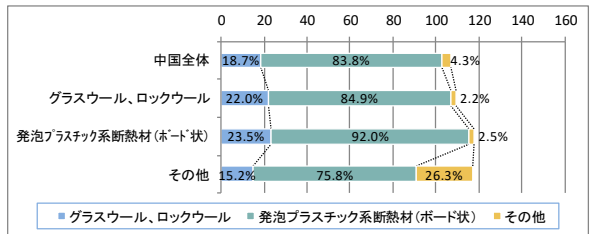
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 近畿全体		1,123	22.0	81.8	4.7	1.4
断熱材料	グラスウール、ロックウール	858	26.2	82.5	3.0	0.3
	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	232	24.6	91.8	5.2	0.9
外壁	その他	198	9.6	85.4	21.2	1.5

図 5-1-10g 同 近畿地域



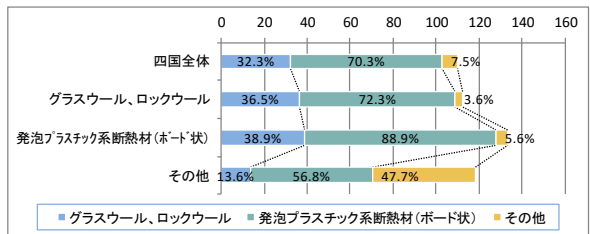
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 中国全体		765	18.7	83.8	4.3	2.5
断熱材料	グラスウール、ロックウール	623	22.0	84.9	2.2	1.6
	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	162	23.5	92.0	2.5	3.1
外壁	その他	99	15.2	75.8	26.3	1.0

図 5-1-10h 同 中国地域



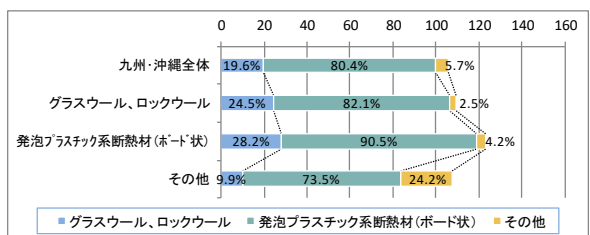
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 四国全体		347	32.3	70.3	7.5	1.2
断熱材料	グラスウール、ロックウール	274	36.5	72.3	3.6	0.0
	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	72	38.9	88.9	5.6	1.4
外壁	その他	44	13.6	56.8	47.7	0.0

図 5-1-10i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 九州・沖縄全体		1,223	19.6	80.4	5.7	2.9
断熱材料	グラスウール、ロックウール	879	24.5	82.1	2.5	1.9
	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	262	28.2	90.5	4.2	1.9
外壁	その他	223	9.9	73.5	24.2	3.1

図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域



C. 普段たずさわっている断熱工法と材料の組合せ

1) 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

地域全体では、「屋根断熱」（野地上断熱、垂木間充填断熱）の場合、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」の割合が全体平均 27.9%より 20~30%程度増加する。

地域別にみると、「屋根断熱」（野地上断熱、垂木間充填断熱）の場合、「グラスウール・ロックウール」の使用割合が、北海道地域では 20%程度、四国地域では 10%程度、全体平均より高い。北陸地域は、「その他」の断熱材料の使用割合が 10%程度高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
全体	8,366	76.2	27.9	16.7	1.1	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	6,413	88.1	24.3	11.3	0.9
	屋根野地上断熱	1,889	67.1	54.8	17.5	1.5
	垂木間充填断熱	2,481	61.2	44.7	33.5	0.9

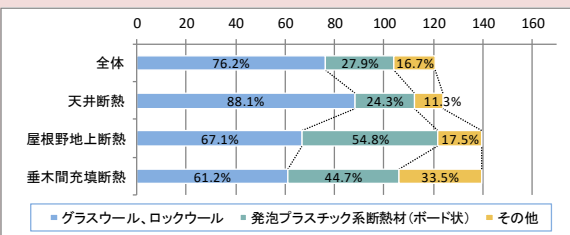


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
北海道全体	185	79.5	23.8	15.1	0.5	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	158	82.3	22.8	15.2	0.6
	屋根野地上断熱	46	82.6	54.3	13.0	0.0
	垂木間充填断熱	33	78.8	42.4	15.2	0.0

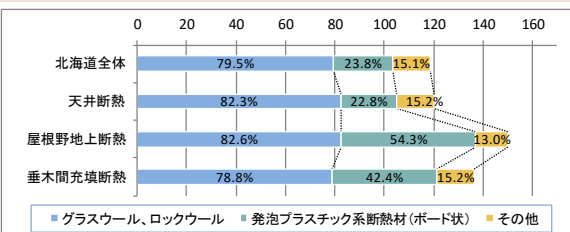


図 5-1-11b 同 北海道地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
東北全体	1,340	79.5	25.8	13.5	0.8	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1,114	87.5	23.5	9.8	0.5
	屋根野地上断熱	248	69.0	58.1	11.7	2.0
	垂木間充填断熱	296	64.9	45.9	29.7	0.3

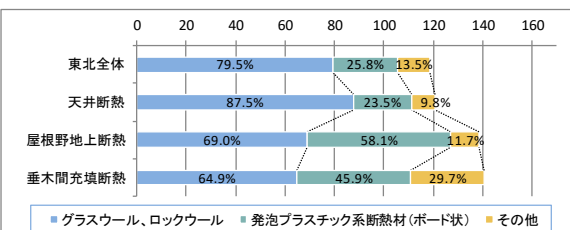


図 5-1-11c 同 東北地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
関東全体	1,418	77.3	29.6	17.0	0.9	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1,037	89.5	25.5	12.0	0.6
	屋根野地上断熱	384	69.5	58.1	16.9	1.0
	垂木間充填断熱	478	65.1	41.4	32.8	1.0

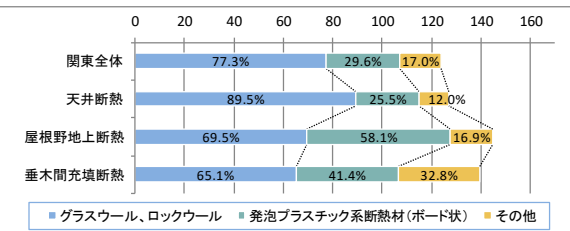


図 5-1-11d 同 関東地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
北陸全体	529	73.7	25.1	22.1	0.8	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	435	83.7	22.1	17.2	0.5
	屋根野地上断熱	89	65.2	47.2	30.3	1.1
	垂木間充填断熱	130	55.4	40.8	43.1	1.5

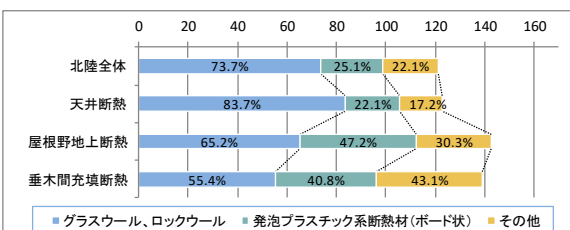


図 5-1-11e 同 北陸地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
中部全体	1,264	72.2	30.6	20.2	1.2	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	911	87.0	25.8	13.2	1.1
	屋根野地上断熱	314	62.1	57.3	22.3	1.3
	垂木間 充填断熱	476	59.0	48.3	33.4	1.1

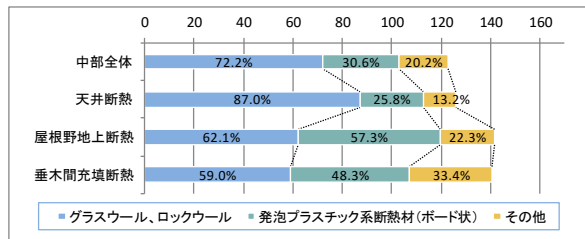


図 5-1-11f 同 中部地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
近畿全体	1,151	77.3	27.8	16.9	0.8	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	832	91.3	25.0	9.7	0.6
	屋根野地上断熱	298	68.8	46.6	18.1	0.3
	垂木間 充填断熱	392	62.5	44.6	33.7	0.8

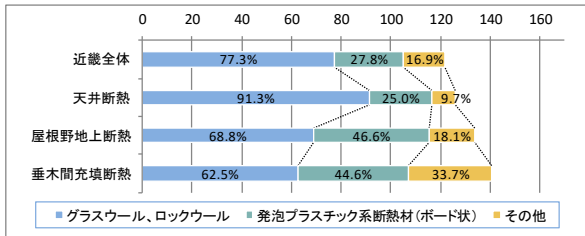


図 5-1-11g 同 近畿地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
中国全体	782	80.4	26.2	12.0	1.3	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	624	91.3	22.3	7.1	1.3
	屋根野地上断熱	147	68.7	55.1	10.2	1.4
	垂木間 充填断熱	205	64.4	47.8	26.3	1.0

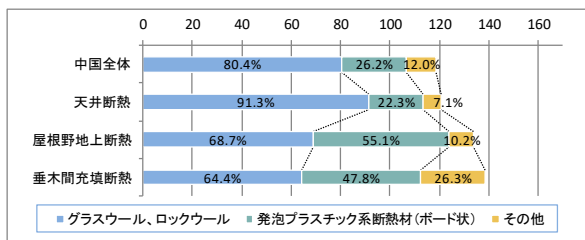


図 5-1-11h 同 中国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
四国全体	362	84.5	25.7	12.7	0.6	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	306	91.5	23.2	9.5	0.7
	屋根野地上断熱	81	80.2	49.4	19.8	0.0
	垂木間 充填断熱	88	69.3	50.0	31.8	0.0

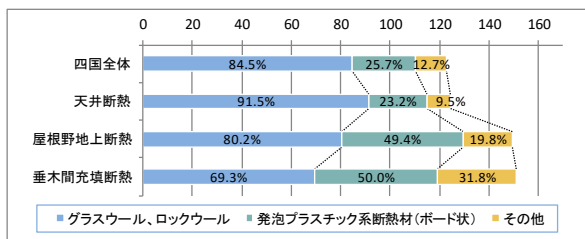


図 5-1-11i 同 四国地域

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
九州・沖縄全体	1,335	70.5	29.0	17.9	2.0	
断熱 工法 屋根・ 天井	天井断熱	996	85.4	24.6	11.7	1.5
	屋根野地上断熱	282	59.2	57.4	17.0	3.9
	垂木間 充填断熱	383	51.7	41.8	39.4	1.0

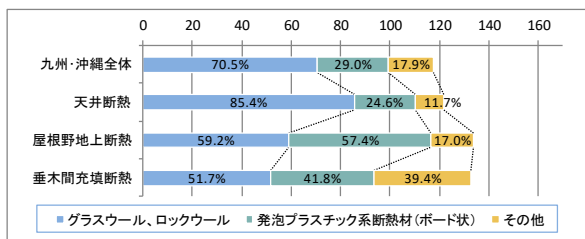


図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域

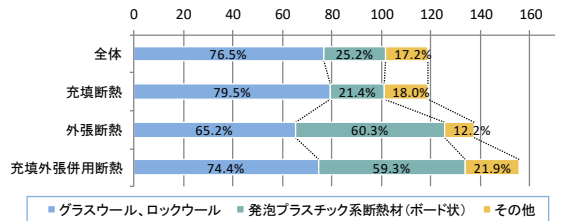
2) 普段たずさわっている「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

地域全体では、外壁「充填断熱」の場合 79.5%が「グラスウール・ロックウール」を用いている。「外張断熱」「充填外張併用断熱」では「グラスウール・ロックウール」と「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」の使用割合に近い。

地域別にみると、北海道では外壁の断熱工法に関わらず、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が10~20%程度全体平均より多く採用されている。近畿、四国地域では、「外張断熱」への「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」の使用は、全体平均より20~25%程度少ない。

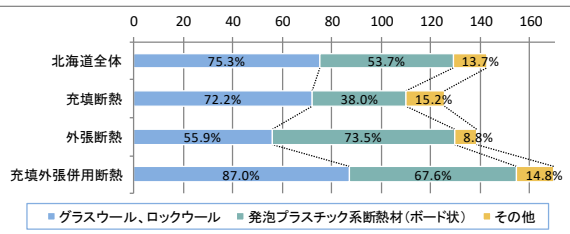
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30						
全体	8,203	76.5	25.2	17.2	1.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	7,134	79.5	21.4	18.0	1.2
	外張断熱	1,166	65.2	60.3	12.2	1.8
	充填外張 併用断熱	723	74.4	59.3	21.9	1.2

図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ



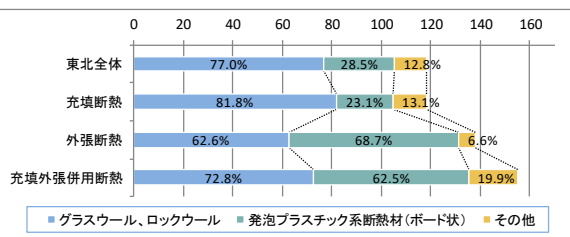
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30						
北海道全体	190	75.3	53.7	13.7	1.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	79	72.2	38.0	15.2	3.8
	外張断熱	34	55.9	73.5	8.8	0.0
	充填外張 併用断熱	108	87.0	67.6	14.8	0.0

図 5-1-12b 同 北海道地域



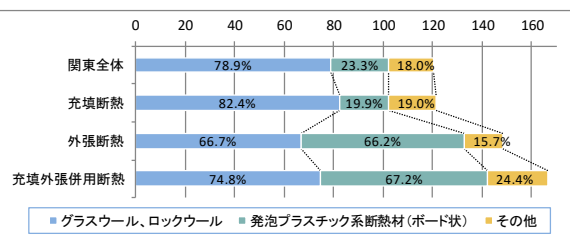
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30						
東北全体	1,329	77.0	28.5	12.8	1.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,143	81.8	23.1	13.1	0.9
	外張断熱	227	62.6	68.7	6.6	2.6
	充填外張 併用断熱	136	72.8	62.5	19.9	0.7

図 5-1-12c 同 東北地域



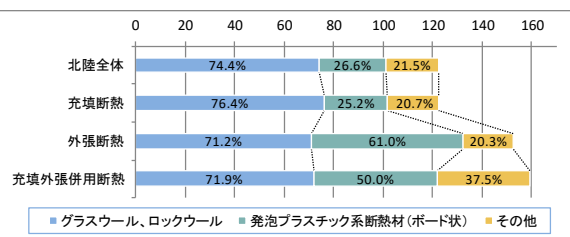
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30						
関東全体	1,405	78.9	23.3	18.0	1.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,261	82.4	19.9	19.0	1.3
	外張断熱	204	66.7	66.2	15.7	2.5
	充填外張 併用断熱	119	74.8	67.2	24.4	0.8

図 5-1-12d 同 関東地域



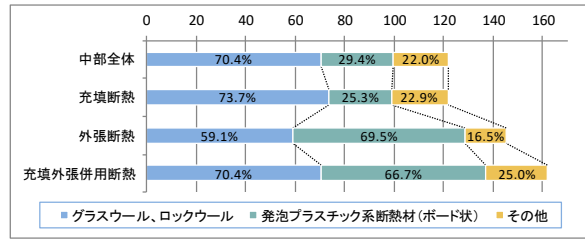
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30						
北陸全体	531	74.4	26.6	21.5	0.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	488	76.4	25.2	20.7	0.8
	外張断熱	59	71.2	61.0	20.3	0.0
	充填外張 併用断熱	32	71.9	50.0	37.5	0.0

図 5-1-12e 同 北陸地域



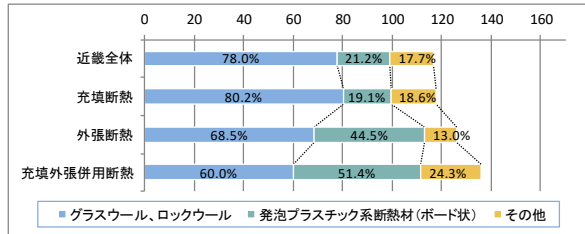
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
H30						
中部全体	1,249	70.4	29.4	22.0	1.1	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,107	73.7	25.3	22.9	0.9
	外張断熱	164	59.1	69.5	16.5	2.4
	充填外張併用断熱	108	70.4	66.7	25.0	0.9

図 5-1-12f 同 中部地域



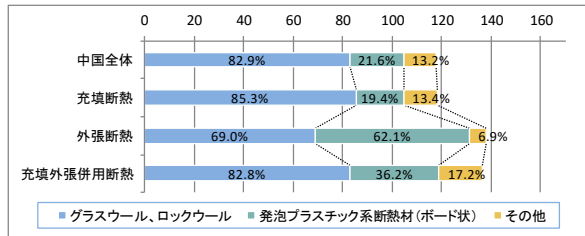
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
H30						
近畿全体	1,130	78.0	21.2	17.7	1.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,005	80.2	19.1	18.6	1.4
	外張断熱	146	68.5	44.5	13.0	2.1
	充填外張併用断熱	70	60.0	51.4	24.3	4.3

図 5-1-12g 同 近畿地域



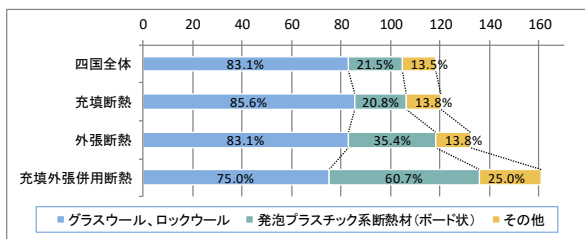
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
H30						
中国全体	767	82.9	21.6	13.2	1.3	
断熱工法 外壁	充填断熱	680	85.3	19.4	13.4	1.3
	外張断熱	87	69.0	62.1	6.9	0.0
	充填外張併用断熱	58	82.8	36.2	17.2	1.7

図 5-1-12h 同 中国地域



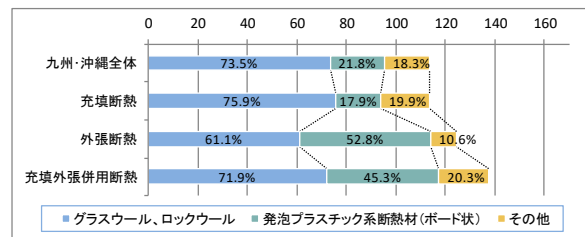
	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
H30						
四国全体	349	83.1	21.5	13.5	1.7	
断熱工法 外壁	充填断熱	298	85.6	20.8	13.8	1.3
	外張断熱	65	83.1	35.4	13.8	0.0
	充填外張併用断熱	28	75.0	60.7	25.0	7.1

図 5-1-12i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			無回答	
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他		
H30						
九州・沖縄全体	1,253	73.5	21.8	18.3	1.6	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,073	75.9	17.9	19.9	1.8
	外張断熱	180	61.1	52.8	10.6	1.7
	充填外張併用断熱	64	71.9	45.3	20.3	0.0

図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域



3) 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

床・基礎の断熱材は、どの工法も「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」との組合せが最も多い。

地域別で見ると、北海道地域は他地域と異なり、基礎断熱の割合が多いが、床断熱(根太間充填、根太+大引間充填)の場合「グラスウール・ロックウール」が「発泡プラスチック系」の使用割合を上回る。北陸地域では、床断熱の場合「グラスウール・ロックウール」が全体平均より約10%少ない。「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せの地域別では、前年度と同傾向である。

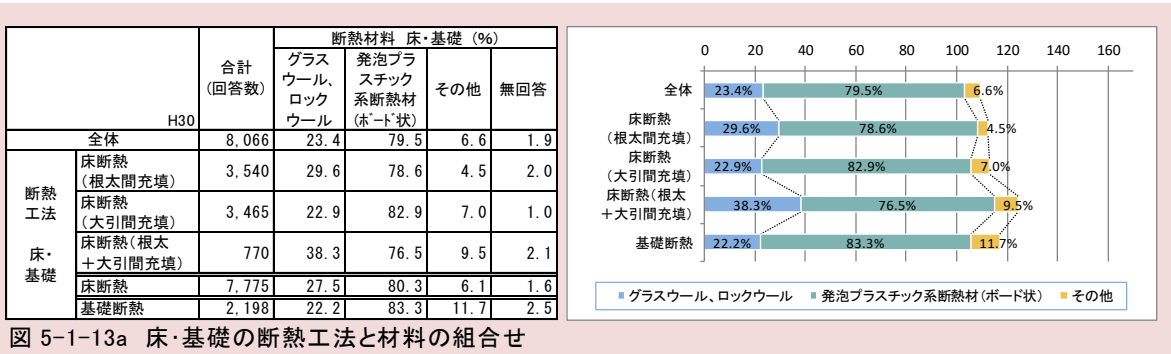


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

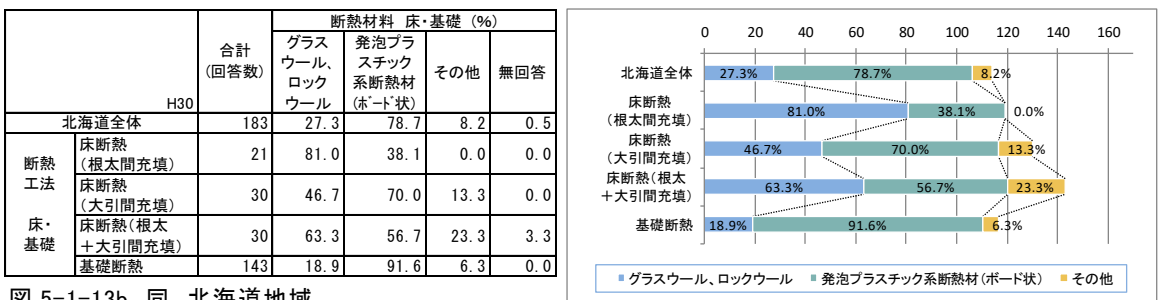


図 5-1-13b 同 北海道地域

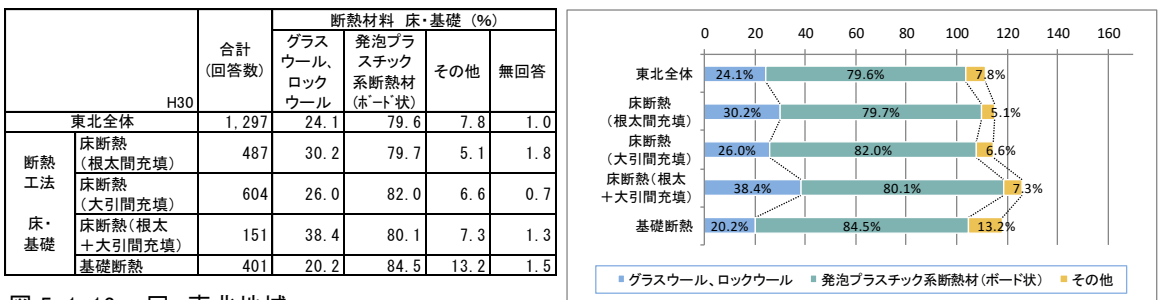


図 5-1-13c 同 東北地域

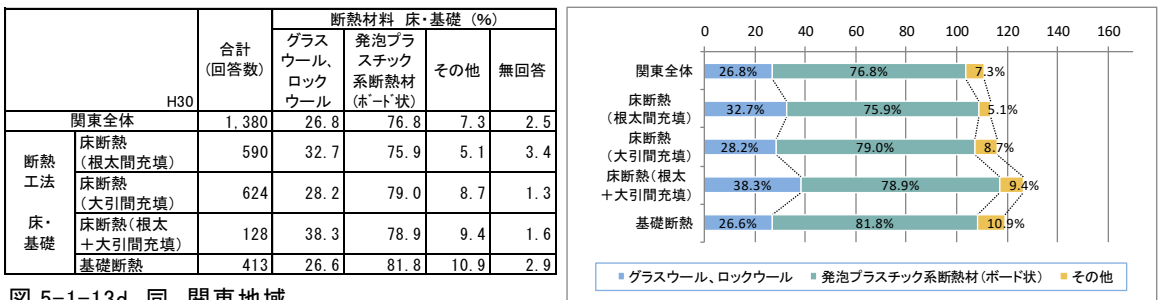
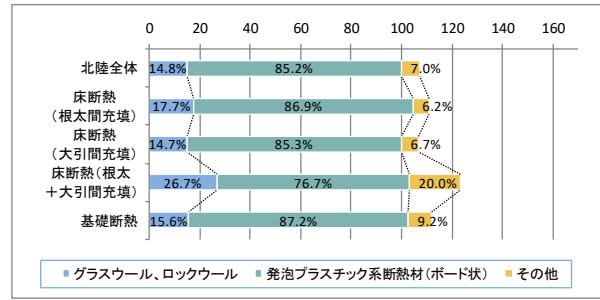


図 5-1-13d 同 関東地域

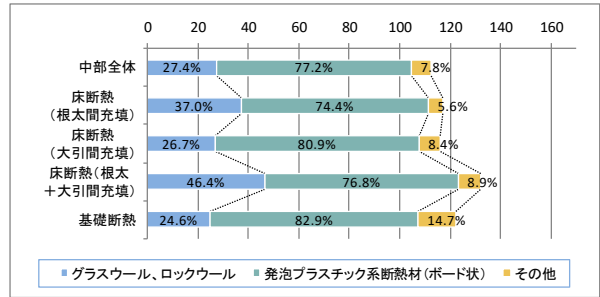
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
北陸全体		513	14.8	85.2	7.0	0.8
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	260	17.7	86.9	6.2	1.2
	床断熱 (大引間充填)	225	14.7	85.3	6.7	0.4
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	30	26.7	76.7	20.0	0.0
	基礎断熱	109	15.6	87.2	9.2	0.0

図 5-1-13e 同 北陸地域



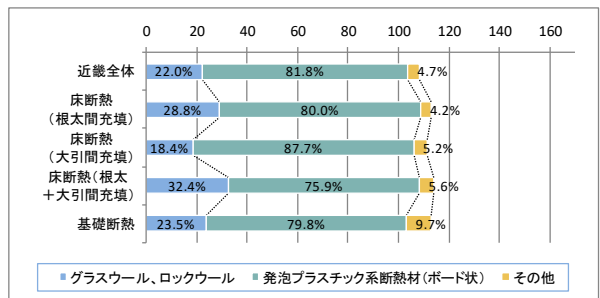
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
中部全体		1,235	27.4	77.2	7.8	1.8
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	535	37.0	74.4	5.6	1.9
	床断熱 (大引間充填)	561	26.7	80.9	8.4	0.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	112	46.4	76.8	8.9	0.9
	基礎断熱	333	24.6	82.9	14.7	2.1

図 5-1-13f 同 中部地域



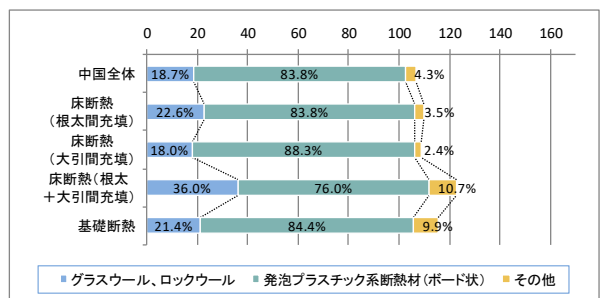
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
近畿全体		1,123	22.0	81.8	4.7	1.4
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	475	28.8	80.0	4.2	0.8
	床断熱 (大引間充填)	538	18.4	87.7	5.2	0.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	108	32.4	75.9	5.6	0.9
	基礎断熱	247	23.5	79.8	9.7	2.8

図 5-1-13g 同 近畿地域



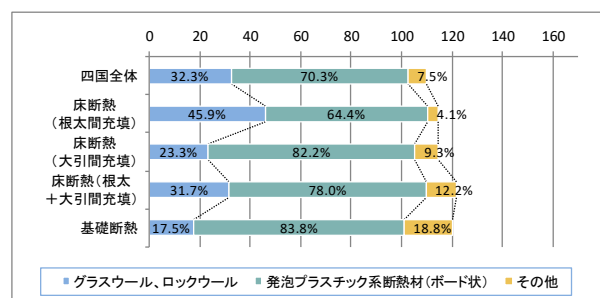
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
中国全体		765	18.7	83.8	4.3	2.5
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	345	22.6	83.8	3.5	2.3
	床断熱 (大引間充填)	333	18.0	88.3	2.4	1.5
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	75	36.0	76.0	10.7	2.7
	基礎断熱	192	21.4	84.4	9.9	4.7

図 5-1-13h 同 中国地域



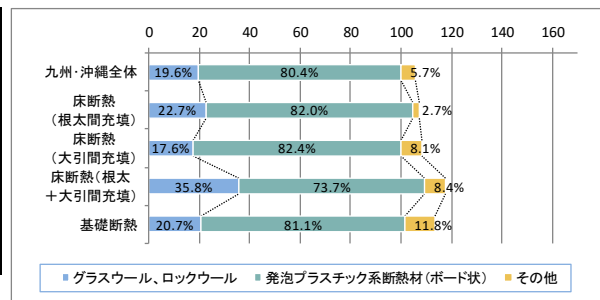
	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
四国全体		347	32.3	70.3	7.5	1.2
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	194	45.9	64.4	4.1	1.0
	床断熱 (大引間充填)	129	23.3	82.2	9.3	0.0
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	41	31.7	78.0	12.2	4.9
	基礎断熱	80	17.5	83.8	18.8	0.0

図 5-1-13i 同 四国地域



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
九州・沖縄全体	H30 1,223	19.6	80.4	5.7	2.9	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	633	22.7	82.0	2.7	2.5
	床断熱(大引間充填)	421	17.6	82.4	8.1	1.2
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	95	35.8	73.7	8.4	5.3
	基礎断熱	280	20.7	81.1	11.8	4.6

図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域



(2) 施工技術者講習で説明のあった断熱施工と実態とのギャップ

1) 今まで正しく施工していなかったところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、「気流止めへの施工」29.6%が最も多く、「筋かい部への施工」21.6%、「浴室への施工」15.4%が続く。前年度と同様の箇所や割合であり、特に施工上の注意が必要な箇所であると考えられる。

北海道地域を除き、地域別でも、「気流止めへの施工」「筋かい部への施工」「浴室への施工」が全体平均とほぼ同様の割合で回答されている。北海道地域では、「気流止めへの施工」10.8%、「その他」7.2%、「基礎への施工」4.8%の回答順となっているが、回答数が他地域の半分程度であり、正しい施工が実施されていると解釈できる。

H30	今まで正しく施工していなかったところ	回答数
	壁への施工	504
	屋根への施工	217
	天井への施工	431
	下屋への施工	308
	筋かい部への施工	990
	真壁への施工	149
	浴室への施工	706
	気流止めの施工	1,353
	基礎への施工	400
	その他	190
	無回答	1,974
	全体	4,574

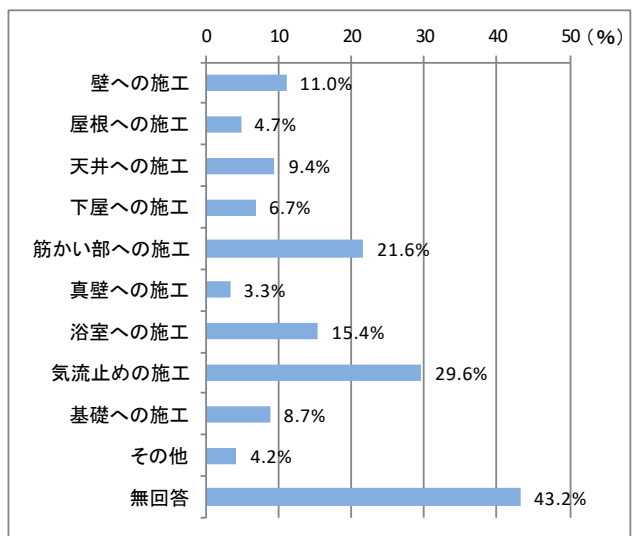


図 5-2-1a 今まで正しく施工していなかったところ

H30	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	4,574	2,600	56.8	11.0	4.7	9.4	6.7	21.6	3.3	15.4	29.6	8.7	4.2	43.2
北海道	83	31	37.3	4.8	3.6	2.4	3.6	1.2	2.4	3.6	10.8	4.8	7.2	62.7
東北	665	400	60.2	12.8	3.0	10.2	6.3	23.0	2.9	12.9	32.6	6.3	4.1	39.8
関東	889	482	54.2	10.5	5.4	9.6	6.3	20.9	3.6	14.3	28.2	7.8	4.9	45.8
北陸	244	133	54.5	11.9	7.0	10.2	9.8	25.0	7.8	16.4	30.7	7.8	2.5	45.5
中部	672	387	57.6	10.6	3.3	9.2	7.3	22.2	2.5	16.2	29.6	7.6	4.5	42.4
近畿	591	342	57.9	10.8	5.6	10.3	8.8	19.8	2.9	18.6	30.5	13.4	4.6	42.1
中国	408	255	62.5	12.0	6.1	10.0	8.1	26.2	4.4	15.4	33.6	9.3	2.9	37.5
四国	341	179	52.5	9.7	5.6	8.8	5.0	19.4	2.3	11.7	26.1	7.0	3.8	47.5
九州・沖縄	681	391	57.4	11.2	4.4	8.4	4.7	22.0	2.5	18.8	28.8	10.9	3.7	42.6

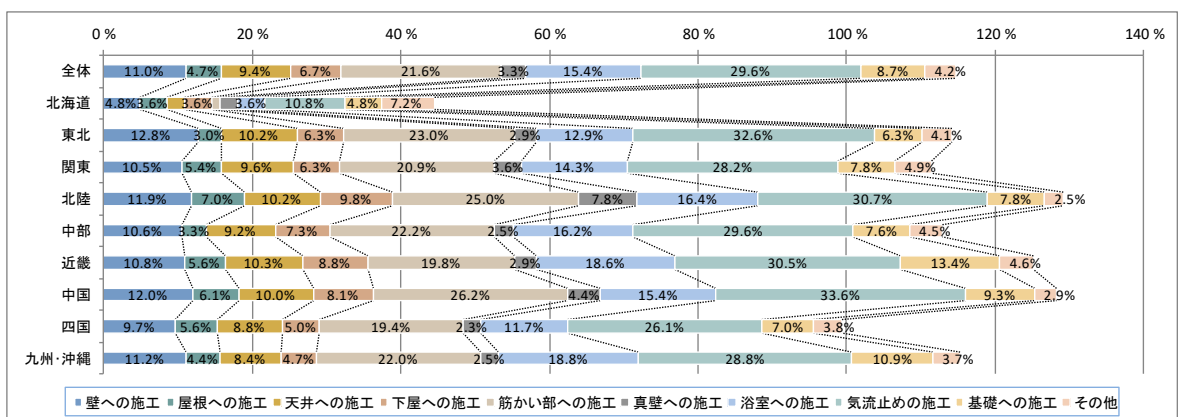


図 5-2-1b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

※北海道の天井、筋交い、真壁の数値は省略

2) 難しい・やりにくいと感じたところ

講習で説明のあった断熱施工の中で「難しい・やりにくいと感じたところ」は、「今まで正しく施工していなかったところ」と同様、「筋かい部への施工」27.6%、「気流止めの施工」20.6%が多い。前年度と同様の箇所や割合であり、特に施工上の注意が必要な箇所であると考えられる。

「今まで正しく施工していなかったところ」と同様、「気流止めへの施工」「筋かい部への施工」が全体平均とほぼ同様の割合で回答されている。北海道地域では「気流止めへの施工」「下屋への施工」がそれぞれ12.0%となっている。中国地域では「筋交い部」35.5%の回答が全体平均と比較して多い。

H30 難しい・やりにくいと感じたところ	回答数
壁への施工	285
屋根への施工	340
天井への施工	379
下屋への施工	326
筋かい部への施工	1,263
真壁への施工	271
浴室への施工	397
気流止めの施工	941
基礎への施工	294
その他	179
無回答	1,927
全体	4,574

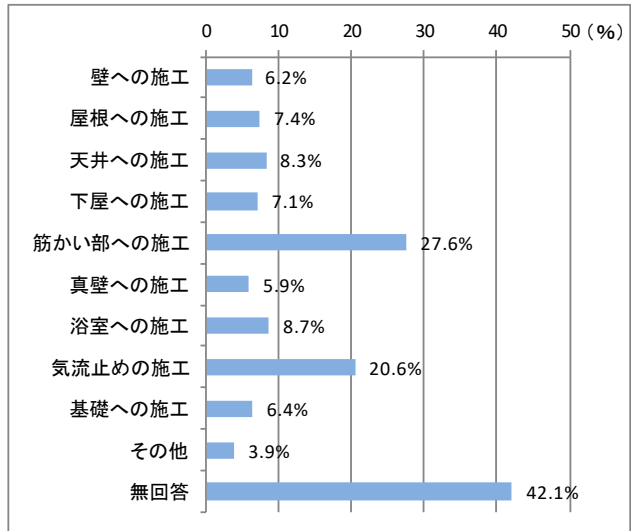


図 5-2-2a 難しい・やりにくいと感じたところ

H30	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいと感じたところ %											
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答	
全体	4,574	2,647	57.9	6.2	7.4	8.3	7.1	27.6	5.9	8.7	20.6	6.4	3.9	42.1	
北海道	83	35	42.2	1.2	6.0	4.8	12.0	3.6	2.4	4.8	12.0	4.8	4.8	57.8	
東北	665	397	59.7	7.1	5.3	6.5	6.0	29.2	8.1	6.8	19.2	3.5	4.2	40.3	
関東	889	503	56.6	6.0	7.0	8.9	6.9	28.0	6.2	7.3	19.6	6.3	4.3	43.4	
北陸	244	136	55.7	6.1	6.6	11.9	9.4	31.1	6.1	10.2	25.4	6.1	3.3	44.3	
中部	672	393	58.5	6.5	7.3	8.8	7.6	28.6	5.8	9.1	22.5	7.7	4.3	41.5	
近畿	591	344	58.2	5.8	7.4	8.8	6.9	25.9	4.9	12.2	23.9	10.5	3.0	41.8	
中国	408	274	67.2	5.9	11.5	9.6	9.6	35.5	7.1	10.5	19.9	6.9	3.9	32.8	
四国	341	183	53.7	5.9	8.2	7.3	6.5	24.6	4.1	5.3	20.5	3.5	3.2	46.3	
九州・沖縄	681	382	56.1	6.9	7.9	7.2	5.7	24.5	5.0	9.4	18.2	6.2	4.0	43.9	

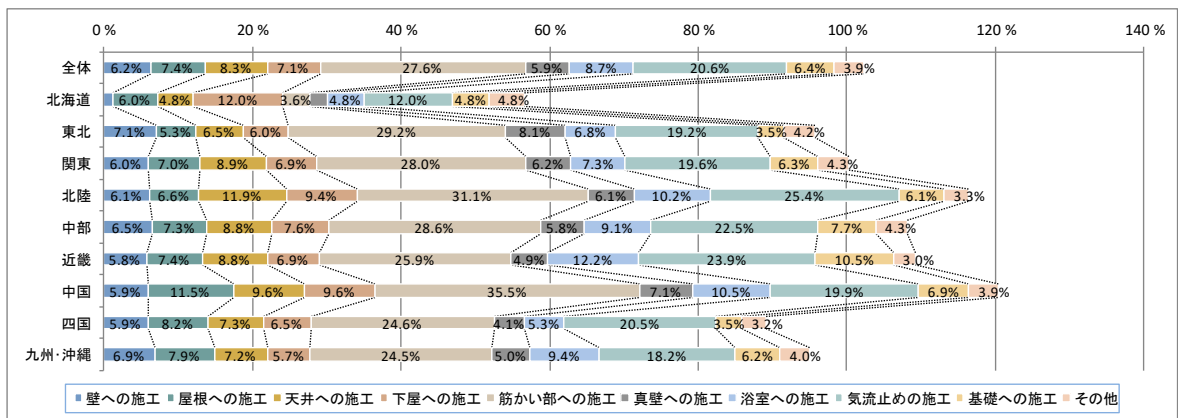


図 5-2-2b 地域別の難しい・やりにくいと感じたところ

※北海道の壁、真壁の数値は省略

3) 講習の断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて

講習で説明のあった断熱施工とこれまで行ってきた施工とのギャップについて、自由記述では以下のような記述があった。昨年度より「施工できていなかった」という自由意見は10回答程度あったが、本年度は2回答に減少している。(全10回答を整理)

()内は回答数

●施工できていなかった(2)

- ・問題なく施工できていると思っていましたが、今日講義を聞いて、できていない箇所がある事に気づき、勉強になりました。 等

●施工できている(3)

- ・普段から高気密、高断熱住宅を施工しており、本日は講習内容にも沿った施工をしておりますが、「なぜその施工をしなければならないのか」という根本について学びました。 等

●その他(5)

- ・設計図に明記されている箇所には断熱材を施工しているものの、細かい納まり考え方が分かり、説明(指示)しやすくなった。 等

(3) 今回の講習内容で施工する場合の手間

1) 施工手間は増加か減少か

今回の講習内容で施工する場合の手間について、「ほとんど変わらない」34.8%（前年度+0.2%）、「坪あたり人工が増加する」という回答が28.3%（前年度-2.4%）、どれくらい人工が増加するかについては、平均1.39人工増であった。

職種別では、前年度と同様、施工は「人工増」と答える割合が多いの対し、設計では「ほとんど変わらない」と答える割合が多い。

地域別では、北海道地域は「ほとんど変わらない」が61.4%、東北地域では41.7%となっている。中国地域では、「人工増」が全体平均より10%程度高い。

H30 手間	回答数
ほとんど変わらない	1,591
坪あたり人工が増加する	1,295
坪あたり人工が減少する	20
無回答	1,682
全体	4,574

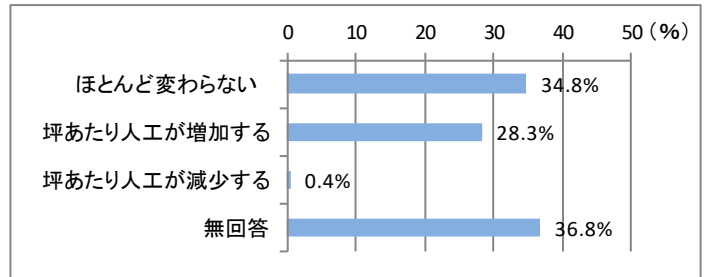


図 5-3-1a 今回の講習内容で施工する場合の手間

H30	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	4,574	34.8	28.3	0.4	36.8
施工 (全体との差)	1,406	34.4 -0.4	35.7 +7.4	0.6 +0.2	29.5 -
現場管理 (全体との差)	1,620	43.1 +8.4	34.8 +6.5	0.4 -0.1	22.2 -
設計 (全体との差)	623	36.6 +1.8	23.1 -5.2	0.3 -0.1	40.1 -
その他 (全体との差)	803	20.3 -14.5	8.5 -19.8	0.4 -0.1	70.9 -

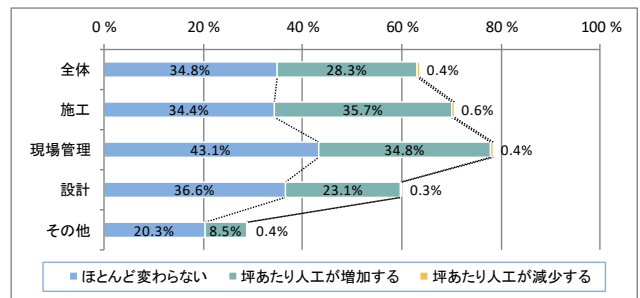


図 5-3-1b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

H30	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	4,574	34.8	28.3	0.4	36.8
北海道 (全体との差)	83	61.4 +26.7	7.2 -21.1	0.0 -0.4	31.3 -
東北 (全体との差)	665	41.7 +6.9	26.3 -2.0	0.3 -0.1	32.0 -
関東 (全体との差)	889	31.4 -3.4	26.9 -1.4	0.6 +0.1	41.3 -
北陸 (全体との差)	244	30.3 -4.5	30.7 +2.4	0.4 -0.0	38.9 -
中部 (全体との差)	672	36.9 +2.1	28.0 -0.3	0.4 +0.0	35.3 -
近畿 (全体との差)	591	33.8 -0.9	29.4 +1.1	0.5 +0.1	36.5 -
中国 (全体との差)	408	30.1 -4.6	37.5 +9.2	0.7 +0.3	31.9 -
四国 (全体との差)	341	30.5 -4.3	27.0 -1.3	0.6 +0.1	42.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	681	34.5 -0.3	28.3 +0.0	0.1 -0.3	37.3 -

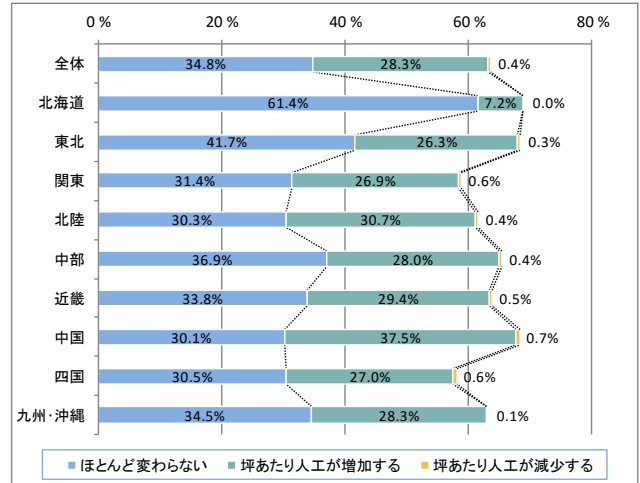


図 5-3-1c 地域別の今回の講習内容で施工する場合の手間

2) 今回の講習内容で施工する場合の手間について

今回の講習内容で施工する場合の手間について、自由記述では以下のような記述があった。(全9回答を整理)

【手間が増える】

- ・今の現状で講習の内容はよくわかるが、工期、金銭面できびしい為、なかなか大変である。
- ・これだけのことをするとすごく時間がかかると思った。良心的な業者を選びたいと思った。
- ・これから今の様な工法で施工出来れば良いと思いますが施工を行う上では大変手間等を考慮しなくてはと思います。

【理解が必要】

- ・断熱施工した分、工事費がUPすると思う。建築主が理解してくれ、UP分を納得してもらえる様に説明するのがむずかしい。
- ・実際施工する方の現場の意見を聞いて、修正すべきところ(作りにくいなど)があるか確認したい。

(4) 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時のチェックに使用する図面

断熱仕様について設計時に記載する図面または現場管理時にチェックに使用する図面は、どの部位も「矩計図」「仕上表」「特記仕様書」が主に用いられている。

床・基礎部分の「その他」5.4%のうち、基礎伏図など「構造関連図書」を使用するという回答が3.9%あった。

各部位で使用する図面や回答の割合は、毎年ほとんど変わっていない。

①屋根・天井	回答数
特記仕様書	1,965
仕上表	3,076
平面図	550
平面詳細図	742
矩計図	3,561
その他	94
無回答	1,337
全体	6,092

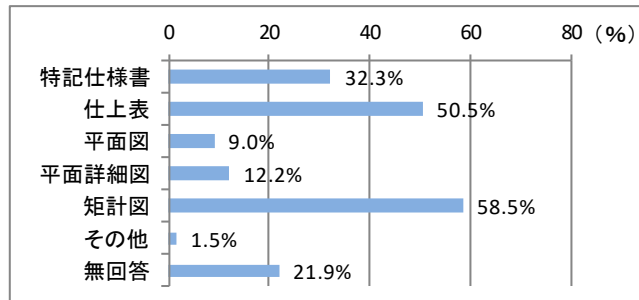


図 5-4a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

②外壁	回答数
特記仕様書	1,897
仕上表	3,023
平面図	547
平面詳細図	1,033
矩計図	3,497
その他	95
無回答	1,391
全体	6,092

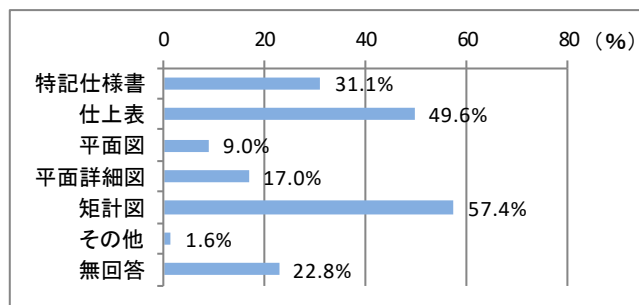


図 5-4b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

③床・基礎	回答数
特記仕様書	1,881
仕上表	2,850
平面図	535
平面詳細図	671
矩計図	3,430
その他	332
無回答	1,443
全体	6,092

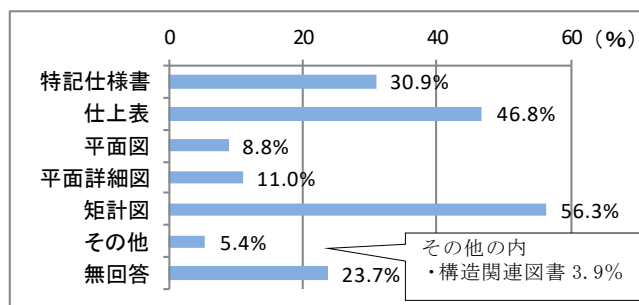


図 5-4c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

(5) 普段目指している省エネ基準レベル、および手がけている住宅の省エネ基準レベル

1) 普段目指している省エネ基準レベル

「平成 28・H25・H11 年基準レベル（以下、H28 年基準相当）」が 37.4%（前年度 -6.2%）、
「平成 28 年基準を超えたレベル（以下、H28 年基準超）」は 32.0%（前年度 +1.9%）であった。

地域別にみると、「平成 28 年基準以上」が、北海道地域では 61.6%（前年度 +20.3%）四国地域では 36.9%（前年度 +10.7%）と前年度より大きく増加した。北陸、中部、近畿、中国、九州・沖縄地方では、「H28 年基準相当」の割合が最も多い。

H30 基準レベル	回答数
H28年度基準を超えたレベル	1,950
H28・H25・H11年基準レベル	2,276
H4年基準レベル以下	252
不明	1,614
全体	6,092

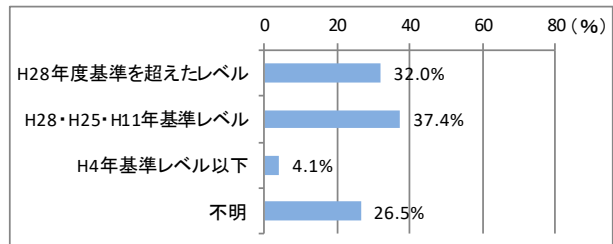


図 5-5a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

H30	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)			
		H28年基準を超えたレベル	H28・H25・H11基準	H4基準以下	無回答
全体	6,092	32.0	37.4	4.1	26.5
北海道	125	61.6	29.6	0.0	8.8
(全体との差)		+29.6	-7.8	-4.1	-
東北	913	33.5	45.3	3.0	18.2
(全体との差)		+1.5	+8.0	-1.2	-
関東	981	34.1	36.0	4.5	25.4
(全体との差)		+2.1	-1.4	+0.3	-
北陸	429	31.5	40.1	3.3	25.2
(全体との差)		-0.5	+2.7	-0.9	-
中部	965	32.3	36.4	4.1	27.2
(全体との差)		+0.3	-1.0	+0.0	-
近畿	851	25.6	36.5	5.8	32.1
(全体との差)		-6.4	-0.8	+1.6	-
中国	528	34.8	40.5	3.4	21.2
(全体との差)		+2.8	+3.2	-0.7	-
四国	187	36.9	24.6	4.3	34.2
(全体との差)		+4.9	-12.8	+0.1	-
九州・沖縄	1,113	28.2	34.0	4.7	33.2
(全体との差)		-3.8	-3.4	+0.5	-

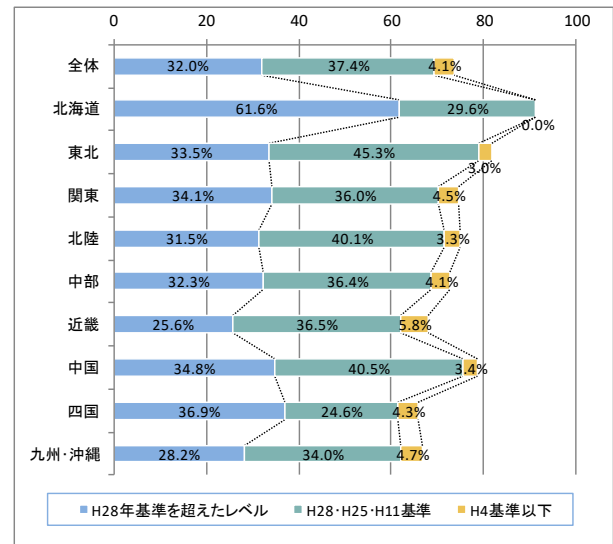
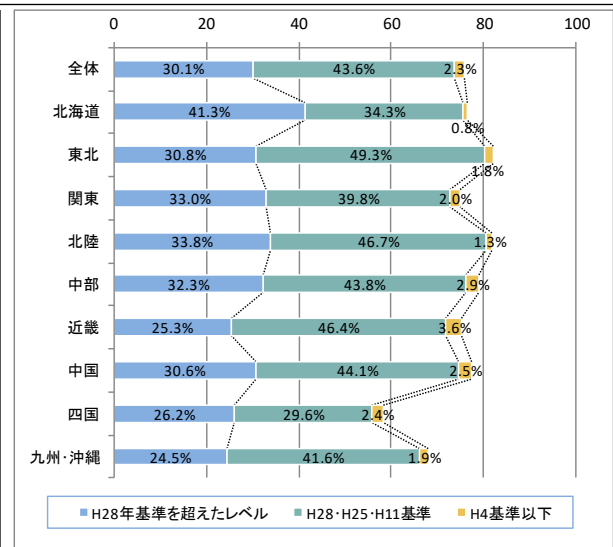


図 5-5b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

H29	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)			
		H28年基準を超えたレベル	H28・H25・H11基準	H4基準以下	無回答
全体	8,318	30.1	43.6	2.3	24.1
北海道	254	41.3	34.3	0.8	23.6
(全体との差)		+11.3	-9.3	-1.5	-
東北	1,307	30.8	49.3	1.8	18.1
(全体との差)		+0.8	+5.7	-0.4	-
関東	1,314	33.0	39.8	2.0	25.3
(全体との差)		+2.9	-3.8	-0.3	-
北陸	822	33.8	46.7	1.3	18.1
(全体との差)		+3.8	+3.1	-0.9	-
中部	1,289	32.3	43.8	2.9	21.0
(全体との差)		+2.2	+0.2	+0.7	-
近畿	1,176	25.3	46.4	3.6	24.7
(全体との差)		-4.7	+2.9	+1.3	-
中国	558	30.6	44.1	2.5	22.8
(全体との差)		+0.6	+0.5	+0.2	-
四国	294	26.2	29.6	2.4	41.8
(全体との差)		-3.9	-14.0	+0.1	-
九州・沖縄	1,304	24.5	41.6	1.9	32.0
(全体との差)		-5.6	-1.9	-0.4	-



平成 29 年度調査 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

2) 手がけている住宅の省エネ基準レベル

普段目指している省エネ基準レベルについて、質問 12-5 で「性能基準に従い外皮計算等を行う」、「仕様基準に従い外皮等の仕様を決める」の回答があるものを「手がけている住宅の省エネ基準レベル」とし、目指しているレベルに対し外皮性能や仕様の決定方法が不明なものを「その他」とした。

手がけている住宅の省エネ基準レベルは「H28 年基準超」26.3%、「H28 年基準相当」26.2%とほぼ同じ割合である。

「H28 年基準超」の回答者は性能基準、「H28 年基準相当」の回答者は仕様基準を、断熱性能を決める方法として多く回答している。

H30	基準レベル	回答数
	H28年基準を超えたレベル	1,602
	H28・H25・H11年基準レベル	1,594
	H4年基準レベル以下	91
	その他	1,073
	無回答	1,732
	全体	6,092

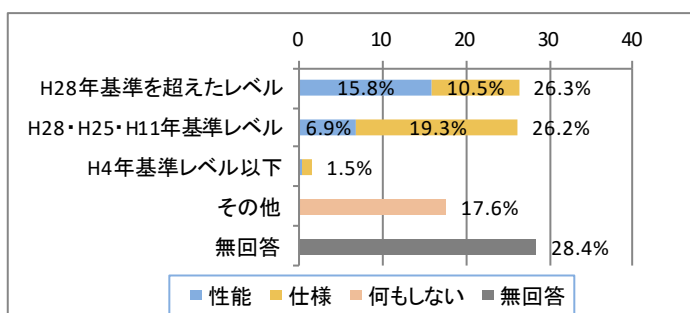


図 5-5c 手がけている住宅の省エネ基準レベル

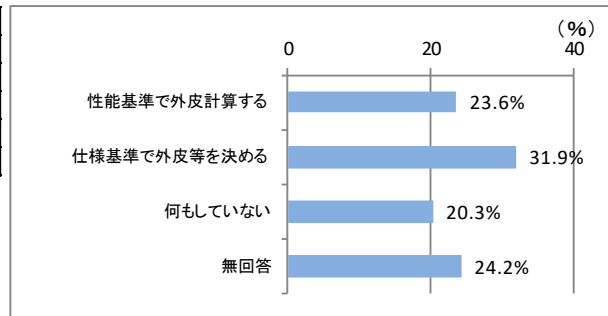
(6) 断熱性能を決める方法

断熱性能を決める方法について、「性能基準に従い外皮計算等を行う」は23.6%、「仕様基準に従い外皮等の仕様を決める」は31.9%の回答となっており、前年度とほぼ同様の割合である。

地域別では、北海道地域において「性能基準に従い外皮計算等を行う」は54.4%となっており全体平均より30.8%高く、前年度よりも20.9%増加している。北海道を除き、前年度との割合に大きな差はなく、「何もしていない」の回答が各地域で20%程度存在する。

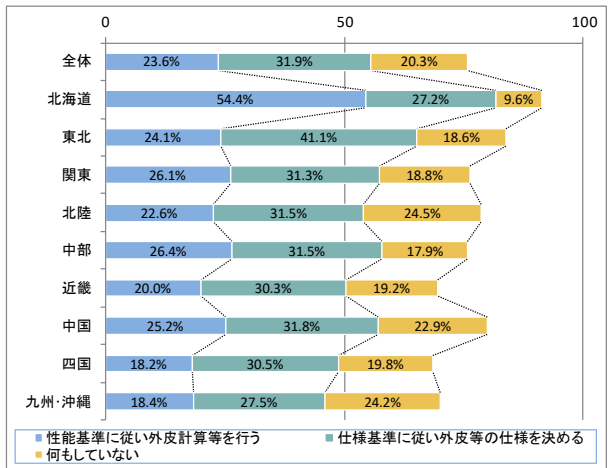
H30 断熱性能	回答数
性能基準に従い外皮計算等を行う	1,438
仕様基準に従い外皮等の仕様を決める	1,944
何もしていない	1,234
無回答	1,476
全体	6,092

図 5-6a 断熱性能を決める方法

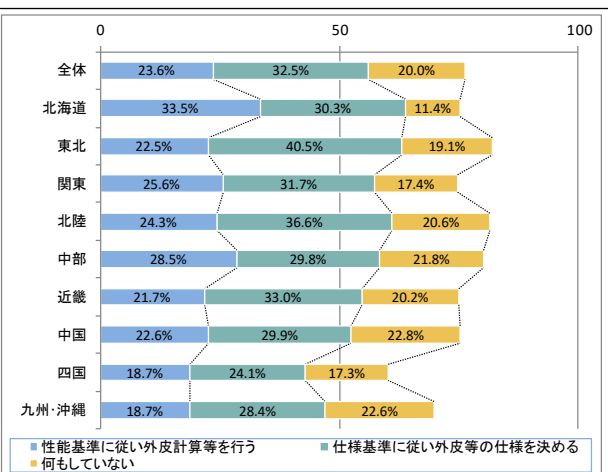


H30	合計 (回答数)	計算したことのある断熱性能 (%)			
		性能基準 に従い 外皮計算 等を行う	仕様基準 に従い 外皮等の 仕様を 決める	何もして いない	無回答
全体	6,092	23.6	31.9	20.3	24.2
北海道	125	54.4	27.2	9.6	8.8
(全体との差)		+30.8	-4.7	-10.7	-
東北	913	24.1	41.1	18.6	16.2
(全体との差)		+0.5	+9.2	-1.6	-
関東	981	26.1	31.3	18.8	23.9
(全体との差)		+2.5	-0.6	-1.5	-
北陸	429	22.6	31.5	24.5	21.4
(全体との差)		-1.0	-0.4	+4.2	-
中部	965	26.4	31.5	17.9	24.1
(全体との差)		+2.8	-0.4	-2.3	-
近畿	851	20.0	30.3	19.2	30.6
(全体との差)		-3.6	-1.6	-1.1	-
中国	528	25.2	31.8	22.9	20.1
(全体との差)		+1.6	-0.1	+2.7	-
四国	187	18.2	30.5	19.8	31.6
(全体との差)		-5.4	-1.4	-0.5	-
九州・沖縄	1,113	18.4	27.5	24.2	29.9
(全体との差)		-5.2	-4.4	+3.9	-

図 5-6b 地域別の断熱性能を決める方法



H29	合計 (回答数)	計算したことのある断熱性能 (%)			
		性能基準 に従い 外皮計算 等を行う	仕様基準 に従い 外皮等の 仕様を 決める	何もして いない	無回答
全体	8,318	23.6	32.5	20.0	23.9
北海道	254	33.5	30.3	11.4	24.8
(全体との差)		+9.9	-2.2	-8.6	-
東北	1,307	22.5	40.5	19.1	18.0
(全体との差)		-1.1	+8.0	-1.0	-
関東	1,314	25.6	31.7	17.4	25.3
(全体との差)		+2.0	-0.8	-2.7	-
北陸	822	24.3	36.6	20.6	18.5
(全体との差)		+0.7	+4.1	+0.5	-
中部	1,289	28.5	29.8	21.8	19.9
(全体との差)		+4.9	-2.7	+1.8	-
近畿	1,176	21.7	33.0	20.2	25.1
(全体との差)		-1.9	+0.5	+0.2	-
中国	558	22.6	29.9	22.8	24.7
(全体との差)		-1.0	-2.6	+2.7	-
四国	294	18.7	24.1	17.3	39.8
(全体との差)		-4.9	-8.3	-2.7	-
九州・沖縄	1,304	18.7	28.4	22.6	30.3
(全体との差)		-4.9	-4.1	+2.6	-



平成 29 年度調査 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

(7) 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」35.4%が最も多い。

職種別では、施工は「職場内研修から」24.5%が全体平均より6.3%多い。設計は「公的講習会・仕様書から」32.9%が全体平均より7.7%多い。「その他」の回答のうち、「インターネットから」0.8%が最も多い。

H30 断熱に関する情報入手先	回答数
職場研修から	1,936
住宅生産関連団体の講習会などから	2,186
公的講習会・仕様書から	2,690
建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから	3,773
建築雑誌から	1,300
その他	432
無回答	2,286
全体	10,666

図 5-7a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

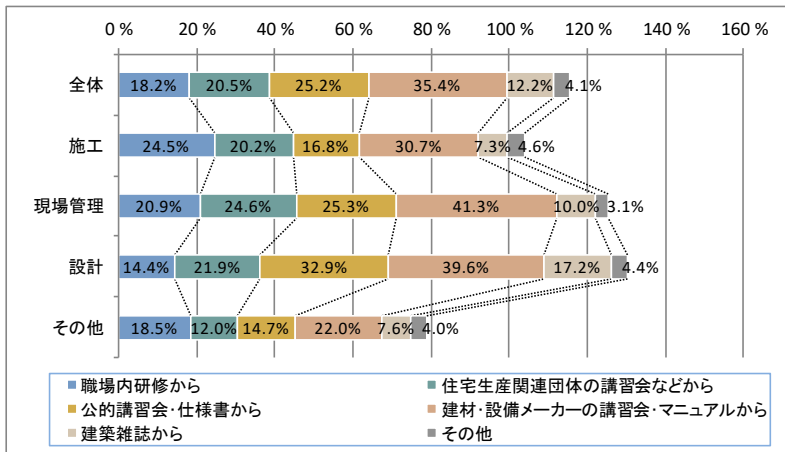
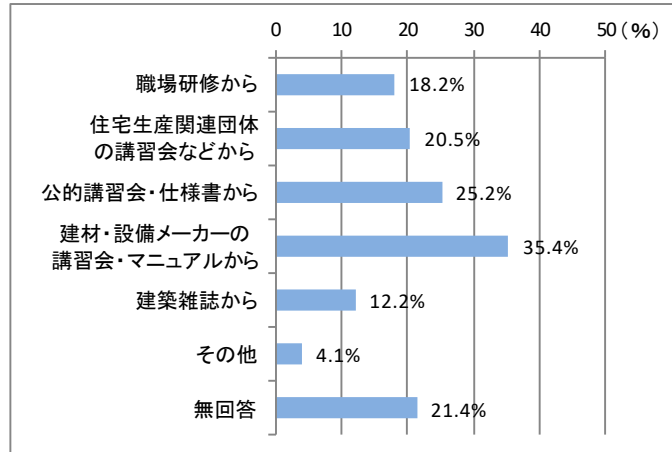


図 5-7b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱に関する情報入手先「その他」	回答数	%
職場関係	18	0.2%
建材メーカー、専門施工業者	10	0.1%
インターネット	89	0.8%
所属団体	34	0.3%
専門メディア	8	0.1%
仕様書、マニュアル	12	0.1%
人的ネットワーク	42	0.4%
その他講習会等	20	0.2%
ハウスメーカー	3	0.0%
現場	13	0.1%
海外情報	3	0.0%
自分で調べる	8	0.1%
省エネ団体	5	0.0%
未分類	10	0.1%
不明	8	0.1%
その他記入有り合計	283	2.7%
その他全体	432	4.1%
全体	10,666	100.0%

図 5-7c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

(8) 最適な断熱住宅を普及・建設していくための意識啓発

どの分野の意識啓発が必要かについては、前年度に引き続き「設計従事者」が 50.1%（前年度 +0.3%）で最も多い。次いで「現場施工者」49.7%（前年度+0.6%）、「施工管理者」47.4%（前年度+1.4%）で、いずれも微増し横並びの割合となっている。「建築主」は 22.8%であった。

職種別に見ると、現場管理は「現場施工者」59.6%「施工管理者」61.2%で、全体平均より 10%程度高い。設計では「設計従事者」64.2%「建築主」47.3%で、全体平均より 10%程度高い。

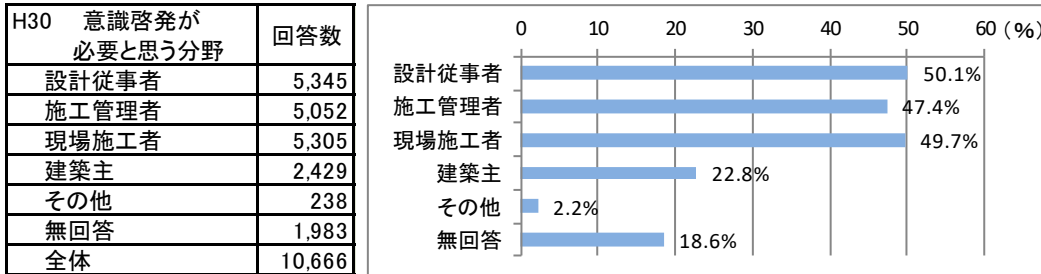


図 5-8a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

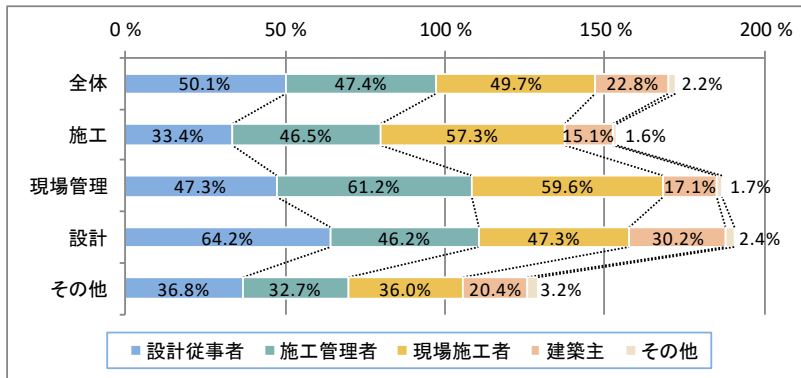


図 5-8b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

意識啓発が必要「その他」	回答数	%
設計従事者		0.0%
施工管理者	1	0.0%
現場施工者	13	0.1%
建築主	10	0.1%
設備施工者	5	0.0%
工務店、建設会社	6	0.1%
元請	2	0.0%
経営者	27	0.3%
営業	37	0.3%
会社全体	2	0.0%
建材メーカー	7	0.1%
建材販売	2	0.0%
ハウスメーカー	7	0.1%
不動産業者	10	0.1%
検査機関		0.0%
公的機関	2	0.0%
行政、政治家	17	0.2%
マスコミ	5	0.0%
関係する全ての人、複数指摘	28	0.3%
国民、一般の人々	9	0.1%
その他	12	0.1%
不明	14	0.1%
その他記入有り合計	216	2.0%
その他全体	238	2.2%
全体	10,666	100.0%

図 5-8c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

6. 講習内容・資料検討に関する調査結果

(1) 施工技術者講習

① 講習会資料(テキスト、DVD、カットモデル)

1) 施工技術者講習テキスト

施工技術者講習では基本編及び施工編のテキストを使用した。「大変分かりやすかった」24.8%、「わかりやすかった」52.1%、「普通」18.9%の合計は95.8%であり、構成・内容は適切であったと言える。

職種別の回答の偏りはなく、全体的に適切な内容であったといえる。

自由記述では、「とても分かりやすい説明とテキスト、DVDで普段疑問に思っていた点を解消することができました」という感想が見られた。「地域区分の分かる地図が欲しい」「地域ごとのテキストがあれば良い」という意見・要望があった。

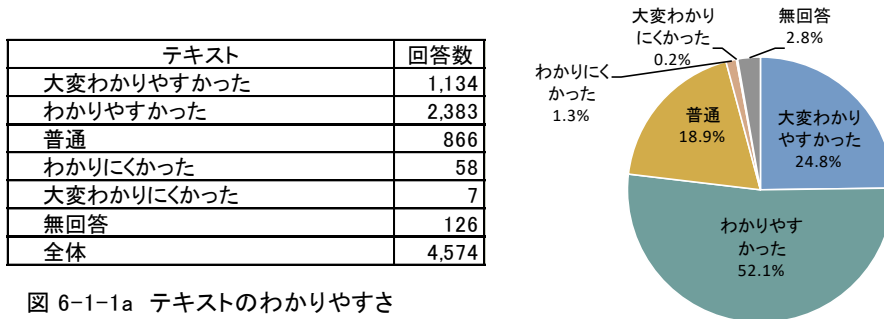
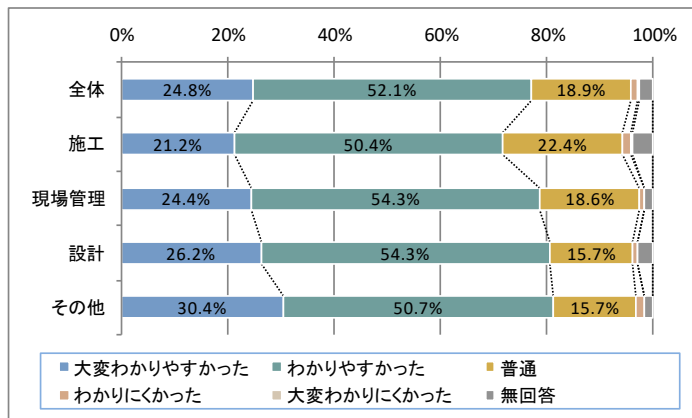


図 6-1-1a テキストのわかりやすさ



※10%以下、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	テキスト (%)					無回答
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	
H30施工							
全体	4,574	24.8	52.1	18.9	1.3	0.2	2.8
施工	1,406	21.2	50.4	22.4	1.8	0.3	3.9
(全体との差)		-3.6	-1.7	+3.5	+0.5	+0.1	-
現場管理	1,620	24.4	54.3	18.6	0.8	0.1	1.7
(全体との差)		-0.4	+2.2	-0.3	-0.5	-0.0	-
設計	623	26.2	54.3	15.7	0.8	0.2	2.9
(全体との差)		+1.4	+2.2	-3.2	-0.5	+0.0	-
その他	803	30.4	50.7	15.7	1.6	0.0	1.6
(全体との差)		+5.6	-1.4	-3.2	+0.4	-0.2	-

図 6-1-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

2) 施工技術者講習 施工DVD

DVD についての受講者が「大変分かりやすかった」28.4%、「わかりやすかった」49.5%、「普通」18.9%の合計は93.4%であり、構成・内容は適切であったと言える。

テキストと同様に職種によるわかりやすさの偏りはなく、いずれも同様の割合となっている。

自由記述では、「映像は大変わかりやすく、記憶にも長く残る」という感想が見られた。要望として、「詳しい納まりの施工状況を見たいです。(特に困難な部位)」があった。その他に「DVD の職人さんがヘルメットかぶってなかったり、エア工具つかってるけどメガネかけてないのが気になりました」という意見があった。

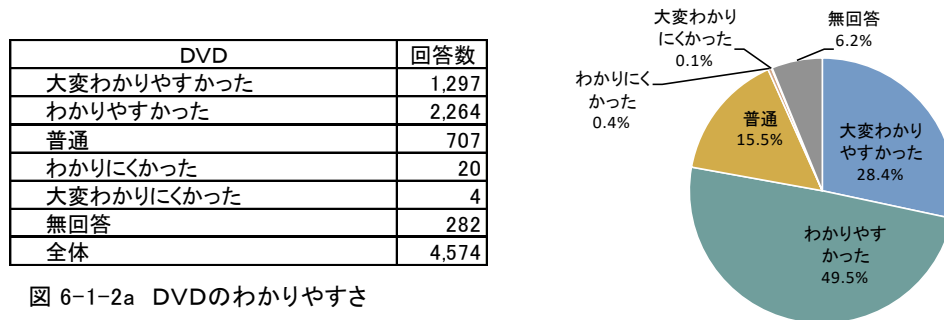
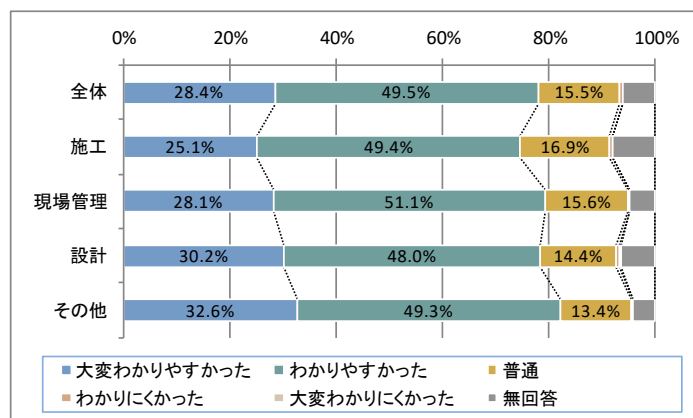


図 6-1-2a DVDのわかりやすさ



※10%以下、無回答の数値は省略

H30施工	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	4,574	28.4	49.5	15.5	0.4	0.1	6.2
施工	1,406	25.1	49.4	16.9	0.5	0.1	8.0
(全体との差)		-3.2	-0.1	+1.4	+0.1	-0.0	-
現場管理	1,620	28.1	51.1	15.6	0.2	0.1	4.9
(全体との差)		-0.3	+1.6	+0.1	-0.2	-0.0	-
設計	623	30.2	48.0	14.4	0.5	0.3	6.6
(全体との差)		+1.8	-1.5	-1.0	+0.0	+0.2	-
その他	803	32.6	49.3	13.4	0.5	0.0	4.1
(全体との差)		+4.3	-0.2	-2.0	+0.1	-0.1	-

図 6-1-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

3) 施工技術者講習用カットモデル

カットモデルについて「大変分かりやすかった」18.4%、「わかりやすかった」38.3%、「普通」21.5%の合計は78.2%であった。北海道と沖縄および半日講習ではカットモデルを使用していない。

自由記述では、「実物で説明があるとありがたいです」という意見があった。

カットモデル	回答数
大変わかりやすかった	146
わかりやすかった	304
普通	171
わかりにくかった	18
大変わかりにくかった	4
無回答	151
全体	794

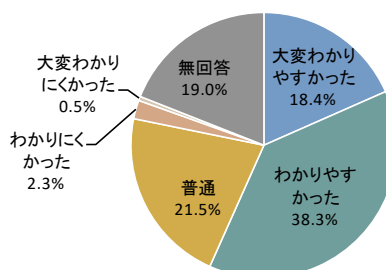
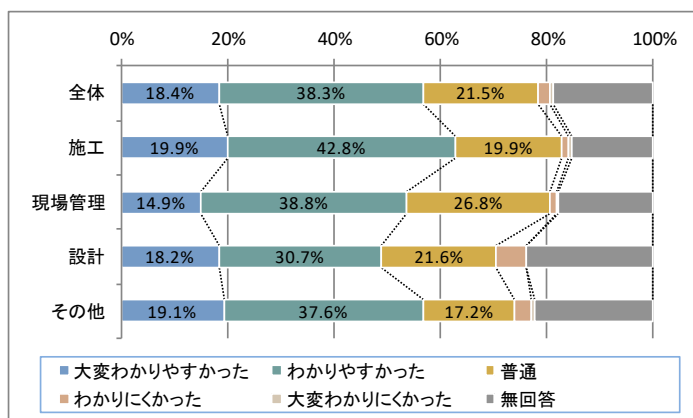


図 6-1-3a カットモデルのわかりやすさ



※10%以下、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
H30施工	794	18.4	38.3	21.5	2.3	0.5	19.0
全体	794	18.4	38.3	21.5	2.3	0.5	19.0
施工	236	19.9	42.8	19.9	1.3	0.8	15.3
(全体との差)		+1.5	+4.5	-1.6	-1.0	+0.3	-
現場管理	276	14.9	38.8	26.8	1.4	0.4	17.8
(全体との差)		-3.5	+0.5	+5.3	-0.8	-0.1	-
設計	88	18.2	30.7	21.6	5.7	0.0	23.9
(全体との差)		-0.2	-7.6	+0.1	+3.4	-0.5	-
その他	157	19.1	37.6	17.2	3.2	0.6	22.3
(全体との差)		+0.7	-0.7	-4.3	+0.9	+0.1	-

図 6-1-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

4) 施工技術者講習資料への意見、要望

施工技術者講習資料について、自由記述では以下のような意見、要望があった。
(全 29 回答を整理)

() 内は回答数

●資料全般 (3)

【好評】

- ・ 建築業界に入って間もない状態で参加しましたが、非常に分かりやすかった。DVD や講義や模型で実際に教えてもらうことで必要性やメリットが理解できた。 等

●施工技術者講習テキスト (5)

【好評】

- ・ 特に後半の施工テキスト、実務的に保存版の様に使えるテキストで良かったです。 等

【要望】

- ・ 施工テキストの内容を充実させてほしい。ピックアップする商品の施工例を増やす等。 等

●DVD (8)

【好評】 ・ 映像は大変わかりやすく、記憶にも長く残ると思います。

- ・ 実際に施工したことがないと、テキストが難しいですが、DVD がもらえて良かったです。

【不評】 ・ DVD がとても長く感じた。

【要望】 ・ DVD で詳しい納まりの施工状況を見たいです。(特に困難な部位) 等

●模型 (5)

【要望】 ・ 以前(数年前)は実物での内容も有り分かりやすかったが、今回はなくて残念です。

【不評】 ・ 模型ではなく、DVD で説明してほしかった。 等

●アンケート (2)

- ・ 丸を付ける欄が黒くて○が記入できない。

●新たな資料の要望 (2)

- ・ 地域区分の分かる地図が欲しい。
- ・ 地域ごとのテキストがあれば良いと思います。いわき市は5地域なので、5地域のテキストで施工を行えばOKですよみたいにできるように。

②講習内容、説明方法

1) 基本編「第1章 これからの住まい」について

基本編「第1章 これからの住まい」について、「難しかった」10.1%、「難しいとは思わない」73.1%と「易しい」11.4%の合計は84.5%であった。

職種別にみると、設計が「易しい」18.6%で全体平均より7.2%高い。

地域別にみても、全体平均と同様の傾向である。

これからの住まい について (基本編・第1章)	回答数
難しかった	463
難しいとは思わない	3,345
易しい	523
無回答	243
全体	4,574

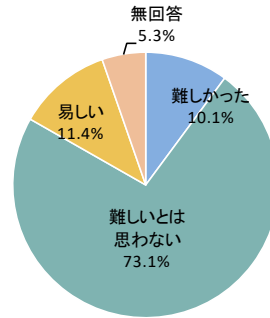


図 6-1-4a 基本編「第1章 これからの住まい」について

H30施工	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	10.1	73.1	11.4	5.3
施工	1,406	13.1	71.8	6.9	8.3
(全体との差)		+3.0	-1.4	-4.5	-
現場管理	1,620	7.7	77.1	11.5	3.6
(全体との差)		-2.4	+4.0	+0.1	-
設計	623	2.9	75.9	18.6	2.6
(全体との差)		-7.2	+2.8	+7.2	-
その他	803	13.7	67.9	14.2	4.2
(全体との差)		+3.6	-5.3	+2.8	-

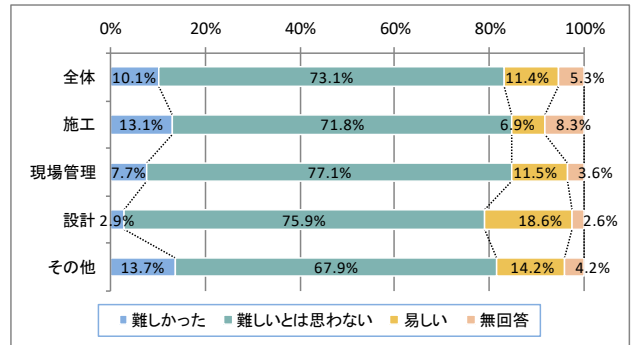


図 6-1-4b 職種別の基本編「第1章 これからの住まい」について

H30施工	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	10.1	73.1	11.4	5.3
北海道	83	12.0	68.7	13.3	6.0
(全体との差)		+1.9	-4.5	+1.8	-
東北	665	9.5	74.1	11.4	5.0
(全体との差)		-0.6	+1.0	-0.0	-
関東	889	8.3	72.6	13.4	5.7
(全体との差)		-1.8	-0.6	+2.0	-
北陸	244	9.4	70.1	15.2	5.3
(全体との差)		-0.7	-3.0	+3.7	-
中部	672	10.1	74.9	11.3	3.7
(全体との差)		-0.0	+1.7	-0.1	-
近畿	591	7.4	75.6	10.8	6.1
(全体との差)		-2.7	+2.5	-0.6	-
中国	408	14.5	69.9	10.5	5.1
(全体との差)		+4.3	-3.3	-0.9	-
四国	341	10.9	73.6	7.3	8.2
(全体との差)		+0.7	+0.5	-4.1	-
九州・沖縄	681	12.5	72.4	10.6	4.6
(全体との差)		+2.4	-0.7	-0.9	-

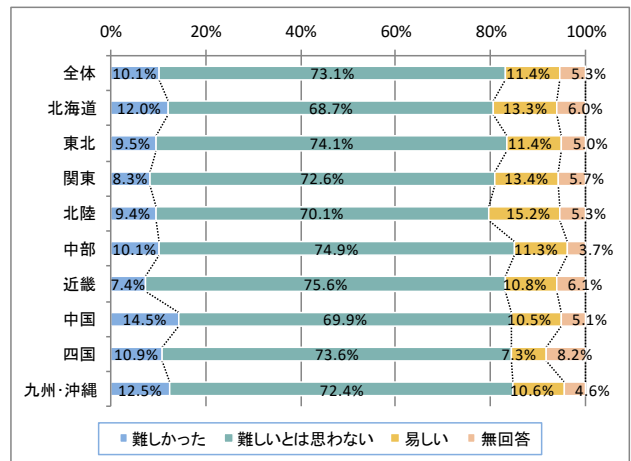


図 6-1-4c 地域別の基本編「第1章 これからの住まい」について

2) 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について「難しかった」10.8%であり、第1章と同様に約1割である。「難しいとは思わない」73.5%と「易しい」10.3%の合計は83.8%であった。

職種別にみると、設計の「易しい」16.2%が全体平均より6.0%高い。

地域別では、全体平均と同様の傾向である。

建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章)	回答数
難しかった	494
難しいとは思わない	3,361
易しい	469
無回答	250
全体	4,574

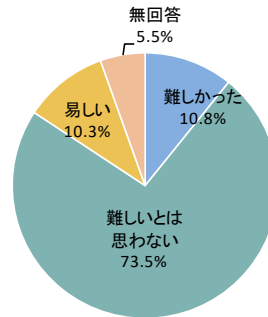


図 6-1-5a 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

H30施工	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	10.8	73.5	10.3	5.5
施工	1,406	13.5	71.2	6.6	8.7
(全体との差)		+2.7	-2.3	-3.6	-
現場管理	1,620	8.5	77.5	10.4	3.6
(全体との差)		-2.3	+4.0	+0.1	-
設計	623	3.4	77.8	16.2	2.6
(全体との差)		-7.4	+4.4	+6.0	-
その他	803	14.6	68.9	12.3	4.2
(全体との差)		+3.8	-4.6	+2.1	-

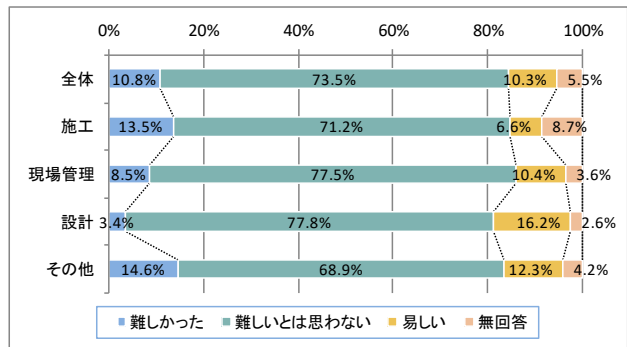


図 6-1-5b 職種別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

H30施工	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	10.8	73.5	10.3	5.5
北海道	83	10.8	69.9	12.0	7.2
(全体との差)		+0.0	-3.6	+1.8	-
東北	665	9.8	74.1	10.8	5.3
(全体との差)		-1.0	+0.7	+0.6	-
関東	889	9.2	73.6	11.6	5.6
(全体との差)		-1.6	+0.1	+1.3	-
北陸	244	11.5	68.9	13.9	5.7
(全体との差)		+0.7	-4.6	+3.7	-
中部	672	10.7	74.9	10.4	4.0
(全体との差)		-0.1	+1.4	+0.2	-
近畿	591	8.1	76.5	9.3	6.1
(全体との差)		-2.7	+3.0	-0.9	-
中国	408	14.5	70.3	10.0	5.1
(全体との差)		+3.7	-3.1	-0.2	-
四国	341	10.9	73.9	6.2	9.1
(全体との差)		+0.1	+0.4	-4.1	-
九州・沖縄	681	13.8	72.5	9.3	4.4
(全体との差)		+3.0	-0.9	-1.0	-

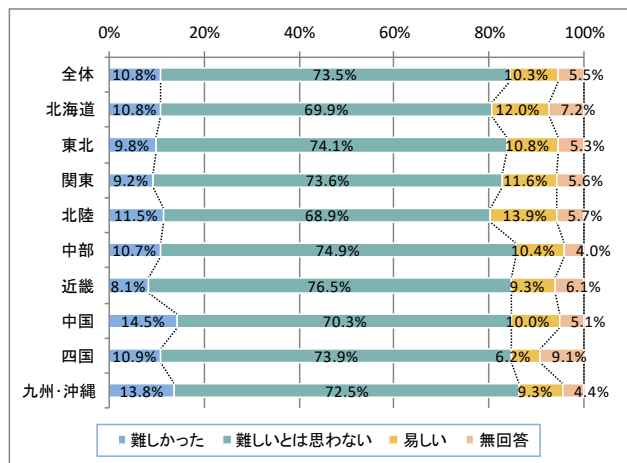


図 6-1-5c 地域別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

3) 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について「難しかった」12.4%であり、他の章よりやや高い。「難しいとは思わない」72.2%と「易しい」9.6%の合計は81.8%であった。

職種別では、設計の「易しい」15.6%で全体平均より5.9%高い。

地域別にみても、全体平均と同様の傾向となっている。

断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)	回答数
難しかった	569
難しいとは思わない	3,301
易しい	441
無回答	263
全体	4,574

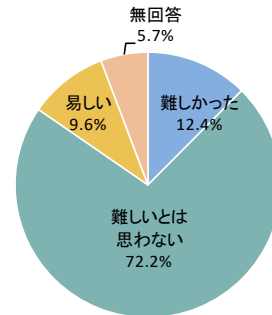


図 6-1-6a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30施工	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.4	72.2	9.6	5.7
施工	1,406	15.0	68.6	7.4	9.0
(全体との差)		+2.6	-3.5	-2.2	-
現場管理	1,620	9.1	77.4	9.6	3.9
(全体との差)		-3.4	+5.2	-0.0	-
設計	623	5.0	76.6	15.6	2.9
(全体との差)		-7.5	+4.4	+5.9	-
その他	803	18.7	67.0	9.7	4.6
(全体との差)		+6.2	-5.2	+0.1	-

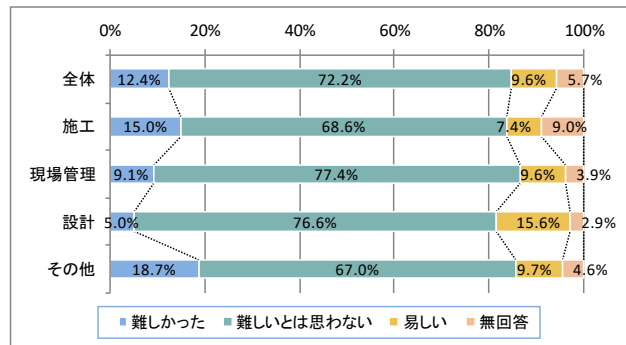


図 6-1-6b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30施工	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.4	72.2	9.6	5.7
北海道	83	12.0	71.1	9.6	7.2
(全体との差)		-0.4	-1.1	-0.0	-
東北	665	10.2	74.4	10.2	5.1
(全体との差)		-2.2	+2.3	+0.6	-
関東	889	11.5	71.9	10.6	6.1
(全体との差)		-1.0	-0.3	+0.9	-
北陸	244	12.3	67.2	14.3	6.1
(全体との差)		-0.1	-5.0	+4.7	-
中部	672	13.8	72.5	9.7	4.0
(全体との差)		+1.4	+0.3	+0.0	-
近畿	591	9.1	75.6	8.8	6.4
(全体との差)		-3.3	+3.5	-0.8	-
中国	408	15.9	70.1	8.6	5.4
(全体との差)		+3.5	-2.1	-1.1	-
四国	341	13.8	71.3	5.9	9.1
(全体との差)		+1.3	-0.9	-3.8	-
九州・沖縄	681	14.7	70.6	9.4	5.3
(全体との差)		+2.2	-1.5	-0.2	-

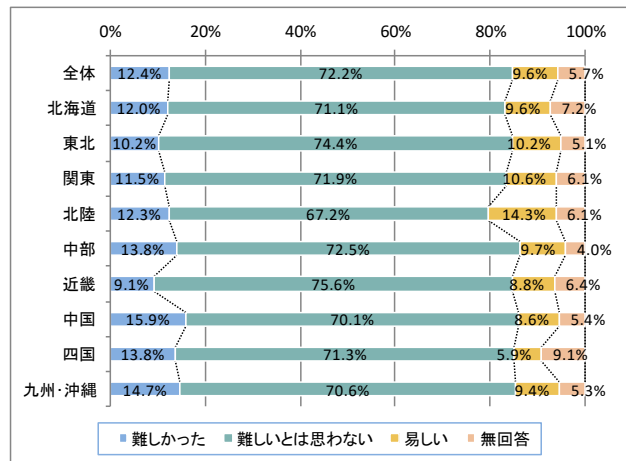


図 6-1-6c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

4) 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」については「難しかった」15.8%であり、他の章よりも難易度が高いと考えられる。「難しいとは思わない」69.7%と「易しい」8.4%の合計は78.1%であった。

職種別にみると、設計は「難しかった」6.1%で全体平均より9.7%低い。

地域別では、中国地域で「難しかった」21.8%と全体平均より6.0%高いが、ほとんどの地域で全体平均と同様の傾向となっている。

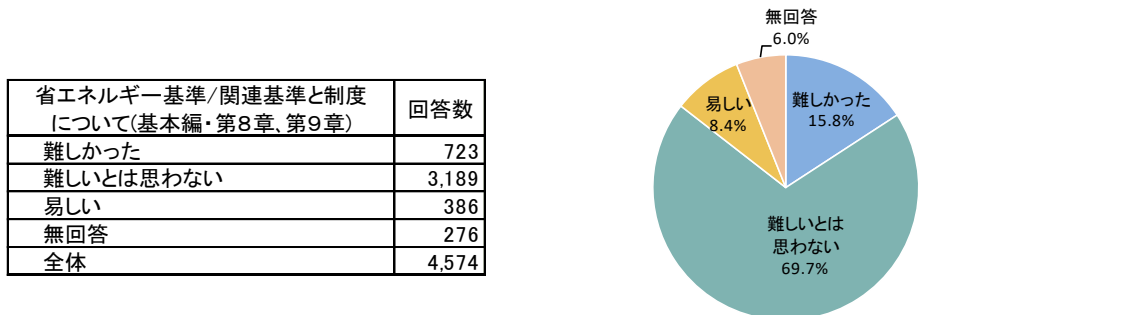


図 6-1-7a 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

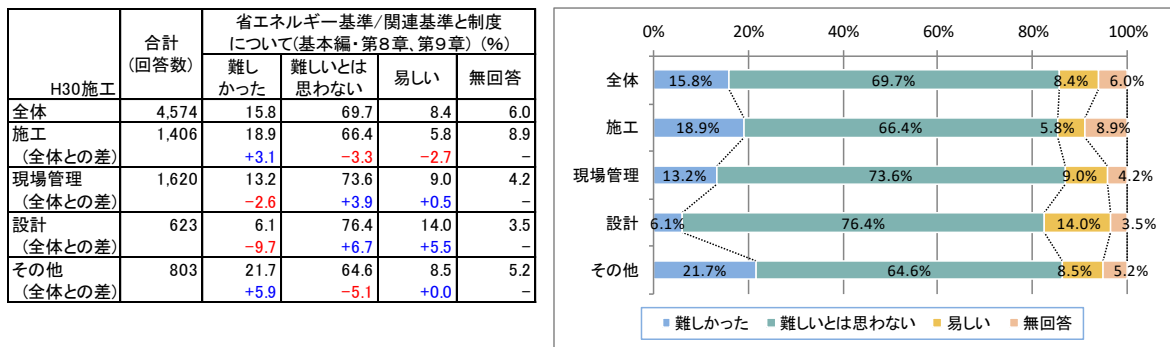


図 6-1-7b 職種別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

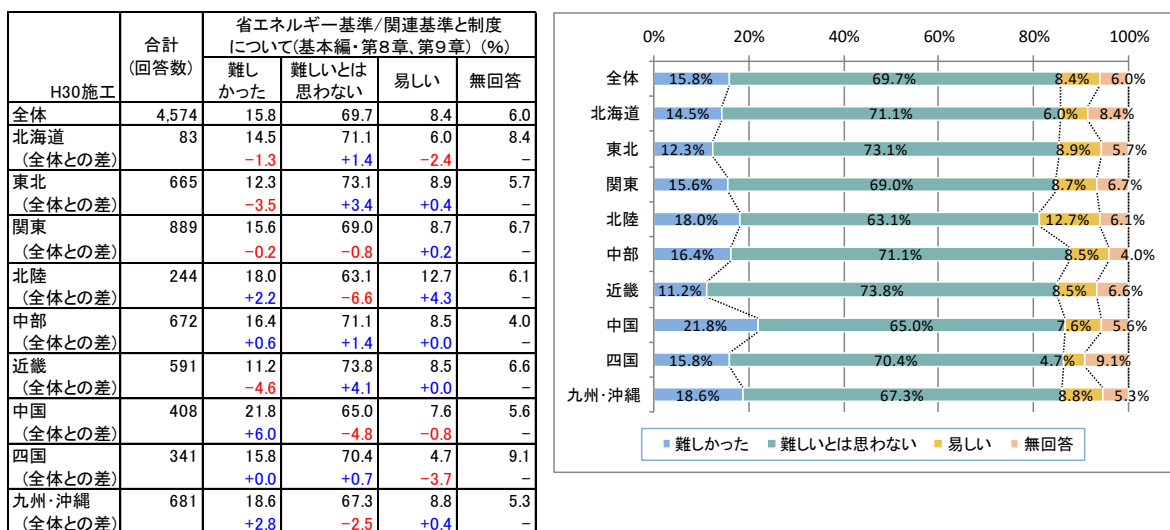


図 6-1-7c 地域別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

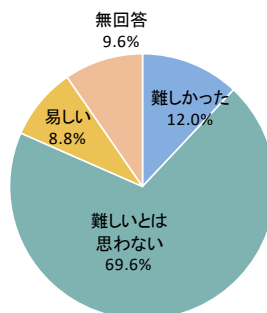
5) 施工編テキストについて

施工編テキストについては「難しかった」12.0%となっている。「難しいとは思わない」69.6%と「易しい」8.8%の合計は78.4%であった。

職種別でみると「難しかった」と感じた割合は施工が他の職種よりわずかに高い。地域別にみると、北陸地域で「易しい」15.2%が全体平均より6.4%高いが、ほとんどの地域で全体平均と同様の傾向となっている。

施工編テキストについて	回答数
難しかった	549
難しいとは思わない	3,183
易しい	403
無回答	439
全体	4,574

図 6-1-8a 施工編テキストについて



H30施工	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.0	69.6	8.8	9.6
施工	1,406	13.8	66.8	6.3	13.2
(全体との差)		+1.8	-2.8	-2.6	-
現場管理	1,620	8.7	74.4	9.6	7.3
(全体との差)		-3.3	+4.9	+0.8	-
設計	623	5.1	73.2	13.8	7.9
(全体との差)		-6.9	+3.6	+5.0	-
その他	803	19.2	64.0	8.6	8.2
(全体との差)		+7.2	-5.6	-0.2	-

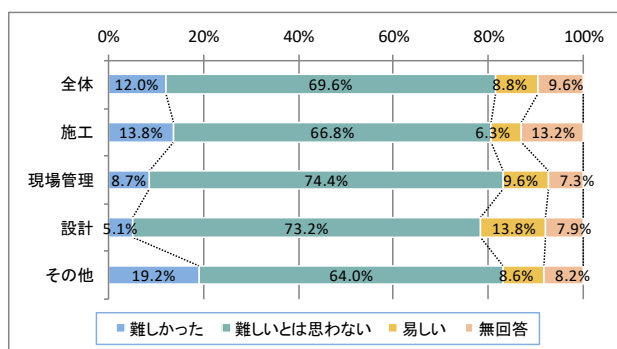


図 6-1-8b 職種別の施工編テキストについて

H30施工	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.0	69.6	8.8	9.6
北海道	83	12.0	71.1	6.0	10.8
(全体との差)		+0.0	+1.5	-2.8	-
東北	665	10.1	72.2	9.5	8.3
(全体との差)		-1.9	+2.6	+0.7	-
関東	889	11.5	69.4	9.6	9.6
(全体との差)		-0.5	-0.2	+0.8	-
北陸	244	9.8	64.3	15.2	10.7
(全体との差)		-2.2	-5.2	+6.4	-
中部	672	12.9	71.0	7.3	8.8
(全体との差)		+0.9	+1.4	-1.5	-
近畿	591	8.8	72.1	8.6	10.5
(全体との差)		-3.2	+2.5	-0.2	-
中国	408	15.0	65.7	8.1	11.3
(全体との差)		+2.9	-3.9	-0.7	-
四国	341	13.5	69.5	5.0	12.0
(全体との差)		+1.5	-0.1	-3.8	-
九州・沖縄	681	14.7	67.8	9.3	8.2
(全体との差)		+2.7	-1.7	+0.4	-

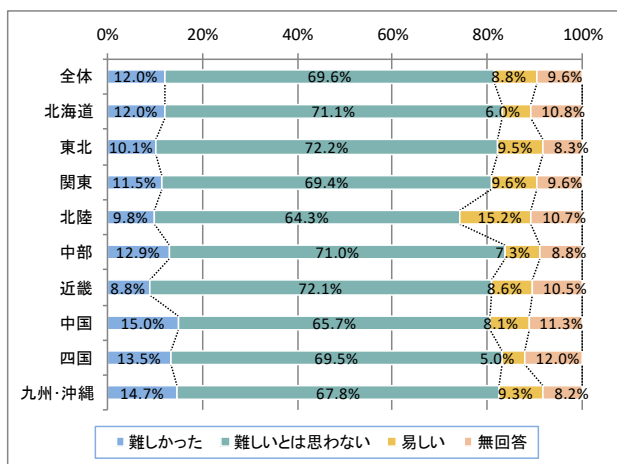


図 6-1-8c 地域別の施工編テキストについて

6) 講習内容、説明方法への意見、要望

施工技術者講習における講習内容、説明方法について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 88 回答を整理)

() 内は回答数

- 内容重複 不評 (4)
 - ・施工の DVD を見た後であればテキストの読み合わせのような解説は不要に思えます。 等
- 読み上げる講習 不評 (10)
 - ・テキストの棒読み、何の解説もなし、ムダな時間を過ごしました。こんな内容ならテキストだけ渡して「家で読んで下さい」と同じ。 等
- 要望 ポイントを絞った説明 (2)
 - ・半日講習の際は一通り流すより、いくつかの単元をピックアップして、重点的に教えていただきたいです。 等
- 要望 DVD、パワーポイント等映像活用 (2)
 - ・施工に関する内容は、単にテキストを読み上げるだけでなく、パワーポイント等を用いて、もっとポイントを整理した方が頭に入りやすい。正直、テキストと費用の面から文句は言えないが、説明方法は大変不親切だと言わざるを得ない。 等
- 要望 具体例、実例による説明 (5)
 - ・もうちょっとテキストだけではなくて、現場の話があるとよかった。 等
- 要望 実習・実演のある講習 (5)
 - ・実技講習があるともっとわかりやすいと思います。 等
- 要望 質疑応答の時間確保 (10)
 - ・施工、設計上の Q&A があれば、実施する時の導入もスムーズに進める事ができると思います。 等
- 要望 講習会の次の開催、多数開催 (5)
 - ・改正があった時には、また講習を行っていただけると助かります。 等

- 要望 リフォーム向け講習（4）
 - ・断熱改修の事例など不適切な部分をどのように改修する事が望ましいのか、実務的な話もあるとより良いと思います。 等
- 要望 習得レベルに合わせた講習会（2）
 - ・後半の施工テキストに関しては、まだまだ勉強・経験不足で難しかったです。レベル別での講習会があっても良いかも…。 等
- 要望 施工者向け講習会（2）
 - ・現場施工者、職人に向けた講習が必要。 等
- 要望 講習内容以外の説明（5）
 - ・結露（カビ）対策として、断熱以外に換気計画の考え方についても知りたかった。
 - ・施工方法の説明に偏り（充填と外張）があったので、日付をずらし、工法別に説明会を開いた方が、専門的に話ができるのではないかと思います。
 - ・夏場の壁体内結露の仕組みを学びたかった。
等
- 要望 講習内容等へのその他要望（10）
 - ・その施工、納まりにする理由、考え方についてもう少し時間をかけて、ゆっくりと、考え理解することを考慮した説明が望ましいと思う。
 - ・構造用金物まわりの断熱の具体的な説明がほしかった。
 - ・グラスウールの取り扱いに関して解説したほうが良いと思う。（現場で正しく扱っている大工さんを見た事ありません） 等
- 講習内容等 不評（5）
 - ・施工の講習（説明）が説明不足だと感じました。
 - ・勉強になることばかりなのですが、説明等時間もあまりなく分かりにくかったかなあと感じました。図などは見やすかったです。テキストが黒文字ばかりで見えづらいというか、大事な所が分かりにくかった。 等
- 講習内容等 好評（13）
 - ・ベテラン大工にも、若い大工にも、今の時代の流れと正しい施工を意識させるいい機会になった。
 - ・他の施工方法も見れて良かったです。 等

●講習内容等 意義に疑問 (1)

- ・この程度の講習内容で無理やりな人的動員を止めるべき。グラスウールの施工手順メインの講習ならメーカーがやれば良い。
等

●講習会内容 その他 (3)

- ・今後、法改正するたび講習会を受けて修了証をもらわないといけ
いのか？ 等

③修了考査

1) 修了考査

施工技術者講習における修了考査について「難しかった」13.6%であった。「難しいとは思わない」60.3%と「易しい」12.4%の合計は72.7%であった。

職種別でみると「難しかった」と感じた割合は、他の職種と比較して施工が全体平均よりわずかに高い。

北海道地方では「難しかった」が18.1%で全体平均より4.5%高い。

修了考査 【施工技術者講習】	回答数
難しかった	624
難しいとは思わない	2,760
易しい	565
無回答	625
全体	4,574

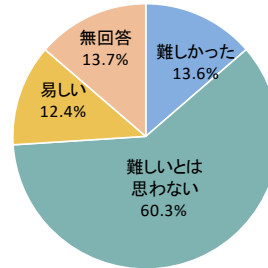


図 6-1-9a 【施工技術者講習】修了考査について

H30施工	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	13.6	60.3	12.4	13.7
施工	1,406	16.4	60.2	7.9	15.5
(全体との差)		+2.8	-0.2	-4.5	-
現場管理	1,620	11.6	61.9	13.5	13.0
(全体との差)		-2.0	+1.6	+1.2	-
設計	623	6.1	65.0	16.7	12.2
(全体との差)		-7.5	+4.7	+4.3	-
その他	803	16.9	56.2	15.2	11.7
(全体との差)		+3.3	-4.2	+2.8	-

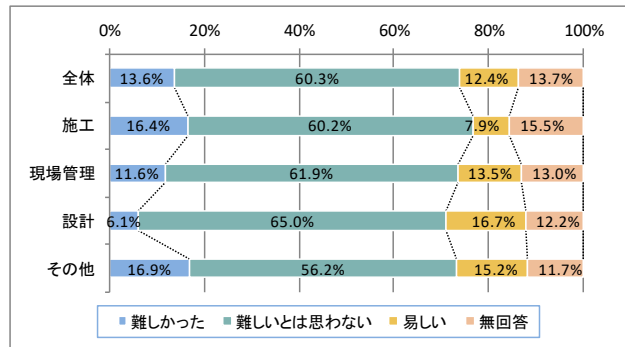


図 6-1-9b 【施工技術者講習】職種別の修了考査について

H30施工	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	13.6	60.3	12.4	13.7
北海道	83	18.1	57.8	10.8	13.3
(全体との差)		+4.4	-2.5	-1.5	-
東北	665	10.2	60.0	11.9	17.9
(全体との差)		-3.4	-0.3	-0.5	-
関東	889	12.8	60.4	15.2	11.6
(全体との差)		-0.8	+0.1	+2.8	-
北陸	244	14.3	58.2	17.2	10.2
(全体との差)		+0.7	-2.1	+4.9	-
中部	672	14.3	59.8	9.5	16.4
(全体との差)		+0.6	-0.5	-2.8	-
近畿	591	11.7	62.4	13.0	12.9
(全体との差)		-2.0	+2.1	+0.7	-
中国	408	17.6	58.3	9.3	14.7
(全体との差)		+4.0	-2.0	-3.0	-
四国	341	15.0	60.7	10.6	13.8
(全体との差)		+1.3	+0.4	-1.8	-
九州・沖縄	681	15.3	61.4	12.5	10.9
(全体との差)		+1.6	+1.0	+0.1	-

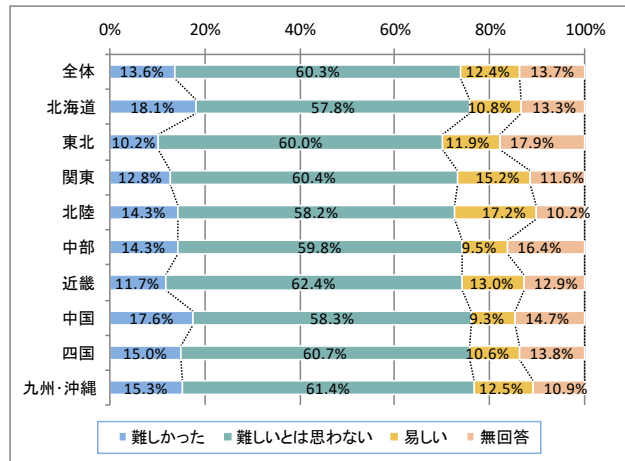


図 6-1-9c 【施工技術者講習】地域別の修了考査について

2) 修了考査への意見、要望

施工技術者講習における修了考査について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全4回答を整理)

() 内は回答数
●修了考査 (4)
【不評】
・テキストに書いてある事を読み上げ、修了考査に出るポイントを伝えるだけでは施工時に注意すべき知識はあまり身に付かないと感じました。考査は無くても良いので、中身のある講習を望みます。
【好評】
・ブランクがあり施工業務をしたことがなかったのでついていくのに大変でしたが、施工テキストを見て大体のことが理解できました、テストが簡単で本当に良かったです。

④講師の説明

1) 講師の説明

施工技術者講習における講師の説明について「大変わかりやすかった」19.0%と「わかりやすかった」45.2%と合わせて64.2%、「普通」の回答27.5%と合わせると91.7%であった。

自由記述では、好評であった点について、「講義は現場の話をおりまぜて頂き、現実に則したお話で興味を持ってお聴きすることができました」、「基本テキストの講師の方はスピード等、非常にわかりやすかった」という感想が見られた。

一方不評であった点については、「早口でした。知らない人にとっては理解するのが難しいと思いました」「講習での説明では「え～、あの～」が多いと、内容が聞き取りづらいです」といった指摘があった。

講師の説明 【施工技術者講習】	回答数
大変わかりやすかった	868
わかりやすかった	2,068
普通	1,257
わかりにくかった	156
大変わかりにくかった	33
無回答	192
全体	4,574

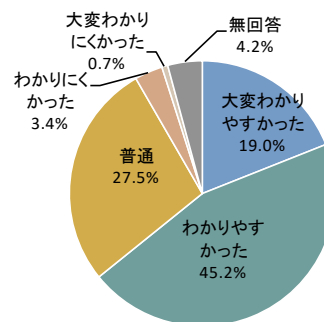


図 6-1-10 【施工技術者講習】講師の説明について

2) 講師の説明への意見、要望

施工技術者講習における講師の説明について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全26回答を整理)

() 内は回答数

●好評 (8)

- ・講義は現場の話しをおりまぜて頂き、現実にもしたお話しで興味を持ってお聴きすることができました。 等

●不評 話し方 (18)

- ・言葉の聞き取りにくさが大変。活舌をしっかりと！
 - ・先生早口すぎです。何言ってるかサッパリ。
- 等

(2) 設計者講習

①講習会資料（テキスト）

1) 設計者講習テキスト

設計者講習で使用した基本編及び設計編のテキストについて、「大変わかりやすかった」17.1%と「わかりやすかった」43.5%は合計で60.6%、「普通」28.1%と合わせて88.7%であり、構成・内容は適切であったと言える。

職種別にみると、「大変わかりやすかった」、「わかりやすかった」と感じた割合は、施工54.3%、現場管理52.1%で、全体平均より10%程度低い。

自由記述では、「テキストが非常にわかりやすく、実務でも見直して使いたい」、等の感想があった。「情報が多いので探すのが大変」、別冊化や索引が欲しい等の意見・要望が見られた。

講習会資料 (設計者テキスト)	回答数
大変わかりやすかった	1,042
わかりやすかった	2,649
普通	1,710
わかりにくかった	379
大変わかりにくかった	45
無回答	267
全体	6,092

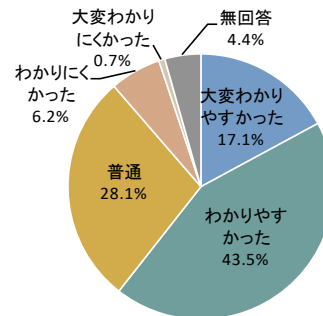
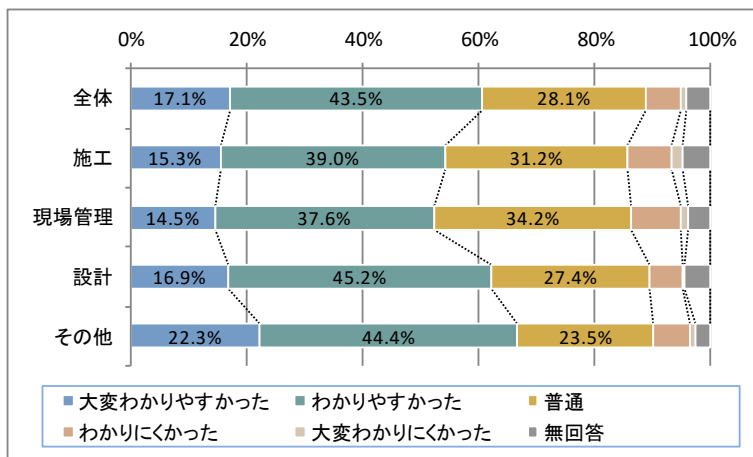


図 6-2-1a テキストのわかりやすさ



※10%以下、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	講習会資料(設計者テキスト)					無回答
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	
H30設計							
全体	6,092	17.1	43.5	28.1	6.2	0.7	4.4
施工	385	15.3	39.0	31.2	7.8	1.8	4.9
(全体との差)		-1.8	-4.5	+3.1	+1.6	+1.1	-
現場管理	901	14.5	37.6	34.2	8.3	1.2	4.1
(全体との差)		-2.6	-5.9	+6.1	+2.1	+0.5	-
設計	3,899	16.9	45.2	27.4	5.6	0.5	4.5
(全体との差)		-0.2	+1.7	-0.7	-0.6	-0.3	-
その他	831	22.3	44.4	23.5	6.3	0.8	2.8
(全体との差)		+5.2	+0.9	-4.6	+0.0	+0.1	-

図 6-2-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

2) 設計者講習資料への意見、要望

設計者講習資料について、自由記述では以下のような意見、要望があった。
(全 27 回答を整理)

※ () 内は回答数

●テキスト 要望 (8)

【詳細】

- ・モデルプランの計算例は、複数ほしい (屋根、地下、風除室、屋上など※木造以外)
- ・テキストの内容に、小数点以下の取扱いの一覧があると助かります。
等

【仕様・簡易】

- ・一次エネルギー消費量計算については別冊にすべきでは。
- ・「〇〇行目」という説明がしやすいように、行数がテキストに記載があると分かりやすいと思います。

●テキスト 誤植多い (2)

- ・テキストは完璧なモノを出してほしい。訂正が多すぎる。 等

●テキスト 不評 (1)

【詳細】

- ・テキストが初めて計算に取り組む人向けではないと感じる。

●テキスト 表など探しづらい (3)

【詳細】

- ・外皮性能の計算を説明する際、材別のページを案内してくれたが、非常に分かりづらいので、別紙で早見表を作ったりする等しないと初めて計算する人間には難しいと思った。(資料編は別紙でもいいのでは?) 等

【仕様・簡易】

- ・計算の流れに即したテキストがあればと感じた。数字の一つがどこからの数字なのか分かればもっと理解が早かったかもしれない。
等

●テキスト 好評 (13)

- ・詳細計算の方法が非常に分かりやすくテキストの絵なども非常に理解しやすかった。
- ・講義では難しいと感じていたところが多かったのですが、演習で実際の計算に少し触れてみて、今回のテキストがあれば「できる」と納得できました。 等

②講習内容、説明方法

1) 基本テキストについて

●第1章 これからの住まい（1日講習受講者のみ回答）

基本編「第1章 これからの住まい」について、「難しかった」と感じている受講者は9.6%となっている。「難しいとは思わない」は67.2%で、前年度同様の割合である。

職種別でみると、施工が「難しかった」15.1%で全体より多い。

地域別では、「難しかった」は北陸地域が最も多く33.3%、四国地域が28.6%で、全体平均より高い。

これからの住まい について (基本編・第1章)【設】	回答数
難しかった	135
難しいとは思わない	941
易しい	215
無回答	110
全体	1,401

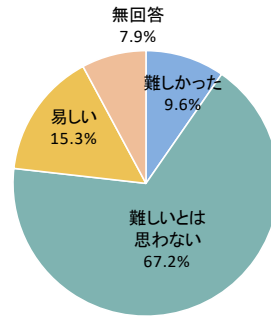


図 6-2-2a 基本編「第1章 これからの住まい」について

H30設計	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	9.6	67.2	15.3	7.9
施工 (全体との差)	73	15.1 +5.4	57.5 -9.6	17.8 +2.5	9.6 -
現場管理 (全体との差)	180	14.4 +4.8	65.0 -2.2	11.1 -4.2	9.4 -
設計 (全体との差)	930	8.0 -1.7	68.0 +0.8	16.0 +0.7	8.1 -
その他 (全体との差)	195	10.3 +0.6	69.2 +2.1	16.4 +1.1	4.1 -

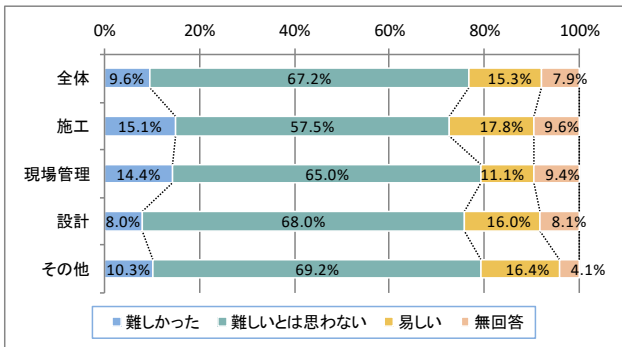


図 6-2-2b 職種別の基本編「第1章 これからの住まい」について

H30設計	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	9.6	67.2	15.3	7.9
北海道 (全体との差)	122	6.6 -3.1	71.3 +4.1	22.1 +6.8	0.0 -
東北 (全体との差)	325	9.8 +0.2	64.3 -2.9	8.9 -6.4	16.9 -
関東 (全体との差)	243	7.8 -1.8	64.2 -3.0	24.7 +9.3	3.3 -
北陸 (全体との差)	21	33.3 +23.7	42.9 -24.3	19.0 +3.7	4.8 -
中部 (全体との差)	154	7.8 -1.8	76.0 +8.8	12.3 -3.0	3.9 -
近畿 (全体との差)	336	5.4 -4.3	71.1 +4.0	19.3 +4.0	4.2 -
中国 (全体との差)	34	17.6 +8.0	73.5 +6.4	5.9 -9.5	2.9 -
四国 (全体との差)	28	28.6 +18.9	46.4 -20.7	10.7 -4.6	14.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	138	18.1 +8.5	62.3 -4.8	4.3 -11.0	15.2 -

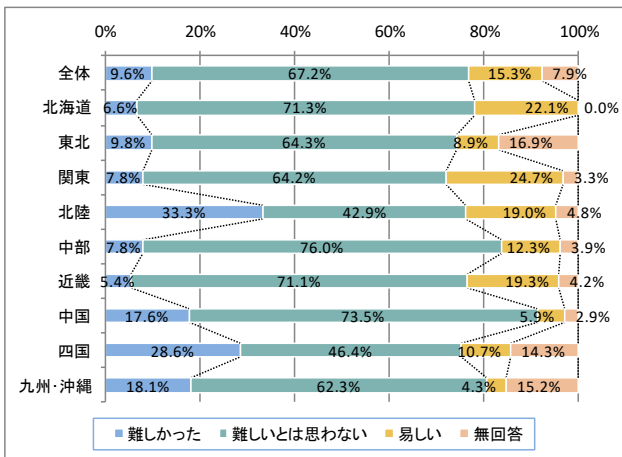


図 6-2-2c 地域別の基本編「第1章 これからの住まい」について

●第2章 建築による省エネ化、第3章 設備による省エネ化について

(1日講習受講者のみ回答)

基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について「難しかった」と感じた受講者は12.3%であった。

職種別にみると、「難しかった」という回答が、施工17.8%、現場管理17.2%で、全体平均より多い。

地域別では、北陸地域で「難しかった」42.9%と最も多く、全体平均より30.6%多い。次いで四国地域では、「難しかった」35.7%で全体平均より23.4%高い。

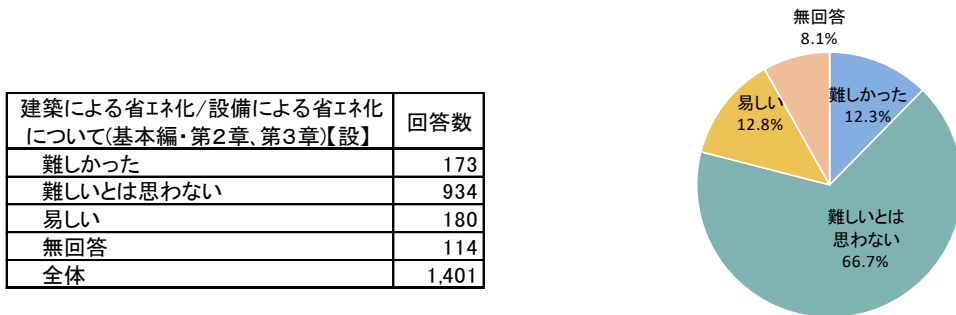


図 6-2-3a 基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

H30設計	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	12.3	66.7	12.8	8.1
施工 (全体との差)	73	+5.5	-9.1	+0.9	-
現場管理 (全体との差)	180	+4.9	-2.8	-4.0	-
設計 (全体との差)	930	-2.5	+1.3	+1.0	-
その他 (全体との差)	195	+4.6	+0.0	-0.5	-

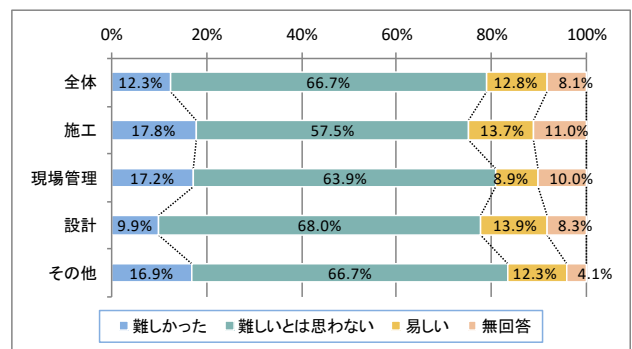


図 6-2-3b 職種別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

H30設計	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	12.3	66.7	12.8	8.1
北海道 (全体との差)	122	-4.2	+6.3	+6.0	-
東北 (全体との差)	325	-0.3	-3.6	-4.8	-
関東 (全体との差)	243	-2.9	-1.6	+8.1	-
北陸 (全体との差)	21	+30.5	-23.8	-3.3	-
中部 (全体との差)	154	-0.7	+6.7	-2.5	-
近畿 (全体との差)	336	-4.0	+4.5	+3.5	-
中国 (全体との差)	34	+11.2	+1.0	-7.0	-
四国 (全体との差)	28	+23.4	-20.2	-9.3	-
九州・沖縄 (全体との差)	138	+7.9	-5.1	-9.9	-

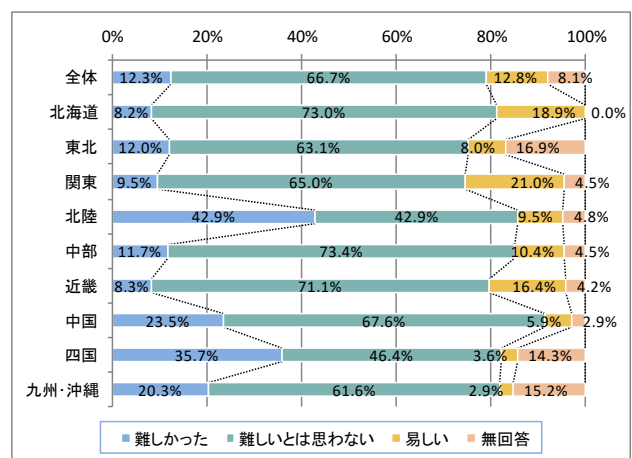


図 6-2-3c 地域別の基本編「第2章 建築による省エネ化」「第3章 設備による省エネ化」について

●第4章 断熱設計、第5章 開口部設計について（1日講習受講者のみ回答）

基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について「難しかった」と感じている受講者は15.2%であった。

職種別でみると、「難しかった」という回答が、施工 21.9%、現場管理 22.2%で全体平均より高い。

地域別では、「難しかった」という回答が、北陸、四国地域で最も多く 42.9%で全体平均より 27.7%高い。

断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)【設】	回答数
難しかった	213
難しいとは思わない	930
易しい	141
無回答	117
全体	1,401

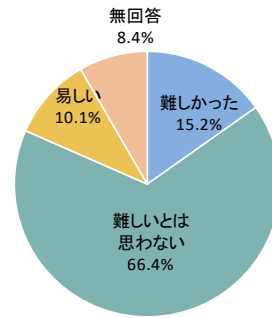


図 6-2-4a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30設計	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)【設】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	15.2	66.4	10.1	8.4
施工 (全体との差)	73	+6.7	-14.3	+5.0	-
現場管理 (全体との差)	180	+7.0	-5.8	-3.4	-
設計 (全体との差)	930	-3.4	+2.4	+0.9	-
その他 (全体との差)	195	+6.8	-1.3	-1.9	-

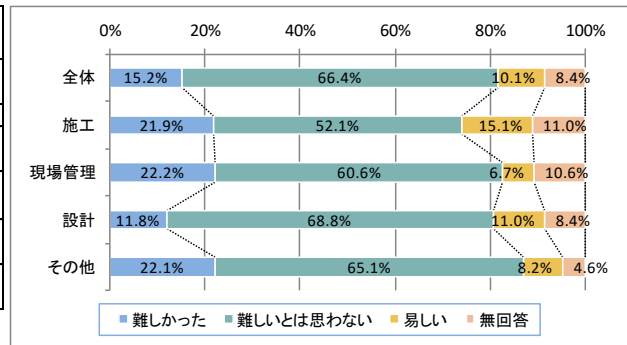


図 6-2-4b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30設計	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)【設】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	15.2	66.4	10.1	8.4
北海道 (全体との差)	122	-4.5	+7.4	+5.5	-
東北 (全体との差)	325	-0.4	-3.6	-3.9	-
関東 (全体との差)	243	-2.0	-1.8	+8.0	-
北陸 (全体との差)	21	+27.7	-23.5	-0.5	-
中部 (全体との差)	154	+1.0	+5.7	-4.2	-
近畿 (全体との差)	336	-3.9	+5.0	+2.1	-
中国 (全体との差)	34	+8.3	+1.3	-4.2	-
四国 (全体との差)	28	+27.7	-23.5	-10.1	-
九州・沖縄 (全体との差)	138	+5.1	-5.5	-7.2	-

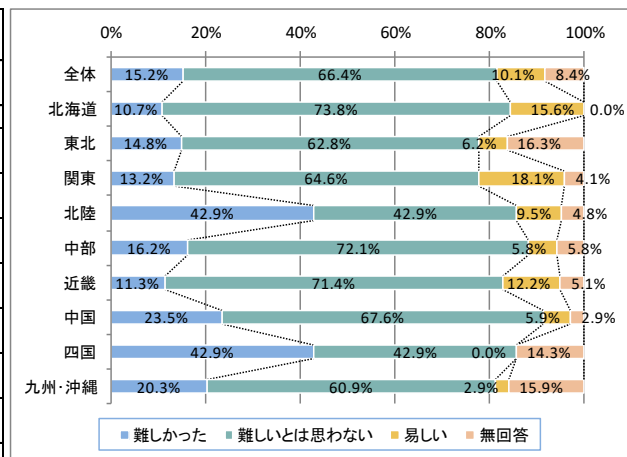


図 6-2-4c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

●第8章 省エネルギー基準、第9章 関連基準と制度について

(1日講習受講者のみ回答)

基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について、「難しかった」と感じている受講者は15.0%であった。

職種別でみると、「難しかった」という回答が、現場管理22.2%で全体平均より7.2%高い。

地域別では、「難しかった」という回答が、北陸地域42.9%、四国地域39.3%で全体平均より高い。

省エネルギー基準/関連基準と制度について(基本編・第8章、第9章)【設】	回答数
難しかった	210
難しいとは思わない	913
易しい	144
無回答	134
全体	1,401

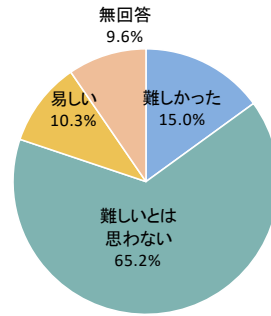


図 6-2-5a 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

H30設計	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度について(基本編・第8章、第9章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	15.0	65.2	10.3	9.6
施工 (全体との差)	73	19.2 +4.2	54.8 -10.4	12.3 +2.1	13.7 -
現場管理 (全体との差)	180	22.2 +7.2	61.1 -4.1	5.6 -4.7	11.1 -
設計 (全体との差)	930	12.4 -2.6	66.9 +1.7	11.2 +0.9	9.6 -
その他 (全体との差)	195	17.9 +3.0	65.6 +0.5	10.8 +0.5	5.6 -

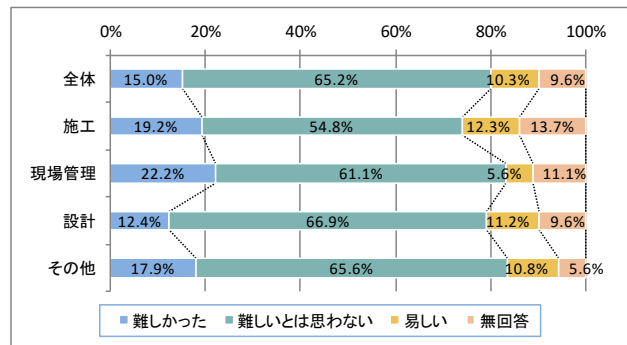


図 6-2-5b 職種別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

H30設計	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度について(基本編・第8章、第9章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	15.0	65.2	10.3	9.6
北海道 (全体との差)	122	9.8 -5.2	70.5 +5.3	18.9 +8.6	0.8 -
東北 (全体との差)	325	15.4 +0.4	60.6 -4.6	6.2 -4.1	17.8 -
関東 (全体との差)	243	13.6 -1.4	63.8 -1.4	17.3 +7.0	5.3 -
北陸 (全体との差)	21	42.9 +27.9	42.9 -22.3	9.5 -0.8	4.8 -
中部 (全体との差)	154	13.0 -2.0	72.7 +7.6	7.8 -2.5	6.5 -
近畿 (全体との差)	336	11.9 -3.1	69.3 +4.2	11.6 +1.3	7.1 -
中国 (全体との差)	34	20.6 +5.6	70.6 +5.4	5.9 -4.4	2.9 -
四国 (全体との差)	28	39.3 +24.3	46.4 -18.7	0.0 -10.3	14.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	138	20.3 +5.3	60.9 -4.3	2.9 -7.4	15.9 -

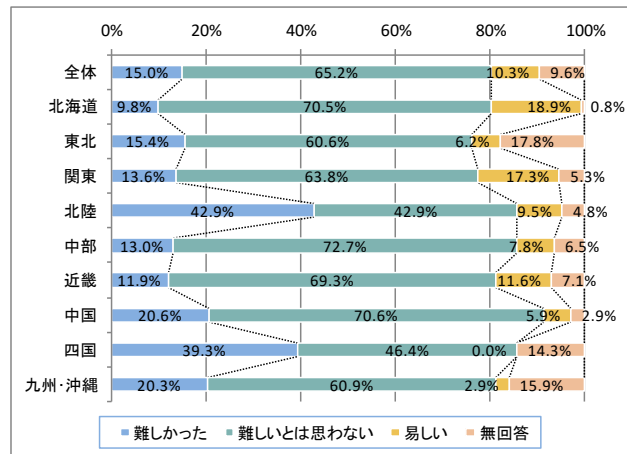


図 6-2-5c 地域別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

2) 設計テキスト (詳細計算ルート)

● 第2章 外皮性能の計算について

設計編「第2章 外皮性能の計算」について「難しかった」と感じている受講者は28.1%で、第1章より増加する。

職種別では、「難しかった」という回答が、施工34.2%と現場管理37.6%であった。

地域別では、北海道地域で「難しいとは思わない」66.3%で全体平均より19.2%高い。中国地域では「難しかった」36.1%で全体平均より7.9%多く、「難しいとは思わない」36.7%で全体平均より10.3%低い。

外皮性能の計算 について (設計編・第2章)	回答数
難しかった	841
難しいとは思わない	1,407
易しい	98
無回答	644
全体	2,990

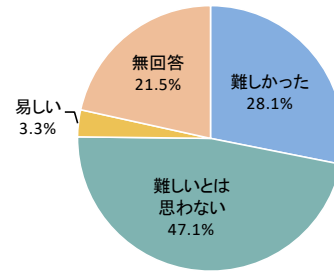


図 6-2-6a 設計編「第2章 外皮性能の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	28.1	47.1	3.3	21.5
施工 (全体との差)	152	34.2 +6.1	36.2 -10.9	1.3 -2.0	28.3 -
現場管理 (全体との差)	407	37.6 +9.5	37.8 -9.2	1.5 -1.8	23.1 -
設計 (全体との差)	1,926	25.6 -2.5	50.8 +3.8	3.7 +0.4	19.9 -
その他 (全体との差)	462	28.1 +0.0	43.7 -3.3	4.1 +0.8	24.0 -

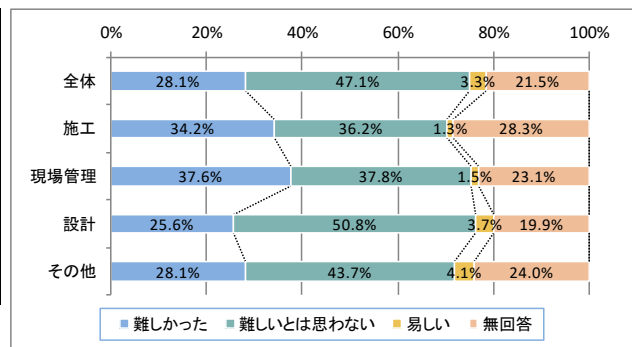


図 6-2-6b 職種別の設計編「第2章 外皮性能の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	28.1	47.1	3.3	21.5
北海道 (全体との差)	95	26.3 -1.8	66.3 +19.3	7.4 +4.1	0.0 -
東北 (全体との差)	457	28.9 +0.8	46.4 -0.7	3.5 +0.2	21.2 -
関東 (全体との差)	532	28.6 +0.4	50.4 +3.3	5.3 +2.0	15.8 -
北陸 (全体との差)	191	29.3 +1.2	37.7 -9.4	3.1 -0.1	29.8 -
中部 (全体との差)	433	25.9 -2.3	54.0 +7.0	2.1 -1.2	18.0 -
近畿 (全体との差)	313	25.9 -2.2	53.0 +6.0	3.5 +0.2	17.6 -
中国 (全体との差)	305	36.1 +7.9	36.7 -10.3	3.3 +0.0	23.9 -
四国 (全体との差)	114	30.7 +2.6	49.1 +2.1	0.9 -2.4	19.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	550	25.1 -3.0	40.7 -6.3	1.8 -1.5	32.4 -

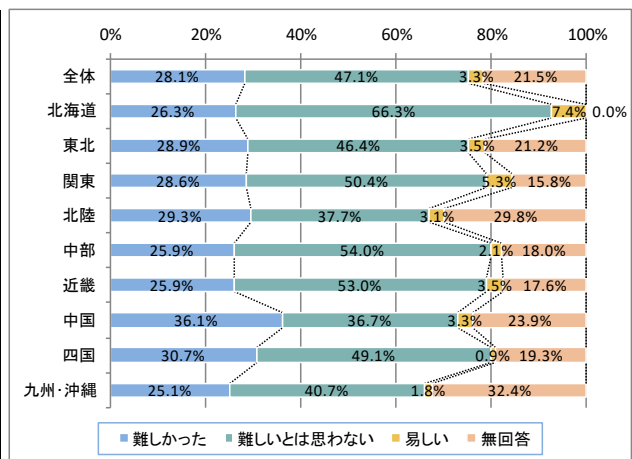


図 6-2-6c 地域別の設計編「第2章 外皮性能の計算」について

●第3章 一次エネルギー消費量の計算について

設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について「難しかった」と感じている受講者は25.7%であった。

職種別では、「難しかった」という回答が、施工 34.9%、現場管理 35.1%であり、全体の回答より10%程度高い。

地域別では、北海道では「難しいとは思わない」が67.4%で全体平均より18.8%高い。中国地域では「難しかった」33.8%で全体平均より8.1%多く、「難しいとは思わない」38.4%で全体平均より10.2%低い。

一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章)	回答数
難しかった	769
難しいとは思わない	1,452
易しい	115
無回答	654
全体	2,990

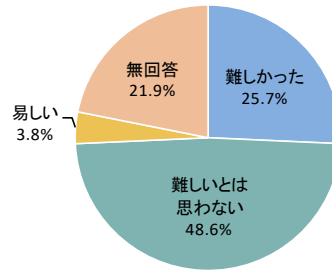


図 6-2-7a 設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	25.7	48.6	3.8	21.9
施工 (全体との差)	152	34.9 +9.1	35.5 -13.0	1.3 -2.5	28.3 -
現場管理 (全体との差)	407	35.1 +9.4	40.0 -8.5	1.5 -2.4	23.3 -
設計 (全体との差)	1,926	22.8 -5.3	52.5 +5.4	4.4 +1.1	20.3 -
その他 (全体との差)	462	26.4 +0.7	44.4 -4.2	5.0 +1.1	24.2 -

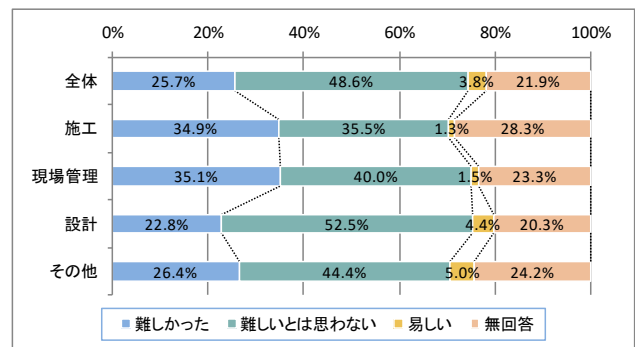


図 6-2-7b 職種別の設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	25.7	48.6	3.8	21.9
北海道 (全体との差)	95	26.3 +0.6	67.4 +18.8	6.3 +2.5	0.0 -
東北 (全体との差)	457	26.0 +0.3	48.8 +0.2	3.7 -0.1	21.4 -
関東 (全体との差)	532	24.6 -1.1	52.1 +3.5	6.8 +2.9	16.5 -
北陸 (全体との差)	191	26.2 +0.5	39.3 -9.3	3.7 -0.2	30.9 -
中部 (全体との差)	433	25.4 -0.3	54.0 +5.5	2.3 -1.5	18.2 -
近畿 (全体との差)	313	22.7 -3.0	55.9 +7.3	3.8 -0.0	17.6 -
中国 (全体との差)	305	33.8 +8.1	38.4 -10.2	3.9 +0.1	23.9 -
四国 (全体との差)	114	28.9 +3.2	50.9 +2.3	0.9 -3.0	19.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	550	23.1 -2.6	41.6 -6.9	2.5 -1.3	32.7 -

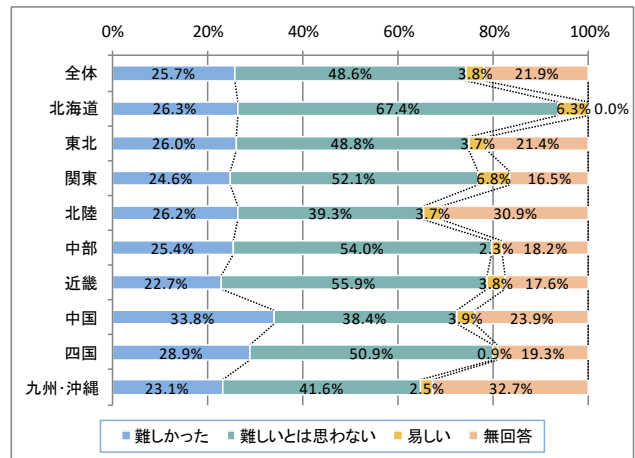


図 6-2-7c 地域別の設計編「第3章 一次エネルギー消費量の計算」について

●第4章 仕様基準による基準判定方法について

設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」については「難しかった」と感じている受講者は22.8%であり、「第2章外皮性能の計算について」より5.3%低い。

職種別では、「難しかった」という回答が、施工35.5%、現場管理32.4%であり、全体平均より10%程度多い。

地域別では、北海道では「難しいとは思わない」が66.3%を占めている。中国地域では「難しかった」31.5%で全体平均より8.7%多く、「難しいとは思わない」41.3%で全体平均より9.1%低い。

仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章)	回答数
難しかった	681
難しいとは思わない	1,508
易しい	134
無回答	667
全体	2,990

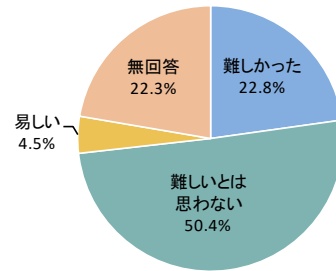


図 6-2-8a 設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

H30設計	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	22.8	50.4	4.5	22.3
施工 (全体との差)	152	35.5 +12.8	34.9 -15.6	1.3 -3.2	28.3 -
現場管理 (全体との差)	407	32.4 +9.7	41.3 -9.2	2.5 -2.0	23.8 -
設計 (全体との差)	1,926	19.4 -3.4	54.6 +4.1	5.2 +0.8	20.8 -
その他 (全体との差)	462	23.8 +1.0	47.2 -3.2	4.5 +0.1	24.5 -

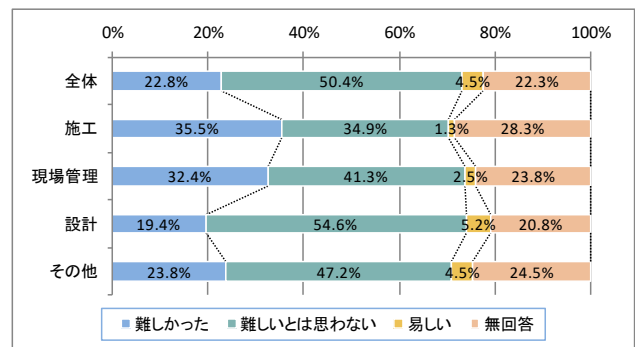


図 6-2-8b 職種別の設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

H30設計	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	22.8	50.4	4.5	22.3
北海道 (全体との差)	95	23.2 +0.4	66.3 +15.9	10.5 +6.0	0.0 -
東北 (全体との差)	457	23.2 +0.4	50.3 -0.1	4.8 +0.3	21.7 -
関東 (全体との差)	532	20.1 -2.7	56.8 +6.3	6.0 +1.5	17.1 -
北陸 (全体との差)	191	25.1 +2.4	40.3 -10.1	3.7 -0.8	30.9 -
中部 (全体との差)	433	22.2 -0.6	54.0 +3.6	5.3 +0.8	18.5 -
近畿 (全体との差)	313	19.2 -3.6	56.2 +5.8	4.8 +0.3	19.8 -
中国 (全体との差)	305	31.5 +8.7	41.3 -9.1	3.6 -0.9	23.6 -
四国 (全体との差)	114	28.9 +6.2	50.9 +0.4	0.9 -3.6	19.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	550	20.5 -2.2	44.0 -6.4	2.4 -2.1	33.1 -

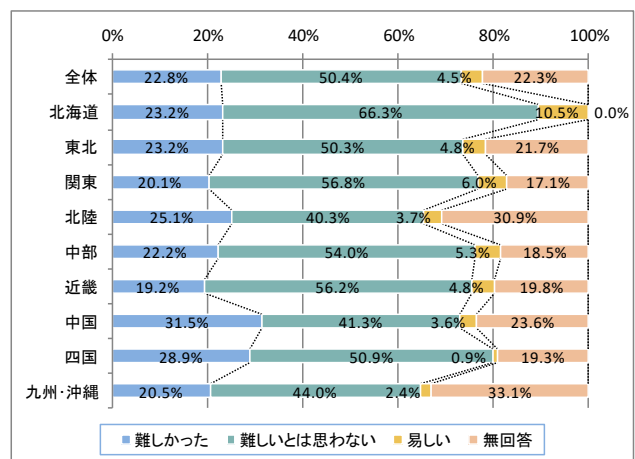


図 6-2-8c 地域別の設計編「第4章 仕様基準による基準判定方法」について

3) 設計編テキスト（仕様ルートと簡易計算ルート）について

●第1部 仕様ルート[1] 計算が不要な方法

仕様ルート[1] 計算が不要な方法については「難しかった」と感じている受講者は17.3%であった。

計算が不要な方法 第1部 仕様ルート [1]	回答数
難しかった	538
難しいとは思わない	1,610
易しい	221
無回答	733
全体	3,102

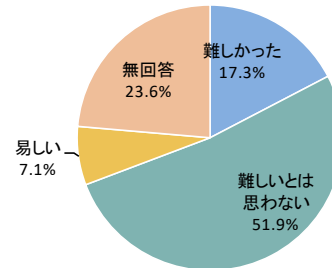


図 6-2-8d 第1部 仕様ルート [1] 計算が不要な方法

●第1部 仕様ルート[2] 計算を要する方法

仕様ルート[2] 計算を要する方法については「難しかった」と感じている受講者は20.5%であった。

計算を要する方法 第1部 仕様ルート [2]	回答数
難しかった	635
難しいとは思わない	1,553
易しい	171
無回答	743
全体	3,102

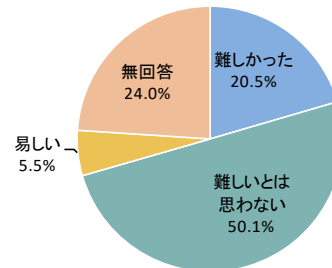


図 6-2-8e 第1部 仕様ルート [2] 計算を要する方法

●第2部 簡易計算ルート[1] 外皮性能計算

仕様ルート[2] 計算を要する方法については「難しかった」と感じている受講者は26.3%であった。

外皮性能計算 第2部 簡易計算ルート [1]	回答数
難しかった	817
難しいとは思わない	1,414
易しい	106
無回答	765
全体	3,102

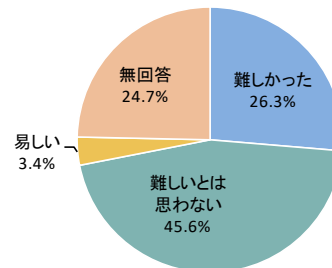


図 6-2-8f 第2部 簡易計算ルート [1] 外皮性能計算

●第2部 簡易計算ルート[2] 一次エネルギー消費量計算

仕様ルート[2] 一次エネルギー消費量計算については「難しかった」と感じている受講者は26.0%であった。

一次エネルギー消費量計算 第2部 簡易計算ルート [2]	回答数
難しかった	808
難しいとは思わない	1,393
易しい	121
無回答	780
全体	3,102

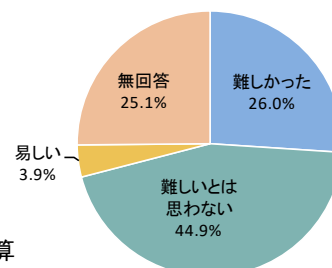


図 6-2-8g 第2部 簡易計算ルート [2] 一次エネルギー消費量計算

4) 講習内容、説明方法への意見、要望

設計者講習における講習内容、説明方法について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全 181 回答を整理)

※ () 内は回答数

●読み上げる講習 不評 (12)

- ・テキストを読むだけ…。眠たくなります。楽しい講習をお願いします。等

●要望 ポイントを絞った説明 (5)

- ・一次エネルギー計算は建研ホームページでも分かるので、もう少し時間とポイントを絞り、外皮計算に時間が欲しかった。
- ・前半の講習がボリュームが多かったためかスピードが早かったので、重要箇所をピックアップし、もう少し詳しい説明があると良かった。等

●DVD・パワーポイント等映像活用 (12)

- ・計算式を、モニターを使って、講義してくれると、分かりやすいと思います。
- ・テキストがプロジェクター等で映し出されると、どの部分を読み上げているのか分かりやすいと思います。
- ・ホワイトボードなどがあると良い。実際にパソコンに入力してやりながらの講習もあると良い。等

●要望 具体例・実例による説明 (7)

- ・具体的に、住宅であれば、地場の大工の家だとこの方法を使うとか、地方ビルダー(レベル)だとこの方法を使うとか、例を作って教えていただければ助かります。
- ・実際の作成の順番、手順など例として教えてほしい。他の方がどのように計算して進めているのか分かりづらい。等

●要望 実習・実演の講習 (29)

- ・1日で1棟分完成できるワークがあると良いと思う。
- ・実務に対応した書式で、完成させた記入をしてみたい。
 - ・一次エネルギーについては、パソコンを使用して実際に入力してみる方が分かりやすいかも。等

●新基準、関連制度の詳しい説明 (6)

- ・これからの展望、重要度の説明がほしかった。
 - ・平成 28 年度省エネ基準が今までと何が違うのかを知りたかった。
- 等

●要望 質疑応答の時間確保 (7)

- ・講習会の途中や最後に質問の時間をとってほしかった。
 - ・講習が終わった後、数日後にメール等で質問ができればうれしい。
- 等

●要望 講習資料の事前配付 (2)

- ・事前にテキストが手元にあると、短時間での理解度が上がるかと思いました。
- 等

●要望 習得レベルに合わせた講習会 (6)

- ・初心者向けに、図面の見方や数の拾い方や工法の解説を今後検討いただくと助かります。
 - ・省エネ講習を受講済の人を対象とした、具体的なことを重点にしたセミナーがあると、省エネ住宅の普及につながると思います。
- 等

●要望 該当地域向け講習 (2)

- ・地域（岩手）仕様の具体的な講習であれば良いと思います。
- 等

●要望 講習会の次の開催、多数開催 (4)

- ・これからも機会ある毎に開催して下さい。
- 等

●要望 他業種向け講習会 (1)

- ・断熱材、サッシ、冷暖房機、給湯器 etc 省エネに必要とするメーカーの勉強会があれば、もっと何を使うかの検討が出来ると思う。

●要望 講習内容以外の説明 (15)

- ・鉄骨造の場合、鉄筋コンクリート造の場合も講習会を企画してほしい。
 - ・非住宅系の場合の講習会も行っていただけるとありがたい。
 - ・創エネの関係の話が聞きたい。
- 等

●講習内容等 その他要望 (23)

- ・講習の一番初めに、何を狙っているのかを説明して下さった方が、はじめから全体がわかるかと思います。
- ・基本的な用語の説明とその意味を最初に説明してもらいたかった。
- ・どういう理由でこの計算になったかなど根本的なことが分かればもっと理解度が深まると思いました。
- ・計算通りの性能を発揮する住宅の施工納まりの注意点についても、もう少し詳しく教えてほしい。

等

●講習内容等 不評 (11)

- ・教えてもらいたいところがテキストを読むように、との事で残念。
- ・どこを見れば良いか何となく分かったが、どういう時にどのような計算をすればいいのか（実務で）がイマイチよく分からなかった。

等

●講習内容等 意義に疑問 (6)

- ・このレベルであれば建築士は免除してもいいと思う。（建築士の試験で十分やっている知識レベルだと思う。）
- ・建築というより製造業的に建物を設計していく方向になっているのですが、建築主にとってどの程度の選択基準になるのか疑わしい。

等

●講習内容等 好評 (24)

- ・実際の計算を通して学べたので分かりやすかった。
- ・説明を聞いている時はペースが早くてページを追うのに必死だったが、実際テストを受けてみると意外とできたので、うまく構成された講座だったんだなと思いました。

等

●講習内容等 その他 (9)

- ・詳細計算ルートによる評価方法は、作業時間が長くなるので他の作業に支障が出るので、簡易計算ルートまでの計算の方がよいと思われる。
- ・建築の仕様によって引用する数値が違ったりとある意味詳細計算ルートの方が分かりやすいと感じました。

等

③演習

1) 演習

設計者講習における演習について「難しかった」23.9%であった。

職種別でみると、「難しかった」という回答が、施工39.2%、現場管理32.6%が全体より高い。地域別では全体平均とほぼ同様の割合である。

自由記述では前年度同様「演習問題を多くして欲しい」という要望が多かった。

演習 【設計者講習】		回答数
難しかった		1,458
難しいとは思わない		3,604
易しい		621
無回答		409
全体		6,092

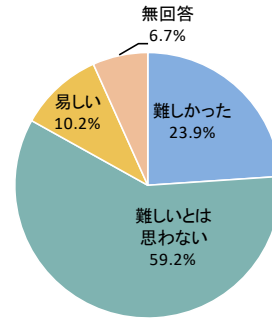


図 6-2-9a 【設計者講習】演習について

H30設計	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	23.9	59.2	10.2	6.7
施工	385	39.2	46.2	3.9	10.6
(全体との差)		+15.3	-12.9	-6.3	-
現場管理	901	32.6	52.7	7.1	7.5
(全体との差)		+8.7	-6.4	-3.1	-
設計	3,899	19.5	63.0	11.4	6.0
(全体との差)		-4.4	+3.9	+1.2	-
その他	831	27.4	55.2	10.8	6.5
(全体との差)		+3.5	-3.9	+0.6	-

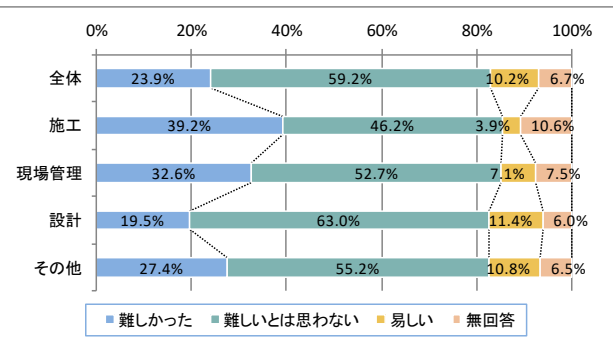


図 6-2-9b 【設計者講習】職種別の演習について

H30設計	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	23.9	59.2	10.2	6.7
北海道	125	26.4	63.2	9.6	0.8
(全体との差)		+2.5	+4.0	-0.6	-
東北	913	23.9	57.3	10.6	8.2
(全体との差)		-0.1	-1.9	+0.4	-
関東	981	21.5	60.3	12.0	6.1
(全体との差)		-2.4	+1.2	+1.8	-
北陸	429	22.4	61.5	8.4	7.7
(全体との差)		-1.6	+2.4	-1.8	-
中部	965	23.8	60.7	9.7	5.7
(全体との差)		-0.1	+1.6	-0.5	-
近畿	851	21.2	62.5	9.8	6.6
(全体との差)		-2.8	+3.4	-0.4	-
中国	528	24.1	57.0	12.9	6.1
(全体との差)		+0.1	-2.2	+2.7	-
四国	187	27.8	52.4	13.4	6.4
(全体との差)		+3.9	-6.8	+3.2	-
九州・沖縄	1,113	27.9	56.5	7.9	7.6
(全体との差)		+4.0	-2.6	-2.3	-

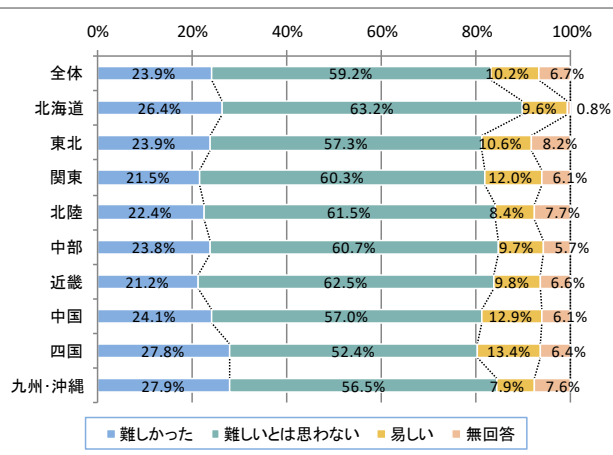


図 6-2-9c 【設計者講習】地域別の演習について

2) 演習への意見、要望

設計者講習における演習について自由記述では以下のような意見、要望があった。
(全 17 回答を整理)

※ ()内は回答数

●好評 (4)

- ・とても難しかったですが、演習問題で理解ができました。 等

●不評 (2)

- ・演習解説が雑。
等

●要望 (10)

- ・演習問題を多くして欲しい。
- ・参照する各図表等の記載ページの入った例題が欲しい。(簡易計算ルートも) 等

●その他 (1)

- ・計算問題は、設計職の必要技能でしょうか？

④修了考査

1) 修了考査

施工技術者講習における修了考査について「難しかった」21.2%であった。

職種別で見ると、「難しかった」という回答が、施工34.0%、現場管理28.9%が全体平均より多い。

地域別では北海道地域で「難しいとは思わない」68.0%が全体平均より10.7%上回るものの、その他の地域では全体平均とほぼ同様の割合である。

修了考査 【設計者講習】	回答数
難しかった	1,291
難しいとは思わない	3,490
易しい	701
無回答	610
全体	6,092

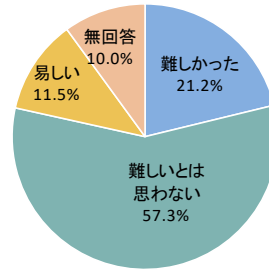


図 6-2-10a 【設計者講習】修了考査について

H30設計	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	21.2	57.3	11.5	10.0
施工 (全体との差)	385	34.0 +12.8	48.1 -9.2	4.9 -6.6	13.0 -
現場管理 (全体との差)	901	28.9 +7.7	53.9 -3.3	7.5 -4.0	9.7 -
設計 (全体との差)	3,899	18.0 -3.2	59.6 +2.3	12.8 +1.3	9.6 -
その他 (全体との差)	831	21.7 +0.5	55.6 -1.7	12.8 +1.2	10.0 -

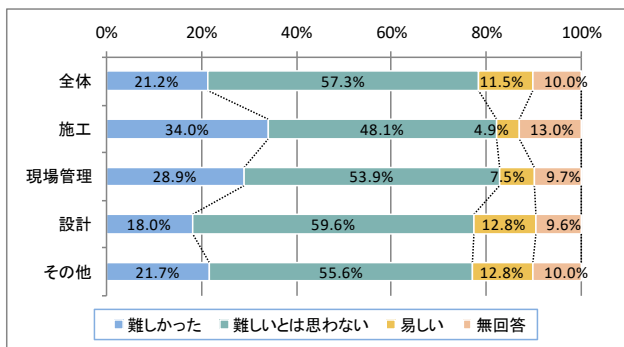


図 6-2-10b 【設計者講習】職種別の修了考査について

H30設計	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	21.2	57.3	11.5	10.0
北海道 (全体との差)	125	19.2 -2.0	68.0 +10.7	11.2 -0.3	1.6 -
東北 (全体との差)	913	22.0 +0.8	55.3 -2.0	10.5 -1.0	12.2 -
関東 (全体との差)	981	16.8 -4.4	61.6 +4.3	13.8 +2.3	7.8 -
北陸 (全体との差)	429	22.6 +1.4	55.2 -2.0	11.7 +0.1	10.5 -
中部 (全体との差)	965	22.6 +1.4	55.0 -2.3	11.1 -0.4	11.3 -
近畿 (全体との差)	851	18.1 -3.1	59.1 +1.8	11.5 +0.0	11.3 -
中国 (全体との差)	528	20.6 -0.5	54.9 -2.4	14.2 +2.7	10.2 -
四国 (全体との差)	187	25.7 +4.5	52.9 -4.3	14.4 +2.9	7.0 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,113	24.7 +3.5	57.1 -0.1	8.9 -2.6	9.3 -

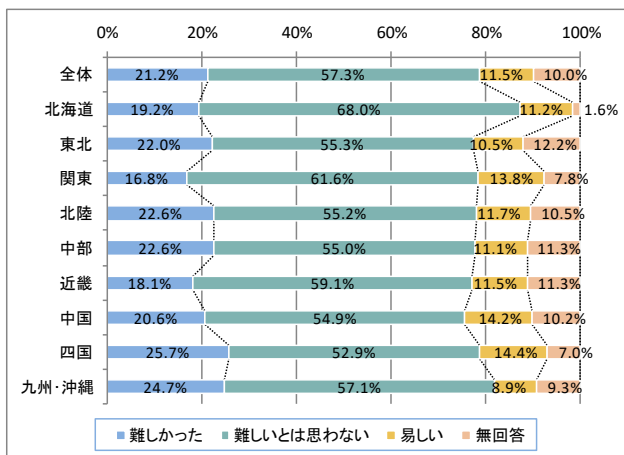


図 6-2-10c 【設計者講習】地域別の修了考査について

2) 修了考査への意見、要望

設計者講習における修了考査について、自由記述では以下のような意見、要望があった。(全12回答を整理)

※ () 内は回答数

●不評 (9)

- ・考査問題が簡単すぎて、何の練習にもならなかった。
- ・最終の考査問題解説は必要? 等

●好評 (2)

- ・考査は良問だったと思います。ポイントがよくおさえられて。
等

⑤講師の説明

1) 講師の説明

設計者講習における講師の説明について「大変分かりやすかった」13.7%と「わかりやすかった」40.4%を合わせて54.1%、「普通」30.5%と合わせて84.6%であった。

自由記述では、好評であった点について、「重要な所を言って下さったので、要点がつかみやすかった」「絶えずルート図のどこにいるのかを確認してくれて、わかりやすかった」という感想が見られた。一方不評であった点については、昨年度同様、早口、声が小さいといった指摘があった。

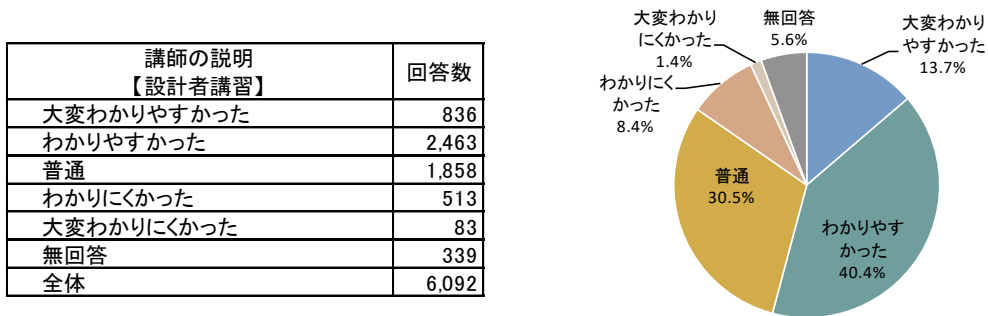


図 6-2-11 【設計者講習】講師の説明について

2) 講師の説明への意見、要望

設計者講習における講師の説明について、自由記述より以下のような意見、要望があった。（全 69 回答を整理）

●好評 (20)

- ・講師の講義がとても良かったです。初心者の私でも分かりやすく、理解しやすいよう何度もこのページに書いている内容で、どういふ場合に役立つものか説明して下さいました。 等

●不評 話し方 (15)

- ・活舌の良い方をお願いしたいです。
- ・講師の話し方が分かりにくい。早口だったり、声が小さかったり。「ここは説明しません」と言ったそばから説明を始めたり。 等

●不評 質 (12)

- ・講師によって説明の分かりやすさに大きな差があるため本気で普及をするのであれば、環境を専門にした方を講師に限定する等、講師の質を上げる事に予算を使って頂きたいと思います。 等

●不評 進行 (16)

- ・説明とページが合っていないことが多々 等

●その他 (6)

- ・仕様と簡易で講師が異なる人物だったが説明方法を統一した方が良い。 等

7. 講習会運営に関する調査結果

(1) 講習会開催の認知経路

講習会開催の認知経路は、毎年同じような割合となっている。「所属業界団体からの情報・依頼」38.6%が最多で、次いで「会員になっている業界団体のリーフレットをみて」34.8%となっている。「地域協議会から」は11.8%であった。

職種別では施工と現場管理は全体平均と同様の傾向であるが、設計では「会員になっている業界団体のリーフレットをみて」43.3%が最も多い。

「その他」の認知経路は、所属団体・会社等が2.5%、クチコミが2.3%、学校や職業訓練校などの公共・公益が2.2%、インターネットが2.0%でほぼ横並びとなっている。

H30 講習会の認知経路	回答数
会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて	3,715
各都道府県の地域協議会からの情報	1,256
所属業界団体(会社等)からの情報、依頼	4,115
その他	1,516
無回答	287
全体	10,666

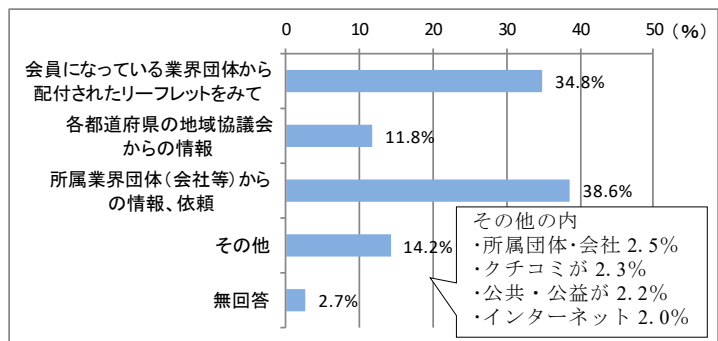


図 7-1a 講習会開催の認知経路

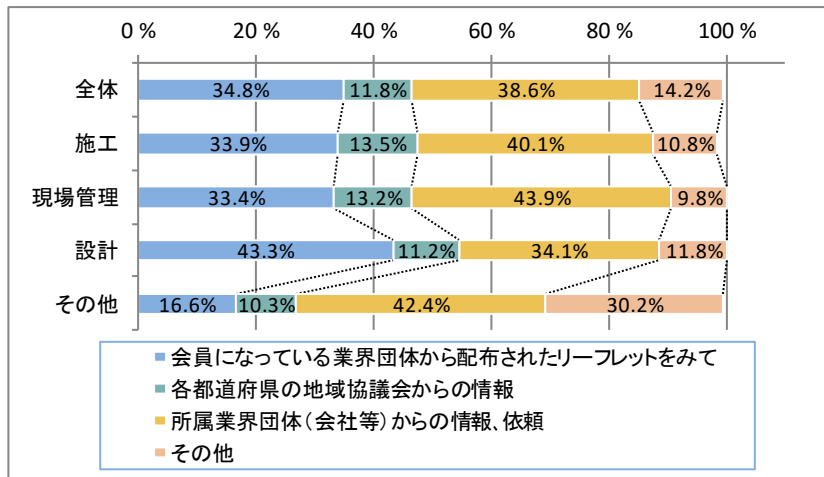


図 7-1b 職種別の講習会開催の認知経路

(2) 講習会への参加動機

講習会への参加動機については、前年度と同様の割合で、「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」の回答が82.1%、「所属団体からの受講指示」への回答は17.9%であった。前年と同様、自発的な動機が大半を占めている。

H30	参加理由・目的	回答数
	これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから	8,761
	所属業界団体または会社等から受講を指示されたから	1,914
	その他	333
	無回答	113
	全体	10,666

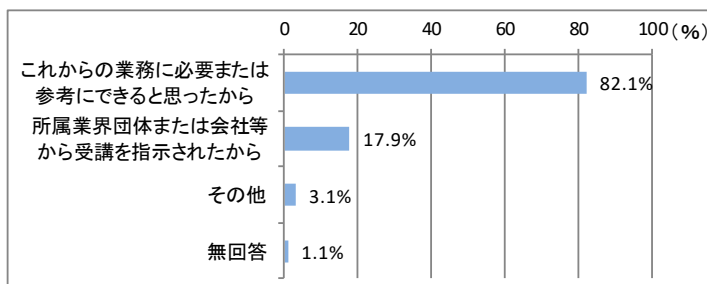


図 7-2a 講習会への参加動機

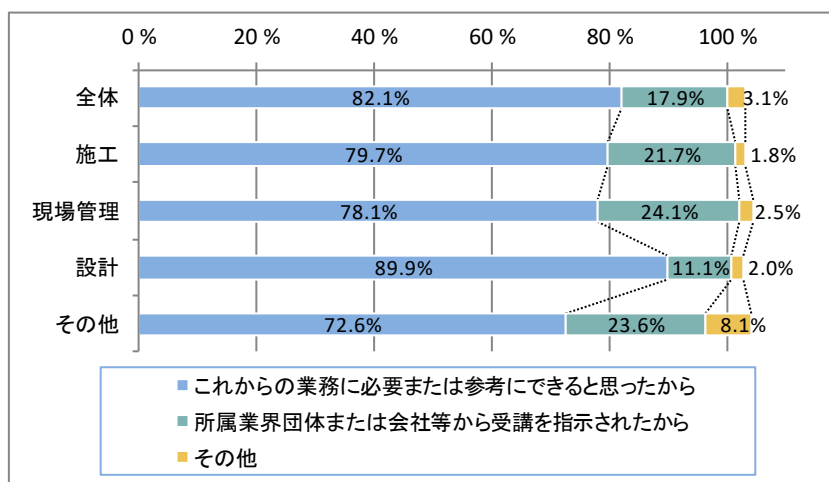


図 7-2b 職種別の参加動機

(3) 講習時間

① 講習時間

講習時間について、「ちょうど良い」71.9%、「長い」17.1%となった。前年度と同様の割合であった。

講習時間の長さの感じ方は、施工技術者講習、設計者講習どちらも前年度と大きな変化はない。1日講習会と半日講習会の別に見ると、1日講習会は25.5%が長いと感じており、10%程度多い。

自由記述では、前年度同様、設計者講習で「1日だけでは時間が不足しているように思います」などの回答が多い。施工技術者講習、設計者講習どちらも「60分程度に一回は休憩が必要。」という意見があった。

H30 講習時間	回答数
長い	1,829
ちょうどよい	7,667
短い	802
無回答	368
全体	10,666

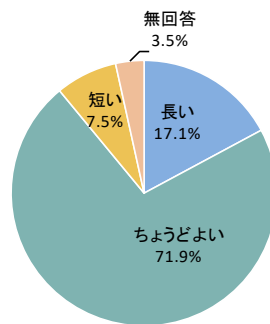


図 7-3a 講習時間の長さの感じ方 全体

H30 講習時間【施】	回答数
長い	879
ちょうどよい	3,325
短い	220
無回答	150
全体	4,574

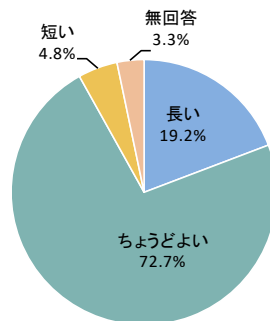


図 7-3b 講習時間の長さの感じ方 施工技術者講習

H30 講習時間【設】	回答数
長い	950
ちょうどよい	4,342
短い	582
無回答	218
全体	6,092

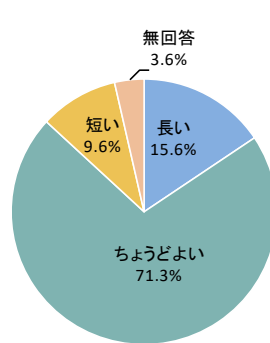
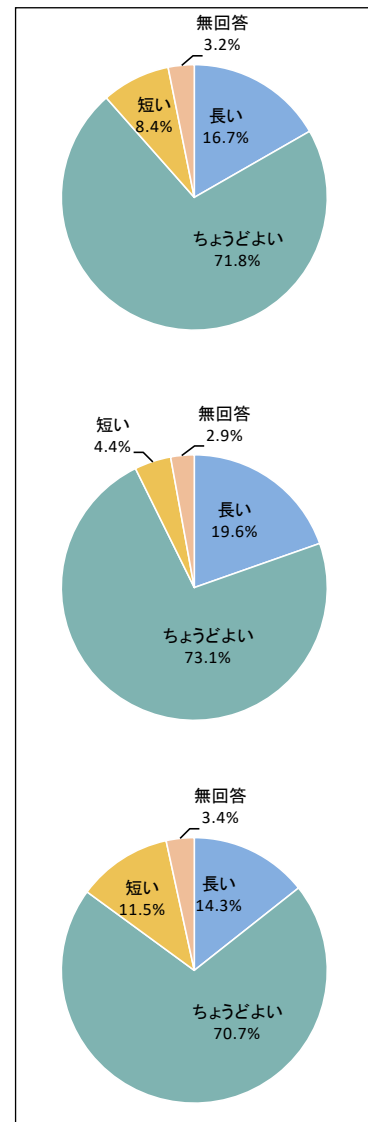


図 7-3c 講習時間の長さの感じ方 設計者講習



(H29回答)

H30講義時間【1日】	回答数
長い	559
ちょうどよい	1,415
短い	137
無回答	84
全体	2,195

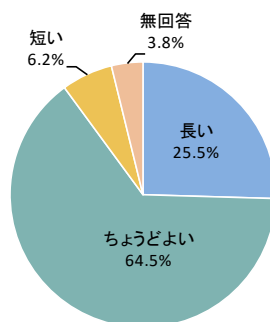


図 7-3d 講習時間の長さの感じ方 1日講習会

H30講義時間【半日】	回答数
長い	1,243
ちょうどよい	6,175
短い	655
無回答	266
全体	8,339

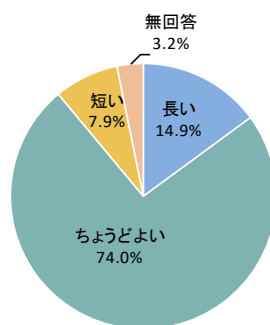


図 7-3e 講習時間の長さの感じ方 半日講習会

②講習時間への意見、要望

講習時間について、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(施工講習 31 回答、設計講習 161 回答を整理)

施工講習

●講習時間が不足、説明速い(20)

- ・1日の講習では覚えきれないと感じました。
- ・テキストの進行が早すぎてわけがわからなかった。 等

●講習時間が長い (2)

- ・教える内容をまとめて分かりやすく説明したら、時間ももう少し減り早く終わせられると思います。 等

●時間配分、カリキュラム、時間割、休憩時間 (9)

- ・休憩時間がもう少しほしい。回数、ひとこまが長いものがある。
- ・1時間位に分けてもらいたいと思う。 等

設計講習

●講習時間が不足、説明速い (100)

- ・かけ足だったので、理解しきれず不安です。
- ・計算ルートは、半日の時間ではよく理解できない。
- ・講習のスピードが速く、もっと丁寧な説明を希望します。(講習時間が2日間になっても)

等

●講習時間が長い (6)

- ・時間が長かった。

等

●講習時間がちょうどいい (5)

- ・時間的に丁度良い講習で、内容もわかりやすかった。

等

●時間配分、カリキュラム、時間割 (35)

- ・計算プログラムの内容については読めばわかるようなので、他の部分に時間を使って欲しかった。
- ・テキスト説明は省くところは省いてもらって良いので演習と解説に時間が欲しいです。
- ・修了考査の時間が長い。20分位が良い。

等

●休憩時間 (15)

- ・休憩なしで2時間の講習は長すぎます。5分でいいので休憩を。

等

(4) 講習会運営に関する意見

講習会の運営に関して、自由記述では以下のような意見、要望があった。

(施工講習 12 回答、設計講習 44 回答を整理)

施工講習

●開催時期・曜日 (3)

- ・土日の講習がもうないので「仕様・簡易計算」をもう一度土日にしてほしいです。 等

●講習会場 (6)

【空調ができていない】

- ・寒い

【マイクなし・不調】

- ・マイクが「ハウリング」のようになって全体的に聞きにくかった。 等

【その他不評】

- ・ホワイトボード見えない 等

●講習会運営その他 (3)

- ・アンケート用紙、印刷が悪い。見づらかった。 等

設計講習

●広報・開催案内・内容案内、持参物案内 (5)

- ・電卓の用意をアナウンスするべきだったかも。
- ・今回の講習会が HP から申し込みができませんでした 等

●開催時期・曜日 (4)

- ・平日にしてほしい。
- ・4月～6月に講習会があればよい。 等

●講習会場 (28)

【会場が狭い】

- ・会場が狭く、受講しづらい。とくに机が3人掛けは狭すぎる。 等

【空調ができていない】

- ・会場が寒かった
- ・会場の暖房が暑すぎです！！ 等

【マイク不備、不調】

- ・マイクの音が反響してエコーがかかっている様で、聞き取りにくい。
- ・お昼の部の方の声が、低くて聞こえづらかった。（マイクの感度が悪かった） 等

【暗い】

- ・会場が暗かった… 等

【その他不評】

- ・隣の会場の音が気になってしまった…。 等

【好評】

- ・今回は音響も良く、聞き取りやすかったと思います。 等

●講習会運営その他（7）

- ・忘れ物の電卓等、貸して下さって良かった。
- ・席順が指定でなく前の席にしたかった（視力のため）
等

(5) 講師、スタッフ、受講者への意見

講師、スタッフ、受講者の態度やマナーの悪さについて、自由記述では以下のような意見、指摘があった。（施工講習 1 回答、設計講習 1 回答）

施工講習

【受講者】

- ・ 終了検査中は静かにしてほしいです。色々な方の声が大きかったです。

設計講習

【講師】

- ・ 検査である以上、その時間内ぐらいは私語を止めていただけますか。講師の方と、司会の方の事です。

《資料編》

- ・平成 30 年度講習会アンケート調査結果

概要

- ・ 調査対象
：主に現場施工者、現場管理者、設計者

- ・ 調査期間
：2018年9月～2019年2月

- ・ 調査場所
：全国47都道府県で開催の平成30年度住宅省エネルギー技術者講習会会場
 - 施工技術者講習会 306会場
 - 設計者（詳細計算ルート）講習会 177会場
 - 設計者（仕様・簡易計算ルート）講習会 177会場全 660会場

- ・ アンケート票配布及び回収方法
：講習会場にて教材と共に配布。
終了考査解答用紙と共に提出を原則義務づけ。

- ・ アンケート票回収数
：全国で10,666票。

地域	回答数	施工	設計
北海道	208	83	125
東北	1,578	665	913
関東	1,870	889	981
北陸	673	244	429
中部	1,637	672	965
近畿	1,442	591	851
中国	936	408	528
四国	528	341	187
九州・沖縄	1,794	681	1,113
全体	10,666	4,574	6,092

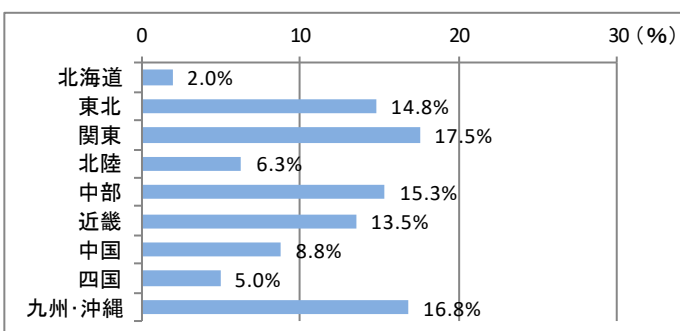


図 4-1-2a 地域別回答数(地域分けは講習会応募地域分けに倣う。以下同様。)

地域	都道府県	回答数	施工	設計
北海道	北海道	208	83	125
東北	青森県	178	106	72
	岩手県	268	115	153
	宮城県	287	122	165
	秋田県	94	21	73
	山形県	279	156	123
関東	福島県	472	145	327
	茨城県	175	109	66
	栃木県	263	126	137
	群馬県	184	86	98
	埼玉県	208	87	121
	千葉県	141	81	60
	東京都	518	230	288
	神奈川県	281	112	169
	山梨県	100	58	42
	新潟県	275	133	142
北陸	富山県	146	50	96
	石川県	123	23	100
	福井県	129	38	91
	長野県	346	91	255
中部	岐阜県	388	216	172
	静岡県	234	120	114
	愛知県	567	207	360
	三重県	102	38	64
近畿	滋賀県	61	23	38
	京都府	302	110	192
	大阪府	440	187	253
	兵庫県	559	233	326
	奈良県	11	9	2
中国	和歌山県	69	29	40
	鳥取県	68	23	45
	島根県	97	57	40
	岡山県	153	71	82
	広島県	504	190	314
四国	山口県	114	67	47
	徳島県	65	24	41
	香川県	107	74	33
	愛媛県	258	210	48
	高知県	98	33	65
九州・沖縄	福岡県	207	72	135
	佐賀県	188	71	117
	長崎県	263	96	167
	熊本県	403	159	244
	大分県	117	36	81
	宮崎県	138	98	40
	鹿児島県	337	128	209
	沖縄県	141	21	120
全体	10,666	4,574	6,092	

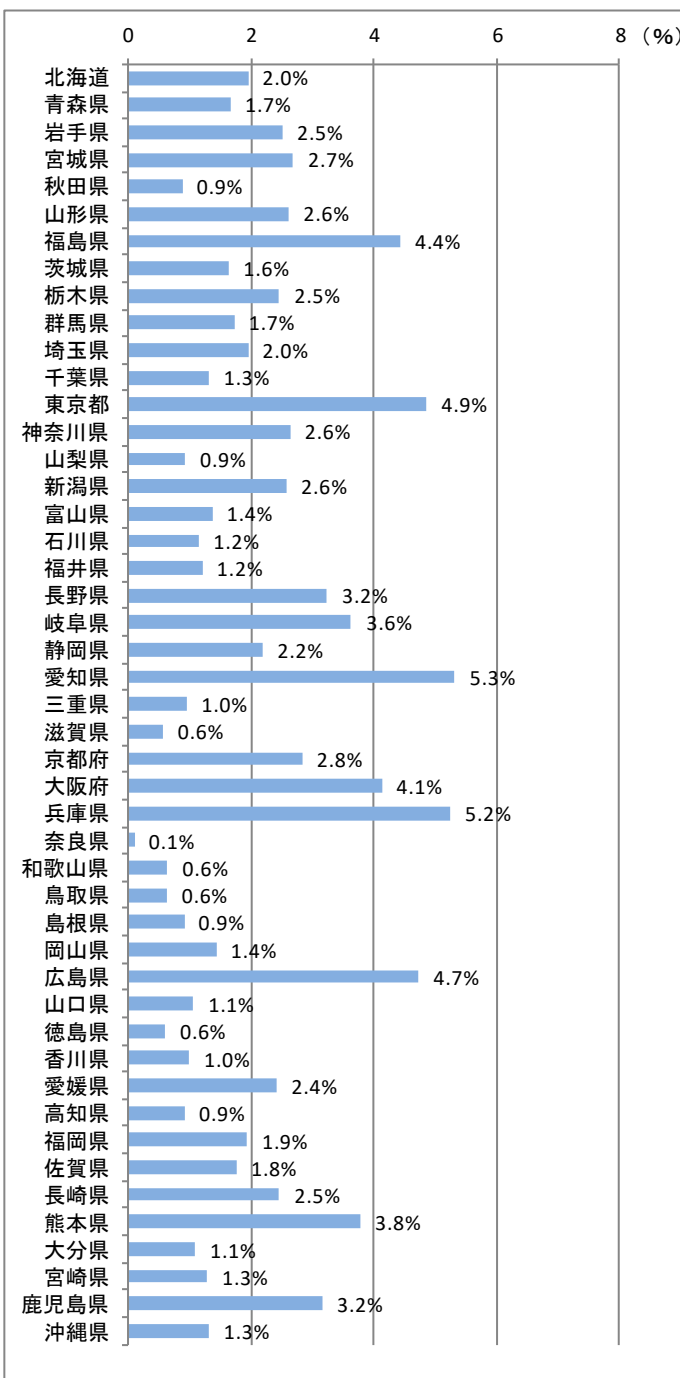


図 4-1-2b 都道府県別回答数

質問内容、対象講習一覧

H30年度 省エネアンケート設問一覧

【☆】H29からH30の変更点

	NO	質問内容 [選択肢]	施工技術者講習	設計(詳細)講習	設計(仕様)講習	
属性	0	講習種別 [1.1日講習 2.半日講習]	-	-	-	
	1	業種 [1.工務店 2.住宅メーカー/建設会社 3.設計事務所 4.その他()]	質問1	質問1	質問1	
	2	職種 [1.施工 2.現場管理 3.設計 4.その他()]	質問2	質問2	質問2	
省エネ設計・施工の実態把握	3	年齢層 [1.19歳以下 2.20歳代 3.30歳代 4.40歳代 5.50歳代 6.60歳代以上]	質問3	質問3	質問3	
	4	普段施工(設計または現場管理)している断熱工法(※:()内は設計者講習での設問文面)(複数選択) ①屋根・天井[1.天井断熱 2.屋根野地上断熱 3.垂木間充填断熱] ②外壁 [1.充填断熱 2.外張断熱 3.充填外張併用断熱] ③床・基礎 [1.根太間充填断熱 2.大引間充填断熱 3.根太+大引間充填断熱 4.基礎断熱]	質問11-1	質問12-1	質問12-1	
	5	上記で回答した工法で使っている断熱材(複数選択) ①屋根・天井[1.2.3.4.5.6.] ②外壁[1.2.3.] ③床・基礎[1.2.3.] [1.グラスウール・ロックウール 2.発泡プラスチック系断熱材(ホド状) 3.その他()]	質問11-2	質問12-2	質問12-2	
	6	断熱施工の中で ①今まで正しく施工していなかったところ[1.2.3.4.5.6.7.8.9.10](複数選択) ②難しいやりにくいなど感じたところ[1.2.3.4.5.6.7.8.9.10](複数選択) [1.壁への施工 2.屋根への施工 3.天井への施工 4.下屋への施工 5.筋かい部への施工 6.真壁への施工 7.浴室への施工 8.気流止めの施工 9.基礎への施工 10.その他()]	質問11-3	-	-	
	7	今回の講習内容で施工する場合の時間は普段と比べてどれくらい変わるか。 [1.ほとんど変わらない 2.坪あたり()人工程増加する 3.坪あたり()人工程減少する]	質問11-5	-	-	
	8	断熱仕様について設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面(複数選択) ①屋根・天井[1.2.3.4.5.6.] ②外壁[1.2.3.4.5.6.] ③床・基礎[1.2.3.4.5.6.] [1.特記仕様書 2.仕上表 3.平面図 4.平面詳細図 5.短記図 6.その他()]	-	質問12-3	質問12-3	
	9	普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル [1.H28年基準を超えたレベル以上 2.H28・H25・H11年基準レベル 3.H4年基準レベル以下]	-	質問12-4	質問12-4	
	10	断熱性能を決める方法は何か。 [1.性能基準に従い外皮計算等を行う 2.仕様基準に従い外皮等の仕様を決める 3.何もしていない]	-	質問12-5	質問12-5	
	11	断熱・施工方法に関する情報の主な入手先(複数選択) [1.職場内研修から 2.住宅生産関連団体の講習会などから 3.公的講習会・仕様書から 4.建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから 5.建築雑誌から 6.その他()]	質問11-4	質問12-6	質問12-6	
	12	最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か(複数選択) [1.設計従事者 2.施工管理者 3.現場施工者 4.建築主 5.その他()]	質問11-6	質問12-7	質問12-7	
	講習内容・資料関連	13	施工技術者講習の資料について ①テキスト[1.2.3.4.5.] ②DVD[1.2.3.4.5.] ③カットモデル[1.2.3.4.5.] ※1日講習を受講の方のみ回答ください。 [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問7	-	-
		14	施工技術者講習の講義内容について ①基本編テキストについて 1)これからの住まい[1.2.3.] 2)建築による省エネ化/設備による省エネ化[1.2.3.] 3)断熱設計/開口部設計[1.2.3.] 4)省エネルギー基準/関連基準と制度[1.2.3.] ②施工編テキストについて[1.2.3.] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問8	-	-
15		設計者講習のテキストについて [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	-	質問7	質問7	
16-1		設計者講習の講義内容について ①基本編テキストについて ※1日講習を受講の方のみ回答ください。 1)これからの住まい[1.2.3.] 2)建築による省エネ化/設備による省エネ化[1.2.3.] 3)断熱設計/開口部設計[1.2.3.] 4)省エネルギー基準/関連基準と制度[1.2.3.]	-	質問8 ①	質問8 ①	
16-2		②設計編テキストについて 1)外皮性能の計算[1.2.3.] 2)一次エネルギー消費量の計算[1.2.3.] 3)仕様基準による基準判定方法[1.2.3.] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	質問8 ②	-	
16-3		③設計編テキスト(仕様ルートと簡易計算ルート)について 1)仕様ルート1 計算が不要な方法[1.2.3.] 2)仕様ルート2 計算を要する方法[1.2.3.] 3)簡易計算ルート 外皮性能計算[1.2.3.] 4)簡易計算ルート 一次エネルギー消費量計算[1.2.3.] [1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	-	質問8 ②	
17		設計者講習の演習について[1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	-	質問9	質問9	
18		修了審査について[1.難しかった 2.難しいとは思わない 3.易しい]	質問9	質問10	質問10	
19		講師の説明について [1.大変わかり易かった 2.わかり易かった 3.普通 4.わかりにくかった 5.大変わかりにくかった]	質問10	質問11	質問11	
講習会運営関連	20	講習会を何で知ったか(複数選択) [1.会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2.各都道府県の地域協議会からの情報 3.所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4.その他()]	質問4	質問4	質問4	
	21	講習会への参加理由:目的(複数選択) [1.これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2.所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3.その他()]	質問5	質問5	質問5	
	22	講義時間について [1.長い 2.ちょうどよい 3.短い]	質問6	質問6	質問6	
共通	23	自由記述	質問12	質問13	質問13	

アンケート調査票

① 施工者講習アンケート調査票

「省エネ技術講習会(施工技術者講習会)」に関するアンケート

施 工

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、省エネ技術講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。
つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

受講日:平成 年 月 日() 会場:_____会場(都道府県名でお書きください)

本日受講された講習会に○をご記入ください。(ひとつに○)

1:1日講習 2:半日講習

回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○) 1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○) 1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可) 1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可) 1: これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問7. テキスト、DVD、カットモデルについてお聞きます。(各項目ひとつに○)</p> <p>7-1. テキスト 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>7-2. DVD 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>7-3. カットモデル ※1日講習を受講の方のみ回答ください。 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>
	<p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. 基本編テキストについて</p> <p>1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>8-2. 施工編テキストについて [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問9. 修了考査について (ひとつに○) 1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問10. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○) 1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集	

※ 裏面に続きます

質問11. 省エネ施工についてお答えください。

11-1. 普段施工している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根面で断熱(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

11-2. 11-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

11-3. 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、「今まで正しく施工していなかったところ」「難しい・やりにくいなと感じたところ」はありましたか。(複数選択可)

① 今まで正しく施工していなかったところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()
② 難しい・やりにくいなと感じたところ	1. 壁への施工 2. 屋根への施工 3. 天井への施工 4. 下屋への施工 5. 筋かい部への施工 6. 真壁への施工 7. 浴室への施工 8. 気流止めの施工 9. 基礎への施工 10. その他()

11-4. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

11-5. 今回の講習内容で施工する場合の時間は普段と比べてどれくらい変わりますか。(複数選択可)

1. ほとんど変わらない	2. 坪あたり()人工程度増加する
3. 坪あたり()人工程度減少する	

11-6. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問12. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

②設計者（詳細計算ルート）講習アンケート調査票

**「省エネ技術講習会(設計者講習会 詳細計算ルート)」に
関するアンケート**

**設計 詳細計算
ルート**

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、省エネ技術講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

受講日:平成 年 月 日() 会場: _____ 会場(都道府県名でお書きください)

本日受講された講習会に○をご記入ください。(ひとつに○)

1:1日講習 2:半日講習

回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</p> <p>1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</p> <p>1: これからの業務に必要または参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. テキストについてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. 基本編テキストについて ※1日講習を受講の方のみ回答ください。</p> <p>1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>8-2. 設計編テキスト・省エネ基準編について</p> <p>1)第2章 外皮性能の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第3章 一次エネルギー消費量の計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 仕様ルートによる基準判定方法 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問9. 演習についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問10. 修了考査についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問11. 講師の説明についてお聞きします。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>

※ 裏面に続きます

質問12. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

12-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

12-2. 12-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

12-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()

12-4. 普段、目指している住宅の断熱性能レベルに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. H28年基準を超えたレベル	2. H28・H25・H11年基準レベル
3. H4年基準レベル以下	※()内は性能表示等級

12-5. 普段、断熱性能をどのように決めているか、あてはまるものに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. 性能基準に従い外皮計算等を行う	2. 仕様基準に従い外皮等の仕様を決める
3. 何もしていない	

12-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

12-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問13. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

②設計者（仕様・簡易計算ルート）講習アンケート調査票

**「省エネ講習会(設計者講習会 仕様・簡易計算ルート)」に
関するアンケート**

**設計 仕様・簡易
計算ルート**

受講者各位

全国木造住宅生産体制推進協議会 事務局
一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

この度は、省エネ技術講習会にご参加頂き、誠にありがとうございます。本講習会では、受講者の皆様のご意見・ご希望をお聞きして、今後の実施内容・方法の改善に役立てたいと考えております。つきましては、下記アンケートにご協力をお願い申し上げます。

受講日：平成 年 月 日() 会場：_____ 会場(都道府県名でお書きください)

本日受講された講習会に○をご記入ください。(ひとつに○)

1:1日講習 2:半日講習

回答者属性	<p>質問1. 業種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:工務店 2:住宅メーカー/建設会社 3:設計事務所 4:その他()</p> <p>質問2. 職種をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:施工 2:現場管理 3:設計 4:その他()</p> <p>質問3. 年齢層をお聞かせください。(ひとつに○)</p> <p>1:19歳以下 2:20歳代 3:30歳代 4:40歳代 5:50歳代 6:60歳代以上</p>
講習会運営に関する情報収集	<p>質問4. 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数選択可)</p> <p>1: 会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて 2: 「各都道府県の地域協議会」からの情報 3: 所属業界団体(会社等)からの情報、依頼 4: その他()</p> <p>質問5. 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数選択可)</p> <p>1: これからの業務に必要または参考にできると思ったから 2: 所属業界団体または会社等から受講を指示されたから 3: その他()</p> <p>質問6. 今回の講義時間についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 長い 2: ちょうどよい 3: 短い</p>
講習内容・資料検討に関する情報収集	<p>質問7. テキストについてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p> <p>質問8. 講義内容についてお伺いします。(各項目ひとつに○)</p> <p>8-1. 基本編テキストについて ※1日講習を受講の方のみ回答ください。</p> <p>1)第1章 これからの住まい [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第2章 建築による省エネ化/第3章 設備による省エネ化 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第4章 断熱設計/第5章 開口部設計 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第8章 省エネルギー基準/第9章 関連基準と制度 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>8-2. 設計編テキスト(仕様ルートと簡易計算ルート)について</p> <p>1)第1部 仕様ルート [1] 計算が不要な方法 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 2)第1部 仕様ルート [2] 計算を要する方法 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 3)第2章 簡易計算ルート [1] 外皮性能計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい] 4)第2章 簡易計算ルート [2] 一次エネルギー消費量計算 [1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい]</p> <p>質問9. 演習についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問10. 修了考査についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1:難しかった 2:難しいとは思わない 3:易しい</p> <p>質問11. 講師の説明についてお聞きます。(ひとつに○)</p> <p>1: 大変わかりやすかった 2: わかりやすかった 3: 普通 4: わかりにくかった 5: 大変わかりにくかった</p>

※ 裏面に続きます

質問12. 貴方(貴社)が行われている省エネ設計等についてお答えください。

12-1. 普段設計または現場管理している断熱工法に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 天井面で断熱 2. 屋根で断熱(野地板の上に断熱材を施工) 3. 屋根(垂木の間に断熱材を充填)
②外壁	1. 充填断熱 2. 外張断熱 3. 充填外張併用断熱
③床・基礎	1. 床(根太間断熱) 2. 床(大引き間断熱) 3. 床(根太+大引き間断熱) 4. 基礎断熱

12-2. 12-1で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
②外壁	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()
③床・基礎	1. グラスウール、ロックウール 2. 発泡プラスチック系断熱材(ボード状) 3. その他()

12-3. 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面であてはまるものに○をご記入ください。(複数選択可)

①屋根・天井	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
②外壁	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()
③床・基礎	1. 特記仕様書 2. 仕上表 3. 平面図 4. 平面詳細図 5. 矩計図 6. その他()

12-4. 普段、目指している住宅の断熱性能レベルに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. H28年基準を超えたレベル	2. H28・H25・H11年基準(等級4)レベル
3. H4年基準(等級3)レベル以下	※()内は性能表示等級

12-5. 普段、断熱性能をどのように決めているか、あてはまるものに○をご記入ください。(ひとつに○)

1. 性能基準に従い外皮計算等を行う	2. 仕様基準に従い外皮等の仕様を決める
3. 何もしていない	

12-6. 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数選択可)

1. 職場内研修から	2. 住宅生産関連団体の講習会などから
3. 公的講習会・仕様書から	4. 建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから
5. 建築雑誌から	6. その他()

12-7. 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要と思いますか。(複数選択可)

1. 設計従事者	2. 施工管理者	3. 現場施工者	4. 建築主
5. その他()			

質問13. 講習会の内容等について、ご質問、ご意見があればご記入ください。

講習修了者を省エネ講習ホームページ上で公開することを予定しています。
本日はお疲れさまでした。このアンケートはお帰りの際、受付にご提出下さい。

平成 30 年度住宅省エネルギー技術講習会標準カリキュラム

平成 30 年度 住宅省エネルギー 施工技術講習会 標準カリキュラム (1日講習会)

時間割	講義科目	実施者
9:00～ 9:30 (30分)	受付	事務局
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
9:40～10:40 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計	講師
10:40～10:50 (10分)	【休憩】	—
10:50～12:05 (75分)	DVD放映 断熱施工(42分)、設備配管(30分)	—
12:05～13:00 (55分)	【昼休憩】	—
13:00～14:40 (100分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-施工編』	講師
14:40～14:55 (15分)	【休憩】	—
14:55～15:15 (20分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
15:15～16:00 (45分)	模型解説	講師
16:00～16:10 (10分)	修了考查問題配布、説明	事務局
16:10～16:40 (30分)	修了考查	—
16:40～16:55 (15分)	考查問題解説	講師
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入	—
17:00	閉会	—

平成 30 年度 住宅省エネルギー 施工技術講習会 標準カリキュラム (半日講習会)

時間割	講義科目	実施者
12:30～ 13:00 (30分)	受付	事務局
13:00～ 13:10 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
13:10～14:10 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
14:10～14:35 (25分)	DVD放映 断熱施工(要約編)	—
14:35～14:45 (10分)	【休憩】	—
14:45～16:25 (100分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-施工編』	講師
16:25～16:35 (10分)	修了考查問題配布、説明	事務局
16:35～17:05 (30分)	修了考查	—
17:05～17:20 (15分)	考查問題解説	講師
17:20～17:25 (5分)	アンケート記入	—
17:25	閉会	—

平成 30 年度 住宅省エネルギー 設計（詳細計算ルート）講習 標準カリキュラム （1日講習会）

時間割	講義科目	実施者
9:00～ 9:30 (30分)	受付	事務局
9:30～ 9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
9:40～10:40 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計	講師
10:40～10:50 (10分)	【休憩】	—
10:50～12:15 (85分)	『設計テキスト 詳細計算ルート』 はじめに 省エネ計画編 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要 第2章 外皮性能の計算	講師
12:15～13:15 (60分)	【昼休憩】	—
13:15～15:15 (120分) ※小休憩10分含む	第3章 一次エネルギー消費量の計算 第4章 仕様ルートによる基準判定方法 第5章 外皮性能確保のための配慮事項 第6章 計算例 演習問題	講師
15:15～15:30 (15分)	【休憩】	—
15:30～15:50 (20分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
15:50～16:00 (10分)	修了考查問題配布、説明	事務局
16:00～16:40 (40分)	修了考查(文章問題、計算問題)	—
16:40～16:55 (15分)	考查問題解説	講師
16:55～17:00 (5分)	アンケート記入	—
17:00	閉会	—

平成 30 年度 標準カリキュラム 設計（詳細計算ルート）講習 （半日講習会）

時間割	講義科目	実施者
12:30～ 13:00 (30分)	受付	事務局
13:00～ 13:10 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
13:10～14:35 (85分)	『設計テキスト 詳細計算ルート』 はじめに 省エネ計画編 省エネ基準編 第1章 省エネ基準の概要 第2章 外皮性能の計算	講師
14:35～14:45 (10分)	【休憩】	—
14:45～15:55 (70分)	第3章 一次エネルギー消費量の計算 第4章 仕様ルートによる基準判定方法 第5章 外皮性能確保のための配慮事項 第6章 計算例	講師
15:55～16:15 (20分)	演習問題	講師
16:15～16:25 (10分)	修了考查問題配布、説明	事務局
16:25～17:05 (40分)	修了考查(文章問題、計算問題)	—
17:05～17:20 (15分)	考查問題解説	講師
17:20～17:25 (5分)	アンケート記入	—
17:25	閉会	—

平成 30 年度 標準カリキュラム 設計（仕様・簡易計算ルート）講習（1日講習会）

時間割	講義科目	実施者
9:00～9:30 (30分)	受付	事務局
9:30～9:40 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
9:40～10:40 (60分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第1章 これからの住まい 第2章 建築による省エネ化 第3章 設備による省エネ化 第4章 断熱設計 第5章 開口部設計	講師
10:40～10:50 (10分)	【休憩】	—
10:50～12:00 (70分)	『設計者講習(仕様ルートと簡易計算ルート)テキスト』 はじめに 第1部 仕様ルート 第1章 計算が不要な方法 第2章 計算を要する方法 演習問題	講師
12:00～13:00 (60分)	【昼休憩】	—
13:00～14:50 (110分)	第2部 簡易計算ルート 第1章 外皮性能計算 第2章 一次エネルギー消費量計算 演習問題	講師
14:50～15:00 (10分)	【休憩】	—
15:00～15:20 (20分)	『住宅省エネルギー技術講習テキスト-基本編』 第6章 断熱リフォーム 第7章 住まい方と維持管理 第8章 省エネルギー基準 第9章 関連基準と制度	講師
15:20～15:30 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
15:30～16:10 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)	—
16:10～16:25 (15分)	考査問題解説	講師
16:25～16:30 (5分)	アンケート記入	—
16:30	閉会	—

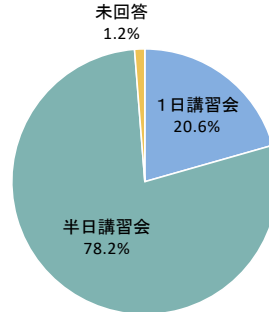
平成 30 年度 標準カリキュラム 設計（仕様・簡易計算ルート）講習（半日講習会）

時間割	講義科目	実施者
12:30～13:00 (30分)	受付	事務局
13:00～13:10 (10分)	開会、趣旨説明、スケジュール確認	事務局
13:10～14:20 (70分)	『設計者講習(仕様ルートと簡易計算ルート)テキスト』 はじめに 第1部 仕様ルート 第1章 計算が不要な方法 第2章 計算を要する方法 演習問題	講師
14:20～14:30 (10分)	【休憩】	—
14:30～16:20 (110分)	第2部 簡易計算ルート 第1章 外皮性能計算 第2章 一次エネルギー消費量計算 演習問題	講師
16:20～16:30 (10分)	修了考査問題配布、説明	事務局
16:30～17:10 (40分)	修了考査(文章問題、計算問題)	—
17:10～17:25 (15分)	考査問題解説	講師
17:25～17:30 (5分)	アンケート記入	—
17:30	閉会	—

1日講習会・半日講習会別回答数

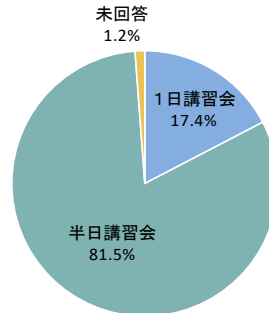
- 全体の回答数は「1日講習会」が20.6%、「半日講習会」が78.2%であった。
- 施工技術者講習の回答数は「1日講習会」が17.4%、「半日講習会」が81.5%であった。
- 設計者講習の回答数は「1日講習会」が23.0%、「半日講習会」が75.7%であった。

H30	1日・半日別 【全体】	回答数
	1日講習会	2,195
	半日講習会	8,339
	未回答	132
	全体	10,666



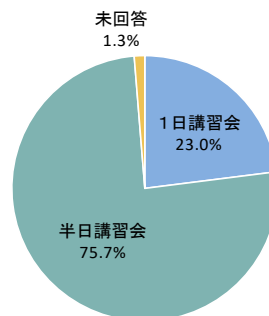
1日講習会・半日講習会別回答数 全体

H30	1日・半日別 【施工技術者講習】	回答数
	1日講習会	794
	半日講習会	3,726
	未回答	54
	全体	4,574



1日講習会・半日講習会別回答数 施工技術者講習

H30	1日・半日別 【設計者講習】	回答数
	1日講習会	1,401
	半日講習会	4,613
	未回答	78
	全体	6,092



1日講習会・半日講習会別回答数 設計者講習

質問1 業種をお聞かせ下さい。

- 「工務店」が 34.7% (前年度-0.2%) で最も多く、「設計事務所」が 27.6% (前年度+1.1%)、「住宅メーカー／建設会社」が 20.1% (前年度-0.1%) の回答であった。「その他」は 16.3% (前年度-0.3%) でその内、「建材販売」1.4%、「教育機関・学生」3.4%であった。

- 前年度と比較して、参加業種の割合の変化は少ない。

《職種別》

- 施工の所属先は、「工務店」が 72.6% で最も多く、「住宅メーカー／建設会社」が 11.1%、「設計事務所」が 1.7% の回答があった。

- 現場管理の所属先は、「工務店」が 51.2% で最も多く、「住宅メーカー／建設会社」が 37.4%、「設計事務所」は 4.8% であった。

- 設計の所属先は、「設計事務所」が 60.3% で最も多く、「工務店」が 18.7%、「住宅メーカー／建設会社」が 17.7% であった。

《地域別》

- 「工務店」は、北海道 (42.3%) が最も多い。

- 「設計事務所」は、近畿 (33.9%) が最も多い。

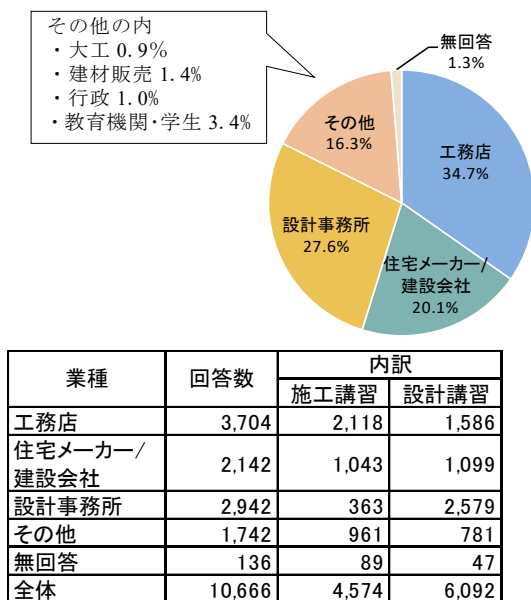
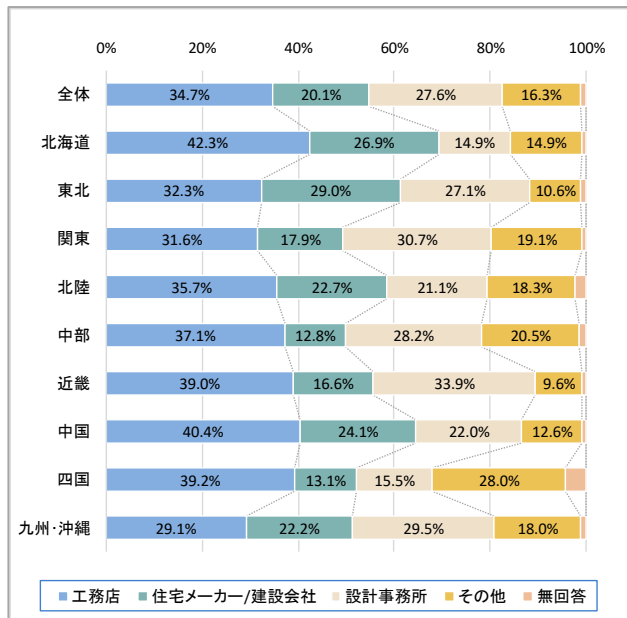


図 4-1-3a 業種



地域別の所属業種

※無回答の数値は省略

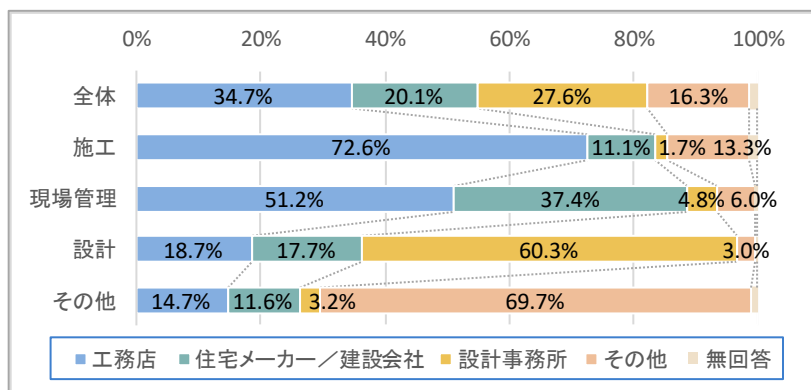


図 4-1-3c 職種別の所属業種

※無回答の数値は省略

業種「その他」	回答数	%	内訳	
			施工講習	設計講習
大工	99	0.9%	96	3
建設会社	19	0.2%	11	8
設計事務所	11	0.1%	4	7
建材販売	150	1.4%	91	59
各工種施工	59	0.6%	49	10
設備施工	112	1.1%	79	33
リフォーム施工	39	0.4%	23	16
不動産業	33	0.3%	17	16
行政	110	1.0%	26	84
金融業		0.0%		
材木店	15	0.1%	8	7
プレカット業者	19	0.2%	10	9
製材業者	1	0.0%	1	
教育機関・学生	362	3.4%	229	133
確認審査機関等	94	0.9%	34	60
未分類	248	2.3%	113	135
その他記入有り合計	1,371	12.9%	791	580
その他全体	1,742	16.3%	961	781
全体	10,666	100.0%	4,574	6,092

業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数	業種「その他」記述内容	数
大工	99	(建材販売つづき)	1	(各工種施工 つづき)	1	(教育機関・学生 つづき)	1	(未分類 つづき)	1
大工	73	販売代理店	1	設備工事店	1	ポリテクセンター	3	デベロッパー	2
一人親方	8	販売店(木材、資材)	1	設備工事店(リフォーム)	1	ポリテク	3	メーカー	2
建築大工	7		1	設備施工	1	専門校生	2	休職中	2
大工	3	各工種施工	59	設備設計・施工	1	生徒	2	求職中	2
自営大工	2	内装工	5	暖房工事	1	職業訓練校	2	求職中	2
大工・施工管理	2	塗装業	3	電気	1	職業訓練	2	建築資材メーカー	2
一人親方大工	1	内装	3	電気、設備	1	高校	2	住宅設備メーカー	2
建築屋、大工	1	建築工事	2	電気工	1	訓練生	2	申請サポート	2
施工	1	建築板金	2	電気工事、リフォーム	1	大学生(工学部)	1	製造業	2
不遇大工	1	費工	2	電気工事会社	1	大学職員	1	窓メーカー	2
建設会社	19	断熱工事	2	電気工事士	1	大学生	1	保険会社	2
建設業	2	断熱施工	2	電気設備	1	専攻生	1	保険法人	2
建築請負	2	塗装工	2	電気設備	1	専門学校	1	無職	2
ゼネコン	1	サイディング工事業	1	電気	1	専門学校	1	10/1日付で設計事務所閉鎖	1
ゼネコン設計担当	1	ヤネ	1	都市ガス	1	専門学校	1	PVモジュールメーカー	1
デザイン、ビルダー	1	高橋業	1	都市ガス会社	1	職業能力開発施設	1	PVモジュール太陽光メーカー	1
ビルダー	1	屋根業	1	リフォーム施工	39	職業訓練所	1	イロハ(自営)	1
根本数業(株)	1	瓦工	1	リフォーム	9	職業訓練校	1	コンサルタント、設備	1
建設	1	外装	1	リフォーム会社	9	住宅リフォーム科	1	サビビ業、清掃	1
建設会社	1	金物業	1	リフォーム会社	7	講習生(訓練生)	1	セールスエンジニア	1
建設業	1	建具業	1	リフォーム	4	訓練校	1	ソフトウェアメーカー	1
建築会社	1	建具製造	1	リフォーム業	2	訓練	1	ソフトウェアメーカー	1
建築業自営	1	建築塗装	1	リフォーム店	2	教員	1	パシフィック	1
個人事業主(建設業)	1	建築板金	1	リフォーム	2	教育機関	1	バネ工場、建材メーカー	1
工務店社員	1	硝子施工店	1	リフォーム専個人	1	教員	1	メーカー(建材)	1
社寺専門建設会社	1	硝子施工会社	1	リフォーム専門店	1	技術校生徒	1	メーカー(断熱材)	1
設計事務所+建設会社	1	専門工事業(熱処理、吹付け)	1	リフォーム店	1	学生・生徒	1	メーカー(断熱)	1
総合建設業	1	通商	1	住宅リフォーム会社	1	学校	1	メンテナン	1
設計事務所	11	断熱屋	1	不動産	33	ポリテク生	1	リフォーム工事、不動産	1
コンサルタント	3	断熱工事業施工	1	不動産	12	ポリテク岡山元ガス●	1	育休中	1
コンサル	1	断熱施工	1	不動産	1	ポリテクセンター高知	1	一財	1
コンサルティング	1	断熱工業社	1	不動産業	4	ポリテクセンター高知	1	一般財団法人	1
建設コンサルティング	1	断熱施工店	1	不動産会社	2	ポリテクセンター宮崎 生徒	1	一般自営	1
設計	1	断熱専門施工会社	1	不動産管理	2	ポリテクセンター岡山	1	一般社団法人	1
設計サポート	1	断熱専門施工店	1	不動産(建売)	1	ポリテクカリキュラム	1	営業	1
設計補助	1	塗装、住宅	1	不動産	1	ポリテク	1	価格調査	1
設計補助	1	土木	1	不動産業者	1	検査	1	会社員	1
設備設計	1	土木業	1	不動産仲介	1	確認検査機関等	94	資材メーカー	1
建材販売	150	内装リフォーム業	1	行政	110	確認検査機関	6	換気メーカー	1
販売店	26	内装工	1	行政	34	指定確認検査機関	6	環境NPO	1
建材店	10	内装工事	1	公務員	14	評価機関	6	期間	1
販売会社	9	内装工事会社	1	公務員	10	確認検査機関	5	協力業者	1
建材商社	8	内装工事店	1	行政	4	検査	4	空母メーカー	1
建材店	6	板金業	1	公務員	7	検査会社	4	建具メーカー	1
建材商社	5	板金業者	1	市役所	7	検査機構	4	建材(断熱材)メーカー	1
建材屋	4	防水工事業店	1	行政	4	検査機関	3	建材メーカー営業	1
建材販売	4	防水工事業店	1	公務員	3	検査機関	3	建材店、工務店	1
流通	4	防水施工業	1	地方公務員	3	性能評価機関	2	建築ソフト会社	1
建材卸	3	木工業	1	官庁	2	建設検査機関	2	建築資材メーカー	1
建材販売	3	設備工	112	役所	2	建築確認審査	2	建築設備メーカー	1
資材販売	3	設備	8	県職員	1	検査	2	個人	1
販売会社	3	電気工事	8	県庁	1	審査	2	個人事業	1
流通	3	電気工事店	7	公官庁	1	評価機関	2	個人自営	1
卸業	2	電気	6	公的機関	1	民間確認検査機関	2	工業者	1
建材	2	電気	5	行政系(専門職)	1	インスペクター	1	広告業者	1
建材	2	設備会社	4	行政職員	1	検査(保険業)	1	施工管理、検査	1
建設会社	2	電気工事	4	行政職員	1	かし保険法人	1	資材メーカー	1
建材流通店	2	電気工事業	4	市役所	1	かし保険法人	1	資材販売、内外装工事	1
資材販売	2	設備業	3	市役所職員	1	確認(評価)機関	1	資材販売工事	1
住設販売	2	設備会社	2	地方公務員	1	確認検査	1	事業主	1
住宅設備商社	2	設備業者	2	設備	1	確認検査	1	事務	1
販売	2	設備工	2	材木店	15	確認検査機構	1	住設メーカー	1
間屋	2	設備工事	2	材木	2	確認検査業務	1	住宅CAD/リフォーム技術科	1
流通店	2	設備工事業	2	材木屋	1	確認検査等関係	1	住宅資材メーカー	1
FC本部	1	設備施工会社	2	材木屋(建材屋)	1	確認審査	1	住宅設備メーカー	1
卸	1	設備施工会社	2	材木店	1	確認申請業務	1	出版	1
卸業	1	電気工事	2	材木店	1	確認等検査機関	1	小売業営業	1
卸業	1	配管工	2	納材店	1	検査(保険業)	1	製造メーカー	1
建材	1	ガス	1	木材卸PC	1	検査業務	1	製造メーカー	1
建材卸	1	ガス会社	1	木材建材屋	1	検査業務・審査業務	1	製造業	1
建材卸し	1	ガス関係	1	木材建材販売	1	指定確認機関	1	設備メーカー	1
建材卸売	1	ガス事業	1	木材建材問屋	1	住宅センター	1	設備機器メーカー	1
建材卸売	1	ガス事業者	1	材材	1	住宅検査	1	設備機器メーカー	1
建材関係	1	ガス、サッシ業	1	材材等小売	1	住宅性能評価機関	1	専門	1
建材業	1	サッシ	1	木材問屋	1	審査機関	1	総合会社	1
建材販売店	1	サッシ・ガラス屋	1	木材流通	1	性能評価機関	1	審査監査員	1
建材問屋	1	サッシ販売	1	プレカット業者	19	登録住宅性能評価機関	1	団体職員	1
建材流通	1	機舎設備	1	プレカット	8	民間確認機関	1	現場メーカー	1
建設資材卸し	1	機械設備	1	プレカット	5	民間確認機関	1	地盤調査会社	1
建築資材の卸し	1	機械設備	1	プレカット工場	2	民間確認検査会社	1	鉄道	1
建築資材卸売	1	機械設備施工会社	1	プレカットCAD	1	民間確認機関	1	調理器具、製造業	1
建築資材販売	1	給排水設備	1	プレカット会社	1	性能評価機関	1	特に決まってません	1
資材	1	空調住設部	1	プレカット会社	1	建材メーカー	45	流通社員	1
資材建材卸	1	建築設備(衛生)	1	プレカット業	1	建材メーカー	23	品質管理	1
資材販売店	1	個人事業者(設備)	1	製材所	1	商社	14	不動産・工務店	1
住設卸らし	1	住宅設備	1	製材所	1	断熱材メーカー	13	部材メーカー	1
住設系商社	1	住宅設備	1	教育機関・学生	362	断熱材メーカー	6	保険	1
住設商社	1	水道	1	学生	170	学生	5	保険業	1
住設会社	1	水道工事	1	学生	110	自営業	5	保険業	1
住宅機器販売	1	水道工事会社	1	大学生	7	商社	5	保険代理店	1
住宅資材卸し	1	水道工事店	1	専門学校	7	個人	4	補助金事業	1
住宅資材販売	1	水道設備会社	1	高校生	6	材料メーカー	4	補償コンサルタント	1
住宅資材販売店	1	設備	1	訓練生	4	デベロッパー	3	未就業	1
住宅販売業者	1	設備(衛生)	1	短大生	3	メーカー	3	木材、建材販売	1
積社(住設関係)	1	設備(給排水)	1	専門学校	3	建築	3	木材・資材販売	1
総合建材商社	1	設備業社	1	職業訓練生	3	無職	3	木製建具製造	1
断熱材販売会社	1	設備工事業	1	学校	3	CADメーカー	2	珪藻土	1

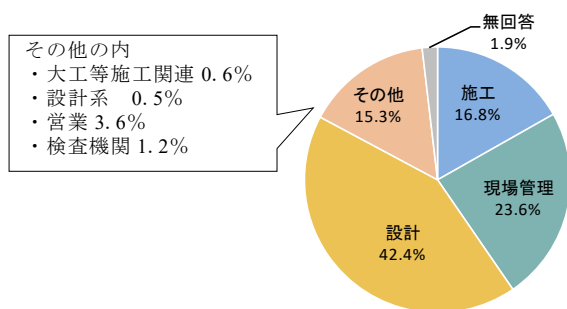
業種「その他」記述

質問2 職種をお聞かせ下さい。

- 「設計」が 42.4% (前年度+2.9%) で最も多く、次いで「現場管理」が 23.6% (前年度-0.7%)、「施工」が 16.8% (前年度-1.9%) であった。「その他」は 15.3% (前年度-0.4%) で、主な内訳は「営業」が 3.6%、「検査機関」が 1.2% であった。
- 前年度と比較すると「設計」の割合が増加した。

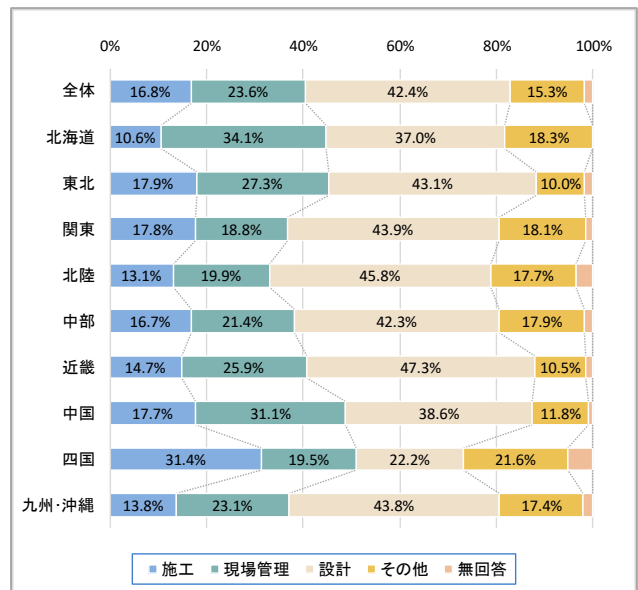
《地域別》

- 「施工」は四国 31.4% が最も多い。北海道 10.6% が最も少ない。
- 「現場管理」は、前年度同様、北海道 34.1% と中国 31.1% で多い。
- 「設計」は近畿 47.3% が最も多く、四国 22.2% が最も少ない。



職種	回答数	内訳	
		施工講習	設計講習
施工	1,791	1,406	385
現場管理	2,521	1,620	901
設計	4,522	623	3,899
その他	1,634	803	831
無回答	198	122	76
全体	10,666	4,574	6,092

図 4-1-3b 職種



地域別の受講者職種

※無回答の数値は省略

職種「その他」	回答数	%	内訳	
			施工講習	設計講習
大工等施工関連	62	0.6%	56	6
現場管理	8	0.1%	5	3
設計	14	0.1%	2	12
設計系	52	0.5%	13	39
営業	387	3.6%	202	185
事業主等	32	0.3%	15	17
建材販売	32	0.3%	18	14
検査機関	125	1.2%	44	81
工務店	3	0.0%	3	0
行政	41	0.4%	12	29
施工、現場管理、設計、営業等兼ねる	33	0.3%	11	22
未分類	431	4.0%	243	188
その他記入有り合計	1,220	11.4%	624	596
その他全体	1,634	15.3%	803	831
全体	10,666	100.0%	4,574	6,092

職種「その他」記述内容	数
大工等施工関連	62
大工	32
建築大工	2
電気工事	2
電工	2
クロス工	1
メンテナンスワーカー	1
リフォーム	1
リフォーム	1
リフォーム技術	1
基礎工事	1
機械(設備)	1
金庫工事	1
型枠大工	1
建築塗装	1
工事一式(電工)	1
左官	1
住宅リフォーム	1
住宅リフォーム	1
畳工	1
造作大工	1
大工	1
大工見習	1
柱加工	1
電気工事店	1
電工	1
配管工	1
保守職種	1
防水工	1
現場管理	8
工事監理	2
監理	1
現場監理	1
現場管理業設計	1
現場管理補助	1
施工・現場管理	1
施工と現場管理	1
設計	14
設計補助	3
プランナー	2
設計管理	2
プランニング	1
プランニング	1
建築	1
構造設計	1
作図	1
設計監理	1
設計事務所	1
設計系	52
IC	5
インテリアコーディネーター	5
積算	5
積算	5
インテリアコーディネーター	3
コーディネーター	3
CAD	2
インテリア	2
コーディネーター	2
CAD	1
CADオペ	1
CADオペレーター	1
CADオペレーター	1
コンサルタント	1
コンサルタント	1

職種「その他」記述内容	数
(設計系 つづき)	
コンサルティング	1
データ解析他	1
テクニカルアドバイザー	1
デザイン、施工	1
プレカットCAD	1
計算代行業務	1
省エネサポート	1
省エネ計算の担当	1
申請&外皮省エネ計算	1
申請サポート	1
申請業務	1
申請業務、積算	1
積算見積	1
設計サポート	1
営業	387
営業	191
営業	167
企画	9
マーケティング	2
営業職	2
企画	2
リフォーム営業	1
リフォーム営業管理	1
営業アシスタント	1
営業コーディネーター	1
営業サポート	1
営業支援	1
営業事務	1
営業設計	1
営業部門	1
企画開発	1
広報 営業	1
事務(営業補助)	1
住宅営業	1
保守営業	1
事業主等	32
経営	5
経営	5
代表	4
代表	3
代表者	3
代表取締役	3
経営者	2
経営者	2
代表者	2
経営管理	1
社長	1
代表取締役	1
建材販売	32
販売	4
販売店	4
販売	2
販売店	2
建材	1
建材	1
建材メーカー	1
建材営業	1
建材営業	1
建材屋	1
建材商社	1
建材店	1
建材販売	1
建材販売	1

職種「その他」記述内容	数
(建材販売 つづき)	
建設、営業	1
材木店	1
資材運搬	1
資材販売	1
住宅機器販売	1
商品	1
販売営業	1
販売推進	1
木材、建材販売	1
問屋	1
検査機関	125
審査	20
検査員	12
確認審査	10
検査	9
検査	7
確認検査	3
審査機関	3
建物検査	2
事務(申請代行)	2
住宅検査	2
審査、検査	2
評価機関	2
評価機関	2
インスペクター	1
確認、性能評価、省エネ支援機構適合審	1
確認・省エネ審査	1
確認検査	1
確認検査・審査	1
確認検査員、住宅性能評価員	1
確認検査機関	1
確認検査業務	1
確認検査等関係	1
確認審査、検査	1
確認審査業務	1
確認申請	1
確認申請業務	1
建築・積算	1
建材性能評価	1
建築確認	1
建築確認の審査・検査機関	1
建築確認審査	1
建物検査	1
検査員	1
検査員(瑕疵保険)	1
検査管理	1
検査機関	1
検査業務	1
検査業務・審査業務	1
検査申請書等審査	1
受付、審査業務	1
住宅の検査	1
住宅性能評価機関	1
省エネ審査	1
省エネ届出	1
審査、検査	1
審査、指導	1
審査員	1
審査事務	1
申請	1
性能評価	1
性能評価員	1
性能評価機関	1
性能評価申請業務	1

職種「その他」記述内容	数
設計審査	1
調査	1
調査・鑑定	1
調査・研究	1
調査研究	1
評価	1
評価員	1
評価審査	1
品質管理(検査)	1
補助金審査業務	1
行政	41
建築請負	1
元請	1
品質検査	1
施工、現場管理、設計、営業等兼ねる	33
行政	19
行政	5
建築行政	2
公務員	2
行政庁	2
役員	2
官公庁	1
建築行政	1
公務員	1
行政職	1
行政職	1
行政職員	1
行政職員	1
住宅政策	1
住宅相談員	1
未分類	431
設計施工	3
施工、現場管理、設計	2
設計、現場管理	2
営業、コーディネーター	1
営業、施工、プランニング	1
営業、設計	1
営業・積算	1
営業と設計	1
営業業工務	1
建設設計、管理	1
現場管理、設計の監督業務	1
構造設計、商品開発	1
施工、現場管理、設計全てやります	1
資材の削し、及び工事	1
設計、開発	1
設計、現場管理	1
設計、現場管理、積算	1
設計、工務	1
設計、施工	1
設計、施工、管理	1
設計、施工、管理全部	1
設計、施工共	1
設計・施工	1
設計営業	1
設計及び現場管理	1
設計及監理	1
設計兼現場管理	1
総合営業～現場管理まで全て	1

図 I-2c 職種「その他」記述

質問3 年齢層をお聞かせ下さい。

- 「30代」18.6%（前年度-1.5%）、「40代」25.9%（前年度-1.3%）、「50代」18.1%（前年度-0.9%）、「60代以上」19.2%（前年度+0.3%）であった。「10代」「20代」は合わせて17.4%（前年度+2.8%）であった。
- 10～20代を合算すると、40代は30%弱、その他の年代は20%程度であった。

《職種別》

- 設計は全体平均と比較して50代～60代の年齢層が多い。
- 「その他」の10代の年齢層が多い。

《地域別》

- 「10代」の割合は北陸8.3%で他地域と比較して多い。
- 「20代」の割合は北海道21.6%で前年度より2.6%増加している。
- 「30代」は各地域共20%程度で、全体の割合と同様で偏りはない。
- 「50代」は北陸で14.9%と他地域と比較して割合が低い。

年齢	回答数	内訳	
		施工講習	設計講習
10代	301	214	87
20代	1,558	756	802
30代	1,983	863	1,120
40代	2,767	1,161	1,606
50代	1,931	809	1,122
60代以上	2,044	730	1,314
無回答	82	41	41
全体	10,666	4,574	6,092

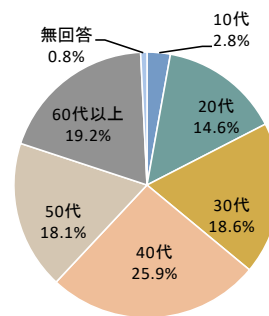
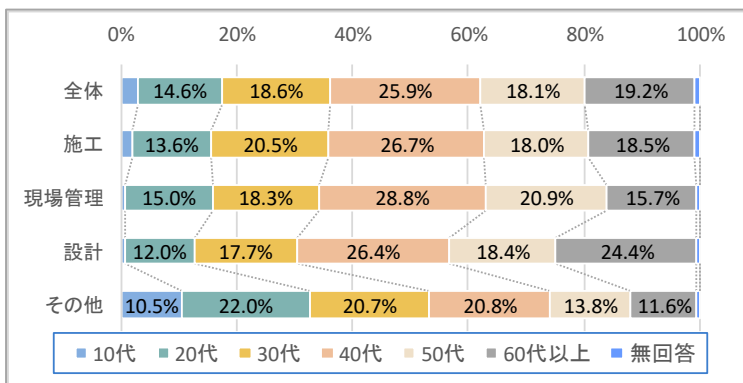


図 4-1-4a 年齢層

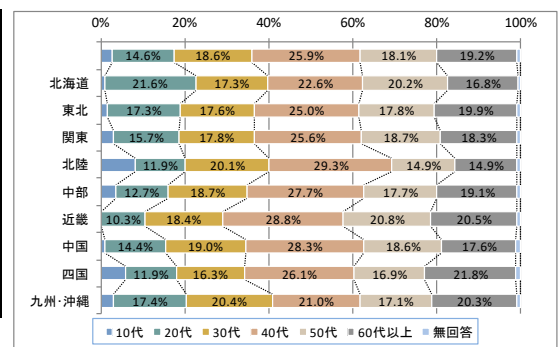


※10%未満、無回答の数値は省略

図 4-1-4b 職種別の受講者年齢層

地域	H30	回答数	年齢層						無回答
			10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	
全体		10,666	2.8%	14.6%	18.6%	25.9%	18.1%	19.2%	0.8%
北海道		208	1.0%	21.6%	17.3%	22.6%	20.2%	16.8%	0.5%
東北		1,578	1.7%	17.3%	17.6%	25.0%	17.8%	19.9%	0.7%
関東		1,870	3.1%	15.7%	17.8%	25.6%	18.7%	18.3%	0.7%
北陸		673	8.3%	11.9%	20.1%	29.3%	14.9%	14.9%	0.7%
中部		1,637	3.5%	12.7%	18.7%	27.7%	17.7%	19.1%	0.7%
近畿		1,442	0.3%	10.3%	18.4%	28.8%	20.8%	20.5%	0.8%
中国		936	1.1%	14.4%	19.0%	28.3%	18.6%	17.6%	1.0%
四国		528	6.1%	11.9%	16.3%	26.1%	16.9%	21.8%	0.9%
九州・沖縄		1,794	3.1%	17.4%	20.4%	21.0%	17.1%	20.3%	0.8%

地域別の受講者年齢層



※10%未満、無回答の数値は省略

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱工法は「天井断熱」が最も多く 60.1%、「垂木間充填断熱」が 23.3%、「屋根野地上断熱」が 17.7%であった。
- 断熱工法の使用割合は毎年ほぼ同様である。

《地域別》

- 北海道、東北地域は「天井断熱」が他の地域より 10%以上多い。
- 北海道、東北地域を除き、7年間で「屋根野地上断熱」は 10%程度増加した。

屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	6,413
屋根野地上断熱	1,889
垂木間充填断熱	2,481
無回答	2,300
全体	10,666

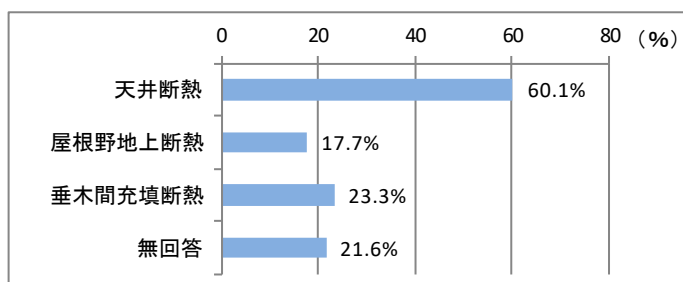
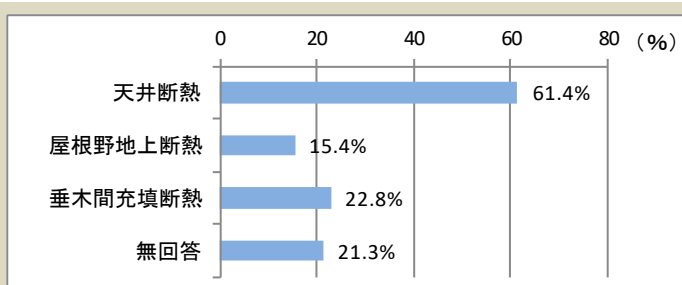


図 5-1-1a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

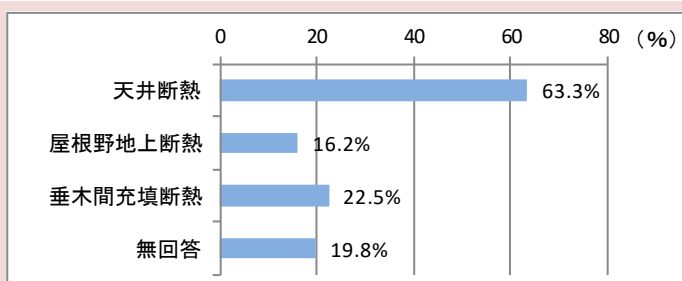
屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	9,254
屋根野地上断熱	2,323
垂木間充填断熱	3,439
無回答	3,215
全体	15,075

《H29調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱工法



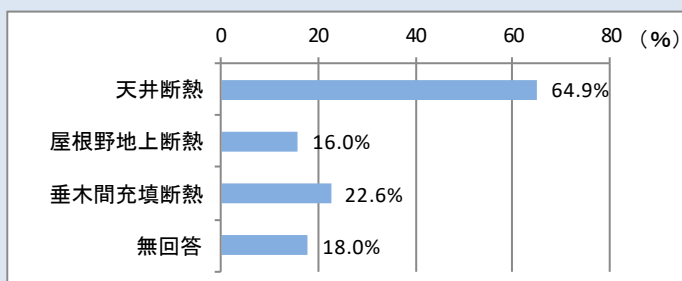
屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	11,723
屋根野地上断熱	2,996
垂木間充填断熱	4,156
無回答	3,662
全体	18,507

《H28調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱工法



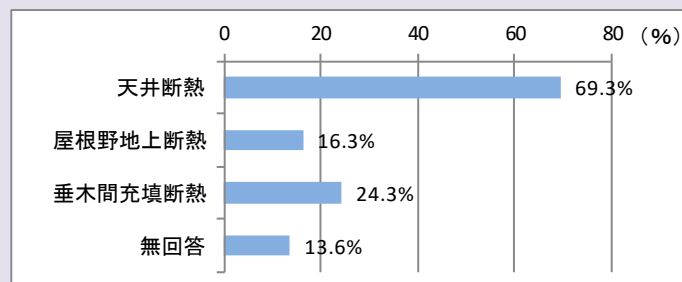
屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	13,569
屋根野地上断熱	3,336
垂木間充填断熱	4,725
無回答	3,763
全体	20,912

《H27調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱工法



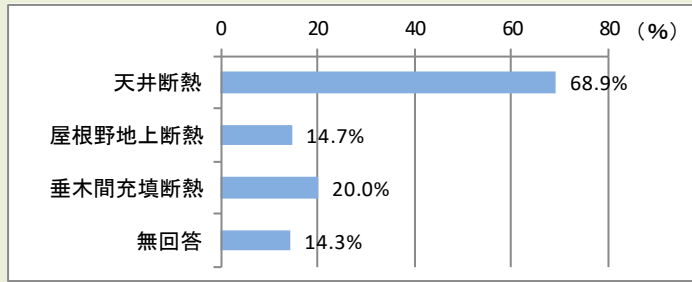
屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	16,640
屋根野地上断熱	3,916
垂木間充填断熱	5,834
無回答	3,271
全体	24,009

《H26調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱工法



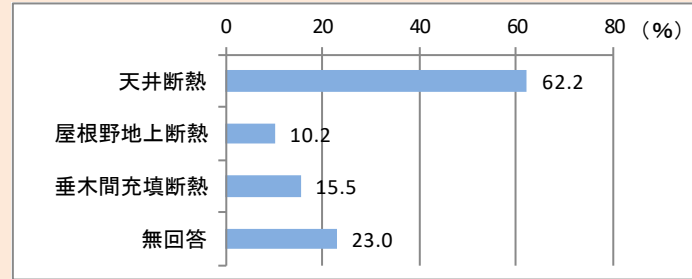
屋根・天井の断熱工法	回答数
天井断熱	15,861
屋根野地上断熱	3,382
垂木間充填断熱	4,601
無回答	3,297
全体	23,019

《H25調査》
 普段たずさわっている
 屋根・天井の断熱工法



《H24調査》		回答数
屋根・天井の断熱工法		
天井断熱		6,854
屋根野地上断熱		1,128
垂木間充填断熱		1,711
無回答		2,531
全体		11,028

《H24調査》
 普段たずさわっている
 屋根・天井の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	10,666	60.1	17.7	23.3	21.6
北海道	208	76.0	22.1	15.9	11.1
(全体との差)		+15.8	+4.4	-7.4	-
東北	1,578	70.6	15.7	18.8	15.1
(全体との差)		+10.5	-2.0	+4.5	-
関東	1,870	55.5	20.5	25.6	24.2
(全体との差)		-4.7	+2.8	+2.3	-
北陸	673	64.6	13.2	19.3	21.4
(全体との差)		+4.5	-4.5	-3.9	-
中部	1,637	55.7	19.2	29.1	22.8
(全体との差)		-4.5	+1.5	+5.8	-
近畿	1,442	57.7	20.7	27.2	20.2
(全体との差)		-2.4	+3.0	+3.9	-
中国	936	66.7	15.7	21.9	16.5
(全体との差)		+6.5	-2.0	-1.4	-
四国	528	58.0	15.3	16.7	31.4
(全体との差)		-2.2	-2.4	-6.6	-
九州・沖縄	1,794	55.5	15.7	21.3	25.6
(全体との差)		-4.6	-2.0	-1.9	-

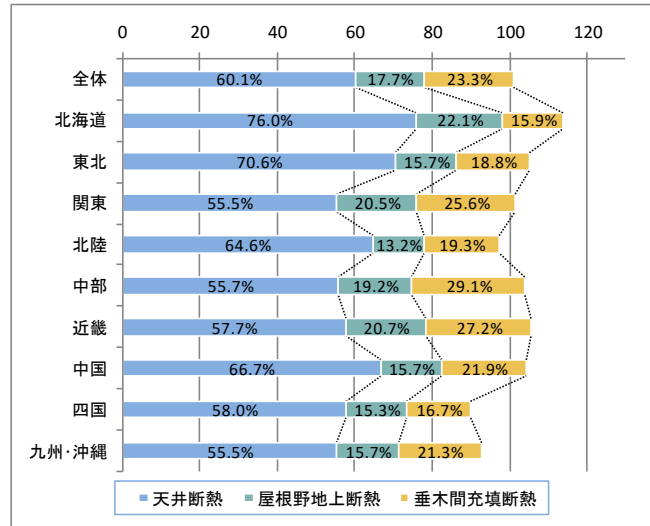
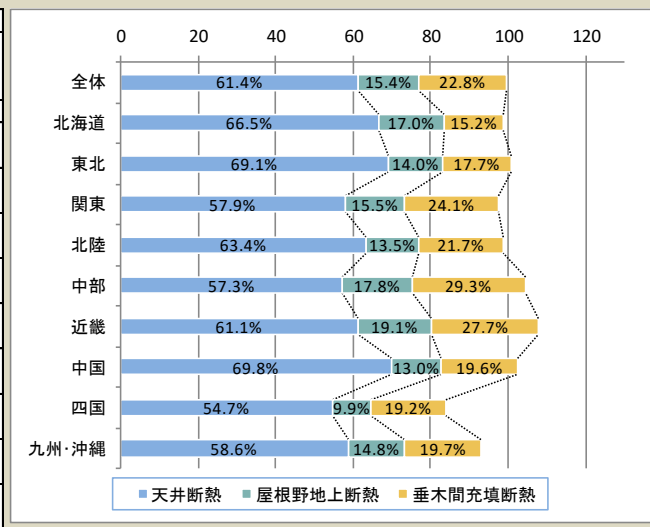


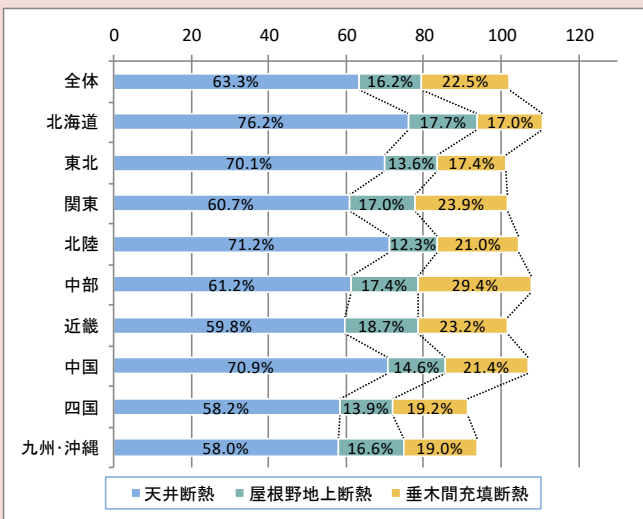
図 5-1-1b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	15,075	61.4	15.4	22.8	21.3
北海道	394	66.5	17.0	15.2	23.9
(全体との差)		+5.1	+1.6	-7.6	-
東北	2,164	69.1	14.0	17.7	18.2
(全体との差)		+7.7	-1.5	-5.1	-
関東	2,684	57.9	15.5	24.1	25.1
(全体との差)		-3.5	+0.1	+1.3	-
北陸	1,330	63.4	13.5	21.7	19.2
(全体との差)		+2.0	-1.9	-1.2	-
中部	2,512	57.3	17.8	29.3	19.4
(全体との差)		-4.1	+2.3	+6.4	-
近畿	1,908	61.1	19.1	27.7	18.4
(全体との差)		-0.3	+3.7	+4.9	-
中国	1,163	69.8	13.0	19.6	16.7
(全体との差)		+8.4	-2.4	-3.2	-
四国	715	54.7	9.9	19.2	32.7
(全体との差)		-6.7	-5.5	-3.7	-
九州・沖縄	2,205	58.6	14.8	19.7	24.1
(全体との差)		-2.8	-0.6	-3.1	-



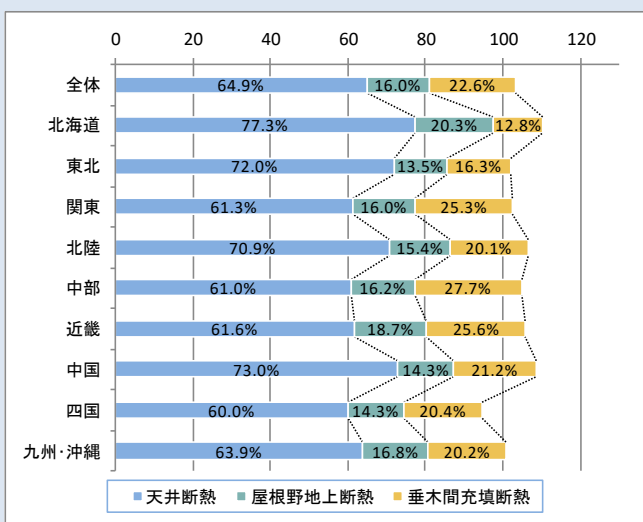
《H29調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	18,507	63.3	16.2	22.5	19.8
北海道 (全体との差)	441	76.2	17.7	17.0	13.6
		+12.8	+1.5	-5.4	-
東北 (全体との差)	2,791	70.1	13.6	17.4	17.2
		+6.7	-2.6	-5.0	-
関東 (全体との差)	3,673	60.7	17.0	23.9	21.8
		-2.6	+0.8	+1.5	-
北陸 (全体との差)	1,025	71.2	12.3	21.0	13.5
		+7.9	-3.9	-1.5	-
中部 (全体との差)	3,259	61.2	17.4	29.4	18.3
		-2.2	+1.2	+6.9	-
近畿 (全体との差)	2,739	59.8	18.7	23.2	21.1
		-3.5	+2.5	+0.8	-
中国 (全体との差)	1,412	70.9	14.6	21.4	14.7
		+7.5	-1.6	-1.1	-
四国 (全体との差)	835	58.2	13.9	19.2	28.1
		-5.1	-2.3	-3.3	-
九州・沖縄 (全体との差)	2,332	58.0	16.6	19.0	24.4
		-5.3	+0.4	-3.4	-



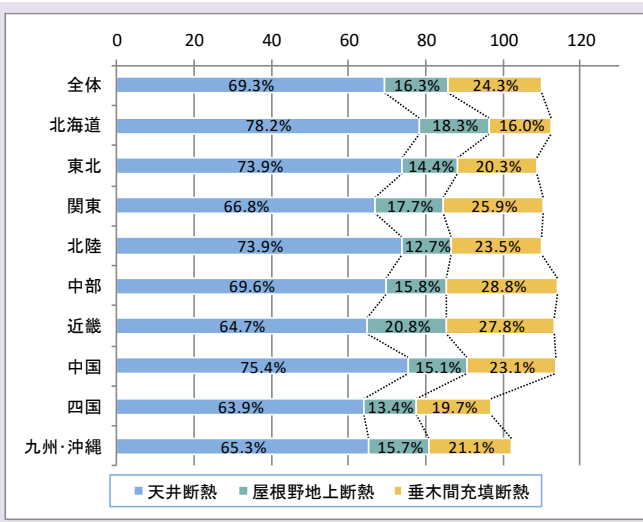
《H28調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	20,912	64.9	16.0	22.6	18.0
北海道 (全体との差)	414	77.3	20.3	12.8	13.5
		+12.4	+4.3	-9.8	-
東北 (全体との差)	2,857	72.0	13.5	16.3	15.0
		+7.1	-2.4	-6.2	-
関東 (全体との差)	4,317	61.3	16.0	25.3	20.1
		-3.6	+0.1	+2.7	-
北陸 (全体との差)	1,311	70.9	15.4	20.1	13.3
		+6.0	-0.5	-2.5	-
中部 (全体との差)	3,420	61.0	16.2	27.7	19.2
		-3.9	+0.2	+5.1	-
近畿 (全体との差)	2,753	61.6	18.7	25.6	19.6
		-3.3	+2.8	+3.0	-
中国 (全体との差)	1,743	73.0	14.3	21.2	12.4
		+8.1	-1.7	-1.4	-
四国 (全体との差)	1,323	60.0	14.3	20.4	25.2
		-4.9	-1.7	-2.2	-
九州・沖縄 (全体との差)	2,774	63.9	16.8	20.2	17.6
		-1.0	+0.8	-2.4	-



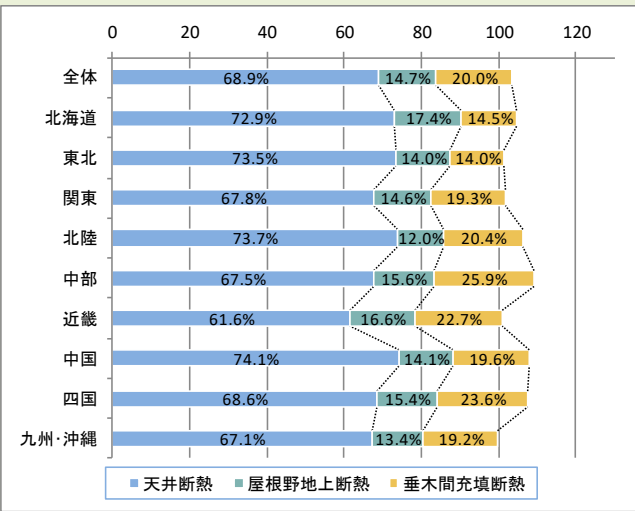
《H27調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	24,009	69.3	16.3	24.3	13.6
北海道 (全体との差)	840	78.2	18.3	16.0	11.2
		+8.9	+2.0	-8.3	-
東北 (全体との差)	3,032	73.9	14.4	20.3	12.9
		+4.6	-1.9	-4.0	-
関東 (全体との差)	5,805	66.8	17.7	25.9	15.5
		-2.5	+1.4	+1.6	-
北陸 (全体との差)	1,768	73.9	12.7	23.5	8.5
		+4.6	-3.6	-0.8	-
中部 (全体との差)	4,022	69.6	15.8	28.8	11.2
		+0.3	-0.5	+4.5	-
近畿 (全体との差)	2,679	64.7	20.8	27.8	13.1
		-4.7	+4.4	+3.5	-
中国 (全体との差)	2,089	75.4	15.1	23.1	9.9
		+6.1	-1.2	-1.2	-
四国 (全体との差)	1,170	63.9	13.4	19.7	24.2
		-5.4	-2.9	-4.6	-
九州・沖縄 (全体との差)	2,604	65.3	15.7	21.1	17.1
		-4.0	-0.6	-3.2	-



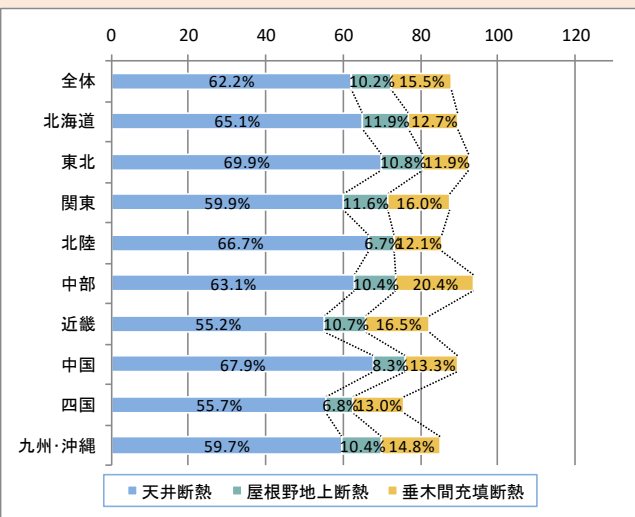
《H26調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	23,019	68.9	14.7	20.0	14.3
北海道 (全体との差)	828	72.9 +4.0	17.4 +2.7	14.5 -5.5	17.9 -
東北 (全体との差)	3,259	73.5 +4.6	14.0 -0.7	14.0 -6.0	14.7 -
関東 (全体との差)	6,105	67.8 -1.1	14.6 -0.0	19.3 -0.7	14.9 -
北陸 (全体との差)	1,409	73.7 +4.8	12.0 -2.7	20.4 +0.4	10.4 -
近畿 (全体との差)	2,626	61.6 -7.3	16.6 +1.9	22.7 +2.7	18.4 -
中国 (全体との差)	1,941	74.1 +5.2	14.1 -0.6	19.6 -0.4	11.8 -
四国 (全体との差)	1,043	68.6 -0.4	15.4 +0.7	23.6 +3.6	12.9 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,524	67.1 -1.8	13.4 -1.3	19.2 -0.8	15.5 -



《H25調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体	11,028	62.2	10.2	15.5	23.0
北海道 (全体との差)	361	65.1 +2.9	11.9 +1.7	12.7 -2.8	18.8 -
東北 (全体との差)	1,197	69.9 +7.8	10.8 +0.5	11.9 -3.7	16.9 -
関東 (全体との差)	2,880	59.9 -2.3	11.6 +1.3	16.0 +0.5	24.7 1.7
北陸 (全体との差)	841	66.7 +4.6	6.7 -3.6	12.1 -3.4	20.5 -
中部 (全体との差)	1,927	63.1 +0.9	10.4 +0.2	20.4 +4.9	20.0 -
近畿 (全体との差)	1,173	55.2 -6.9	10.7 +0.4	16.5 +0.9	28.5 -
中国 (全体との差)	854	67.9 +5.8	8.3 -1.9	13.3 -2.2	19.0 -
四国 (全体との差)	454	55.7 -6.4	6.8 -3.4	13.0 -2.5	35.0 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,341	59.7 -2.5	10.4 +0.2	14.8 -0.7	25.1 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段たずさわっている「外壁」の断熱工法は「充填断熱」が最も多く 66.9%、「外張断熱」が 10.9%、「充填外張併用断熱」が 6.8%であった。
- 7年間で「充填断熱」は減少傾向にあるが、毎年同様の割合である。

《地域別》

- 北海道では「充填外張併用断熱」が平成 28 年度より毎年増加しており、「充填断熱」を上回っている。
- 四国では「充填断熱」が平成 25 年度から 20%程度減少した。

外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	7,134
外張断熱	1,166
充填外張併用断熱	723
無回答	2,463
全体	10,666

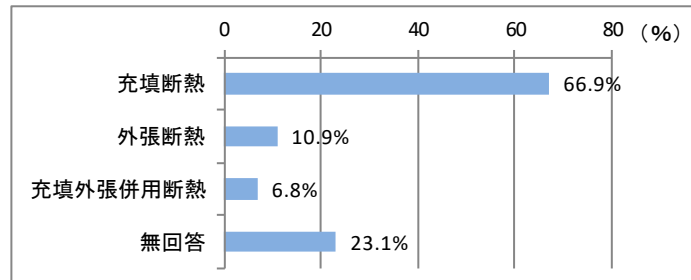
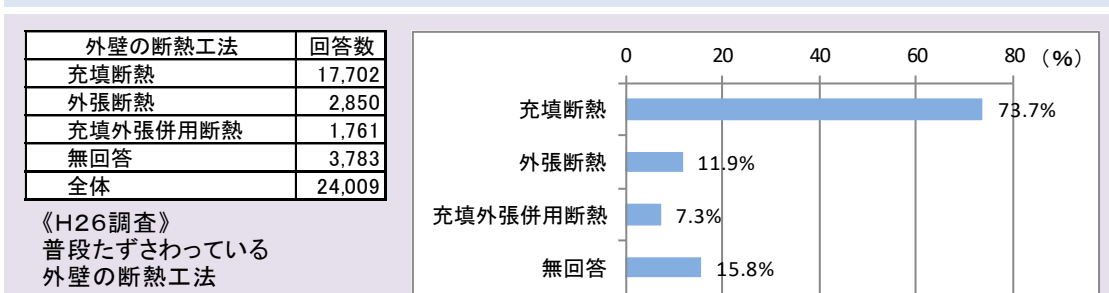
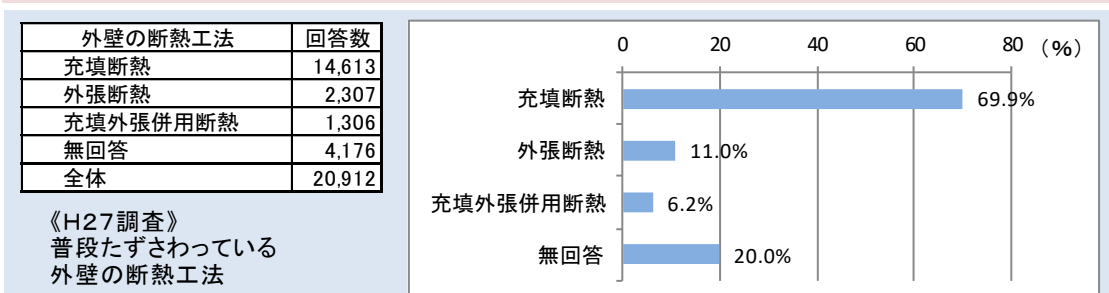
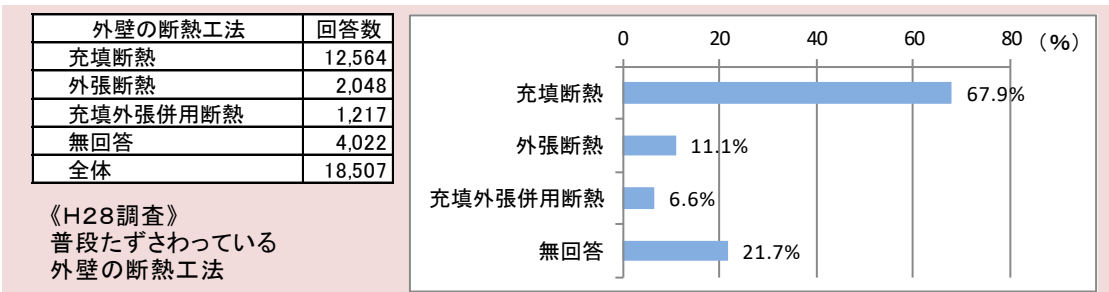
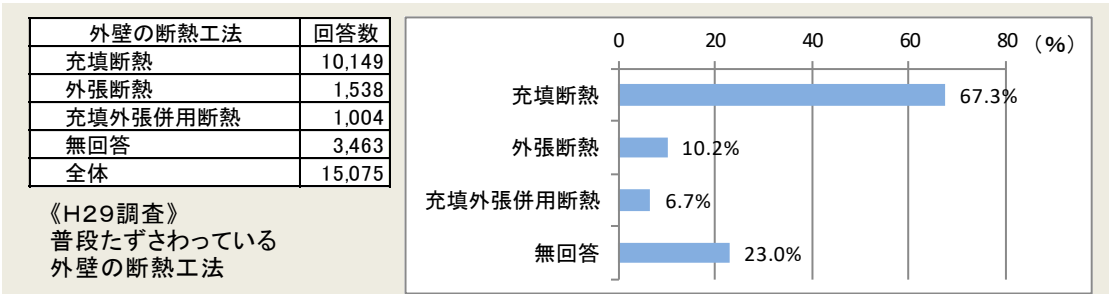
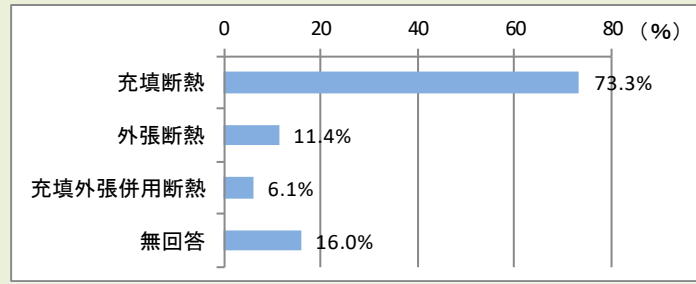


図 5-1-2a 普段たずさわっている外壁の断熱工法



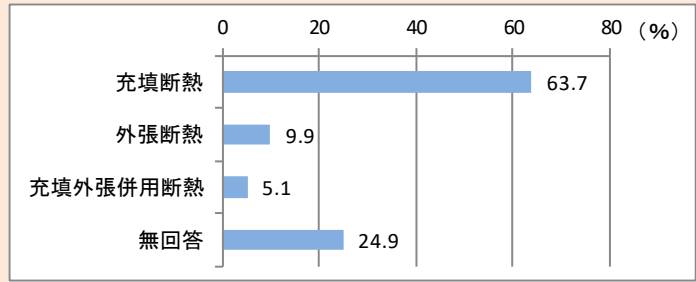
外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	16,874
外張断熱	2,631
充填外張併用断熱	1,393
無回答	3,677
全体	23,019

《H25調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱工法



《H24調査》 外壁の断熱工法	回答数
充填断熱	7,029
外張断熱	1,097
充填外張併用断熱	562
無回答	2,751
全体	11,028

《H24調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	10,666	66.9	10.9	6.8	23.1
北海道 (全体との差)	208	38.0 -28.9	16.3 +5.4	51.9 +45.1	8.7
東北 (全体との差)	1,578	72.4 +5.5	14.4 +3.5	8.6 +1.8	15.8
関東 (全体との差)	1,870	67.4 +0.5	10.9 -0.0	6.4 -0.4	24.9
北陸 (全体との差)	673	72.5 +5.6	8.8 -2.2	4.8 -2.0	21.1
中部 (全体との差)	1,637	67.6 +0.7	10.0 -0.9	6.6 -0.2	23.7
近畿 (全体との差)	1,442	69.7 +2.8	10.1 -0.8	4.9 -1.9	21.6
中国 (全体との差)	936	72.6 +5.8	9.3 -1.6	6.2 -0.6	18.1
四国 (全体との差)	528	56.4 -10.4	12.3 +1.4	5.3 -1.5	33.9
九州・沖縄 (全体との差)	1,794	59.8 -7.1	10.0 -0.9	3.6 -3.2	30.2

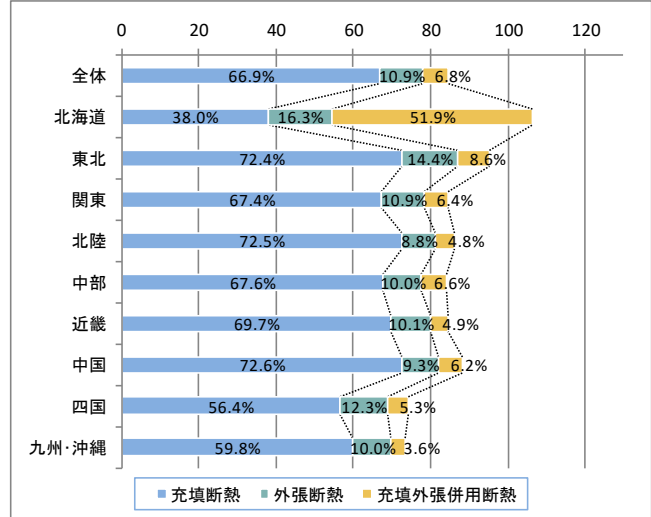
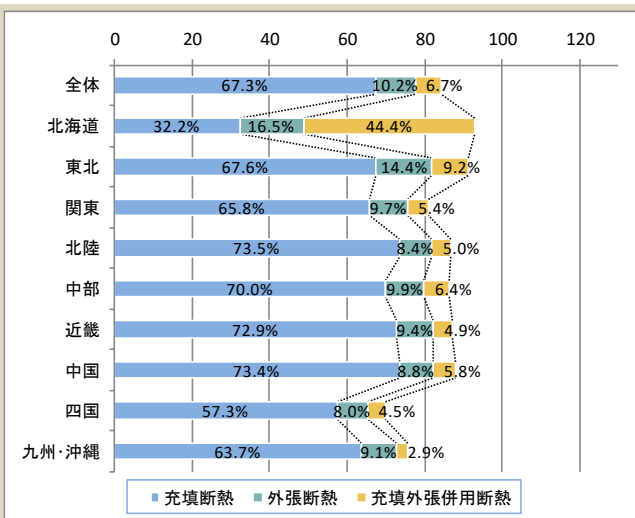


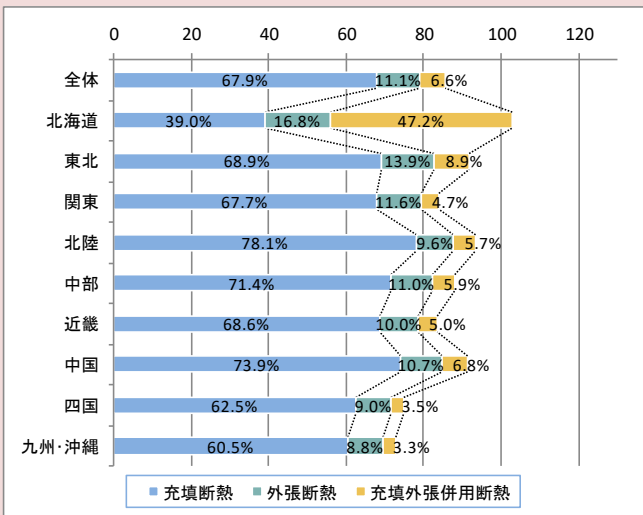
図 5-1-2b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	15,075	67.3	10.2	6.7	23.0
北海道 (全体との差)	394	32.2 -35.1	16.5 +6.3	44.4 +37.8	24.4
東北 (全体との差)	2,164	67.6 +0.3	14.4 +4.2	9.2 +2.6	19.5
関東 (全体との差)	2,684	65.8 -1.5	9.7 -0.5	5.4 -1.3	26.7
北陸 (全体との差)	1,330	73.5 +6.1	8.4 -1.8	5.0 -1.7	19.5
中部 (全体との差)	2,512	70.0 +2.7	9.9 -0.3	6.4 -0.2	20.5
近畿 (全体との差)	1,908	72.9 +5.5	9.4 -0.8	4.9 -1.8	19.7
中国 (全体との差)	1,163	73.4 +6.1	8.8 -1.4	5.8 -0.9	19.0
四国 (全体との差)	715	57.3 -10.0	8.0 -2.2	4.5 -2.2	35.4
九州・沖縄 (全体との差)	2,205	63.7 -3.6	9.1 -1.1	2.9 -3.7	27.4



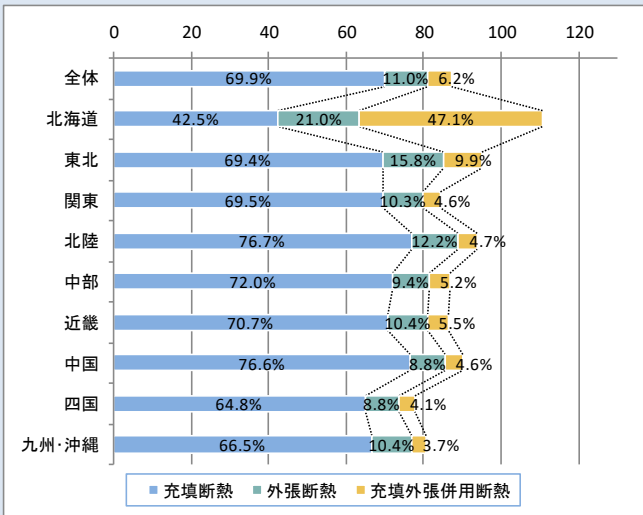
《H29調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	18,507	67.9	11.1	6.6	21.7
北海道 (全体との差)	441	39.0 -28.9	16.8 +5.7	47.2 +40.6	14.5 -
東北 (全体との差)	2,791	68.9 +1.0	13.9 +2.8	8.9 +2.3	18.4 -
関東 (全体との差)	3,673	67.7 -0.2	11.6 +0.5	4.7 -1.9	23.1 -
北陸 (全体との差)	1,025	78.1 +10.3	9.6 -1.5	5.7 -0.9	13.8 -
中部 (全体との差)	3,259	71.4 +3.5	11.0 -0.1	5.9 -0.7	19.7 -
近畿 (全体との差)	2,739	68.6 +0.7	10.0 -1.1	5.0 -1.5	22.6 -
中国 (全体との差)	1,412	73.9 +6.0	10.7 -0.4	6.8 +0.2	16.4 -
四国 (全体との差)	835	62.5 -5.4	9.0 -2.1	3.5 -3.1	29.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,332	60.5 -7.4	8.8 -2.2	3.3 -3.3	30.9 -



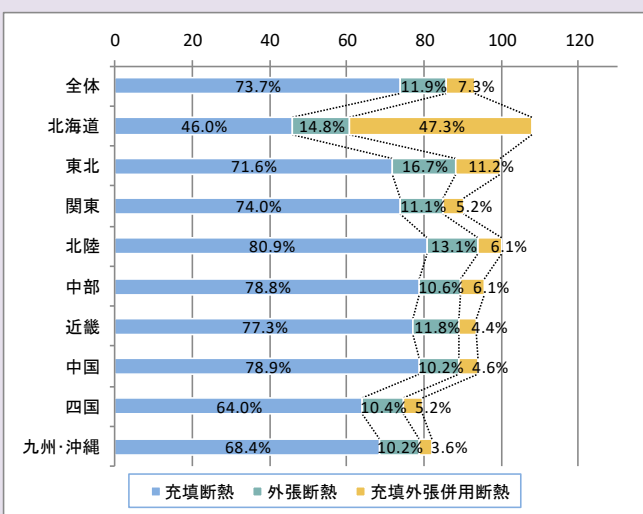
《H28調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	20,912	69.9	11.0	6.2	20.0
北海道 (全体との差)	414	42.5 -27.4	21.0 +10.0	47.1 +40.9	14.0 -
東北 (全体との差)	2,857	69.4 -0.5	15.8 +4.8	9.9 +3.7	15.7 -
関東 (全体との差)	4,317	69.5 -0.4	10.3 -0.7	4.6 -1.6	22.1 -
北陸 (全体との差)	1,311	76.7 +6.9	12.2 +1.2	4.7 -1.5	14.3 -
中部 (全体との差)	3,420	72.0 +2.1	9.4 -1.6	5.2 -1.0	20.2 -
近畿 (全体との差)	2,753	70.7 +0.8	10.4 -0.7	5.5 -0.7	20.7 -
中国 (全体との差)	1,743	76.6 +6.8	8.8 -2.3	4.6 -1.7	15.0 -
四国 (全体との差)	1,323	64.8 -5.1	8.8 -2.2	4.1 -2.2	27.1 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,774	66.5 -3.3	10.4 -0.6	3.7 -2.6	23.2 -



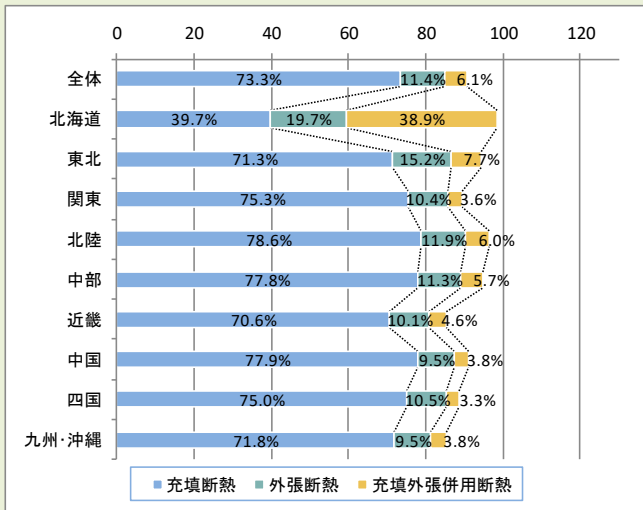
《H27調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	無回答
全体	24,009	73.7	11.9	7.3	15.8
北海道 (全体との差)	840	46.0 -27.8	14.8 +2.9	47.3 +39.9	11.1 -
東北 (全体との差)	3,032	71.6 -2.1	16.7 +4.9	11.2 +3.9	13.8 -
関東 (全体との差)	5,805	74.0 +0.2	11.1 -0.8	5.2 -2.1	17.6 -
北陸 (全体との差)	1,768	80.9 +7.2	13.1 +1.2	6.1 -1.2	9.5 -
中部 (全体との差)	4,022	78.8 +5.1	10.6 -1.2	6.1 -1.3	12.9 -
近畿 (全体との差)	2,679	77.3 +3.5	11.8 -0.1	4.4 -3.0	14.5 -
中国 (全体との差)	2,089	78.9 +5.2	10.2 -1.6	4.6 -2.7	12.9 -
四国 (全体との差)	1,170	64.0 -9.7	10.4 -1.4	5.2 -2.1	27.1 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,604	68.4 -5.3	10.2 -1.7	3.6 -3.8	22.5 -



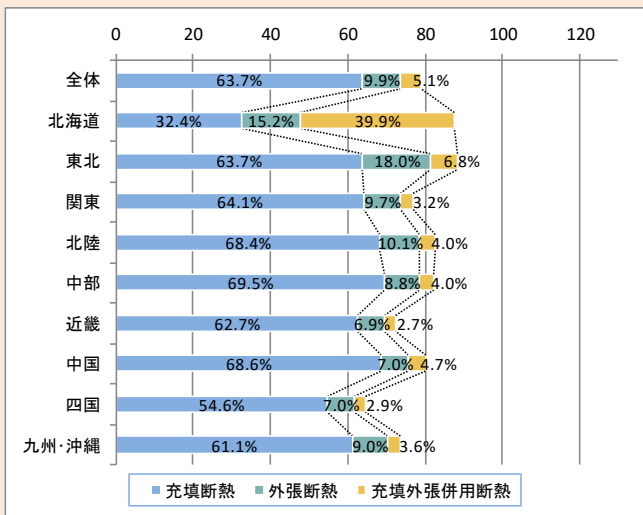
《H26調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	23,019	73.3	11.4	6.1	16.0
北海道 (全体との差)	828	39.7 -33.6	19.7 +8.3	38.9 +32.8	18.4 -
東北 (全体との差)	3,259	71.3 -2.0	15.2 +3.8	7.7 +1.7	15.5 -
関東 (全体との差)	6,105	75.3 +2.0	10.4 -1.0	3.6 -2.4	16.5 -
北陸 (全体との差)	1,409	78.6 +5.3	11.9 +0.4	6.0 -0.0	10.9 -
中部 (全体との差)	3,284	77.8 +4.5	11.3 -0.1	5.7 -0.3	12.4 -
近畿 (全体との差)	2,626	70.6 -2.7	10.1 -1.3	4.6 -1.4	19.9 -
中国 (全体との差)	1,941	77.9 +4.6	9.5 -2.0	3.8 -2.2	14.4 -
四国 (全体との差)	1,043	75.0 +1.7	10.5 -0.9	3.3 -2.8	15.8 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,524	71.8 -1.5	9.5 -1.9	3.8 -2.2	19.2 -



《H25調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 外壁 (%)			無回答
		充填 断熱	外張 断熱	充填外 張併用 断熱	
全体	11,028	63.7	9.9	5.1	24.9
北海道 (全体との差)	361	32.4 -31.3	15.2 +5.3	39.9 +34.8	17.5 -
東北 (全体との差)	1,197	63.7 -0.1	18.0 +8.0	6.8 +1.7	18.4 -
関東 (全体との差)	2,880	64.1 +0.4	9.7 -0.3	3.2 -1.9	26.7 -
北陸 (全体との差)	841	68.4 +4.6	10.1 +0.2	4.0 -1.1	21.9 -
中部 (全体との差)	1,927	69.5 +5.8	8.8 -1.1	4.0 -1.0	21.6 -
近畿 (全体との差)	1,173	62.7 -1.1	6.9 -3.0	2.7 -2.4	30.1 -
中国 (全体との差)	854	68.6 +4.9	7.0 -2.9	4.7 -0.4	22.7 -
四国 (全体との差)	454	54.6 -9.1	7.0 -2.9	2.9 -2.2	37.4 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,341	61.1 -2.6	9.0 -0.9	3.6 -1.5	28.6 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱工法は「根太間充填断熱」が33.2%、「大引間充填断熱」が32.5%と同程度、「根太+大引間充填断熱」が7.2%、「基礎断熱」が20.6%であった。
- 毎年、「根太間断熱」が減少している。

《地域別》

- 北海道は「基礎断熱」が最も多く68.8%であり、前年度と同様、床断熱の割合が過半数を占める他の地域とは異なる傾向であった。
- 「根太間充填断熱」は北陸38.6%で前年度同様、全体平均より多い。
- 北海道を除く各地域で7年間を通して「根太間断熱」が10%程度減少している。

床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	3,540
床断熱 (大引間充填)	3,465
床断熱(根太 +大引間充填)	770
基礎断熱	2,198
無回答	2,600
全体	10,666

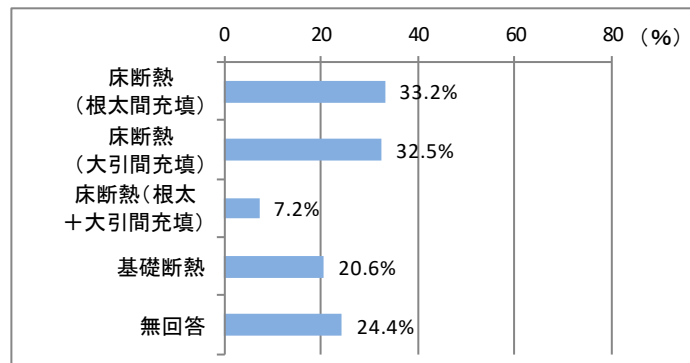
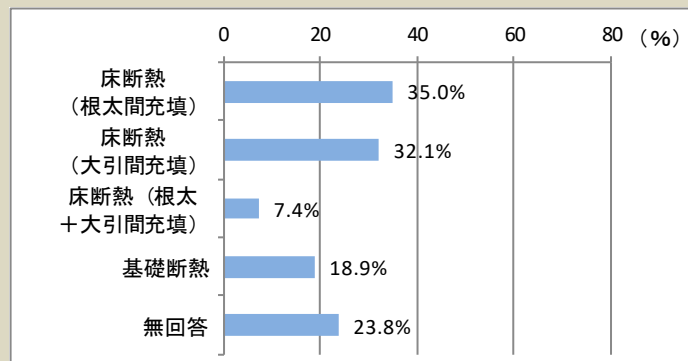


図 5-1-3a 普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

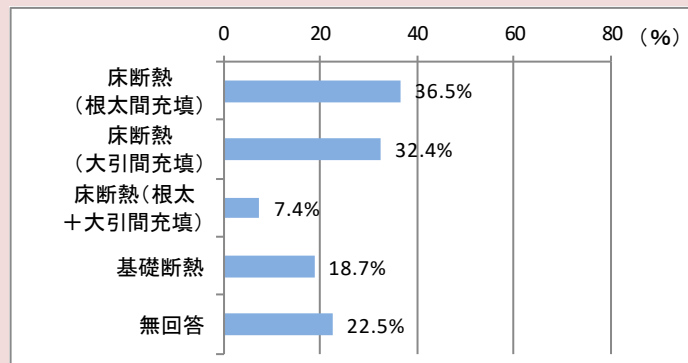
床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	5,273
床断熱 (大引間充填)	4,844
床断熱(根太 +大引間充填)	1,113
基礎断熱	2,856
無回答	3,595
全体	15,075

《H29調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱工法



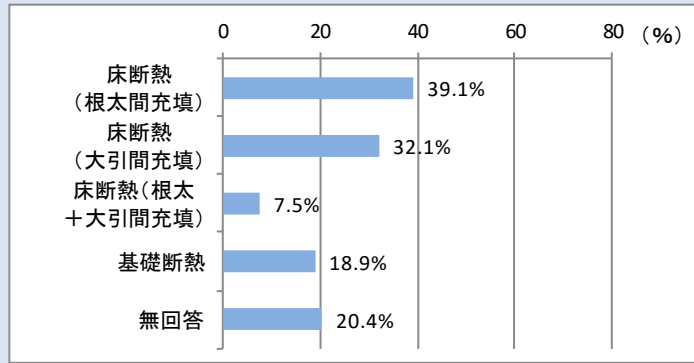
床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	6,751
床断熱 (大引間充填)	6,002
床断熱(根太 +大引間充填)	1,373
基礎断熱	3,461
無回答	4,159
全体	18,507

《H28調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱工法



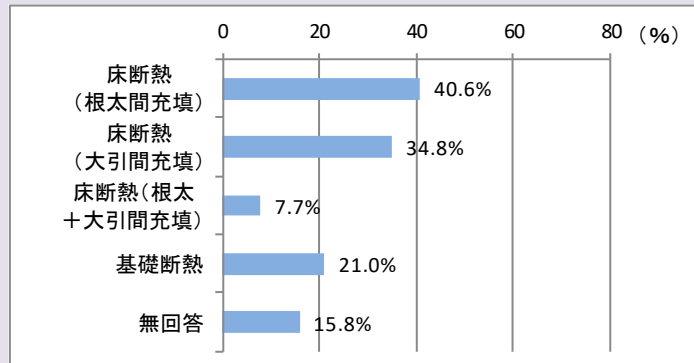
床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	8,168
床断熱 (大引間充填)	6,703
床断熱(根太 +大引間充填)	1,559
基礎断熱	3,955
無回答	4,263
全体	20,912

《H27調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱工法



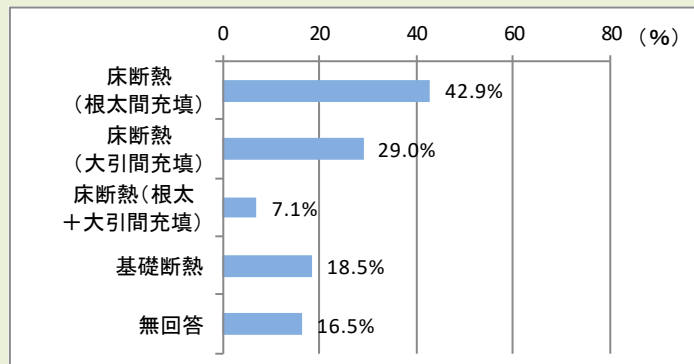
床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	9,743
床断熱 (大引間充填)	8,366
床断熱(根太 +大引間充填)	1,850
基礎断熱	5,039
無回答	3,800
全体	24,009

《H26調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱工法



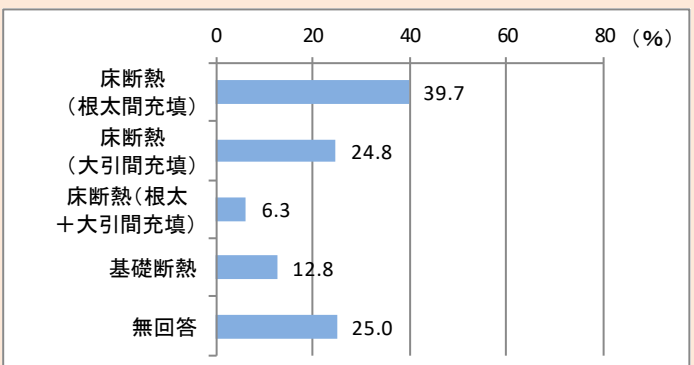
床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	9,864
床断熱 (大引間充填)	6,680
床断熱(根太 +大引間充填)	1,637
基礎断熱	4,263
無回答	3,788
全体	23,019

《H25調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱工法



《H24調査》 床・基礎の断熱工法	回答数
床断熱 (根太間充填)	4,381
床断熱 (大引間充填)	2,735
床断熱(根太 +大引間充填)	696
基礎断熱	1,411
無回答	2,752
全体	11,028

《H24調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱工法



	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	10,666	33.2	32.5	7.2	20.6	24.4
北海道 (全体との差)	208	10.1 -23.1	14.4 -18.1	14.4 +7.2	68.8 +48.1	12.0 -
東北 (全体との差)	1,578	30.9 -2.3	38.3 +5.8	9.6 +2.3	25.4 +4.8	17.8 -
関東 (全体との差)	1,870	31.6 -1.6	33.4 +0.9	6.8 -0.4	22.1 +1.5	26.2 -
北陸 (全体との差)	673	38.6 +5.4	33.4 +0.9	4.5 -2.8	16.2 -4.4	23.8 -
中部 (全体との差)	1,637	32.7 -0.5	34.3 +1.8	6.8 -0.4	20.3 -0.3	24.6 -
近畿 (全体との差)	1,442	32.9 -0.2	37.3 +4.8	7.5 +0.3	17.1 -3.5	22.1 -
中国 (全体との差)	936	36.9 +3.7	35.6 +3.1	8.0 +0.8	20.5 -0.1	18.3 -
四国 (全体との差)	528	36.7 +3.6	24.4 -8.1	7.8 +0.5	15.2 -5.5	34.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,794	35.3 +2.1	23.5 -9.0	5.3 -1.9	15.6 -5.0	31.8 -

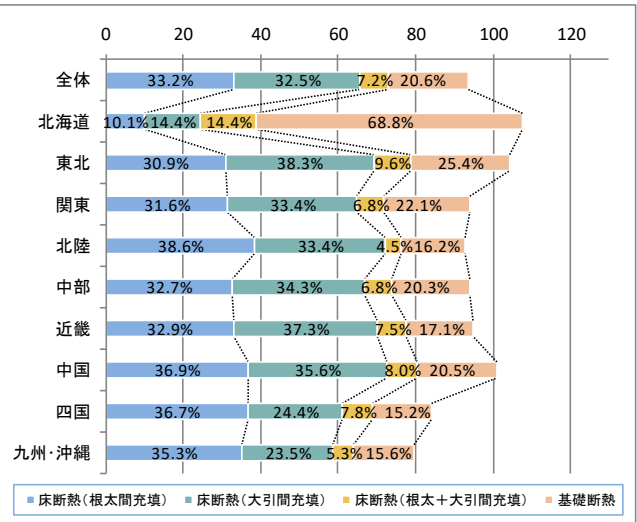
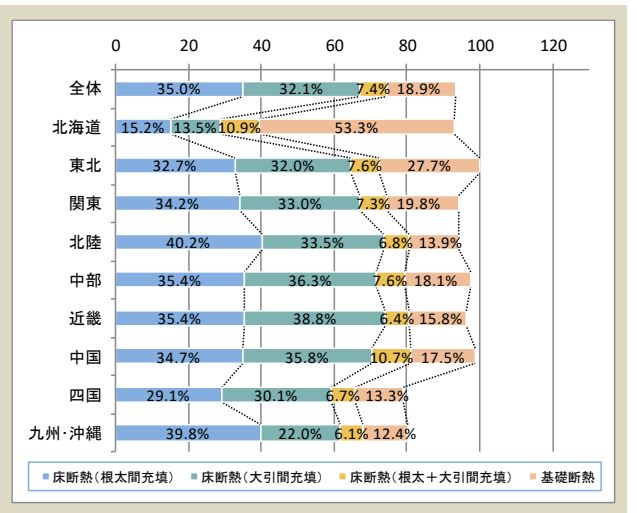


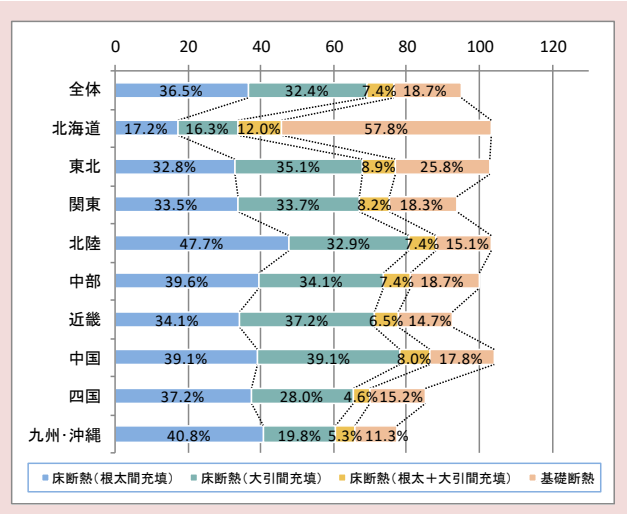
図 5-1-3b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	10,666	33.2	32.5	7.2	20.6	24.4
北海道 (全体との差)	208	10.1 -23.1	14.4 -18.1	14.4 +7.2	68.8 +48.1	12.0 -
東北 (全体との差)	1,578	30.9 -2.3	38.3 +5.8	9.6 +2.3	25.4 +4.8	17.8 -
関東 (全体との差)	1,870	31.6 -1.6	33.4 +0.9	6.8 -0.4	22.1 +1.5	26.2 -
北陸 (全体との差)	673	38.6 +5.4	33.4 +0.9	4.5 -2.8	16.2 -4.4	23.8 -
中部 (全体との差)	1,637	32.7 -0.5	34.3 +1.8	6.8 -0.4	20.3 -0.3	24.6 -
近畿 (全体との差)	1,442	32.9 -0.2	37.3 +4.8	7.5 +0.3	17.1 -3.5	22.1 -
中国 (全体との差)	936	36.9 +3.7	35.6 +3.1	8.0 +0.8	20.5 -0.1	18.3 -
四国 (全体との差)	528	36.7 +3.6	24.4 -8.1	7.8 +0.5	15.2 -5.5	34.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,794	35.3 +2.1	23.5 -9.0	5.3 -1.9	15.6 -5.0	31.8 -



《H29調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

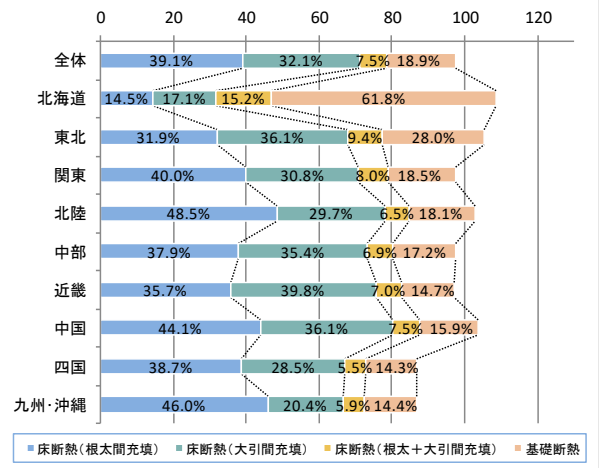
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	18,507	36.5	32.4	7.4	18.7	22.5
北海道 (全体との差)	441	17.2 -19.2	16.3 -16.1	12.0 +4.6	57.8 +39.1	15.6 -
東北 (全体との差)	2,791	32.8 -3.7	35.1 +2.7	8.9 +1.5	25.8 +7.1	19.1 -
関東 (全体との差)	3,673	33.5 -3.0	33.7 +1.2	8.2 +0.8	18.3 -0.4	24.0 -
北陸 (全体との差)	1,025	47.7 +11.2	32.9 +0.4	7.4 -0.0	15.1 -3.6	13.8 -
中部 (全体との差)	3,259	39.6 +3.1	34.1 +1.6	7.4 -0.0	18.7 +0.0	20.2 -
近畿 (全体との差)	2,739	34.1 -2.4	37.2 +4.7	6.5 -0.9	14.7 -4.0	23.3 -
中国 (全体との差)	1,412	39.1 +2.6	39.1 +6.7	8.0 +0.6	17.8 -0.9	16.8 -
四国 (全体との差)	835	37.2 +0.8	28.0 -4.4	4.6 -2.9	15.2 -3.5	29.1 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,332	40.8 +4.3	19.8 -12.6	5.3 -2.1	11.3 -7.4	32.5 -



《H28調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

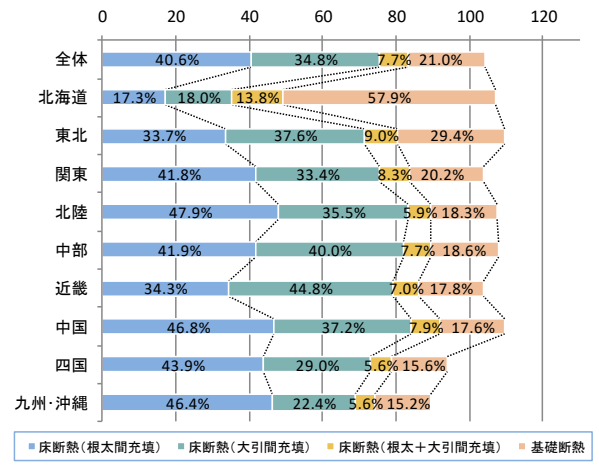
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	20,912	39.1	32.1	7.5	18.9	20.4
北海道 (全体との差)	414	14.5 -24.6	17.1 -14.9	15.2 +7.8	61.8 +42.9	14.3 -
東北 (全体との差)	2,857	31.9 -7.2	36.1 +4.1	9.4 +2.0	28.0 +9.1	16.2 -
関東 (全体との差)	4,317	40.0 +1.0	30.8 -1.2	8.0 +0.6	18.5 -0.4	22.2 -
北陸 (全体との差)	1,311	48.5 +9.5	29.7 -2.4	6.5 -1.0	18.1 -0.8	14.5 -
中部 (全体との差)	3,420	37.9 -1.2	35.4 +3.4	6.9 -0.6	17.2 -1.7	20.4 -
近畿 (全体との差)	2,753	35.7 -3.4	39.8 +7.8	7.0 -0.4	14.7 -4.2	21.5 -
中国 (全体との差)	1,743	44.1 +5.0	36.1 +4.0	7.5 +0.0	15.9 -3.0	14.6 -
四国 (全体との差)	1,323	38.7 -0.4	28.5 -3.6	5.5 -1.9	14.3 -4.6	27.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,774	46.0 +6.9	20.4 -11.6	5.9 -1.6	14.4 -4.5	24.8 -

《H27調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法



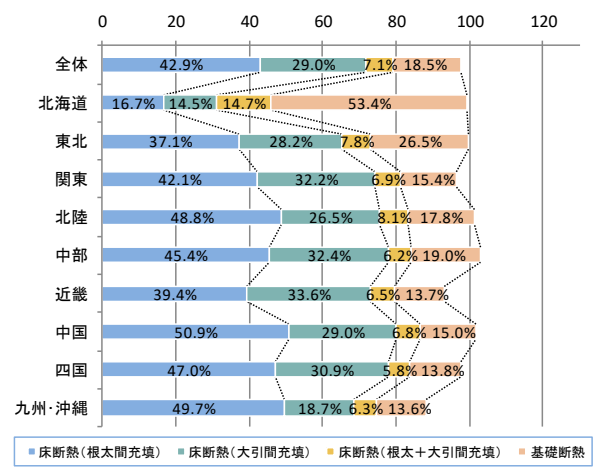
	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	24,009	40.6	34.8	7.7	21.0	15.8
北海道 (全体との差)	840	17.3 -23.3	18.0 -16.9	13.8 +6.1	57.9 +36.9	12.9 -
東北 (全体との差)	3,032	33.7 -6.9	37.6 +2.8	9.0 +1.3	29.4 +8.4	14.3 -
関東 (全体との差)	5,805	41.8 +1.3	33.4 -1.4	8.3 +0.6	20.2 -0.8	17.3 -
北陸 (全体との差)	1,768	47.9 +7.3	35.5 +0.6	5.9 -1.8	18.3 -2.7	10.3 -
中部 (全体との差)	4,022	41.9 +1.3	40.0 +5.2	7.7 -0.0	18.6 -2.4	12.4 -
近畿 (全体との差)	2,679	34.3 -6.3	44.8 +9.9	7.0 -0.7	17.8 -3.2	15.4 -
中国 (全体との差)	2,089	46.8 +6.2	37.2 +2.3	7.9 +0.2	17.6 -3.4	11.7 -
四国 (全体との差)	1,170	43.9 +3.4	29.0 -5.9	5.6 -2.1	15.6 -5.4	25.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,604	46.4 +5.8	22.4 -12.5	5.6 -2.1	15.2 -5.8	23.6 -

《H26調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

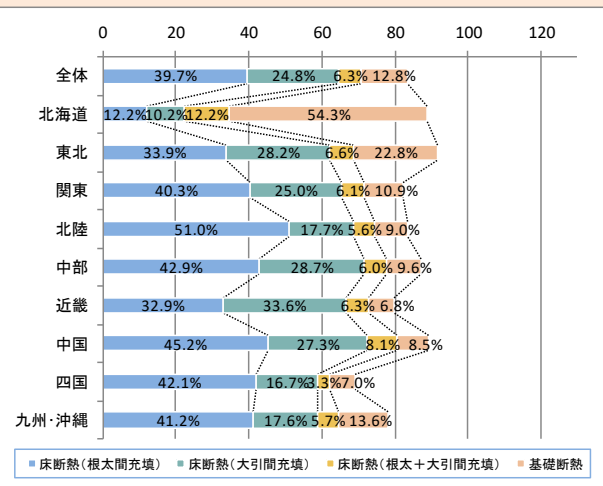


	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	23,019	42.9	29.0	7.1	18.5	16.5
北海道 (全体との差)	828	16.7 -26.2	14.5 -14.5	14.7 +7.6	53.4 +34.9	19.2 -
東北 (全体との差)	3,259	37.1 -5.7	28.2 -0.9	7.8 +0.7	26.5 +8.0	16.3 -
関東 (全体との差)	6,105	42.1 -0.7	32.2 +3.2	6.9 -0.2	15.4 -3.1	16.8 -
北陸 (全体との差)	1,409	48.8 +5.9	26.5 -2.5	8.1 +1.0	17.8 -0.7	11.3 -
中部 (全体との差)	3,284	45.4 +2.6	32.4 +3.4	6.2 -0.9	19.0 +0.5	12.6 -
近畿 (全体との差)	2,626	39.4 -3.5	33.6 +4.6	6.5 -0.6	13.7 -4.8	20.7 -
中国 (全体との差)	1,941	50.9 +8.1	29.0 -0.0	6.8 -0.3	15.0 -3.5	14.2 -
四国 (全体との差)	1,043	47.0 +4.1	30.9 +1.9	5.8 -1.3	13.8 -4.7	14.4 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,524	49.7 +6.8	18.7 -10.3	6.3 -0.8	13.6 -4.9	21.0 -

《H25調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法



《H24調査》	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
全体	11,028	39.7	24.8	6.3	12.8	25.0
北海道 (全体との差)	361	12.2 -27.5	10.2 -14.6	12.2 +5.9	54.3 +41.5	18.3 -
東北 (全体との差)	1,197	33.9 -5.8	28.2 +3.4	6.6 +0.3	22.8 +10.0	19.2 -
関東 (全体との差)	2,880	40.3 +0.6	25.0 +0.2	6.1 -0.2	10.9 -1.9	25.9 -
北陸 (全体との差)	841	51.0 +11.3	17.7 -7.1	5.6 -0.7	9.0 -3.8	22.0 -
中部 (全体との差)	1,927	42.9 +3.1	28.7 +3.9	6.0 -0.3	9.6 -3.2	22.0 -
近畿 (全体との差)	1,173	32.9 -6.8	33.6 +8.8	6.3 -0.0	6.8 -6.0	30.0 -
中国 (全体との差)	854	45.2 +5.5	27.3 +2.5	8.1 +1.8	8.5 -4.2	21.0 -
四国 (全体との差)	454	42.1 +2.3	16.7 -8.1	3.3 -3.0	7.0 -5.7	36.8 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,341	41.2 +1.4	17.6 -7.2	5.7 -0.6	13.6 +0.9	30.1 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱工法

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 78.3%、「屋根野地上断熱」が 19.9%、「垂木間充填断熱」が 30.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 67.4%、「屋根野地上断熱」は 49.3%、「垂木間充填断熱」は 33.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 70.7%、「屋根野地上断熱」が 40.7%、「垂木間充填断熱」が 44.5%であった。
- 外壁が「外張断熱」「充填外張併用断熱」の場合、天井断熱と屋根断熱が同程度の割合となった。

断熱工法	外壁	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
全体		10,666	60.1	17.7	23.3	21.6
断熱工法	充填断熱	7,134	78.3	19.9	30.6	1.1
	外張断熱	1,166	67.4	49.3	33.6	2.8
	充填外張併用断熱	723	70.7	40.7	44.5	2.2

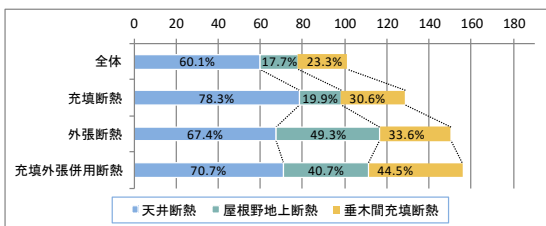


図 5-1-4a 外壁と屋根・天井の断熱工法の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 89.9%、「屋根野地上断熱」が 25.3%、「垂木間充填断熱」が 19.0%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.5%、「屋根野地上断熱」が 38.2%、「垂木間充填断熱」が 20.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 85.2%、「屋根野地上断熱」が 25.9%、「垂木間充填断熱」が 23.1%であった。
- 北海道は、他地域と異なり、外壁の断熱工法に関わらず「天井断熱」の組合せが最も多い。

断熱工法	外壁	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
北海道全体		208	76.0	22.1	15.9	11.1
断熱工法	充填断熱	79	89.9	25.3	19.0	2.5
	外張断熱	34	73.5	38.2	20.6	8.8
	充填外張併用断熱	108	85.2	25.9	23.1	0.9

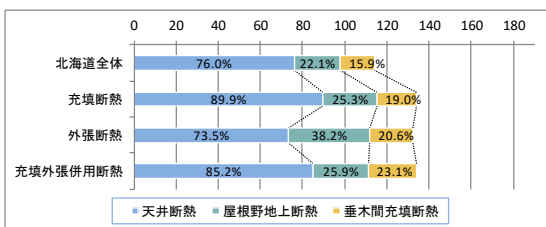


図 5-1-4b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 86.0%、「屋根野地上断熱」が 15.8%、「垂木間充填断熱」が 21.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.6%、「屋根野地上断熱」が 49.8%、「垂木間充填断熱」が 29.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 72.8%、「屋根野地上断熱」が 39.7%、「垂木間充填断熱」が 52.9%であった。
- 東北は、外壁「充填外張併用断熱」の場合、「垂木間充填断熱」の組合せが全体平均より多い。

断熱工法	外壁	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			
			天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答
東北全体		1,578	70.6	15.7	18.8	15.1
断熱工法	充填断熱	1,143	86.0	15.8	21.6	1.0
	外張断熱	227	73.6	49.8	29.5	1.3
	充填外張併用断熱	136	72.8	39.7	52.9	1.5

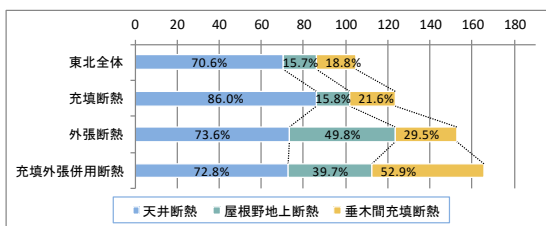


図 5-1-4c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 74.9%、「屋根野地上断熱」が 24.3%、「垂木間充填断熱」が 33.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」61.3%と「屋根野地上断熱」60.3%が同程度、「垂木間充填断熱」が 40.2%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 65.5%、「屋根野地上断熱」が 52.9%、「垂木間充填断熱」が 48.7%であった。
- 関東は、全体平均と同様の組合せの割合であった。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
関東全体	1,870	55.5	20.5	25.6	24.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,261	74.9	24.3	33.9	1.3
	外張断熱	204	61.3	60.3	40.2	3.9
	充填外張 併用断熱	119	65.5	52.9	48.7	1.7

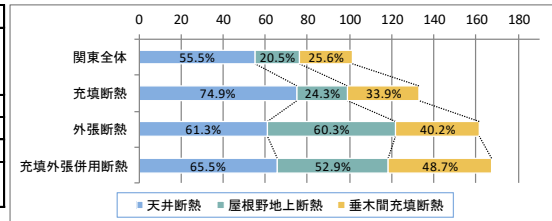


図 5-1-4d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 83.2%、「屋根野地上断熱」が 15.2%、「垂木間充填断熱」が 23.8%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.3%、「屋根野地上断熱」が 37.3%、「垂木間充填断熱」が 37.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 68.8%、「屋根野地上断熱」が 37.5%、「垂木間充填断熱」が 50.0%であった。
- 北陸は、外壁「充填断熱」「外張断熱」の場合、全体平均より「天井断熱」の使用割合が 10%程度多い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
北陸全体	673	64.6	13.2	19.3	21.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	488	83.2	15.2	23.8	1.2
	外張断熱	59	76.3	37.3	37.3	0.0
	充填外張 併用断熱	32	68.8	37.5	50.0	3.1

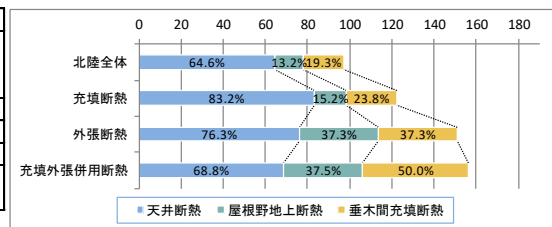


図 5-1-4e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.1%、「屋根野地上断熱」が 21.7%、「垂木間充填断熱」が 38.8%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 65.9%、「屋根野地上断熱」も 53.0%、「垂木間充填断熱」が 42.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 62.0%、「屋根野地上断熱」が 47.2%、「垂木間充填断熱」が 49.1%であった。
- 中部は、外壁の断熱工法に関わらず「屋根上野地断熱」の割合が全体平均より高い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
中部全体	1,637	55.7	19.2	29.1	22.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,107	73.1	21.7	38.8	1.3
	外張断熱	164	65.9	53.0	42.7	2.4
	充填外張 併用断熱	108	62.0	47.2	49.1	2.8

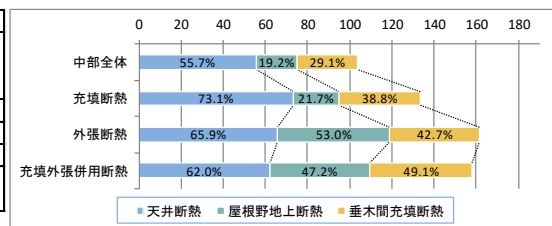


図 5-1-4f 同 中部地域

[近畿地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.0%、「屋根野地上断熱」が 24.1%、「垂木間充填断熱」が 35.4%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 66.4%、「屋根野地上断熱」が 50.0%、「垂木間充填断熱」が 39.0%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 61.4%であった。「屋根野地上断熱」が 44.3%、「垂木間充填断熱」が 52.9%であった。
- 近畿は、「外壁充填外張併用断熱」の場合「垂木間充填断熱」の組合せが全国平均より高い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
近畿全体	1,442	57.7	20.7	27.2	20.2	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,005	73.0	24.1	35.4	1.0
	外張断熱	146	66.4	50.0	39.0	2.7
	充填外張 併用断熱	70	61.4	44.3	52.9	4.3

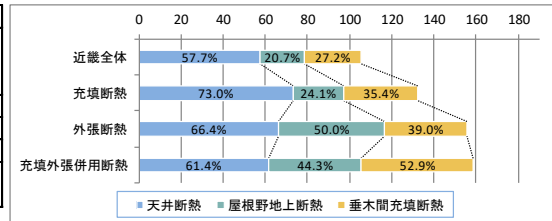


図 5-1-4g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 82.2%、「屋根野地上断熱」が 15.7%、「垂木間充填断熱」が 25.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 63.2%、「屋根野地上断熱」が 46.0%、「垂木間充填断熱」が 33.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 72.4%、「屋根野地上断熱」が 37.9%、「垂木間充填断熱」が 48.3%であった。
- 中国は、全体平均と同様の割合となっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
中国全体	936	66.7	15.7	21.9	16.5	
断熱 工法 外壁	充填断熱	680	82.2	15.7	25.9	1.2
	外張断熱	87	63.2	46.0	33.3	2.3
	充填外張 併用断熱	58	72.4	37.9	48.3	3.4

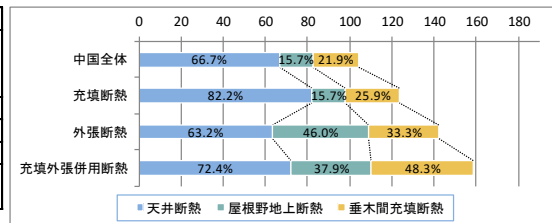


図 5-1-4h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 85.9%、「屋根野地上断熱」が 20.8%、「垂木間充填断熱」が 26.5%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 75.4%、「屋根野地上断熱」が 49.2%、「垂木間充填断熱」も 24.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が 75.0%、「屋根野地上断熱」が 42.9%、「垂木間充填断熱」が 50.0%であった。
- 四国は、外壁の断熱工法に関わらず「天井断熱」とする割合が全国平均より高い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)				
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱	無回答	
H30						
四国全体	528	58.0	15.3	16.7	31.4	
断熱 工法 外壁	充填断熱	298	85.9	20.8	26.5	1.3
	外張断熱	65	75.4	49.2	24.6	1.5
	充填外張 併用断熱	28	75.0	42.9	50.0	3.6

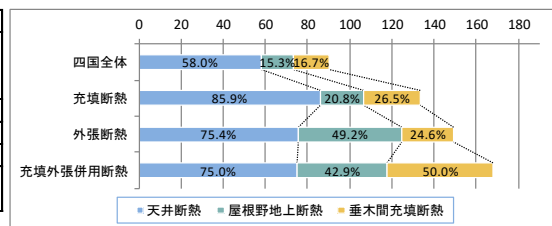


図 5-1-4i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 76.7%、「屋根野地上断熱」が 17.3%、「垂木間充填断熱」が 31.8%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 63.9%、「屋根野地上断熱」が 40.0%、「垂木間充填断熱」が 23.3%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「天井断熱」が最も多く 73.4%であった。「屋根野地上断熱」が 32.8%、「垂木間充填断熱」が 29.7%で同程度の割合であった。
- 九州・沖縄は、外壁「外張断熱」「充填外張併用断熱」の場合、「垂木間充填断熱」とする組合せが全体平均より低い。

	合計 (回答数)	断熱工法 屋根・天井 (%)			無回答	
		天井 断熱	屋根 野地上 断熱	垂木間 充填 断熱		
H30						
九州・沖縄全体	1,794	55.5	15.7	21.3	25.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,073	76.7	17.3	31.8	0.8
	外張断熱	180	63.9	40.0	23.3	4.4
	充填外張 併用断熱	64	73.4	32.8	29.7	1.6

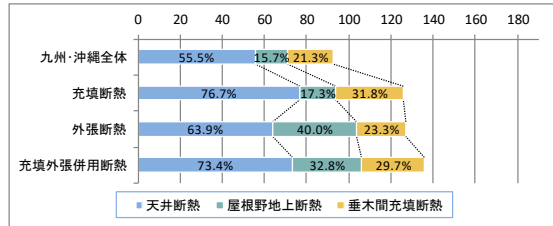


図 5-1-4j 同 九州・沖縄地域

質問4 普段たずさわっている断熱工法に○をご記入ください。(複数回答)

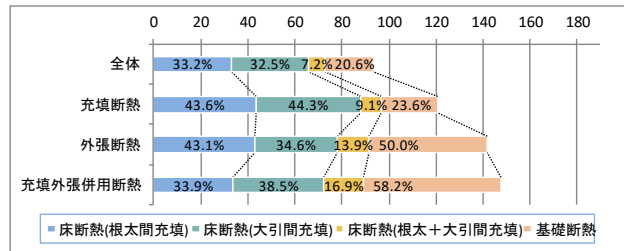
⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「根太間充填断熱」が43.6%、「大引間充填断熱」が44.3%、「根太+大引間充填断熱」が9.1%、「基礎断熱」が23.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が50.0%、「根太間充填断熱」が43.1%、「大引間充填断熱」が34.6%、「根太+大引間充填断熱」が13.9%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が最も多く58.2%、「根太間充填断熱」が33.9%、「大引間充填断熱」が38.5%、「根太+大引間充填断熱」が16.9%であった。
- 「外壁外張断熱」または「外壁充填外張併用断熱」の場合、「基礎断熱」の組合せの割合が増える。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H30						
全体	10,666	33.2	32.5	7.2	20.6	24.4
断熱 工法						
充填断熱	7,134	43.6	44.3	9.1	23.6	3.7
外張断熱	1,166	43.1	34.6	13.9	50.0	4.6
外壁						
充填外張 併用断熱	723	33.9	38.5	16.9	58.2	4.4

図 5-1-5a 外壁と床・基礎の断熱工法の組合せ

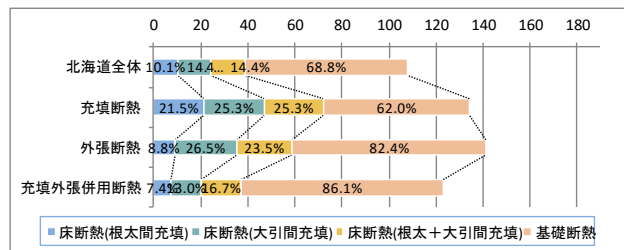


〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が62.0%、「根太間充填断熱」が21.5%、「大引間充填断熱」が25.3%、「根太+大引間充填断熱」が25.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が82.4%、「根太間充填断熱」が8.8%、「大引間充填断熱」が26.5%、「根太+大引間充填断熱」が23.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が86.1%、「根太間充填断熱」が7.4%、「大引間充填断熱」が13.0%、「根太+大引間充填断熱」が16.7%であった。
- 北海道は、前年度同様、どの外壁断熱工法でも「基礎断熱」との組合せが最多であった。外壁が「充填断熱」「外張断熱」の場合、「根太+大引間充填断熱」の割合が全体平均より高くなっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
H30						
北海道全体	208	10.1	14.4	14.4	68.8	12.0
断熱 工法						
充填断熱	79	21.5	25.3	25.3	62.0	6.3
外張断熱	34	8.8	26.5	23.5	82.4	0.0
外壁						
充填外張 併用断熱	108	7.4	13.0	16.7	86.1	3.7

図 5-1-5b 同 北海道地域



〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が26.1%、「根太間充填断熱」が37.7%、「大引間充填断熱」が47.8%、「根太+大引間充填断熱」が11.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が55.5%、「根太間充填断熱」が39.6%、「大引間充填断熱」が35.2%、「根太+大引間充填断熱」が12.8%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が66.2%、「根太間充填断熱」が27.9%、「大引間充填断熱」が52.9%、「根太+大引間充填断熱」が14.7%であった。
- 東北では、「外壁充填外張併用断熱」の場合、「大引間充填断熱」「基礎断熱」とする割合が全体平均より高い。

	H30	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
			床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
東北全体		1,578	30.9	38.3	9.6	25.4	17.8
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,143	37.7	47.8	11.9	26.1	3.8
	外張断熱	227	39.6	35.2	12.8	55.5	6.6
	充填外張 併用断熱	136	27.9	52.9	14.7	66.2	3.7

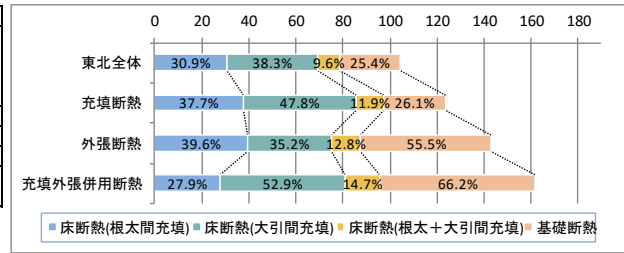


図 5-1-5c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 26.3%、「根太間充填断熱」が 41.7%、「大引間充填断熱」が 46.9%、「根太+大引間充填断熱」が 8.9%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 62.3%、「根太間充填断熱」が 42.6%、「大引間充填断熱」が 39.7%、「根太+大引間充填断熱」が 12.7%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 62.2%、「根太間充填断熱」が 35.3%、「大引間充填断熱」が 44.5%、「根太+大引間充填断熱」が 16.0%であった。
- 関東では、「外壁外張断熱」「外壁併用断熱」の場合、「基礎断熱」の割合が全体平均より増える。

	H30	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
			床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
関東全体		1,870	31.6	33.4	6.8	22.1	26.2
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,261	41.7	46.9	8.9	26.3	3.6
	外張断熱	204	42.6	39.7	12.7	62.3	4.4
	充填外張 併用断熱	119	35.3	44.5	16.0	62.2	5.0

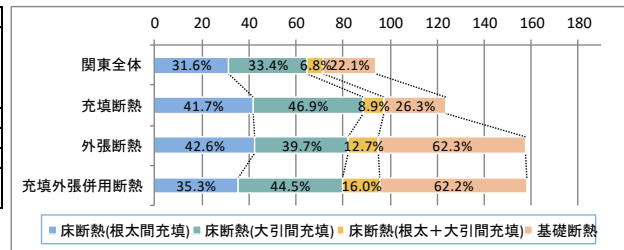


図 5-1-5d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 19.1%、「根太間充填断熱」が 48.8%、「大引間充填断熱」が 43.9%、「根太+大引間充填断熱」が 5.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 47.5%、「根太間充填断熱」が 50.8%、「大引間充填断熱」が 44.1%、「根太+大引間充填断熱」が 8.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 40.6%、「根太間充填断熱」が 50.0%、「大引間充填断熱」が 43.8%、「根太+大引間充填断熱」が 12.5%であった。
- 北陸は、外壁の断熱工法に関わらず「根太間充填断熱」「大引間充填断熱」とする組合せが多く、「基礎断熱」割合が低い。

	H30	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答
			床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱	
北陸全体		673	38.6	33.4	4.5	16.2	23.8
断熱 工法 外壁	充填断熱	488	48.8	43.9	5.1	19.1	4.3
	外張断熱	59	50.8	44.1	8.5	47.5	5.1
	充填外張 併用断熱	32	50.0	43.8	12.5	40.6	3.1

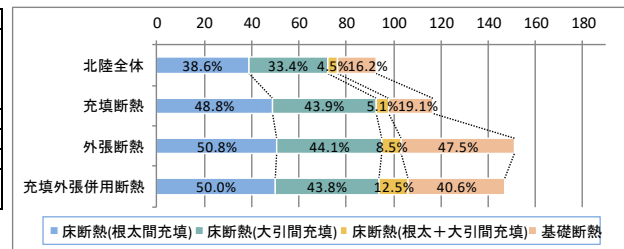


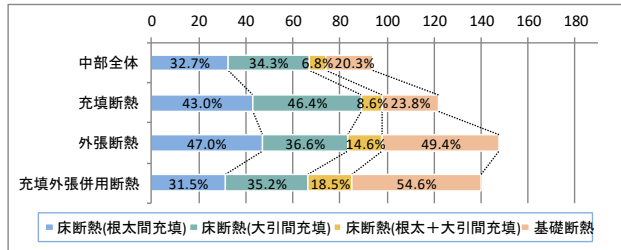
図 5-1-5e 同 北陸地域

[中部地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 23.8%、「根太間充填断熱」が 43.0%、「大引間充填断熱」が 46.4%、「根太+大引間充填断熱」が 8.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 49.4%、「根太間充填断熱」が 47.0%、「大引間充填断熱」が 36.6%、「根太+大引間充填断熱」が 14.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 54.6%、「根太間充填断熱」が 31.5%、「大引間充填断熱」が 35.2%、「根太+大引間充填断熱」が 18.5%であった。
- 中部は、全体と同様の割合となっている。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
中部全体	1,637	32.7	34.3	6.8	20.3	24.6	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,107	43.0	46.4	8.6	23.8	3.1
	外張断熱	164	47.0	36.6	14.6	49.4	4.3
	充填外張 併用断熱	108	31.5	35.2	18.5	54.6	6.5

図 5-1-5f 同 中部地域

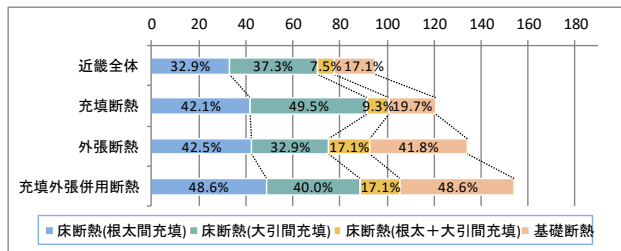


[近畿地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 19.7%、「根太間充填断熱」が 42.1%、「大引間充填断熱」が 49.5%、「根太+大引間充填断熱」が 9.3%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 41.8%、「根太間充填断熱」が 42.5%、「大引間充填断熱」が 32.9%、「根太+大引間充填断熱」が 17.1%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 48.6%、「根太間充填断熱」が 48.6%、「大引間充填断熱」が 40.0%、「根太+大引間充填断熱」が 17.1%であった。
- 近畿は「外壁充填外張併用断熱」の場合、「根太間充填」とする割合が高い。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
近畿全体	1,442	32.9	37.3	7.5	17.1	22.1	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,005	42.1	49.5	9.3	19.7	2.5
	外張断熱	146	42.5	32.9	17.1	41.8	4.1
	充填外張 併用断熱	70	48.6	40.0	17.1	48.6	2.9

図 5-1-5g 同 近畿地域

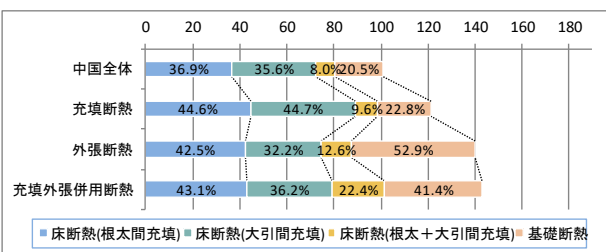


[中国地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 22.8%、「根太間充填断熱」が 44.6%、「大引間充填断熱」が 44.7%、「根太+大引間充填断熱」が 9.6%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 52.9%、「根太間充填断熱」が 42.5%、「大引間充填断熱」が 32.2%、「根太+大引間充填断熱」が 12.6%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 41.4%、「根太間充填断熱」が 43.1%、「大引間充填断熱」が 36.2%、「根太+大引間充填断熱」が 22.4%であった。
- 中国は全体平均より「基礎断熱」の割合が少ない。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
中国全体	936	36.9	35.6	8.0	20.5	18.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	680	44.6	44.7	9.6	22.8	2.4
	外張断熱	87	42.5	32.2	12.6	52.9	1.1
	充填外張 併用断熱	58	43.1	36.2	22.4	41.4	3.4

図 5-1-5h 同 中国地域

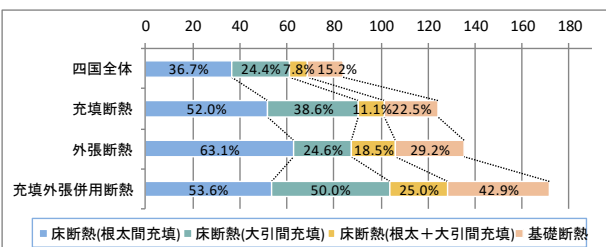


〔四国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 22.5%、「根太間充填断熱」が 52.0%、「大引間充填断熱」が 38.6%、「根太+大引間充填断熱」が 11.1%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 29.2%、「根太間充填断熱」が 63.1%、「大引間充填断熱」が 24.6%、「根太+大引間充填断熱」が 18.5%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 42.9%、「根太間充填断熱」が 53.6%、「大引間充填断熱」が 50.0%、「根太+大引間充填断熱」が 25.0%であった。
- 四国は、外壁の断熱工法に関わらず、「根太間充填断熱」とする割合が 10~20%程度全体より高い。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
四国全体	528	36.7	24.4	7.8	15.2	34.3	
断熱 工法 外壁	充填断熱	298	52.0	38.6	11.1	22.5	6.4
	外張断熱	65	63.1	24.6	18.5	29.2	6.2
	充填外張 併用断熱	28	53.6	50.0	25.0	42.9	3.6

図 5-1-5i 同 四国地域

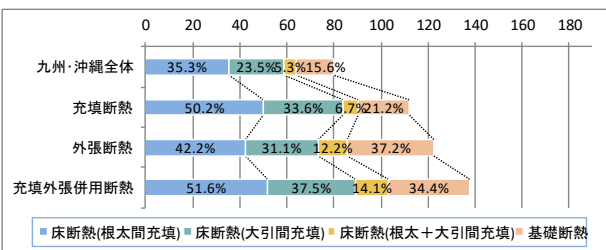


〔九州・沖縄地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱工法の組合せ

- 「外壁充填断熱」との組合せは「基礎断熱」が 21.2%、「根太間充填断熱」が 50.2%、「大引間充填断熱」が 33.6%、「根太+大引間充填断熱」が 6.7%であった。
- 「外壁外張断熱」との組合せは「基礎断熱」が 37.2%、「根太間充填断熱」が 42.2%、「大引間充填断熱」が 31.1%、「根太+大引間充填断熱」が 12.2%であった。
- 「外壁充填外張併用断熱」との組合せは「基礎断熱」が 34.4%、「根太間充填断熱」が 51.6%、「大引間充填断熱」が 37.5%、「根太+大引間充填断熱」が 14.1%であった。
- 九州・沖縄は、全体平均より「基礎断熱」の割合が 10%程度少ない。

	合計 (回答数)	断熱工法 床・基礎 (%)				無回答	
		床断熱 (根太間 充填)	床断熱 (大引間 充填)	床断熱 (根太+ 大引間 充填)	基礎 断熱		
H30							
九州・沖縄全体	1,794	35.3	23.5	3.3	15.6	31.8	
断熱 工法 外壁	充填断熱	1,073	50.2	33.6	6.7	21.2	5.0
	外張断熱	180	42.2	31.1	12.2	37.2	5.0
	充填外張 併用断熱	64	51.6	37.5	14.1	34.4	6.3

図 5-1-5j 同 九州・沖縄地域



質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

①屋根・天井

- 普段たずさわっている「屋根・天井」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 76.2%、「発泡プラスチック系断熱材」が 27.9%、「その他」が 16.7%であった。
- その他の断熱材の中では現場発泡ウレタン 5.4%が最も多い。
- グラスウールの使用割合は7年間変わらないが、発泡プラスチック系断熱材の使用割合は7年間で10%程度増加した。

《地域別》

- いずれの地域も全国平均と同様の割合であった。
- 7年間の使用割合の推移は全国平均と同様の傾向であった。

屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	6,376
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	2,335
その他	1,395
無回答	92
全体	8,366

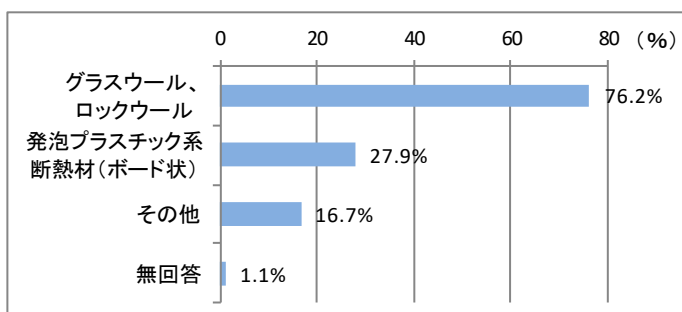
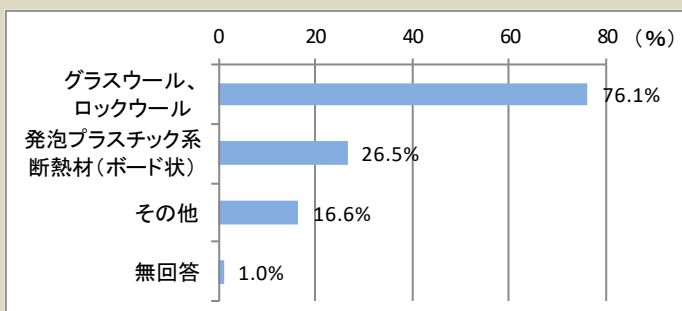


図 5-1-6a 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

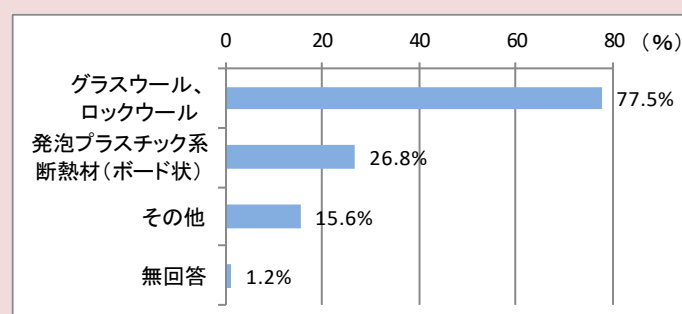
屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	9,022
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	3,146
その他	1,967
無回答	121
全体	11,860

《H28調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱材料



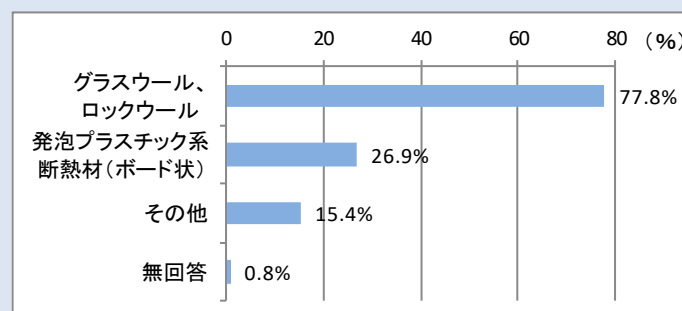
屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	11,509
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	3,972
その他	2,309
無回答	179
全体	14,845

《H28調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱材料



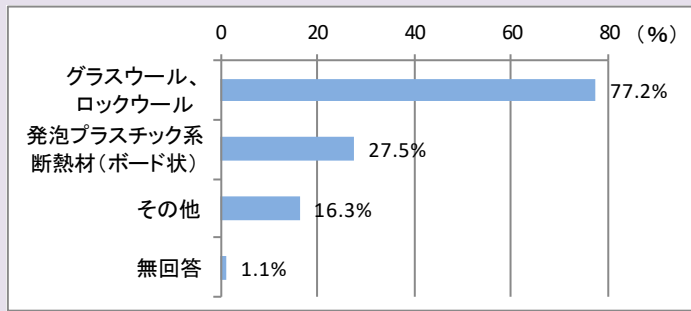
屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	13,334
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	4,611
その他	2,639
無回答	141
全体	17,149

《H27調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱材料



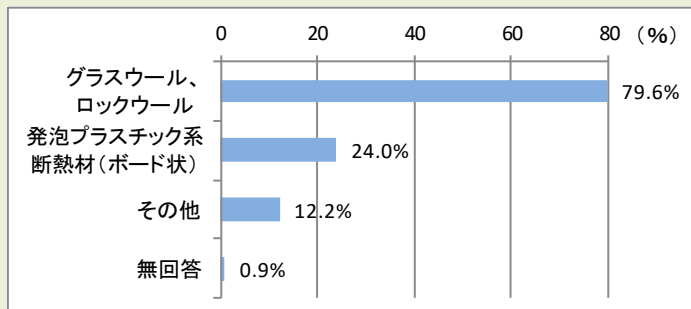
屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	16,007
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	5,700
その他	3,382
無回答	232
全体	20,738

《H26調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱材料



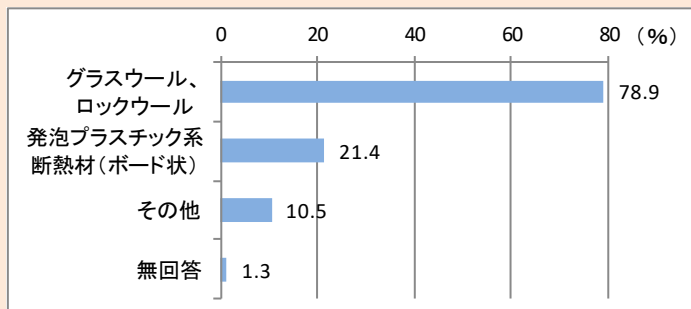
屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	15,703
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	4,730
その他	2,415
無回答	181
全体	19,722

《H25調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱材料



《H24調査》 屋根・天井の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	6,702
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	1,817
その他	888
無回答	107
全体	8,497

《H24調査》
普段たずさわっている
屋根・天井の断熱材料



	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,366	76.2	27.9	16.7	1.1
北海道	185	79.5	23.8	15.1	0.5
(全体との差)		+3.2	-4.1	-1.5	-
東北	1,340	79.5	25.8	13.5	0.8
(全体との差)		+3.3	-2.1	-3.2	-
関東	1,418	77.3	29.6	17.0	0.9
(全体との差)		+1.1	+1.7	+0.3	-
北陸	529	73.7	25.1	22.1	0.8
(全体との差)		-2.5	-2.8	+5.4	-
中部	1,264	72.2	30.6	20.2	1.2
(全体との差)		-4.1	+2.7	+3.5	-
近畿	1,151	77.3	27.8	16.9	0.8
(全体との差)		+1.1	-0.1	+0.2	-
中国	782	80.4	26.2	12.0	1.3
(全体との差)		+4.2	-1.7	-4.7	-
四国	362	84.5	25.7	12.7	0.6
(全体との差)		+8.3	-2.2	-4.0	-
九州・沖縄	1,335	70.5	29.0	17.9	2.0
(全体との差)		-5.7	+1.1	+1.2	-

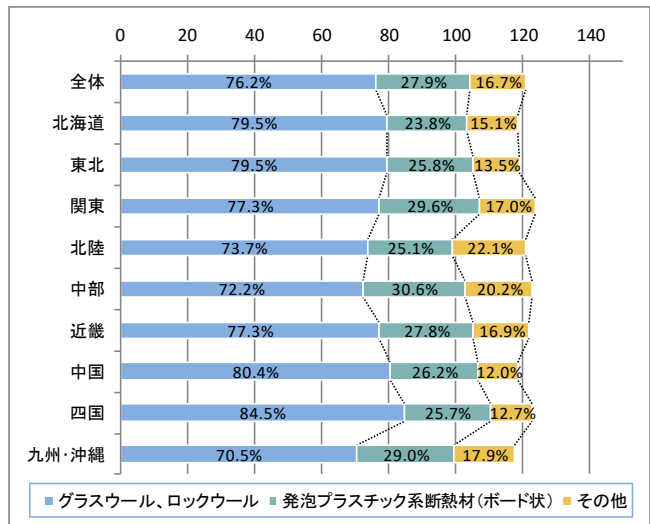
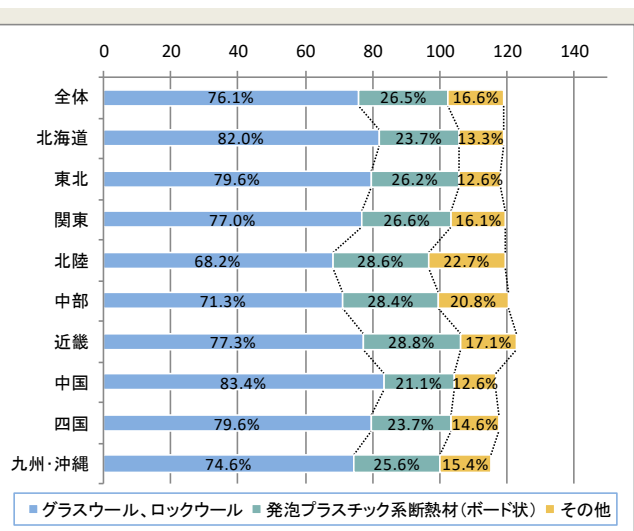


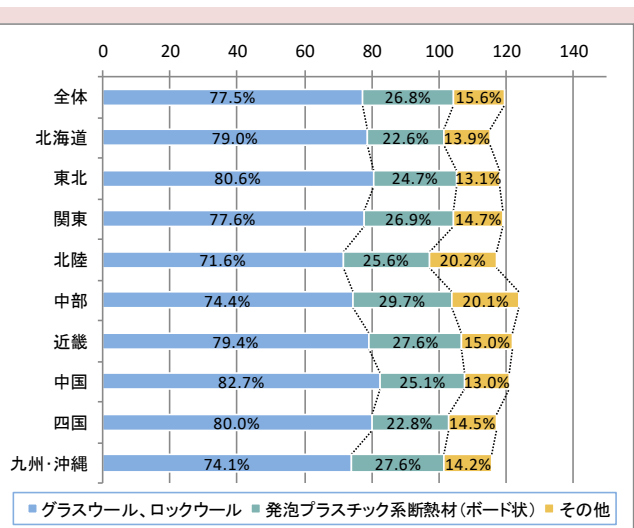
図 5-1-6b 地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	11,860	76.1	26.5	16.6	1.0
北海道	300	82.0	23.7	13.3	0.7
(全体との差)		+5.9	-2.9	-3.3	-
東北	1,770	79.6	26.2	12.6	1.0
(全体との差)		+3.5	-0.3	-4.0	-
関東	2,009	77.0	26.6	16.1	1.2
(全体との差)		+0.9	+0.1	-0.5	-
北陸	1,075	68.2	28.6	22.7	0.8
(全体との差)		-7.9	+2.0	+6.1	-
中部	2,025	71.3	28.4	20.8	0.9
(全体との差)		-4.8	+1.9	+4.2	-
近畿	1,557	77.3	28.8	17.1	1.2
(全体との差)		+1.3	+2.2	+0.5	-
中国	969	83.4	21.1	12.6	0.7
(全体との差)		+7.3	-5.5	-4.0	-
四国	481	79.6	23.7	14.6	0.8
(全体との差)		+3.6	-2.8	-2.0	-
九州・沖縄	1,674	74.6	25.6	15.4	1.3
(全体との差)		-1.5	-1.0	-1.2	-



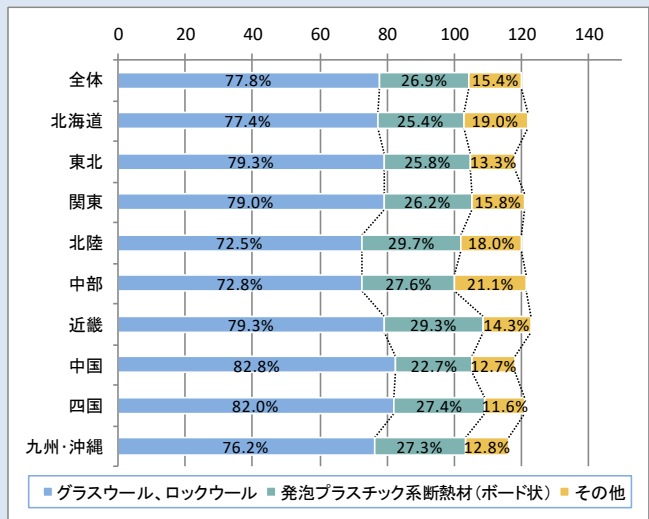
《H29調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	14,845	77.5	26.8	15.6	1.2
北海道	381	79.0	22.6	13.9	1.8
(全体との差)		+1.5	-4.2	-1.6	-
東北	2,312	80.6	24.7	13.1	1.2
(全体との差)		+3.1	-2.0	-2.5	-
関東	2,873	77.6	26.9	14.7	1.1
(全体との差)		+0.1	+0.2	-0.9	-
北陸	887	71.6	25.6	20.2	0.7
(全体との差)		-5.9	-1.2	+4.6	-
中部	2,661	74.4	29.7	20.1	1.1
(全体との差)		-3.2	+2.9	+4.5	-
近畿	2,162	79.4	27.6	15.0	1.2
(全体との差)		+1.8	+0.9	-0.5	-
中国	1,205	82.7	25.1	13.0	0.9
(全体との差)		+5.2	-1.6	-2.5	-
四国	600	80.0	22.8	14.5	0.8
(全体との差)		+2.5	-3.9	-1.1	-
九州・沖縄	1,764	74.1	27.6	14.2	2.1
(全体との差)		-3.4	+0.9	-1.4	-



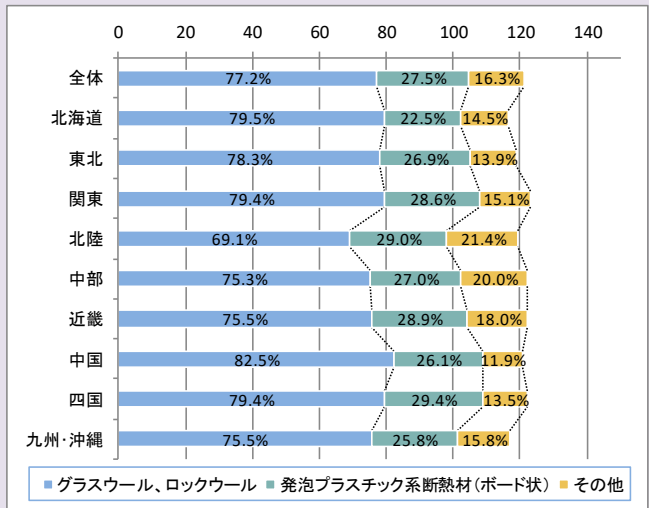
《H28調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	17,149	77.8	26.9	15.4	0.8
北海道 (全体との差)	358	77.4	25.4	19.0	0.6
		-0.4	-1.5	+3.6	-
東北 (全体との差)	2,429	79.3	25.8	13.3	0.9
		+1.5	-1.1	-2.0	-
関東 (全体との差)	3,449	79.0	26.2	15.8	1.0
		+1.3	-0.7	+0.4	-
北陸 (全体との差)	1,136	72.5	29.7	18.0	0.3
		-5.2	+2.8	+2.6	-
中部 (全体との差)	2,762	72.8	27.6	21.1	0.7
		-5.0	+0.7	+5.7	-
近畿 (全体との差)	2,213	79.3	29.3	14.3	0.8
		+1.6	+2.4	-1.1	-
中国 (全体との差)	1,527	82.8	22.7	12.7	0.5
		+5.0	-4.2	-2.7	-
四国 (全体との差)	989	82.0	27.4	11.6	0.6
		+4.2	+0.5	-3.8	-
九州・沖縄 (全体との差)	2,286	76.2	27.3	12.8	1.3
		-1.6	+0.4	-2.6	-



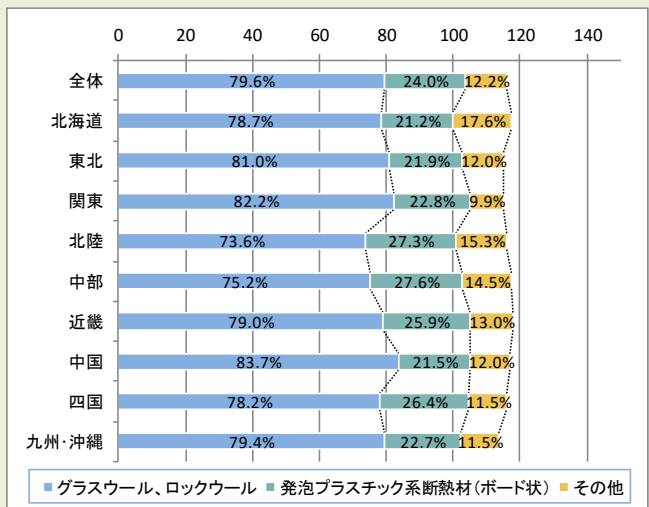
《H27調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,738	77.2	27.5	16.3	1.1
北海道 (全体との差)	746	79.5	22.5	14.5	1.7
		+2.3	-5.0	-1.8	-
東北 (全体との差)	2,642	78.3	26.9	13.9	1.1
		+1.1	-0.6	-2.5	-
関東 (全体との差)	4,906	79.4	28.6	15.1	0.9
		+2.2	+1.1	-1.2	-
北陸 (全体との差)	1,618	69.1	29.0	21.4	0.7
		-8.1	+1.6	+5.1	-
中部 (全体との差)	3,572	75.3	27.0	20.0	1.2
		-1.9	-0.4	+3.7	-
近畿 (全体との差)	2,327	75.5	28.9	18.0	1.1
		-1.7	+1.4	+1.7	-
中国 (全体との差)	1,882	82.5	26.1	11.9	1.2
		+5.3	-1.3	-4.4	-
四国 (全体との差)	887	79.4	29.4	13.5	1.0
		+2.2	+1.9	-2.8	-
九州・沖縄 (全体との差)	2,158	75.5	25.8	15.8	1.4
		-1.7	-1.7	-0.5	-



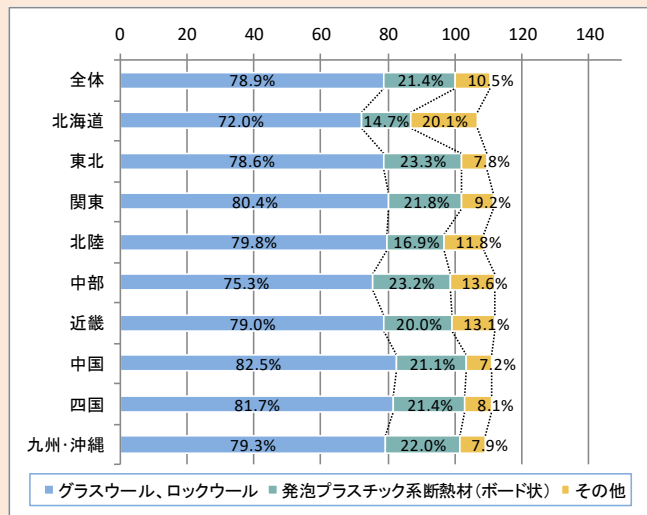
《H26調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,722	79.6	24.0	12.2	0.9
北海道 (全体との差)	680	78.7	21.2	17.6	0.7
		-0.9	-2.8	+5.4	-
東北 (全体との差)	2,781	81.0	21.9	12.0	0.8
		+1.4	-2.1	-0.2	-
関東 (全体との差)	5,195	82.2	22.8	9.9	0.8
		+2.6	-1.2	-2.4	-
北陸 (全体との差)	1,262	73.6	27.3	15.3	1.0
		-6.0	+3.3	+3.0	-
中部 (全体との差)	2,908	75.2	27.6	14.5	1.1
		-4.4	+3.6	+2.3	-
近畿 (全体との差)	2,143	79.0	25.9	13.0	1.0
		-0.6	+1.9	+0.7	-
中国 (全体との差)	1,712	83.7	21.5	12.0	1.1
		+4.1	-2.5	-0.3	-
四国 (全体との差)	908	78.2	26.4	11.5	1.2
		-1.4	+2.4	-0.8	-
九州・沖縄 (全体との差)	2,133	79.4	22.7	11.5	0.8
		-0.2	-1.2	-0.8	-



《H25調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
全体	8,497	78.9	21.4	10.5	1.3
北海道 (全体との差)	293	72.0 -6.9	14.7 -6.7	20.1 +9.7	2.4 -
東北 (全体との差)	995	78.6 -0.3	23.3 +1.9	7.8 -2.6	0.9 -
関東 (全体との差)	2,169	80.4 +1.5	21.8 +0.4	9.2 -1.3	1.6 -
北陸 (全体との差)	669	79.8 +0.9	16.9 -4.5	11.8 +1.4	0.9 -
中部 (全体との差)	1,541	75.3 -3.6	23.2 +1.8	13.6 +3.2	1.2 -
近畿 (全体との差)	839	79.0 +0.1	20.0 -1.4	13.1 +2.7	0.6 -
中国 (全体との差)	692	82.5 +3.6	21.1 -0.3	7.2 -3.2	1.3 -
四国 (全体との差)	295	81.7 +2.8	21.4 -0.0	8.1 -2.3	0.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,004	79.3 +0.4	22.0 +0.6	7.9 -2.6	1.7 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料

屋根・天井の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	230	2.2%
吹込グラスウール、ロックウール	12	0.1%
吹込その他	17	0.2%
現場発泡ウレタン(a)	577	5.4%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	42	0.4%
ウレタン(aかbか不明)	167	1.6%
ポリエステル	14	0.1%
木質系	14	0.1%
羊毛	26	0.2%
コルク		0.0%
未分類	34	0.3%
2種類以上の記載のあるもの	43	0.4%
その他記入有り合計	1,176	11.0%
その他全体	1,395	13.1%
全体	10,666	100.0%

図 5-1-6c 普段たずさわっている屋根・天井の断熱材料「その他」記述

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

②外壁

- 普段たずさわっている「外壁」の断熱材は「グラスウール・ロックウール」が最も多く 76.5%、「発泡プラスチック系断熱材」が 25.2%、「その他」が 17.2%であった。
- その他の断熱材の中では「現場発泡ウレタン」が 4.2%で最も多い。
- 「その他」の断熱材の使用割合は 7年間で 10%程度増加しているが、他の断熱材の使用割合はほぼ変わっていない。

《地域別》

- 北海道は「発泡プラスチック系断熱材」53.7%で全体平均より 30%程度多い。
- 7年間の使用割合の推移は全国平均と同様の傾向であった。

外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	6,276
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	2,069
その他	1,415
無回答	114
全体	8,203

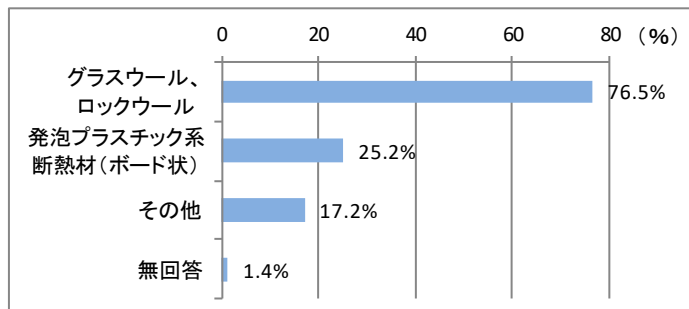
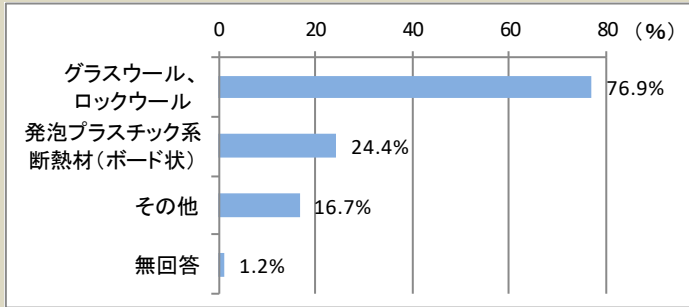


図 5-1-7a 普段たずさわっている外壁の断熱材料

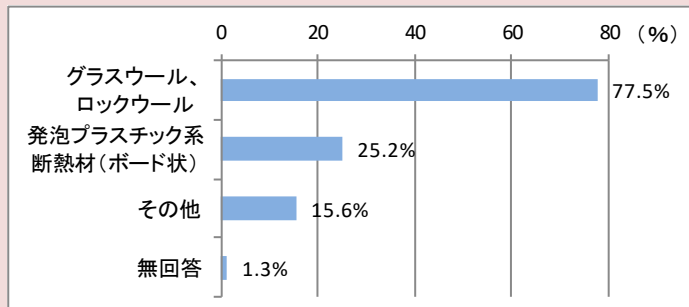
外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	8,924
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	2,829
その他	1,934
無回答	141
全体	11,612

《H29調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料



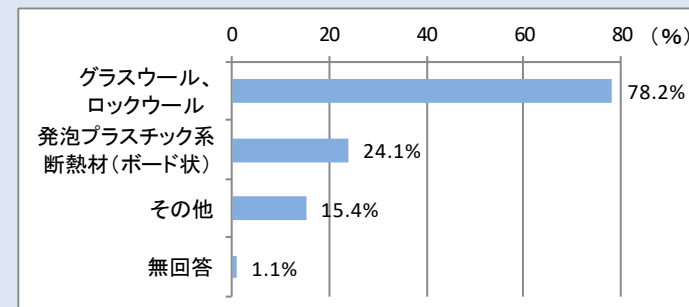
外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	11,229
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	3,649
その他	2,266
無回答	195
全体	14,485

《H28調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料



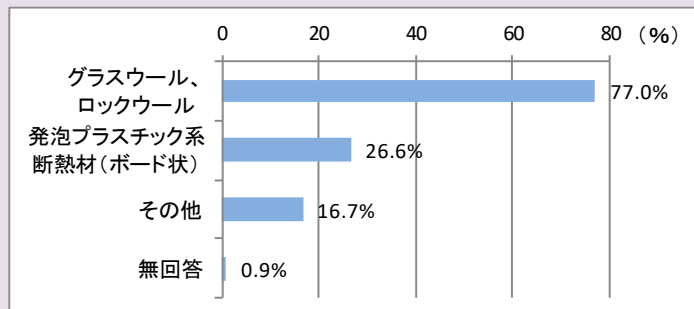
外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	13,088
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	4,028
その他	2,579
無回答	180
全体	16,736

《H27調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料



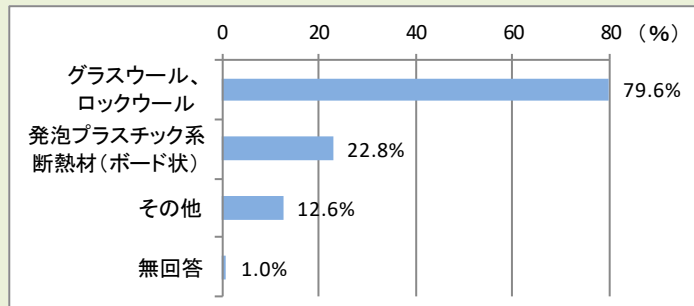
外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	15,566
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	5,378
その他	3,375
無回答	192
全体	20,226

《H26調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料



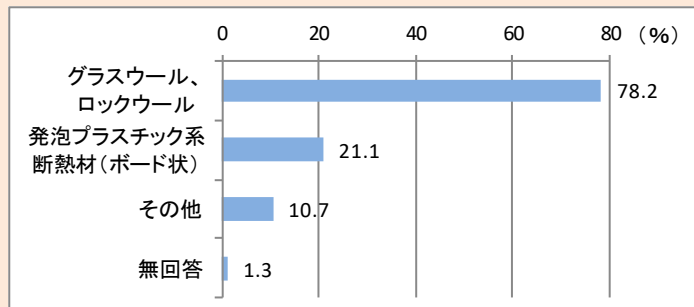
外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	15,391
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	4,416
その他	2,432
無回答	185
全体	19,342

《H25調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料



《H24調査》 外壁の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	6,475
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	1,743
その他	883
無回答	107
全体	8,277

《H24調査》
普段たずさわっている
外壁の断熱材料



	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,203	76.5	25.2	17.2	1.4
北海道 (全体との差)	190	75.3 -1.2	53.7 +28.5	13.7 -3.6	1.6
東北 (全体との差)	1,329	77.0 +0.5	28.5 +3.3	12.8 -4.5	1.2
関東 (全体との差)	1,405	78.9 +2.4	23.3 -1.9	18.0 +0.8	1.6
北陸 (全体との差)	531	74.4 -2.1	26.6 +1.3	21.5 +4.2	0.8
中部 (全体との差)	1,249	70.4 -6.1	29.4 +4.2	22.0 +4.8	1.1
近畿 (全体との差)	1,130	78.0 +1.5	21.2 -4.1	17.7 +0.4	1.7
中国 (全体との差)	767	82.9 +6.4	21.6 -3.6	13.2 -4.1	1.3
四国 (全体との差)	349	83.1 +6.6	21.5 -3.7	13.5 -3.8	1.7
九州・沖縄 (全体との差)	1,253	73.5 -3.0	21.8 -3.4	18.3 +1.0	1.6

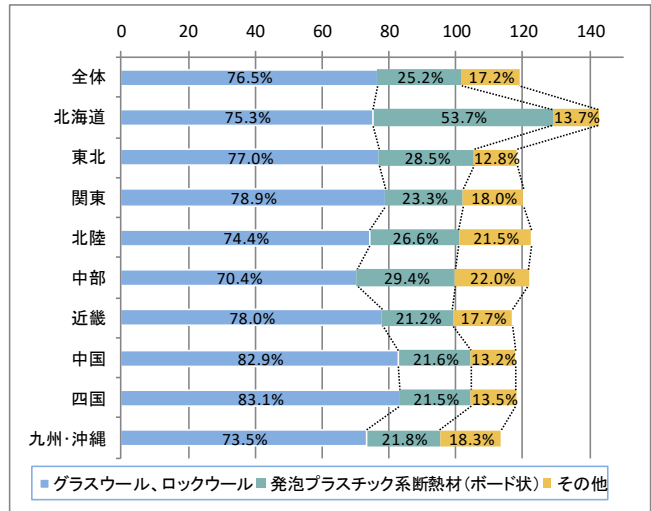
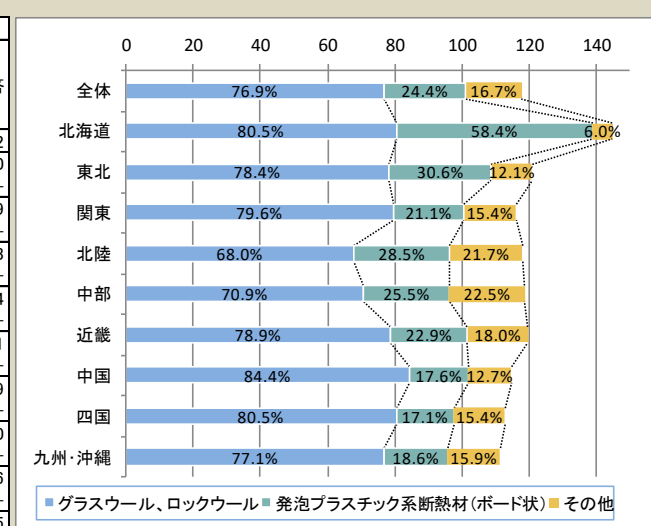


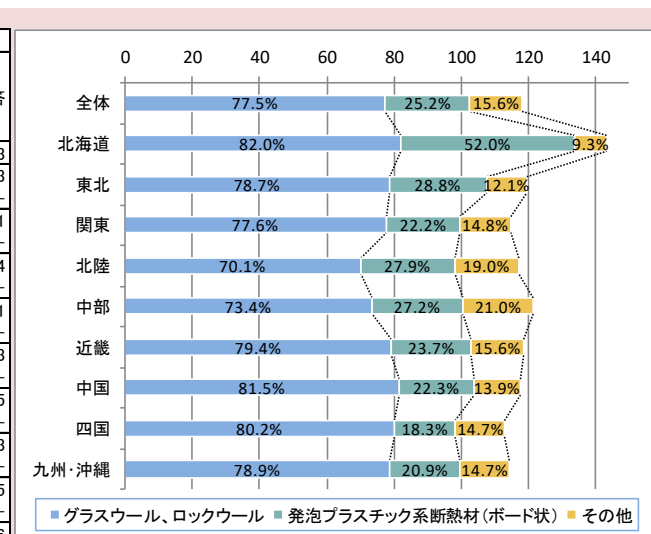
図 5-1-7b 地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	11,612	76.9	24.4	16.7	1.2
北海道 (全体との差)	298	80.5 +3.7	58.4 +34.0	6.0 -10.6	1.0
東北 (全体との差)	1,743	78.4 +1.5	30.6 +6.2	12.1 -4.5	0.9
関東 (全体との差)	1,967	79.6 +2.8	21.1 -3.3	15.4 -1.3	1.3
北陸 (全体との差)	1,071	68.0 -8.9	28.5 +4.1	21.7 +5.0	1.4
中部 (全体との差)	1,996	70.9 -6.0	25.5 +1.1	22.5 +5.8	1.1
近畿 (全体との差)	1,533	78.9 +2.0	22.9 -1.5	18.0 +1.3	0.9
中国 (全体との差)	942	84.4 +7.5	17.6 -6.7	12.7 -3.9	1.0
四国 (全体との差)	462	80.5 +3.7	17.1 -7.3	15.4 -1.3	2.6
九州・沖縄 (全体との差)	1,600	77.1 +0.2	18.6 -5.7	15.9 -0.8	1.5



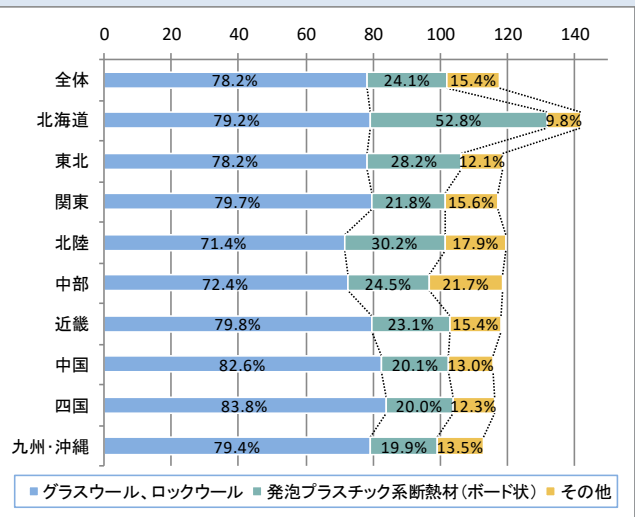
《H29調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	14,485	77.5	25.2	15.6	1.3
北海道 (全体との差)	377	82.0 +4.4	52.0 +26.8	9.3 -6.4	1.3
東北 (全体との差)	2,278	78.7 +1.2	28.8 +3.6	12.1 -3.6	1.1
関東 (全体との差)	2,825	77.6 +0.1	22.2 -3.0	14.8 -0.8	1.4
北陸 (全体との差)	884	70.1 -7.4	27.9 +2.7	19.0 +3.4	1.1
中部 (全体との差)	2,618	73.4 -4.1	27.2 +2.0	21.0 +5.4	1.3
近畿 (全体との差)	2,121	79.4 +1.9	23.7 -1.5	15.6 -0.0	1.5
中国 (全体との差)	1,181	81.5 +4.0	22.3 -2.9	13.9 -1.8	1.3
四国 (全体との差)	590	80.2 +2.6	18.3 -6.9	14.7 -0.9	1.5
九州・沖縄 (全体との差)	1,611	78.9 +1.4	20.9 -4.3	14.7 -0.9	1.6



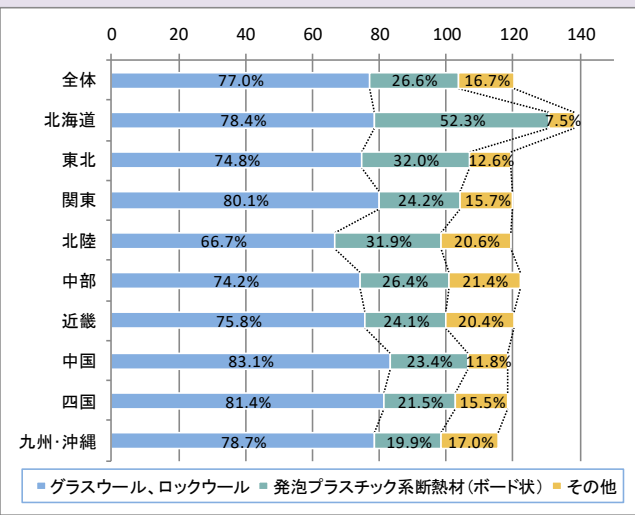
《H28調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	16,736	78.2	24.1	15.4	1.1
北海道	356	79.2	52.8	9.8	0.0
(全体との差)		+1.0	+28.7	-5.6	-
東北	2,409	78.2	28.2	12.1	1.0
(全体との差)		+0.0	+4.2	-3.3	-
関東	3,361	79.7	21.8	15.6	1.5
(全体との差)		+1.5	-2.3	+0.2	-
北陸	1,124	71.4	30.2	17.9	0.4
(全体との差)		-6.8	+6.2	+2.5	-
中部	2,728	72.4	24.5	21.7	1.1
(全体との差)		-5.8	+0.4	+6.3	-
近畿	2,182	79.8	23.1	15.4	1.1
(全体との差)		+1.6	-0.9	-0.1	-
中国	1,482	82.6	20.1	13.0	0.8
(全体との差)		+4.4	-4.0	-2.4	-
四国	964	83.8	20.0	12.3	1.1
(全体との差)		+5.6	-4.0	-3.1	-
九州・沖縄	2,130	79.4	19.9	13.5	1.3
(全体との差)		+1.2	-4.2	-1.9	-



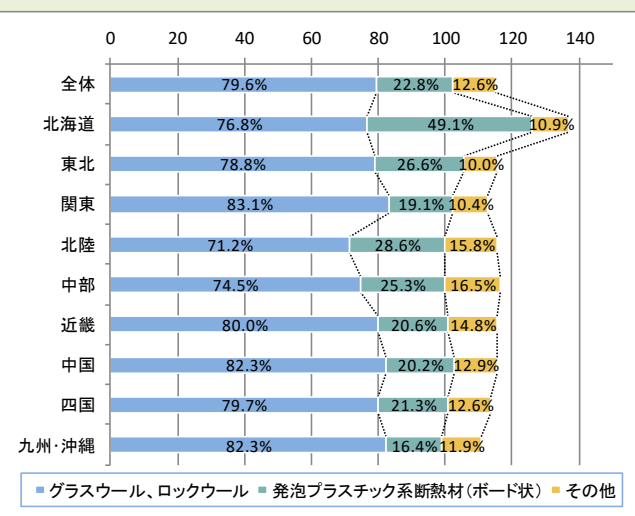
《H27調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,226	77.0	26.6	16.7	0.9
北海道	747	78.4	52.3	7.5	1.2
(全体との差)		+1.5	+25.8	-9.2	-
東北	2,613	74.8	32.0	12.6	1.1
(全体との差)		-2.1	+5.4	-4.1	-
関東	4,783	80.1	24.2	15.7	1.1
(全体との差)		+3.1	-2.4	-1.0	-
北陸	1,600	66.7	31.9	20.6	1.1
(全体との差)		-10.3	+5.3	+3.9	-
中部	3,504	74.2	26.4	21.4	0.8
(全体との差)		-2.8	-0.2	+4.7	-
近畿	2,290	75.8	24.1	20.4	0.8
(全体との差)		-1.2	-2.5	+3.8	-
中国	1,819	83.1	23.4	11.8	0.8
(全体との差)		+6.1	-3.2	-4.9	-
四国	853	81.4	21.5	15.5	0.7
(全体との差)		+4.4	-5.1	-1.2	-
九州・沖縄	2,017	78.7	19.9	17.0	0.9
(全体との差)		+1.7	-6.7	+0.3	-



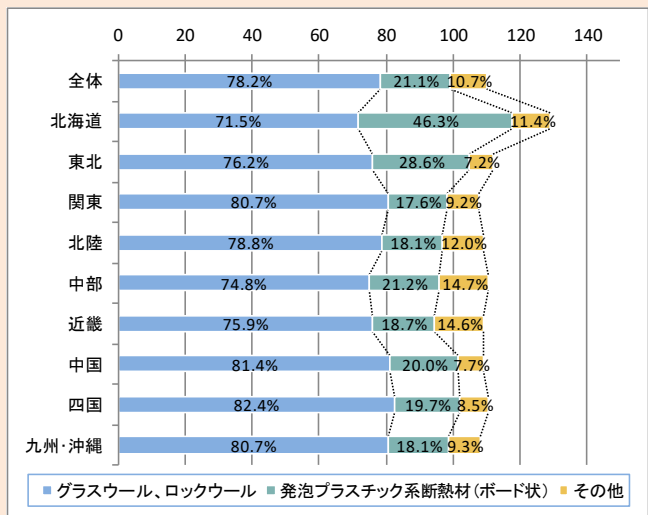
《H26調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,342	79.6	22.8	12.6	1.0
北海道	676	76.8	49.1	10.9	1.0
(全体との差)		-2.8	+26.3	-1.6	-
東北	2,755	78.8	26.6	10.0	0.7
(全体との差)		-0.8	+3.8	-2.6	-
関東	5,098	83.1	19.1	10.4	1.1
(全体との差)		+3.5	-3.7	-2.2	-
北陸	1,255	71.2	28.6	15.8	0.7
(全体との差)		-8.3	+5.8	+3.2	-
中部	2,877	74.5	25.3	16.5	1.1
(全体との差)		-5.1	+2.4	+3.9	-
近畿	2,103	80.0	20.6	14.8	1.0
(全体との差)		+0.5	-2.2	+2.3	-
中国	1,661	82.3	20.2	12.9	1.1
(全体との差)		+2.7	-2.6	+0.3	-
四国	878	79.7	21.3	12.6	0.9
(全体との差)		+0.2	-1.5	+0.1	-
九州・沖縄	2,039	82.3	16.4	11.9	0.8
(全体との差)		+2.8	-6.5	-0.7	-



《H25調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,277	78.2	21.1	10.7	1.3
北海道 (全体との差)	298	71.5 -6.8	46.3 +25.3	11.4 +0.7	2.3 -
東北 (全体との差)	977	76.2 -2.1	28.6 +7.5	7.2 -3.5	0.7 -
関東 (全体との差)	2,112	80.7 +2.5	17.6 -3.4	9.2 -1.5	1.8 -
北陸 (全体との差)	657	78.8 +0.6	18.1 -2.9	12.0 +1.4	1.2 -
中部 (全体との差)	1,511	74.8 -3.4	21.2 +0.2	14.7 +4.0	1.1 -
近畿 (全体との差)	820	75.9 -2.4	18.7 -2.4	14.6 +4.0	1.1 -
中国 (全体との差)	660	81.4 +3.1	20.0 -1.1	7.7 -2.9	1.1 -
四国 (全体との差)	284	82.4 +4.2	19.7 -1.3	8.5 -2.2	0.4 -
九州・沖縄 (全体との差)	958	80.7 +2.5	18.1 -3.0	9.3 -1.4	1.6 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている外壁の断熱材料

外壁の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	197	1.8%
吹込グラスウール、ロックウール	3	0.0%
吹込その他	148	1.4%
現場発泡ウレタン(a)	445	4.2%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	55	0.5%
ウレタン(aかbか不明)	183	1.7%
ポリエステル	19	0.2%
木質系	15	0.1%
羊毛	28	0.3%
コルク		0.0%
未分類	35	0.3%
2種類以上の記載のあるもの	50	0.5%
その他記入有り合計	1,178	11.0%
その他全体	1,415	13.3%
全体	10,666	100.0%

図 5-1-7c 普段たずさわっている外壁の断熱材料「その他」記述

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

③床・基礎

- 普段たずさわっている「床・基礎」の断熱材は「発泡プラスチック系断熱材」が最も多く 79.5%、「グラスウール・ロックウール」が 23.4%、「その他」が 6.6%であった。

- 断熱材の使用割合は、例年ほぼ変わらない。

《地域別》

- いずれの地域も「発泡プラスチック系断熱材」が最多であった。
- 「グラスウール・ロックウール」は四国が 32.3%で他地域と比較して割合が高い。その他の地域は北陸 14.8%でやや低い。
- 北海道が「発泡プラスチック系断熱材」が7年間を通して 10%程度増加した。

床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	1,890
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	6,414
その他	531
無回答	150
全体	8,066

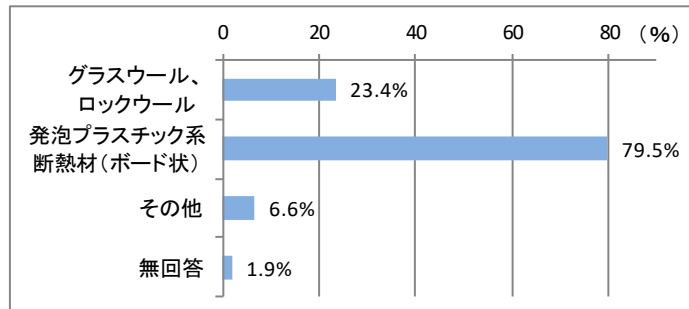
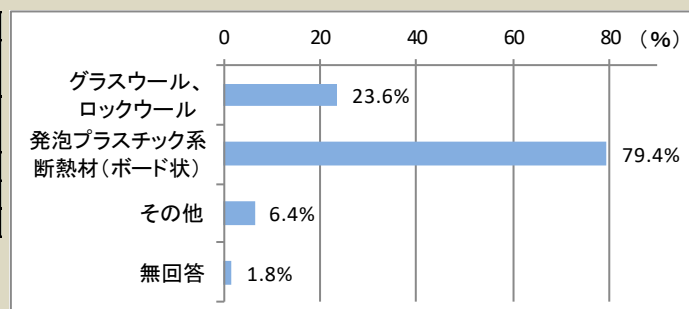


図 5-1-8a 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

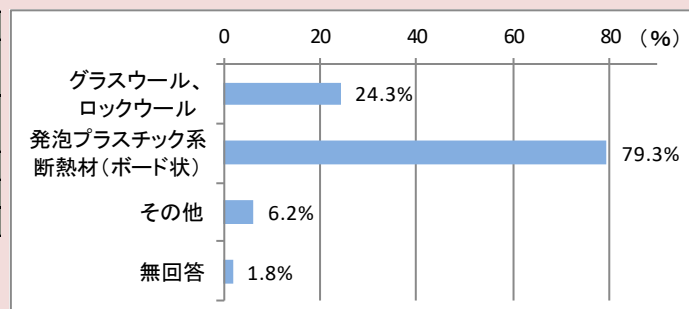
床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	2,712
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	9,116
その他	732
無回答	202
全体	11,480

《H29調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料



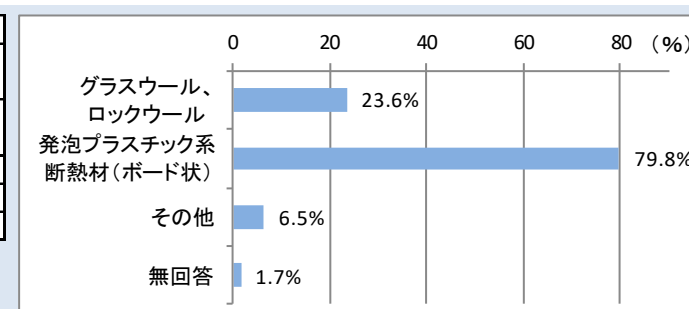
床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	3,483
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	11,384
その他	886
無回答	260
全体	14,348

《H28調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料



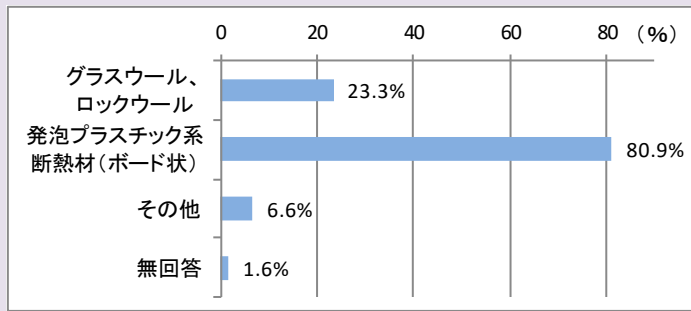
床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	3,935
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	13,294
その他	1,089
無回答	281
全体	16,649

《H27調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料



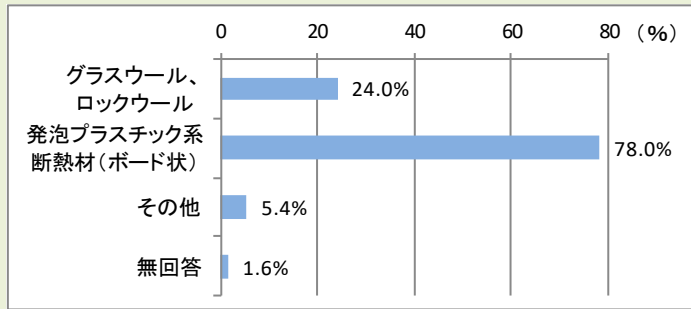
床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	4,710
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	16,356
その他	1,328
無回答	330
全体	20,209

《H26調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料



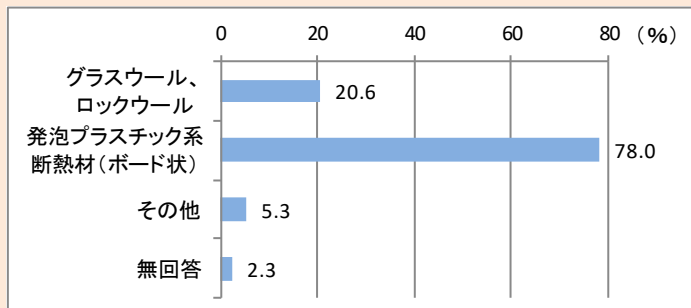
床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	4,625
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	15,000
その他	1,033
無回答	302
全体	19,231

《H25調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料



《H24調査》 床・基礎の断熱材料	回答数
グラスウール、 ロックウール	1,702
発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	6,459
その他	438
無回答	194
全体	8,276

《H24調査》
普段たずさわっている
床・基礎の断熱材料



	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	8,066	23.4	79.5	6.6	1.9
北海道 (全体との差)	183	27.3 +3.9	78.7 -0.8	8.2 +1.6	0.5 -
東北 (全体との差)	1,297	24.1 +0.7	79.6 +0.1	7.8 +1.2	1.0 -
関東 (全体との差)	1,380	26.8 +3.4	76.8 -2.7	7.3 +0.7	2.5 -
北陸 (全体との差)	513	14.8 -8.6	85.2 +5.7	7.0 +0.4	0.8 -
中部 (全体との差)	1,235	27.4 +4.0	77.2 -2.4	7.8 +1.2	1.8 -
近畿 (全体との差)	1,123	22.0 -1.4	81.8 +2.3	4.7 -1.9	1.4 -
中国 (全体との差)	765	18.7 -4.7	83.8 +4.3	4.3 -2.3	2.5 -
四国 (全体との差)	347	32.3 +8.8	70.3 -9.2	7.5 +0.9	1.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,223	19.6 -3.8	80.4 +0.9	5.7 -0.9	2.9 -

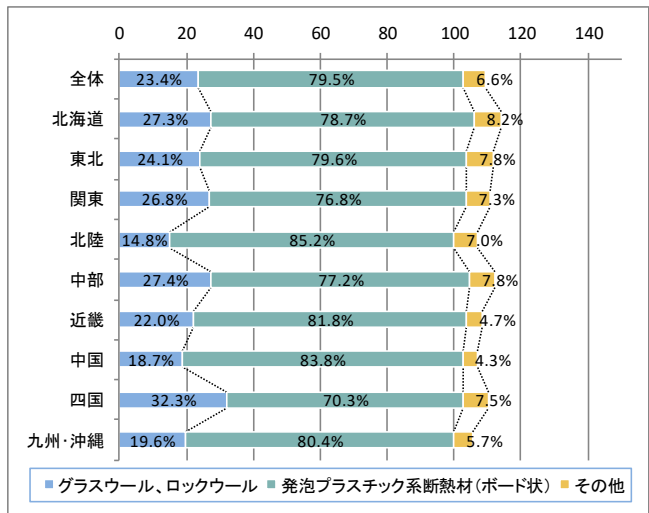
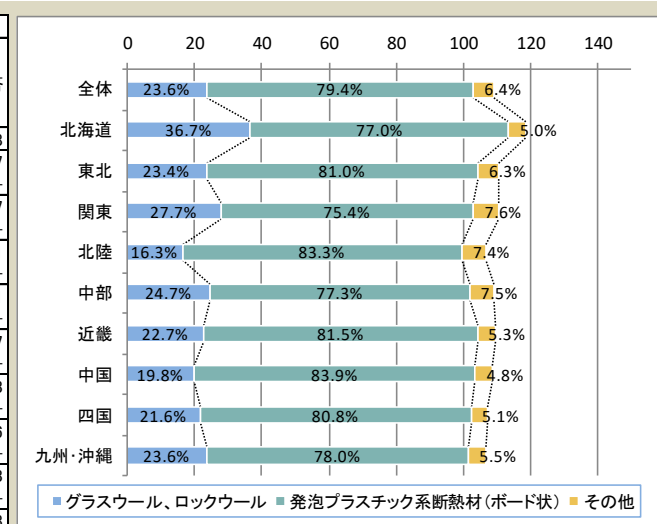


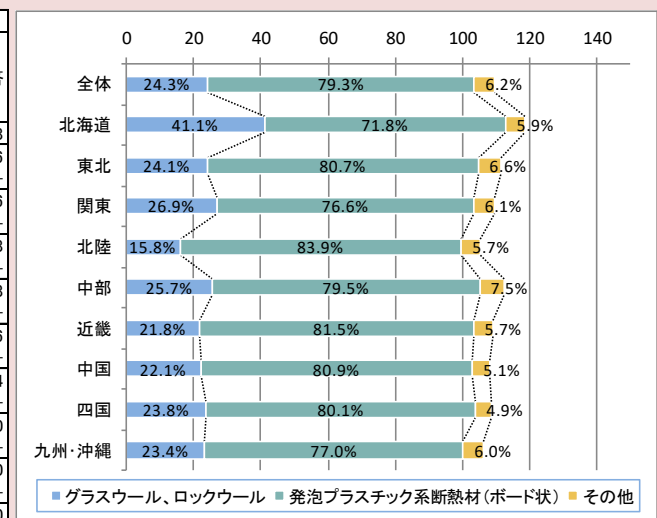
図 5-1-8b 地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	11,480	23.6	79.4	6.4	1.8
北海道 (全体との差)	300	36.7 +13.0	77.0 -2.4	5.0 -1.4	1.7 -
東北 (全体との差)	1,730	23.4 -0.2	81.0 +1.6	6.3 -0.1	1.7 -
関東 (全体との差)	1,961	27.7 +4.1	75.4 -4.0	7.6 +1.2	2.1 -
北陸 (全体との差)	1,051	16.3 -7.4	83.3 +3.9	7.4 +1.0	1.1 -
中部 (全体との差)	1,986	24.7 +1.0	77.3 -2.1	7.5 +1.1	1.7 -
近畿 (全体との差)	1,509	22.7 -0.9	81.5 +2.1	5.3 -1.1	2.3 -
中国 (全体との差)	940	19.8 -3.8	83.9 +4.5	4.8 -1.6	1.6 -
四国 (全体との差)	468	21.6 -2.0	80.8 +1.4	5.1 -1.2	1.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,535	23.6 -0.0	78.0 -1.4	5.5 -0.9	1.8 -



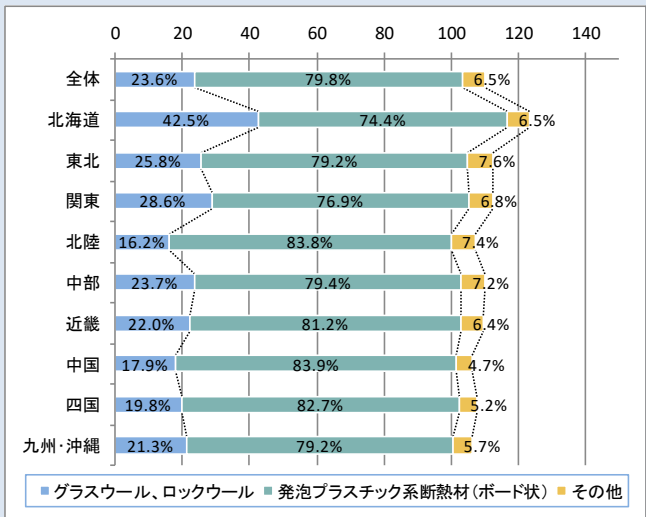
《H29調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	14,348	24.3	79.3	6.2	1.8
北海道 (全体との差)	372	41.1 +16.9	71.8 -7.6	5.9 -0.3	1.6 -
東北 (全体との差)	2,259	24.1 -0.2	80.7 +1.4	6.6 +0.4	1.6 -
関東 (全体との差)	2,790	26.9 +2.6	76.6 -2.8	6.1 -0.1	1.8 -
北陸 (全体との差)	884	15.8 -8.4	83.9 +4.6	5.7 -0.5	1.8 -
中部 (全体との差)	2,600	25.7 +1.4	79.5 +0.1	7.5 +1.3	1.6 -
近畿 (全体との差)	2,101	21.8 -2.4	81.5 +2.2	5.7 -0.5	1.4 -
中国 (全体との差)	1,175	22.1 -2.1	80.9 +1.5	5.1 -1.1	2.0 -
四国 (全体との差)	592	23.8 -0.5	80.1 +0.7	4.9 -1.3	2.0 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,575	23.4 -0.9	77.0 -2.4	6.0 -0.2	3.0 -



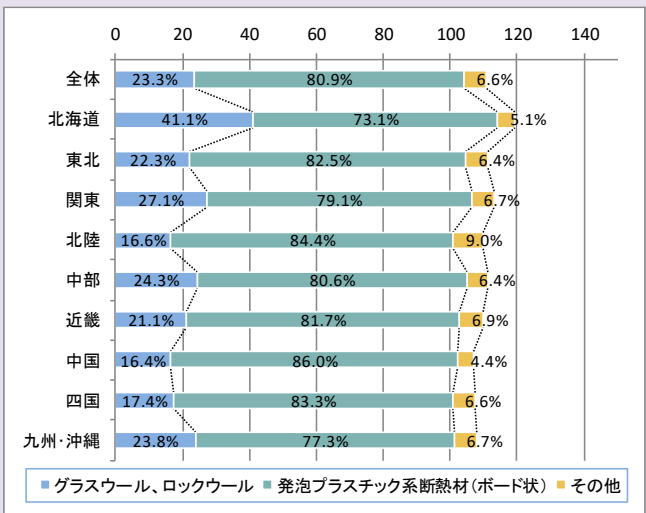
《H28調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	16,649	23.6	79.8	6.5	1.7
北海道 (全体との差)	355	42.5 +18.9	74.4 -5.5	6.5 -0.1	0.3 -
東北 (全体との差)	2,395	25.8 +2.1	79.2 -0.6	7.6 +1.0	1.8 -
関東 (全体との差)	3,358	28.6 +5.0	76.9 -3.0	6.8 +0.3	2.2 -
北陸 (全体との差)	1,121	16.2 -7.4	83.8 +3.9	7.4 +0.9	1.0 -
中部 (全体との差)	2,722	23.7 +0.1	79.4 -0.5	7.2 +0.7	1.2 -
近畿 (全体との差)	2,161	22.0 -1.7	81.2 +1.4	6.4 -0.1	1.6 -
中国 (全体との差)	1,488	17.9 -5.7	83.9 +4.0	4.7 -1.8	1.1 -
四国 (全体との差)	963	19.8 -3.8	82.7 +2.8	5.2 -1.3	1.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	2,086	21.3 -2.4	79.2 -0.6	5.7 -0.9	2.7 -



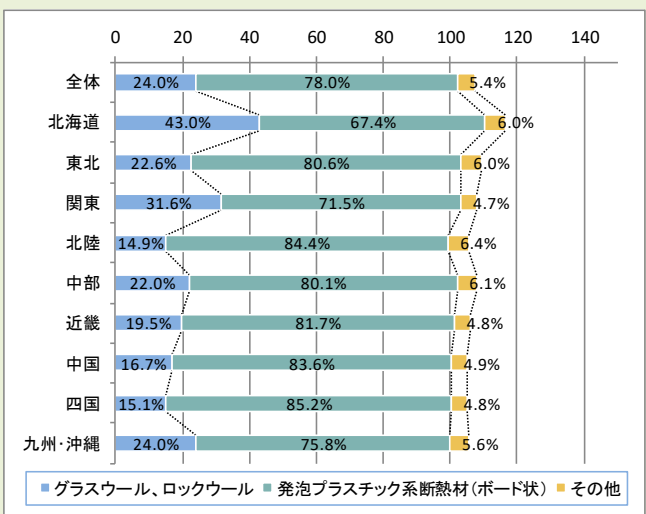
《H27調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	20,209	23.3	80.9	6.6	1.6
北海道 (全体との差)	732	41.1 +17.8	73.1 -7.8	5.1 -1.5	1.6 -
東北 (全体との差)	2,597	22.3 -1.0	82.5 +1.6	6.4 -0.1	1.7 -
関東 (全体との差)	4,803	27.1 +3.8	79.1 -1.8	6.7 +0.2	1.6 -
北陸 (全体との差)	1,586	16.6 -6.7	84.4 +3.5	9.0 +2.4	1.2 -
中部 (全体との差)	3,522	24.3 +1.0	80.6 -0.4	6.4 -0.1	1.6 -
近畿 (全体との差)	2,267	21.1 -2.2	81.7 +0.8	6.9 +0.4	1.6 -
中国 (全体との差)	1,844	16.4 -6.9	86.0 +5.1	4.4 -2.1	1.6 -
四国 (全体との差)	869	17.4 -5.9	83.3 +2.4	6.6 -0.0	1.5 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,989	23.8 +0.5	77.3 -3.6	6.7 +0.2	2.0 -



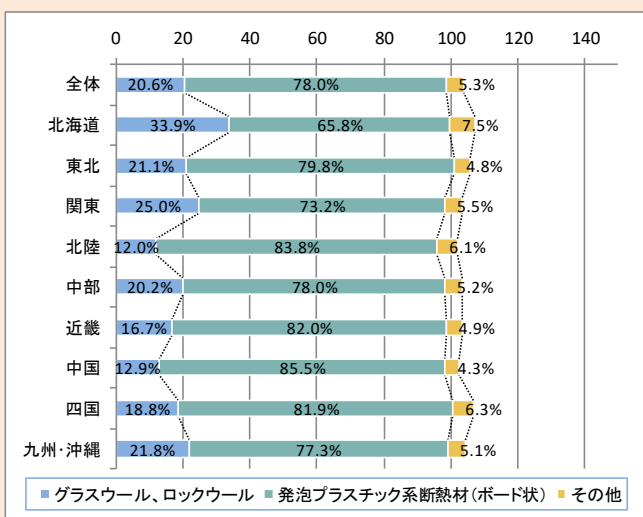
《H26調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
全体	19,231	24.0	78.0	5.4	1.6
北海道 (全体との差)	669	43.0 +19.0	67.4 -10.6	6.0 +0.6	1.2 -
東北 (全体との差)	2,729	22.6 -1.5	80.6 +2.6	6.0 +0.7	1.1 -
関東 (全体との差)	5,080	31.6 +7.6	71.5 -6.5	4.7 -0.7	1.6 -
北陸 (全体との差)	1,250	14.9 -9.2	84.4 +6.4	6.4 +1.0	1.5 -
中部 (全体との差)	2,869	22.0 -2.1	80.1 +2.1	6.1 +0.8	1.6 -
近畿 (全体との差)	2,083	19.5 -4.5	81.7 +3.7	4.8 -0.6	1.8 -
中国 (全体との差)	1,665	16.7 -7.4	83.6 +5.6	4.9 -0.5	1.9 -
四国 (全体との差)	893	15.1 -8.9	85.2 +7.2	4.8 -0.6	1.5 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,993	24.0 +0.0	75.8 -2.2	5.6 +0.2	1.8 -



《H25調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

《H24調査》	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	
全体	8,276	20.6	78.0	5.3	2.3
北海道 (全体との差)	295	33.9 +13.3	65.8 -12.3	7.5 +2.2	3.1 -
東北 (全体との差)	967	21.1 +0.5	79.8 +1.8	4.8 -0.5	1.2 -
関東 (全体との差)	2,135	25.0 +4.4	73.2 -4.9	5.5 +0.2	3.4 -
北陸 (全体との差)	656	12.0 -8.5	83.8 +5.8	6.1 +0.8	1.7 -
中部 (全体との差)	1,503	20.2 -0.3	78.0 -0.1	5.2 -0.1	2.5 -
近畿 (全体との差)	821	16.7 -3.9	82.0 +3.9	4.9 -0.4	1.8 -
中国 (全体との差)	675	12.9 -7.7	85.5 +7.4	4.3 -1.0	1.9 -
四国 (全体との差)	287	18.8 -1.8	81.9 +3.8	6.3 +1.0	0.7 -
九州・沖縄 (全体との差)	937	21.8 +1.2	77.3 -0.8	5.1 -0.2	2.3 -



《H24調査》地域別の普段たずさわっている床・基礎の断熱材料

床・基礎の断熱材料「その他」	回答数	%
セルローズファイバー	47	0.4%
吹込グラスウール、ロックウール	2	0.0%
吹込その他		0.0%
現場発泡ウレタン(a)	138	1.3%
発泡プラスチック系(ボード状)(b)	96	0.9%
ウレタン(aかbか不明)	56	0.5%
ポリエステル	8	0.1%
木質系	10	0.1%
羊毛	15	0.1%
コルク	1	0.0%
未分類	25	0.2%
2種類以上の記載のあるもの	10	0.1%
	123	
その他記入有り合計	408	3.8%
その他全体	531	5.0%
全体	10,666	100.0%

図 5-1-8c 普段たずさわっている床・基礎の断熱材料「その他」記述

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

④「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 外壁に「グラスウール・ロックウール」を採用している場合、屋根・天井が「グラスウール・ロックウール」が94.6%、「発泡プラスチック系断熱材」が24.7%であった。
- 外壁に「発泡プラスチック系断熱材」を採用している場合、屋根・天井は「発泡プラスチック系断熱材」が76.5%、「グラスウール・ロックウール」が63.7%であり、使用割合に近い。
- 外壁に「その他の断熱材」を使用している場合、屋根・天井には「その他の断熱材」が88.8%がほとんどであるが、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」35.3%の使用割合も高い。
- 外壁と屋根・天井で「その他の断熱材」と回答しているものは、75.6%が両方に同じ断熱材料を使用している。(例えば屋根・天井、外壁共にセルローズファイバーなど)

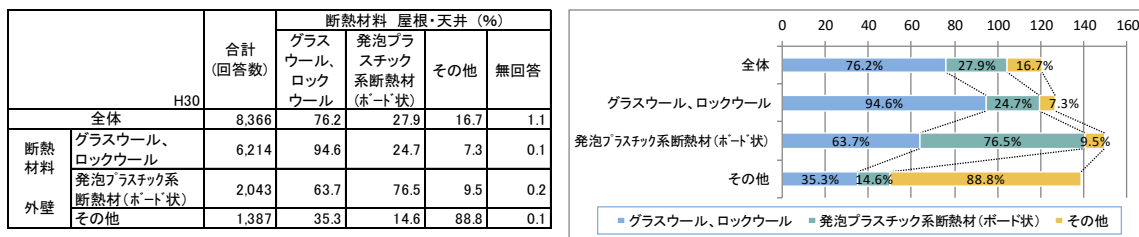


図 5-1-9a1 外壁と屋根・天井の断熱材料の組合せ

H30 断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	168	16.1%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	2	0.2%
吹込その他 × 吹込その他	2	0.2%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	391	37.5%
発泡プラスチック系(ボード状)(b) × 発泡プラスチック系(ボード状)(b)	35	3.4%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	147	14.1%
ポリエステル × ポリエステル	12	1.1%
木質系 × 木質系	10	1.0%
羊毛 × 羊毛	22	2.1%
コルク × コルク	0	0.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	789	75.6%
異なる断熱材料の組合せ.片方未記入.両方未記入	255	24.4%
断熱材料 屋根・天井「その他」 × 断熱材料 外壁「その他」 合計	1,044	100.0%

図 5-1-9a2 外壁と屋根・天井の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が91.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が22.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が8.5%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が82.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が38.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が7.1%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が64.0%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が48.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が8.0%であった。
- 北海道は、前年度同様、外壁が「グラスウール・ロックウール」、「発泡プラスチック系断熱材」のどちらでも、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」との組合せが最多であった。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答
H30					
北海道全体	185	79.5	23.8	15.1	0.5
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	91.5	22.0	8.5	0.0
	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	99	82.8	38.4	0.0
外壁	25	48.0	8.0	64.0	0.0

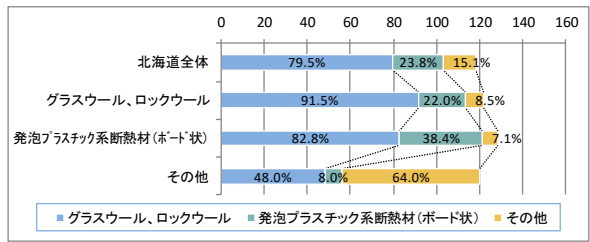


図 5-1-9b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 96.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 21.4%であった。「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.8%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 63.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 72.1%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 9.6%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 82.1%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 35.7%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 13.1%であった。
- 東北は、全体と同様の割合の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
東北全体	1,340	79.5	25.8	13.5	0.8	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,015	96.4	21.4	5.8	0.1
	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	376	63.0	72.1	9.6	0.5
外壁	168	35.7	13.1	82.1	0.0	

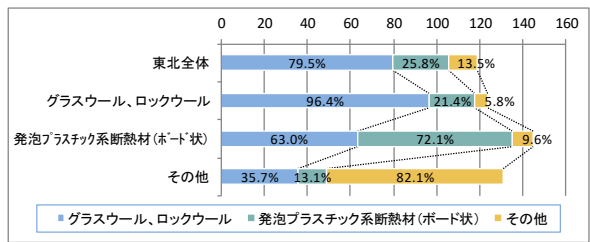


図 5-1-9c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 27.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.5%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 64.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 83.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 11.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 89.1%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 36.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 19.0%であった。
- 関東は、全体と同様の割合の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
関東全体	1,418	77.3	29.6	17.0	0.9	
断熱 材料	グラスウール、 ロックウール	1,095	94.3	27.7	7.5	0.0
	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	322	64.6	83.2	11.5	0.0
外壁	247	36.4	19.0	89.1	0.0	

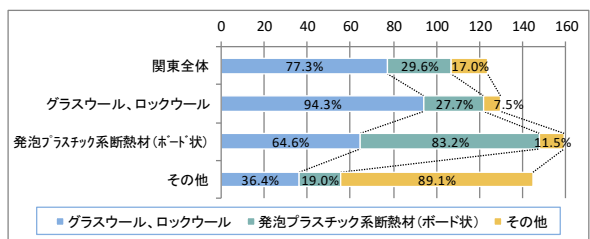


図 5-1-9d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 18.7%で、「屋根・天井にその他の断熱材」が 13.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 53.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 75.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 12.1%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 88.5%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 44.2%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 15.9%であった。
- 北陸は、全体と同様の割合の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30					
北陸全体	529	73.7	25.1	22.1	0.8
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	391	95.1	18.7	13.3	0.3
外壁					
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	140	53.6	75.7	12.1	0.7
その他	113	44.2	15.9	88.5	0.9

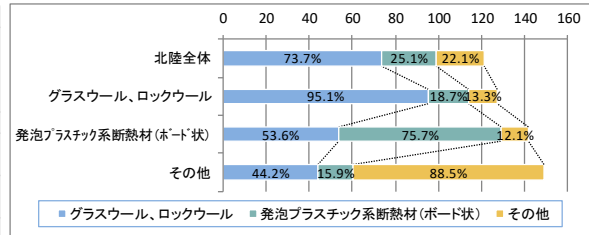


図 5-1-9e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.4%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 27.6%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 8.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 62.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 78.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 87.5%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 32.7%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 15.1%であった。
- 中部は、全体と同様の割合の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30					
中部全体	1,264	72.2	30.6	20.2	1.2
断熱材料					
グラスウール、ロックウール	868	94.4	27.6	8.6	0.3
外壁					
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	361	62.3	78.4	10.2	0.3
その他	272	32.7	15.1	87.5	0.0

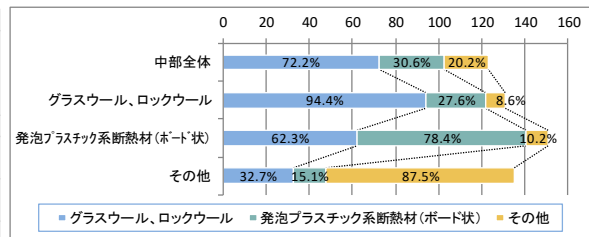


図 5-1-9f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 25.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 7.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 63.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 81.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 11.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「屋根・天井にその他の断熱材」が 89.2%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 40.0%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 15.4%であった。

- 近畿は、全体と同様の割合の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
近畿全体	H30 1,151	77.3	27.8	16.9	0.8	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	875	94.1	25.9	7.3	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	237	63.3	81.0	11.4	0.0
	その他	195	40.0	15.4	89.2	0.0

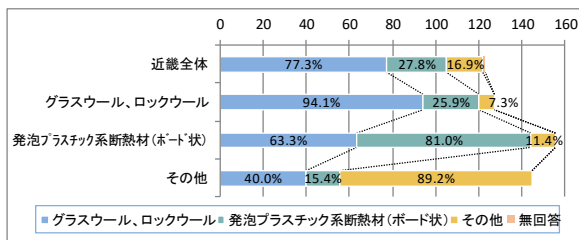


図 5-1-9g 同 近畿地域

[中国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 93.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 24.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 74.7%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 69.3%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 4.8%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 87.8%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 38.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 12.2%であった。
- 中国は、全体と同様の割合の傾向となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
中国全体	H30 782	80.4	26.2	12.0	1.3	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	627	93.8	24.4	4.9	0.0
外壁	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	166	69.3	74.7	4.8	0.0
	その他	98	38.8	12.2	87.8	0.0

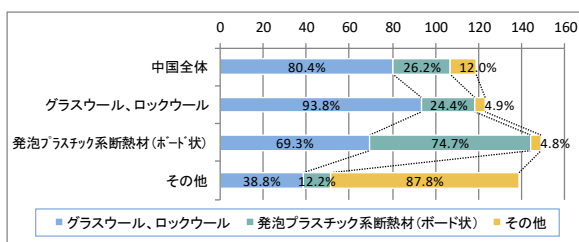


図 5-1-9h 同 中国地域

[四国地域] 「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 95.1%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 24.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 81.3%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 70.7%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 10.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 97.7%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 38.6%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 11.4%であった。
- 四国は、「外壁に発泡プラスチック系断熱材」を採用する場合、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が「発泡プラスチック系断熱材」の使用割合を上回る。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 四国全体		362	84.5	25.7	12.7	0.6
断熱 材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	288	95.1	24.7	6.6	0.3
	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	75	81.3	70.7	10.7	0.0
	その他	44	38.6	11.4	97.7	0.0

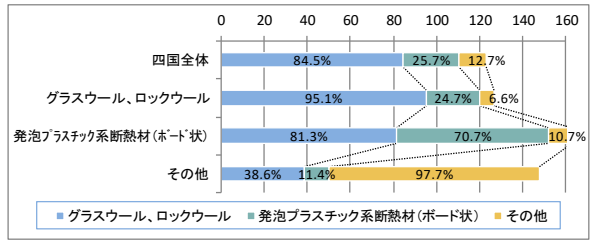


図 5-1-9i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「外壁」と「屋根・天井」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 94.5%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 24.0%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.8%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 55.8%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 85.4%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「屋根・天井にその他の断熱材」が 96.0%、「屋根・天井にグラスウール・ロックウール」が 24.9%、「屋根・天井に発泡プラスチック系断熱材」が 11.1%であった。
- 九州・沖縄は、外壁と屋根・天井が「発泡プラスチック系断熱材」同士の組合せの使用割合が全体平均より 10%程度高い。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30 九州・沖縄全体		1,335	70.5	29.0	17.9	2.0
断熱 材料 外壁	グラスウール、 ロックウール	914	94.5	24.0	6.8	0.1
	発泡プラスチック系 断熱材(ボード状)	267	55.8	85.4	6.4	0.0
	その他	225	24.9	11.1	96.0	0.0

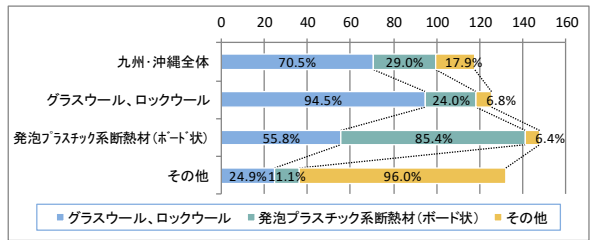


図 5-1-9j 同 九州・沖縄地域

質問5 質問4で回答した工法で使っている断熱材に○をご記入ください。(複数回答)

⑤「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

〔全体〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が80.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が28.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が91.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が27.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が72.8%、「床・基礎にその他の断熱材」が31.4%であった。
- 外壁にどの断熱材を使用しても、床・基礎には発泡プラスチック系断熱材を使用する割合が高い。
- 「外壁にその他の断熱材」と「床・基礎にその他の断熱材」の組合せは、その内の65.7%が両方に同じ断熱材料を使用した組合せとなっている。(例えば外壁、床・基礎共に現場発泡ウレタンである組合せ)

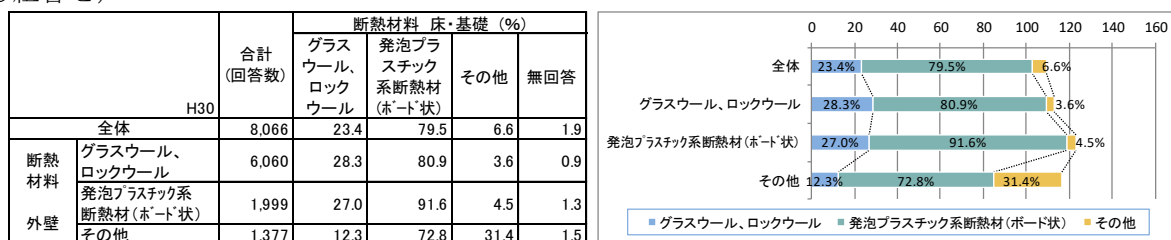


図 5-1-10a1 外壁と床・基礎の断熱材料の組合せ

H30 断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」	回答数	%
セルローズファイバー × セルローズファイバー	41	12.1%
吹込GW,RW × 吹込GW,RW	2	0.6%
吹込その他 × 吹込その他	0	0.0%
現場発泡ウレタン(a) × 現場発泡ウレタン(a)	79	23.4%
発泡プラスチック系(ホード状)(b) × 発泡プラスチック系(ホード状)(b)	31	9.2%
ウレタン(aかbか不明) × ウレタン(aかbか不明)	43	12.7%
ポリエステル × ポリエステル	6	1.8%
木質系 × 木質系	7	2.1%
羊毛 × 羊毛	13	3.8%
コルク × コルク	0	0.0%
同じ断熱材料の組合せ 合計	222	65.7%
異なる断熱材料の組合せ.片方未記入.両方未記入	116	34.3%
断熱材料 外壁「その他」 × 断熱材料 床・基礎「その他」	338	100.0%

図 5-1-10a2 外壁と床・基礎の断熱材料「その他」同士の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が77.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が34.8%、「床・基礎にその他の断熱材」が4.3%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が96.0%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が23.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が2.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が52.0%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が60.0%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が12.0%であった。
- 北海道は、外壁の断熱材の組合せに関わらず「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」の使用割合が多い。外壁と床「その他」同士の割合が全体平均より20%程度多い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
北海道全体	183	27.3	78.7	8.2	0.5	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	138	34.8	77.5	4.3	0.7
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	99	23.2	96.0	2.0	1.0
外壁	その他	25	12.0	60.0	52.0	0.0

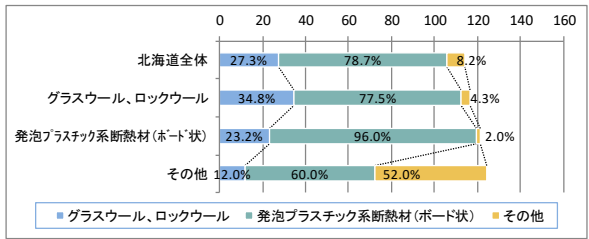


図 5-1-10b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 81.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 28.5%、「床・基礎にその他の断熱材」が 4.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 91.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 28.3%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 3.0%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 46.7%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 62.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 10.7%であった。
- 東北は、外壁にどの断熱材を使用しても、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」を使用する割合が高い。外壁と床「その他」同士の割合が全体平均より 15%程度多い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
東北全体	1,297	24.1	79.6	7.8	1.0	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	988	28.5	81.8	4.0	0.6
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	364	28.3	91.8	3.0	0.3
外壁	その他	169	10.7	62.7	46.7	0.0

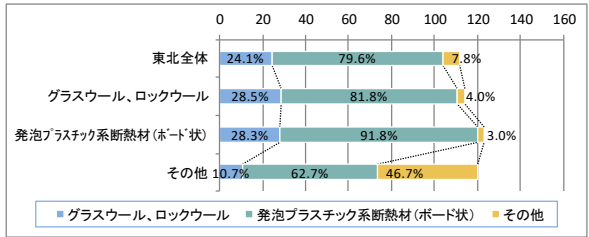


図 5-1-10c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 78.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 31.7%、「床・基礎にその他の断熱材」が 4.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 90.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 31.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 6.4%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 34.4%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 71.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 14.8%であった。
- 関東は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
関東全体	1,380	26.8	76.8	7.3	2.5	
断熱材料	グラスウール、ロックウール	1,068	31.7	78.8	4.2	1.2
	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	314	31.2	90.1	6.4	1.6
外壁	その他	244	14.8	71.3	34.4	2.5

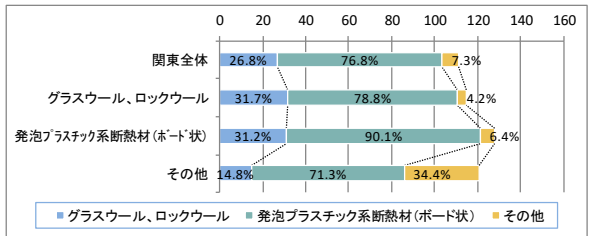


図 5-1-10d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が86.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が18.9%、「床・基礎にその他の断熱材」が4.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が94.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が17.8%、「屋根・天井にその他の断熱材」が1.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が29.4%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が80.7%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が5.5%であった。
- 北陸は、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」の使用割合が全体平均より10%程度低い。

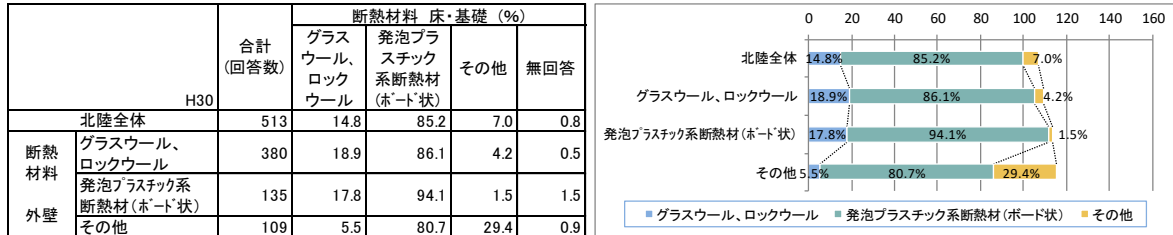


図 5-1-10e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が77.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が35.1%、「床・基礎にその他の断熱材」が4.9%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が91.6%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が26.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が6.7%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が30.8%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が69.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が16.5%であった。
- 中部は、外壁と床・基礎に「グラスウール・ロックウール」同士の使用する割合が全体平均より高い。

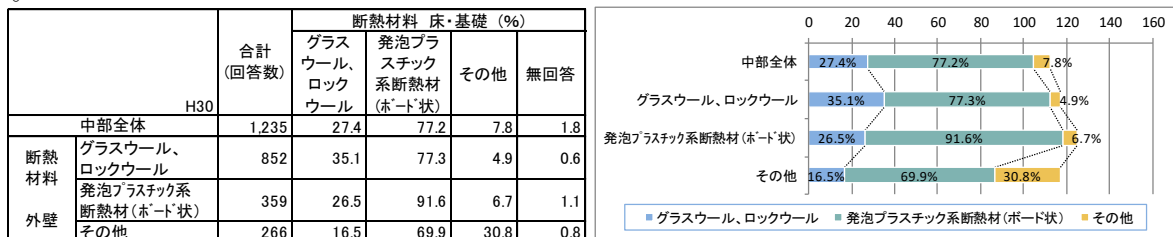


図 5-1-10f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が82.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が26.2%、「床・基礎にその他の断熱材」が3.0%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が91.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が24.6%、「床・基礎にその他の断熱材」が5.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が21.2%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が85.4%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が9.6%であった。
- 近畿は、外壁の断熱材に関わらず「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」の組合せが多く、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30					
近畿全体	1,123	22.0	81.8	4.7	1.4
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	858	26.2	82.5	3.0	0.3
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	232	24.6	91.8	5.2	0.9
その他	198	9.6	85.4	21.2	1.5

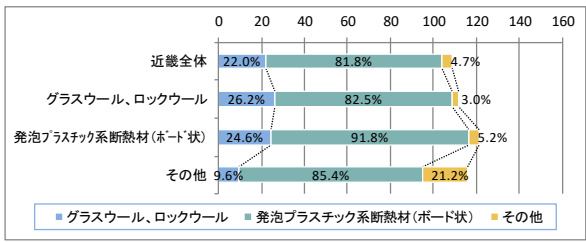


図 5-1-10g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 84.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 22.0%、「床・基礎にその他の断熱材」が 2.2%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 92.0%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 23.5%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 2.5%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 26.3%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 75.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 15.2%であった。
- 中国は、外壁の断熱材に関わらず「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」の組合せが多く、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30					
中国全体	765	18.7	83.8	4.3	2.5
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	623	22.0	84.9	2.2	1.6
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	162	23.5	92.0	2.5	3.1
その他	99	15.2	75.8	26.3	1.0

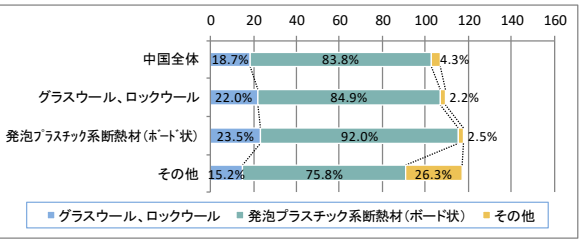


図 5-1-10h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 72.3%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 36.5%、「床・基礎にその他の断熱材」が 3.6%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 88.9%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 38.9%、「屋根・天井にその他の断熱材」が 5.6%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が 47.7%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が 56.8%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が 13.6%であった。
- 四国は、外壁「その他」の場合、床・基礎「その他」が全体平均より 16%高く、「発泡プラスチック系断熱材」が 16%低い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30					
四国全体	347	32.3	70.3	7.5	1.2
断熱材料					
外壁					
グラスウール、ロックウール	274	36.5	72.3	3.6	0.0
発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	72	38.9	88.9	5.6	1.4
その他	44	13.6	56.8	47.7	0.0

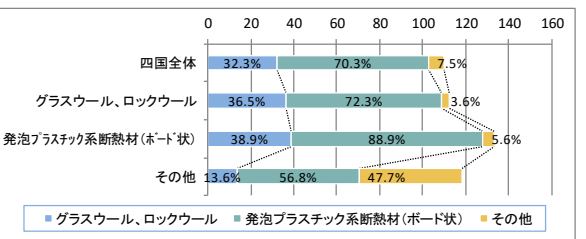


図 5-1-10i 同 四国地域

[九州・沖縄地域] 「外壁」と「床・基礎」の断熱材料の組合せ

- 「外壁にグラスウール・ロックウール」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が82.1%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が24.5%、「床・基礎にその他の断熱材」が2.5%であった。
- 「外壁に発泡プラスチック系断熱材」との組合せは、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が90.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が28.2%、「屋根・天井にその他の断熱材」が4.2%であった。
- 「外壁にその他の断熱材」との組合せは「床・基礎にその他の断熱材」が24.2%、「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」が73.5%、「床・基礎にグラスウール・ロックウール」が9.9%であった。
- 九州・沖縄は、外壁の断熱材に関わらず「床・基礎に発泡プラスチック系断熱材」の組合せが多く、全体平均と同様の割合である。

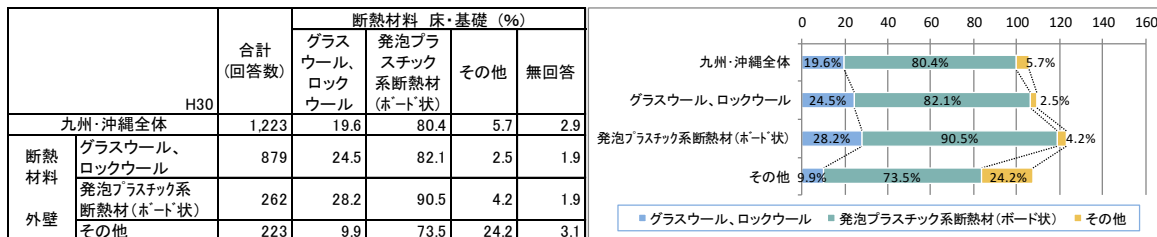


図 5-1-10j 同 九州・沖縄地域

質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

①「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 88.1%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 24.3%、「その他」が 11.3%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 67.1%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 54.8%、「その他」が 17.5%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 61.2%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 44.7%、「その他」が 33.5%であった。
- 屋根・天井のどの工法についても「グラスウール・ロックウール」が最も多いが、野地上、垂木間充填断熱では「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」の使用割合が増える。

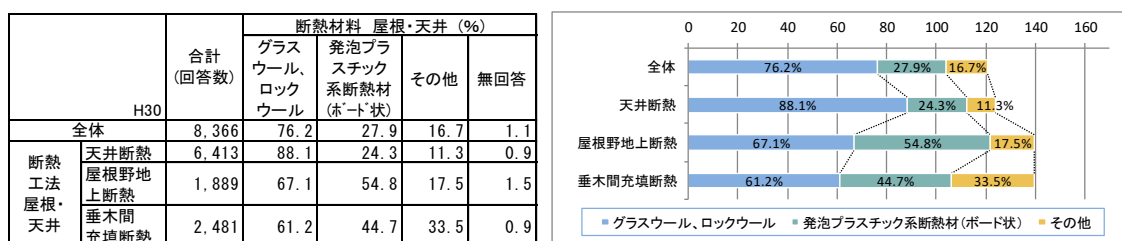


図 5-1-11a 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.3%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 22.8%、「その他」が 15.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.6%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 54.3%、「その他」が 13.0%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 78.8%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 42.4%、「その他」が 15.2%であった。
- 北海道は、屋根・天井のどの工法でも「グラスウール・ロックウール」が最も多い。

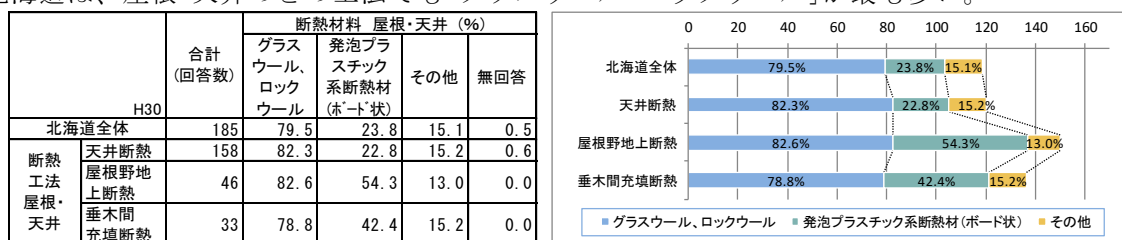


図 5-1-11b 同 北海道地域

〔東北地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.5%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 23.5%、「その他」が 9.8%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が最も多く 69.0%、「グラスウール・ロックウール」が 58.1%、「その他」が 11.7%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.9%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 45.9%、「その他」が 29.7%であった。
- 東北は、全体平均と同様の割合となっている。

	H30	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
東北全体		1,340	79.5	25.8	13.5	0.8
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1,114	87.5	23.5	9.8	0.5
	屋根野地上断熱	248	69.0	58.1	11.7	2.0
	垂木間充填断熱	296	64.9	45.9	29.7	0.3

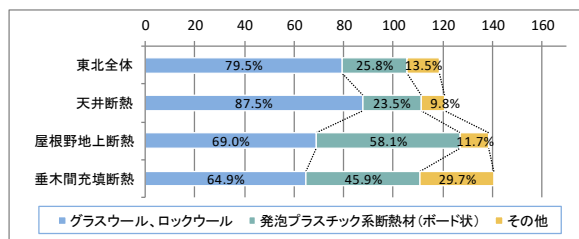


図 5-1-11c 同 東北地域

〔関東地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 89.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 25.5%、「その他」が 12.0%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 69.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 58.1%、「その他」が 16.9%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 41.4%、「その他」が 32.8%であった。
- 関東は、全体平均と同様の割合となっている。

	H30	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
関東全体		1,418	77.3	29.6	17.0	0.9
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	1,037	89.5	25.5	12.0	0.6
	屋根野地上断熱	384	69.5	58.1	16.9	1.0
	垂木間充填断熱	478	65.1	41.4	32.8	1.0

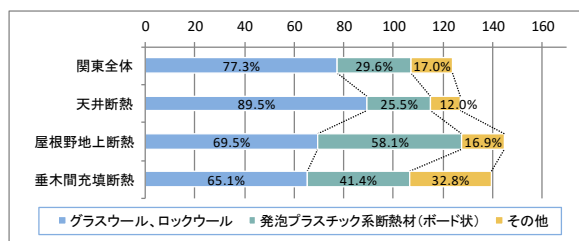


図 5-1-11d 同 関東地域

〔北陸地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 22.1%、「その他」が 17.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 47.2%、「その他」が 30.3%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 55.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 40.8%、「その他」が 43.1%であった。
- 北陸は、断熱工法に関わらず「その他」の断熱材の使用割合が多い。

	H30	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)			
			グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
北陸全体		529	73.7	25.1	22.1	0.8
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	435	83.7	22.1	17.2	0.5
	屋根野地上断熱	89	65.2	47.2	30.3	1.1
	垂木間充填断熱	130	55.4	40.8	43.1	1.5

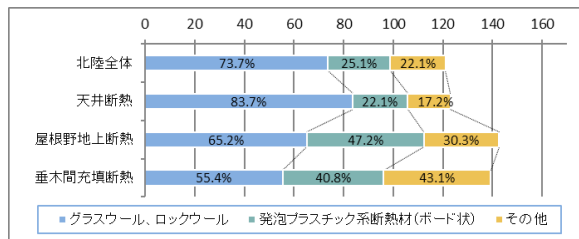


図 5-1-11e 同 北陸地域

〔中部地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 25.8%、「その他」が 13.2%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 62.1%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 57.3%、「その他」が 22.3%であった。

- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 59.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 48.3%、「その他」が 33.4%であった。
- 中部は、全体平均と同様の割合となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
中部全体	1,264	72.2	30.6	20.2	1.2	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	911	87.0	25.8	13.2	1.1
	屋根野地上断熱	314	62.1	57.3	22.3	1.3
	垂木間充填断熱	476	59.0	48.3	33.4	1.1

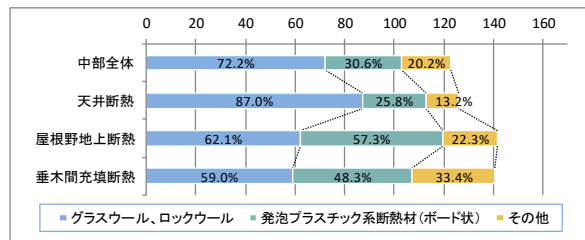


図 5-1-11f 同 中部地域

〔近畿地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 25.0%、「その他」が 9.7%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 68.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 46.6%、「その他」が 18.1%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 62.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 44.6%、「その他」が 33.7%であった。
- 近畿は、屋根野地上断熱の場合、全体平均より「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」の使用割合が 10%程度低い。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
近畿全体	1,151	77.3	27.8	16.9	0.8	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	832	91.3	25.0	9.7	0.6
	屋根野地上断熱	298	68.8	46.6	18.1	0.3
	垂木間充填断熱	392	62.5	44.6	33.7	0.8

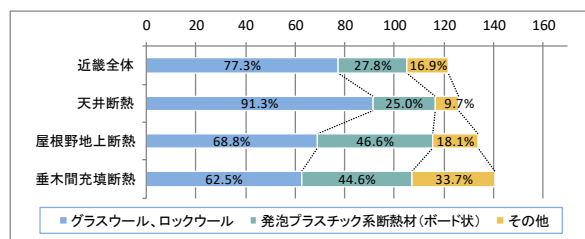


図 5-1-11g 同 近畿地域

〔中国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 22.3%、「その他」が 7.1%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 68.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 55.1%、「その他」が 10.2%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 64.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 47.8%、「その他」が 26.3%であった。
- 中国は、断熱工法に関わらず「グラスウール・ロックウール」が多く、「その他」の断熱材の使用が少ない。

	合計 (回答数)	断熱材料 屋根・天井 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
中国全体	782	80.4	26.2	12.0	1.3	
断熱工法 屋根・天井	天井断熱	624	91.3	22.3	7.1	1.3
	屋根野地上断熱	147	68.7	55.1	10.2	1.4
	垂木間充填断熱	205	64.4	47.8	26.3	1.0

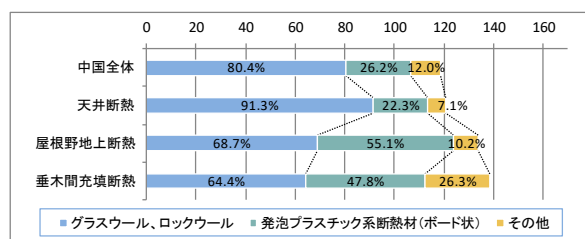


図 5-1-11h 同 中国地域

〔四国地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 91.5%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 23.2%、「その他」が 9.5%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 80.2%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 49.4%、「その他」が 19.8%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 69.3%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 50.0%、「その他」が 31.8%であった。
- 四国は、屋根断熱に使用する「グラスウール・ロックウール」の割合が全体平均より 10%以上多い。

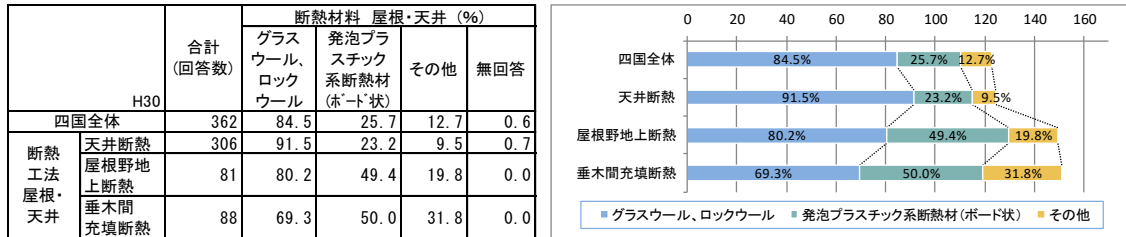


図 5-1-11i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「屋根・天井」の断熱工法と材料の組合せ

- 「天井断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.4%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 24.6%、「その他」が 11.7%であった。
- 「屋根野地上断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 59.2%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 57.4%、「その他」が 17.0%であった。
- 「垂木間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 51.7%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 41.8%、「その他」が 39.4%であった。
- 九州・沖縄は、屋根断熱の場合「グラスウール・ロックウール」の使用割合が全体平均より低い。

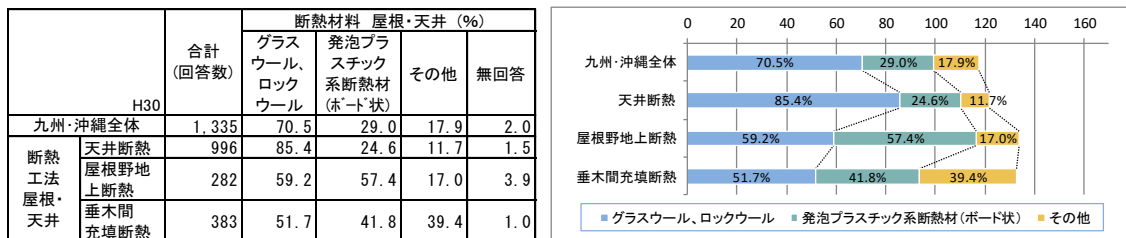


図 5-1-11j 同 九州・沖縄地域

①屋根・天井 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡フラスチック系 (ホード状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ポリエ ステル	木 質系	羊毛	コルク	未 分類	2種類 以上 記載	小 計	地域 合計	回 答 数 合 計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	どち らか 不明													
	セルローズ ファイバー	GW RW														
北海道	天井	8	4	5	0	2	2	0	0	0	0	1	0	22	31	1,588
	野地上	1	1	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	5		
	垂木間	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
東北	天井	21	3	7	36	1	10	0	1	5	0	2	2	88	186	
	野地上	1	0	0	13	1	4	0	0	0	0	0	1	20		
	垂木間	4	0	0	47	1	21	0	1	1	0	1	2	78		
関東	天井	15	3	1	49	3	10	0	3	7	0	4	7	102	282	
	野地上	4	2	0	20	3	4	1	3	5	0	4	4	50		
	垂木間	10	1	0	77	4	15	2	4	3	0	6	8	130		
北陸	天井	23	0	1	21	2	7	0	0	0	0	2	4	60	130	
	野地上	2	0	0	14	1	5	0	0	0	0	0	0	22		
	垂木間	4	0	0	28	2	7	0	2	0	0	1	4	48		
中部	天井	26	1	0	42	7	9	3	0	1	0	7	9	105	300	
	野地上	6	0	0	22	5	9	3	3	1	0	3	3	55		
	垂木間	16	0	1	88	3	20	2	0	2	0	3	5	140		
近畿	天井	11	0	1	35	3	11	2	2	2	0	2	2	71	233	
	野地上	9	0	1	25	2	5	0	0	1	0	2	2	47		
	垂木間	13	0	1	70	5	21	2	0	1	0	1	1	115		
中国	天井	10	0	0	13	1	7	1	0	2	0	1	3	38	98	
	野地上	0	0	0	7	0	5	0	0	1	0	0	0	13		
	垂木間	4	0	0	24	0	12	0	0	1	0	3	3	47		
四国	天井	15	0	0	4	1	2	0	0	0	0	1	0	23	58	
	野地上	4	0	0	5	0	2	0	0	0	0	2	0	13		
	垂木間	9	0	0	7	2	3	0	0	0	0	1	0	22		
九州・ 沖縄	天井	35	0	1	36	2	9	1	0	0	0	1	9	94	270	
	野地上	11	0	0	15	0	7	1	0	0	0	1	5	40		
	垂木間	32	0	0	73	5	17	0	0	3	0	1	5	136		
小計	天井	164	11	16	236	22	67	7	6	17		21	36	603		
	野地上	38	3	1	122	14	41	5	6	8		12	15	265		
	垂木間	94	2	2	415	22	116	6	7	11		17	28	720		
材料合計		296	16	19	773	58	224	18	19	36		50	79			
回答数合計		1,588													H30	

図 5-1-11k 屋根・天井の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

②「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 79.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 21.4%、「その他」が 18.0%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 65.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 60.3%、「その他」が 12.2%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 74.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 59.3%、「その他」が 21.9%であった。
- 外壁のどの工法も「グラスウール・ロックウール」が最も多い。外張断熱では「グラスウール・ロックウール」と「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」の使用の割合に近い。

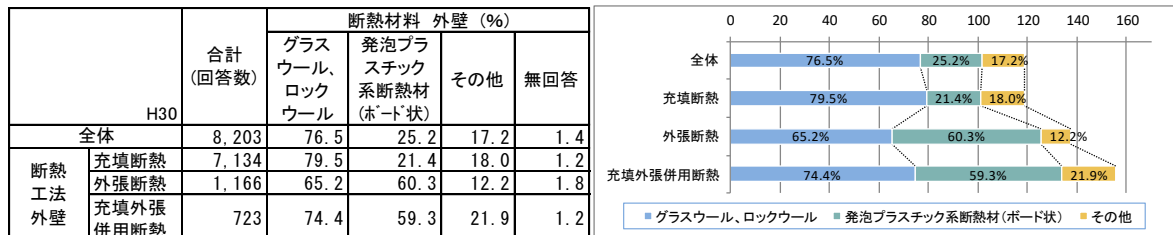


図 5-1-12a 外壁の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 38.0%、「その他」が 15.2%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.5%、「グラスウール・ロックウール」が 55.9%、「その他」が 8.8%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 87.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 67.6%、「その他」が 14.8%であった。
- 北海道は、外張断熱では「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が全体平均より 10%程度多く、「グラスウール・ロックウール」上回る。

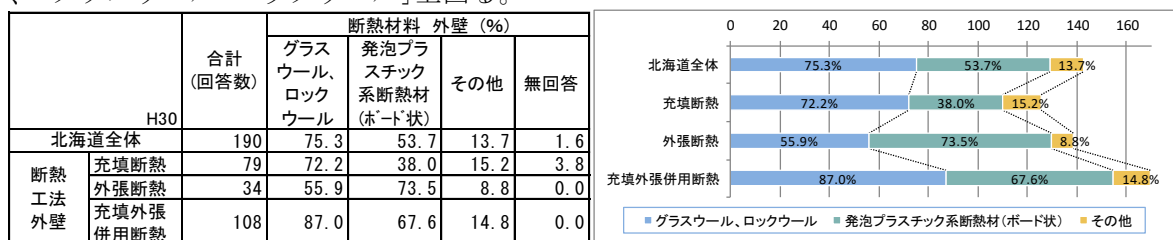


図 5-1-12b 同 北海道地域

〔東北地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 81.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 23.1%、「その他」が 13.1%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 68.7%、「グラスウール・ロックウール」が 62.6%、「その他」が 6.6%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 72.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 62.5%、「その他」が 19.9%であった。
- 東北は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
H30					
東北全体	1,329	77.0	28.5	12.8	1.2
断熱工法 外壁	充填断熱	81.8	23.1	13.1	0.9
	外張断熱	227	62.6	68.7	6.6
	充填外張併用断熱	136	72.8	62.5	19.9

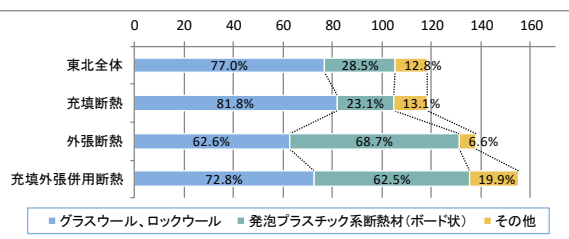


図 5-1-12c 同 東北地域

〔関東地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.9%、「その他」が 19.0%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 66.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 66.2%、「その他」が 15.7%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 74.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 67.2%、「その他」が 24.4%であった。
- 関東は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
関東全体	1,405	78.9	23.3	18.0	1.6	
断熱工法 外壁	充填断熱	1,261	82.4	19.9	19.0	1.3
	外張断熱	204	66.7	66.2	15.7	2.5
	充填外張併用断熱	119	74.8	67.2	24.4	0.8

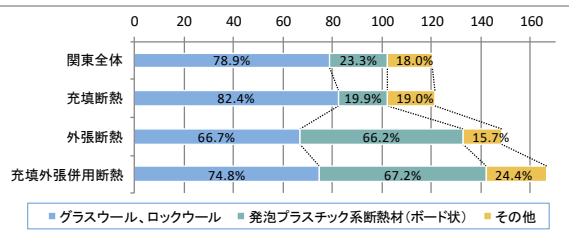


図 5-1-12d 同 関東地域

〔北陸地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 76.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 25.2%、「その他」が 20.7%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 71.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 61.0%、「その他」が 20.3%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 71.9%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 50.0%、「その他」が 37.5%であった。
- 北陸は、充填外張併用断熱では「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」「その他」の断熱材の使用割合が全体平均より 10%程度低い。

	合計 (回答数)	断熱材料 外壁 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
北陸全体	531	74.4	26.6	21.5	0.8	
断熱工法 外壁	充填断熱	488	76.4	25.2	20.7	0.8
	外張断熱	59	71.2	61.0	20.3	0.0
	充填外張併用断熱	32	71.9	50.0	37.5	0.0

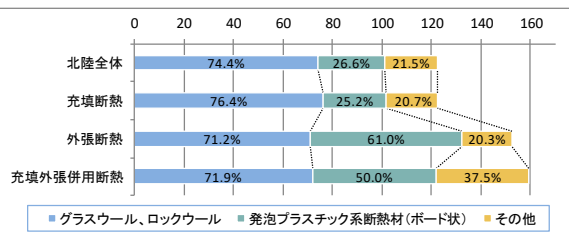


図 5-1-12e 同 北陸地域

〔中部地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 73.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 25.3%、「その他」が 22.9%であった。
- 「外張断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」69.5%、「グラスウール・ロックウール」59.1%、「その他」が 16.5%であった。

- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 70.4%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 66.7%、「その他」が 25.0%であった。
- 中部は、「外張工法」「充填外張併用断熱」で「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が全体平均より 10%程度多い。

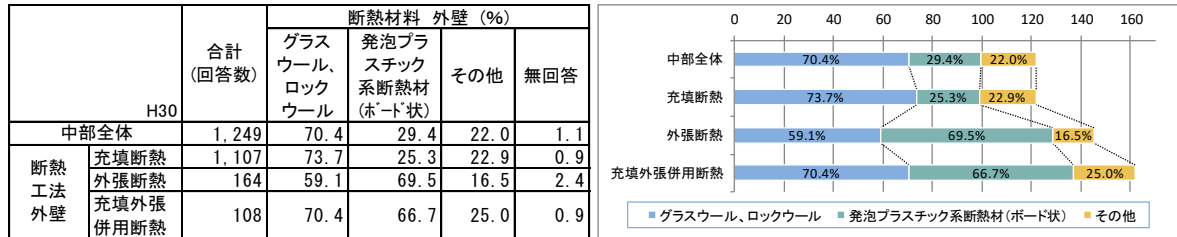


図 5-1-12f 同 中部地域

〔近畿地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 80.2%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.1%、「その他」が 18.6%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 68.5%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 44.5%、「その他」が 13.0%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 60.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 51.4%、「その他」が 24.3%であった。
- 外壁は「外張工法」「充填外張併用断熱」で「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が全体平均より 10%以上低い。

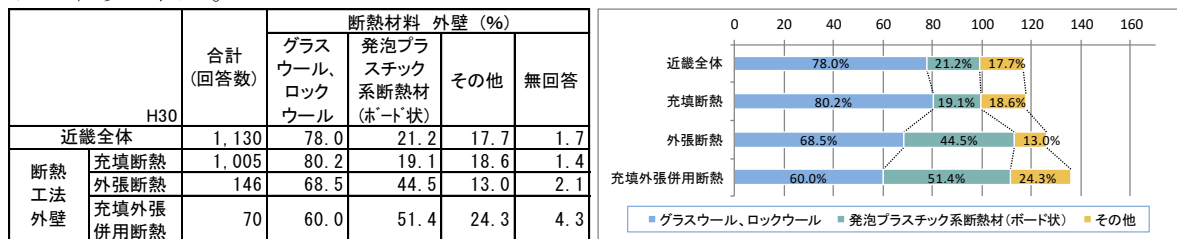


図 5-1-12g 同 近畿地域

〔中国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 19.4%、「その他」が 13.4%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 69.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 62.1%、「その他」が 6.9%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 82.8%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 36.2%、「その他」が 17.2%であった。
- 中国は、「充填外張併用断熱」において全体平均より「グラスウール・ロックウール」の使用割合が 10%程度多く、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 20%程度少ない。

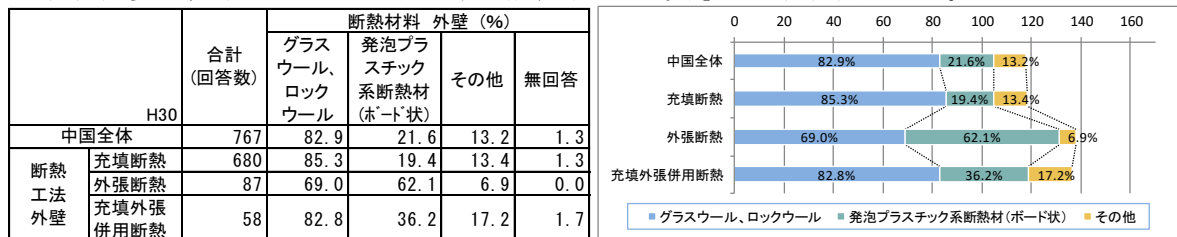


図 5-1-12h 同 中国地域

〔四国地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 85.6%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 20.8%、「その他」が 13.8%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 83.1%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 35.4%、「その他」が 13.8%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 75.0%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 60.7%、「その他」が 25.0%であった。
- 四国は、断熱工法に関わらず「グラスウール・ロックウール」の使用割合が高い。外張断熱工法において、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」の使用割合が全国平均の半分程度である。

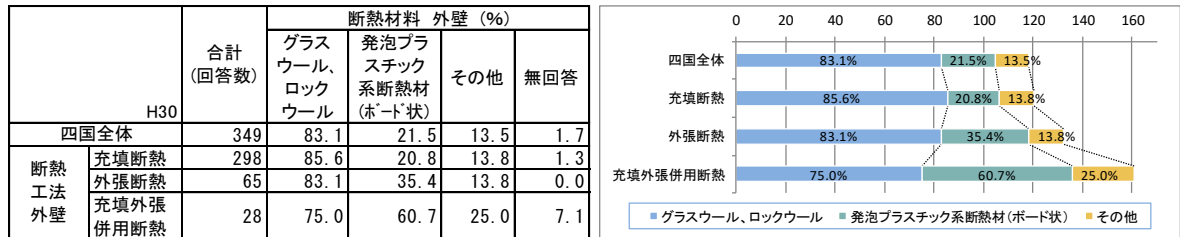


図 5-1-12i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「外壁」の断熱工法と材料の組合せ

- 「充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 75.9%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 17.9%、「その他」が 19.9%であった。
- 「外張断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 61.1%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 52.8%、「その他」が 10.6%であった。
- 「充填外張併用断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 71.9%、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」が 45.3%、「その他」が 20.3%であった。
- 九州・沖縄は、「外張断熱」「充填外張併用断熱」の場合、「発泡プラスチック系断熱材（ボード状）」の使用割合が全体平均の 10%程度低い。

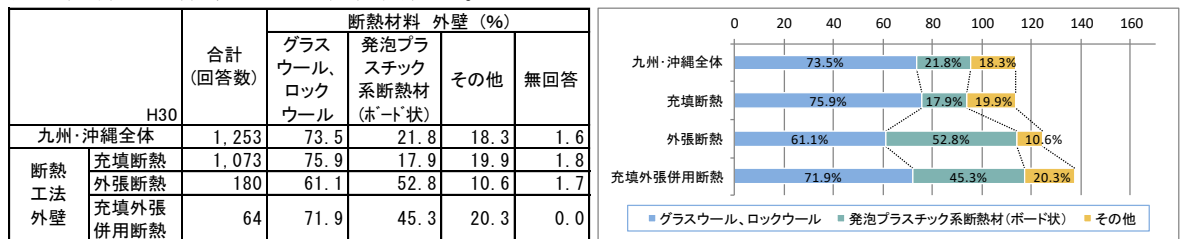


図 5-1-12j 同 九州・沖縄地域

②外壁 材料その他 × 工法	吹込用			現場発泡 ウレタン (a)	発泡プラ スチック系 (ホ-ド状) (b)	ウレタン (aかbか 不明)	ホ-リ エ ステル	木 質 系	羊 毛	コ ル ク	未 分 類	2種類 以上 記載	小 計	地 域 合 計	回 答 数 合 計	
	木質 繊維系	無機 繊維系	ど ち ら か 不 明													
	セルロ-ス ファイバ-	GW RW														
北海道	充填	2	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	10	27	1,314
	外張	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	3		
	併用	2	1	0	5	4	1	0	0	0	0	0	1	14		
東北	充填	10	0	15	51	3	30	1	2	5	0	3	3	123	154	
	外張	0	0	1	3	2	1	0	1	0	0	0	0	8		
	併用	1	0	3	8	1	7	0	0	0	0	1	2	23		
関東	充填	25	0	31	72	6	23	2	6	11	0	5	14	195	245	
	外張	1	0	3	9	4	0	0	1	2	0	3	2	25		
	併用	2	1	4	9	3	1	0	1	1	0	1	2	25		
北陸	充填	4	0	6	41	6	14	1	2	1	0	3	4	82	99	
	外張	1	0	0	2	1	4	0	0	0	0	0	0	8		
	併用	4	0	0	3	0	1	0	0	0	0	0	1	9		
中部	充填	27	0	40	85	10	29	7	1	2	0	6	8	215	258	
	外張	3	0	1	4	3	2	1	0	1	0	2	2	19		
	併用	7	0	4	7	2	1	0	1	2	0	0	0	24		
近畿	充填	27	0	22	65	4	26	6	2	3	0	1	4	160	188	
	外張	0	0	3	7	1	0	0	1	1	0	2	1	16		
	併用	1	0	0	5	1	3	0	0	0	0	0	2	12		
中国	充填	16	0	6	27	2	19	0	0	2	0	3	3	78	92	
	外張	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	2	0	6		
	併用	3	0	1	1	1	2	0	0	0	0	0	0	8		
四国	充填	14	0	5	5	1	5	0	0	0	0	2	0	32	43	
	外張	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	2	0	6		
	併用	3	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	5		
九州・ 沖縄	充填	51	0	18	79	2	21	1	1	1	0	1	8	183	208	
	外張	3	0	0	3	2	1	0	0	1	0	1	2	13		
	併用	1	0	0	8	1	0	0	0	1	0	0	1	12		
小計	充填	176	2	143	427	36	169	18	14	25		24	44	1,078		
	外張	11		9	29	16	11	1	3	5		12	7	104		
	併用	24	2	12	47	13	16		2	4		3	9	132		
材料合計		211	4	164	503	65	196	19	19	34		39	60			
回答数合計		1,314													H30	

図 5-1-12k 外壁の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問4 断熱工法 × 質問5 断熱材料

③「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

〔全体〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.6%、「グラスウール・ロックウール」が 29.6%、「その他」が 4.5%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.9%、「グラスウール・ロックウール」が 22.9%、「その他」が 7.0%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.5%、「グラスウール・ロックウール」が 38.3%、「その他」が 9.5%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.3%、「グラスウール・ロックウール」が 22.2%、「その他」が 11.7%であった。
- 床・基礎の断熱工法に関わらず「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多い。

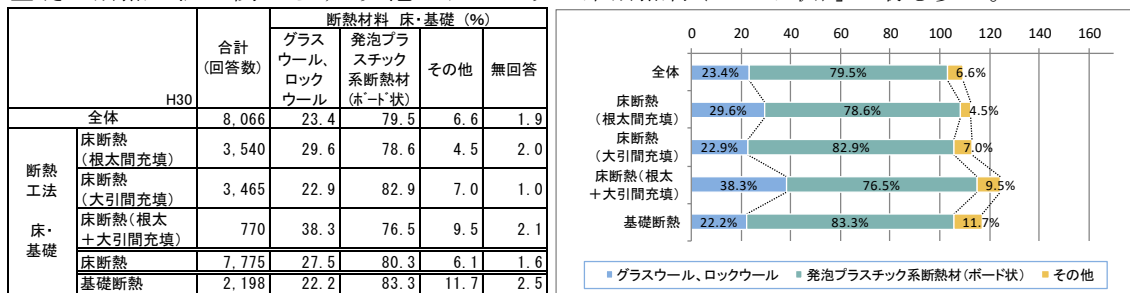


図 5-1-13a 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ

〔北海道地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」は 81.0%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 38.1%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が 46.7%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 70.0%、「その他」が 13.3%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「グラスウール・ロックウール」が最も多く 63.3%、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 56.7%、「その他」が 23.3%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 91.6%、「グラスウール・ロックウール」が 18.9%、「その他」が 6.3%であった。
- 北海道は、床で「グラスウール・ロックウール」の使用割合が全体平均の2~3倍程度となっている。

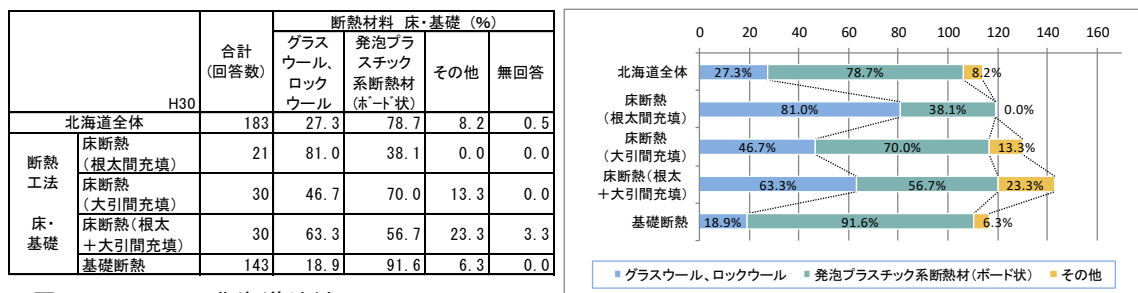


図 5-1-13b 同 北海道地域

〔東北地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.7%、「グラスウール・ロックウール」が 30.2%、「その他」が 5.1%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.0%、「グラスウール・ロックウール」が 26.0%、「その他」が 6.6%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.1%、「グラスウール・ロックウール」が 38.4%、「その他」が 7.3%であった。

- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.5%、「グラスウール・ロックウール」が 20.2%、「その他」が 13.2%であった。
- 東北は、全体平均と同様の割合となっている。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
東北全体	1,297	24.1	79.6	7.8	1.0	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	487	30.2	79.7	5.1	1.8
	床断熱(大引間充填)	604	26.0	82.0	6.6	0.7
	床・基礎	151	38.4	80.1	7.3	1.3
基礎断熱	401	20.2	84.5	13.2	1.5	

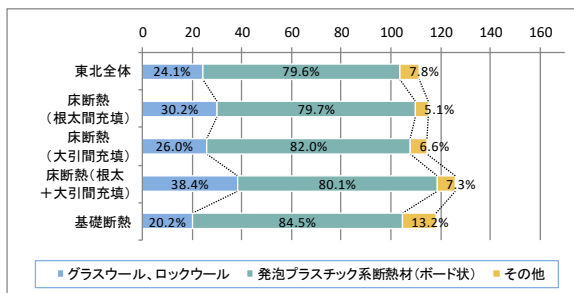


図 5-1-13c 同 東北地域

〔関東地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 75.9%、「グラスウール・ロックウール」が 32.7%、「その他」が 5.1%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.0%、「グラスウール・ロックウール」が 28.2%、「その他」が 8.7%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.9%、「グラスウール・ロックウール」が 38.3%、「その他」が 9.4%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.8%、「グラスウール・ロックウール」が 26.6%、「その他」が 10.9%であった。
- 関東は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、 ロックウール	発泡プラスチック系断熱材 (ボード状)	その他	無回答	
H30						
関東全体	1,380	26.8	76.8	7.3	2.5	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	590	32.7	75.9	5.1	3.4
	床断熱(大引間充填)	624	28.2	79.0	8.7	1.3
	床・基礎	128	38.3	78.9	9.4	1.6
基礎断熱	413	26.6	81.8	10.9	2.9	

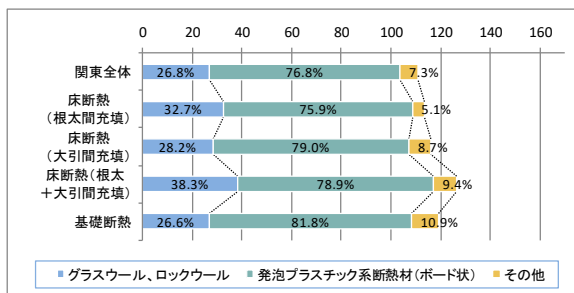


図 5-1-13d 同 関東地域

〔北陸地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 86.9%、「グラスウール・ロックウール」が 17.7%、「その他」が 6.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 85.3%、「グラスウール・ロックウール」が 14.7%、「その他」が 6.7%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.7%、「グラスウール・ロックウール」が 26.7%、「その他」が 20.0%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.2%、「グラスウール・ロックウール」が 15.6%、「その他」が 9.2%であった。
- 北陸は、断熱工法に関わらず「グラスウール・ロックウール」の使用割合が 10%以上低い。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30 北陸全体	513	14.8	85.2	7.0	0.8	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	260	17.7	86.9	6.2	1.2
	床断熱 (大引間充填)	225	14.7	85.3	6.7	0.4
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	30	26.7	76.7	20.0	0.0
	基礎断熱	109	15.6	87.2	9.2	0.0

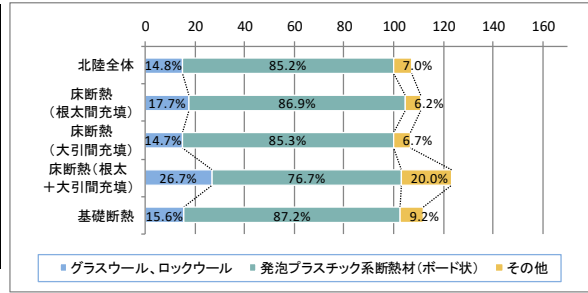


図 5-1-13e 同 北陸地域

【中部地域】「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 74.4%、「グラスウール・ロックウール」が 37.0%、「その他」が 5.6%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.9%、「グラスウール・ロックウール」が 26.7%、「その他」が 8.4%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.8%、「グラスウール・ロックウール」が 46.4%、「その他」が 8.9%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.9%、「グラスウール・ロックウール」が 24.6%、「その他」が 14.7%であった。
- 中部は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30 中部全体	1,235	27.4	77.2	7.8	1.8	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	535	37.0	74.4	5.6	1.9
	床断熱 (大引間充填)	561	26.7	80.9	8.4	0.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	112	46.4	76.8	8.9	0.9
	基礎断熱	333	24.6	82.9	14.7	2.1

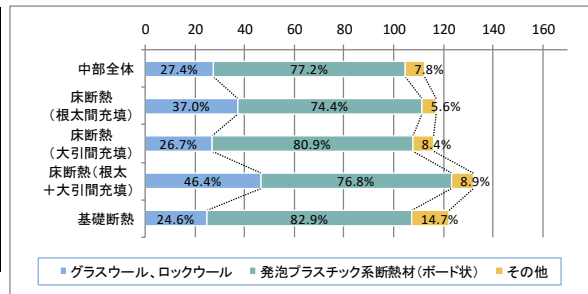


図 5-1-13f 同 中部地域

【近畿地域】「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 80.0%、「グラスウール・ロックウール」が 28.8%、「その他」が 4.2%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 87.7%、「グラスウール・ロックウール」が 18.4%、「その他」が 5.2%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 75.9%、「グラスウール・ロックウール」が 32.4%、「その他」が 5.6%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 79.8%、「グラスウール・ロックウール」が 23.5%、「その他」が 9.7%であった。
- 近畿は、全体平均同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			無回答	
		グラス ウール、 ロック ウール	発泡プラ スチック 系断熱材 (ボード状)	その他		
H30 近畿全体	1,123	22.0	81.8	4.7	1.4	
断熱 工法	床断熱 (根太間充填)	475	28.8	80.0	4.2	0.8
	床断熱 (大引間充填)	538	18.4	87.7	5.2	0.9
床・ 基礎	床断熱(根太 +大引間充填)	108	32.4	75.9	5.6	0.9
	基礎断熱	247	23.5	79.8	9.7	2.8

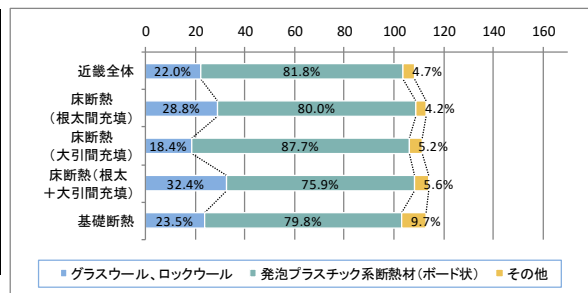


図 5-1-13g 同 近畿地域

〔中国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.8%、「グラスウール・ロックウール」が 22.6%、「その他」が 3.5%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 88.3%、「グラスウール・ロックウール」が 18.0%、「その他」が 2.4%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 76.0%、「グラスウール・ロックウール」が 36.0%、「その他」が 10.7%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 84.4%、「グラスウール・ロックウール」が 21.4%、「その他」が 9.9%であった。
- 中国は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
中国全体	765	18.7	83.8	4.3	2.5
断熱工法	床断熱(根太間充填)	22.6	83.8	3.5	2.3
	床断熱(大引間充填)	18.0	88.3	2.4	1.5
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	36.0	76.0	10.7	2.7
	基礎断熱	21.4	84.4	9.9	4.7

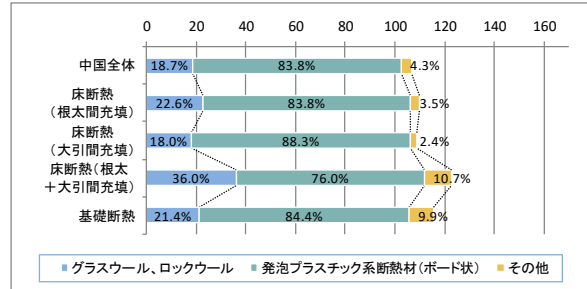


図 5-1-13h 同 中国地域

〔四国地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 64.4%、「グラスウール・ロックウール」が 45.9%、「その他」が 4.1%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.2%、「グラスウール・ロックウール」が 23.3%、「その他」が 9.3%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 78.0%、「グラスウール・ロックウール」が 31.7%、「その他」が 12.2%であった。
- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 83.8%、「グラスウール・ロックウール」が 17.5%、「その他」が 18.8%であった。
- 四国は、「根太間断熱」の場合「グラスウール・ロックウール」の割合が全体平均より 20%程度多く、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が 10%強少ない。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)			
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答
四国全体	347	32.3	70.3	7.5	1.2
断熱工法	床断熱(根太間充填)	45.9	64.4	4.1	1.0
	床断熱(大引間充填)	23.3	82.2	9.3	0.0
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	31.7	78.0	12.2	4.9
	基礎断熱	17.5	83.8	18.8	0.0

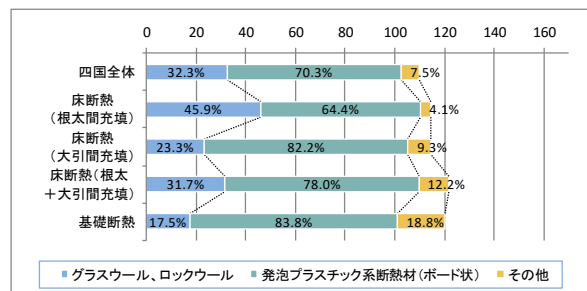


図 5-1-13i 同 四国地域

〔九州・沖縄地域〕「床・基礎」の断熱工法と材料の組合せ

- 「根太間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.0%、「グラスウール・ロックウール」が 22.7%、「その他」が 2.7%であった。
- 「大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 82.4%、「グラスウール・ロックウール」が 17.6%、「その他」が 8.1%であった。
- 「根太+大引間充填断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 73.7%、「グラスウール・ロックウール」が 35.8%、「その他」が 8.4%であった。

- 「基礎断熱」は、「発泡プラスチック系断熱材(ボード状)」が最も多く 81.1%、「グラスウール・ロックウール」が 20.7%、「その他」が 11.8%であった。
- 九州・沖縄は、全体平均と同様の割合である。

	合計 (回答数)	断熱材料 床・基礎 (%)				
		グラスウール、ロックウール	発泡プラスチック系断熱材(ボード状)	その他	無回答	
H30						
九州・沖縄全体	1,223	19.6	80.4	5.7	2.9	
断熱工法	床断熱(根太間充填)	633	22.7	82.0	2.7	2.5
	床断熱(大引間充填)	421	17.6	82.4	8.1	1.2
床・基礎	床断熱(根太+大引間充填)	95	35.8	73.7	8.4	5.3
	基礎断熱	280	20.7	81.1	11.8	4.6

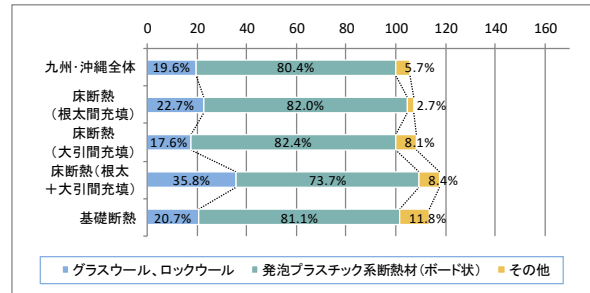


図 5-1-13j 同 九州・沖縄地域

③床・基礎材料×他 × 工法	吹込用			現場発泡ウレタン (a)	発泡プラスチック系 (ボード状) (b)	ウレタン (aかbか不明)	ホリエ ステル	木質系	羊毛	コルク	未分類	2種類以上 記載	小計	地域合計	回答数合計
	木質繊維系	無機繊維系	どちらか不明												
	セルローズファイバー	GW RW													
北海道	根太間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	579
	大引間	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1		
	根+大	2	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0		
	基礎	0	2	0	2	3	0	0	0	0	0	1	0		
東北	根太間	1	0	0	8	0	4	0	0	5	0	0	1	110	
	大引間	2	0	0	18	8	4	0	0	0	0	0	1		
	根+大	0	0	0	4	3	0	0	1	0	0	1	1		
	基礎	0	0	0	24	7	13	0	1	0	0	1	2		
関東	根太間	2	0	0	7	3	1	2	4	2	1	3	1	120	
	大引間	8	0	0	9	13	4	2	2	4	0	2	1		
	根+大	1	0	0	2	3	1	0	2	0	0	1	0		
	基礎	0	0	0	12	8	7	0	2	4	0	5	1		
北陸	根太間	0	0	0	7	1	3	0	0	0	0	0	1	36	
	大引間	2	0	0	3	4	1	0	1	0	0	0	1		
	根+大	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2	0		
	基礎	0	0	0	2	0	5	0	0	0	0	0	1		
中部	根太間	2	0	0	5	4	4	3	1	1	0	1	1	107	
	大引間	5	0	0	13	9	4	3	2	0	0	2	1		
	根+大	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2		
	基礎	0	0	0	19	9	7	0	1	0	0	1	2		
近畿	根太間	0	0	0	5	4	2	0	0	2	0	1	0	57	
	大引間	1	0	0	10	6	4	0	0	1	0	1	0		
	根+大	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	0		
	基礎	0	0	0	6	8	2	0	0	0	0	1	0		
中国	根太間	1	0	0	5	0	1	0	0	0	0	0	0	35	
	大引間	1	0	0	2	2	0	0	0	0	0	1	0		
	根+大	4	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0		
	基礎	2	0	0	6	6	2	0	0	0	0	1	0		
四国	根太間	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	28	
	大引間	5	0	0	1	2	0	0	0	0	0	1	0		
	根+大	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0		
	基礎	3	0	0	4	2	0	0	0	0	0	2	0		
九州・沖縄	根太間	3	0	0	5	0	0	0	0	1	0	1	0	68	
	大引間	4	0	0	9	6	3	0	0	0	0	1	0		
	根+大	4	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0		
	基礎	2	0	0	16	7	1	0	0	0	0	1	0		
小計	根太間	11			42	12	16	5	5	11	1	7	4	114	
	大引間	29			65	51	21	5	5		8	5	194		
	根+大	16	2		13	11	1	3	2		6	3	57		
	基礎	7	2		91	50	37	4	4		13	6	214		
材料合計	63	4													
回答数合計		67		211	124	75	10	17	22	1	34	18		H30	

図 5-1-13k 床・基礎の断熱工法と材料の組合せ 地域別「その他」記述

質問6 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

①「今まで正しく施工していなかったところ」

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で「今まで正しく施工していなかったところ」は、「気流止めの施工」が29.6%、「筋かい部への施工」が21.6%、「浴室への施工」が15.4%、「壁への施工」が11.0%であった。

《地域別》

- 前年度同様、北海道は、設問回答あり票数が37.3%で、他地域と比較して大幅に少ない。
- 北海道は、「気流止め」10.8%、「壁への施工」「基礎への施工」4.8%の順に回答が多い。
- 北海道を除き、どの地域も全体と同様に「気流止めの施工」の回答が30%程度で最多で、次いで「筋かい部への施工」が20%程度となっている。

H30	今まで正しく施工していなかったところ	回答数
	壁への施工	504
	屋根への施工	217
	天井への施工	431
	下屋への施工	308
	筋かい部への施工	990
	真壁への施工	149
	浴室への施工	706
	気流止めの施工	1,353
	基礎への施工	400
	その他	190
	無回答	1,974
	全体	4,574

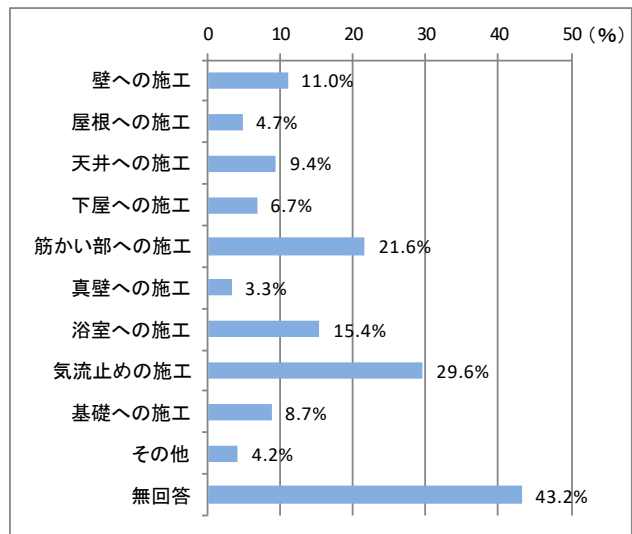


図 5-2-1a 今まで正しく施工していなかったところ

H30	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	今まで正しく施工していなかったところ %										
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答
全体	4,574	2,600	56.8	11.0	4.7	9.4	6.7	21.6	3.3	15.4	29.6	8.7	4.2	43.2
北海道	83	31	37.3	4.8	3.6	3.6	10.8	4.8	7.2	3.6	10.8	4.8	7.2	62.7
東北	665	400	60.2	12.8	3.0	10.2	6.3	23.0	2.9	12.9	32.6	6.3	4.1	39.8
関東	889	482	54.2	10.5	5.4	9.6	6.3	20.9	3.6	14.3	28.2	7.8	4.9	45.8
北陸	244	133	54.5	11.9	7.0	10.2	9.8	25.0	7.8	16.4	30.7	7.8	2.5	45.5
中部	672	387	57.6	10.6	3.3	9.2	7.3	22.2	2.5	16.2	29.6	7.6	4.5	42.4
近畿	591	342	57.9	10.8	5.6	10.3	8.8	19.8	2.9	18.6	30.5	13.4	4.6	42.1
中国	408	255	62.5	12.0	6.1	10.0	8.1	26.2	4.4	15.4	33.6	9.3	2.9	37.5
四国	341	179	52.5	9.7	5.6	8.8	5.0	19.4	2.3	11.7	26.1	7.0	3.8	47.5
九州・沖縄	681	391	57.4	11.2	4.4	8.4	4.7	22.0	2.5	18.8	28.8	10.9	3.7	42.6

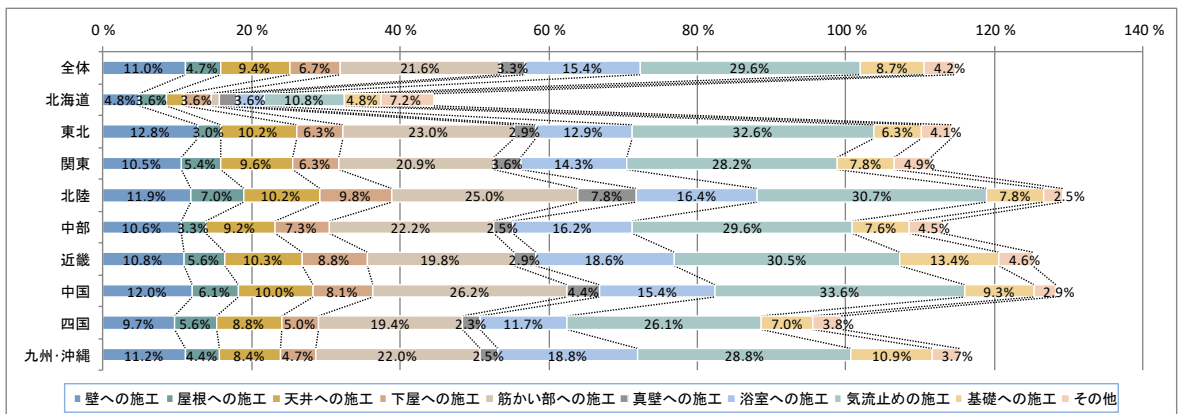


図 5-2-1b 地域別の今まで正しく施工していなかったところ

※北海道の天井、筋交い、真壁の数値は省略

今まで正しく施工して いなかったところ「その他」	H30 テキスト	回答数	%
施工できている	—	86	1.9%
殆どできていない	—	4	0.1%
気密・防湿施工	基4章2.3-4	5	0.1%
通気層	基4章2.6	1	0.0%
気流止め	基4章2.7		0.0%
基礎	施1.1	1	0.0%
特殊な部分の基礎断熱	施1.2	9	0.2%
床	施2.1	1	0.0%
床と壁の取合い部	施2.2		0.0%
外気に接する床	施2.3		0.0%
外壁	施3		0.0%
開口部まわり	施4	5	0.1%
天井	施5.1	1	0.0%
壁と天井の取合い部	施5.2	3	0.1%
屋根	施6		0.0%
下屋	施7	1	0.0%
配線配管まわり他	施8	19	0.4%
リフォーム	基6章	1	0.0%
取合い	—	2	0.0%
金物	—	2	0.0%
未分類	—	13	0.3%
不明	—	5	0.1%
その他記入有り合計		159	3.5%
その他全体		190	4.2%
全体		4574	100.0%

今まで正しく施工して いなかったところ 「その他」記述内容	数
施工できている	86
なし	49
特になし	11
ない	6
無し	6
やっています	1
全くなし	1
正しかった	1
該当ありません	1
ありません。	1
特になし	1
正しく施工	1
見ただけではない	1
すでに実施している為特になし	1
特になしと思う	1
特になし。気流止めの施工はなし	1
別になし	1
ありません	1
今まで正しかった	1
殆どできていない	4
すべて	2
全体的	1
全て	1
気密・防湿施工	5
間柱の横にタッカーで止めていた	1
気密シートの張り方	1
気密テープ(床)	1
気密テープの重ね	1
防湿シート	1
通気層	1
空気層をとる、とらない(気密層と通気層)	1
基礎	1
基礎パッキン	1

今まで正しく施工して いなかったところ 「その他」記述内容	数
特殊な部分の基礎断熱	9
玄関	3
玄関土間	2
玄関まわり	1
玄関土間への施工	1
土間との断熱がもしかすると必要かもしれない	1
玄関部	1
床	1
床	1
開口部まわり	5
開口部	2
窓開口部	2
窓台	1
天井	1
天井面の防湿シート	1
壁と天井の取合い部	3
屋根面と壁の交差部	1
間仕切壁上部の天井断熱	1
壁・天の取合部	1
下屋	1
下屋から壁	1
配線配管まわり他	19
設備貫通部	2
配線、配管廻り	2
コンセント、スイッチ	1
コンセントBOX	1
コンセントボックス	1
コンセントボックスまわり	1
コンセント回り	1
コンセント等設備まわり	1
換気ダクトの施工	1
床下、天井、点検口	1
床下点検口、天井点検口	1
設備	1

今まで正しく施工して いなかったところ 「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他 つづき)	
設備まわり	1
設備配管、配線	1
点検口断熱、防湿フィルム30以上残す	1
電気	1
電気・設備裏	1
リフォーム	1
リフォームなので現状あわせ	1
取合い	2
床～壁～天井の交点	1
入ズミ、設備関係のしまい	1
金物	2
別の防止シート併用、ボルト及び断熱材と土台	1
補強金物まわり	1
未分類	13
あまり断熱施工の経験がない	1
やったことがない	1
営業なので施工していない	1
狭い場所	1
業者間が絡む施工	1
経験があまりない為わかりません	1
現場発泡断熱材	1
工法が違いすぎてあまり参考にならない	1
施工したことがない	1
施工していない	1
施工はしない	1
施行したことがない	1
特に施工に関わらない	1
不明	5
不明	2
分からない	1
分かりません	1
わからない	1

今まで正しく施工していなかったところ「その他」記述

質問6 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で、以下の点はどうか。(複数回答)

②「難しい・やりにくいと感じたところ」はありましたか。

- 本日の研修で説明を受けた断熱施工の中で「難しい・やりにくいと感じたところ」は、「筋かい部への施工」が27.6%、「気流止めの施工」が20.6%であった。

《地域別》

- 北海道は、設問回答あり票数42.2%であった。「難しい・やりにくいと感じたところ」の回答も「今まで正しく施工していなかったところ」と同様、他地域と比較して大幅に少ない。
- 北海道を除き、どの地域についても、「筋かい部への施工」が30%程度で最多、次いで「気流止めの施工」が20%程度となっている。
- 北海道は「気流止めへの施工」「下屋への施工」12%が最も多い。

H30 難しい・やりにくいと感じたところ	回答数
壁への施工	285
屋根への施工	340
天井への施工	379
下屋への施工	326
筋かい部への施工	1,263
真壁への施工	271
浴室への施工	397
気流止めの施工	941
基礎への施工	294
その他	179
無回答	1,927
全体	4,574

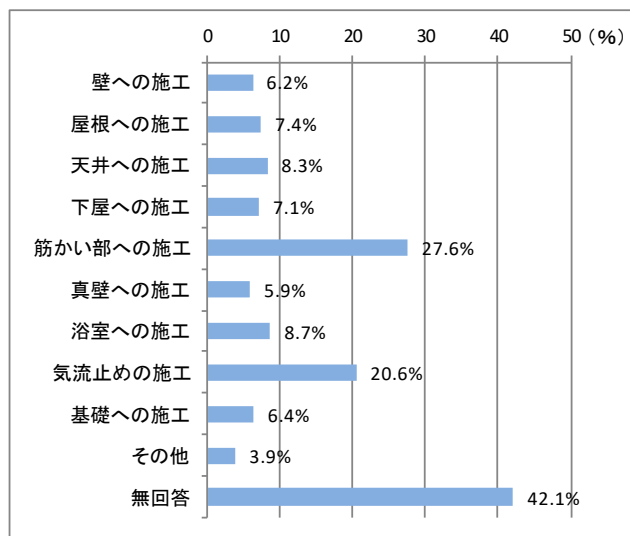


図 5-2-2a 難しい・やりにくいと感じたところ

H30	全体の回答数合計	設問に回答有り票数合計	設問に回答有り票数 %	難しい・やりにくいと感じたところ %											
				壁への施工	屋根への施工	天井への施工	下屋への施工	筋かい部への施工	真壁への施工	浴室への施工	気流止めの施工	基礎への施工	その他	無回答	
全体	4,574	2,647	57.9	6.2	7.4	8.3	7.1	27.6	5.9	8.7	20.6	6.4	3.9	42.1	
北海道	83	35	42.2	1.2	6.0	4.8	12.0	3.6	2.4	4.8	12.0	4.8	4.8	57.8	
東北	665	397	59.7	7.1	5.3	6.5	6.0	29.2	8.1	6.8	19.2	3.5	4.2	40.3	
関東	889	503	56.6	6.0	7.0	8.9	6.9	28.0	6.2	7.3	19.6	6.3	4.3	43.4	
北陸	244	136	55.7	6.1	6.6	11.9	9.4	31.1	6.1	10.2	25.4	6.1	3.3	44.3	
中部	672	393	58.5	6.5	7.3	8.8	7.6	28.6	5.8	9.1	22.5	7.7	4.3	41.5	
近畿	591	344	58.2	5.8	7.4	8.8	6.9	25.9	4.9	12.2	23.9	10.5	3.0	41.8	
中国	408	274	67.2	5.9	11.5	9.6	9.6	35.5	7.1	10.5	19.9	6.9	3.9	32.8	
四国	341	183	53.7	5.9	8.2	7.3	6.5	24.6	4.1	5.3	20.5	3.5	3.2	46.3	
九州・沖縄	681	382	56.1	6.9	7.9	7.2	5.7	24.5	5.0	9.4	18.2	6.2	4.0	43.9	

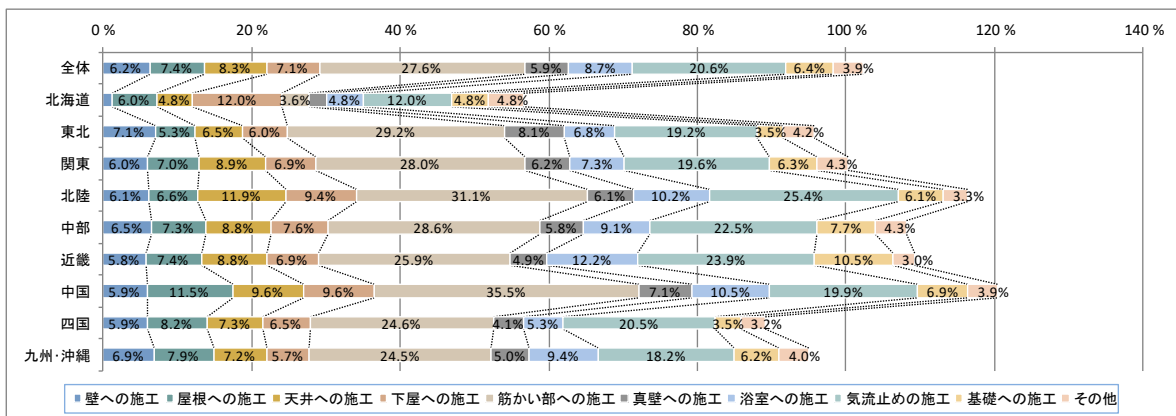


図 5-2-2b 地域別の難しい・やりにくいと感じたところ

※北海道の壁、真壁の数値は省略

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」	H30 テキスト	回答数	%
感じない	—	61	1.3%
殆ど	—	8	0.2%
気密・防湿施工	基4章2.3-4	6	0.1%
通気層	基4章2.6		0.0%
気流止め	基4章2.7		0.0%
基礎	施1.1		0.0%
特殊な部分の基礎断熱	施1.2	8	0.2%
床	施2.1		0.0%
床と壁の取合い部	施2.2		0.0%
外気に接する床	施2.3	2	0.0%
外壁	施3	2	0.0%
開口部まわり	施4	1	0.0%
天井	施5.1	2	0.0%
壁と天井の取合い部	施5.2	3	0.1%
屋根	施6		0.0%
下屋	施7	1	0.0%
配線配管まわり他	施8	32	0.7%
リフォーム	基6章	2	0.0%
取合い	—	3	0.1%
金物	—	2	0.0%
未分類	—	13	0.3%
不明	—	2	0.0%
その他記入有り合計		148	3.2%
その他全体		179	3.9%
全体		4574	100.0%

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述内容	数
感じない	61
なし	36
特になし	8
ない	7
無し	4
ありません	1
該当ありません	1
全くなし	1
特にない	1
別になし	1
別になし	1
殆ど	8
すべて	3
全部	2
全て	1
全て難しい	1
全体的	1
気密・防湿施工	6
気密シート	1
気密シート貼り	1
防湿シート	1
防湿フィルム	1
防湿層	1
防湿層に関する施工全般	1
特殊な部分の基礎断熱	8
玄関土間	2
玄関	1
玄関まわり	1
玄関廻りの断熱	1
玄関土間への施工	1
玄関土間への施行	1
玄関土間立ち上がり取合い	1
外気に接する床	2
バルコニー、ルーフ	1
外気床	1
外壁	2
スジカキ部分	1
軸かい	1

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述内容	数
開口部まわり	1
窓開口部	1
天井	2
勾配天井	1
吊木まわり	1
壁と天井の取合い部	3
屋根面と壁の交差部	1
床～壁～天井の交点	1
連動部分の取合い	1
下屋	1
下屋部	1
配線配管まわり他	32
コンセント、ダウンライト	1
コンセント、総合排水	1
コンセントBOX	1
コンセントボックス	1
コンセントボックスまわり	1
コンセントまわり	1
コンセント回りの施工	1
コンセント及スイッチBOX廻りと換気口	1
コンセント等、カンキ等が大変そう	1
スイッチ、コンセント、パイプ等	1
貫通部分	1
穴明開口及塞ぎの方法	1
元気設備、給排水設備がらみ	1
設備(電気工事)	1
設備まわり	1
設備貫通部	1
設備取合等重複する部分	1
設備配管、配線	1
設備配管まわり	1
電気	1
電気・設備裏	1
電気BOX	1
電気等設備機器取合、構造金物部分	1
電気配線との取合い部	1
入ズミ、設備関係のしまい	1
配管やスリーブ廻りの施工	1

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述内容	数
(配線配管まわり他 つづき)	
配管廻り	1
配管廻り、コンセントBOX	1
配線が外壁を通してるとき	1
配線回り	1
配線廻り	1
壁内の設備配管、配線まわり	1
リフォーム	2
リフォームの場合の判断	1
リフォーム対応	1
取合い	3
各取合い部	1
各所の取合い部分	1
間仕切り、柱の取合い部	1
金物	2
アンカーボルト、HDの断熱、スクリュー座金等は、合板下で難しい	1
補強金物まわり	1
未分類	13
すきや造り	1
やったことがない	1
営業なので施工していない	1
狭い場所	1
業者間が絡む施工	1
現場に反映させること	1
工法が違いすぎてあまり参考にならない	1
材料、手間がふえる	1
施工したことがない	1
施工はしていない	1
施工はしない	1
施工当時のみ	1
施行したことがない	1
不明	2
不明	2

難しい・やりにくいと感じたところ「その他」記述

質問7 今回の講習内容で施工する場合の手間は普段と比べてどれくらい変わりますか。

- 今回の講習内容で施工する場合の手間については、「ほとんど変わらない」が 34.8%、「坪あたり人工が増加する」が最も多く 28.3%、「坪あたり人工が減少する」が 0.4%であった。
- 増加の平均は 1.39 人工で前年度と同様である。

《職種別》

- 「坪あたり人工が増加する」は全体平均と比較して、「施工」が 35.7%と高い。
- 「ほとんど変わらない」は全体平均と比較して、「現場管理」43.1%が最も高い。

《地域別》

- 「ほとんど変わらない」は、北海道が 61.4%、ついで東北が 41.7%と高い。
- 「坪あたり人工が増加する」は、中国が 37.5%が高く、北海道 7.2%が低い。

H30	手間	回答数
	ほとんど変わらない	1,591
	坪あたり人工が増加する	1,295
	坪あたり人工が減少する	20
	無回答	1,682
	全体	4,574

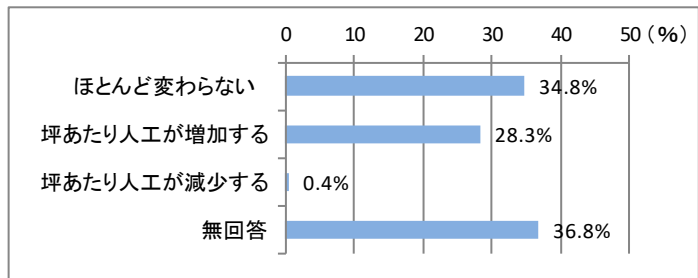


図 5-3-1a 今回の講習内容で施工する場合の手間

H30	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	4,574	34.8	28.3	0.4	36.8
施工 (全体との差)	1,406	34.4 -0.4	35.7 +7.4	0.6 +0.2	29.5
現場管理 (全体との差)	1,620	43.1 +8.4	34.8 +6.5	0.4 -0.1	22.2
設計 (全体との差)	623	36.6 +1.8	23.1 -5.2	0.3 -0.1	40.1
その他 (全体との差)	803	20.3 -14.5	8.5 -19.8	0.4 -0.1	70.9

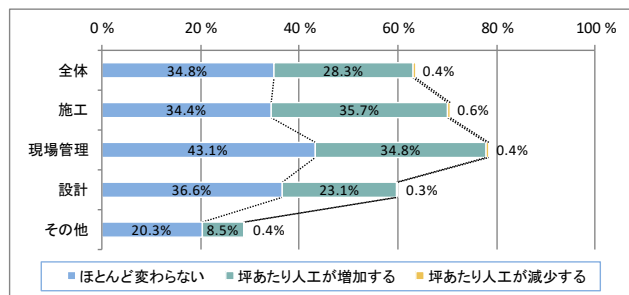


図 5-3-1b 職種別の今回の講習内容で施工する場合の手間

H30	合計 (回答数)	今回の講習内容で施工する場合の手間は 普段と比べてどれくらい変わるか (%)			
		ほとんど 変わらない	坪あたり人工 が増加する	坪あたり人工 が減少する	無回答
全体	4,574	34.8	28.3	0.4	36.8
北海道 (全体との差)	83	61.4 +26.7	7.2 -21.1	0.0 -0.4	31.3
東北 (全体との差)	665	41.7 +6.9	26.3 -2.0	0.3 -0.1	32.0
関東 (全体との差)	889	31.4 -3.4	26.9 -1.4	0.6 +0.1	41.3
北陸 (全体との差)	244	30.3 -4.5	30.7 +2.4	0.4 -0.0	38.9
中部 (全体との差)	672	36.9 +2.1	28.0 -0.3	0.4 +0.0	35.3
近畿 (全体との差)	591	33.8 -0.9	29.4 +1.1	0.5 +0.1	36.5
中国 (全体との差)	408	30.1 -4.6	37.5 +9.2	0.7 +0.3	31.9
四国 (全体との差)	341	30.5 -4.3	27.0 -1.3	0.6 +0.1	42.2
九州・沖縄 (全体との差)	681	34.5 -0.3	28.3 +0.0	0.1 -0.3	37.3

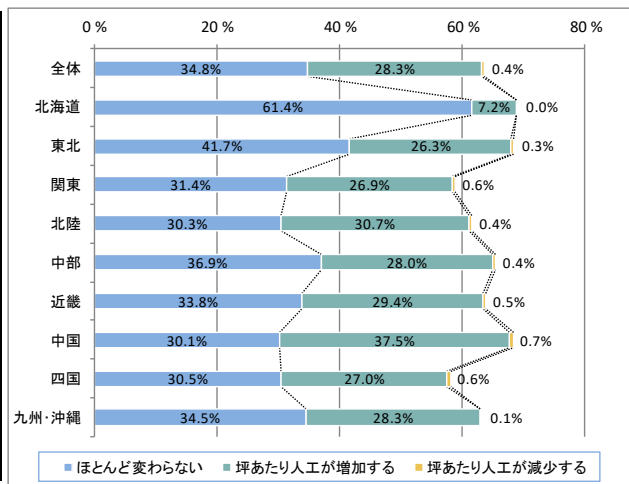


図 5-3-1c 地域別の今回の講習内容で施工する場合の手間

質問 8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

①屋根・天井

- 「屋根・天井」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の 58.5%、「仕上表」の 50.5%が多く、「特記仕様書」が 32.3%、「平面図」が 9.0%、「平面詳細図」が 12.2%であった。

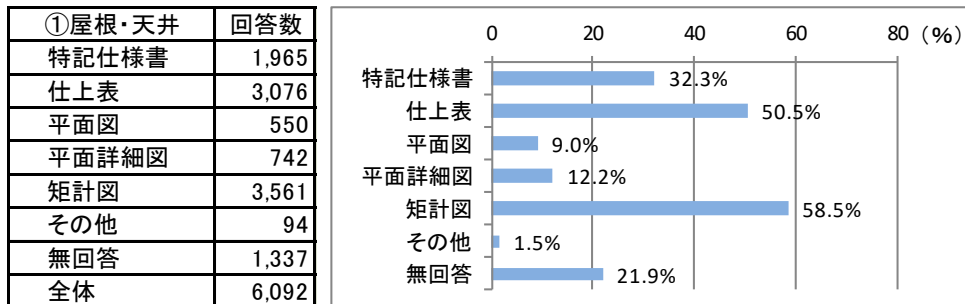


図 5-4a 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」	回答数	%
その他意匠図	9	0.1%
仕様関連図書	5	0.1%
構造関連図書	10	0.2%
設備関連図書		0.0%
断熱関連図書	12	0.2%
施工関連図書	19	0.3%
各種申請図書		0.0%
設計書	1	0.0%
見積書	1	0.0%
未分類	8	0.1%
その他記入有り合計	65	1.1%
その他全体	94	1.5%
全体	6,092	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
その他意匠図	9
立面図	6
立面	2
矩計	1
仕様関連図書	5
共通仕様書	1
仕様書	1
仕様図	1
使用材料一覧表	1
自社マニュアル	1
構造関連図書	10
天井伏図	3
伏図	3
屋根伏、天伏	1
各伏図	1
基礎伏図	1
天伏図	1
断熱関連図書	12
断熱仕様書	3
断熱範囲図	2
温熱環境図	1
自主吊り断熱仕様書	1
断熱プラン	1
断熱計画図	1
断熱仕様図	1
断熱仕様平面図	1
断熱伏図、部分詳細図	1

断熱仕様チェック使用図面 ①屋根・天井「その他」記述内容	数
施工関連図書	19
詳細図	4
断面図	3
部分詳細図	3
パネル図	1
パネル図面	1
各断面詳細図	1
耐火リスト、部分詳細図	1
断面詳細図	1
断面図、部分詳細図	1
納まり詳細	1
部分詳細(標準図)	1
部分詳細図、ディテールシート	1
設計書	1
設計書	1
見積書	1
見積書	1
未分類	8
なし	3
不明?	1
特に書かない	1
私の予想です	1
現地調査	1
Unknown	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ①屋根・天井 「その他」記述

質問 8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

②外壁

- 「外壁」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の57.4%、「仕上表」の49.6%が多く、「特記仕様書」が31.1%、「平面図」が9.0%、「平面詳細図」が17.0%であった。

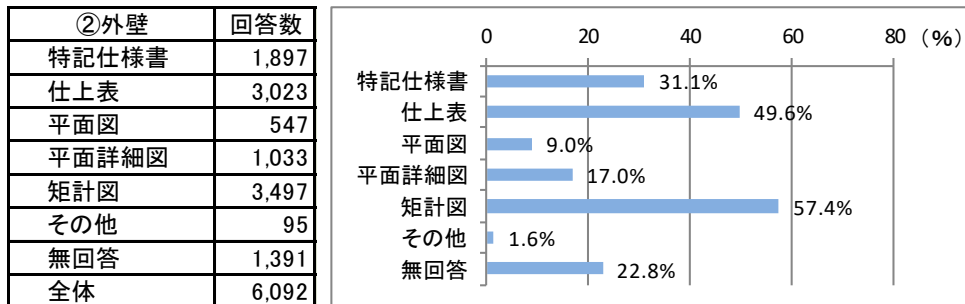


図 5-4b 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」	回答数	%
その他意匠図	18	0.3%
仕様関連図書	4	0.1%
構造関連図書	1	0.0%
設備関連図書	0	0.0%
断熱関連図書	12	0.2%
施工関連図書	16	0.3%
各種申請図書		0.0%
設計書	1	0.0%
見積書	1	0.0%
未分類	6	0.1%
その他記入有り合計	59	1.0%
その他全体	95	1.6%
全体	6,092	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
その他意匠図	18
立面図	13
立面	3
3D	1
立面、断面	1
仕様関連図書	4
共通仕様書	1
仕様書	1
仕様図	1
使用材料一覧表	1
構造関連図書	1
伏図	1
断熱関連図書	12
断熱仕様書	3
断熱範囲図	2
温熱環境図	1

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
(断熱関連図書 つづき)	
自主吊り断熱仕様書	1
断熱プラン	1
断熱計画図	1
断熱仕様図	1
断熱仕様平面図	1
断熱伏図、部分詳細図	1
施工関連図書	16
詳細図	4
部分詳細図	2
パネル図	1
パネル図面	1
各断面詳細図	1
矩計	1
耐火リスト、部分詳細図	1
断面図	1

断熱仕様チェック使用図面 ②外壁「その他」記述内容	数
(施工関連図書 つづき)	
断面図、部分詳細図	1
納まり詳細	1
部分詳細(標準図)	1
部分詳細図、ディテールシート	1
設計書	1
設計書	1
見積書	1
見積書	1
未分類	6
Unknown	1
なし	1
現地調査	1
私の予想です	1
特に書かない	1
不明?	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ②外壁 「その他」記述

質問 8 断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面ではまるもの全てに○をつけてください。(複数回答)

③床・基礎

- 「床・基礎」の断熱仕様について、設計時に記載する図面、または現場管理時にチェックに使用する図面は、「矩計図」の 56.3%、「仕上表」の 46.8%が多く、「特記仕様書」が 30.9%、「平面図」が 8.8%、「平面詳細図」が 11.0%であった。
- その他の内、基礎伏図などの「構造関連図書」が、全体の 3.9%であった。

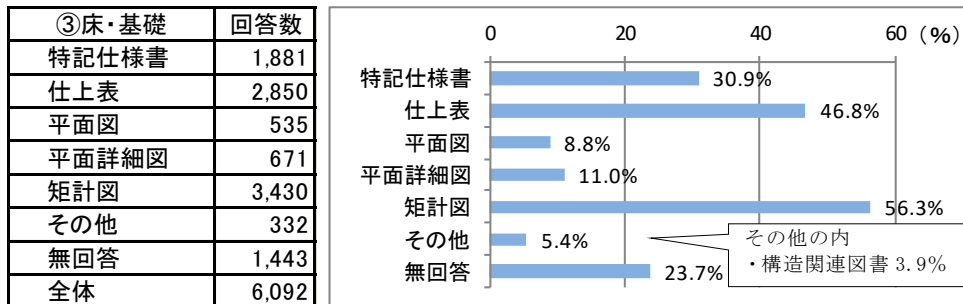


図 5-4c 断熱仕様について設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」	回答数	%
その他意匠図	6	0.1%
仕様関連図書	2	0.0%
構造関連図書	236	3.9%
設備関連図書	0	0.0%
断熱関連図書	12	0.2%
施工関連図書	14	0.2%
各種申請図書		0.0%
設計書	1	0.0%
見積書	2	0.0%
未分類	8	0.1%
その他記入有り合計	281	4.6%
その他全体	332	5.4%
全体	6,092	100.0%

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
その他意匠図	6
立面図	3
立面	2
矩計	1
仕様関連図書	2
仕様書	1
使用材料一覧表	1
構造関連図書	236
基礎伏図	137
伏図	26
基礎図	20
基礎伏	7
基礎詳細図	6
構造図	5
各伏図	4
基礎伏図、床伏図	3
基礎伏図、断面図	3
基礎詳細	2
基礎図面	2
基礎伏、詳細図	2
床伏図	2
基礎リスト	1
基礎図、基礎断のみ	1

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
(構造関連図書につき)	
基礎断面図	1
基礎伏、床伏	1
基礎伏、詳細	1
基礎伏図(基礎断熱)	1
基礎伏図、基礎断面図	1
基礎伏図2	1
基礎伏図等	1
構造図(基礎伏図)	1
構造図、基礎詳細図	1
構造図、詳細	1
床・基礎伏図	1
床伏図、基礎伏図	1
天井伏図	1
土台伏図	1
伏図等	1
断熱関連図書	12
断熱仕様書	3
断熱範囲図	2
断熱伏図、部分詳細図	1
断熱仕様平面図	1
断熱仕様図	1
断熱計画図	1
断熱プラン	1

断熱仕様チェック使用図面 ③床・基礎「その他」記述内容	数
(断熱関連図書につき)	
自主吊り断熱仕様書	1
温熱環境図	1
施工関連図書	14
詳細図	6
パネル図面	1
詳細	1
耐火リスト、部分詳細図	1
断面詳細図	1
断面図	1
部分詳細(標準図)	1
部分詳細図	1
部分詳細図、ディテールシート	1
設計書	1
設計書	1
見積書	2
見積書	2
未分類	8
なし	3
不明?	1
特に書かない	1
私の予想です	1
現地調査	1
Unknown	1

設計時に記載または現場管理時にチェックする図面 ③床・基礎 「その他」記述

質問9 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルに○をご記入下さい。

- 普段、設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベルは、「H28・H25・H11 基準」37.4%と「平成 28 年基準を超えたレベル」が 32.0%に近い割合となっている。「平成 4 年基準レベル以下」が 4.1%であった。

《地域別》

- 「平成 28 年基準を超えたレベル」は北海道が 61.6%と全体平均より 30%程度高い。
- 「H28・H25・H11 基準」は東北が 45.3%と全体平均より 10%程度高い。

H30 基準レベル	回答数
H28年度基準を超えたレベル	1,950
H28・H25・H11年基準レベル	2,276
H4年基準レベル以下	252
不明	1,614
全体	6,092

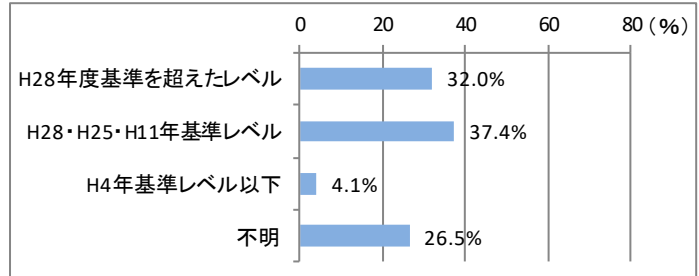
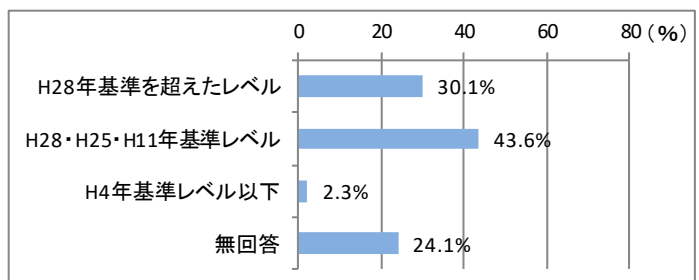


図 5-5a 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

H29 基準レベル	回答数
H28年基準を超えたレベル	2,500
H28・H25・H11年基準レベル	3,624
H4年基準レベル以下	189
無回答	2,005
全体	8,318



平成29年度調査 普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

H30	合計 (回答数)	省エネ基準レベル (%)			
		H28年基準を超えたレベル	H28・H25・H11基準	H4基準以下	無回答
全体	6,092	32.0	37.4	4.1	26.5
北海道 (全体との差)	125	61.6 +29.6	29.6 -7.8	0.0 -4.1	8.8 -
東北 (全体との差)	913	33.5 +1.5	45.3 +8.0	3.0 -1.2	18.2 -
関東 (全体との差)	981	34.1 +2.1	36.0 -1.4	4.5 +0.3	25.4 -
北陸 (全体との差)	429	31.5 -0.5	40.1 +2.7	3.3 -0.9	25.2 -
中部 (全体との差)	965	32.3 +0.3	36.4 -1.0	4.1 +0.0	27.2 -
近畿 (全体との差)	851	25.6 -6.4	36.5 -0.8	5.8 +1.6	32.1 -
中国 (全体との差)	528	34.8 +2.8	40.5 +3.2	3.4 -0.7	21.2 -
四国 (全体との差)	187	36.9 +4.9	24.6 -12.8	4.3 +0.1	34.2 -
九州・沖縄 (全体との差)	1,113	28.2 -3.8	34.0 -3.4	4.7 +0.5	33.2 -

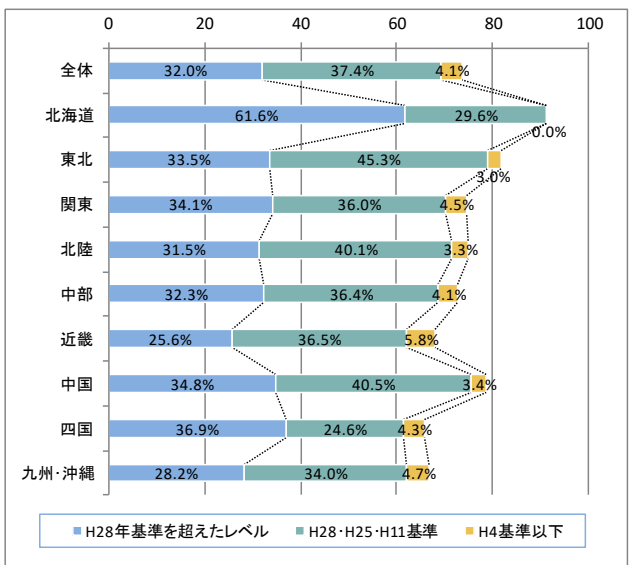


図 5-5b 地域別の普段設計または現場管理している住宅の省エネ基準レベル

普段設計または現場管理している省エネ基準レベルについて、「性能基準に従い外皮計算等を行う」、「仕様基準に従い外皮等の仕様を決める」の回答があるものを手がけている住宅の省エネ基準レベルとし、目指しているレベルに対し外皮性能や仕様の決定方法が不明なものを「その他」とした。

クロス集計の結果、手がけている住宅の省エネ基準レベルは「H28年基準超」、「H28年基準相当」とも、普段目指している省エネ基準レベルから10%程度減少する。省エネ基準に則った省エネ設計が行われている割合は、「H28年基準超」26.3%、「H28年基準相当」26.2%と考えられる。

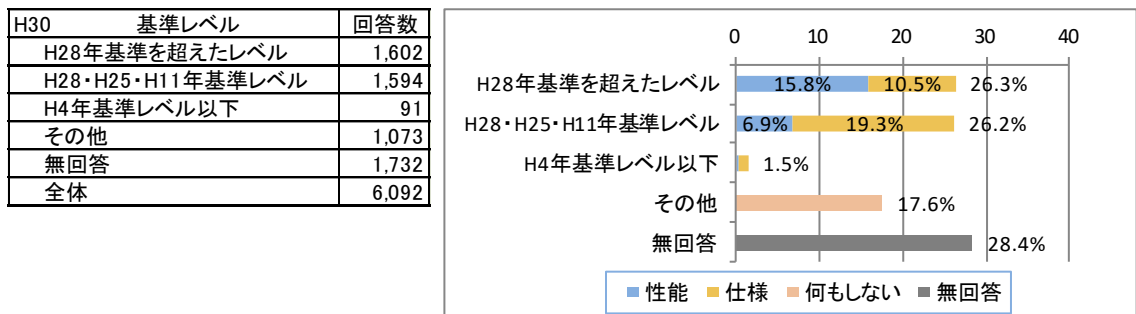


図 5-5c 手がけている住宅の省エネ基準レベル

質問10 普段、断熱性能をどのように決めているか、あてはまるものに○をご記入ください。

- 断熱性能を決める方法については、「仕様基準に従い外皮等の仕様を決める」が最も多く 31.9%、「性能基準に従い計算等を行う」が 23.6%、「何もしていない」が 20.3%であった。

《地域別》

- 北海道は、「性能基準」が 54.4%で全体平均 23.6%より 30.8%高い。
- 東北では「仕様基準」が 41.1%で全体平均より高い。
- 「何もしていない」は、北陸 24.5%、九州 24.2%が全体平均より高い。

H30 断熱性能	回答数
性能基準に従い外皮計算等を行う	1,438
仕様基準に従い外皮等の仕様を決める	1,944
何もしていない	1,234
無回答	1,476
全体	6,092

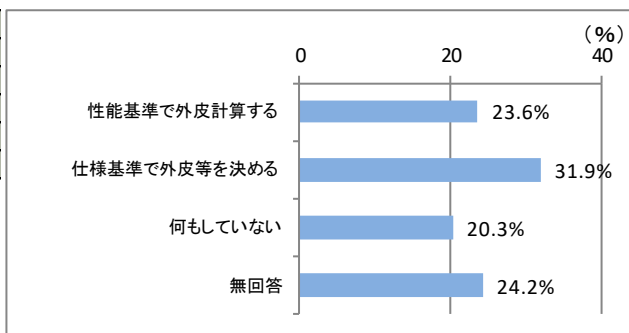


図 5-6a 計算したことのある断熱性能

H30	合計 (回答数)	計算したことのある断熱性能 (%)			
		性能基準 に従い 外皮計算 等を行う	仕様基準 に従い 外皮等の 仕様を 決める	何もして いない	無回答
全体	6,092	23.6	31.9	20.3	24.2
北海道	125	54.4	27.2	9.6	8.8
(全体との差)		+30.8	-4.7	-10.7	-
東北	913	24.1	41.1	18.6	16.2
(全体との差)		+0.5	+9.2	-1.6	-
関東	981	26.1	31.3	18.8	23.9
(全体との差)		+2.5	-0.6	-1.5	-
北陸	429	22.6	31.5	24.5	21.4
(全体との差)		-1.0	-0.4	+4.2	-
中部	965	26.4	31.5	17.9	24.1
(全体との差)		+2.8	-0.4	-2.3	-
近畿	851	20.0	30.3	19.2	30.6
(全体との差)		-3.6	-1.6	-1.1	-
中国	528	25.2	31.8	22.9	20.1
(全体との差)		+1.6	-0.1	+2.7	-
四国	187	18.2	30.5	19.8	31.6
(全体との差)		-5.4	-1.4	-0.5	-
九州・沖縄	1,113	18.4	27.5	24.2	29.9
(全体との差)		-5.2	-4.4	+3.9	-

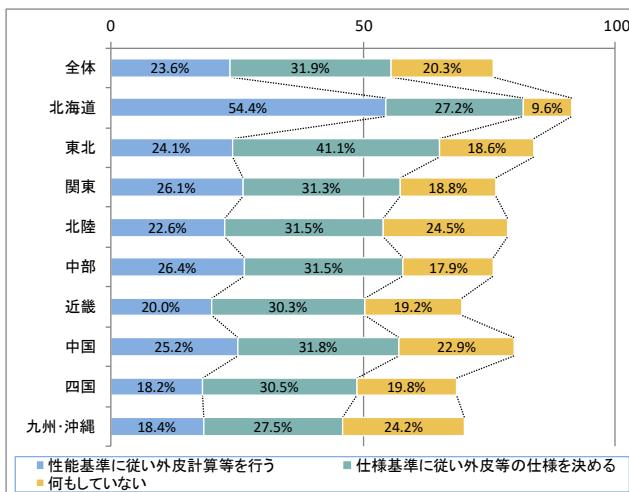


図 5-6b 地域別の計算したことのある断熱性能

質問 1 1 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先はどこからですか。(複数回答)

- 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先は「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が 35.4%、「公的講習会・仕様書から」が 25.2%、「住宅生産関連団体の講習会などから」が 20.5%であった。

《職種別》

- 施工は、「職場内研修から」24.5%が全体平均より 6.3%高い。
- 現場管理は、「建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから」が最も多く 41.3%である。
- 設計は、「公的講習会・仕様書から」32.9%が全体平均より 7.7%高い。

H30 断熱に関する情報入手先	回答数
職場研修から	1,936
住宅生産関連団体の講習会などから	2,186
公的講習会・仕様書から	2,690
建材・設備メーカーの講習会・マニュアルから	3,773
建築雑誌から	1,300
その他	432
無回答	2,286
全体	10,666

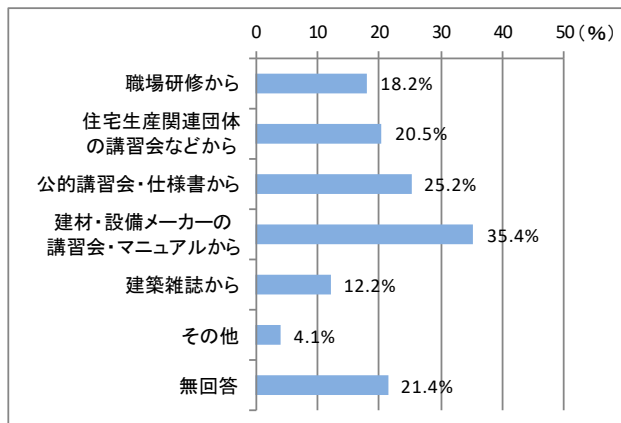


図 5-7a 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

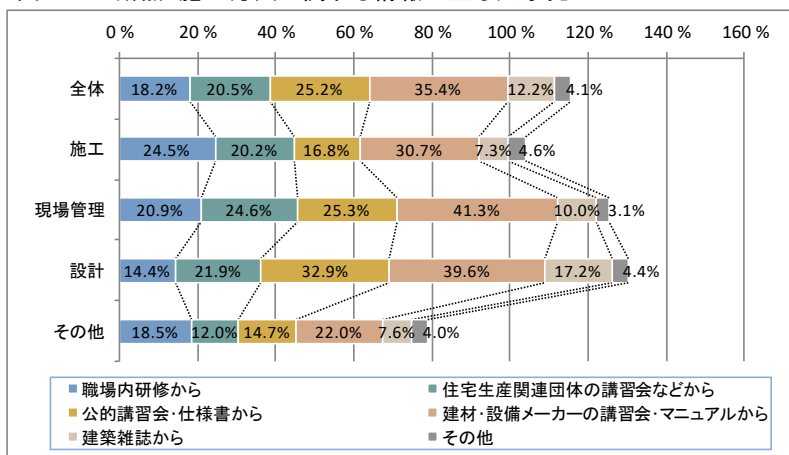


図 5-7b 職種別の断熱・施工方法に関する情報の主な入手先

断熱に関する情報入手先「その他」	回答数	%
職場関係	18	0.2%
建材メーカー、専門施工業者	10	0.1%
インターネット	89	0.8%
所属団体	34	0.3%
専門メディア	8	0.1%
仕様書、マニュアル	12	0.1%
人的ネットワーク	42	0.4%
その他講習会等	20	0.2%
ハウスメーカー	3	0.0%
現場	13	0.1%
海外情報	3	0.0%
自分で調べる	8	0.1%
省エネ団体	5	0.0%
未分類	10	0.1%
不明	8	0.1%
その他記入有り合計	283	2.7%
その他全体	432	4.1%
全体	10,666	100.0%

図 5-7c 断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述

情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数	情報入手先「その他」記述内容	数
職場関係	18	(インターネット つづき)		(仕様書、マニュアル つづき)		(その他講習会等 つづき)	
会社	2	ネットから	1	設計、図面等	1	授業	1
親方	2	ネットで…	1	人的ネットワーク	42	職業訓練にて	1
会社から	1	ネットにて	1	設計士	2	設計事務所独自の勉強会	1
会社から分からない	1	ネットによるカタログ	1	あいでし	1	専門講師	1
会社からの依頼	1	パソコン	1	ハウスメーカーの職人さんから	1	展示会など	1
会社の人に聞く	1	ブログ	1	下職さんより提案など	1	ハウスメーカー	3
会社及び自分	1	ホームページ	1	下請業者より	1	住宅メーカーから	1
仕事の先輩から	1	メーカーHPなど	1	協力業者	1	住宅メーカー	1
社長から。上司から。とても詳しいの	1	メーカーのホームページより	1	業者さん	1	ハウスメーカー	1
社内資料より	1	メール	1	建設会社から	1	現場	13
上司	1	各HP	1	建築士の仲間から	1	現場で	2
上司から	1	個人的にネットで	1	検査機関	1	現場	2
職場内指示による	1	必要に応じてネットから	1	工務店	1	工事現場で施工管理者より	1
職人、設計士、現場監督	1	所属団体	34	工務店から	1	現場施工	1
親方から	1	組合	5	工務店のすずめ	1	現場より	1
大工の先輩から	1	建築士会	4	指定審査機関	1	現場に職人さんなど	1
建材メーカー、専門施工業者	10	建築士会	4	施工業者	1	現場で職人さんと	1
クリーンベア九州	1	建築組合	2	周りの大工さんから	1	現場で職人から	1
メーカーおすずめ	1	FC本部	1	審査機関から	1	現場の仕事から	1
メーカーとの打ち合わせ、意見交換	1	JBN	1	世間話、雑談	1	現場にて	1
メーカーとの打合せ	1	JIO	1	設計士	1	現場	1
メーカーの営業さんから	1	SW会	1	設計士から	1	海外情報	3
メーカー本部	1	フランチャイズの本部より	1	設計事務所	1	アメリカ	2
関連メーカー	1	フランチャイズ本部	1	設計事務所	1	北米	1
金物屋	1	京建労	1	設計事務所の先生	1	自分で調べる	8
建材メーカーの営業、職人	1	協会からの案内状	1	設計者から	1	独自の施工方法(ハウスメーカーの)	1
断熱屋から	1	業界団体	1	設計者から	1	独学	1
インターネット	89	建設組合より	1	専門家との打合せ	1	普段の業務より。	1
インターネット	26	建築士会から	1	他社など	1	独学	1
ネット	12	建築士会から	1	他社の現場	1	自身で	1
インターネット	6	建築士会等	1	大工さんから	1	過去の例	1
HP	3	建労	1	知り合い	1	過去の事例	1
SNS	3	県住宅建築センター	1	知人	1	OMソーラーを手掛けて以来	1
Web	3	士会	1	知人	1	省エネ団体	5
インターネット情報	2	資格団体より	1	仲間から	1	パシフィックジャパン	2
ネット	2	住宅センター様	1	仲間の業者、設計士	1	IBEC、新住協	1
Facebook	1	大泉労から	1	同業者	1	IBEC、新住協	1
HP	1	専門メディア	8	同業者から	1	新住協	1
HP、本	1	本	2	民間検査機関問合せ	1	未分類	10
IT	1	教科書	1	木材屋さんからきいて	1	FAX	1
IT	1	書籍、設備設計者	1	友人	1	なんとなく	1
NET	1	図書	1	友人から	1	リカコ	1
NET、本	1	専門書	1	友人から	1	慣習的に	1
PCネットで調べる	1	断熱関係の本など	1	その他講習会等	20	見てるうち	1
SNS	1	本	1	学校	3	手紙が届いた	1
SNSやWeb	1	仕様書、マニュアル	12	学校の授業	2	手紙メール	1
SNS等	1	カタログ	3	職業訓練	2	徳新	1
WEB	1	F35仕様書	1	ポリテク	1	補助金関連	1
Webサイト	1	FCメーカーのマニュアル	1	ポリテクセンター岡山	1	郵便	1
インターネット、メーカーHPなど	1	ゼネコンよりの資料	1	業界団体の勉強会	1	不明	8
インターネット、書籍	1	ハウスメーカーのマニュアルより	1	訓練校	1	なし	3
インターネットから	1	メーカーカタログ	1	建築工事(工務店)の講習会	1	特になし	2
インターネットで情報収集	1	メーカーのカタログ等	1	講習会	1	Unknown	1
インターネット検索	1	公庫仕様	1	今回のような講習	1	わからない	1
インターネット等	1	住宅金融公庫仕様	1	授業	1	不明	1

断熱・施工方法に関する情報の主な入手先「その他」記述内容

質問 1 2 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要だと思いますか。

- 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要かについては「設計従事者」50.1%、「現場施工者」が 49.7%、「施工管理者」が 47.4%とほぼ横並びとなっており、「建築主」が 22.8%であった。

《職種別》

- 施工は、「現場施工者」57.3%が全体平均より 7.6%高い。
- 現場管理は、「施工管理者」61.2%、「現場施工者」 59.6%と全体平均より高い。
- 設計は、「設計従事者」64.2%が全体平均より 14.1%高い。

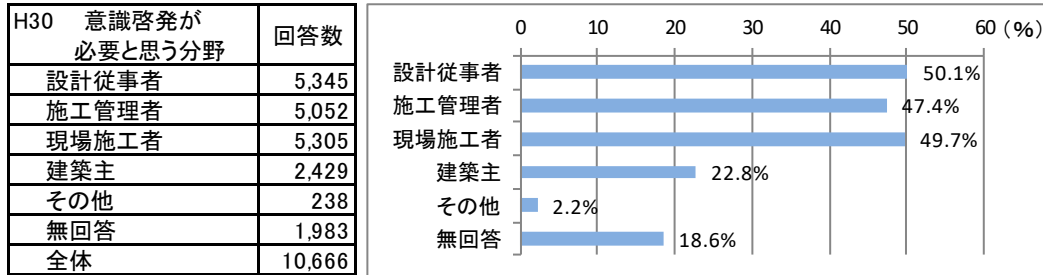


図 5-8a 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

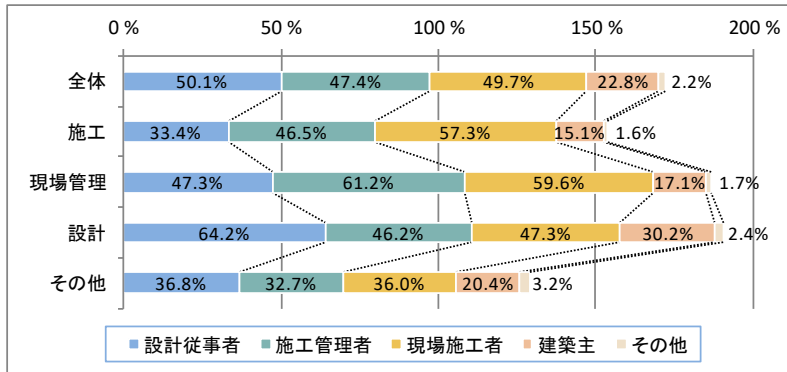


図 5-8b 職種別の最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か

意識啓発が必要「その他」	回答数	%
設計従事者		0.0%
施工管理者	1	0.0%
現場施工者	13	0.1%
建築主	10	0.1%
設備施工者	5	0.0%
工務店、建設会社	6	0.1%
元請	2	0.0%
経営者	27	0.3%
営業	37	0.3%
会社全体	2	0.0%
建材メーカー	7	0.1%
建材販売	2	0.0%
ハウスメーカー	7	0.1%
不動産業者	10	0.1%
検査機関		0.0%
公的機関	2	0.0%
行政、政治家	17	0.2%
マスコミ	5	0.0%
関係する全ての人、複数指摘	28	0.3%
国民、一般の人々	9	0.1%
その他	12	0.1%
不明	14	0.1%
その他記入有り合計	216	2.0%
その他全体	238	2.2%
全体	10,666	100.0%

図 5-8c 最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述

どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数
施工管理者	1
工事監理者も	1
現場施工者	13
大工	4
施工現場(大工)	1
施工者	1
施工職人	1
職人さん	1
大工	1
大工、設備業者	1
大工、電気、水道業社の意識をかえさせる事	1
大工さん	1
特に大工等の現場労働者	1
建築主	10
施主	2
お客様	1
お施主様	1
建築主	1
建築費に反映してくることを建築主に認識してもらう必要がある	1
事業主	1
事業主	1
実際問題設計や施主から言われないと、施工者はやらない、自ら注意しない。残念ながら。	1
買主様	1
設備施工者	5
各設備業者	1
設備業者	1
設備業者も必要では。壁、床等の貫通等があるので。	1
電気、設備関連業者	1
電気屋	1
工務店、建設会社	6
大手住宅メーカー	1
工務店	1
工務店	1
建築業者すべて	1
建設業者の意識	1
下請	1
元請	2
元請け	1
発注者	1
経営者	27
経営者	5
経営者、営業	2
社長	2
会社の経営者	1
会社の代表や責任者	1
会社経営者	1
会社社長	1
会社役員、営業マン	1
管理職	1
経営及び、営業部門	1
経営者	1
経営者及び一般消費者	1
建設業経営者	1
建築施工会社の経営者の意識が変わると良いと思います。	1
工務店、建設会社の経営者	1
工務店経営	1
工務店経営者	1
工務店社長(経費等の観点から)	1
住宅会社の社長	1
木造の注文住宅を主にしている会社は標準仕様が変わらな	1
営業	37
営業	15
営業担当者	5

どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数
(営業のつづき)	
営業	4
住宅営業	3
営業担当	2
営業、コスト	1
営業、現場施工者	1
営業マン	1
営業担当者の知識による	1
住宅営業マン	1
住宅営業者	1
住宅会社の営業コン	1
担当営業	1
会社全体	2
会社	1
会社がいい断熱工法を取り入れるかどうか	1
建材メーカー	7
メーカー	2
建材メーカー(断熱材、窓サッシ、設備機器等)	1
建材メーカー、代理店	1
建材部	1
建材の製作者	1
断熱材メーカー	1
建材販売	2
問屋、商社、メーカー	1
資材販売店	1
ハウスメーカー	7
ビルダー	3
ハウスメーカー	1
ビルダー経営者	1
ホームビルダー	1
住宅メーカー	1
不動産業者	10
ディベロッパー	1
デベロッパー	1
住宅販売関係者	1
住宅販売工務店の努力	1
宅建業者	1
売り手	1
不動産屋	1
不動産会社	1
不動産会社	1
不動産会社	1
不動産業者、住宅購入者のような住宅取得に係れる原点の方々。	1
公的機関	2
公共団体	1
公共団体	1
行政、政治家	17
行政	2
国	2
過剰な気密断熱を強制する事とならないような法整備	1
経産省、住環境イニシアチブ、地場建売デベロッパー	1
行政、設備工	1
行政等公的機関	1
国	1
国、県、自治体	1
国、地方公共団体	1
国、都道府県、市町村	1
国が主導で。	1
国や地方公共団体	1
政府	1
政府	1
法律を作る人達	1
マスコミ	5
マスコミ、メディア	1
マスコミ	1
建築関連以外のメディアからの発信	1

どの分野の意識啓発が必要か「その他」内容	数
(マスコミのつづき)	
普及させるには、メディアなど一般人が目につく様な身近な方法が良いかと…。需要がないと、普及しないと思います。	1
メディア	1
関係する全ての人	28
全て	4
全て	3
全員	2
①②③④(設計従事者、施工管理者、現場施工者、建築主)の方々	1
すべて、どれか1つはありえない	1
すべてではないですか	1
みんな	1
皆さん知らなすぎる	1
皆で理解しないと進まないと思う。	1
関わる者全て	1
関係者全員	1
業務担当者	1
建築全部	1
工事に関わる全ての業者	1
工事に携わる人全て、施主様も。	1
全て、認識は高いと感じています。	1
全てだと思います。	1
全ての人	1
全ての方々の理解が必要	1
全者	1
相互に分野での意識が必要	1
大工、電気工、設備工、関係者の認識が統一することが必要	1
国民、一般の人々	9
一般社会	1
まだ省エネが普通でない日本(国)	1
一般国民、市民全体に。	1
子供の時から洗脳	1
社会全体	1
消費者	1
世間一般の人	1
世論	1
中/高等学校、大学での教育	1
その他	12
そう思った人がやればよい	1
学者の中途半端な理論は必要なし	1
啓発しなくて良い	1
経済面	1
建築費の増?	1
省エネ住宅に対する一般的なイメージの改善	1
上司	1
情報の発信	1
設計者と建築主のコミュニケーション	1
全ての断熱・気密の認知が必要	1
断熱住宅に関して、各者意識が高いと思います。	1
必要ない	1
不明	14
Not yet	1
どこまで断熱?	1
講習会等で	1
材料単価と自由度	1
施案	1
施工単価の確保	1
省エネサポート	1
人工のかかる仕事を分かってない	1
性能を良くしてもコストUPにならないようにすること。	1
単価を上げる以外にないですね	1
断熱施工がより施工しやすい工法の開発	1
等級4以上であれば、建築予算	1
法規制	1
予算	1

最適な断熱住宅を普及・建設していくにはどの分野の意識啓発が必要か「その他」記述内容

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。

質問 1 3 ① 施工技術者講習のテキスト

- 施工技術者講習のテキストは、「大変わかりやすかった」が 24.8%、「わかりやすかった」が 52.1%、合計で 76.9%、「普通」の 18.9%も含めると 95.8%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 1.5%であった。

《職種別》

- 前年度同様、どの職種においても全体の回答と同様の割合だった。

テキスト	回答数
大変わかりやすかった	1,134
わかりやすかった	2,383
普通	866
わかりにくかった	58
大変わかりにくかった	7
無回答	126
全体	4,574

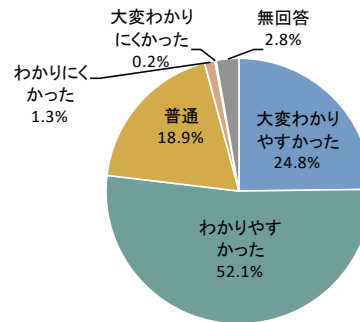
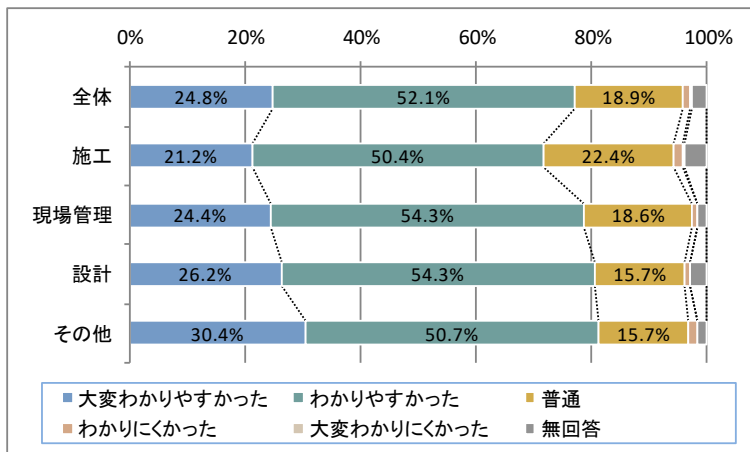


図 6-1-1a テキストのわかりやすさ



※10%未満、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	テキスト (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	4,574	24.8	52.1	18.9	1.3	0.2	2.8
施工	1,406	21.2	50.4	22.4	1.8	0.3	3.9
(全体との差)		-3.6	-1.7	+3.5	+0.5	+0.1	-
現場管理	1,620	24.4	54.3	18.6	0.8	0.1	1.7
(全体との差)		-0.4	+2.2	-0.3	-0.5	-0.0	-
設計	623	26.2	54.3	15.7	0.8	0.2	2.9
(全体との差)		+1.4	+2.2	-3.2	-0.5	+0.0	-
その他	803	30.4	50.7	15.7	1.6	0.0	1.6
(全体との差)		+5.6	-1.4	-3.2	+0.4	-0.2	-

図 6-1-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。
 質問 1 3② 施工技術者講習のDVD

- 施工技術者講習のDVDは、「大変わかりやすかった」が28.4%、「わかりやすかった」が49.5%、合計で77.9%、「普通」の15.5%も含めると93.4%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」と感じた割合は合わせて0.5%であった。

《職種別》

- どの職種においても全体の回答と同様の割合だった。

DVD	回答数
大変わかりやすかった	1,297
わかりやすかった	2,264
普通	707
わかりにくかった	20
大変わかりにくかった	4
無回答	282
全体	4,574

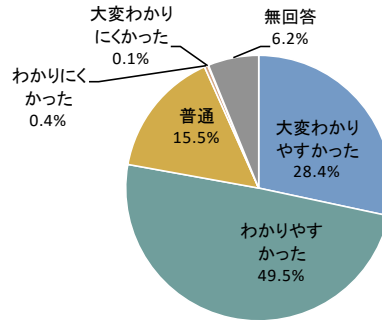
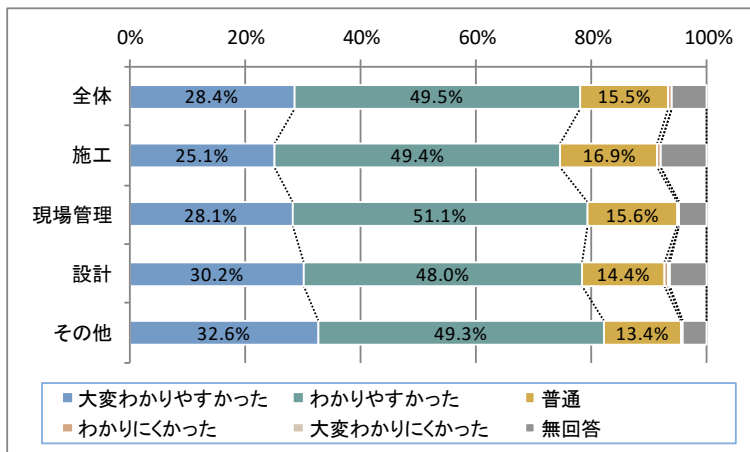


図 6-1-2a DVDのわかりやすさ



※10%未満、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	DVD (%)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
全体	4,574	28.4	49.5	15.5	0.4	0.1	6.2
施工	1,406	25.1	49.4	16.9	0.5	0.1	8.0
(全体との差)		-3.2	-0.1	+1.4	+0.1	-0.0	-
現場管理	1,620	28.1	51.1	15.6	0.2	0.1	4.9
(全体との差)		-0.3	+1.6	+0.1	-0.2	-0.0	-
設計	623	30.2	48.0	14.4	0.5	0.3	6.6
(全体との差)		+1.8	-1.5	-1.0	+0.0	+0.2	-
その他	803	32.6	49.3	13.4	0.5	0.0	4.1
(全体との差)		+4.3	-0.2	-2.0	+0.1	-0.1	-

図 6-1-2b 職種別でのDVDのわかりやすさ

質問 1 3 【施工技術者講習】テキスト、DVD、カットモデルについてお伺いします。

質問 1 3 ③ 施工技術者講習のカットモデル

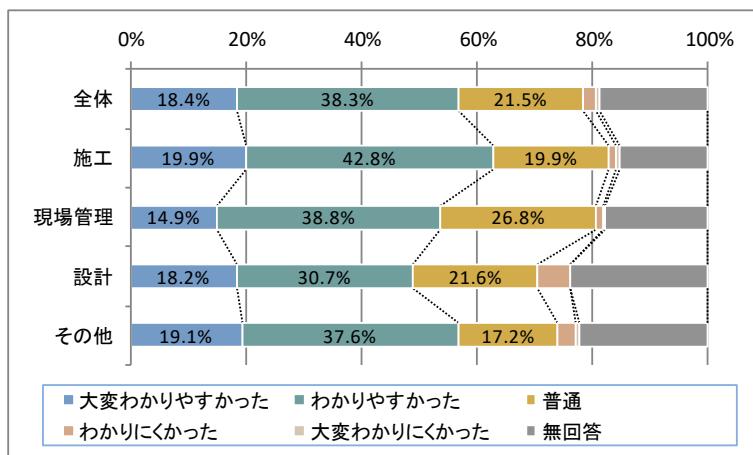
- 施工技術者講習のカットモデルは、「大変わかりやすかった」が 18.4%、「わかりやすかった」38.3%、合計で 56.7%、「普通」の 21.5%も含めると 78.2%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 2.8%であった。
- カットモデルは 1 日講習のみの使用のため、回答数が少ない。

《職種別》

- 「設計」、「わかりやすかった」が 30.7%と全体平均 38.3%より 7.6%低い。



図 6-1-3a カットモデルのわかりやすさ



※10%未満、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	カットモデル (%)					
		大変わかりやすかった	わかりやすかった	普通	わかりにくかった	大変わかりにくかった	無回答
H30施工							
全体	794	18.4	38.3	21.5	2.3	0.5	19.0
施工	236	19.9	42.8	19.9	1.3	0.8	15.3
(全体との差)		+1.5	+4.5	-1.6	-1.0	+0.3	-
現場管理	276	14.9	38.8	26.8	1.4	0.4	17.8
(全体との差)		-3.5	+0.5	+5.3	-0.8	-0.1	-
設計	88	18.2	30.7	21.6	5.7	0.0	23.9
(全体との差)		-0.2	-7.6	+0.1	+3.4	-0.5	-
その他	157	19.1	37.6	17.2	3.2	0.6	22.3
(全体との差)		+0.7	-0.7	-4.3	+0.9	+0.1	-

図 6-1-3b 職種別でのカットモデルのわかりやすさ

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 1) 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 1 章 これからの住まい」の講義は、「難しいとは思わない」が 73.1%、「易しい」が 11.4%、合わせて 84.5%であった。「難しかった」は 10.1%であった。

《職種別》

- 設計は「易しい」が 18.6%で、全体平均より 7.2%高い。

《地域別》

- どの地域も全体平均と同様の割合である。

これからの住まい について (基本編・第 1 章)	回答数
難しかった	463
難しいとは思わない	3,345
易しい	523
無回答	243
全体	4,574

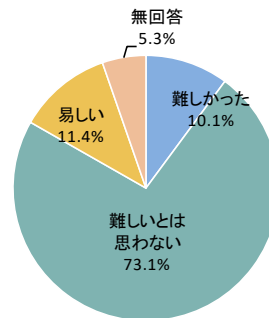


図 6-1-4a 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

H30 施工	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第 1 章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	10.1	73.1	11.4	5.3
施工 (全体との差)	1,406	13.1 +3.0	71.8 -1.4	6.9 -4.5	8.3
現場管理 (全体との差)	1,620	7.7 -2.4	77.1 +4.0	11.5 +0.1	3.6
設計 (全体との差)	623	2.9 -7.2	75.9 +2.8	18.6 +7.2	2.6
その他 (全体との差)	803	13.7 +3.6	67.9 -5.3	14.2 +2.8	4.2

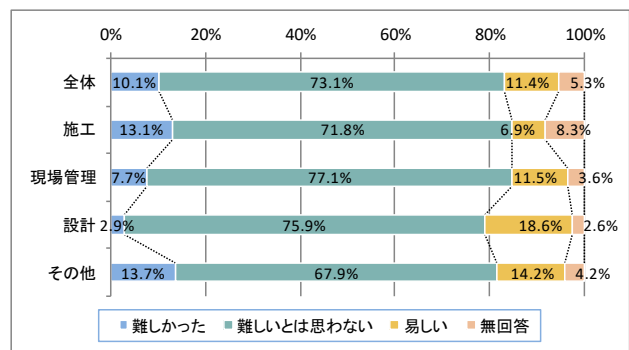


図 6-1-4b 職種別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

H30 施工	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第 1 章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	10.1	73.1	11.4	5.3
北海道 (全体との差)	83	12.0 +1.9	68.7 -4.5	13.3 +1.8	6.0
東北 (全体との差)	665	9.5 -0.6	74.1 +1.0	11.4 -0.0	5.0
関東 (全体との差)	889	8.3 -1.8	72.6 -0.6	13.4 +2.0	5.7
北陸 (全体との差)	244	9.4 -0.7	70.1 -3.0	15.2 +3.7	5.3
中部 (全体との差)	672	10.1 -0.0	74.9 +1.7	11.3 -0.1	3.7
近畿 (全体との差)	591	7.4 -2.7	75.6 +2.5	10.8 -0.6	6.1
中国 (全体との差)	408	14.5 +4.3	69.9 -3.3	10.5 -0.9	5.1
四国 (全体との差)	341	10.9 +0.7	73.6 +0.5	7.3 -4.1	8.2
九州・沖縄 (全体との差)	681	12.5 +2.4	72.4 -0.7	10.6 -0.9	4.6

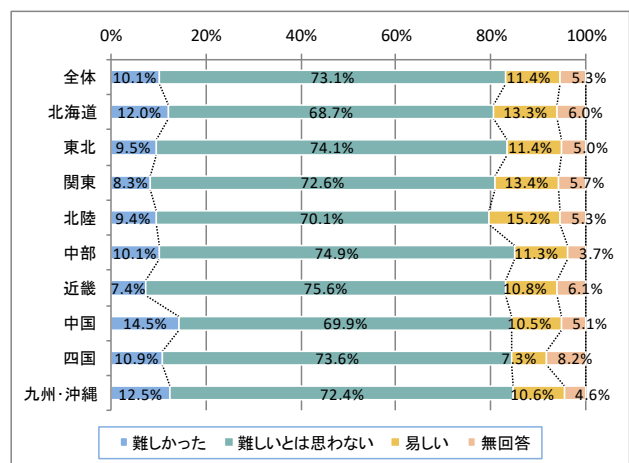


図 6-1-4c 地域別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 2) 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 2 章 建築による省エネ化」、「第 3 章 設備による省エネ化」の講義は、「難しいとは思わない」が 73.5%、「易しい」が 10.3%、合わせて 83.8%であった。「難しかった」は 10.8%であった。

《職種別》

- 設計は「難しかった」3.4%が全体平均より 7.4%低く、「易しい」が 16.2%で全体平均より 5.9%高い。

《地域別》

- どの地域も全体平均と同様の割合である。

建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章)	回答数
難しかった	494
難しいとは思わない	3,361
易しい	469
無回答	250
全体	4,574

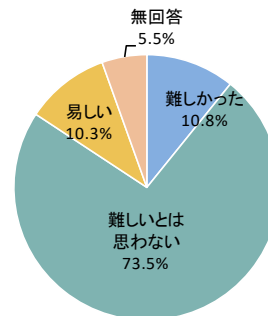


図 6-1-5a 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

H30 施工	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	4,574	10.8	73.5	10.3	5.5
施工 (全体との差)	1,406	13.5 +2.7	71.2 -2.3	6.6 -3.6	8.7
現場管理 (全体との差)	1,620	8.5 -2.3	77.5 +4.0	10.4 +0.1	3.6
設計 (全体との差)	623	3.4 -7.4	77.8 +4.4	16.2 +6.0	2.6
その他 (全体との差)	803	14.6 +3.8	68.9 -4.6	12.3 +2.1	4.2

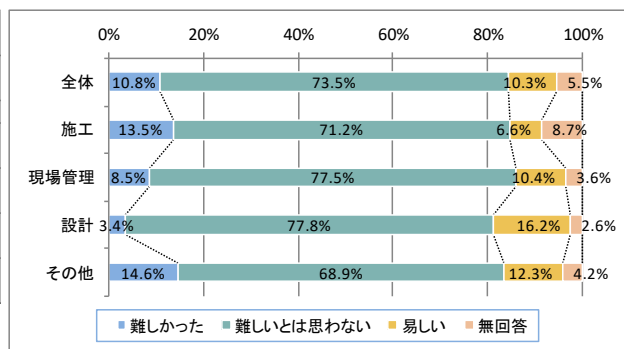


図 6-1-5b 職種別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

H30 施工	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章) (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	4,574	10.8	73.5	10.3	5.5
北海道 (全体との差)	83	10.8 +0.0	69.9 -3.6	12.0 +1.8	7.2
東北 (全体との差)	665	9.8 -1.0	74.1 +0.7	10.8 +0.6	5.3
関東 (全体との差)	889	9.2 -1.6	73.6 +0.1	11.6 +1.3	5.6
北陸 (全体との差)	244	11.5 +0.7	68.9 -4.6	13.9 +3.7	5.7
中部 (全体との差)	672	10.7 -0.1	74.9 +1.4	10.4 +0.2	4.0
近畿 (全体との差)	591	8.1 -2.7	76.5 +3.0	9.3 -0.9	6.1
中国 (全体との差)	408	14.5 +3.7	70.3 -3.1	10.0 -0.2	5.1
四国 (全体との差)	341	10.9 +0.1	73.9 +0.4	6.2 -4.1	9.1
九州・沖縄 (全体との差)	681	13.8 +3.0	72.5 -0.9	9.3 -1.0	4.4

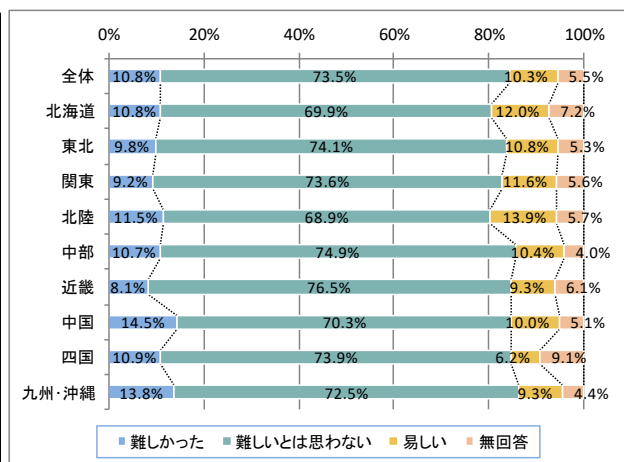


図 6-1-5c 地域別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 3) 基本編「第 4 章 断熱設計」「第 5 章 開口部設計」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 4 章 断熱設計」「第 5 章 開口部設計」の講義は、「難しいとは思わない」が 72.2%、「易しい」が 9.6%、合わせて 81.8%であった。「難しかった」は 12.4%であった。

《職種別》

- 現場管理は「難しいとは思わない」が 77.4%と全体平均より 5.2%高い。
- 設計は「難しかった」5.0%が全体平均より 7.4%低く、「易しい」が 15.6%で全体平均より 6.0%高い。

《地域別》

- どの地域も全体平均と同様の割合である。

断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)	回答数
難しかった	569
難しいとは思わない	3,301
易しい	441
無回答	263
全体	4,574

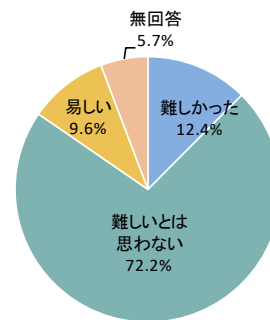


図 6-1-6a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30施工	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.4	72.2	9.6	5.7
施工 (全体との差)	1,406	15.0 +2.6	68.6 -3.5	7.4 -2.2	9.0
現場管理 (全体との差)	1,620	9.1 -3.4	77.4 +5.2	9.6 -0.0	3.9
設計 (全体との差)	623	5.0 -7.5	76.6 +4.4	15.6 +5.9	2.9
その他 (全体との差)	803	18.7 +6.2	67.0 -5.2	9.7 +0.1	4.6

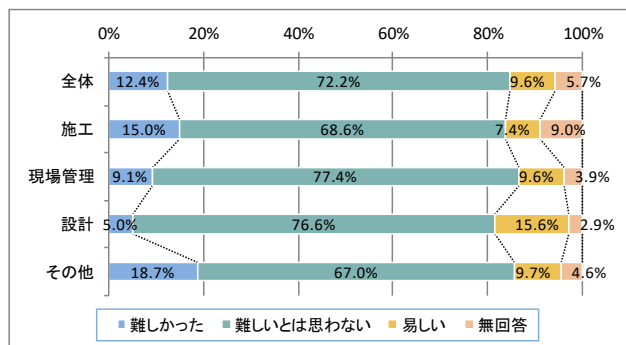


図 6-1-6b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30施工	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.4	72.2	9.6	5.7
北海道 (全体との差)	83	12.0 -0.4	71.1 -1.1	9.6 -0.0	7.2
東北 (全体との差)	665	10.2 -2.2	74.4 +2.3	10.2 +0.6	5.1
関東 (全体との差)	889	11.5 -1.0	71.9 -0.3	10.6 +0.9	6.1
北陸 (全体との差)	244	12.3 -0.1	67.2 -5.0	14.3 +4.7	6.1
中部 (全体との差)	672	13.8 +1.4	72.5 +0.3	9.7 +0.0	4.0
近畿 (全体との差)	591	9.1 -3.3	75.6 +3.5	8.8 -0.8	6.4
中国 (全体との差)	408	15.9 +3.5	70.1 -2.1	8.6 -1.1	5.4
四国 (全体との差)	341	13.8 +1.3	71.3 -0.9	5.9 -3.8	9.1
九州・沖縄 (全体との差)	681	14.7 +2.2	70.6 -1.5	9.4 -0.2	5.3

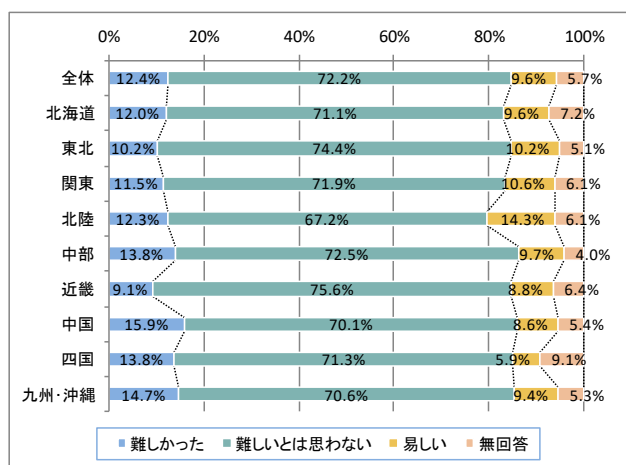


図 6-1-6c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ① 4) 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

- 施工技術者講習における基本編テキスト「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」の講義は、「難しいとは思わない」が 69.7%、「易しい」が 8.4%、合わせて 78.1%であった。「難しかった」は 15.8%であった。

《職種別》

- 設計は「難しかった」6.1%と全体平均より 9.7%低く、「難しいとは思わない」76.4%、「易しい」が 14.0%で全体平均より高く、他の職種や全体平均と異なってる。

《地域別》

- 北陸は「難しいとは思わない」が 63.1%で、全体より 6.6%低い。
- 中国は「難しい」が 21.8%で、全体より 6.0%高い。

省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)	回答数
難しかった	723
難しいとは思わない	3,189
易しい	386
無回答	276
全体	4,574

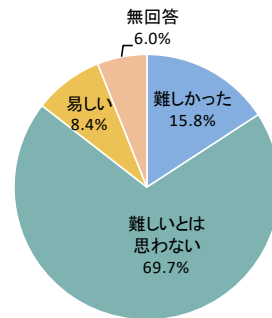


図 6-1-7a 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

H30 施工	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章) (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	4,574	15.8	69.7	8.4	6.0
施工 (全体との差)	1,406	18.9 +3.1	66.4 -3.3	5.8 -2.7	8.9
現場管理 (全体との差)	1,620	13.2 -2.6	73.6 +3.9	9.0 +0.5	4.2
設計 (全体との差)	623	6.1 -9.7	76.4 +6.7	14.0 +5.5	3.5
その他 (全体との差)	803	21.7 +5.9	64.6 -5.1	8.5 +0.0	5.2

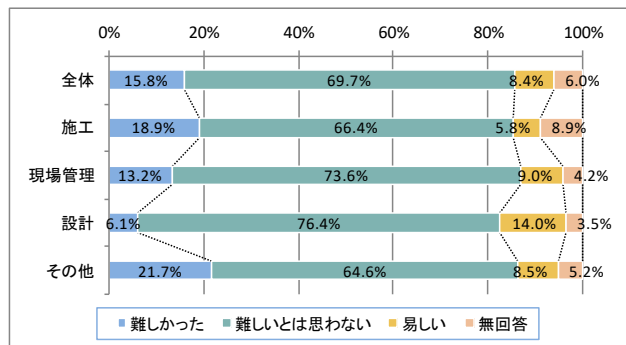


図 6-1-7b 職種別の基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

H30 施工	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章) (%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	4,574	15.8	69.7	8.4	6.0
北海道 (全体との差)	83	14.5 -1.3	71.1 +1.4	6.0 -2.4	8.4
東北 (全体との差)	665	12.3 -3.5	73.1 +3.4	8.9 +0.4	5.7
関東 (全体との差)	889	15.6 -0.2	69.0 -0.8	8.7 +0.2	6.7
北陸 (全体との差)	244	18.0 +2.2	63.1 -6.6	12.7 +4.3	6.1
中部 (全体との差)	672	16.4 +0.6	71.1 +1.4	8.5 +0.0	4.0
近畿 (全体との差)	591	11.2 -4.6	73.8 +4.1	8.5 +0.0	6.6
中国 (全体との差)	408	21.8 +6.0	65.0 -4.8	7.6 -0.8	5.6
四国 (全体との差)	341	15.8 +0.0	70.4 +0.7	4.7 -3.7	9.1
九州・沖縄 (全体との差)	681	18.6 +2.8	67.3 -2.5	8.8 +0.4	5.3

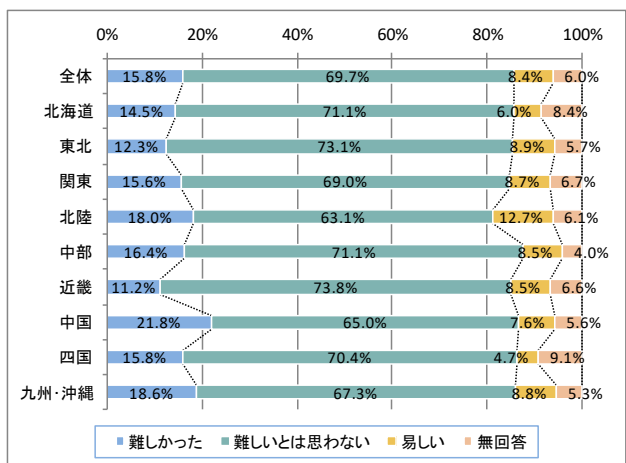


図 6-1-7c 地域別の基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

質問 1 4 【施工技術者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 4 ② 施工編テキストについて

- 施工技術者講習における施工編テキストの講義は、「難しいとは思わない」が 69.6%、「易しい」が 8.8%、合わせて 78.4%であった。「難しかった」は 12.0%であった。

《職種別》

- 設計は「難しかった」5.1%と全体平均より 6.9%低い。
- その他は「難しかった」19.2%と全体平均より 7.2%高く、「難しいとは思わない」64.0%と全体平均より 5.6%低い。

《地域別》

- どの地域も全体平均と同様の割合である。

施工編テキストについて	回答数
難しかった	549
難しいとは思わない	3,183
易しい	403
無回答	439
全体	4,574

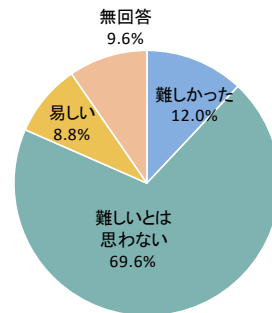


図 6-1-8a 施工編テキストについて

H30施工	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.0	69.6	8.8	9.6
施工 (全体との差)	1,406	13.8 +1.8	66.8 -2.8	6.3 -2.6	13.2
現場管理 (全体との差)	1,620	8.7 -3.3	74.4 +4.9	9.6 +0.8	7.3
設計 (全体との差)	623	5.1 -6.9	73.2 +3.6	13.8 +5.0	7.9
その他 (全体との差)	803	19.2 +7.2	64.0 -5.6	8.6 -0.2	8.2

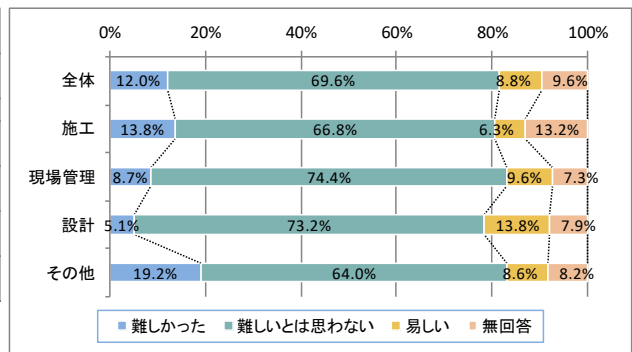


図 6-1-8b 職種別の施工編テキストについて

H30施工	合計 (回答数)	施工編テキストについて (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	4,574	12.0	69.6	8.8	9.6
北海道 (全体との差)	83	12.0 +0.0	71.1 +1.5	6.0 -2.8	10.8
東北 (全体との差)	665	10.1 -1.9	72.2 +2.6	9.5 +0.7	8.3
関東 (全体との差)	889	11.5 -0.5	69.4 -0.2	9.6 +0.8	9.6
北陸 (全体との差)	244	9.8 -2.2	64.3 -5.2	15.2 +6.4	10.7
中部 (全体との差)	672	12.9 +0.9	71.0 +1.4	7.3 -1.5	8.8
近畿 (全体との差)	591	8.8 -3.2	72.1 +2.5	8.6 -0.2	10.5
中国 (全体との差)	408	15.0 +2.9	65.7 -3.9	8.1 -0.7	11.3
四国 (全体との差)	341	13.5 +1.5	69.5 -0.1	5.0 -3.8	12.0
九州・沖縄 (全体との差)	681	14.7 +2.7	67.8 -1.7	9.3 +0.4	8.2

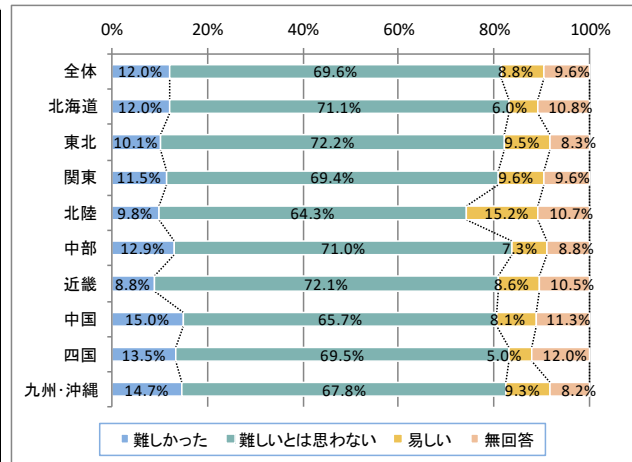


図 6-1-8c 地域別の施工編テキストについて

質問 15 【設計者講習】テキストについてお伺いします。

- 設計者講習のテキストは、「大変わかりやすかった」が 17.1%と「わかりやすかった」43.5%を合計すると 60.6%、「普通」の 28.1%も含めると 88.7%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 6.9%であった。

《職種別》

- 「施工」「設計」は、全体平均と大きく変わらない割合であった。
- 「現場管理」は、「わかりやすかった」が 37.6%で全体より 5.9%低く、「普通」が 34.2%で全体より 6.1%高い。

講習会資料 (設計者テキスト)	回答数
大変わかりやすかった	1,042
わかりやすかった	2,649
普通	1,710
わかりにくかった	379
大変わかりにくかった	45
無回答	267
全体	6,092

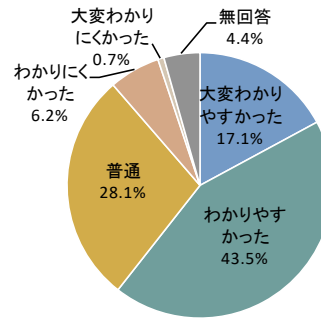
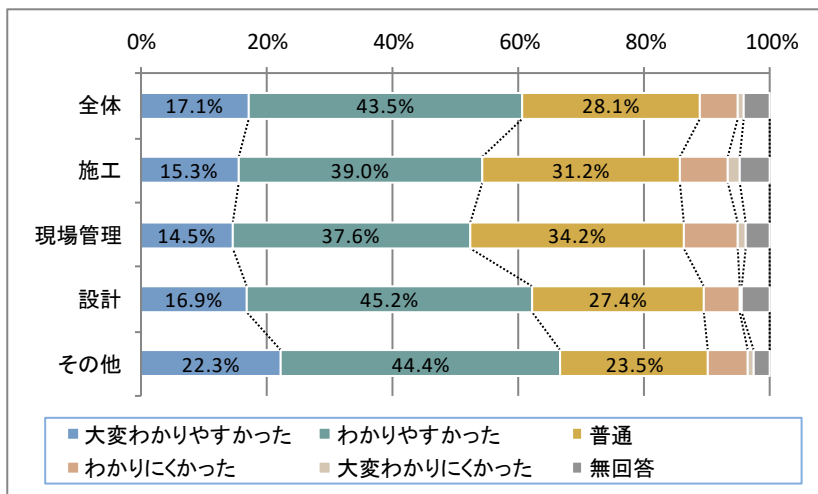


図 6-2-1a テキストのわかりやすさ



※10%未満、無回答の数値は省略

	合計 (回答数)	講習会資料(設計者テキスト)					
		大変 わかりや すかった	わかりや すかった	普 通	わかりに くかった	大変 わかりに くかった	無回答
H30設計							
全体	6,092	17.1	43.5	28.1	6.2	0.7	4.4
施工	385	15.3	39.0	31.2	7.8	1.8	4.9
(全体との差)		-1.8	-4.5	+3.1	+1.6	+1.1	-
現場管理	901	14.5	37.6	34.2	8.3	1.2	4.1
(全体との差)		-2.6	-5.9	+6.1	+2.1	+0.5	-
設計	3,899	16.9	45.2	27.4	5.6	0.5	4.5
(全体との差)		-0.2	+1.7	-0.7	-0.6	-0.3	-
その他	831	22.3	44.4	23.5	6.3	0.8	2.8
(全体との差)		+5.2	+0.9	-4.6	+0.0	+0.1	-

図 6-2-1b 職種別でのテキストのわかりやすさ

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。
質問 1 6 ① 1) 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

●設計者講習における基本編テキスト「第 1 章 これからの住まい」の講義は、「難しいとは思わない」が 67.2%、「易しい」が 15.3%、合わせて 82.5%であった。「難しかった」は 9.6%であった。

《職種別》

●施工は「難しいとは思わない」が 57.5%で、全体平均より 9.6%低い。

《地域別》

●北海道は「易しい」が 22.1%で全体より 6.8%高い。

●北陸、四国は回答数が少なく「難しかった」の割合が 2~3 倍多く、全体平均と大きく異なる。

●中部は「難しいとは思わない」が 76.0%で全体より 8.8%高い。

これからの住まい について (基本編・第1章)【設】	回答数
難しかった	135
難しいとは思わない	941
易しい	215
無回答	110
全体	1,401

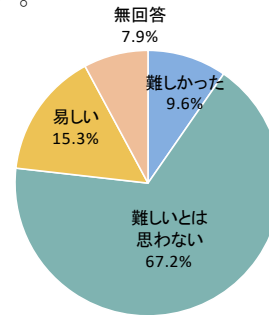


図 6-2-2a 基本編「第 1 章 これからの住まい」について

H30設計	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	9.6	67.2	15.3	7.9
施工	73	15.1	57.5	17.8	9.6
(全体との差)		+5.4	-9.6	+2.5	-
現場管理	180	14.4	65.0	11.1	9.4
(全体との差)		+4.8	-2.2	-4.2	-
設計	930	8.0	68.0	16.0	8.1
(全体との差)		-1.7	+0.8	+0.7	-
その他	195	10.3	69.2	16.4	4.1
(全体との差)		+0.6	+2.1	+1.1	-

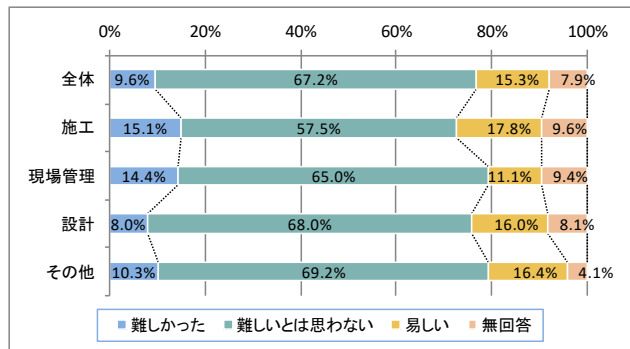


図 6-2-2b 職種別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

H30設計	合計 (回答数)	これからの住まい について (基本編・第1章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	9.6	67.2	15.3	7.9
北海道	122	6.6	71.3	22.1	0.0
(全体との差)		-3.1	+4.1	+6.8	-
東北	325	9.8	64.3	8.9	16.9
(全体との差)		+0.2	-2.9	-6.4	-
関東	243	7.8	64.2	24.7	3.3
(全体との差)		-1.8	-3.0	+9.3	-
北陸	21	33.3	42.9	19.0	4.8
(全体との差)		+23.7	-24.3	+3.7	-
中部	154	7.8	76.0	12.3	3.9
(全体との差)		-1.8	+8.8	-3.0	-
近畿	336	5.4	71.1	19.3	4.2
(全体との差)		-4.3	+4.0	+4.0	-
中国	34	17.6	73.5	5.9	2.9
(全体との差)		+8.0	+6.4	-9.5	-
四国	28	28.6	46.4	10.7	14.3
(全体との差)		+18.9	-20.7	-4.6	-
九州・沖縄	138	18.1	62.3	4.3	15.2
(全体との差)		+8.5	-4.8	-11.0	-

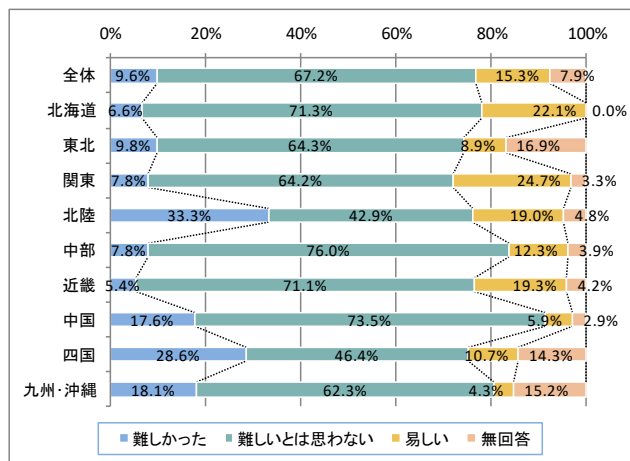


図 6-2-2c 地域別の基本編「第 1 章 これからの住まい」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ① 2) 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

- 設計者講習における基本編テキスト「第 2 章建築による省エネ化」、「第 3 章設備による省エネ化」の講義は、「難しいとは思わない」が 66.7%、「易しい」が 12.8%、合わせて 79.5%であった。「難しかった」は 12.3%であった。

《職種別》

- 施工は「難しかった」17.8%で全体平均より 5.5%高く、「難しいとは思わない」が 57.5%で全体平均より 9.1%低い。

《地域別》

- 北海道は「難しいとは思わない」が 73.0%、「易しい」が 18.9%で全体平均より高い。
- 北陸、中国、四国は回答数が少なく「難しかった」の割合が 2～3 倍多く、全体平均と大きく異なる。
- 九州は「難しい」が 20.3%で全体平均より 7.9%高く、「易しい」が 2.9%で全体平均より 9.9%低い。

建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章)【設】	回答数
難しかった	173
難しいとは思わない	934
易しい	180
無回答	114
全体	1,401

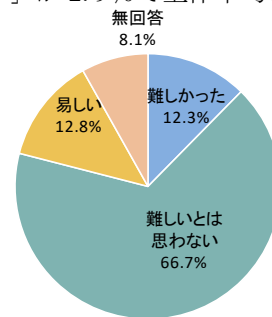


図 6-2-3a 基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

H30設計	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	1,401	12.3	66.7	12.8	8.1
施工 (全体との差)	73	17.8 +5.5	57.5 -9.1	13.7 +0.9	11.0
現場管理 (全体との差)	180	17.2 +4.9	63.9 -2.8	8.9 -4.0	10.0
設計 (全体との差)	930	9.9 -2.5	68.0 +1.3	13.9 +1.0	8.3
その他 (全体との差)	195	16.9 +4.6	66.7 +0.0	12.3 -0.5	4.1

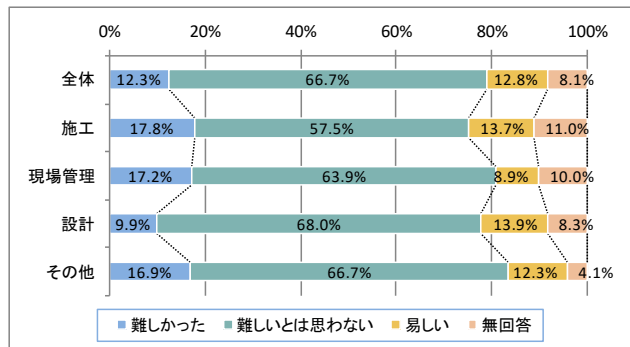


図 6-2-3b 職種別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

H30設計	合計 (回答数)	建築による省エネ化/設備による省エネ化 について(基本編・第2章、第3章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	1,401	12.3	66.7	12.8	8.1
北海道 (全体との差)	122	8.2 -4.2	73.0 +6.3	18.9 +6.0	0.0
東北 (全体との差)	325	12.0 -0.3	63.1 -3.6	8.0 -4.8	16.9
関東 (全体との差)	243	9.5 -2.9	65.0 -1.6	21.0 +8.1	4.5
北陸 (全体との差)	21	42.9 +30.5	42.9 -23.8	9.5 -3.3	4.8
中部 (全体との差)	154	11.7 -0.7	73.4 +6.7	10.4 -2.5	4.5
近畿 (全体との差)	336	8.3 -4.0	71.1 +4.5	16.4 +3.5	4.2
中国 (全体との差)	34	23.5 +11.2	67.6 +1.0	5.9 -7.0	2.9
四国 (全体との差)	28	35.7 +23.4	46.4 -20.2	3.6 -9.3	14.3
九州・沖縄 (全体との差)	138	20.3 +7.9	61.6 -5.1	2.9 -9.9	15.2

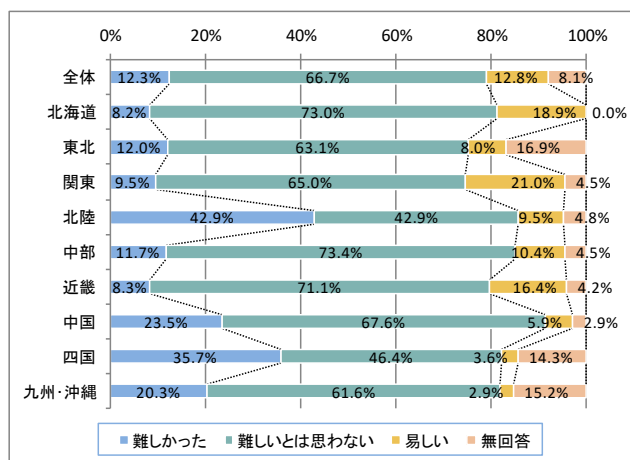


図 6-2-3c 地域別の基本編「第 2 章 建築による省エネ化」「第 3 章 設備による省エネ化」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ① 3) 基本編「第 4 章 断熱設計」「第 5 章 開口部設計」について

- 設計者講習における基本編テキスト「第 4 章 断熱設計」、「第 5 章 開口部設計」の講義は、「難しいとは思わない」66.4%、「易しい」10.1%、合わせて 76.5%であった。「難しかった」は 15.2%であった。

《職種別》

- 施工は「難しかった」が 21.9%で全体平均より 6.7%高く、「難しいとは思わない」が 52.1%で全体平均より 14.3%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 22.2%で全体平均より 7.0%高く、「難しいとは思わない」が 60.6%で全体平均より 5.8%低い。

《地域別》

- 「易しい」が北海道は 15.6%、関東地域は 18.1%で全体平均より高かった。
- 「難しいとは思わない」が北海道は 73.8%、中部 72.1%で全体平均より高かった。
- 北陸、四国は回答数が少なく「難しかった」の割合が 2~3 倍多く、全体平均と大きく異なる。

断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)【設】	回答数
難しかった	213
難しいとは思わない	930
易しい	141
無回答	117
全体	1,401

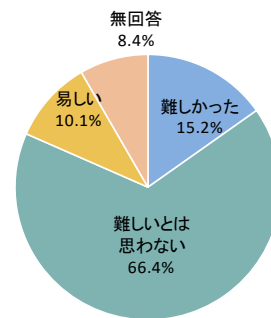


図 6-2-4a 基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30設計	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	15.2	66.4	10.1	8.4
施工 (全体との差)	73	21.9 +6.7	52.1 -14.3	15.1 +5.0	11.0 -
現場管理 (全体との差)	180	22.2 +7.0	60.6 -5.8	6.7 -3.4	10.6 -
設計 (全体との差)	930	11.8 -3.4	68.8 +2.4	11.0 +0.9	8.4 -
その他 (全体との差)	195	22.1 +6.8	65.1 -1.3	8.2 -1.9	4.6 -

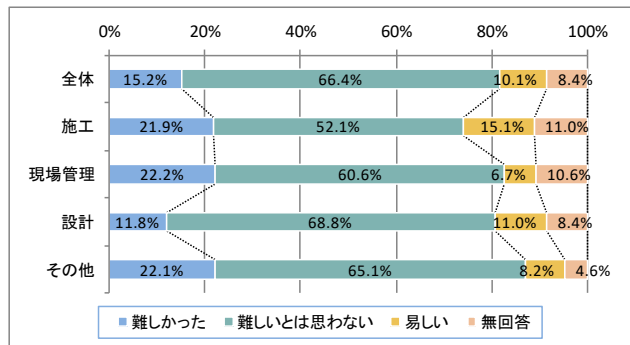


図 6-2-4b 職種別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

H30設計	合計 (回答数)	断熱設計/開口部設計 について (基本編・第4章、第5章)【設】(%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	1,401	15.2	66.4	10.1	8.4
北海道 (全体との差)	122	10.7 -4.5	73.8 +7.4	15.6 +5.5	0.0 -
東北 (全体との差)	325	14.8 -0.4	62.8 -3.6	6.2 -3.9	16.3 -
関東 (全体との差)	243	13.2 -2.0	64.6 -1.8	18.1 +8.0	4.1 -
北陸 (全体との差)	21	42.9 +27.7	42.9 -23.5	9.5 -0.5	4.8 -
中部 (全体との差)	154	16.2 +1.0	72.1 +5.7	5.8 -4.2	5.8 -
近畿 (全体との差)	336	11.3 -3.9	71.4 +5.0	12.2 +2.1	5.1 -
中国 (全体との差)	34	23.5 +8.3	67.6 +1.3	5.9 -4.2	2.9 -
四国 (全体との差)	28	42.9 +27.7	42.9 -23.5	0.0 -10.1	14.3 -
九州・沖縄 (全体との差)	138	20.3 +5.1	60.9 -5.5	2.9 -7.2	15.9 -

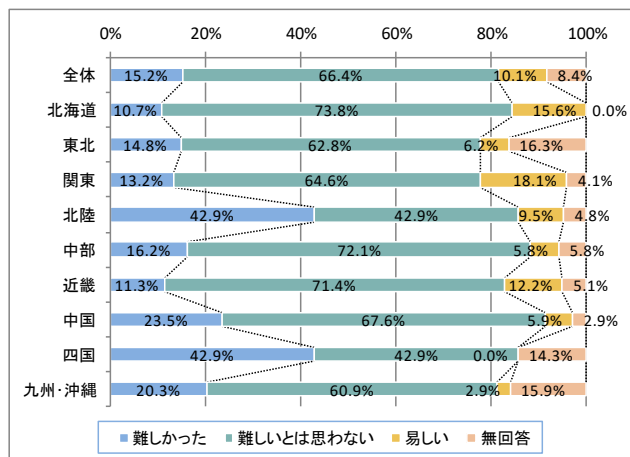


図 6-2-4c 地域別の基本編「第4章 断熱設計」「第5章 開口部設計」について

質問 16 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 16 ① 4) 基本編「第 8 章 省エネルギー基準」「第 9 章 関連基準と制度」について

- 設計者講習における基本編テキスト「第 8 章 省エネルギー基準」、「第 9 章 関連基準と制度」の講義は、「難しいとは思わない」が 65.2%、「易しい」が 10.3%、合わせて 75.5%であった。「難しかった」は 15.0%であった。

《職種別》

- 施工は「難しいとは思わない」が 54.8%で、全体平均より 10.4%低い。
- 現場管理は「難しい」が 22.2%で、全体平均より 7.2%高い。

《地域別》

- 「易しい」が北海道は 18.9%、関東地域は 17.3%で全体平均より高かった。
- 「難しいとは思わない」が中部は 72.7%で全体平均より高かった。
- 北陸、四国は回答数が少なく「難しかった」の割合が 2～3 倍多く、全体平均と大きく異なる。

省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)【設】	回答数
難しかった	210
難しいとは思わない	913
易しい	144
無回答	134
全体	1,401

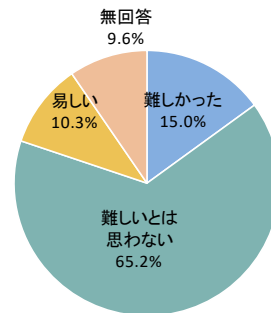


図 6-2-5a 基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

H30設計	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	1,401	15.0	65.2	10.3	9.6
施工 (全体との差)	73	19.2 +4.2	54.8 -10.4	12.3 +2.1	13.7
現場管理 (全体との差)	180	22.2 +7.2	61.1 -4.1	5.6 -4.7	11.1
設計 (全体との差)	930	12.4 -2.6	66.9 +1.7	11.2 +0.9	9.6
その他 (全体との差)	195	17.9 +3.0	65.6 +0.5	10.8 +0.5	5.6

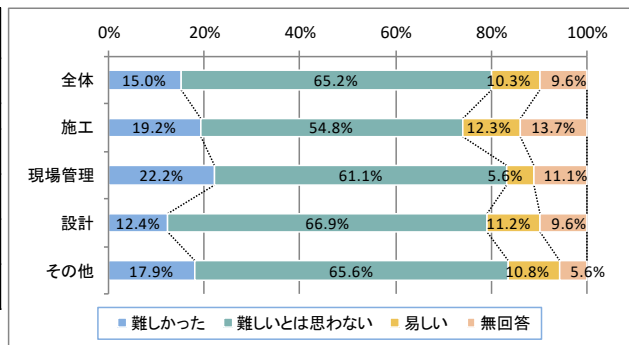


図 6-2-5b 職種別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

H30設計	合計 (回答数)	省エネルギー基準/関連基準と制度 について(基本編・第8章、第9章)【設】(%)			
		難 し か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	1,401	15.0	65.2	10.3	9.6
北海道 (全体との差)	122	9.8 -5.2	70.5 +5.3	18.9 +8.6	0.8
東北 (全体との差)	325	15.4 +0.4	60.6 -4.6	6.2 -4.1	17.8
関東 (全体との差)	243	13.6 -1.4	63.8 -1.4	17.3 +7.0	5.3
北陸 (全体との差)	21	42.9 +27.9	42.9 -22.3	9.5 -0.8	4.8
中部 (全体との差)	154	13.0 -2.0	72.7 +7.6	7.8 -2.5	6.5
近畿 (全体との差)	336	11.9 -3.1	69.3 +4.2	11.6 +1.3	7.1
中国 (全体との差)	34	20.6 +5.6	70.6 +5.4	5.9 -4.4	2.9
四国 (全体との差)	28	39.3 +24.3	46.4 -18.7	0.0 -10.3	14.3
九州・沖縄 (全体との差)	138	20.3 +5.3	60.9 -4.3	2.9 -7.4	15.9

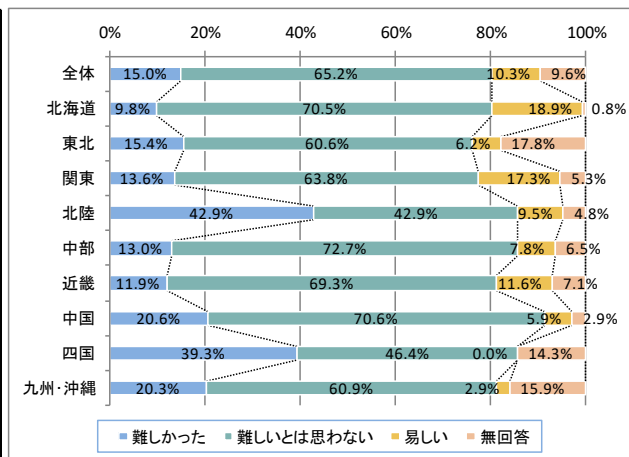


図 6-2-5c 地域別の基本編「第8章 省エネルギー基準」「第9章 関連基準と制度」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ② 1) 設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

- 設計者講習における設計編テキスト「第 2 章 外皮性能の計算」の講義は、「難しいとは思わない」が 47.1%、「易しい」が 3.3%、合わせて 50.4%であった。「難しかった」は 28.1%であった。

《職種別》

- 施工は「難しかった」34.2%と全体平均より 6.1%高く、「難しいとは思わない」36.2%で、全体平均より 10.9%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 37.6%で、全体平均より 9.5%高く、「難しいとは思わない」37.8%で、全体平均より 9.2%低い。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」が北海道は 66.3%、近畿は 53.0%で全体平均より高かった。
- 「難しかった」が中国は 36.1%で全体平均より高かった。

外皮性能の計算 について (設計編・第2章)	回答数
難しかった	841
難しいとは思わない	1,407
易しい	98
無回答	644
全体	2,990

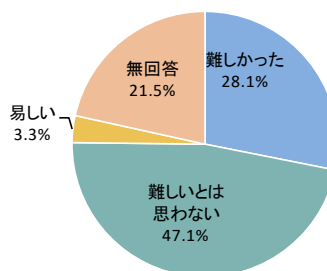


図 6-2-6a 設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	28.1	47.1	3.3	21.5
施工	152	34.2	36.2	1.3	28.3
(全体との差)		+6.1	-10.9	-2.0	-
現場管理	407	37.6	37.8	1.5	23.1
(全体との差)		+9.5	-9.2	-1.8	-
設計	1,926	25.6	50.8	3.7	19.9
(全体との差)		-2.5	+3.8	+0.4	-
その他	462	28.1	43.7	4.1	24.0
(全体との差)		+0.0	-3.3	+0.8	-

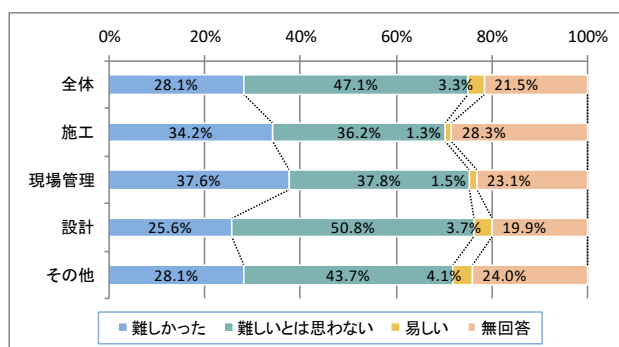


図 6-2-6b 職種別の設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	外皮性能の計算 について (設計編・第2章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	28.1	47.1	3.3	21.5
北海道	95	26.3	66.3	7.4	0.0
(全体との差)		-1.8	+19.3	+4.1	-
東北	457	28.9	46.4	3.5	21.2
(全体との差)		+0.8	-0.7	+0.2	-
関東	532	28.6	50.4	5.3	15.8
(全体との差)		+0.4	+3.3	+2.0	-
北陸	191	29.3	37.7	3.1	29.8
(全体との差)		+1.2	-9.4	-0.1	-
中部	433	25.9	54.0	2.1	18.0
(全体との差)		-2.3	+7.0	-1.2	-
近畿	313	25.9	53.0	3.5	17.6
(全体との差)		-2.2	+6.0	+0.2	-
中国	305	36.1	36.7	3.3	23.9
(全体との差)		+7.9	-10.3	+0.0	-
四国	114	30.7	49.1	0.9	19.3
(全体との差)		+2.6	+2.1	-2.4	-
九州・沖縄	550	25.1	40.7	1.8	32.4
(全体との差)		-3.0	-6.3	-1.5	-

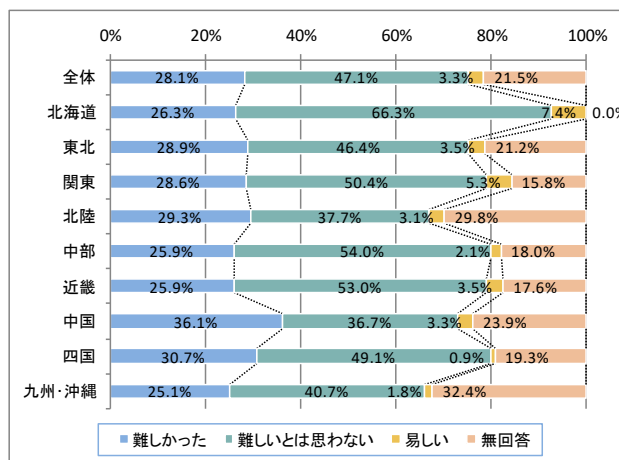


図 6-2-6c 地域別の設計編「第 2 章 外皮性能の計算」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ② 2) 設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

- 設計者講習における設計編テキスト「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」の講義は、「難しいとは思わない」が 48.6%、「易しい」が 3.8%、合わせて 52.4%であった。「難しかった」は 25.7%であった。

《職種別》

- 施工は「難しかった」34.9%と全体平均より 9.1%高く、「難しいとは思わない」35.5%で、全体平均より 13.0%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 35.1%で、全体平均より 9.4%高く、「難しいとは思わない」40.0%で、全体平均より 8.5%低い。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」は、前年度同様、北海道が 67.4%が最も多く、次いで近畿 55.9%が全体平均より高かった。
- 「難しかった」は、中国が 33.8%で全体平均より高かった。

一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章)	回答数
難しかった	769
難しいとは思わない	1,452
易しい	115
無回答	654
全体	2,990

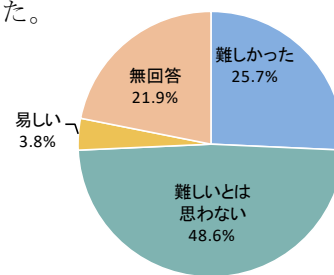


図 6-2-7a 設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	25.7	48.6	3.8	21.9
施工 (全体との差)	152	34.9	35.5	1.3	28.3
		+9.1	-13.0	-2.5	-
現場管理 (全体との差)	407	35.1	40.0	1.5	23.3
		+9.4	-8.5	-2.4	-
設計 (全体との差)	1,926	22.8	52.5	4.4	20.3
		-5.3	+5.4	+1.1	-
その他 (全体との差)	462	26.4	44.4	5.0	24.2
		+0.7	-4.2	+1.1	-

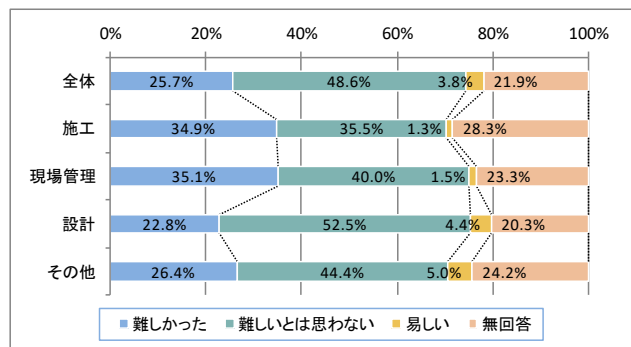


図 6-2-7b 職種別の設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

H30設計	合計 (回答数)	一次エネルギー消費量の計算 について(設計編・第3章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	25.7	48.6	3.8	21.9
北海道 (全体との差)	95	26.3	67.4	6.3	0.0
		+0.6	+18.8	+2.5	-
東北 (全体との差)	457	26.0	48.8	3.7	21.4
		+0.3	+0.2	-0.1	-
関東 (全体との差)	532	24.6	52.1	6.8	16.5
		-1.1	+3.5	+2.9	-
北陸 (全体との差)	191	26.2	39.3	3.7	30.9
		+0.5	-9.3	-0.2	-
中部 (全体との差)	433	25.4	54.0	2.3	18.2
		-0.3	+5.5	-1.5	-
近畿 (全体との差)	313	22.7	55.9	3.8	17.6
		-3.0	+7.3	-0.0	-
中国 (全体との差)	305	33.8	38.4	3.9	23.9
		+8.1	-10.2	+0.1	-
四国 (全体との差)	114	28.9	50.9	0.9	19.3
		+3.2	+2.3	-3.0	-
九州・沖縄 (全体との差)	550	23.1	41.6	2.5	32.7
		-2.6	-6.9	-1.3	-

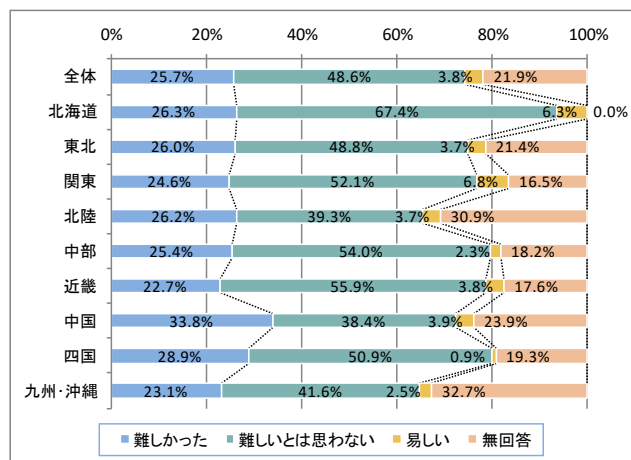


図 6-2-7c 地域別の設計編「第 3 章 一次エネルギー消費量の計算」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6 ② 3) 設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

- 設計者講習における設計編テキスト「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」の講義は、「難しいとは思わない」が 50.4%、「易しい」が 4.5%、合わせて 54.9%であった。「難しかった」は 22.8%であった。

《職種別》

- 施工は「難しかった」35.5%と全体平均より 12.8%高く、「難しいとは思わない」34.9%で、全体平均より 15.6%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 32.4%で、全体平均より 9.7%高く、「難しいとは思わない」41.3%で、全体平均より 9.2%低い。

《地域別》

- 「易しい」は、北海道が 10.5%で全体より 6.0%高かった。
- 「難しいとは思わない」は、北海道が 66.3%、関東 56.8%、近畿 56.2%で全体より高かった。
- 「難しかった」は、中国地方が 31.5%、四国 28.9%で、全体より高かった。

仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章)	回答数
難しかった	681
難しいとは思わない	1,508
易しい	134
無回答	667
全体	2,990

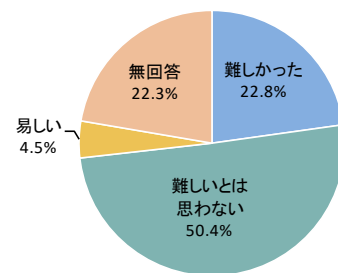


図 6-2-8a 設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

H30設計	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	22.8	50.4	4.5	22.3
施工	152	35.5	34.9	1.3	28.3
(全体との差)		+12.8	-15.6	-3.2	-
現場管理	407	32.4	41.3	2.5	23.8
(全体との差)		+9.7	-9.2	-2.0	-
設計	1,926	19.4	54.6	5.2	20.8
(全体との差)		-3.4	+4.1	+0.8	-
その他	462	23.8	47.2	4.5	24.5
(全体との差)		+1.0	-3.2	+0.1	-

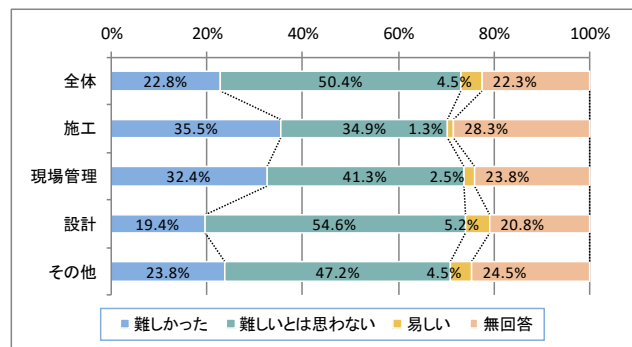


図 6-2-8b 職種別の設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

H30設計	合計 (回答数)	仕様基準による基準判定方法 について(設計編・第4章) (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	2,990	22.8	50.4	4.5	22.3
北海道	95	23.2	66.3	10.5	0.0
(全体との差)		+0.4	+15.9	+6.0	-
東北	457	23.2	50.3	4.8	21.7
(全体との差)		+0.4	-0.1	+0.3	-
関東	532	20.1	56.8	6.0	17.1
(全体との差)		-2.7	+6.3	+1.5	-
北陸	191	25.1	40.3	3.7	30.9
(全体との差)		+2.4	-10.1	-0.8	-
中部	433	22.2	54.0	5.3	18.5
(全体との差)		-0.6	+3.6	+0.8	-
近畿	313	19.2	56.2	4.8	19.8
(全体との差)		-3.6	+5.8	+0.3	-
中国	305	31.5	41.3	3.6	23.6
(全体との差)		+8.7	-9.1	-0.9	-
四国	114	28.9	50.9	0.9	19.3
(全体との差)		+6.2	+0.4	-3.6	-
九州・沖縄	550	20.5	44.0	2.4	33.1
(全体との差)		-2.2	-6.4	-2.1	-

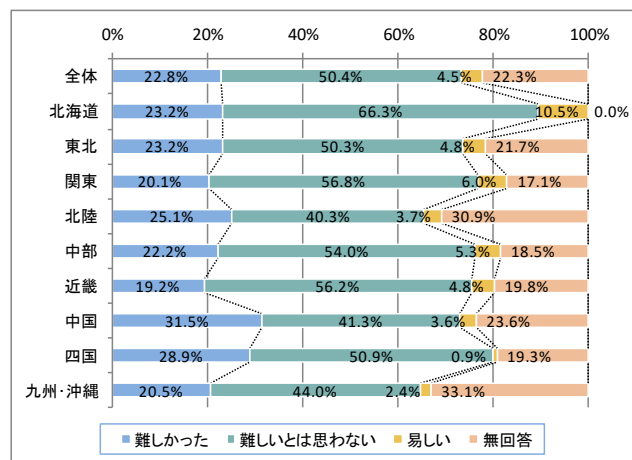


図 6-2-8c 地域別の設計編「第 4 章 仕様基準による基準判定方法」について

質問 1 6 【設計者講習】講義内容についてお伺いします。

質問 1 6②設計編テキスト（仕様ルートと簡易計算ルートについて）1）～4)

- 設計者講習における設計編テキスト「第1部仕様ルート（1） 計算が不要な方法」の講義は、「難しいとは思わない」が 51.9%、「易しい」が 7.1%、合わせて 59.0%であった。「難しかった」は 17.3%であった。
- 設計者講習における設計編テキスト「第1部仕様ルート（2） 計算を要する方法」の講義は、「難しいとは思わない」が 50.1%、「易しい」が 5.5%、合わせて 55.6%であった。「難しかった」は 20.5%であった。
- 設計者講習における設計編テキスト「第2部簡易計算ルート（1） 外皮性能計算」の講義は、「難しいとは思わない」が 45.6%、「易しい」が 3.4%、合わせて 49.0%であった。「難しかった」は 26.3%であった。
- 設計者講習における設計編テキスト「第2部簡易計算ルート（2） 一次エネルギー消費量計算」の講義は、「難しいとは思わない」が 44.9%、「易しい」が 3.9%、合わせて 48.8%であった。「難しかった」は 26.0%であった。

計算が不要な方法 第1部 仕様ルート [1]	回答数
難しかった	538
難しいとは思わない	1,610
易しい	221
無回答	733
全体	3,102

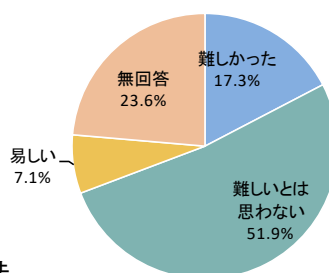


図 6-2-8d 第1部 仕様ルート [1] 計算が不要な方法

計算を要する方法 第1部 仕様ルート [2]	回答数
難しかった	635
難しいとは思わない	1,553
易しい	171
無回答	743
全体	3,102

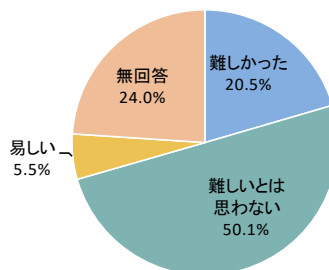


図 6-2-8e 第1部 仕様ルート [2] 計算を要する方法

外皮性能計算 第2章 簡易計算ルート [1]	回答数
難しかった	817
難しいとは思わない	1,414
易しい	106
無回答	765
全体	3,102

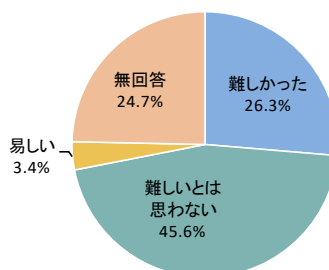


図 6-2-8f 第2部 簡易計算ルート [1] 外皮性能計算

一次エネルギー消費量計算 第2章 簡易計算ルート [2]	回答数
難しかった	808
難しいとは思わない	1,393
易しい	121
無回答	780
全体	3,102

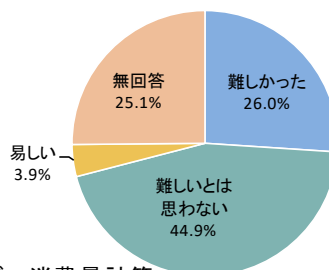


図 6-2-8g 第2部 簡易計算ルート [2] 一次エネルギー消費量計算

質問 17 【設計者講習】演習について

- 設計者講習における演習は、「難しいとは思わない」が 59.2%、「易しい」が 10.2%、合わせて 69.4%であった。「難しかった」は 23.9%であった。

《職種別》

- 施工は「難しいとは思わない」46.2%で、全体平均より 12.9%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 32.6%で、全体平均より 8.7%高く、「難しいとは思わない」52.7%で、全体平均より 6.4%低い。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」は、四国が 52.4%で、全体より 6.8%低い。

演習 【設計者講習】		回答数
難しかった		1,458
難しいとは思わない		3,604
易しい		621
無回答		409
全体		6,092

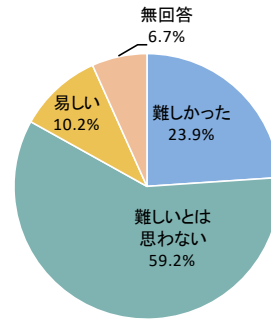


図 6-2-9a 【設計者講習】演習について

H30設計	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	23.9	59.2	10.2	6.7
施工	385	39.2	46.2	3.9	10.6
(全体との差)		+15.3	-12.9	-6.3	-
現場管理	901	32.6	52.7	7.1	7.5
(全体との差)		+8.7	-6.4	-3.1	-
設計	3,899	19.5	63.0	11.4	6.0
(全体との差)		-4.4	+3.9	+1.2	-
その他	831	27.4	55.2	10.8	6.5
(全体との差)		+3.5	-3.9	+0.6	-

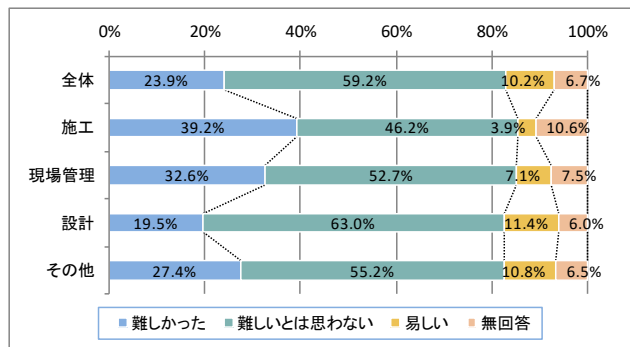


図 6-2-9b 【設計者講習】職種別の演習について

H30設計	合計 (回答数)	演習 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	23.9	59.2	10.2	6.7
北海道	125	26.4	63.2	9.6	0.8
(全体との差)		+2.5	+4.0	-0.6	-
東北	913	23.9	57.3	10.6	8.2
(全体との差)		-0.1	-1.9	+0.4	-
関東	981	21.5	60.3	12.0	6.1
(全体との差)		-2.4	+1.2	+1.8	-
北陸	429	22.4	61.5	8.4	7.7
(全体との差)		-1.6	+2.4	-1.8	-
中部	965	23.8	60.7	9.7	5.7
(全体との差)		-0.1	+1.6	-0.5	-
近畿	851	21.2	62.5	9.8	6.6
(全体との差)		-2.8	+3.4	-0.4	-
中国	528	24.1	57.0	12.9	6.1
(全体との差)		+0.1	-2.2	+2.7	-
四国	187	27.8	52.4	13.4	6.4
(全体との差)		+3.9	-6.8	+3.2	-
九州・沖縄	1,113	27.9	56.5	7.9	7.6
(全体との差)		+4.0	-2.6	-2.3	-

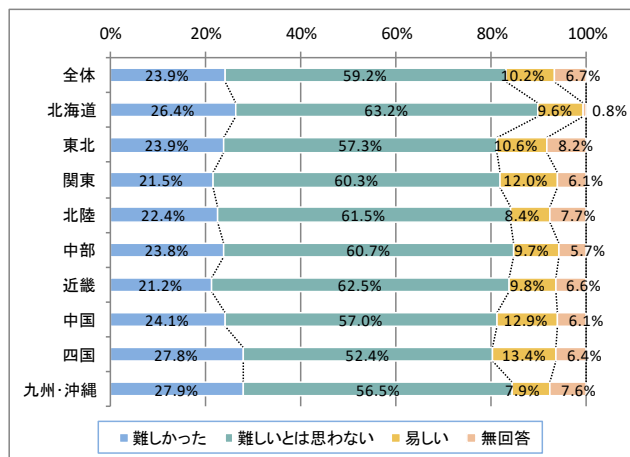


図 6-2-9c 【設計者講習】地域別の演習について

質問 18 ① 【施工技術者講習】修了考査についてお聞きします。

- 施工技術者講習の修了考査は、「難しいとは思わない」が 60.3%、「易しい」が 12.4%、合わせて 72.7%であった。「難しかった」は 13.6%であった。

《職種別》

- 施工は「易しい」7.9%で、全体平均より 4.5%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 6.1%で、全体平均より 7.9%低い。

《地域別》

- 各地域も全体平均と同様の割合であった。

修了考査 【施工技術者講習】	回答数
難しかった	624
難しいとは思わない	2,760
易しい	565
無回答	625
全体	4,574

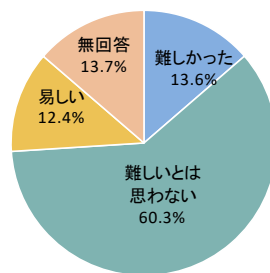


図 6-1-9a 【施工技術者講習】修了考査について

H30施工	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難 か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	4,574	13.6	60.3	12.4	13.7
施工	1,406	16.4	60.2	7.9	15.5
(全体との差)		+2.8	-0.2	-4.5	-
現場管理	1,620	11.6	61.9	13.5	13.0
(全体との差)		-2.0	+1.6	+1.2	-
設計	623	6.1	65.0	16.7	12.2
(全体との差)		-7.5	+4.7	+4.3	-
その他	803	16.9	56.2	15.2	11.7
(全体との差)		+3.3	-4.2	+2.8	-

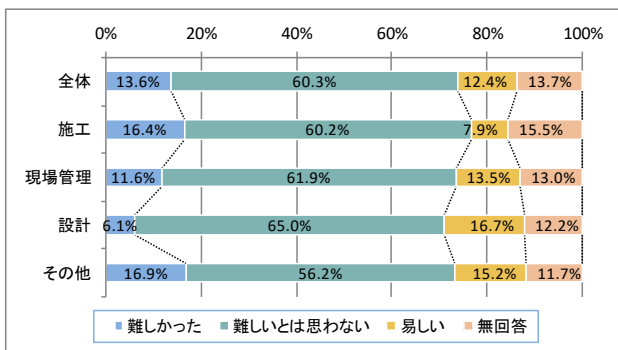


図 6-1-9b 【施工技術者講習】職種別の修了考査について

H30施工	合計 (回答数)	修了考査 【施工技術者講習】 (%)			
		難 か っ た	難 し い と は 思 わ な い	易 し い	無 回 答
全体	4,574	13.6	60.3	12.4	13.7
北海道	83	18.1	57.8	10.8	13.3
(全体との差)		+4.4	-2.5	-1.5	-
東北	665	10.2	60.0	11.9	17.9
(全体との差)		-3.4	-0.3	-0.5	-
関東	889	12.8	60.4	15.2	11.6
(全体との差)		-0.8	+0.1	+2.8	-
北陸	244	14.3	58.2	17.2	10.2
(全体との差)		+0.7	-2.1	+4.9	-
中部	672	14.3	59.8	9.5	16.4
(全体との差)		+0.6	-0.5	-2.8	-
近畿	591	11.7	62.4	13.0	12.9
(全体との差)		-2.0	+2.1	+0.7	-
中国	408	17.6	58.3	9.3	14.7
(全体との差)		+4.0	-2.0	-3.0	-
四国	341	15.0	60.7	10.6	13.8
(全体との差)		+1.3	+0.4	-1.8	-
九州・沖縄	681	15.3	61.4	12.5	10.9
(全体との差)		+1.6	+1.0	+0.1	-

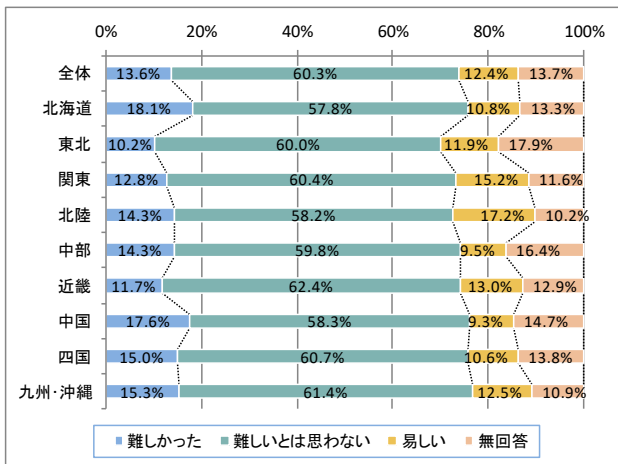


図 6-1-9c 【施工技術者講習】地域別の修了考査について

質問 18 ② 【設計者講習】修了考査についてお聞きします。

- 設計者講習の修了考査は、「難しいとは思わない」が 57.3%、「易しい」が 11.5%、合わせて 68.8%であった。「難しかった」は 21.2%であった。

《職種別》

- 施工は「難しかった」34.0%と全体平均より 12.8%高く、「難しいとは思わない」48.1%で、全体平均より 9.2%低い。
- 現場管理は「難しかった」が 28.9%で、全体平均より 7.7%高い。

《地域別》

- 「難しいとは思わない」という回答は、北海道が 68.0%で、全体より 10.7%高い。

修了考査 【設計者講習】	回答数
難しかった	1,291
難しいとは思わない	3,490
易しい	701
無回答	610
全体	6,092

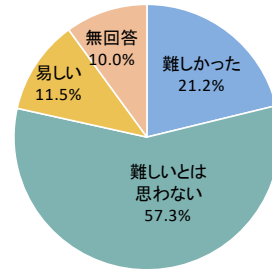


図 6-2-10a 【設計者講習】修了考査について

H30設計	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	21.2	57.3	11.5	10.0
施工 (全体との差)	385	34.0 +12.8	48.1 -9.2	4.9 -6.6	13.0
現場管理 (全体との差)	901	28.9 +7.7	53.9 -3.3	7.5 -4.0	9.7
設計 (全体との差)	3,899	18.0 -3.2	59.6 +2.3	12.8 +1.3	9.6
その他 (全体との差)	831	21.7 +0.5	55.6 -1.7	12.8 +1.2	10.0

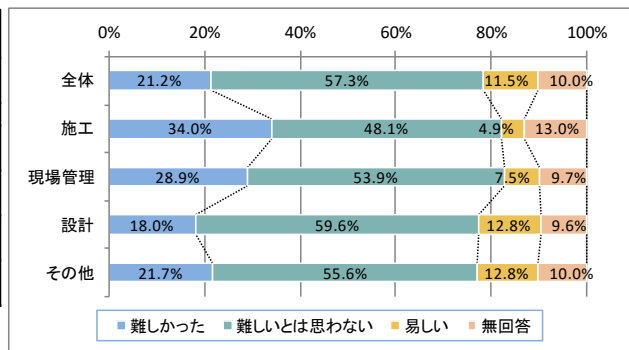


図 6-2-10b 【設計者講習】職種別の修了考査について

H30設計	合計 (回答数)	修了考査 【設計者講習】 (%)			
		難しかった	難しいとは思わない	易しい	無回答
全体	6,092	21.2	57.3	11.5	10.0
北海道 (全体との差)	125	19.2 -2.0	68.0 +10.7	11.2 -0.3	1.6
東北 (全体との差)	913	22.0 +0.8	55.3 -2.0	10.5 -1.0	12.2
関東 (全体との差)	981	16.8 -4.4	61.6 +4.3	13.8 +2.3	7.8
北陸 (全体との差)	429	22.6 +1.4	55.2 -2.0	11.7 +0.1	10.5
中部 (全体との差)	965	22.6 +1.4	55.0 -2.3	11.1 -0.4	11.3
近畿 (全体との差)	851	18.1 -3.1	59.1 +1.8	11.5 +0.0	11.3
中国 (全体との差)	528	20.6 -0.5	54.9 -2.4	14.2 +2.7	10.2
四国 (全体との差)	187	25.7 +4.5	52.9 -4.3	14.4 +2.9	7.0
九州・沖縄 (全体との差)	1,113	24.7 +3.5	57.1 -0.1	8.9 -2.6	9.3

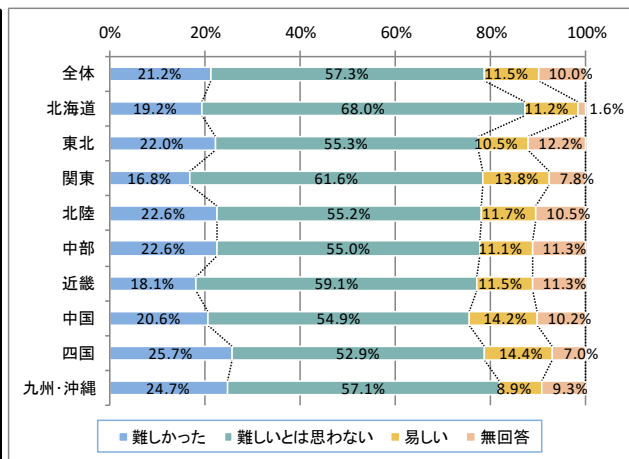


図 6-2-10c 【設計者講習】地域別の修了考査について

質問 19 講師の説明についてお聞きします。

《施工技術者講習》

- 施工技術者講習の講師の説明は、「大変わかりやすかった」が 19.0%、「わかりやすかった」が 45.2%、合計で 64.2%、「普通」の 27.5%も含めると 91.7%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 4.1%であった。

《設計者講習》

- 設計者講習の講師の説明は、「大変わかりやすかった」が 13.7%、「わかりやすかった」が 40.4%、合計で 54.1%、「普通」の 30.5%も含めると 84.6%であった。
- 「わかりにくかった」「大変わかりにくかった」は合わせて 9.8%であった。

講師の説明 【施工技術者講習】	回答数
大変わかりやすかった	868
わかりやすかった	2,068
普通	1,257
わかりにくかった	156
大変わかりにくかった	33
無回答	192
全体	4,574

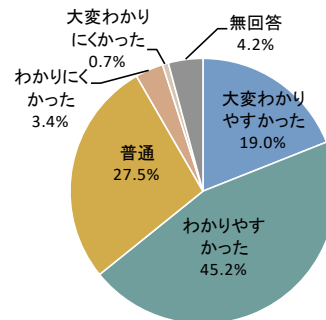


図 6-1-10 【施工技術者講習】講師の説明について

講師の説明 【設計者講習】	回答数
大変わかりやすかった	836
わかりやすかった	2,463
普通	1,858
わかりにくかった	513
大変わかりにくかった	83
無回答	339
全体	6,092

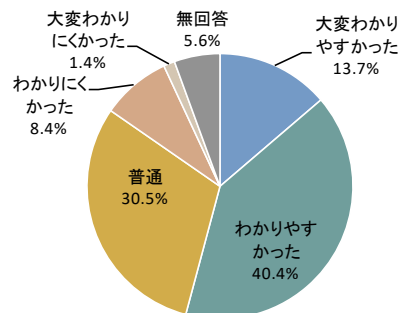


図 6-2-11 【設計者講習】講師の説明について

質問 20 本講習会を何でお知りになりましたか。(複数回答)

- 「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」が 34.8%、「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」が 38.6%、「その他」が 14.2%であった。
- 「各都道府県の地域協議会からの情報」は 11.8%であった。
- 「その他」の内容で主なものは、「所属団体から」が 2.5%、「クチコミ」が 2.3%、「公共・公益」が 2.2%であった。
- 「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」については「その他」の中で回答されたものを加えると 41.1%であった。

《職種別》

- 職種別では、施工と現場管理は、「所属業界団体(会社等)からの情報、依頼」からの認知経路が最も多く、設計は、「会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて」からの認知経路が最も多かった。

H30 講習会の認知経路	回答数
会員になっている業界団体から配付されたリーフレットをみて	3,715
各都道府県の地域協議会からの情報	1,256
所属業界団体(会社等)からの情報、依頼	4,115
その他	1,516
無回答	287
全体	10,666

図 7-1a 講習会開催の認知経路

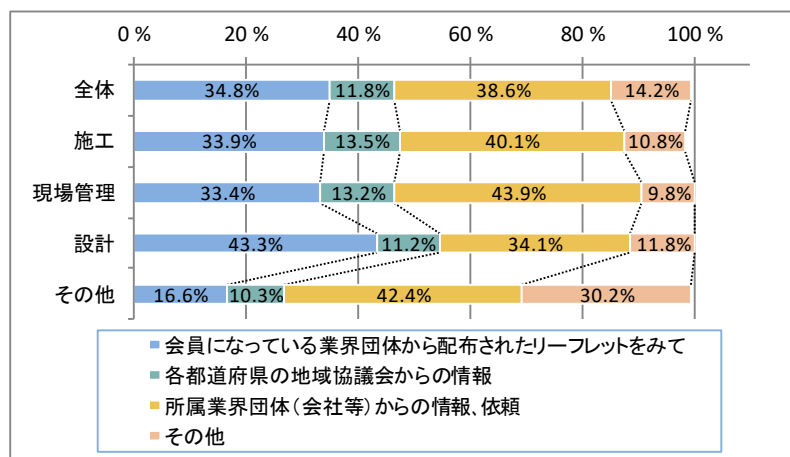
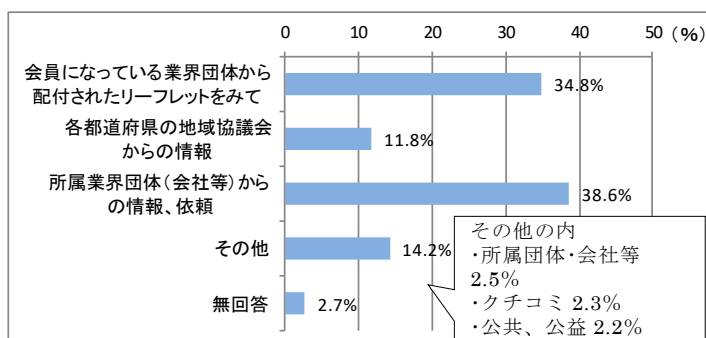


図 7-1b 職種別の講習会開催の認知経路

H30 講習会の認知経路「その他」	回答数	%	内訳	
			施工講習	設計講習
インターネット	217	2.0%	70	147
クチコミ	249	2.3%	137	112
行政関係	25	0.2%	8	17
公共、公益	231	2.2%	124	107
所属団体、会社等	270	2.5%	134	136
新聞、業界紙等	103	1.0%	36	67
他所イベント	12	0.1%	2	10
施工又は設計の省エネ講習にて	16	0.2%	8	8
未分類	20	0.2%	7	13
その他記入有り合計	1,143	10.7%	526	617
その他全体	1,516	14.2%	701	815
全体	10,666	100.0%	4,574	6,092

認知経路「その他」記述

講習会の認知経路「その他」記述内容	数	講習会の認知経路「その他」記述内容	数	講習会の認知経路「その他」記述内容	数	講習会の認知経路「その他」記述内容	数
インターネット	217	(クチコミツダ)		(クチコミツダ)		(クチコミツダ)	
インターネット	30	上司からのすすめ	2	上司にすすめられた	1	国交省補助事業に必要	1
HP	26	上司からの紹介	2	上司にすすめられて	1	国土交通省	1
インターネット	26	上司の紹介	2	上司にチラシを渡されて	1	札幌市役所	1
ホームページ	22	上司より	2	上司の勧め	1	市役所	1
ネット	12	設計事務所	2	上司より	1	市役所から宅協	1
HP	8	先生から	2	上司よりお誘い	1	市役所でたまたまりーフレットを見かけて	1
Web	6	先生からのすすめ	2	職場の上司の案内	1	市役所窓口	1
ネット	6	先生から勧められて	2	職場職員が以前受講したのを聞いて	1	手締窓口	1
ホームページ	6	先生から教えてもらった	2	職場同様	1	神奈川県建築安全協会	1
メール	6	知り合い	2	親方から	1	兵庫県からのメール	1
インターネット検索	5	知り合いから	2	親方からの情報	1	役所	1
ネット検索	3	知人	2	人からの紹介	1	役所から	1
HPより	2	知人から	2	諏訪地方事務所、土倉細川氏より	1	役所にパンフレットがあった	1
HP確認	2	知人からの紹介	2	設計士さんから	1	役所窓口	1
Web	2	知人より	2	設計士さんのすすめ	1	公共、公益	231
インターネットで検索した	2	同業者からの紹介	2	設計士のフェイスブック	1	学校	54
インターネットにて	2	同業者から聞いて	2	設計事務所から	1	学校	24
ネット	2	友人より	2	設計事務所からの情報	1	学校で	10
ブログ	2	グリーン化事業補助金のための当社社員が受講済で、私も受講しようと思った	1	設計事務所の先生から紹介	1	学校からの情報	7
メールにて	2	サツヤ	1	設計事務所より	1	学校から	6
Facebookで知った	1	シグマ建工	1	設計事務所所長より勧められて	1	ポリテクセンター	4
Facebook投稿	1	フジコー	1	先生からすすめられた	1	授業	4
HP(事務所協会様)	1	フジコー	1	先生からすすめられて	1	住宅センター	4
HP、グリーン化事業	1	フジコーさんのお誘い	1	先生からの紹介	1	学校から	3
HPをみて	1	メーカーからすすめられて	1	先生からの情報	1	学校からの情報	3
HPを見て	1	宇川先生	1	先生が教えてくれた	1	授業	3
In Net	1	宇川先生のススメ	1	先生にいわれた	1	ポリテク	2
NET	1	宇川先生より	1	先生に紹介された	1	学校からの紹介	2
SNS	1	過去に受講した方よりすすめられた為	1	先生のお話	1	学校で	2
SNSからの情報	1	会社の社員からの紹介	1	先生の話	1	学校の授業で	2
Webサイト	1	岐阜県産直住宅協会の会員様の紹介	1	先生より	1	学校の紹介	2
Webにて	1	協力業者からの案内	1	先輩、上司	1	学校の先生から	2
Web検索	1	協力業者より	1	先輩社員より	1	学校の先生から聞いた	2
インターネットHP	1	教員からの紹介	1	前の勤め先より	1	学校の先生の話で	2
インターネットでの検索	1	教員より	1	他工務店からの紹介	1	建築住宅センター	2
インターネットで偶然	1	教授からすすめられたから	1	大学の先生から	1	住宅センターのリーフレット	2
インターネットで検索	1	教授に教えて頂きました	1	大学の先生から	1	森林文化アカデミー	2
インターネットで見つけて	1	業者	1	大学教員からの情報	1	大学からの情報	2
インターネットで調べて	1	金物屋	1	大工からの情報	1	大学の企画	2
インターネットの記事	1	兄から	1	担当教員からの情報	1	ポリテク	1
インターネットを見て	1	建材メーカーからの情報	1	断熱メーカーからの紹介	1	ポリテクカリキュラム	1
オンライン	1	建材店	1	断熱材メーカーさんより紹介	1	ポリテクカリキュラム	1
サイト	1	建設会社	1	知り合いからの紹介で	1	ポリテクセンターでチラシもらった	1
ネット、民間確認検査機関リーフレット	1	建築住宅確認センターの検査員からの紹介	1	知り合いの紹介	1	ポリテクセンターの講師	1
ネットWeb	1	紹介	1	知り合いより	1	ポリテクセンターの講師から	1
ネットから	1	元語から	1	知り合い業者から	1	ポリテクセンター宮崎	1
ネットサーフィン	1	元語からの依頼	1	知人からの情報	1	ポリテクセンター高知	1
ネットで	1	元語からの紹介	1	知人との会話	1	ポリテクで紹介	1
ネットでのリサーチ	1	現場での会話のため	1	知人の誘い	1	ポリテクで紹介された	1
ネットで省エネ講習を検索した	1	現場にて	1	知人のすすめ	1	ポリテクの講習	1
ネットで調べた	1	工務店	1	知人の知らせ	1	愛知県建築住宅センター	1
ネットのホームページで	1	材木屋さんからの情報	1	知人より(土倉)	1	確認機関の紹介	1
ネット検索	1	材木屋(ヤマセイ)	1	知人紹介	1	確認検査機関	1
パソコンでリフォーム検索中	1	材料やさんより	1	知人大工	1	確認検査機関にあったチラシ	1
フェイスブック	1	埼玉土建	1	地元材木屋からの情報	1	確認検査機関のチラシ	1
ホームページ、インターネットより	1	三和木ヨリ	1	竹屋さん	1	確認検査機構	1
ホームページより	1	仕入商社からの案内	1	竹野木様より	1	確認事務所より案内	1
メールによる案内	1	社員がつけていた	1	辻先生からの紹介	1	学校からの案内	1
メール案内	1	社員からのすすめ	1	同じ事務所員からの紹介	1	学校からの広告	1
メール便	1	社員からの情報	1	同業社	1	学校からの紹介	1
メール便にてパンフレットが届いた	1	社員からの情報	1	同業者より	1	学校から急ぎきた	1
検索	1	社員との会話から	1	同業社からの情報	1	学校での案内	1
自分でインターネットで調べた	1	社員の方から、リーフレットを見せられて	1	同行	1	学校の案内	1
省エネHP	1	知った	1	同僚より	1	学校の掲示	1
省エネに関する講習をWebで検索して	1	社員より	1	同僚より情報	1	学校の掲示版	1
省エネ技術講習会HP	1	社長から	1	父からの紹介	1	学校の講習	1
クチコミ	249	社長から	1	父が実家(福井)で講師をしていたから	1	学校の告知	1
知人から	7	社長からのすすめ	1	平方木材(株)	1	学校の授業	1
知人の紹介	6	社長に聞いて	1	間屋さんよりチラシをいただいたので	1	学校の先生に教えてもらった	1
社長から	5	社内スタッフ	1	友人	1	学校の先生のすすめ	1
知人の紹介	5	社内の人からの情報	1	友人からのススメ	1	学校の知らせ	1
知人より	5	社内の設計の紹介	1	友人からの情報	1	学校より	1
紹介	4	社内社員からの紹介	1	友人からの連絡	1	学校関係で	1
上司	4	社内紹介	1	友人のすすめ	1	学校行事	1
先生	4	取引業者の案内	1	友人の紹介	1	学校主催の講習会	1
先生	4	取引業者様(株)カネト様案内	1	友人の誘い	1	学校紹介	1
先生	4	取引先の材木屋さんからお知らせ	1	行政関係	25	技術センター	1
上司から	3	取引先材木屋さんからの案内	1	県からのメール	2	訓練カリキュラム	1
上司のすすめ	3	受講者からのすすめ	1	安城市役所にあったリーフレットを見て	1	訓練の先生の紹介	1
知人	3	受講者からのすすめ	1	岡崎市役所にてチラシを見た	1	訓練校からの案内	1
友人から	3	従業者からの情報	1	官庁	1	訓練校からの情報	1
友人から	3	所長から聞いた情報	1	京都府住宅政策課のチラシ	1	訓練所にて	1
工務店から	2	商社より	1	県	1	建築センター	1
取引先	2	紹介	2	県土、建築住宅課	1	建築センターのHP	1
紹介	2	上司からすすめられたから	1	行政	1	建築会館(住宅センター)でのパンフレット	1
上司から	2	上司からの案内	1	行政機関	1	建築住宅センターのパンフレット	1
				国から	1	県住宅センター	1

認知経路「その他」記述

質問 2 1 本講習会に参加された理由・目的は何ですか。(複数回答)

- 「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」が最も多く 82.1%、「所属業界団体または会社等から受講を指示されたから」が 17.9%であった。

《職種別》

- 「これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから」が、設計が 89.9%で、全体より高い割合であった。

H30	参加理由・目的	回答数
	これからの業務に必要なまたは参考にできると思ったから	8,761
	所属業界団体または会社等から受講を指示されたから	1,914
	その他	333
	無回答	113
	全体	10,666

図 7-2a 講習会への参加動機

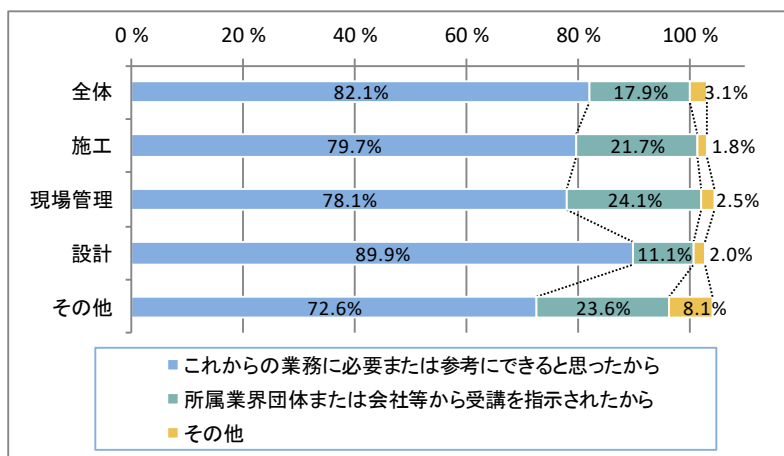
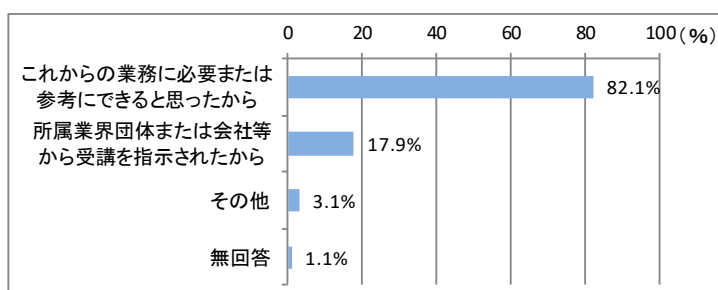


図 7-2b 職種別の参加動機

H30	講習会受講動機「その他」	回答数	%	内訳	
				施工講習	設計講習
	必要	25	0.2%	12	13
	指示	29	0.3%	11	18
	環境志向	5	0.0%	4	1
	興味あり	12	0.1%	5	7
	時代に対応	6	0.1%	3	3
	指導のため	3	0.0%	2	1
	紹介	12	0.1%	6	6
	資格のため	13	0.1%	6	7
	勉強、再確認、参考のため	41	0.4%	20	21
	スキルアップ	10	0.1%		10
	グリーン化事業等の申請のため	24	0.2%	13	11
	授業のため	44	0.4%	30	14
	資料がほしかったから	6	0.1%	1	5
	未分類	15	0.1%	8	7
	その他記入有り合計	245	2.3%	121	124
	その他全体	333	3.1%	166	167
	全体	10,666	100.0%	4,574	6,092

参加動機「その他」記述

講習会参加動機「その他」記述内容	数
必要	25
補助金のため	2
BELSの施工をするため	1
ZEHに必要	1
ZEHの補助金	1
きたすまいるの加入の為	1
ゼロエネ補助金の為	1
業務上	1
現在の業務	1
現場管理には必ず必要です。(品質管理のモチベーションアップしたいから)	1
公営住宅施工に必要	1
講習プログラム上	1
国交省補助事業に必要	1
今、現場で省エネ住宅が必要としているから	1
施主さんが市町村からの補助金をもらう為	1
住推進の会員となるため	1
住宅相談に必要な知識	1
設計上必要なため	1
断熱材を取り扱うことになったため	1
低炭素の申請の為	1
必須だからです。	1
必須のため	1
必要だから	1
必要なので	1
補助金取得に必要なので	1
指示	29
会社からの指示	2
会社指示	2
強引	2
会社から要請	2
会社のすすめ	1
会社の指示	1
会社の指示	1
会社より	1
会社指示	1
学校から指示された為	1
学校から受講を指示されたから	1
学校で指示	1
学校の指示	1
学校側からの強制	1
業界団体の役をされていて受講者を多くする目的	1
訓練所にて	1
元請からの依頼	1
行くように言われたから	1
社の技術員必須受講としたため	1
社命	1
受講の指示があったため	1
上司から、行けと言われた	1
場長の指示	1
職場の指示	1
先生に連れて来られた	1
本社の指示	1
興味あり	12
環境対策の知識吸収のため	1
環境配慮型住宅助成金HP	1
省エネの現状を知りたいから	1
省エネ対策として	1
長年にわたり省エネ住宅を扱っている	1
時代に対応	6
この業種に興味があったから	1
これからのために知っておきたいと考えたから	1
これから働いて必要だと思った。	1
どのような省エネがあるのか、知りかった	1
まだ受講していなかったから	1
宇川先生の講義を受けたかった	1
会社の先輩方が受講していたから	1
簡易計算に興味があったので	1
業界に興味があるから	1
国交省の事業だから	1
施行講習のみだったので	1
前回は簡易設計に参加したので、詳細設計が知りたかったから。	1
指導のため	3
28年度対応なので	1
改正されたら聞いたので	1
基準が改正になっているため	1
基準が変わったと聞いたので参加した	1

講習会参加動機「その他」記述内容	数
(資格のため つづき)	
再受講、H28基準になった為	1
最新の省エネ情報取得のため	1
紹介	12
社内知識共有のために、詳細まで知りたかったから	1
増改築時のアドバイスと自宅への応用	1
大工全員が同じ知識をもって施工する為	1
センターDM	1
学校からの紹介	1
学校から勧められた	1
学校で勧められたから	1
社長の勧め	1
手紙が届きました	1
住宅センターからのパンフレット	1
省エネルギーの簡単な方法で案内が届いたので。	1
新聞	1
先生から	1
先生から勧められて	1
知り合いからの紹介で	1
資格のため	13
CPD	2
CPD	1
CPDのため	1
CPDポイント	1
CPD講習	1
CPD単位取得の為	1
CPD点数取得の為	1
エコアアドバイザーを更新したかったため	1
エコ住宅アドバイザーの更新の為	1
石川県エコアアドバイザー更新講習会だったから	1
石川県のエコ住宅アドバイザーの更新の為	1
単位のため	1
勉強、再確認、参考のため	41
再勉強	2
復習のため	2
勉強のため	2
29年度も受講したため	1
3地域の施工について知りたかった為	1
H32.4月以降どうしたらいいのかを知りたかった。	1
ウェブで使用しているが基本を知りたかったので	1
ポケ防止	1
以前、自分で詳細ルートで苦労した	1
一度うけたが改めて受講したい	1
確認	1
確認の為、復習	1
計算した物件があり、その復習のため	1
建築士を取得した為	1
現在の知識の確認のため	1
個人的な知識として	1
更新	1
再確認	1
再確認の為	1
再度受講	1
再勉強の為	1
参考にすれば	1
施工の再確認のため	1
施工方法の確認	1
自宅の建設時に役立つと思ったから	1
自分の頭をフレッシュする為、反復も含めて	1
実践の為再受講	1
詳細を知りたかったから	1
知識が少ないので勉強のために参加しました	1
知識として	1
知識の確認	1
知識の更新	1
知識をつけるため	1
知識習得のため	1
勉強の為	1
勉強の為	1
毎年参加しているから	1
役に立つときが来るかも、知識として	1
スキルアップ	10
スキルアップのため	1
自分の為、今後の為	1
取っておけば何かしら有利になると思ったから	1
取れたら就職に有利だから	1
就職のため	1
住宅設計に携わりたいため	1

講習会参加動機「その他」記述内容	数
(グリーン化事業等の申請のため つづき)	
将来の選択肢の幅を広げるため	1
将来の役に立つ	1
常に勉強	1
能力up	1
グリーン化事業等の申請のため	24
グリーン化事業	2
グリーン化事業のため	2
グリーン化補助金申請のため	2
G化事業	1
グリーン化	1
グリーン化に必要なため	1
グリーン化の補助金を受けるため	1
グリーン化事業で必須だった為	1
グリーン化事業で必須だったから	1
グリーン化事業にて、受講の義務がある為	1
グリーン化事業にて必要なため	1
グリーン化事業に登録するため	1
グリーン化事業に必要	1
グリーン化事業の補助金のため	1
グリーン化事業申請の為	1
グリーン化事業申請の為	1
グリーン化事業対応	1
グリーン化申請において	1
地域グリーン化事業の参加に必要なため	1
地域型住宅グリーン化事業の申請の為	1
補助金(グリーン化)が必要	1
授業のため	44
学校	8
授業	5
学校で講習があるから	3
学校	2
授業	2
授業の一環	2
授業の一環	2
ポリテク	1
ポリテクカリキュラム	1
ポリテクカリキュラム	1
ポリテクの講習	1
ポリテク授業	1
学校で受けられるから	1
学校で受けることになったから	1
学校の行事	1
学校の授業	1
学校の授業として	1
学校行事	1
講義の一環として	1
講習	1
講習により	1
講習生(訓練生)	1
授業だったから	1
授業として	1
授業のため	1
授業の一環として	1
卒業研究	1
資料が欲しかったから	6
H28基準のテキストがほしかったため	1
テキストがほしい。サイトのPDFファイルが一部ダウンロードできない、きれてしまう。	1
テキストがほしかった	1
最新のテキストが欲しくて。すばらしい出来だと思えます	1
資料がほしかったから	1
新しいテキストがほしかったから	1
未分類	15
特になし	2
補助金	2
何も聞かされずに来た	1
暇だったから	1
建設組合	1
自社員に	1
住宅センター窓口	1
住宅建設	1
森林文化アカデミー	1
組み込んでもらえたから	1
不明	1
補助対象住宅事業者、修了者	1
木造住宅生産体制強化推進協議会	1

参加動機「その他」記述

質問 2 2 今回の講習時間についてお聞きします。

- 「ちょうどよい」が最も多く 71.9%、「長い」が 17.1%、「短い」が 7.5%であった。

《講習別》

- 施工技術者講習では、「ちょうどよい」72.7%、「長い」19.2%、「短い」が 4.8%であった。
- 設計者講習では、「ちょうどよい」71.3%、「長い」15.6%、「短い」が 9.6%であった。
- 1 日講習では、「ちょうどよい」64.5%、「長い」25.5%、「短い」が 6.2%であった。長いと答える割合が最も多い。
- 半日講習では、「ちょうどよい」が最も多く 74.0%、「長い」が 14.9%、「短い」が 7.9%であった。半日講習で特に「長い」が少なく、「ちょうどよい」が多い。

H30 講義時間	回答数
長い	1,829
ちょうどよい	7,667
短い	802
無回答	368
全体	10,666

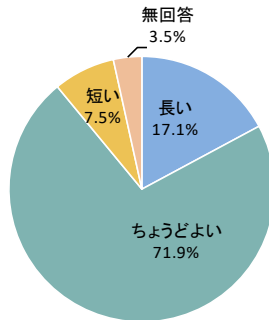


図 7-3a 講習時間の長さの感じ方 全体

H30 講義時間【施】	回答数
長い	879
ちょうどよい	3,325
短い	220
無回答	150
全体	4,574

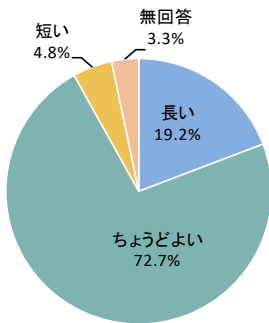


図 7-3b 講習時間の長さの感じ方 施工技術者講習

H30 講義時間【設】	回答数
長い	950
ちょうどよい	4,342
短い	582
無回答	218
全体	6,092

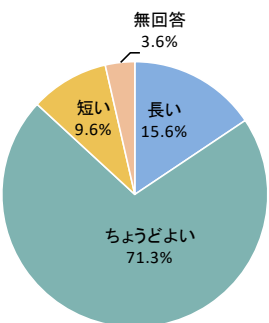
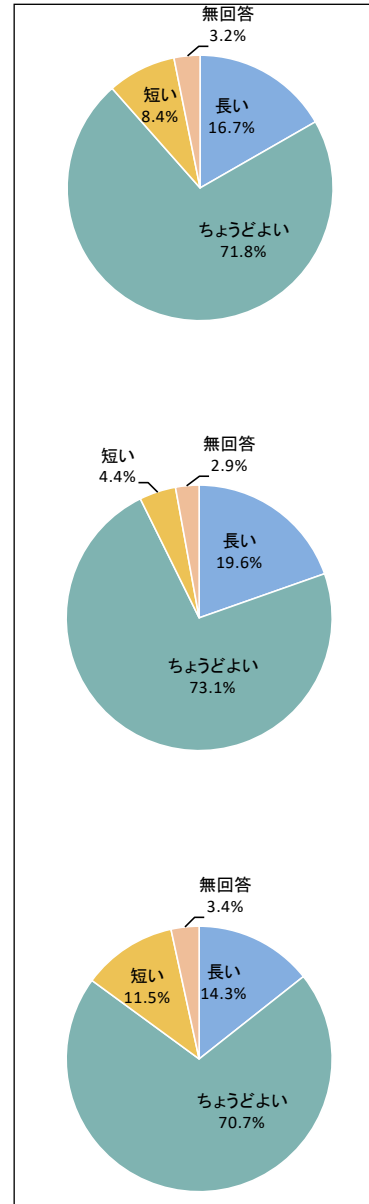


図 7-3c 講習時間の長さの感じ方 設計者講習



(H29回答)

H30講義時間【1日】	回答数
長い	559
ちょうどよい	1,415
短い	137
無回答	84
全体	2,195

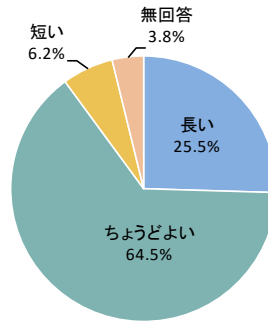


図 7-3d 講習時間の長さの感じ方 1日講習会

H30講義時間【半日】	回答数
長い	1,243
ちょうどよい	6,175
短い	655
無回答	266
全体	8,339

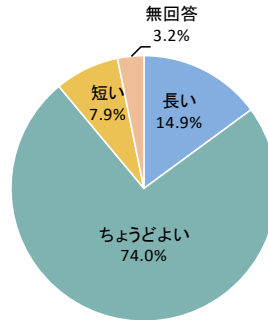


図 7-3e 講習時間の長さの感じ方 半日講習会

質問 2 3 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

① 施工技術者講習

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

施工技術者講習 講習会の内容等についての意見、質問	回答数	自由記述有り %	回答全体 %
質疑・指摘	35	6.8%	0.8%
○テキスト	4	0.8%	0.1%
○修了考査	2	0.4%	0.0%
○省エネ全般	2	0.4%	0.0%
○工法	4	0.8%	0.1%
○防湿・気密・結露	7	1.4%	0.2%
○気流止め	4	0.8%	0.1%
○基礎断熱・床断熱	4	0.8%	0.1%
○壁・開口部まわり	2	0.4%	0.0%
○天井断熱・屋根断熱	2	0.4%	0.0%
○その他	4	0.8%	0.1%
施工手間増・コスト増について	9	1.7%	0.2%
○手間増・コスト増	7	1.4%	0.2%
○その他	2	0.4%	0.0%
これまでの施工方法について	10	1.9%	0.2%
○施工できていなかった	2	0.4%	0.0%
○施工できている	3	0.6%	0.1%
○その他	5	1.0%	0.1%
要望・意見など	229	44.4%	5.0%
●教材、修了考査	29	5.6%	0.6%
○資料全般	3	0.6%	0.1%
○テキスト	5	1.0%	0.1%
○DVD	8	1.6%	0.2%
○模型	5	1.0%	0.1%
○修了考査	4	0.8%	0.1%
○アンケート	2	0.4%	0.0%
○新たな資料	2	0.4%	0.0%
●講習の内容、形態について	88	17.1%	1.9%
○内容重複 不評	4	0.8%	0.1%
○読み上げ講習 不評	10	1.9%	0.2%
○要望 ポイントを絞った説明	2	0.4%	0.0%
○要望 DVD・パワーポイント等映像活用	2	0.4%	0.0%
○要望 具体例・実例による説明	5	1.0%	0.1%
○要望 実習・実演のある講習	5	1.0%	0.1%
○要望 質疑応答の時間確保	10	1.9%	0.2%
○要望 講習会の次の開催、多数開催	5	1.0%	0.1%
○要望 講習内容等	10	1.9%	0.2%
○要望 リフォーム向け講習	4	0.8%	0.1%
○要望 習得レベルに合わせた講習会	2	0.4%	0.0%
○要望 施工者向け講習会	2	0.4%	0.0%
○要望 講習内容以外の説明	5	1.0%	0.1%
○講習内容等 不評	5	1.0%	0.1%
○講習内容等 好評	13	2.5%	0.3%
○講習内容等 意義に疑問	1	0.2%	0.0%
○講習内容等 その他	3	0.6%	0.1%
●講習時間、時間割について	31	6.0%	0.7%
○講習時間が不足、説明速い	20	3.9%	0.4%
○講習時間が長い	2	0.4%	0.0%
○時間配分、加減、時間割、休憩時間	9	1.7%	0.2%

(つづき)			
●講習会運営に関する事について	12	2.3%	0.3%
○開催時期・曜日	3	0.6%	0.1%
○講習会場 マイクなし・不調	3	0.6%	0.1%
○講習会場 空調できてない	1	0.2%	0.0%
○講習会場 その他	2	0.4%	0.0%
○講習会運営 その他	3	0.6%	0.1%
●講師について	26	5.0%	0.6%
○講師の話し方 不評	18	3.5%	0.4%
○講師 好評	8	1.6%	0.2%
●受講中の態度・マナーについて	1	0.2%	0.0%
○態度・マナー 受講者	1	0.2%	0.0%
●省エネ施工への理解を求めたい対象について	11	2.1%	0.2%
○いろいろな人	2	0.4%	0.0%
○大工、職人、施工者、現場管理者	7	1.4%	0.2%
○設計者、監理者	1	0.2%	0.0%
○建主	1	0.2%	0.0%
●制度、特定の工法・材料について	31	6.0%	0.7%
○省エネ施策	3	0.6%	0.1%
○断熱施工	6	1.2%	0.1%
○リフォーム	1	0.2%	0.0%
○吹付工法・材料	14	2.7%	0.3%
○特定の工法・材料	4	0.8%	0.1%
○特定の工法・2×4	2	0.4%	0.0%
○特定の工法・RC	1	0.2%	0.0%
受講後の感想など	171	33.1%	3.7%
○(再)確認ができた	3	0.6%	0.1%
○活用したい	18	3.5%	0.4%
○大事だとわかった	2	0.4%	0.0%
○参考・勉強・為になった、役立つ	74	14.3%	1.6%
○継続的に学ぶ、また参加したい	9	1.7%	0.2%
○難しかった、わかりにくかった	5	1.0%	0.1%
○わかりやすかった	17	3.3%	0.4%
○感謝・よかった	43	8.3%	0.9%
○その他		0.0%	0.0%
特になし	62	12.0%	1.4%
自由記述有り 全体	516	100.0%	11.3%
回答全体	4,574	-	100.0%

講習会の内容等についての意見、質問 施工技術者講習

施工 質疑・指摘－テキストの該当ページが分かるもの					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	一日講習	設計	質疑・指摘 テキスト施p048	P.48で(P.60でも)壁内の、野縁の裏側の位置に気流止めが必要ではないか、と先生は仰っていましたが、ここは防湿シートが桁(胴差)上まで貼り上がっているんで、気流は外面材へ桁～防湿シートで完全に断たれているので、別途気流止めを入れる必要はありません。 それと、DVDを観ていても、施工テキストを読んでいても、もう半ば呆れてしまったのですが、何が何でも、防湿フィルム付きGW(所謂耳付きGW)を使うという前提で、このテキストを作られているのでしょうか？ 密度の高い裸のグラスウール+別張り防湿シートを使った方が余程楽ではないか…(特に天井断熱)と思いました。 併せて疑問に思ったのですが、1～3地域では、テキストは別のものを作られているのですか？ これと同じものを使ったら、笑いものになっているでしょうね…。 そして、4地域以南でも、外周壁は、全面、設備配管、電気配線層の壁ふかし(2～3cm程)をやった方がよいと思います。 これは東北以北では結構普通に行われていると聞きますが、少なくとも、圧力的に省施工となる手法の1つとして、紹介するぐらいはして欲しいと思います。 もう1つ、施工法DVDは、4～5年振りぐらいのバージョンアップ、バージョンを観ましたが、相当進化していて(特に設備廻り)とても良かったです。昔のものより、ずっと説得力を増していました。そして願わくば、テキスト、このDVD、そしてカット模型とも、断熱改修/リフォームについて、みっちり解説したテキスト及び講習会を実施して欲しいと思います。(私個人が、改修の仕事ばかりやっていることもありますが) 本当に、新築よりも、余程に難しく、例えば予算的にまず、通気層を新規に作成する、なんていうことはできないですし、その場合、IBELの自立循環型住宅の知見では、既存外周壁層は雨漏れで侵入した雨水を1階床下まで導いて逃がす排水層兼通気層であるからして、外周壁に気流止めを施工するのは極めて危険！等と警告を鳴らしています。 そもそも、構造、設備、雨仕舞い、劣化防止対策、等の納まりとも密に絡っている領域であり、これを誰が設計、施工したか解らない既築の建物を相手に聞かす訳ですから、様々な事例、成功例も失敗例も収集して、早く学として成り立つと良いな…と日々考えている次第です。	質疑・指摘 テキスト
関東	半日講習	その他	質疑・指摘 テキスト施p048	施工テキストの048頁、1)2)、防火構造とみなされない可能性…とありますが、その場合どうすれば良いのか？知りたいです。	
近畿	半日講習	設計	質疑・指摘 テキスト施p073	屋根や外壁のウレタン吹付工法時(A種3)防湿フィルムが必要との事ですが、メーカーの計算では屋根は不要とよく言われるのですが、施工しない場合、特別な認定が必要なのか？メーカーの計算のみで可能なのでしょうか？(施工テキストP73の特別評価方法認定とは何ですか？)	
関東	半日講習	その他	質疑・指摘 テキスト施	テキストに図示されている床と壁の取り合いで、防火構造の場合は、どの様に施工するのか、示して欲しい。	

施工 質疑・指摘－修了考査について					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	半日講習	施工	質疑・指摘 修了考査	問題の中で1次エネルギーとは？	質疑・指摘 修了考査
中国	半日講習	現場管理	質疑・指摘 修了考査	修了考査⑨、床梁間断熱なので気流止めはいらぬのでは？	

施工 質疑・指摘－工法等について					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
近畿	半日講習	現場管理	省エネ全般	300㎡以下の住宅省エネルギー義務化はいつですか	質疑・指摘 省エネ全般
関東	半日講習	その他	省エネ全般	なぜ(気密)C値がなくなったのか？	
近畿	半日講習	その他	質疑・指摘 工法	鋼製床の場合、木造より熱を通しやすいがその場合は。	質疑・指摘 工法
九州・沖縄	半日講習	施工	質疑・指摘 工法	ログハウス等の考え方はどうなりますか？	
中部	一日講習	現場管理	質疑・指摘 工法	横ドブチの施工など施工手順に合わない説明がありました。必ず断熱のあと横ドブチは入れます。防湿シート→断熱→ドブチ	
中部	半日講習	施工	質疑・指摘 工法	現在、壁も別張りフィルムを張っていますが、省けるようですね。一般的には使っていないのでしょうか？	
関東	半日講習	その他	質疑・指摘 防湿・気密・結露	ボード系断熱材も空気を通しゼロではないので、防湿フィルムは貼るべき。完全に結露はとまらないから、もし結露した場合、だれの責任になるのか？	質疑・指摘 防湿・気密・結露
近畿	半日講習	設計	質疑・指摘 防湿・気密・結露	外壁に構造用合板で耐力壁をした場合、充填工法では通気性があるとみなし、外張断熱工法では気密層とみなす(気密テープありは奨励)と思うのですが、実際構造用合板は通気性があると見てよいのでしょうか？	
九州・沖縄	半日講習	設計	質疑・指摘 防湿・気密・結露	結露対策(気密)と24時間換気が矛盾しているかと。熱交換が必要になるのでは？	
関東	一日講習	設計	質疑・指摘 防湿・気密・結露	今回の内容で施工を行った場合、気密数字(スキ間数値C値)はどの位になるのでしょうか？(断熱施工優先)	
北陸	半日講習	設計	質疑・指摘 防湿・気密・結露	防湿層を合板(面材)とする意味がわからなかった。	
中部	半日講習	設計	質疑・指摘 防湿・気密・結露	屋根充填工法断熱について、グラスウール+スタイロフォーム(室内側)で重ねて施工した場合、気密層はスタイロフォームになりますか？グラスウールの付属防湿シートになりますか？スタイロフォームが気密層になる場合、グラスウール付属の防湿シートは、はがした方がよいのでしょうか？	
中部	一日講習	現場管理	質疑・指摘 防湿・気密・結露	透湿抵抗の大きな熱材を使用した場合に防湿層を設けることはあまりメリットはないですか？外周にダイライト(透湿防水シート下に貼る)を使用した場合、断熱層から通気層への透湿はふさがれてしまいますか？	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	質疑・指摘 気流止め	気流止めが気密になりすぎて、白アリの影響はないのでしょうか？	質疑・指摘 気流止め
近畿	半日講習	現場管理	質疑・指摘 気流止め	気流止めの施工について、小屋へ気流止めの施工は気密シートで対応可能ですか？	
東北	半日講習	設計	質疑・指摘 気流止め	上部気流止めと筋交との取合はどのように施工するのか？上記気流止めの電気配線貫通部の処理は？(解決)	
近畿	半日講習	現場管理	質疑・指摘 気流止め	吹付発泡ウレタンで施工を行うのがよいように思いますが、上記の場合でも気流止めはいるのでしょうか？	
東北	未回答	施工	基礎断熱・床断熱	基礎パネル工事等で地下水脈にパイプがいった場合、土間コンクリート面が冷たく、床下全面結露を起こす場合があります。昔、井戸等があった地域は特に注意が必要。	質疑・指摘 基礎断熱・床断熱
中部	半日講習	その他	基礎断熱・床断熱	玄関土間は無断熱で施工している。省エネ計算は達している(多分)からいいのか、やった方がいいのかよくわからなかった。(断熱の有無を反映P18、空らん=無ってことでよかったのかどうか)	
中部	半日講習	設計	基礎断熱・床断熱	テキストで、配管のすき間等に現場発泡を充填とありますが、基礎部は特に、防蟻対応など何でも良い訳ではない。正しく表現すべき。テキストの断面でも、非常では結露の可能性がありえる。	
近畿	半日講習	設計	基礎断熱・床断熱	基礎断熱工法でUB周りを施工するかわりに、基礎周りの立上り断熱を施工せずに高断熱浴槽を使用する施工は可能ですか？(気密パッキン処理とします。この場合、外皮計算は基礎断熱の断熱無しで、土間断熱として計算すればいいのでしょうか？気密はパッキンを使用する為、高断熱浴槽を床断熱としては見ていません。)	
中国	半日講習	現場管理	質疑・指摘 壁・開口部まわり	筋交いまわりの施工について、ロックウールは防湿フィルムをはぐると、一緒にはりついてきてしまい、筋交い部分に断熱材が挟まった感じになり、ボードの仕上げが悪くなります。良い方法はありますか？	質疑・指摘 壁・開口部まわり
関東	一日講習	その他	質疑・指摘 壁・開口部まわり	貫通口の処理が大切としている中、エアコン配管口は築後あけられることが多い。設計・施工する建物であれば、もう少し強調を。良質な住宅を提供する上で重要だと思います。予めうけた設計。	
中部	半日講習	現場管理	質疑・指摘 天井・屋根	壁の断熱材は下地とのスキマを作らない様にとの施工に対し、天井は野ブチ上からの施工でした、野ブチのキワは大地と接さないのですが、それがOKな理由の説明がなかった。	質疑・指摘 天井断熱・屋根断熱
近畿	半日講習	その他	質疑・指摘 天井・屋根	断熱工事を行っていない建物の場合屋根外断熱(化粧シートの上にカバー工法で硬質ウレタンフォーム35mm+自着層付き防水シート+アスファルトシングル目貼)の場合棟部に換気口は必要でしょうか？	

近畿	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	①基本編でお話しのあった、リフォームでサッシの断熱性能をあげて、結露が発生する場合の理由や事例を教えてください。②天井断熱の際の天井点検口の商品選定や施工について事例と注意点が知りたいです。③ルーフバルコニーの防風層・防湿層の施工についても教えてください。	質疑・指摘 その他
中部	半日講習	現場管理	質疑・指摘 その他	・外国人労働者が増す中で良い施工をしていくにはどのような指導方法が考えられるか。・中古住宅リフォーム販売にeマーク等表示制度はどの様になっているのでしょうか。	
中国	一日講習	現場管理	質疑・指摘 その他	施工により気密性能が上がった場合、(室内)建物の換気について、第3種換気で生活上、支障を生じる事はありますか？問題が出る可能性があれば、どのような事が聞いてみたいです。	
九州・沖縄	半日講習	施工	質疑・指摘 その他	・ウレタン断熱材の切り落としの後の正確な処理について。・セルローズ吹付の透湿防水紙の基準化してほしい。・基礎断熱において基礎の中に入れる場合は基礎の強さはどうなのでしょう？	

施工		施工手間増・コスト増について			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	半日講習	現場管理	施工手間増・コスト増	●来はリフォーム時に施工する程度ですが、手間増を改めて考えました。講習会、分かりやすかったです。ありがとうございました。ミスし易い例がもう少し多かったです。と思います。	施工手間増 ・コスト増
中国	一日講習	設計	施工手間増・コスト増	・2020年には省エネ住宅が義務化し、断熱材の使用箇所が大きく変わり、コストも少し上がってしまうのではないかと思います。・断熱材のおさまりや施工法がたくさんあることを知ることができて、とても勉強になりました。	
中部	半日講習	施工	施工手間増・コスト増	今の現状で講習の内容はよくわかるが、工期、金銭面できびしい為、なかなか大変である。お客様が埋込み照明を望む面が多い。	
中国	半日講習	その他	施工手間増・コスト増	これだけのことをするとすぐ時間がかかると思った。良心的な業者を選びたいと思った。	
中国	半日講習	その他	施工手間増・コスト増	これから今の様な工法で施工出来れば良いと思いますが施工を行う上では大変手間等を考慮しなくてはと思います。	
東北	半日講習	設計	施工手間増・コスト増	断熱施工した分、工事費がUPすると思う。建築主が理解してくれ、UP分を納得してもらえ様に説明するのがむずかしい。	
関東	半日講習	その他	施工手間増・コスト増	勉強になりましたが、現状では手間のロスになったり、一緒に仕事している仲間に白い目で見られそうな感じがします。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	施工手間 その他	現場では充填断熱より、ウレタン発泡及セルローズ、充填+ネダレスの方が手間をが少なく済む。断熱性能を出しやすい。(充填断熱を管理して徹底するのが難しい)	施工手間 ・その他
関東	半日講習	設計	施工手間 その他	実際施工する方の現場の意見を聞いて、修正すべきところ(作りにくいなど)があるか確認したい。	

施工		これまでの施工方法について			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	一日講習	設計	施工できていなかった	問題なく施工できていると思っていましたが、今日講義を聞いて、できていない箇所がある事に気づき、勉強になりました。・サッシのすきまへの現場うち断熱材。・現状二重ガラスウールの上側の防湿フィルムははがすか穴あける。	施工できて いなかった
関東	半日講習	現場管理	施工できていなかった	講習会をうけられて、正しい施工に勤めたいと反省しました。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	施工できている	半年前に大工をやめ現場監督になったので今までやっていたことばかりでした。現在の会社の断熱工法はまだあまり詳しく知りません。とても有意義な講習をありがとうございました。	施工でき ている
近畿	半日講習	施工	施工できている	標準でやっていることばかり、時間のムダだった。	
四国	半日講習	現場管理	施工できている	普段から高気密、高断熱住宅を施工しており、本日は講習内容にも沿った施工をしておりますが、「なぜその施工をしなければならぬのか」という根本について学びました。本日のテキストをゆっくり振り返りたいです。本日は有難うございました。	
中国	半日講習	現場管理	これまでの施工方法 その他	テキスト通りにすれば良いのはわかるが例が少ない。書いてあるのが正しいのかも良く分からない。住宅の単価が上がるとは思うが、手間はなかなか上げられないので考えなくてはならない。納まり等がはぶいてあるので良いのかどうか分からない。	これまでの施 工方法
中国	半日講習	現場管理	これまでの施工方法 その他	工法が違い過ぎて、少しつらかったです。	
北陸	半日講習	その他	これまでの施工方法 その他	今回の講習で今まであまいだった所等が解決しました。お客様への提案にも活かせると思いました。	
四国	半日講習	その他	これまでの施工方法 その他	断熱材の営業をしていますが、実際に現場で施工したりすることもあり、大変勉強になりました。様々な種類がある中で、現場に合わせた対応が必要だと思いました。	
四国	半日講習	現場管理	これまでの施工方法 その他	設計図に明記されている箇所には断熱材を施工しているものの、細かい納まり考え方が分かり、説明(指示)しやすくなった。(職方に対して)	

施工		要望・意見などー資料全般について			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	一日講習	設計	資料全般 好評	建築業界に入って間もない状態で参加しましたが、非常に分かりやすかった。DVDや講義や模型で実際に教えてもらうことで必要性やメリットが理解できた。	資料全般 好評
北海道	半日講習	現場管理	資料全般 好評	テキスト、DVD共わかりやすかったです。DVDの職人さんがヘルメットかぶってなかったり、エア工具つかってるとメガネかけてないのが気になりました。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	資料全般 好評	入社してから1年目で、住宅業界についてまだ詳しく理解できていない部分もありましたが、とても分かりやすい説明とテキスト、DVDで普段疑問に思っていた点を解消することができました。ありがとうございました。	

施工		要望・意見などーテキストについて			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中国	半日講習	現場管理	テキスト 要望	施工テキストの内容を充実させてほしい。ピックアップする商品の施工例を増やす等。	テキスト 要望
関東	半日講習	設計	テキスト 要望	資料をデータで欲しい(テキスト、配布物)	
北海道	半日講習	現場管理	テキスト 要望	テキストの図がカラーの方が分かりやすい。説明が早くて図をじっくり見る時間がなかった。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	テキスト 好評	こまかな取まりが図示してあり分かり易く勉強になりました。	テキスト 好評
関東	半日講習	設計	テキスト 好評	特に後半の施工テキスト、実務的に保存版の様に使えるテキストで良かったです。参考価格と言いますか、コストを記入して更に使えるテキストとしたいと思います。ありがとうございました。	

施工		要望・意見などーDVDについて			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
東北	半日講習	現場管理	DVD 要望	・DVDで詳しい納まりの施工状況を見たいです。(特に困難な部位)・断熱材のサンプルもあれば実感できます。(他の材料もあれば防湿シートなど)	DVD 要望
北陸	一日講習	その他	DVD 不評	DVDがとても長く感じた。	DVD 不評
中部	半日講習	施工	DVD 不評	講習は良かったがビデオが眠くなる。	
中部	半日講習	その他	DVD 好評	現場経験がまだないのでDVDは参考になった。テキストの説明がかけ足になり、これからじっくり読んで理解を深めたい。	DVD 好評
四国	半日講習	現場管理	DVD 好評	映像は大変わかりやすく、記憶にも長く残ると思います。かつての外皮計算はともつらかったけど、今回の様な講習はまた参加したいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	DVD 好評	DVD視聴からの後半の施工の説明はわかりやすかった。	
東北	半日講習	設計	DVD 好評	実際に施工したことがないと、テキストが難しいですが、DVDがもらえて良かったです。	
四国	一日講習	その他	DVD 好評	テキストよりDVDが分かりやすかった。	

施工					要望・意見などー模型について
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	半日講習	設計	模型 要望	以前(数年前)は実物での内容も有り分かりやすかったが、今回はなくて残念です。	模型 要望
東北	半日講習	施工	模型 要望	模型などあるともっと分かりやすかったと思います。	
四国	半日講習	現場管理	模型 要望	講習ありがとうございました。可能でしたら、実物で説明があるとありがたいです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	模型 要望	実物の展示があった方がよい。	
東北	半日講習	設計	模型 不評	模型ではなく、DVDで説明してほしい。	模型 不評

施工					要望・意見などー修了考査について
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中国	一日講習	施工	修了考査 不評	考査IV6と9は良問とはいえない。難しいとは思いますが、頑張ってください。	修了考査 不評
九州・沖縄	半日講習	設計	修了考査 不評	テキストに書いてある事を読み上げ、修了考査に出るポイントを伝えるだけでは施工時に注意すべき知識はあまり身に付かないと感じました。考査は無くても良いので、中身のある講習を望みます。	
九州・沖縄	半日講習	設計	修了考査 不評	テキストを見ながら答えるのが良く分からない。	
北陸	半日講習	その他	修了考査 好評	最後の方の解説は解答を配って終わり良いと思った。プランクがあり施工業務をしたことがなかったのについていくのに大変でしたが、施工テキストを見て大体のことが理解できました、テストが簡単で本当に良かったです。	修了考査 好評

施工					要望・意見などー他の資料・説明の要望
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
近畿	半日講習	設計	新たな資料 要望 その他	地域区分の分かる地図が欲しい。	他の資料・ 説明の要望
東北	一日講習	現場管理	新たな資料 要望 その他	地域ごとのテキストがあれば良いと思います。いわき市は5地域なので、5地域のテキストで施工を行えばOKです。よみたいにできるように。考査問題解説はいらないと思いました。	

施工					要望・意見などーアンケートの要望
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	半日講習	現場管理	アンケート	質問11-1~11/6はグラデーションがきつすぎて読めなかった。	アンケート
中部	半日講習	施工	アンケート	丸を付ける欄が黒くて○が記入できない。	

施工					要望・意見などー講習の方法・内容について	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目	
関東	半日講習	施工	内容重複 不評	施工編は役に立ちました。基本編は自分でテキストを読んだほうが良く理解できるし、早いのでマイクの声小さくしても良かった。DVDは施工テキストの内容なので、自分は気が付きましたが、他の人はわからなかった人もいます。事前にひと言「施工テキストの内容が映像になっただけ」とアナウンスしてもらおうと良かったかも。	内容重複 不評	
四国	半日講習	現場管理	内容重複 不評	講師による講義とDVDの放映内容が重複しているので、DVDはあまり必要ない気がします。講義内容は分かりやすくて良かったです。		
関東	一日講習	設計	内容重複 不評	施工のDVDを見た後であればテキストの読み合わせのような解説は不要に思えます。テキスト参考しながら見ると良いと思います。		
九州・沖縄	半日講習	その他	内容重複 不評	本日はありがとうございました。時間内に講習は終わらせて頂きたい。休憩が足りなかった。DVDと重なる説明はポイントのみでいいのでは。	読み上げ 講習 不評	
中部	半日講習	施工	読み上げ講習 不評	午前中の授業は教科書を丸読みしているだけで非常にかわりつらかった。時間が足りないなら講習時間をもっと多くすればいいと思う。せっかく講習に来ているのもっと細かい知識を、身につけたかった。教科書の丸読みならば家ででもできます。		
関東	一日講習	現場管理	読み上げ講習 不評	ただテキストを読んでいるだけの様な…		
関東	一日講習	現場管理	読み上げ講習 不評	テキストの棒読み、何の解説もなし、ムダな時間を過ごしました。こんな内容ならテキストだけ渡して「家で読んで下さい」と同じ。		
東北	半日講習	その他	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げているだけだったので。		
中部	半日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけではなくもっと要素をまとめて欲しい。考査の解答の解説は必要ない。解答を配るので充分。		
東北	半日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけではなく、現場や設計に役立つ情報も織りまぜた方が充実した講習になると思います。(テキストは読めばわかるため)寒かったです。		
中国	一日講習	施工	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけなら意味がない。DVDだけで充分。		
東北	半日講習	その他	読み上げ講習 不評	全体的にテキストにそった内容です。分かりやすかったです。ただテキストを読むだけに特化した内容でしたので、もう少しメリハリが欲しい。セミナー終了時間は厳守して下さい！		
近畿	半日講習	現場管理	読み上げ講習 不評	講師の方が、ただテキストを読んでいるたけなので非常に時間が無駄と感じた。全てDVDでよいのでは？		
九州・沖縄	一日講習	その他	読み上げ講習 不評	講師はテキストの内容をただ読んでいるだけで、内容が全然理解できなかつた。無理矢理半日にまとめるぐらいなら、じっくり時間をかけて講習して欲しい。		
中部	半日講習	設計	要望 ポイントを絞った説明	読み聞かせになるのであれば、時間をくれれば自分で読める。要点を減らして時間短くして下さい。本当、半日か(今は結果1日つかう)		要望 ポイントを 絞った説明
中国	半日講習	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	半日講習の際は一通り流すより、いくつかの単元をピックアップして、重点的に教えていただきたいです。考査の問題ごとに、テキストのどこに解説があるか明記してほしいです。本日はありがとうございました。		要望 DVD・ パワーポイント 等映像活用
中部	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	施工に関する内容は、単にテキストを読み上げるだけでなく、パワーポイント等を用いて、もっとポイントを整理した方が頭に入りやすい。正直、テキストと費用の面から文句は言えないが、説明方法は大変不親切だと言わざるを得ない。		
東北	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	技術的な部分は動画で多く見せた方が良くと思いました。		
近畿	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	・テキスト解説以外にも講師の実体験にもとづく話があればよかつた。・工法をもっとふやしてほしい。	要望 具体例・ 実例による 説明	
北陸	半日講習	現場管理	要望 具体例・実例による説明	実際の写真を見ながらの説明の方がさらに分かりやすかったです。本日は、ありがとうございました。		
中部	一日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	テキストの内容をおっているだけで、この講習内容であればテキストだけで足りると感じている。実施の施行者の意見・施工の難しさが分かる様であれば、受講者もより身近に感じる、と思う。		
関東	一日講習	施工	要望 具体例・実例による説明	もうちょっとテキストだけではなく、現場の話があるとよかつた。		
関東	半日講習	現場管理	要望 具体例・実例による説明	もっと具体的な説明もほしかった。		
東北	一日講習	施工	要望 実習・実演のある講習	実技講習があるともっとわかりやすいと思います。		
九州・沖縄	半日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	実習があればもっとわかりやすいと思いました。		
関東	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	実践的な内容があるとよかつたが、今回の講習の主旨とは違うのかなとも思います。		
関東	半日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	施工研修も実施して欲しい。事故・不具合・不備事例が見たい。		
四国	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	大変よかつたです。今後はもう少し具体的に参加者が職場で生かせる実施体験があれば良いです。		

近畿	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	更に詳しい指導をいただいたりその場で質問できるような講習会があればありがたいです。	要望 質疑応答の時間確保
近畿	半日講習	施工	要望 質疑応答の時間確保	質問時間が欲しかった。	
近畿	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	質問不可の形式はなぜでしょうか。その場で聞きたいこともあると思います。ただテキストをよんで下さるだけの講習では講習の意味がないと思います。時間の関係でそのようにしているのであれば講習そのもののあり方を考えていただきたいと思います。	
四国	半日講習	施工	要望 質疑応答の時間確保	終了後に個別に質疑応答があればいいかなと思いました。	
関東	半日講習	その他	要望 質疑応答の時間確保	受講後に質問があった場合の問い合わせ先があると良い。(特に施工テキストの内容について)	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	施工、設計上のQ&Aがあれば、実施する時の導入もスムーズに進める事ができると思います。	
東北	一日講習	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	もう少し時間を延長して、質問できるようにしても良いかと思います。	
近畿	半日講習	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	納まり等の質問を受けて欲しい。	
近畿	半日講習	現場管理	要望 質疑応答の時間確保	質疑応答の時間があればよかった。	
九州・沖縄	半日講習	施工	要望 質疑応答の時間確保	半日講習での講義ですが、1日での説明の方がより分かりやすく感じます。又、途中での質疑等もあれば良かったです。	

施工 要望・意見などー講習の内容、形態について

地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目	
近畿	半日講習	設計	講習内容等 要望	グラスウールの取り扱いに関して解説したほうが良いと思う。(現場で正しく扱えている大工さんを見た事ありません)	講習内容等 要望	
中部	半日講習	現場管理	講習内容等 要望	その施工、納まりにする理由、考え方についてもう少し時間をかけて、ゆっくりと、考え理解することを考慮した説明が望ましいと思う。何をしなければならぬか、ではなく、なぜそうするのか。		
関東	一日講習	現場管理	講習内容等 要望	補助金や長期優良等を詳しく聞きたかった。		
北海道	半日講習	現場管理	講習内容等 要望	もっと繊細な納まりの例を紹介していただけたらいいなと思います。		
中部	半日講習	施工	講習内容等 要望	今までいろいろな講習会や実務等で断熱材について知っていたつもりでしたが、今回の講習会にて、さらに確認の上で勉強になりました。H28年省エネ基準の施工に取り組んでいます。この講習会に出席して良かったです。ありがとうございました。PS:バルコニー(インナーバルコニー含む手すり及び腰かべ)の断熱方法も載せたらと思います。		
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 要望	構造用金物まわりの断熱の具体的な説明がほしかった。		
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講習内容等 要望	外張断熱施工についてももっと詳しく説明してもらいたかった		
関東	半日講習	設計	講習内容等 要望	テキストの分量に対して、講義時間が短かったにもかかわらず、分かりやすい説明を受けることができました。一方で図や絵など視覚で捉えやすい解説がもう少しあると分かりやすいと感じました。		
東北	一日講習	現場管理	講習内容等 要望	本日の様な講習会を再度詳細に分けて開催していただければありがたいと思います。		
関東	半日講習	その他	講習内容等 要望	断熱材の種類が違う事によって、起こる事象や省エネ法、ZEHについて、もっとよく知りたいと思いました。		
東北	半日講習	設計	要望 習得レベルに合わせた講習会	後半の施工テキストに関しては、まだまだ勉強・経験不足で難しかったです。レベル別での講習会があっても良いかも…。勉強になりました。今後に生かしていきたいです。		要望 習得レベルに合わせた講習会
東北	一日講習	現場管理	要望 習得レベルに合わせた講習会	分からない人に向けた説明の仕方をして頂きたいと思いました。		
九州・沖縄	半日講習	現場管理	要望 施工者向け講習	工法を限定して(充填工法)講習してほしいです。なるべく実務に近い方たちで。	要望 施工者向け講習	
東北	半日講習	現場管理	要望 施工者向け講習	現場施工者、職人に向けた講習が必要。又、問題点として現場監督が建築を学んでおらず、建築士の資格も持たない人が多い。企業の誤ったコストダウン(無資格者が現場担当者)であり問題がある。		
中国	一日講習	その他	要望 講習会の次の開催、多数開催	この度は講習を行っていただきありがとうございました。今年で最後になるかもとの事でしたが、改正があった時には、また講習を行っていただけると助かります。	要望 講習会の次の開催、多数開催	
中国	一日講習	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	今後もあればいいと思います。		
関東	半日講習	設計	要望 講習会の次の開催、多数開催	今後も続けてほしいです。		
近畿	半日講習	現場管理	要望 講習会の次の開催、多数開催	非常に分かりやすい講習をありがとうございました。今後、定期的に受講者にむけて、資料や勉強会？を行っていただけたらいいと思います。		
近畿	半日講習	施工	要望 講習会の次の開催、多数開催	他もどんどんやってほしい。		
近畿	半日講習	設計	要望 リフォーム向け講習	細かい所がわかっていなかったので参考になりました。リフォーム等のやり方をもっと詳しく知りたいです。		要望 リフォーム向け講習
関東	半日講習	設計	要望 リフォーム向け講習	大変勉強になりました。リフォーム専門店として従事していることもあり、断熱改修の事例など不適切な部分をどのように改修する事が望ましいのか、実務的な話もあってより良いと思います。本日はありがとうございました。		
近畿	半日講習	現場管理	要望 リフォーム向け講習	断熱改修も増加していくと思いますが、改修での講習も企画してほしいです。		
中部	半日講習	設計	要望 リフォーム向け講習	リフォームの断熱方法として、内貼工法を解説して欲しい。		
中部	半日講習	施工	要望 講習内容以外の説明	ZEHをくわしく知れたかった	要望 講習内容以外の説明	
近畿	半日講習	現場管理	要望 講習内容以外の説明	結露(カビ)対策として、断熱以外に換気計画の考え方についても知れたかった。		
関東	一日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	事例が繊維系断熱材だけなのか？他にも良い断熱材があると思います。カットモデルは造り変えた方がいいと思います。		
九州・沖縄	半日講習	現場管理	要望 講習内容以外の説明	施工方法の説明に偏り(充填と外張)があったので、日付をずらし、工法別に説明会を開いた方が、専門的に話ができるのではないかと思います。話自体はすごく分かりやすかったです。		
近畿	半日講習	その他	要望 講習内容以外の説明	夏場の壁体内結露の仕組みを学びたかった。		

施工					要望・意見などー講習の内容、形態について
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	半日講習	施工	講習内容等 不評	基本ばかりと感じた。	講習内容等 不評
四国	半日講習	未回答	講習内容等 不評	講習会が20年おそいと思います。	
近畿	半日講習	設計	講習内容等 不評	施工の講習(説明)が説明不足だと感じました。	
中部	半日講習	その他	講習内容等 不評	とにかくねむい。	
中国	一日講習	現場管理	講習内容等 不評	内容等難しかったです。勉強になることばかりなのですが、説明等時間もあまりなく分かりにくかったかなあと思いました。図などは見やすかったです。テキストが黒文字ばかりで見えづらいというか、大事な所が分かりにくかった。	講習内容等 疑問
中部	半日講習	施工	講習会の意義に疑問	この程度の講習内容で無理やりな人的動員を止めるべき。グラスウールの施工手順メインの講習ならメーカーがやれが良い。	
中国	一日講習	現場管理	講習内容等 好評	とても分かりやすい講義内容でした。テキストも見やすく、また、テキストに沿って講義して下さったので分かりやすかった。ありがとうございました。	講習内容等 好評
北海道	半日講習	施工	講習内容等 好評	ベテラン大工にも、若い大工にも、今の時代の流れと正しい施工を意識させるいい機会になった。	
東北	一日講習	その他	講習内容等 好評	とても分かりやすくて、いい講習会だったと思います。	
関東	一日講習	施工	講習内容等 好評	内容が濃く、また分かりやすかったので良かったです。	
東北	半日講習	現場管理	講習内容等 好評	DVDや講師の方の説明もわかりやすかった。普段の施工に活かしたいです。	
関東	半日講習	その他	講習内容等 好評	施工編は分かりやすかったです。	
北海道	未回答	現場管理	講習内容等 好評	短時間でしたが重点ポイントを詳しく教えて頂き良かった	
東北	半日講習	現場管理	講習内容等 好評	他の施工方法も見れて良かったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 好評	わかり易く、説明してくださいました。	
東北	半日講習	現場管理	講習内容等 好評	わかりやすい説明でした。	
東北	半日講習	現場管理	講習内容等 好評	わかりやすかった。テキストを今後の参考にする。	
中部	半日講習	その他	講習内容等 好評	わかりやすく説明して頂き、大変勉強になりました。	
東北	半日講習	設計	講習内容等 好評	自分の知識不足で理解できないところが多かったので、もっと勉強してから受講すべきだと反省しました。わかりやすい講習をありがとうございました。	
近畿	半日講習	現場管理	講習内容等 その他	今後、法改正するたび講習会を受けて修了証をもらわないといけないのか？以前優良住宅のときもあった気がする。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 その他	単調だったので、眠くなってしまったが、やり方などが分かりやすく解説しており、と手も勉強になりました。	
東北	半日講習	設計	講習内容等 その他	設計と施工どちらもうける場合、内容にメリハリがあるのを期待したい。	

施工					要望・意見などー講習時間、時間割について
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
四国	一日講習	未回答	講習時間が不足、説明速い	1日の講習では覚えきれないと感じました。	講習時間が不足、説明速い
東北	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	基本テキストの講習は時間がないためか、ついていけないほど早く、理解半ばで…。施工テキストの講習は、大変よく理解できる様な講習でした。	
関東	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	基本テキストの内容をもう少ししっかり聞きたかったです。60分は少し短くて説明しきれないのでは？と感じた。	
東北	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	考查時間が短い	
四国	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	講習時間が少し短い。施工テキストをもう少し長く講習してくれればよいと思います。	
東北	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が短く早すぎた	
関東	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	時間の関係でかけ足で講習をして、修了考查とはいかがなものか？	
関東	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	少し早いので理解するのが難しかった	
近畿	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	進むのが早く感じます	
中国	一日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	施工テキストの進み具合が早くついていけませんでした。	
中国	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	テキストの進行が早すぎてわけがわからなかった。	
東北	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	テキストの内容が非常に濃いのにに対して時間が少ない為、端折りすぎ。もっと押さえるべき事柄について講習した方が個人的には良いかと思った。とはいえ、日常の業務に追われる現在、今日は大変勉強になりました。	
中部	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	テキストを読むスピードが速すぎて、ついていけない。修了考查の時間が短い。40～50分は欲しい。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	内容のボリュームはいいが、それに対して時間が短い。一日講習で詳しく話してくれたほうがわかりやすいと思う。	
中部	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	半日講習は短いと感じた。基本テキスト説明は2時間お願いしたかった。	
中部	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	半日で覚えるにはタイトでした。	
東北	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	半日の講習会では時間が短い。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	半日の講習では短い早いので、1日もしくは半日×2回で同じ内容の講習にした方が、より内容が深く頭に入ったと思う。	
中国	一日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ペースが早かった。	
四国	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	やや駆け足、詰込み感を感じました。	
中部	半日講習	その他	講習時間が長い	教える内容をまとめて分かりやすく説明したら、時間ももう少し減り早く終わせられると思います。	講習時間が長い
北陸	半日講習	その他	講習時間が長い	時間が少し長いと感じた。	

中国	半日講習	その他	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	休憩が短いです。	時間配分が 不適切、か キュラム、時間 割、休憩時間
九州・沖縄	半日講習	現場管理	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	休憩時間がもう少しほしい。回数、ひとこまが長いものがある。	
近畿	一日講習	現場管理	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	休憩時は15分ほしい。	
九州・沖縄	半日講習	施工	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	休憩をもう少しこまめに入れて欲しい。	
関東	一日講習	施工	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	基本テキスト第8章、第9章は割愛した方がよいと思います。	
東北	一日講習	施工	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	1時間位に分けてもらいたいと思う。	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	1日かかっても良いので、講義科目間に休憩を細かくはさみながら良いかと思いました。早すぎて少し大変でした。しかし、とても勉強になりました。	
九州・沖縄	半日講習	未回答	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	もう少し休憩が欲しかったです。	
九州・沖縄	一日講習	その他	時間配分が不適切、か キュラム、時間割、休憩時間	トイレ休みがほしい。	

施工						要望・意見などー講習会運営に関する事について	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目		
九州・沖縄	半日講習	その他	開催時期・曜日	朝早いので昼からの講習会にしてほしい。	開催時期・ 曜日		
九州・沖縄	半日講習	施工	開催時期・曜日	講習開始時間を13:30~にしたらどうか？昼休み中の移動になるので遠方現場からの場合移動時間がかかる。(講師の方に少し迷惑がかかるが時間の短縮)もしくはテストの時間を少し短くする。			
中国	半日講習	設計	開催時期・曜日	これからの建築設計の職に就こうと考えていますが、その上で必要な知識であったと思います。設計の方の講習を受けたいと思いました。が、土日の講習がもうないので「仕様・簡易計算」をもう一度土日にしてほしいです。	講習会場		
東北	一日講習	現場管理	講習会場 空調できてない	寒い			
東北	半日講習	その他	講習会場 マイクなし・不調	マイクが「ハウリング」のようになって全体的に聞きにくかった。			
東北	半日講習	現場管理	講習会場 マイクなし・不調	マイクが良くないのか、吸音が悪いのか、講師の声がはっきりと聞こえずらかった。			
東北	半日講習	設計	講習会場 マイクなし・不調	マイクのせいでしょうか、聞き取りにくかったです。			
東北	半日講習	設計	講習会場 その他不評	DVD映像が見えにくかった。			
近畿	半日講習	設計	講習会場 その他不評	ホワイトボード見えない			
中部	半日講習	現場管理	講習会運営 その他	アンケート用紙、印刷が悪い。見づらかった。		講習会運営	
関東	一日講習	設計	講習会運営 その他	設計講習と同じ内容が多かったため、施工部分だけをまとめて午後とかにして半日で終わらせたかった。DVDとテキストで十分な気がした。			
近畿	半日講習	施工	講習会運営 その他	前で案内の女性の方がずっと座っていらしたので、つらくなかったか大変心配です、問題解説が長い。			

施工						要望・意見などー講師について	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目		
近畿	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	器が小さいのか狭い。声が聞きとりづらい。	講師 不評		
関東	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	①講師の声が聞き取りづらくて何を言っているのか分からない所があった。②教材を見て読むではなく、スクリーンで説明して欲しかった。どこをやっているのか分かりにくい！			
関東	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	漢字の読み間違いが気になった。			
近畿	半日講習	施工	講師の話し方 不評	聞き取りにくかったです			
東北	半日講習	設計	講師の話し方 不評	講師の方、お二人共「かつぜつ」が悪く、もごもごしていたのが残念でした。			
中国	半日講習	その他	講師の話し方 不評	講師の声を検討して欲しい。			
中部	一日講習	施工	講師の話し方 不評	講師の誤読が多かった。(基本テキスト)			
四国	一日講習	その他	講師の話し方 不評	講師の内容が聞き取りづらくわからなかった。			
関東	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	講習での説明では「え～、あの～」が多いと、内容が聞き取りづらいです。何も見ないでの説明なら仕方がないと思いますが、テキストを見ながらですので、その辺をお願いします。			
中国	一日講習	現場管理	講師の話し方 不評	声が聞きとりやすく、どこかの説明をしているのか分からない。			
東北	半日講習	施工	講師の話し方 不評	言葉の聞き取りにくさが大変。活舌をしっかり！			
関東	一日講習	現場管理	講師の話し方 不評	時間の都合とは思いますが、早口でした。知らない人にとっては理解するのが難しいと思いました。			
東北	半日講習	施工	講師の話し方 不評	施工技術者講習テキスト基本編、講師の声が聞き取りにくかった。			
中部	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	前半の基本編講師の方には大変申し訳ないが話が聞き取りづらく講義中不快であった。時間制限がある中で大変なのだろうとは思いますがもう少し技術者を育てる講習会という位置付けを真剣に考えて講義して欲しいと思います。			
中国	一日講習	現場管理	講師の話し方 不評	テキストよりも分かりにくい解説だと思います。素人でも分かりやすい説明をして頂けると初心者でも理解しやすく、取りかかりやすいと思いました。			
四国	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	初めの講師の方の説明が早すぎでした。			
東北	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	先生早口すぎです。何言ってるかサッパリ。			
九州・沖縄	半日講習	施工	講師の話し方 不評	もう少し声が聞きやすいと良い			
中国	一日講習	現場管理	講師 好評	基本テキストの講師の方はスピード等、非常に分かりやすかった。		講師 好評	
中部	半日講習	現場管理	講師 好評	講師の方の説明がとても分かりやすかったです。			
中国	一日講習	現場管理	講師 好評	講師の先生の説明大変よかったです。			
九州・沖縄	半日講習	その他	講師 好評	説明、解説が分かりやすかったです。			
中部	半日講習	設計	講師 好評	先生の説明が丁寧で良かった。重要部分は説明があったので良かった。質疑応答があるとなお良かった。			
関東	半日講習	設計	講師 好評	先生の説明がとてもわかりやすく、ていねいで良かったです。次回設計講習も受けてみようと思いました。			
近畿	半日講習	施工	講師 好評	先生の話がわかりやすかった。			
関東	半日講習	設計	講師 好評	とてもわかりやすかったです。講義は現場の話をおりまぜて頂き、現実に則したお話しで興味を持ってお聴きすることができました。次回あれば授業に又でたいです。(11-6:特に設計者がしっかりといていないと、現場でなめられると思います。施工現場の実際のやり方を聞いて良かったです。現場の話ごと、設計者に大切だと再認識できました。)			

施工					要望・意見などー受講中の態度・マナーについて	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目	
中部	半日講習	その他	態度・マナー 受講者	終了審査中は静かにしてほしいです。色々な方の声が大きかったです。	態度・マナー 受講者	

施工					要望・意見などー省エネ施工についての理解を求めたい対象について	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目	
関東	半日講習	その他	いろんな人	関わる全ての人と客	いろんな人	
四国	半日講習	現場管理	いろんな人	住宅の断熱性能の必要性がよくわかった。また納まりなどもわかりやすかった。住宅の断熱性能の必要性を施主や工務店等にもっと広めてほしい。		
九州・沖縄	半日講習	設計	大工、職人、施工者、現場管理者	予習していない工務店は、施工の時に対応できるのか本当に不安。当社の大工でも高気密、高断熱に関して無理解が多数で、どうやって理解して頂くかが課題です。	大工、職人、施工者、現場管理者	
中国	一日講習	施工	大工、職人、施工者、現場管理者	現場監督の方々にも講習に参加していただいて、どれだけ施工に時間と手間がかかるのか感じてもらいたい。ハウスメーカーとかでも講習してみたらいいと思う。		
関東	一日講習	現場管理	大工、職人、施工者、現場管理者	現場施工者の義務付化を望みます。		
関東	半日講習	施工	大工、職人、施工者、現場管理者	家の断熱性を上げるのは、とても大事だと思う。これを行うには、工程に余裕をもたせて現場施工者にしっかりしてもらうことも大切だと思う。現場の意識改革も大切だと思う。		
北陸	半日講習	現場管理	大工、職人、施工者、現場管理者	限られた時間ですが、現場に従事する人は改めて見直してみることも必要だと思いました。		
北陸	半日講習	施工	大工、職人、施工者、現場管理者	職人さん達が講習うけても、大変わかりやすい講習だと思います。		
中部	半日講習	その他	大工、職人、施工者、現場管理者	施工業者各自個人の勉強が必要。この業界の悪いところで、すべて外注・メーカーまかせでいるところ。		
九州・沖縄	半日講習	その他	設計者、監理者	普段、施工は行っておられないので、一部回答はしていません。私は開口部の製造・販売を行っておりますが、こういった形で施工者（設計・管理）の方々への啓発等の活動が、これからの省エネルギー化、断熱化推進には最重要と考えます。私達の立場としても、開口部を通じて断熱化に向けて寄与していきたいと思っております。本日はありがとうございました。	設計者、監理者	
九州・沖縄	半日講習	施工	建主	施工後に壁への開口等を開けないよう施主（建築主）の意識（考え方）も変えていかないと、ZEH基準は満たせないと考える。また電気、水道工事などのZEH施工の認識は全くなく、配線や管の逃げなどの打ち合わせを密に行う必要がある。現実的には不可能に近い。	施主	

施工					要望・意見などー制度、特定の工法・材料について	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目	
近畿	半日講習	施工	省エネ施策	寒冷地域での仕事が多いので断熱は重要になります。内窓設置等のエコポイント制度が増税後、どのようになるのか、注目しています。	省エネ施策	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	省エネ施策	今後、住宅省エネルギーにおいて、この講習を終了した者が施工できるようにすると、今後のエネルギーに関する事が広まると思う。		
東北	半日講習	現場管理	省エネ施策	一般住宅はもちろんですが、集合住宅などの部分も補助があればいいとも感じた。		
近畿	半日講習	現場管理	断熱施工	完璧には出来ないと。仮にちょっとしたミスを是正するのに、建て替えが必要な場合どこまで責任義務があるのか...	断熱施工	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	断熱施工	現場レベルの技術・知識の伝達をより正確に、スムーズにするために、方法を考える必要があると思います。		
中国	半日講習	現場管理	断熱施工	工法を自由に選べられるのは良い事だが、標準推奨工法として各取合など標準化して広めていった方がよく広がると思う。		
九州・沖縄	半日講習	施工	断熱施工	法（テキスト）通りに行かないような現場が多いのが現状。もう少し、逃げ道的な緩和が必要だと思う。		
中国	一日講習	その他	断熱施工	現場での施工をもっと参考にした上での施工方法もあるのでは。重複部分がありすぎるのかも、時間短縮。		
近畿	半日講習	現場管理	断熱施工	もっとやり易い方法を確立していかないと広がらないのではないかと。(例)ボードを貼ったらOKなど		
中部	一日講習	現場管理	特定の工法・2×4	2×4工法で施工している為、除外できる部分の要点をもうすこしまとめて欲しい。	2×4	
中国	一日講習	現場管理	特定の工法・2×4	2×4も詳しくしてほしいです。吹付工法の勾配天井が知りたかった。		
関東	半日講習	施工	特定の工法・RC	RC造マンションリフォームの仕事が昨今多いので、その場合における正しい断熱施工方法について学べたりしませんでしょうか？	RC	
近畿	半日講習	現場管理	特定の工法・材料	リクシルのスーパーウォール工法が1ページでも紹介したら、吹付断熱、天井、壁の施工、屋根、内壁	材料	
東北	一日講習	設計	特定の工法・材料	グラスウールのように施工において、衣服やヒフに着いてしまい支障をきたす場合がありますので、何か別な断熱材を開発して頂ければ助かります。		
中部	半日講習	施工	特定の工法・材料	もっと自然素材を活かした材料で住宅省エネルギーをする、できる流れを作っていただきたい。これらの仕様だと、断熱材を作るのが（製造するのに）まずエネルギーを使い、化学製品の建材でなければ家が出来なくなってしまうのが、自然素材をあつかう大工として、とても悲しい。もっと自然環境に対して自然素材を上手に使用した住宅が増えれば、本来の循環な		
近畿	半日講習	施工	特定の工法・材料	断熱材よりも早く遮熱材の使用を認めてほしい。		
関東	半日講習	設計	特定の工法・吹付	「現場発泡ウレタン」についても詳しく解説してほしい。	吹付	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	アクア（吹付）に関する内容の実際の映像（DVD）も見てみたい。自社の施工が合っているか確かめたい。		
近畿	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	グラスウールをみの断熱でなく、ウレタンや他断熱技術講習の受講講習はありませんか？		
九州・沖縄	半日講習	施工	特定の工法・吹付	現場発泡の受講を積極的に勧める。		
中部	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	充填断熱がメインの講習であったので、その他の吹付や吹込み等の施工のポイント等がもう少し詳しくあれば良いと思った。		
関東	一日講習	現場管理	特定の工法・吹付	セルローズの場合のもあれば受講してみたい。		
中部	一日講習	現場管理	特定の工法・吹付	現在の主流は、吹付断熱と外断熱工法なので、そちらの施工方法を中心に講習した方が良いと思う。		
北陸	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	断熱材のセルローズファイバーの施工に関する注意点が聞ければ尚良かったです。		
関東	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	断熱材の取付方（RW、GW）非常に大変になってきています。吹付断熱に移行していくものと思います。そうした場合はメーカー基準、特に防露の考え方等気になります。色々な断熱工法に対しての基準も必要と考えます。本日はありがとうございました。		
九州・沖縄	一日講習	施工	特定の工法・吹付	吹付断熱工法なのでほとんどの現場でグラスウールは使いません、他の断熱工法の長短をしりたい。		
関東	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	吹付断熱材について、もっと知りたかった。		
中部	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	吹付断熱の使用についても詳しく知りたい		
中部	半日講習	現場管理	特定の工法・吹付	吹付断熱の施工内容情報が欲しい。		
中部	一日講習	設計	特定の工法・吹付	現場発泡ウレタンの情報が少ないです。入手方法も多くありません。手間を考えるとグラスウール系よりも省力化できていると思います。（職人の個人差も少ない）情報が少ないのはなぜですか？		
近畿	半日講習	現場管理	リフォーム	リフォームの場合、既存の住宅の現状も考えながらの判断になるので、そこが難しいと思いました！	リフォーム	

施工		受講後の感想など(抜粋)			項目
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	半日講習	現場管理	(再)確認ができた	断熱施工について、標準的な講義ではありましたが、施工する上での注意点等を学び直せました。また、施工において、省略できる部分等もわかったので今後に生かしたいと思います。	(再)確認ができた
北海道	半日講習	施工	(再)確認ができた	再確認が出来た。	
関東	一日講習	その他	活用したい	4月から施工図を描く仕事をするので、今回の講習会で身につけた知識を忘れずに社会人になれればと思います。内容についてはとても分かりやすかったです。	活用したい
北陸	半日講習	施工	活用したい	大変勉強になりました。今後はしっかりと知識と技能を理解、習得し、現場や商談時に役立てられるよう努めていきたいと思う次第です。	
関東	一日講習	その他	活用したい	正しい施工方法が知れて良かったです。現場で施工の状況を確認したいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	その他	活用したい	正しい断熱材の施工の仕方がわかったので、就職してから今日のことを生かして作業をしていきたいです。	
中国	半日講習	その他	活用したい	断熱の細かい部分がよくわかりました。今後に生かしたいと思います。ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	活用したい	断熱性能を上げるためのチェックポイントがよく分かった。設計、監理の際に役立てていきたい。	
関東	半日講習	施工	活用したい	断熱施工の面で改めて勉強ができ、参加して良かった。早速現場で活かしたい。	
関東	半日講習	その他	活用したい	本日はありがとうございました。施工業者ではないため、難しい講習でしたが勉強になりました。今後、現場で打ち合わせ等があった場合役立てていきたいと思います。	
中部	半日講習	その他	活用したい	現場に行った際は本日の事を中心にみたいと思います。	
関東	一日講習	その他	活用したい	現場の施工についてとてもわかりやすく、実際に現場に出て見学してみたいと思った。	
北陸	半日講習	設計	活用したい	今回の講習会の内容を頭にいれまして、設計、また現場の監理にとりくみたいと考えています。	
関東	半日講習	その他	活用したい	知らないところを知ることができてとても良かった。今回知ることができたことを今後にかかしていきたい。	
東北	一日講習	現場管理	活用したい	なかなか徹底した施工ができない所がありましたが、見直し乍ら参考にして施工管理をしていきたい。意義ある講習でした。	
中国	一日講習	施工	大事だとわかった	大変勉強になりました。手間をかけてもやっていく価値があると思いました。	大事だとわかった
関東	一日講習	設計	大事だとわかった	基本的には設計側にいるのですが、実際の現場やつくりをちゃんと理解できていないと図面がかけない、提案もできないと改めて実感しました。もっと勉強したいと思います。	
中国	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	大変勉強になりました。講習内容を持ち帰って、自社で共有いたします。	参考・勉強・為になった、役立つ
関東	半日講習	施工	参考・勉強・為になった、役立つ	職種が少し違うため、内容全てを仕事に生かすことはできませんが、今後の仕事の進め方の参考になれば、又、組合の加入者に省エネ住宅技術のアドバイスができればと思い講習を受けさせていただきました。ありがとうございました。	
東北	半日講習	施工	参考・勉強・為になった、役立つ	半日の中で気密、断熱について詳しく話しを聞くことができてよかった。この講習から見直さなければならぬ点を社内での議題とした。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	省エネ関連のことについて施工の視点で知れたことが良かった	
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	省エネを目指すにあたって、どのような工夫を行っているのかを知ることができた。	
北陸	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	あまり木造の建築物にたずさわることがないので、本日は良い勉強になりました。	
近畿	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	今ちょうどZEHの勉強をしていたので、頭の中で省エネや断熱のことがまとまりました。すごい勉強になったので良かったです。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	今後、木造の建築物にも携わっていくため、勉強になりました。	
中国	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	ここまでしっかりと断熱したら、”冬あたたかく夏すずしい”家になるだろうと思った。	
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	今まで断熱材等をどのように充填しているのかわからなかったもので、とても参考になった。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	営業として仕事をしていますが、断熱のこと等詳しく学べたので、とてもためになりました。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	お客様への説明がよりわかりやすくてできそうです。ありがとうございました。	
中部	半日講習	未回答	参考・勉強・為になった、役立つ	今日の話を開けて、今後の施工に為になります。	
関東	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	今日はありがとうございました。省エネ、断熱の施工方法として勉強させていただきました。これからチェックしていくことがわかった気がします。ちゃんとした施工方法で、施工していき、数字等クリアできていけたらいいなと思います。	
四国	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	現場管理職として、正しい断熱の施工方法を学べたのは良かったです。また講義も分かりやすかったです。	
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	現場ではないので難しかったですが、勉強になりました。	
近畿	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	現場を確認する際の勉強になり良かったです。	
四国	半日講習	施工	参考・勉強・為になった、役立つ	講習会は自分で仕事をしてきたことに対して反省にもなり、また勉強にもなってよかった。	
東北	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	再度、施工方法を確認する上で勉強になった。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	自己啓発の為受講しましたが、いい勉強になりました。	
関東	半日講習	施工	参考・勉強・為になった、役立つ	仕事の面でためになりありがとうございます。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	事前に勉強したが抜けている部分が多く為になりました。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	自分の会社の施工方法しか知らなかったもので、正しい施工や様々な方法を教えていただいたので非常に勉強になりました。	
四国	一日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	住宅省エネルギー技術について興味深く受講できました。ありがとうございました。	
東北	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	省エネ施工に関する知識や、現場でそのまま使える知識を学ぶことが出来ました。	
関東	半日講習	施工	参考・勉強・為になった、役立つ	知らなかったことが開けた感じです。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	施工現場に行く機会が無く、わからない点を知ることが出来ました。	
関東	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱に関して、あまり知識がない中で受講しましたが、基本的な部分は理解できたと思います。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱に対して勉強になりました。(施工方法に対して)	
北陸	一日講習	未回答	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱について少し理解が深まった。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱についての知識があまりなかったもので、この機会に講習を受けることができてよかった。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱の施工方法について基礎を理解することができた。	
東北	一日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱の理解が全然分からない状態でしたが、今日の講習を終えてどういふものなのか理解できました。今後使っていく事なので忘れずこれからは活かしたいと思います。	

九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱方法について、あいまいな知識しかなかったのですが、今回の講座で色々とはっきりする所が多くありました。分かりやすい解説をありがとうございました。	参考・勉強・為になった、役立つ
近畿	半日講習	現場管理	参考・勉強・為になった、役立つ	長いお時間ありがとうございました。現場監督として知識が増えて良かったです。	
東北	半日講習	未回答	参考・勉強・為になった、役立つ	普段の断熱材に関する仕事の作業の仕方などが、とても役に立った。お客様のためにもしっかりと施工できるようにしたい。	
東北	半日講習	未回答	参考・勉強・為になった、役立つ	本日の講習を参考に、私自身の営業にいかしたいと思います。	
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	まだ一年目で分からないことが多く、今日の講習で少し分かり始めたので自分には勉強になった。	
九州・沖縄	半日講習	施工	参考・勉強・為になった、役立つ	まだ建築業界に入って半年ほどですが、初めに正しい施工方法が知れてよかったです。	
四国	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	まだ大工始めて5ヶ月くらいなのでよくわからないかったけど、いい情報だった。	
中部	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	私は設計の仕事始めて2年目なので知らなかったことが多く断熱材の施工のやり方は知らなかったのでとても参考になったと思います。	
四国	一日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	とても大切な知識なのでしっかり身につけたいです。	継続的に学ぶ、また参加したい
近畿	半日講習	施工	継続的に学ぶ、また参加したい	また機会があれば受講したい。	
九州・沖縄	半日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	やはり勉強し続けることが大切だと思いました。	
近畿	半日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	忘れかけた頃、又お願いします。	
九州・沖縄	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	現場を見たり、今回いただいたDVDを拝見したりして、理解を深めたいと思います。本日はありがとうございました。	
中国	一日講習	現場管理	難しかった、わかりにくかった	なかなかむずかしかった！	難しかった、わかりにくかった
九州・沖縄	半日講習	現場管理	難しかった、わかりにくかった	まだわからないことが多いので、少しむずかしかった。	
九州・沖縄	半日講習	その他	難しかった、わかりにくかった	全くわからない状態で参加したので、難しいと感じる前の段階でアンケートも自分に合うものがなく、答えられませんでした。ある程度知識がないと参加してはいけない講習会だったと感じました。	
中部	半日講習	その他	感謝・よかった	講習を終えて、全く学習しないことばかりで不安だったが、合格出来て一安心した。今日はありがとうございました。	感謝・よかった
東北	一日講習	施工	感謝・よかった	少人数にもかかわらず、出張講義、誠にありがとうございます。	

質問 2 3 講習会の内容等について、ご意見、ご質問があればご記入下さい。

②設計者講習

●自由記述によって回答された講習会の内容等についての意見、質問を以下の項目に基づいて整理した。また地域と職種が判別できるかたちで記述を一覧表に整理した。

設計者講習 講習会の内容等についての意見、質問	回答数	自由記述 有り %	回答 全体 %
質疑・指摘	49	5.0%	0.8%
○テキスト	12	1.2%	0.2%
○修了考査	2	0.2%	0.0%
○演習	5	0.5%	0.1%
○外皮性能基準	7	0.7%	0.1%
○一次エネルギー消費量基準	2	0.2%	0.0%
○仕様・簡易計算ルート	9	0.9%	0.1%
○申請、図書など	3	0.3%	0.0%
○その他	9	0.9%	0.1%
手間・コストについて	3	0.3%	0.0%
○設計手間増・コストその他	3	0.3%	0.0%
要望・意見など	548	56.3%	9.0%
●教材、演習、修了考査、アンケート	61	6.3%	1.0%
○テキスト	27	2.8%	0.4%
○修了考査	12	1.2%	0.2%
○演習	17	1.7%	0.3%
○配布資料	3	0.3%	0.0%
○正誤表	2	0.2%	0.0%
●講習の内容、形態について	181	18.6%	3.0%
○読み上げ講習 不評	12	1.2%	0.2%
○要望 ポイントを絞った説明	5	0.5%	0.1%
○要望 DVD・パワーポイント等映像活用	12	1.2%	0.2%
○要望 具体例・実例による説明	7	0.7%	0.1%
○要望 実習・実演のある講習	29	3.0%	0.5%
○要望 新基準、関連制度の詳しい説明	6	0.6%	0.1%
○要望 質疑応答の時間確保	7	0.7%	0.1%
○要望 講習資料の事前配布	2	0.2%	0.0%
○講習内容等 要望	23	2.4%	0.4%
○要望 習得レベルに合わせた講習会	6	0.6%	0.1%
○要望 該当地域向け講習	2	0.2%	0.0%
○要望 講習会の次の開催、多数開催	4	0.4%	0.1%
○要望 他業種向け講習会	1	0.1%	0.0%
○要望 講習内容以外の説明	15	1.5%	0.2%
○講習内容等 不評	11	1.1%	0.2%
○講習内容の意義に疑問	6	0.6%	0.1%
○講習内容等 好評	24	2.5%	0.4%
○講習内容等 その他	9	0.9%	0.1%
●講習時間、時間割について	161	16.5%	2.6%
○講習時間が不足、説明速い	100	10.3%	1.6%
○講習時間がちょうどいい	5	0.5%	0.1%
○講習時間が長い	6	0.6%	0.1%
○要望 時間配分、カリキュラム、時間割	35	3.6%	0.6%
○要望 休憩時間	15	1.5%	0.2%

(つづき)

●講習会運営に関する事について	44	4.5%	0.7%
○広報・開催案内・内容案内・持参物案内	5	0.5%	0.1%
○開催時期・曜日	4	0.4%	0.1%
○講習会場 開催地要望	1	0.1%	0.0%
○講習会場 狭い	2	0.2%	0.0%
○講習会場 空調できてない	7	0.7%	0.1%
○講習会場 マイクなし、不調	11	1.1%	0.2%
○講習会場 暗い	3	0.3%	0.0%
○講習会場 その他不評	2	0.2%	0.0%
○講習会場 好評	2	0.2%	0.0%
○運営 その他	7	0.7%	0.1%
●講師について	69	7.1%	1.1%
○講師の話し方 不評	15	1.5%	0.2%
○講師としての資 不評	12	1.2%	0.2%
○講師の進行 不評	16	1.6%	0.3%
○講師 好評	20	2.1%	0.3%
○講師 その他	6	0.6%	0.1%
●受講中の態度・マナーについて	1	0.1%	0.0%
○態度・マナー 講師	1	0.1%	0.0%
●省エネ施工への理解を求めたい対象について	15	1.5%	0.2%
○いろいろな人	1	0.1%	0.0%
○大工、職人、施工者、現場管理者	6	0.6%	0.1%
○設計者、監理者	1	0.1%	0.0%
○建主	4	0.4%	0.1%
○その他の分野	3	0.3%	0.0%
●制度、特定の工法・材料について	16	1.6%	0.3%
○省エネ施策への批判的意見	8	0.8%	0.1%
○伝統工法	3	0.3%	0.0%
○特定の工法・材料	3	0.3%	0.0%
○リフォーム	2	0.2%	0.0%
受講後の感想など	287	29.5%	4.7%
○(再)確認ができた	10	1.0%	0.2%
○活用したい	21	2.2%	0.3%
○大事だと分かった	4	0.4%	0.1%
○今後が心配	4	0.4%	0.1%
○参考・勉強・為になった、役立つ	73	7.5%	1.2%
○継続的に学ぶ、また参加したい	18	1.8%	0.3%
○難しかった、わかりにくかった	29	3.0%	0.5%
○わかりやすかった	36	3.7%	0.6%
○感謝、よかった	91	9.3%	1.5%
○その他	1	0.1%	0.0%
特になし	87	8.9%	1.4%
自由記述有り 全体	974	100.0%	16.0%
回答全体	6,083	—	100.0%

講習会の内容等についての意見、質問 設計者講習

地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
設計 質疑・指摘－テキストの該当ページが分かるもの					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	一日講習	設計	質疑・指摘 テキスト詳細p011	・詳細計算ルートP.11の表「⇒本テキスト」と「⇒設計テキスト詳細計算ルート」記載が逆になっています。(上・下共)・通風の利用について、詳しく記載がほしかった。(1次エネ)・住宅向けによくまとめたテキストでした。	質疑・指摘 テキスト
近畿	未回答	設計	質疑・指摘 テキスト詳細p050	設計テキストのP.50出窓について、500以上ある場合の出窓の取り扱いが北・西・南の壁面の開口部として取り扱い、かつ北・南は壁のない開口部として取り扱うのか、一般的な解釈を示されたい。	
東北	一日講習	施工	質疑・指摘 テキスト詳細p085	設計テキスト(H30.4ver) ページ085の方位係数の件、暖房機の方位係数、南方位の数値がNEO0日射量データで計算すると次のようになります。1地域釧路1.341、2地域札幌1.176、3地域盛岡1.094、4地域仙台1.081、5地域小名浜1.111、6地域東京1.193、6地域大阪1.105、7地域福岡0.977となっております。この差の根拠をお知らせお願いいたします。	
東北	半日講習	設計	質疑・指摘 テキスト詳細p170	薪ストーブを暖房機とした場合の対応方法。P170機密性能の確保について。C値の基準値がなくなったので、一部の建設会社では、気密はしなくて良いという風潮があります。本当の意味で住宅の省エネ化を進めるなら、何らかのアナウンスは必要と思います。	
東北	一日講習	設計	質疑・指摘 テキスト仕様p10	テキストP010外皮面積計算仕様ルート:必要「定められている」、不要「求められる」→どちらも意味は通じますが「ら」と「ら」抜き。	
関東	半日講習	その他	質疑・指摘 テキスト仕様p110	配布したテキストP.110①天井0.17が間違っていると講師から説明があったが、根拠P.192に基づく正しいと思う。間違っているのか、いないのか確認した上で講習を実施して頂きたい。	
近畿	一日講習	設計	質疑・指摘 テキスト仕様p21	仕様・簡易計算ルートテキストP.21では、断熱材の熱抵抗値は「小数点第2位以下切り下げ」とありますが、各断熱材のJISやメーカーカタログでは「小数点第2位以下四捨五入」となっています。計算基準を合わせるべきでは。	
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 テキスト仕様p33	P033の表の基準で、ガラスの日射熱取得率が数値を満たさない場合はどうなりますか？ex庇がなくて0.74の場合など	
中部	半日講習	設計	質疑・指摘 テキスト仕様p41	仕様ルートを使った場合、Step3の設備機器のうち、給湯器でエコキュートは使用できないと言うことなのでしょうか？(P.41ガス給湯器であって…とあるの)	
近畿	半日講習	設計	質疑・指摘 テキスト仕様p78	Q1.P.78窓の入力の取得日射熱補正係数0.700と0.600が？です。規定値(P.94)にはない数値ですが…。Q2.テキストP.111と調査問題の暖房期の平均日射熱取得率 η_{AH} の小数点第2以下「切り下げ」が表現が違うのはなぜですか？	
北陸	半日講習	設計	質疑・指摘 テキスト仕様p139	初めて本を見るのに話が飛ばしすぎだと思います。もっと分かりやすいとこだけ話してほしいです。P139定格炉房いるのは、カタログ若しくはHP上で型式ごとに出てくれるメーカーもあります。そのコピーも申請時添付すれば良いと思いま	
近畿	一日講習	設計	質疑・指摘 正誤表	正誤表をいただきましたが、P.103が誤りで、P.127が正です。	

設計 質疑・指摘－修了考査について					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
九州・沖縄	半日講習	設計	質疑・指摘 修了考査	修了考査の問題1-7は、下地材の仕様を書いた方が良いかと思えます。	質疑・指摘 修了考査
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 修了考査	工法別に施工方法の標準化が必要。将来の増改築を考えると、多少オーバースペックでも仕様を規定した方が、現実的と考える。文章問題No.6について。P.51では図1で「床断熱」の場合を例示されていて、図2では外周の周長のみと示されているので誤解をまねくのでは？この点講義できちんと説明してほしい。	

設計 質疑・指摘－演習について					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
東北	半日講習	設計	質疑・指摘 演習・計算	⑤の解答は、4.07では？	質疑・指摘 演習
中部	半日講習	その他	質疑・指摘 演習・計算	A10とA6がよく分かりませんでした	
近畿	一日講習	設計	質疑・指摘 演習・計算	演習・テスト共に床下の温度差係数が0.7ですが、1.0ではないのでしょうか？基礎(外気側断熱)？のため。	
関東	半日講習	その他	質疑・指摘 演習・計算	演習問題の⑧外皮平均年貫流留率の求め方は、テキストでは63ページに最終的に四捨五入と書かれていますので、 $UA=q/\Sigma A=258.9/330.00=0.784545$ で $UA=0.78[W/(m^2\cdot K)]$ ではないですか。(解答)では、 $UA=0.79[W/(m^2\cdot K)]$ と「切り上げ」で計算してあります。詳細計算法ですので、四捨五入が正しいのではないですか。	
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 演習・計算	簡易計算ルート問題⑥※四捨五入して少数第4位として下さい。とあるが、テキストP.91は4位以下を四捨五入して、第3位までとなっているが…。	

設計 質疑・指摘－外皮性能基準について					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
北陸	半日講習	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	Raの選択をする際の空気層の厚さは、なぜ「cm」なのか？	質疑・指摘 外皮性能基準
中部	未回答	未回答	質疑・指摘 外皮性能基準	外皮計算熱貫流率の計算において、基礎高さがGL+400mmを超える場合の扱いはどのようにすれば良いのでしょうか？超えた分は、断熱の方式がどんなものでも詳細な計算をしなければならぬのでしょうか？	
中国	半日講習	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	外皮計算プログラム、どこかを利用すれば良いのでしょうか？今回テキストで紹介されていたもの以外でも良いのでしょうか？	
関東	半日講習	その他	質疑・指摘 外皮性能基準	外壁の構成において密閉空気層と認められるためのポイントを教えてください。(上端、下端の気流止めの設置でしょうか？)	
北陸	半日講習	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	基礎計算で $1\Psi = 1.80 - 1.36\{R1 \times (H1+W1) + R4(H1-H2)\}0.15$ とありますが、最後の0.15の計算の仕方が分かりませんでした。計算ではない方の説明が分かる人向けすぎて、なぜそうなったのか分からない事が多かったです。	
中部	半日講習	現場管理	質疑・指摘 外皮性能基準	空気密閉層は胴縁ではなく、柱105に対して断熱材90のため、隙間が15ミリある部分を空気密閉層15ミリと言っていると思いますが？	
関東	一日講習	設計	質疑・指摘 外皮性能基準	熱損失は部位別に違うのに、UAを求めるのにそれが考慮されないのが疑問に思う。	

設計 質疑・指摘－一次E消費量基準について					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	半日講習	設計	質疑・指摘 一次E消費量基準	・薪ストーブ、ボイラーの扱い、計算。・真壁仕様にするには？	質疑・指摘 一次エネルギー消費量基準
東北	一日講習	設計	講師の話し方 不評	<意見>早口で聞き取りにくい場面がありました。また、誤読しても言い直さなかったため、テキストを見直ししてしまいました。<質問>ポーチに人感センサーがついている場合、非居室に含まなくても「採用する」にしてもよろしいのですか？	

設計 質疑・指摘－仕様・簡易ルートについて					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
近畿	半日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	ありがとうございます。ガラスの日射取得型と遮蔽型の意味(使い分けなど)が知りたいです。	質疑・指摘 仕様・簡易 ルートにつ いて
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	開口部比率によって結果が左右されないのが不思議。ルートが何種類も出来てしまうので、もう少しぼって選択しやすいようにした方がよい。各ルートの中にやり方が細かく分かれすぎて、自治体が混乱するのでは…。	
九州・沖縄	一日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	開口部比率の外皮には界床、界壁等も含むのか気になった。3F建てのアパートなどの計算例などがあると良かったと思います。	
九州・沖縄	半日講習	その他	質疑・指摘 仕様簡易ルート	簡易計算で、8地域のηAH値を算出方法は、ありますか？簡易計算では、浴室部の断熱は必須でしょうか？また、床下の空気に接しているのみの時は、③で計算できますか？	
中部	半日講習	現場管理	質疑・指摘 仕様簡易ルート	簡易計算ルートでUA、ηACを出して省エネ基準(等級3)の可否は出るとして、一次エネルギーBEIがどうなれば良いのが分からなかった。	
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	住宅の床面積を求める際、その他の居室と非居室に半分ずつ入っているような収納はどちらに入れたら良いですか？きれいに分かれるように、半分ずつに分けても良いですか？	
九州・沖縄	半日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	仕様ルートはS造等では使えませんか？	
九州・沖縄	半日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	リビング等の主室を大きくすると、エアコン等も大容量となる。省エネにどう影響が働くのか？夏の為に屋根に発泡フォーム+冬の為に天井グラスウールを行っています。(屋根裏は換気ガラリを使用)計算法に活かされますか？	
中部	半日講習	設計	質疑・指摘 仕様簡易ルート	短時間でしたが、参考になりました。違った仕様のパターンなども扱っていただけると嬉しいです。以下1点疑問点があります。よろしければご教授ください。■UA値〇で地域〇だと、外気温〇℃の時室温〇℃、といったことが分かる表や計算式などはあるのでしょうか？	

設計 質疑・指摘－申請、図書などについて					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
東北	半日講習	設計	質疑・指摘 申請、図書など	今回習った事が具体的にどのような制度や申請に必要なようになってくるのか、省エネについて今後どのような法整備が進められるのかも知りたいです。	質疑・指摘 申請、図書 など
九州・沖縄	半日講習	設計	質疑・指摘 申請、図書など	小住宅の確認申請時、これらの計算が必要になりますか？特別、申請(最良、省エネ住宅等)の必要がなければ従来のままで良いか？気になります。性能アップ=値が上がる。これが高齢者、低所得者には問題です。結論がでるのはいつになるのでしょうか？←確認申請について⇒解答いただけませんか？	
東北	半日講習	設計	質疑・指摘 申請、図書など	申請方法が知りたい。	

設計 質疑・指摘－その他					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中部	半日講習	その他	質疑・指摘 その他	・よりよい断熱性能を、いかに低コストで仕上げるか、ぜひ知りたいです。(軽井沢地域など)・お二人共に丁寧な講習ありがとうございました。	質疑・指摘 その他
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	1.外国は、日本のように省エネをここまで進めているのか知りたい。2.でも、日本人としては、決めたことは守りたい。よって、他国が同様な基準を設けるよう強く要望してほしい。	
九州・沖縄	半日講習	その他	質疑・指摘 その他	環境工学で学んだ知識にさらに上乗せして学ぶ事ができた。質問ですが、長大で1日講習が行われなかった理由は何ですか。	
中国	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	玄関の内側に断熱材が立ち上がった時に框、巾木等より断熱材の方がふく場合の良い納り方法があれば知りたい。(図あり)	
近畿	一日講習	設計	質疑・指摘 その他	土間部分の断熱方法の詳細が分かる資料はないでしょうか(図あり)OKか？庇は屋根と考えて良いのか？その時軒先と見ていいのか？	
中部	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	防湿層、通気層の省略方法があります。実際はどうか(現場として)教えていただきたいです。また、省略するならばどの方法が一番良いのでしょうか？定常計算や、内部結露汁等	
関東	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	RC造、S造についても詳しく知りたいです。→現状の計算方法は詳細のみですか？今後簡易計算でできる予定はありますか？	
中部	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	一次エネルギーのプログラムは、たしかにPC上でやれば良いが、講義もPCを使って実際にやってほしい。又、自習となる部分で気になる部分、わからない部分はどこに聞いたり相談したらいいのか。テキスト発行元ですか？政策の玄関ドア、FIXはどうなりますか。	
九州・沖縄	半日講習	設計	質疑・指摘 その他	・一回だけでは頭に入ってもすぐ忘れる。・2020年からは義務になるのか？	

設計 手間・コストについて					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中国	半日講習	設計	手間・コスト その他	家を建てる、リフォームする時に断熱工事は優先順位は低いのが現状です。無断熱に近いような断熱材を使用して、価格を抑えているハウスメーカーもあります。もっと性能を重視して、皆が快適に過ごせる家をつくっていかないといいけません	設計手間増 コスト増
九州・沖縄	半日講習	現場管理	手間・コスト その他	建築は予算が有り建築可能となるが、省エネ基準で施工すると予算不足が生じる。2020年問題は、なかなか建築着工、手持金500万位持ってないと難になるだろう。	
九州・沖縄	半日講習	設計	手間・コスト その他	建物のコストもあるので簡易計算ルートだけではなく詳細計算も勉強しムダのない設計が必要だと感じた	

設計 要望・意見などーテキストについてその他					
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	一日講習	設計	テキスト詳細 要望	・モデルプランの計算例は、複数ほしい(屋根、地下、風除室、屋上など※木造以外)・具体的に何をしてほしいのか。何を提出する必要があるか。図面や表の例が知りたい。・「外皮性能の計算」説明の時間を長めにとってほしい。	テキスト 要望
関東	一日講習	その他	テキスト詳細 要望	ウェブサイトのテキストがPDFでダウンロードできるようにしてほしい。ダウンロードはできるが、空白ページができてしまった。講習の内容でなくて、すみません。	
関東	半日講習	設計	テキスト詳細 要望	テキストの後ろのページに用語の目次があると便利	
関東	一日講習	その他	テキスト詳細 要望	テキストの使い方、見方を特に教えて頂けると思いました。テキストはわかりやすいですが、情報が多いので探すのが大変でした。	
関東	半日講習	その他	テキスト詳細 要望	テキストの内容に、小数点以下の取扱いの一覧があると助かります。(まとめて)	
九州・沖縄	半日講習	その他	テキスト仕様簡易 要望	一次エネルギー消費量計算については別冊にすべきでは。また、内容も実際の画面を見てないで説明は無理と思える。	
北海道	一日講習	設計	テキスト仕様簡易 要望	「〇〇行目」という説明がしやすいように、行数がテキストに記載あると分かりやすいと思います。	
東北	一日講習	設計	テキスト仕様簡易 要望	簡単なテキストを検討ください	
関東	半日講習	その他	テキスト詳細 不評	テキストが初めて計算に取り組む人向けではないと感じる。順番がごちゃ混ぜだと思う。講師の方の扱う言葉がテキスト通りでないことがあり、正しく伝えた方がより良いと思う。(×冷房期の平均日射取得率→〇冷房期の平均日射熱取得率)	テキスト 不評
中部	半日講習	その他	誤植多い まちがい多い	テキストの誤字、脱字がはずかしい	
中部	一日講習	現場管理	誤植多い まちがい多い	テキストは完璧なモノを出してほしい。訂正が多すぎる。	
中部	一日講習	その他	テキスト詳細 表など探しづらい	テキストのグラフが見にくい。外皮性能の計算を説明する際、材別のページを案内してくれたが、非常に分かりづらいため、別紙で早見表を作ったりする等しないと初めて計算する人間には難しいと思った。(資料編は別紙でもいいので)	
関東	半日講習	設計	テキスト詳細 表など探しづらい	外皮計算で引用する数値が、テキストのどこに書いてあるのか探すのに苦労しました。必要な数値がまとまったページやリストがあると分かりやすいかと思います。また、時間が短かったせいでしょうか、前半の説明が早すぎて、内容を理解するのが大変でした。もう少し、テキストの内容を要約するなどしていただければ…。	
九州・沖縄	半日講習	設計	テキスト仕様簡易 表など探しづらい	計算の流れに即したテキストがあれば感じた。数字の一つがどこからの数字なのか分かれればもっと理解が早かったかもしれない。	

関東	一日講習	設計	テキスト 好評	外皮計算はテキストも解説も分かりやすく、理解ができました。最新の省エネに対する考え方を学ぶことができたと思います。	テキスト 好評
九州・沖縄	半日講習	設計	テキスト 好評	詳細計算の方法が非常に分かりやすくテキストの絵なども非常に理解しやすかった。実務の方でも教えていただきたいと思った。	
中部	半日講習	その他	テキスト 好評	大変参考になりました。基本事項の確認、習得には分かり易いテキストであると思います。今後の実務に活かしていきます。	
中国	半日講習	現場管理	テキスト 好評	大変分かりやすかったです。テキストも分かりやすいです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	テキスト 好評	テキストが詳細について分かりやすくまとめられていて、外皮計算を初めておこなう方にも取り組みやすい内容でした。	
関東	一日講習	設計	テキスト 好評	テキストがとても分かりやすく、参考になりました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	テキスト 好評	テキストが非常にわかりやすく、実務でも見直して使いたい。良い資料をありがとうございます。	
関東	半日講習	設計	テキスト 好評	テキストは良くまとまっており、自習可能なほどであった。講師の方は、丁寧に説明されていた。内容が多いので走っていた。実務を通じて得た知見を所々に話されていたが、とても参考になった。もっと聞きたいと思った。	
九州・沖縄	半日講習	設計	テキスト 好評	わかりやすいテキストなので、今後活用したいです。講師の方、ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	テキスト 好評	私も外皮・一次エネルギー計算とも教える立場になったりしますが、この講習で配布されるテキストが一番良いと思います。講師の方の話し方も聞き取りやすく良かったと思いました。	
関東	一日講習	設計	テキスト 好評	独自に情報を集めて計算をしていたので、とても分かりやすいテキストで講義も分かりやすかったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	テキスト 好評	情報収集がこれまでインターネットからだったため、テキストにより様々な条件での対応ができると思った。	
中部	半日講習	設計	テキスト 好評	講義では難しいと感じていたところが多かったのですが、演習で実際の計算に少し触れてみて、今回のテキストがあれば「できる」と納得できました。ありがとうございました。	

設計		要望・意見などー修了考査			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	半日講習	設計	修了考査 不評	考査問題が簡単すぎて、何の練習にもならなかった。	修了考査 要望
関東	一日講習	施工	修了考査 不評	考査問題の解説は不要	
北陸	半日講習	設計	修了考査 不評	考査を易しく	
近畿	半日講習	設計	修了考査 不評	最終の考査問題解説は必要？	
関東	半日講習	その他	修了考査 不評	終了考査、演習問題とテキストの構成がリンクしておらず、必要に分かりにくい。慣れてしまえば問題はなかったが、もっと書類など(公的)の書式とリンクさせた編集の方が分かりやすい。	
九州・沖縄	半日講習	その他	修了考査 不評	終了考査の○×問題に出てきた「陰して」の意味が分からなかった。10のように「割って」などの言葉にしてほしい	
近畿	半日講習	その他	修了考査 不評	短時間で分かりやすく説明していただきました。解答用紙の記入の仕方に、戸惑いました。	
北海道	一日講習	設計	修了考査 不評	普段触れない内容で、とても勉強になりました。試験簡単すぎます。	
関東	半日講習	設計	修了考査 不評	問題用紙の枚数、筆記用具の種類etcの説明はいらなかったでしょうか。	
北海道	一日講習	設計	修了考査 好評	考査は良問だったと思います。ポイントがよくおさえられて。講師の方も良かったです。	
北陸	半日講習	設計	修了考査 好評	実際に、演習問題や考査問題を通して、考える事ができて良かったです。ありがとうございました。	
中部	半日講習	設計	修了考査 その他	考査の目的	修了考査 その他

設計		要望・意見などー演習			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中国	半日講習	設計	詳細演習 要望	演習問題と修了考査は、ひとまとめで十分ではないでしょうか？テキストを丸読みするような感じの講習で、あまり頭に入っていく感じがしなかった。	演習 要望
北海道	一日講習	現場管理	詳細演習 要望	演習問題を多くして欲しい。	
近畿	半日講習	設計	仕様簡易演習 要望	・参照する各図表等の記載ページの入った例題が欲しい。(簡易計算ルートも)・演習問題を中心に進めた方が良いのでは？	
関東	半日講習	設計	仕様簡易演習 要望	演習がもう少しあると良い	
関東	半日講習	設計	仕様簡易演習 要望	演習のレベルを上げ、もう少し時間をとった方が良いと思いました。ありがとうございました。とても参考になりました。	
近畿	半日講習	設計	仕様簡易演習 要望	演習方式の方が理解し易いと思います。	
九州・沖縄	半日講習	設計	仕様簡易演習 要望	・演習問題の割合を増やした方が、理解ができると思います！！	
北海道	一日講習	その他	仕様簡易演習 要望	計算問題、解答をいただきかったです。	
近畿	一日講習	設計	仕様簡易演習 要望	考査問題で⑥～⑧の答が次ページに記載されていたので、そこも⑥～⑧にした方が良かったのでは…。	
関東	半日講習	その他	仕様簡易演習 要望	計算に関しては演習をもっと行ってもらわないと自身の理解度が途中で分からないため演習問題を増やしてほしい。第2部の「一次エネルギー消費量計算」に関しては時間が足りず理解できないスピードであった。主たるところだけでも丁寧に説明してほしい。	
近畿	一日講習	設計	詳細演習 不評	演習解説が雑。	演習 不評
中国	半日講習	設計	詳細演習 不評	特になし。計算で穴抜けの表は逆算したら公式使わなくても答え出るのは意味ない気がします。	
四国	半日講習	現場管理	仕様簡易演習 好評	初めての簡易計算だった為、表から数値を読み取りすること自体が理解できなかったが、演習問題とテキストを見比べ何度か試みることで理解ができた。計算式に関しては、もう少し踏込んで学習したいので、半日では少し短く感じました。	演習 好評
中国	半日講習	設計	詳細演習 好評	演習等もあり、分かりやすくて良かったと思います。	
北陸	半日講習	その他	詳細演習 好評	とても難しかったですが、演習問題で理解ができました。	
中国	半日講習	その他	詳細演習 好評	自分には内容が難しく、時々ついていけなくなったりフリーズしてしまいましたが…。演習問題をやることで、自分の分かっていない所が分かって良かったです。	
近畿	一日講習	設計	演習 その他	計算問題は、設計職の必要技能でしょうか？問題を作成しにくいとは思いますが、よろしく願います。	演習 その他

設計					要望・意見などー他の資料・説明の要望、アンケート
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
九州・沖縄	半日講習	施工	新たな資料など要望	仕様ルート、簡易計算ルート、詳細計算ルート、いずれにしても設計図書フォーマットを作っていただきたい。設計者もだが、ある程度のルールを作らないと検査、審査側の作業が大変そうです。	新たな資料など要望
東北	半日講習	設計	新たな資料など要望	実際の業務での是正・質疑等の内容を、講習会の資料としてあれば良いのではと思う。(確認申請等に提出した場合等)	
関東	半日講習	設計	新たな資料など要望	非常に分かりやすい講義だった。ただ仕様ルートは細かい数字を扱わずに、物を選択すれば数値が選択されるExcelなどがあれば良いと思った。	

設計					要望・意見などー他の資料・説明の要望、アンケート
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
近畿	一日講習	設計	正誤表 要望	・正誤表の図が見えにくいので、HPで見えることはできますか？・考査が簡単すぎます。	正誤表 要望
近畿	一日講習	設計	テキスト 好評	正誤表がテキストに貼れるようになっていて便利です。(講習の時に正しいテキストで学べる)	

設計					要望・意見などー講習の内容、形態について
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	半日講習	その他	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げているだけの時間が多く、具体的な内容が乏しかった。	読み上げ講習 不評
関東	半日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げる講習は、ネット等でも受講は可能では。時間をお互いに有効に使える方が良い。	
関東	一日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読みあげるだけならWEBで良い。人に聞かせる講義ではない。ありがとうございました。	
関東	半日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読みあげるだけなら講習会にする必要はないと思う。テキストに沿いつつ補足説明や実務的な内容が知りたい。	
関東	未回答	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読み上げるのみで、内容としては他の講習と比べるとあまり満足ではない。	
九州・沖縄	半日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけ…。眠たくなります。楽しい講習をお願いします。	
東北	半日講習	設計	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけなら、講師の方は聞きやすい声の方が良いです。読むだけでなく、大事なところだけかみ砕いて説明してほしいと思います。	
四国	半日講習	その他	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの講習では頭に入らない。もう少し講習内容に工夫がほしい。	
北陸	半日講習	現場管理	読み上げ講習 不評	テキストを読むだけの講習は減らして、演習を増やして実務に近いものがない。	
関東	一日講習	その他	読み上げ講習 不評	口頭論での講義だったので、分からないまま次に話が進んで知った	
東北	一日講習	その他	読み上げ講習 不評	一方的な講義ばかりではなく、話し合いやお互いの聞き取りや質疑応答の中で進める方法も取り入れて進めるべきだと思う。終了考査で合否の判定ではなく、どれだけ(住宅の省エネを)理解を深めてもらうことが大切なことである。	
関東	半日講習	その他	読み上げ講習 不評	毎回思いますが、テキストを読むだけの講習なら本を配布して終了してほしい。もう少し、人をひきつける講習をお願いしたい。本を棒読みの講師は、いらないと思う。	
関東	半日講習	設計	要望 ポイントを絞った説明	一次エネルギー計算は建研ホームページでも分かるので、もう少し時間とポイントを絞り、外皮計算に時間が欲しかった。	ポイントを絞った説明
関東	一日講習	設計	要望 ポイントを絞った説明	もう少し、要点を押さえた講義をして頂ければ幸いです。	
近畿	一日講習	現場管理	要望 ポイントを絞った説明	説明が、わかりにくかった。	
近畿	半日講習	その他	要望 ポイントを絞った説明	説明がざっくりしすぎていて、分かりにくかったです。テストに出るところを言ってくれたので良かった。	
北陸	半日講習	その他	要望 ポイントを絞った説明	前半の講習がボリュームが多かったためかスピードが早かったため、重要箇所をピックアップし、もう少し詳しい説明があると良かった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	DVD講習で良かったのではないのでしょうか？	要望 DVD・パワーポイント等映像活用
九州・沖縄	半日講習	現場管理	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	考査の必要性はあるのか？読み上げだけの講習会であれば、資料とDVDでよいのではないのか？プロジェクターを使用して、より理解を深める様に。	
中国	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	プロジェクター等を使って、具体的な製品等(特に設備)を使用すると、どれぐらい省エネになるのかシミュレーション等して頂けると、理解が進むと思われる。	
近畿	一日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	文章(テキスト)読み上げだけでなく、スライドなどを使い分かりやすく説明すべき。	
関東	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	計算式を、モニターを使って、講義してくれると、分かりやすいと思います。	要望 DVD・パワーポイント等映像活用
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	テキストがプロジェクター等で映し出されると、どの部分を読み上げているのか分かりやすいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	とても分かりやすかったのですが、プロジェクターなどを使って画面を見ながらなら、より分かりやすかったかと思えます。進みが速かった為、表や数字等が追えなくて大変でした。	
中国	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	間に演習を入れてほしい。テキストを読んでいるだけで、分かりにくい。プロジェクター等で説明も入れてほしい。	
中部	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	もう少しホワイトボードに書きながら、とかにしてほしい。しゃべっている事をテキストの中から探すだけでよく分からないまま進んでいくので。	
関東	半日講習	その他	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	口頭説明だけではわかりにくいと思います。ホワイトボードなどがあると良い。実際にパソコンに入力してやりながらの講習もあると良い。(後で各自ダウンロードしてやれと言われても、実際にやる人は少ないような気がします)	
関東	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	もう少し講習に自由度があってもいいのでは、と思います。内容を統一するためにテキストを読んでいくスタイルなのですが、内容の重要な部分(例えば、外皮計算式や熱橋の扱い方など)については、必要に応じて板書などにしてもいいのではと思います。講習に来ている目的は考査に受かるためではなく、実務の役に立てるためなので、より分かりやすい方法で教えてもらえると有難いです。	
関東	半日講習	設計	要望 DVD・パワーポイント等映像活用	講習は、話のみで進みました。教科書と話しで理解度が半減した気がする。ホワイトボードで図解等ほしい。	
北陸	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	具体的な設計のアドバイスが頂きたい。(未熟な者で)	要望 具体例・実例による説明
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	実際の例そのものを解説していただきたい。	
中部	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	実務に活かせる内容を、多く取り入れて欲しい。	
中部	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	テキストを単になぞらえての解説であれば、テキストを自宅で読んだ方が良い。(全範囲を解説するには時間が短すぎる)半日で演習課題を多くこなしたり、具体的な設計・施工事例を紹介するなど、ポイントを押さえて実践的な講習にしてほしい	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	時間をもう少し取って、具体的に、住宅であれば、地場の大工の家だとこの方法を使うとか、地方ビルダー(レベル)だとこの方法を使うとか、例を作って教えていただければ助かります。	
中部	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	参考計算を基に演習したので、多少分かった気がしました。主たる室と、その他の居室の色々なケースの参考例を示してほしい。	
中国	半日講習	設計	要望 具体例・実例による説明	実践での入力、計算、してみないと分かりづらい。実際の作成の順番、手順など例として教えてほしい。他の方がどのように計算して進めているのか分かりづらい。	
東北	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	・講習後の実戦的講習があれば…	要望 実習・実演のある講習
中国	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	1日で1棟分完成できるワークがあると良いと思う。	
中部	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	Web計算プログラムは実演がほしい。	
北陸	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	具体的な例題で、それぞれのルート方法で説明された方がより分かりやすいのではないのでしょうか。吹付断熱材(ウレタン系)の取扱いは、どうなるのでしょうか。	

九州・沖縄	半日講習	未回答	要望 実習・実演のある講習	計算の練習をしたい	要望 実習・実演 のある講習
関東	半日講習	その他	要望 実習・実演のある講習	計算方法など、1件モデルハウスを例に計算をしてみると理解度が変わってくると思いました。	
関東	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	計算例のセミナー	
関東	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	計算をじっくり、問題を解きたいと思います。1日かけても良いので、是非今後、計算を主に講習会をお願いいたします。	
中部	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	実演がもう少し多くできると良いと思う	
東北	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	実務に対応した書式で、完成させた記入を試みたい。	
中国	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	判定シートを利用して講習した方が分かりやすいのでは。	
東北	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	複雑な住宅の外皮計算講習をやってほしいです。(仮そう床、外気床)	
中国	半日講習	その他	要望 実習・実演のある講習	実際の建物で外皮計算・一次エネルギー計算の演習を長い時間でも良いので、してみたいと思いました。	
近畿	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	実戦レベルでの計算演習を多くして頂いたら良いのでは。	
中部	一日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	説明の時間よりも簡単な建物例で白紙から順を追って値を求めていく、演算時間を多く取ってほしい。	
北海道	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	充実したテキストと内容で良かったです。Wi-Fi環境の中で、タブレット、ノート等持ち込みで実施しても良いかと思えます。UA値	
北海道	一日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	パソコン持参の授業の方が実務的だと思うので、ノート持ってこれる人の講習会と無い人(今回のような)講習会に分けていてもらえると良いと感じた。	
東北	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	パソコンを使用した講習会があればいい。	
近畿	一日講習	その他	要望 実習・実演のある講習	パソコンを使用した講習をしてほしい。	
東北	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギーについては、パソコンを使用して実際に入力してみる方が分かりやすいかも。 会場がとても寒かった。	
中部	半日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	一次エネルギーの計算については参考書では解りづらいので、HPを利用し確認したい。	
関東	一日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	具体的なパソコン等を使用した講習もして頂きたい気持ちはあるが現実1日以上時間を割く事が難しい。Net等使った方法は無理だろうか。(有料可)	
中部	半日講習	施工	要望 実習・実演のある講習	午後はパソコン画面があるといい。	
北陸	半日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	今後、必要となる業務なので、PCを用いた実務講習があると良いのでは。	
中国	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	実際のプログラムを使用して計算が出来れば、もっとよく理解出来ると思う。(PC使用)	
関東	半日講習	施工	要望 実習・実演のある講習	資料(テキスト)は充実していたと思う。パソコン持ち込みで、実演しながらの方がより有意義だったと思う。	
東北	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	第三章のエネルギー消費量計算は、実際のプログラムを用いて解説して頂いた方が良く感じました。	
関東	半日講習	設計	要望 実習・実演のある講習	外皮計算はエクセルの算出プログラムを用いているので、手計算は少し難しい。一番用いられるプログラムでの講習内容でもよかったと思う。一次エネは普段用いているので、おさら程度でした。	
東北	一日講習	現場管理	要望 実習・実演のある講習	実際にやってみないと分かりませんが、それほど難しくなく計算できそうな感じがしました。Webでの作業もやってみて良かったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	この講習会が、省エネ法とどう位置づけで実施されているか説明があれば良かったと思います。運用する側は、いろいろありすぎて混乱しています。(省エネ適判、性能評価との等級の違いがあり、どうすれば良いのか分かりません。)	要望 新基準、関連 制度の詳しい 説明
東北	一日講習	現場管理	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	これからの展望、重要度の説明がほしかった。	
九州・沖縄	一日講習	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	省エネ届出に関する説明があってもいい。	
中国	半日講習	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	住宅省エネ義務化についての具体的な所がお聞きしたかったです。	
中国	半日講習	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	詳細計算ルートの講習なので、仕様基準の解説は不要ではと思います。平成28年度省エネ基準が今までと何が違うのかを知りたかった。	
関東	半日講習	設計	要望 新基準、関連制度の詳しい説明	実務計算、演習が苦手です。これらに時間を多く取って頂けると助かります。実は私、H28年度版も講習を受けたのですが、今回H30年度版を受けるにあたり、基準が更新(追加?)されている部分も詳しく説明頂けると嬉しいです。(何せ周りに分かる者がおられません。。。)しかし、総じて講習をやってくださり、ありがとうございます。	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	講義ごとに質問できる時間があれば、有難いです。	要望 質疑応答 の時間確保
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	講習会の途中や最後に質問の時間をとってほしい。	
中部	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	質疑応答の時間があるとよりよかった。	
中部	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	質疑等の時間がない。	
関東	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	質問時間があると良いと思いました。	
北陸	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	・基礎が400mmを超える具体的な事例、玄関の断熱方法により(土間部分)計算の仕方が違う為、その部分の具体的な事例・計算方法を教えて欲しい。・疑問が出た際、質問できる機関、場所を教えて欲しい。	
中部	半日講習	設計	要望 質疑応答の時間確保	講習が終わった後、数日後にメール等で質問ができればうれしい	
関東	一日講習	設計	要望 講習資料の事前配布	願わくば、事前に資料配布ができれば、もっと理解が進むのでは。	
東北	半日講習	設計	要望 講習資料の事前配布	事前にテキストが手元にあると、短時間での理解度が上がるかと思いました。ありがとうございました。	
関東	半日講習	設計	講習内容等 要望	外皮面積算出の仕方を詳細に知りたい。(詳細計算)	
北陸	半日講習	現場管理	講習内容等 要望	管理者として、施工的な内容も聞きたかった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 要望	基本的な用語の説明とその意味を最初に説明してもらいたかった。何をどう計算することによって、どうなるからOKという道筋が最初に分かっていたら理解が深まったと思う。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 要望	計算式の体系的な説明がもっとあった方が良かった。部位的な算定方法がメインだったので、流れがつかみにくかった。	
東北	一日講習	その他	講習内容等 要望	計算の方法は、時間をかけて説明があったので理解できた。計算通りの性能を発揮する住宅の施工納まりの注意点についても、もう少し詳しく教えてほしい。(既にご存知の内容とと思うので…と省略せずに)	
関東	半日講習	設計	講習内容等 要望	計算方法はわかったが、どういう理由でこの計算になったかなど根本的なことが分かればもっと理解度が深まると思いました。	
近畿	半日講習	施工	講習内容等 要望	資材の選び方や、A6等が何なのか等、もう少し詳しく説明が必要	
四国	半日講習	設計	講習内容等 要望	実務向けの講習をしてほしい。一次エネルギーに係わる、多灯分散等の難しい計算を求められる内容の解説等	
中国	半日講習	設計	講習内容等 要望	数種類の具体的な住宅設計例でのUA, η AC, AHの比較と、概略説明があれば良いと思った。また、RC造住宅との比較も必要と感じた。	
中国	半日講習	現場管理	講習内容等 要望	設計等詳しく解説してもらった時間があればなお良かったと思います。テキストを読み上げてアンダーラインを引くだけなら講師の先生も必要ないのではと素直に感じました。ただ、講習を通してより建築への興味と理解が増したと思いますので、そこは有意義であったと思います。	
近畿	一日講習	設計	講習内容等 要望	ヒートブリッジのところを、もう少し知りたかった。	

近畿	一日講習	設計	講習内容等 要望	吹き抜けの床の入れ方算入方法を、もっと詳しく教えてほしい。	要望 講習委内容等
中部	半日講習	その他	講習内容等 要望	もう少し時間に余裕があれば、各設備の説明についても聞いてみたかった。	
北陸	半日講習	設計	講習内容等 要望	もう少し補正值を出すところを教えて欲しかった。	
北海道	一日講習	その他	講習内容等 要望	前回と内容が少し変わっていたので、受講して良かったです。一次エネルギーの所で、給湯設備が多様化していて理解していないので、そこに特化した講習をやっていたいただきたいです。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習内容等 要望	計算フローはもう少し丁寧に説明してほしい	
中部	一日講習	その他	講習内容等 要望	・各パーツ毎の説明は分かった気にもなったが、全体的なまとめまで理解できなかった。全体的に、特に外皮、一次エネの算定部分について、もう少し丁寧な説明がほしかった。	
東北	半日講習	その他	講習内容等 要望	・時間内のポイントを絞った内容でよかった。・一次エネルギーの出し方をわかりやすく教えてほしい。・外皮計算書のエクセルなどの情報がほしい。	
関東	半日講習	設計	講習内容等 要望	①省エネ基準の評価方法の3つの違いが判りづらい(説明しづらい、使い分けはどうしよう?)ですね。(個人的な感想)②講習会の告知(宣伝?)をもっと広めることは(遅れて気付きました)できないでしょうか…。(スケジュール、場所的に参加できない回があり、無念でした…)③演習慣れ(予習?)しておらず、今回のTEST自信なし。	
中国	半日講習	設計	講習内容等 要望	28年度省エネ基準の運用に於いて詳細な変更がある場合又は24年基準との違いについて詳細に教えてほしい。また今後将来的には省エネも含めて住環境をどう風にか考へて行くのか方針を教えてください。	
中国	半日講習	設計	講習内容等 要望	平均日射熱取得率の計算において、方位別に窓ごとに計算する必要がない事ははっきり伝えていただければ、簡易計算法の手軽さがもっとよく理解できたと思います。	
関東	一日講習	設計	講習内容等 要望	講習の一番初めに、何を狙っているのかを説明して下さった方が、はじめから全体がわかるかと思えます。	
北陸	半日講習	設計	講習内容等 要望	最初に何のために計算して、エンドユーザー様に何のメリットがあるかをお話しされると良いと思いました。	
東北	半日講習	現場管理	要望 該当地域向け講習	岩手の住宅の一番採用されている工法を例にとり、ノートPCを会場に持ち込みしてみても良いかも。また、非住宅省エネのプログラムがわからない。国の対応も人手不足でいまいち。相談先がなく、悩んでいます。	要望 該当地域向け講習
東北	半日講習	設計	要望 該当地域向け講習	地域(岩手)仕様の具体的な講習であれば良いと思います。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	要望 講習会の次の開催、多数開催	近いうちに再度講習をお願いしたい。自社にて受講日程が合わずに受けられなかった人がいるので、1日講習の方が良いようです。講師の方大変でした。ありがとうございます。大変勉強になりました。	
近畿	半日講習	設計	要望 講習会の次の開催、多数開催	今後も、このような場を設けて頂けるとありがたいです。	要望 講習会の次の開催、多数開催
九州・沖縄	半日講習	その他	要望 講習会の次の開催、多数開催	次回も参加させて頂きたいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 講習会の次の開催、多数開催	今後の業務として、再確認させられた感があります。これからも機会ある毎に開催して下さい。	
東北	半日講習	設計	要望 他業種向け講習会	断熱材、サッシ、冷暖房機、給湯器etc省エネに必要とするメーカーの勉強会があれば、もっと何をを使うかの検討が出来ると思う。	要望 他業種向け講習内容以外の説明
中部	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	講習会の内容とは関係ありませんが、設計値と実測値がどれくらい対応しているのか知りたいです。	
北陸	半日講習	その他	要望 講習内容以外の説明	混構造の外皮計算について学ぶ機会がありましたらご案内をお願いします。HPより検索して参加したいです。機密性能の事もふれて下さい。	
関東	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	基礎断熱の入力、RC造・S造の熱橋の考え方について詳しく教えていただきたいです。	
中部	半日講習	設計	要望 習得レベルに合わせた講習会	事前にどの程度内容をわかっているか、レベル分けをしてから受けられるといいなと思いました。ありがとうございます。	要望 習得レベルに合わせた講習会
東北	半日講習	設計	要望 習得レベルに合わせた講習会	省エネ講習を受講済の人を対象とした、具体的なことを重点にしたセミナーがあると、省エネ住宅の普及につながると思っています。(各地域ごとに内容を変えてもいいと思います)	
関東	半日講習	その他	要望 習得レベルに合わせた講習会	初心者向けに、図面の見方や数の拾い方や工法の解説を今後検討いただけると助かります。	
近畿	一日講習	現場管理	要望 習得レベルに合わせた講習会	経験少ない社員向けの初歩的研修もあると、若手の社員に参加させられるのでご検討ください。	要望 習得レベルに合わせた講習会
中部	半日講習	設計	要望 習得レベルに合わせた講習会	実務レベルの講習会の開催を希望します。テキスト通りであればテキスト通読すればOK。建物は多種多彩なので詳細ルートであれば対応可能と考えていましたが講習内容には物足りなさを感じます。	
九州・沖縄	半日講習	その他	要望 習得レベルに合わせた講習会	もう少し詳しい講習があれば良いと思います。	
関東	半日講習	その他	要望 講習内容以外の説明	創エネの関係の話が聞きたい	要望 講習内容以外の説明
中国	半日講習	施工	要望 講習内容以外の説明	ちがう講習会もやってほしい	
関東	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	鉄骨造の場合、鉄筋コンクリート造の場合も講習会を企画してほしい	
北陸	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	非住宅系の場合の講習会も行っていただけるとありがたい。	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	住宅以外の建物の省エネ講習会も開催してほしいです。	
中部	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	お上からの省エネの必要を説くだけでなく、一般住宅の室内環境が住まい手の健康を保つために極めて重要な点も説明した方がよい。健康→ヒートショックのリスク減少→医療保険負担の軽減→税負担の軽減。自動車のハイブリット同等以上	
北陸	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	H29年施工の延面積2000㎡以上の建物の省エネ計算法の計算の方法の講習も、地方でも開催してほしいと思います。本日の住宅省エネルギー技術講習会とは直接関係はありませんが、すみません。今日受講するまで全く理解できていなかったのですが、この講習会でわかるようになりました。ありがとうございます。	
中国	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	施工時のポイントを講義していただくと、参考になる。	
関東	一日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	個人的には大学時代の研究室でIBECの調査をしており、当時施工者や設計者さんがこの講義を受けていたので、学生のうちから受けておけば良かったです。今の事務所は、S・RC造の共同住宅、老人ホーム、店舗・事務所ビル等がほとんどのため、非木造・非住宅の省エネ法届出に向けた計算について気になりました。そのような講習会もごございますか？	
九州・沖縄	半日講習	設計	要望 講習内容以外の説明	様々な講習会をお願いします。	
九州・沖縄	半日講習	施工	要望 講習内容以外の説明	もっと色んなことを学びたいです。耐震も省エネも金物とか。	要望 講習内容以外の説明
中部	一日講習	現場管理	要望 講習内容以外の説明	断熱方法の講習があれば参加したい	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 不評	この講習自体よく分からなかった。計算目的・仕方を書きながら(orDVD)時間をとって教える。orWebラーニングでも良い。ソフト活用が実際なら、ソフトの使い方の講習でも良い。	講習内容等 不評
関東	半日講習	設計	講習内容等 不評	教えてもらい、ところがテキストを読むように、との事で残念。	
近畿	半日講習	設計	講習内容等 不評	内容を変えてほしい	
中部	半日講習	設計	講習内容等 不評	ねむかった！	
東北	半日講習	設計	講習内容等 不評	2020年の省エネ基準適合義務化が先送りされた事を発表すべき。あたかも、義務化されるような事を言うのはどうかと思う。	
近畿	一日講習	設計	講習内容等 不評	昨年詳細計算ルートのセミナーを受けたが、こちらの方がセミナーとしては筋が通っていて分かりやすかった。今回の方がやたら複雑に感じた。分かりにくかったというか、逆に面倒に感じた。テキストの構成のせい、実際複雑なのかは分からない。これが簡易ルートなのか？と思った。	
近畿	一日講習	設計	講習内容等 不評	もっと簡単な手法かと思いましたが、複雑なことには…がっかりです。学者に遊ばれているように思われます。	
中部	一日講習	設計	講習内容等 不評	仕様基準といったり仕様ルートと言ったり、詳細計算と言ったり性能基準と言ったり、統一されていない所が分かりにくかった。	
東北	一日講習	現場管理	講習内容等 不評	ある程度の方が分かる前提で講義が進んで行くため、基礎知識の無いものにとっては非常に分かりにくい説明だった。また、説明もほとんど資料を流し読みしていきただけで、何の工夫も感じられないつまらない講習だった。	
中部	半日講習	設計	講習内容等 不評	簡易ルートを受講してからの今日だったので、どこを見れば良いか何となく分かったが、どういう時にどのような計算をすればいいのか(実務で)がイマイチよく分からなかった。前半が長かったので、途中休憩があると良かった。	

中国	半日講習	設計	講習内容等 不評	合格点が低すぎる。	講習内容等 不評
関東	半日講習	設計	講習内容の意義に疑問	講習会の内容というか、今回規定された、簡易計算ルートの成り立ち、仕組みにビックラです。これ全ての任意の建築に、モデル住宅の外皮等面積を無理苦理当てはめて、答の数値だけを無理苦理導出しているだけじゃないですか…。Fジョーンズのガラスの家(LIXILのレガリスを使用)みたいなのを、簡易計算ルートで計算されたらどうするんですか…こんなものはエンジニアリング工学とは全く呼べないし、小学生が8/31に夏休みの絵日記を一気に書き上げる方法を思いついた！みたいなまったく合理性の欠落したMr.マリクの超魔術みたいな計算ルートですネ…！（とにかくP.103の「係数が決められています。」の一文が全く最低で信じられない）こんな摩訶不思議な計算ルートは1nmも必要ないし、全く余計に、近く義務化される制度を更に混乱に貶め、日本全国的に、こんな余計な講習会も行なって、●の国際的な競争力まで落とすのは必至、どうせハウスメーカーからの圧力でこんな規定を発明したんだろう。お前らのプラモみたいなモデリングハウスがほぼほぼこの計算に乗ってイケてしまうから、自分らの業務コスト削減の為だけに資本力を行使しやがって。もうこのバックキャストでできない国嫌だホントにもう…！メーカーは日本から出て行け！！	講習内容の意義に疑問
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容の意義に疑問	このレベルであれば建築士は免除でもいいと思う。(建築士の試験で十分やっている知識レベルだと思う。)	
中国	半日講習	設計	講習内容の意義に疑問	建築というより製造業的に建物を設計していく方向になっているのですが、建築主にとってどの程度の選択基準になるのか疑わしい。つまり省エネ設計を法的に極めたからといって、仕事の依頼が増えるとは思えない。だから自身のエネルギーを向かわせることができにくい。演習、考査、解答説明は良かった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容の意義に疑問	個人住宅に過大な省エネを求めすぎている。人それぞれの住み方があるのでは？	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講習内容の意義に疑問	気流止めなど実際していない現場がほとんどで、また、他社でもあまり見かけない！実際の施工方法の講習など、見ないと分からないと思う。断熱や防水にしてもそうだと思う。	
近畿	一日講習	設計	講習内容の意義に疑問	計算が大変だということはわかったが、本来はCADと連動して設計するから、リアルタイムで計算結果が把握できる必要がある。計算を中心とした講義が省エネ住宅の普及につながると思えない。省エネ設計の考え方、そのものを講義して欲しい。詳細の計算はソフトが良いと思いました。(簡易計算でも大変！！)本日の資料及び講習会は、今までに受けた中で一番分かりやすく、仕事に利用できると感じました。ありがとうございます。お二人の講義内容どちらも良かったです。(テキストも良いものでした。)→しかし2つ間違えました！うっかりして！	講習内容等 好評
関東	半日講習	設計	講習内容等 好評	大変参考になりました。テキストの内容は理解し易かったです。講師の方々の説明も丁寧で、分かりやすかったと思います。ありがとうございました。	
九州・沖縄	一日講習	設計	講習内容等 好評	テキストが大変分かりやすく、説明も良いスピードで進んでいくのでとても良かったです。	
近畿	半日講習	設計	講習内容等 好評	テキストももらえて演習も出来たのでとても身になる講義でした。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習内容等 好評	とても分かりやすい説明、教科書も分かりやすい内容でした。内容的には、何度か取り組んで覚えていくしかないかと思えます。	
中国	半日講習	現場管理	講習内容等 好評	基本的な説明から、演習問題まで説明していただいたので、良い勉強になった。一部授業で習ったことがあったので復習ができ、さらに深く理解できた。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習内容等 好評	基本のこを分かりやすく説明して頂いたので良かったです。これからもっと省エネを勉強したいと思います！	
関東	一日講習	設計	講習内容等 好評	基本のこを分かりやすく説明して頂いたので良かったです。これからもっと省エネを勉強したいと思います！	
四国	半日講習	未回答	講習内容等 好評	このような基本的な内容の講習があるとありがたい。(大体は、そこでつまづいているので)	
中部	半日講習	その他	講習内容等 好評	実際の計算を通して学べたので分かりやすかった	
関東	一日講習	設計	講習内容等 好評	パソコン作業で手慣れてしまった中、改めて手作業で計算できて良かったと思います。1日、どうもありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講習内容等 好評	分かりやすい内容の講習会でした。計算事例についても、具体的に内容を深く理解できました。	
九州・沖縄	半日講習	未回答	講習内容等 好評	分かりやすく、考査に出るところや、知っておくと良いところなど、特に重点的に説明していただいた。過去に講義で習った部分があったので、復習ができてよかったです。	
九州・沖縄	半日講習	未回答	講習内容等 好評	半日講習だったこともあり、駆け足で進み、初めて聞く用語も多かったのですが、実際に演習問題を解説を聞きながら解いていくと少し理解することができました。なかなかこのような機会がないので、良い経験になりました。	
関東	半日講習	設計	講習内容等 好評	これまで受けてきた省エネ講習会の中で一番実践的かつ分かりやすかった。施工も受けるつもりです。仕様ルートの説明の方が分かりやすかったです。簡易計算ルートでももう少し基準の調べ方を教えていただけたらとありがたかったです。	
近畿	半日講習	設計	講習内容等 好評	実務で、迷っていた箇所についても、話をしてくれたので、受講して良かったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 好評	省エネの講習会の参加は、数回参加しているが、回を追うごとに理解が得られる。又参加したい！	
関東	半日講習	設計	講習内容等 好評	説明を聞いている時はペースが早くてページを追うのに必死だったが、実際テストを受けてみると意外とできたので、うまく構成された講座だったんだなと思いました。ありがとうございました。	
中部	半日講習	その他	講習内容等 好評	大変わかりやすいテキストと、非常勤講師の方の指導により、住宅エネルギーの現状を少しですが知ることができ、大変勉強になりました。ありがとうございました。	
四国	半日講習	施工	講習内容等 好評	短時間でも充実した講習でした。	
中部	半日講習	その他	講習内容等 好評	熱貫流率など住宅の環境について触れることができ、良かったです。	
北海道	一日講習	その他	講習内容等 好評	難しい内容を平易に説明いただき、ポイントを絞って頭に入れることができました。情報を整理するのに大変役立ちました。ありがとうございました。	
中部	半日講習	その他	講習内容等 好評	有用な講習でした。ありがとうございました。	
東北	一日講習	設計	講習内容等 好評	重複する箇所が出てくると少し混乱してしまっ。実務に近い演習がためになった。ありがとうございました。	
東北	一日講習	設計	講習内容等 好評	難解な内容が多かったが、テキストと合わせて話を聞くことで素早く理解することができた。	
中国	半日講習	設計	講習内容等 その他	建築の仕様によって引用する数値が違ったりとある意味詳細計算ルートの方が分かりやすいと感じました。	講習内容等 その他
近畿	一日講習	設計	講習内容等 その他	会員に属していないので、安価な講習会があるとありがたいです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 その他	半日講習ぐらいが体力的にも集中できて良いが、内容としては、ボリュームもあり、実践につなげる為にはもっと丁寧に言うべきだと思った。	
関東	一日講習	設計	講習内容等 その他	参考になりました。未だ計算した事ない人には、難しいかもしれませんが(早い)。数字がこうなっている(比率等)理由がわかると面白いかも。1日講習ですが、初めての人には不足なのかも。講師の人は良かったです。	
中部	半日講習	設計	講習内容等 その他	詳細計算ルート講習を先に受けました(実務で必要だったため)。ルートがごっちゃになりがちですが、テキストを見れば混乱はしなさそうです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習内容等 その他	詳細計算ルートによる評価方法は、作業時間が長くなるので他の作業に支障が出るので、簡易計算ルートまでの計算の方がよいと思われる。	
中国	半日講習	設計	講習内容等 その他	終了証までとってもらえたら(簡易・詳細計算ルート)	
中部	一日講習	その他	講習内容等 その他	用語の混同しやすい感じは分かりにくいと感じました。例えば「簡易計算ルートはあまり使わない」でも面積比率の時は「簡略計算方法の方を使います」みたいな箇所です。	
近畿	半日講習	設計	講習内容等 その他	実際に計算してみないと、仕事に役立つかわからない講座でした。テキストは分かりやすいです。	

設計				要望・意見などー講習時間、時間割について	
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
東北	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	演習問題で、どの数字がどのテキストのどこを順番に見ていくのか早すぎるのと、流れをゆっくりやってもらいたかった	講習時間が不足、説明速い
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	(午前)内容が多すぎて、駆け足すぎました。(午後)聞き取りにくかった。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	・全体の資料(本)の説明時間が少し不足気味です。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	※時間の制限があり仕方がないが、もう少しゆっくりと話を進めて欲しい。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	※私にとってはスピードが早すぎる。もう少しゆるやかなスピードで講習会を進められればよかった。申し訳ないけれど、早すぎて午後2時頃からついていけなかった。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	1日講習会でもっとゆっくりやってほしい	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	1日の講習の方が時間的に余裕があるのでしょうか。短時間のせいとか、すごく進行が速く感じました。テキストは分かりやすく、使いやすかったです。今後も使用させていただきます。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	かけあしすぎる	
関東	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	かけ足すぎる。もう少し解説してほしい。	
東北	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	かけ足だったので、理解しきれず不安です。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	かけあしな講習だったので、少々難しく感じました。本日はありがとうございました。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	かなり速いスピードでの解説だったので、ある程度わかっていなければ、ついていけないと思った。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	計算ルートは、半日の時間ではよく理解できない。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	講習の時間が足りない。	
東北	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	講習のスピードが速く、もっと丁寧な説明を希望します。(講習時間が2日間になっても)	
近畿	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	午前中が内容が速く、よくわからなかった。午後はページが前後することが多く、わかりにくかった。	
北海道	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	この校種内容からいくと、2日間は欲しい。	
関東	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	仕方ないことだが、この内容をこの時間に学ぶのは、個人差があると思うがかなりきつかった。2日間に分けてもらえるとうれしいです。	
中部	一日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	時間が1日だと少なく、内容が濃いと思いました。実際に会社に戻って計算を行うには、あと2回くらい講義を受けないとダメだと感じました。	
中国	未回答	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少ないので、深く理解するのが難しかったです。仕方ないと思います。	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が少ないので仕方がありませんが、参考ページと照らしながら進めるので、あちこち見て話を聞いてと、なかなか話をのみこむのが難しかったです。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が足りない。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が半日と短すぎるため、内容が詰まりすぎて分かりにくい部分がありました。	
北海道	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短く、理解する時間が全然足りなかった。もっと自分自身レベルアップした状態で講習を受けたいです。	
北海道	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間が短く感じたのか、もう少しじっくりと学びたかったです。本日はありがとうございました。	
四国	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	時間と内容が見合っていないと感じた。プレゼンやDVDなどでの説明にすれば、飽きずに講習が受けられるのかなと思った。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間に比べ内容が多く、ついていけない。重要ポイントに絞って内容を減らしてほしい。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の関係で説明が早く内容との確認がとれずらかった。	
近畿	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間の割に内容が多く、文字を追う事ではいっばいでした。	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間不足だと思います。	
東北	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間をかけて、お話を聞きたかったです。テキストをこれから勉強したい。	
東北	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	時間をとって、ゆっくり演習講義をして頂きたい。	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	詳細ルート説明としては、時間が短い。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	進行が速すぎて、理解できなかった。テキストの内容のほかに、具体的な方法を解説してほしい。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	少し説明が早いと思います。	講習時間が不足、説明速い
中部	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	少しペースが速かったように思います。一次エネルギー消費量の計算を詳しくしてほしい。	
中部	一日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	設計の計画の際、計算する際をもっと詳しく時間かけたほうが良いかも…。初回だと流れがわかりづらい。	
中国	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が速かったです	
九州・沖縄	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	説明が速く、分かりにくかった。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早く、理解しにくい所があった。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が早過ぎてついていけない部分あり→時間短い？	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	説明が分かりにくい。(時間が足りない)	
近畿	一日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	全体的に進行が早く、理解に苦しかったです。一次エネルギー消費量計算、コンピューター(説明に)が必要なのが分かっていたら、設備を整えるか設備のある会場にすべきです。運営に問題があると思います。	
北陸	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	前半、内容的に難しい部分なのに時間が短い。	
関東	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	前半が早すぎて分かりづらかった。もう少し時間をかけて聞きたかった。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	第2章簡易計算ルート、説明が早い。webについての説明は、実際にサイトを見ながらの説明が分かりやすいと思った。	
中部	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	大変勉強になりました。ありがとうございました。午後の講義の最後の方が速く、理解をもらって(漏らして)しまった感がありますが…。テキストを再読して、確認しようと思います。	
北陸	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	ちょっと講習会の内容が多く、スピードが早くついていきにくい所がありました。復習をします。	
北陸	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	ちょっと時間が短かったように思います。テキストの解説のスピードに、ついていくのがなかなか大変でした。家に帰ってから、テキストを読み返します。	
北海道	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	テキストのボリュームを考えると、もう少し十分な講習時間を設定した方が良いのではないのでしょうか？必要な知識を習得する上で、良い機会でした。ありがとうございました。	

関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	内容、つめすぎて時間が短い。	講習時間が不足、説明速い
中部	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	内容が濃いので、時間が足りない様に感じました。	
北陸	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	内容に対して時間が足りないように思います。セミナーをするうえで時間切れは完全にNGです。準備不足だと思います。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	内容の肝心な、実務で一番理解したいところなのに、聞きたい所が早すぎて理解できなかった。もう少しテイネイな方が良かった。仮想床とか知りたい所がわからないまま。もっと実践的な講習かと思った。午前中の講義は不要。または、実務で説明？時間配分がおかしい。計算を完璧にしても、建築現場で施工がきちんと出来なければ全く無駄です。もっとシンプルに(仕様規定の方が)した方が、工務店さんには普及するのでは？	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	内容の割に時間が足りないかなと思いました。	
近畿	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	内容量に対して、時間が足りていない様に感じました。重要な点をより詳しく説明して頂けたら、尚良いかと思いました。講習会はとても有意義でした。ありがとうございました。	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	初めて受講する者は、時間が短いのでは？	
中国	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	早くてよくわからない。時間がたりない。	
東北	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	早くて分かりづらい	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	早すぎて少しついていけなかった。	
北海道	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	速すぎて理解は出来なかった。2日に分けるべき。	
九州・沖縄	一日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	早すぎて分かりづらかった。まとまりのある説明と資料が必要！	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	速すぎる(テンポが)	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	半日講習では、時間が短かったです。	
北陸	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	半日講習では時間が足りないように思います。演習の充実、および基本テキストの解説があると良いと感じました。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	半日講習は短い。もっと自身の理解力が必要と感じた。	
中部	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	半日で行うには内容が多めで理解するまでは至らなかった。実際にサイトを開いて復習したい。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	半日での集中講義であったが、省エネルギーについての簡単な知識を身につけることができた。内容の濃い授業であったが、少し時間が足りないようにも感じた。より詳しい対策やこれからの活動の方針等があれば、ぜひまた講習会に参加し半日のため仕方ないですが、すごく駆け足で、もうちょっと掘り下げて聞きたいな、と思うところも多かったです。特に分かりにくいところは、例を挙げて詳しく聞きたかったです。	
中国	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	普段外皮計算や省エネ計算をやっている者にとっては理解できたが、そうでない者には進行が速かったと思う。	
関東	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間が欲しいですね。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間に余裕のあるスケジュールにしてほしいです。重要事項を次から次へと説明されるので、普段断熱に関わる業務をしておらず用語に不慣れである事もあり、すごくいっぱいいっぱいでした。	
関東	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少し時間を掛けて説明が必要だと思います。	
東北	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくり	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくり	
関東	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	もう少しゆっくり説明していただきたいかった	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	ゆっくり話していただきたいです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	口が早すぎる、長すぎ、集中できない。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	ただ早く読んで消化したという印象。各節ごとに演習をはさめば、理解しやすいように思った。	
北海道	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	もっと中身を理解できるような時間をかけるべきと感じた。国交省のやり方ももう少し受講者目線で考えてほしい。ペースが早すぎる。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	1日にまとめる内容ではないですね。熱貫流率と日射熱取得率だけにすればいいものを、エネルギーにも手を出しているため、ものすごく盛沢山になっていると思います。	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	あっちこち飛んで、ついていくのにいっぱい。久しぶりにハッスルできた。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	一度でも詳細設計の経験があれば講師の話のスピードについていけるが、初めてだと少し解りづらと思う。	
中国	半日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	一冊のテキストを半日で学ぶので、流れるようにテキストが進んで行くので少し頭がついていきません。考える時間があればと思います。	
近畿	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	解説が早くて頭が追い付かない。	講習時間が不足、説明速い
関東	半日講習	その他	講習時間が不足、説明速い	外皮計算、一次エネルギー消費量計算の説明スピードが少し早い気がします。	
中国	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	今日も有難う御座います。講師様の講義が速くて、又もう少しマイクを大きくして頂ければと思います。そして、考査の試験の時間をもう少し長くして頂ければと思います。	
東北	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	講習時間が短い。	
北海道	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	講習内容からして、1日だけでは時間が不足しているように思います。講師の方も苦勞されているようです。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	講習内容に対して、講習時間が短い。初めての人には難しかったのではないかと。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	講習内容はやさしいが、講師の説明を読み解く時間が欲しい	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	説明の時間をもう少しほしかった	
関東	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	とてもわかりやすい内容とテキストなので、もう少しじっくり教えてもらいたい。	
中部	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	無理とは思いますが、資料を一度全体に流してやらず、分けてやって頂くと理解しやすいかなと思います。(年のせいかな)すみません。有難う御座いました。	
中国	半日講習	現場管理	講習時間が不足、説明速い	もう少し、時間が望ましかった	
中国	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	先生のお話は分かりやすかったが、とても早くて慌ただしかった。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	むずかしい。短時間では、分かりにくいです。	
関東	一日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	予定時間よりも早く進行する事になったが、テキストページの説明をもう少しゆっくりでも良かったかと思う。初めて省エネ計算に触れる人にはペースが速すぎる気がする。	
関東	一日講習	施工	講習時間が不足、説明速い	Q11講師の人の説明が分かりにくいわけではなく、講習時間と説明しなくてはならない量のバランスが厳しいと思う。	
関東	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	半日の講習で、解説できる内容が足早だったのでインプットを全てできたとは思えなかったです。後は実践で行ってみますが、細やかなことも、もう少し理解できたら良かったと思います。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習時間が不足、説明速い	時間を長く(1日)又は内容を少なく求めます。	

東北	半日講習	その他	講習時間がちょうどいい	大まかな内容を知るには、早足ではありませんでしたが、ちょうど良く感じました。テキストはとても見やすく、分かりやすい内容でした。	講習時間がちょうどいい
北海道	一日講習	その他	講習時間がちょうどいい	講習の時間は、長いようであったという間でした。1日でまとまらない内容をぎゅっと詰め込んで教えていただいたので、帰ってテキストをしっかりと読みたいと思います。詳細ルートの講習も受けてみたいです。	
関東	半日講習	設計	講習時間がちょうどいい	時間的に丁度良い講習で、内容もわかりやすかった。	
中国	半日講習	現場管理	講習時間がちょうどいい	半日講習会が良い。	
九州・沖縄	半日講習	その他	講習時間がちょうどいい	半日講習なので時間がちょうど良かった。一日となると参加日程が…前半の講習問題があったので考査に役立ちました。途中の休憩があと1回あれば良かった。	
中部	半日講習	設計	講習時間が長い	・開会のあいさつが長い(時間を10分延長している)・詳細計算の講習会なので、仕様ルートは説明不要では？	講習時間が長い
中国	半日講習	設計	講習時間が長い	・前半の説明95分が少し長かったように思います。・同じテキストは必要ないです。500円余分です。	
関東	半日講習	設計	講習時間が長い	2つ目の講座が長く感じたので、休憩を挟んでほしかった。	
北陸	半日講習	設計	講習時間が長い	時間が長かった。	
中部	半日講習	設計	講習時間が長い	時間配分が悪く、長時間になっている。1部1時間オーバー	
関東	一日講習	その他	講習時間が長い	講習時間・ボリューム的には短い、体力的には長い。係数等の記載がどこにあるか分かったが、その変化が、どうどれくらい影響するのか聞いてみたかった。	
関東	半日講習	設計	時間配分が不適切	3章のソフトの説明は、特筆するべきところ以外不要。その分2章に時間をかけてほしかった。選ぶのは、していけばできる、	時間配分が不適切
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	・内容(説明)に対して時間が短い。・演習を増やした方が良い。	
中国	一日講習	設計	時間配分が不適切	限られた時間の中で仕方ない所もあるが、時間配分がもう少し出来ていてほしかった。ほとんどが「後で見えておいて下さい」ということも多く、詳しく聞きたかった所が流されてもったいなかったし、理解出来ない部分もあった。中途半端になるなら、2日間に分けてほしいと感じた。	
関東	一日講習	設計	時間配分が不適切	設計テキストの時間が短い。基本テキストの概要の話は短くして、実務の時間を増やすべきだ。参加して少々残念なところ。同じ意見は今まで多く出ていると思われるが、なぜ改善しないのか…。質疑の時間も必要だ。	
四国	半日講習	現場管理	時間配分が不適切	テキストの内容のわりに演習時間が短かった。講習時間中にもう少し演習問題などを使用して欲しい。	
中国	半日講習	その他	時間配分が不適切	修了考査の時間が長い。20分位で良い。	
中国	半日講習	設計	時間配分が不適切	「一次エネルギー消費量の計算」についての説明が、全く頭に入らなかった。もう少しゆっくり時間をかけて、詳細について説明をしていただきたかった。	
近畿	一日講習	施工	時間配分が不適切	演習時間が少なすぎる。	
関東	半日講習	設計	時間配分が不適切	演習問題で考える時間が少ない。回答の配布が早い。復習の時間が短い。2人目の講師はスラスラと読みあげていく感じで理解できない箇所もあった。終了考査は確認するページも記載されていたので易しい。	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	考査の解答設問は、解答説明文にて良くわかりますので、早く終わって欲しい。	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	考査の時間がほしい。年齢により。	
東北	半日講習	設計	時間配分が不適切	考査問題はもう少し多くの時間を使い例題に基づいて一つ一つ講習、実演してもらいたいです。	
関東	半日講習	現場管理	時間配分が不適切	Webの説明は不要では！前半の講義をもっと詳細にした方がよいのではないかな	
中部	一日講習	現場管理	時間配分が不適切	85分の講義で、30分のオーバーは？？1日では時間が少ないのでは？	
関東	半日講習	設計	時間配分が不適切	終了考査の時間が少し長いと思いました。会場内が寒かった。	
近畿	一日講習	設計	時間配分が不適切	修了考査は演習問題を解いたすぐ後に、短い休憩を挟んで実施にしてもらった方が頭に残り易い→いずれにしても、実務で活用する事が最大の目的で、やり残した感がない状態で会社に戻って実践したい！！次回、簡易計算法、施工業者向けも受講します！！考査解説は良かった。有難うございました！！	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	終了時間が遅いので、「17時には完全に終わる」など時間がおすことも考え、もう少し早めてもらおうと助かります。	
中国	半日講習	その他	時間配分が不適切	プログラム入力については時間を短くして、演習問題を増やしてほしい。(拾いだし、計算等)	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	時間配分が不適切	・演習問題の時間が短いと思いました。・何がどこを見れば分からないのに計算をして下さいと言われても、訳が分からない。もっと詳しく説明して欲しい。	
近畿	一日講習	設計	時間配分が不適切	一番大切な基本テキスト4章、5章の説明に、もっと時間をかけるべき。	
北陸	半日講習	設計	時間配分が不適切	ご案内いただいていたカリキュラムを当日にいただいたカリキュラムとが、終了時間が異なっており、とても困りました。	
近畿	半日講習	設計	時間配分が不適切	講習の1つの区切りは60分として欲しいです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	後半は演習問題を主にして欲しい。	
関東	一日講習	設計	時間配分が不適切	テキスト説明は省くところは省いてもらって良いので演習と解説に時間が欲しいです。	
中部	半日講習	その他	時間配分が不適切	半日講習の時間配分は適切でしょうか？講師の方の説明がかなり時間超過しており、心配です。	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	もう少し多く例題(問題)を解く時間があれば良い。実際に問題を解いた方が理解しやすい。	
関東	半日講習	その他	時間配分が不適切	もう少し講義の時間を減らして、演習に時間を足しても良いと感じた。(30分～)	
東北	半日講習	設計	時間配分が不適切	練習問題をもう少し多くても良いと思った	
九州・沖縄	半日講習	設計	時間配分が不適切	実務レベルでのお話などもあり、参考になりました。終了が17:30はとても困る。せめて17:00にしてほしい。	
東北	一日講習	その他	時間配分が不適切	基本テキストの1章～5章はポイントの説明でよいと思いました。詳細計算ルートの説明時間をもう少し取って、ゆっくり説明して欲しい。	
関東	一日講習	現場管理	時間配分が不適切	「基準の指標があり、それをクリアするのか」という評価方法であるという基本的な説明がなかったので、全体を理解するのが難しかった。基本の説明をしてから詳細について教えてほしい。	
東北	一日講習	設計	時間配分が不適切	もっと計算演習の時間を増やして、実際と同じような内容にしたい。	
中部	半日講習	設計	時間配分が不適切	あともう少しじっくり教材に目を通す隙間時間があると、すぐ実践に入れる気がしてきます。時間内にこの内容と説明は、ありがたく思っています。ありがとうございました。	
関東	半日講習	その他	時間配分が不適切	後半の簡易計算ルートで、計算プログラムの内容については読めばわかるようなので、他の部分に時間を使って欲しい。	
近畿	半日講習	設計	時間配分が不適切	特になし。今回、休憩を取って頂いたのが良かったが、60分程度に一回は休憩が必要。	

中国	半日講習	設計	休憩時間	45～60分程度、講義の休憩があれば良いのではないかな。	休憩時間
関東	半日講習	設計	休憩時間	休けいが1回ではきびしい	
中部	半日講習	現場管理	休憩時間	休憩が少ない。普段断熱材施工に関わっていません。	
東北	半日講習	設計	休憩時間	休憩がもう少し欲しかったです。	
近畿	半日講習	設計	休憩時間	休憩時間が短かったです。	
中国	半日講習	現場管理	休憩時間	休憩時間の回数を増やした方が良い。	
関東	一日講習	設計	休憩時間	休憩時間をしっかり取って欲しかった。	
関東	一日講習	その他	休憩時間	休憩時間をもう少しください。	
中部	半日講習	設計	休憩時間	休憩なしで2時間の講習は長すぎます。5分でいいので休憩を。	
東北	半日講習	設計	休憩時間	考査が早く終わった人は外で休憩できるべき。トイレにも行きたいしのども渴くし仕事の電話もしたい。帰ったら仕事もしなきゃいけない。時間は有効に使いたい。	
中国	半日講習	設計	休憩時間	考査時間が余り、暇だったため、一時的に途中退室を可としてほしかったです。講義時間が限られているのも確かですが、一番分かりにくいと感じる基礎断熱についてももう少しお話を頂きたかったです。	
中部	半日講習	現場管理	休憩時間	午後の講習の途中で休憩を入れてくださってありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	休憩時間	トイレ休憩5分では少ないです。換気が悪い。	
近畿	一日講習	設計	休憩時間	とても分かりやすかったです。考査終了順に退出でもいいような気がしました。	
関東	半日講習	その他	休憩時間	もう少し休憩を入れて欲しかった。	

設計		要望・意見などー講習会運営に関する事について			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
九州・沖縄	半日講習	その他	広報・開催案内・内容案内・持参物案内	演習、修了考査と行うと、受講者も分かりやすく熱心に聞くので、大変いいと思います。(省エネ計算は実際にやってみないと分からない所があるので)受講時に電卓が必要な旨を、受付確認時通知時にお知らせがあると良いと思いました。(持	広報・開催案内・内容案内・持参物案内
中国	半日講習	設計	広報・開催案内・内容案内・持参物案内	15日と18日の講習をどちらも受けた方がいいのか、ダブっているのかが分かりませんでした。テキストについても。	
関東	半日講習	未回答	広報・開催案内・内容案内・持参物案内	今回の講習会がHPから申し込みができませんでしたのでご対応下さると良かったかと思ひます。	
中部	一日講習	設計	広報・開催案内・内容案内・持参物案内	終了考査の有無の連絡がほしかった。	
近畿	一日講習	設計	広報・開催案内・内容案内・持参物案内	電卓の用意をアナウンスするべきだったかも。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	開催時期・曜日	4月～6月に講習会があればよい。	開催時期・曜日
近畿	一日講習	設計	開催時期・曜日	仕様・簡易ルートの方が詳細ルートの講習日より前に設定した方が良かったと思ひます。	
九州・沖縄	半日講習	設計	開催時期・曜日	平日にしてほしい。	
関東	半日講習	設計	開催時期・曜日	時間があれば詳細計算ルートも受けたい。日程がもっとあると嬉しいのですが…。	講習会場 開催地要望
東北	半日講習	その他	講習会場 開催地要望	半日はきついか？3市以外の7市でも行ってほしいね。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講習会場 狭い	会場が狭く、受講しづらい。とくに机が3人掛けは狭すぎる。前後の席が近すぎる為、私語で講師の話が聞きづらかった。テキストも見づらい。	講習会場 狭い
北海道	一日講習	その他	講習会場 狭い	席の前後にスペースが欲しかった。(座りにくい)	
北陸	半日講習	設計	講習会場 空調できてない	会場が寒かった	講習会場 空調できてない
中部	半日講習	その他	講習会場 空調できてない	会場が寒かったです…厚めのテキストですが、見やすく、眺めるだけである程度頭に入るので良かったと思ひました。	
東北	一日講習	設計	講習会場 空調できてない	会場内が暑すぎ。棒読み。ところどころ聞きづらい。	講習会場 マイク無し、不調
東北	一日講習	現場管理	講習会場 空調できてない	会場の暖房が暑すぎです！！	
近畿	一日講習	設計	講習会場 空調できてない	室内が少し寒かったが、男女差はあるかもしれませんが。眠気対策には良かったです。演習問題を増やして、ポイントごとに理解度を深めると効果的かもしれません。講習や演習問題の際に、これだけの人数の受講者がおりますのでどなたかに当てたり、理解度を確保のために質問したりしてもいいかなと思ひました。	
中国	半日講習	設計	講習会場 空調できてない	室内の温度が高かった為、集中できなかった。	
近畿	半日講習	設計	講習会場 空調できてない	ドアの横は寒い。講習中、スタッフの私語が気になった。	
東北	一日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	講習会会場の音響がよくないのでは。声がこもる	
関東	半日講習	施工	講習会場 マイクなし、不調	先生のご説明は分かりやすいのですが、マイクの調整が悪いのか、音が非常に聞き取りづらく、雑音がやかましく感じました。音量も大きすぎると感じました。	
近畿	一日講習	現場管理	講習会場 マイクなし、不調	マイクの音が反響してエコーがかかっている様で、聞き取りにくい。	
東北	半日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	マイクの音が反響して聞こえにくかった。	
中部	半日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	マイクの声が聞き取りにくいでした	
近畿	一日講習	現場管理	講習会場 マイクなし、不調	・説明時のマイクが悪く、音が割れて聞きにくい。・各単位、ギリシャ文字の読み方と意味等分かる様に説明宜しく。後半の説明で、(P.36～)少し分かった。	
近畿	一日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	お昼の部の方の音が、低くて聞こえづらかった。(マイクの感度が悪かった)	
東北	半日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	音響が悪くて聞き取れなかったです。(音が響きすぎるようです)	
東北	一日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	音響の関係か？先生の話が聞きづらい	
北陸	半日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	聞こえにくいところが多々あった。マイク？	
東北	一日講習	設計	講習会場 マイクなし、不調	農業センターの音響が悪いので聞き取りにくい。ピックバレットの方がまだ良い。	
四国	半日講習	設計	講習会場 暗い	会場が暗かった…	講習会場 暗い
中国	半日講習	設計	講習会場 暗い	会場の照明が暗くて、長時間居るととても目が疲れた。	
中部	半日講習	設計	講習会場 暗い	式場なので仕方がありませんが、照明が多少暗く(電球色)、目が疲れました。	

関東	一日講習	設計	講習会場 その他不評	隣の会場の音が気になってしまった…。既に使用しているので、おさらいのような形で参加しました。そもそも講習会は誰を対象にしているのか…？まだ知らない人がいる？というところに驚いてしまいます…。	その他不評
近畿	一日講習	設計	講習会場 その他不評	講習中の隣の部屋から話声がうるさい。集中できなかった。テキストの説明を聞いているはずが、講師の方の私見で説明されている所がありテキストに沿った講習にするべきでは？	
東北	一日講習	設計	講習会場 その他不評	講師の声が反響して聞き取りにくかった(午前中)夕方、考査時以降机上が暗く感じたのでもう少し明るくして下さい。	
東北	半日講習	設計	講習会場 好評	今回は音響も良く、聞き取りやすかったと思います。	講習会場 好評
九州・沖縄	半日講習	その他	講習会場 好評	とても勉強になった。会場(肥後木材さん)の対応がとても良かったです。ありがとうございます。	
東北	半日講習	設計	運営 その他	忘れ物の電卓等、貸して下さい良かったです。ありがとうございました。	運営 その他
近畿	半日講習	設計	運営 その他	講師の方は熱心でしたが、受講者が少ないのにびっくりです。	
近畿	一日講習	設計	運営 その他	参加者が少なすぎる。	
九州・沖縄	半日講習	設計	運営 その他	情報が届いたのは遅く、業務上重要と考えて受講した。	
関東	一日講習	設計	運営 その他	仕様ルートの講習会がありましたらありがたいです	
関東	半日講習	設計	運営 その他	席順が指定でなく前の席にしたかった(視力のため)	
東北	半日講習	その他	運営 その他	施工編を受講してから設計編を受講させて頂き、断熱の基礎知識を知った上で聞くと分かりやすかったです。先に施工編を受けることをもっとおすすめしてもいいと思います。日程が近くに組まれていたのは助かりました！	

設計 要望・意見などー講師について

地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	前回施工研修の際は1日講習であったが、時間的配分が良かった。設計研修も1日講習を受講すれば良かったと思う。講師の説明に所々ミスがあったので混乱してしまうので注意していただきたい	講師の話し方 不評
関東	一日講習	設計	講師の話し方 不評	活舌の良い方でお願いしたいです。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講師の話し方 不評	講師の説明が早すぎる。もう少し具体例を多く取り入れて、計算など実務に近い形にしてほしい。	
中国	半日講習	施工	講師の話し方 不評	講師の話が聞きづらい。何を言っているか分からない。人に伝えるのならハッキリと！この講習のペースで理解できる訳がない。	
中部	半日講習	施工	講師の話し方 不評	講師の話し方が、非常に聞きづらかった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師の話し方 不評	講師の話し方が分かりにくい。早口だったり、声が小さかったり。「ここは説明しません」と言ったそばから説明を始めた。とにかく分かりにくい。	
関東	半日講習	設計	講師の話し方 不評	後半の先生は、マイクに近づきすぎて音が割れ、聞き取りにくい。スタッフが注意してほしい。	
東北	一日講習	現場管理	講師の話し方 不評	声がかもって聞き取りにくかった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師の話し方 不評	声が小さくて聞き取りづらかったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師の話し方 不評	御説明が分かりにくかった。ご自身中心の話し方で、理解しにくい。聞きづらい。	
近畿	一日講習	その他	講師の話し方 不評	前半は、速すぎるペース、たまに聞きづらい。午後は、ページが前後し過ぎ。たまに聞き取りづらい(ページ数)。次のページと伝えるのは良くない。	
中部	半日講習	その他	講師の話し方 不評	後々の説明が早口でわかりにくかった	講師の話し方 不評
九州・沖縄	半日講習	その他	講師の話し方 不評	早口で講習があまり聞き取れなかったのが残念でした。お話の内容が全て教材にあるなら、もっと演習の時間を長くしてもらえたら良かったなと思いました。知らない事ばかりで勉強になりました。ありがとうございました。	
九州・沖縄	一日講習	現場管理	講師の話し方 不評	もう少し大きな声で説明してほしい。耳が少し悪いので、申し訳ありません。	
中部	一日講習	設計	講師としての質 不評	1コマ目、①内部結露の所で先生がお話された事例の解釈は、何か少しおかしい…と思いました。外周壁の両面から構造用合板で耐力壁にしたとして、壁内の空気が滞留して内部結露を起こしたと仰っていましたが、外周壁にしろ、間仕切壁にしろ、内部空気は動かないのが正しい。その為に気流止めを施工する訳ですから。同時に断熱層内で気流が存在すると、断熱材の性能が全く発揮されない訳ですから、断熱層内(この事例では、両面構造用合板で挟まれた耐力壁内)の空気が動かない事が絶対必要な訳です。では、壁体内結露は何が原因だったのかと言えば、室内(屋内)からの水蒸気の侵入を許したこと(防湿層の不備)or外壁からの雨水の侵入を許したこと(防水層and/or通気層=侵入雨水排出層の不備)が考えられると思います。あと、ネダレス工法が問題であったかの様なトーンでお話でしたが、何がマズイのでしょうか…？ ②開口部(窓)の日射遮蔽・Low-Eガラスの選択の先生の事例のお話(失敗談)でも、ハテナ…？と思いました。東西面など、夏期の日射を遮るしかない開口部では、日射遮蔽型を選択すしか術が無い(そもそも大開口を作らない！or外付けブラインド等で外で防ぐ)と思うのですが、いずれにしても冬季の暖房エネルギーを逃さない為にも、夏期冷房時の外気の熱を侵入させない為にも、躯体と同様、開口部の高断熱化は迷う事なく必須で、夏期に開口部から直接(直射日光で)侵入した熱を逃す為に開口部の断熱性能を下げる、という考え方は全く成り立たないと思います。ここですべきは、まず開口部の方位のプランニング、南面であれば庇を活用する事。止む無く東西面に開口を設けざるを得なければ、外部で遮蔽する事であると思います。ちなみにLow-Eガラスの断熱タイプ⇄遮熱タイプの数値を確認してみると(LIXILメーカー製品)、日射侵入率は大きく違うものの、熱貫流率は全く変わらなかったという記憶があります。よって私は、直射日光を出来るだけ遮りたい。東・西面には日射遮蔽タイプを、窓に色がついて暗くなるのを嫌って、南面も北面も断熱タイプの窓を選択した現場があります。 オレンジテキストに対する突込み①P.15「世帯当たりのエネルギー消費量の推移」について、194.1まで低下したのは、「環境保護意識の高揚」などが理由では全くなく、分母の世帯数が急増したから(赤のグラフ)であると思います。もう、平均世帯人数が2人を割りそうになっている程ですから、住戸に住む頭数が減っただけですね。②P.72の断熱リフォーム時の気流止めについては、外周壁に施工することの危険性について、自立環境型住宅のチーム等が、今や警鐘を鳴らしている	講師としての質 不評
中部	半日講習	設計	講師としての質 不評	講師によって説明の分かりやすさに大きな差があるため本気で普及をするのであれば、環境を専門にした方を講師に限定する等、講師の質を上げる事に予算を使って頂きたいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師としての質 不評	講師の方が下手くそ過ぎる。他県を参考に。	
関東	半日講習	設計	講師としての質 不評	講師の質(後半)に問題あり。何がポイントがわからなかった。	
中部	一日講習	設計	講師としての質 不評	講師のレベルにバラつきが大きいように思います。	
関東	半日講習	設計	講師としての質 不評	後半の講師は、この様な講習には不向き。	
近畿	一日講習	設計	講師としての質 不評	後半の講習が分かりにくい。話が聞き取りづらい。どこを読んでおられるのか分からなくなる。1人目の講師の方は、特に問題なし。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師としての質 不評	もう少し分かりやすい説明が必要	
関東	半日講習	現場管理	講師としての質 不評	分かりにくい講師がいた。棒読みで本人のみ理解。	
東北	一日講習	設計	講師としての質 不評	指導者用の研修を行うべきだと思います。午前中の講師の方があまりに要点をおさえておらず、非常に理解しにくかった。後半の方は分かりやすかったです。	
関東	半日講習	その他	講師としての質 不評	重要なポイントが分かりにくいところがあった。長時間のため講師が疲れ気味。(特に第2部)講習への講師が慣れていない。	
関東	一日講習	設計	講師としての質 不評	説明はむだが多くかんじんなことははしょっていた。→読んどけと言われた→20分も早く終わった→金返せ！	

東北	半日講習	設計	講師の進行 不評	・計算を最後の方にして助かったと思う(受ければ)・2人目の方の考え方に共感。・説明の女の人がくどい。テスト前、笑って説明するのやめて。	講師の進行 不評
近畿	半日講習	現場管理	講師の進行 不評	・時間が無いのは分かるが、もう少し説明をゆっくりして欲しい。・テキストの何ページ～何ページと言われ、見ているうちに話が進み、一度遅れると次を探すまでに時間がかかる。	
中部	半日講習	設計	講師の進行 不評	・説明が早過ぎる。・飛ばすページの説明が欲しい。・時間をかけて説明して欲しい。(←午前中) 考査の為の講習会に感じる。実務の為の講習会をやりたい。	
中部	半日講習	設計	講師の進行 不評	PMのレクチャーはツボが分かりづらい…	
近畿	半日講習	施工	講師の進行 不評	ページ進んだり戻ったりで分からなくなる。最終的には頭の中、ごちゃごちゃ。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師の進行 不評	ページの行き来が多すぎる。(内容が同じであった)資料編に飛ばなくていいと思う。参考ページ数がわかりにくい。文章とは別で右欄を作る等した方が良くはないかと思う。	
四国	一日講習	その他	講師の進行 不評	計算問題にて、A6の説明が無い状態で演習問題をやらされたのは、おかしいのでは？	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	講師の進行 不評	講師が時間を気にして、説明を急がれたので、解りにくかった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師の進行 不評	講習の進め方として、何ページとは言ってもらっているが、何ページと言ってもらった方がついていける。	
中部	半日講習	設計	講師の進行 不評	午前の講師の方は口頭での説明が多く聞き取りづらい面もあり全体的に分かりにくかった。基礎知識がないと分からないのでは。又テキストを読んでいるだけではチェック箇所がどこかわかりにくいので、パワーポイント等分かりやすい工夫がほしいです。午後の講師の方の説明は分かりやすくて良かったです。	
関東	半日講習	設計	講師の進行 不評	説明するページが行ったり来たりすることが多かったため、どこの説明をしているのか分からなくなることがありました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師の進行 不評	説明とページが合っていないことが多々(後半)。同じ説明が多い。	
関東	未回答	設計	講師の進行 不評	前半の説明がわかりにくかったので、もう少し準備をきちんとし、わかりやすい説明を出来るようにして欲しいです。	
近畿	一日講習	設計	講師の進行 不評	ページをめくった時にページNo.を言っていたら、聞き逃して追いついていない時などわかりやすくて助かります。	
関東	一日講習	現場管理	講師の進行 不評	もう少しライブ感があると良い。	
北海道	一日講習	設計	講師の進行 不評	TEXTが基本と設計を行き来し過ぎます。可能であれば順番にページ通り進行するよう編集してほしい。	
東北	一日講習	設計	講師 好評	午前中の方はテキストをただ読みあげるのみだったので、少し心配になりました。しかし、どちらの講師の方も眠くなるような声でなかったため眠くならず集中して講義を受けることができました。本日はありがとうございました。	講師 好評
九州・沖縄	一日講習	未回答	講師 好評	最後、考査のおさらいみたいなのをやってくれてテストが解きやすかった	
北海道	一日講習	設計	講師 好評	講師の講義がとても良かったです。初心者の私でも分かりやすく、理解しやすいよう何度もこのページに書いている内容で、どういう場合に役立つのか説明して下さいました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	講師 好評	10月に行われた簡易計算ルートの講習会に続き受講しました。講師の方が同じ方だったので、理解しやすかったです。	
中国	半日講習	現場管理	講師 好評	講師の方、お疲れ様でした。大変親切に伝授していただき、ありがとうございました。	
北陸	半日講習	設計	講師 好評	最初の講師の方は声がキレイでアナウンサーかと思った。2人目の講師の方も話し方が優しく聞きやすかった。メガネのフレームが太くて建築家っぽかった。	
関東	半日講習	設計	講師 好評	説明がとても分かりやすかったため、初めて勉強した事だったけれど、つまづかず次に進めそうです。ありがとうございました。	
中国	半日講習	設計	講師 好評	説明が分かりやすく声も聞き取りやすかったです	
中部	半日講習	その他	講師 好評	丁寧に説明頂きわかりやすかったです。ありがとうございました。	
北陸	一日講習	その他	講師 好評	内容は難しかったが、説明がわかりやすかった。もう少し時間に余裕があると良いと思った。	
北海道	一日講習	現場管理	講師 好評	初めてでしたがスムーズにわかりやすく説明して下さい、ありがとうございました。	
関東	一日講習	設計	講師 好評	先生の説明が、とてもわかりやすかった。	
近畿	半日講習	設計	講師 好評	非常に丁寧な説明で、良く勉強できました。講師の方に感謝。	
関東	半日講習	その他	講師 好評	仕様ルートの講習の際には、ポイントをわかりやすく教えていただけたので良かったです。	
四国	半日講習	現場管理	講師 好評	重点になる部分を丁寧に説明していただき、大変わかりやすかったです。	
関東	半日講習	設計	講師 好評	重要な所を言って下さったので、要点がつかみやすかったです。	
四国	半日講習	現場管理	講師 好評	似たような講座を、かなり期間をあけて聞きました。丁寧な説明で、 絶えずルート図のどこにいるのかを確認してくれて、わかりやすかったです。 いくつかのパターンを作っておくのも良かったです。	
関東	半日講習	設計	講師 好評	現在の業務では省エネ計算を行っていませんので質問12-1～5なしとなります。今後取り組む予定のため受講させて頂きましたが、非常に説明が聞き取りやすく、テンポよく講演下さったので良かったです。	
中部	半日講習	その他	講師 好評	難しい計算が多かったですが、講師の方が分かりやすく教えて下さったので出来ました。	
中部	半日講習	その他	講師 好評	難しい内容でしたが、先生やテキストが分かりやすかったので頑張れました。	講師 好評
近畿	半日講習	設計	講師 その他	講師②の先生は、声も大きく大変分かりやすかった。講師①の先生は早口で、分かりにくかった。	講師 その他
関東	半日講習	設計	講師 その他	講師は非常に丁寧に説明して下さいました。内容が多いので●ってはいいたが、別講師は内容が多かった事もあり説明内容にページ数を言わないことがしばしばあり、どこを説明しているか分かりづらかった。	
近畿	半日講習	設計	講師 その他	前半の講師がテキストを棒読み。少々問題。欲しいのは書いてあることではない。後半の講師はOK。質問を途中で受けないのも問題かと。12/1日建三宮校	
関東	半日講習	設計	講師 その他	・簡易計算の講義がわかりにくい。・仕様と簡易で講師が異なる人物だったが、説明方法を統一した方が良い。・簡易計算の端数処理が重要で、テキストで説明が漏れている。係数×U=□←？・演習の端数処理方法が誤っている。3は、4位	
関東	一日講習	設計	講師 その他	2020年からの義務化へ向けて、知識を上げたくて申込みました。一日参加して、総合的には理解できて良い講習会でした。先生は、少しはしり過ぎて早口でわかりにくかった。別の先生は、もっと伝えたいことが沢山あったのだろうと感じ	

設計		要望・意見などー受講中の態度・マナーについて			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
中国	半日講習	設計	態度・マナー 講師	考査である以上、その時間内ぐらいいは私語を止めていただけませんか。講師の方と、司会の方のことで。室内の温度設定が、異常に暑い。暑い寒いかわからないのでしょうか。	態度・マナー スタッフ

設計		要望・意見などー省エネ施工への理解を求めたい対象について			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
北陸	半日講習	設計	いろんな人	もう少し詳しく聞きたいと思うところもあったが、分かりやすく解説してもらえたと思う。また、建築に携わる者のみならず、住宅の断熱やエネルギー環境について周知できると良いと思う。世の中はまだ必要性を感じていない感じがするので。実際に施工された環境を体験してみたいと思う。	いろんな人
近畿	半日講習	設計	大工、職人、施工者、現場管理者	設計者も机上計算や仕様等の規定だけでなく、今回の開催にある施工者に対する講習に参加するべきだと思います。知っていそうで、知らない面がたくさんあると思いました。施行者も職人さんはもちろん、現場監督の方も参加する必要があると思います。最近の監督さんは工事職人さんに任せて、自分はお金の計算のみで、他に工程とお金以外興味ない人が多いと思う。現場で話にならない人多い。工事屋さんに直接言わないと伝わらないなど。	大工、職人、施工者、現場管理者
近畿	一日講習	設計	大工、職人、施工者、現場管理者	如何に計算式が正しくても、施工がミスしたり、悪いと全く無用になる。その工事を完全に行う為の指導(大工・職人への指導)が必要です。如何に口だけで、図面だけで指導しても、それを完全に正しく施工できる職人の養成が必要です。精密さを求める省エネ設計ですから。特にリフォームになると、材料だけ貼って！との手抜き工事もあり得ます。	
中国	半日講習	現場管理	大工、職人、施工者、現場管理者	エンドユーザーはほとんど知らないが、まず業界全体で周知させていくべき	
北陸	半日講習	設計	大工、職人、施工者、現場管理者	現場施工者の為に、大工さん内装屋施工管理者向けの実施講習を望む。	
中部	半日講習	その他	大工、職人、施工者、現場管理者	高気密高断熱省エネ住宅には、設計者はもちろん現場施工者(協力業者含む)も併せて、会社としての品質に対する意識が必要と考える。	
北陸	半日講習	設計	大工、職人、施工者、現場管理者	断熱工事は施工の精度によって左右されると思う。施工管理者向けの写真などで分かりやすい説明のある講習会があれば…と思う。又、そのような講習をうけないと、免許更新が出来ないような厳しさも必要かと。	
関東	半日講習	設計	設計者、監理者	仕様ルート、簡易計算に続いて、詳細計算ルートの講習会を受講することで、どちらも住宅の省エネ設計において大切である事を改めて感じました。また、正確な外皮性能、それに掛かるコストなどをしっかり算出するには詳細計算が重要で、色々手間などもかかりますが、より計算を行える設計者を増やすことが大事だと思いました。	設計者、監理者
関東	半日講習	設計	設計者、監理者	今までよく分からず、申請書に必要な事項や仕様を都度調べて記入していたので、今回のような体系的な講習会は大変助かりました。よく分からず、施工者に丸投げしている(アトリエ系)設計者も多いと思うので、設計者の意識啓発は特に必要だと思いました。前半の仕様ルートは分かりやすかったのですが、後半の簡易計算ルートの先生は、テキストを読んでいるだけだったので、分かりにくかったです。	
中部	半日講習	設計	建主	設計者、施工管理者、現場施工者は、どうしてもコスト優先になってしまいがちなので建築主が性能レベルを決め、設計+建設の性能表示の義務化が望ましい。現在は構造も含め仕様規定が残されているため、ひどいレベルでも完了検査が合格する。現状をクライアントは知らないことが、問題。	建主
中部	半日講習	設計	建主	お施主さんの意識が高くなければ、おのずと全体のレベルは高くなると思う。	
東北	一日講習	未回答	建主	建築主の理解が進んでいないので、予算が生まれません。広報の周知の程、よろしく願います。	
北陸	半日講習	設計	建主	施主の方の意識に差がある。この様な講習が有り、受講した設計者が認知される仕組みを作って下さい。	
近畿	半日講習	現場管理	その他の分野	機械メーカーにも協力、数値等カタログ表示義務化とか	その他の分野
東北	一日講習	設計	その他の分野	建設産業の人手不足は、今後益々加速していくと思います。外国人も現場や色んな建設の場面に入ってくると思うと、日本人向けだけではなく、省エネの考え方を伝えるツールを考えなくてはならないと思う。講習会のテキストも、わかりやすく用語・数値が引きやすい編集が必要だと思っています。	
北海道	一日講習	施工	その他の分野	住宅規模から規制・見直していかないと環境問題的には変わらないので、ぜひこの講習会の重要性を伝えてほしいと思った。この講習会があることすら知らない業者が多いと思います。もっと建材メーカー・販売店などを巻き込んだプロモーションと、講習会修了者へのメリット等を伝える、政策との連携が必要だと思う。	

設計		要望・意見などー制度、特定の工法・材料について			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	半日講習	設計	省エネ施策	一次エネルギー申請時に仕様のカタログ等の添付を求められるが、各メーカーバラバラで分かりにくい(探しにくい)。建築研究所から、分かりやすくするよう指示して欲しい。部屋に加湿器を置いて欲しい。インフル予防に。	省エネ施策
東北	半日講習	設計	省エネ施策	断熱の補助金を出してもらいたい。制限の緩和もしてもらいたい。	
北海道	一日講習	設計	省エネ施策	良かったです。やはり基準が北海道向きではないようなので、何とかありませんか。	
四国	半日講習	設計	省エネ施策	ZEHについて。	
九州・沖縄	半日講習	設計	省エネ施策	基礎、UB廻りの断熱の計算がわかり易くなれば良いと思います。	
関東	半日講習	設計	省エネ施策	省エネ計算の規定値はブラックボックスで気持ちが悪い	
九州・沖縄	一日講習	設計	省エネ施策	省エネ法反対。	
九州・沖縄	半日講習	設計	省エネ施策	不明、疑問点を受付ける専門機関をネット公開してほしい。又はTEL受付とか。(実際にやってみると現場により聞きたいと思うところが出てくる)	
関東	一日講習	設計	伝統工法	例えば古民家、エコ住宅、低炭素建築物、インスペクショナル耐震診断、構造設計なしには実現しない。デザイナーは早めに、構造屋さんに相談すべきだと思う。	伝統工法
九州・沖縄	半日講習	設計	伝統工法	人が住むための個人住宅の場合、ある程度の自由度があつてよいのでは。公的又は住宅ローン等を使う場合は仕方ないとしても、日本の伝統的な住まいができなくなる。(憲法的にどうなのか)	
近畿	一日講習	設計	伝統工法	民家、町家など、伝統工法(玉石、土壁)の断熱リフォームで効果的で低価格な方法が知りたい。	
関東	半日講習	その他	特定の工法・材料	今後、複雑な形の家の面積の取り方や、2×4の住宅、RC造の住宅の計算方法の講習があれば参加したいです。特に、RC造(住宅)の熱橋部分の算出方法が難しいので、講習をして頂けると助かります。	特定の工法・材料
中部	半日講習	現場管理	特定の工法・材料	吹付断熱の事例があると良い。	
九州・沖縄	一日講習	設計	特定の工法・材料	木造の省エネは初めてだったので、参考になった。RC版が早く発行されてほしい。	
中部	半日講習	設計	リフォーム	リフォーム改修版のセミナー希望	リフォーム
中部	半日講習	設計	リフォーム	リフォーム改修もして欲しい。	

設計		受講後の感想など			
地域	1日・半日	職種	項目	記述内容	項目
関東	半日講習	設計	(再)確認ができた	CADより社内で計算していました。根拠がよく分かりました。	(再)確認ができた
関東	半日講習	その他	(再)確認ができた	普段の業務でやっている内容でもなかなか学習する時間がないので、復習の意味で大変良い機会となった。(家や職場では学習する時間と機がないので…)	
北海道	一日講習	設計	(再)確認ができた	フローが分かりづらかったけど、実際にやってみて理解できました。	
四国	半日講習	設計	(再)確認ができた	要点がよく分かって、これから省エネ設計に取り組んでいけそうです。ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	(再)確認ができた	あいまいにしていたところが分かりました。ありがとうございました。	
中部	半日講習	設計	(再)確認ができた	自分で調べているだけでは分からない部分がハッキリと分かった。実際の課題を含めて省エネについて考える事が出来た。	
四国	一日講習	その他	(再)確認ができた	省エネ基準の評価方法について、理解を深めることが出来ました。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	(再)確認ができた	大学での講義の科目である建築環境工学で今回行った熱量損失量の計算は学習していたので、今回の講義を聞いて、更に理解が深まった。	
九州・沖縄	半日講習	設計	(再)確認ができた	日頃、詳細計算時に疑問に思っている部分や、普段不利側で見ていた計算に対しての解決出来そうな情報が詰まった講習でした。とても参考になりました。ありがとうございました。	
北海道	一日講習	その他	(再)確認ができた	理解していた部分を改めて復習ができました。計算は苦手なので多少苦労しました。	
中部	半日講習	設計	活用したい	難しく考えていましたが、意外と分かるものだと思います。ポイントを解説して下さい、今後の業務にいかします。	活用したい
中国	半日講習	設計	活用したい	面倒な計算が多いが、思っていたよりも簡単なものだった。チェックをするだけなら、簡単に出来そうな気がしてきた。自社用のチェックシートをエクセル等で作れるのではないかと思う。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	活用したい	私の業務は電気工事をしていて、この講習会で断熱施工の知識を少しでも学べたと思います。今後の業務に少しでも役に立てたいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	その他	活用したい	ありがとうございました。大変参考になりました。今後の業務に活用させていただきます。	
関東	一日講習	その他	活用したい	色々勉強になり、今後の品質向上に取り組んで施工管理等従事していきたいと思います。ありがとうございました。	
北海道	一日講習	設計	活用したい	おつかれさまでした。帰って担当の物件を計算してみたいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	設計	活用したい	外皮計算をする物件があり、申請してから修正事項や指摘が必ずあるのですが、今後は本日教えていただいた知識を活かして仕事に臨もうと思います。	
東北	一日講習	設計	活用したい	環境に配慮された省エネルギーの仕様に取り組んでいきたいと思っています。	
四国	半日講習	現場管理	活用したい	今日の講習会で習得した知識を現場でも活かしていきたいと思っています。	
中部	半日講習	その他	活用したい	業務上において、省エネ設計を行ってはおりませんが、申請・届出の審査において設計の検討方法を理解することで役立てると思います。	
東北	半日講習	施工	活用したい	講習会に来ただけでも、意識して断熱工事に向かえることが出来る。	
中部	半日講習	その他	活用したい	これを機に、大学の授業へ活かしていきたいと思いました。	
中部	一日講習	設計	活用したい	今後の業務に役立てていきたいと思っています。	
中国	半日講習	現場管理	活用したい	今後の授業に本日研修を受けた内容を活かせる様にしていきます。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	活用したい	今後の施工に活かしたい。	
関東	半日講習	設計	活用したい	今後の設計に活かせる貴重な内容でした。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	活用したい	省エネ計算の基礎について半日で学ぶことができ、大変有意義な講習会でした。頂いた講習会資料を熟知し、今後の業務に活かしていきたいと思っています。	
関東	半日講習	その他	活用したい	省エネの計算ソフトを使って、より省エネ住宅を作る手伝いをしたいと思う。	
関東	半日講習	設計	活用したい	大変参考になりました。実務設計に活かしたいと思います。	
近畿	一日講習	設計	活用したい	大変勉強になりました。今後の設計にも活かしていきたいと思っています。	
近畿	半日講習	現場管理	活用したい	短時間では、難しいがテキストを見て施工したい。	
中国	半日講習	設計	大事だとわかった	2020年には省エネ基準が義務化されるにつれ設計が難しくなったり、計算が増えたりするのが大変なことだなと思いました。断熱材を効率よく使用し、家を囲うように使用することで断熱性能の高い家が完成できると考えると、とても嬉しい気分になってくる感じがしました。	大事だとわかった
近畿	一日講習	設計	大事だとわかった	普段は外皮計算をしていますが、今回の講習で簡易計算等の方法も分かりました。しかしよりよい値を出すことを目的にした場合は、やはり詳細計算をしないといけないかなと思いました。	
中国	一日講習	現場管理	大事だとわかった	前々から受講したいと思っておりましたが、この度受講することができました。既に取り組んでいる(エクセルシート計算)内容でしたが、自分の知識よりも詳しく知れて勉強になりました。断熱性能を目で見て、必要とする事柄を確認して施工する事の大切さを改めて学びました。ありがとうございます。	
中国	半日講習	設計	大事だとわかった	普段から省エネに対しますます情報が必要と思いました。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	今後が心配	在来建築を無視した、住宅メーカー寄りの制度である。高温多湿地域の建築を考慮していない。結露等カビ対策無視では、施工業者へのメンテナンス等負担増である。	今後が心配
近畿	一日講習	設計	今後が心配	何事も如何に考えるか？にかかっている。負荷の低減が出来れば、省エネに大貢献出来る。太陽熱・太陽光利用の他、風力発電・地熱他、個人でも可能な発電方法の考案即ち発明・発見を全国民に要請すれば、必ず良い回答が得られる筈。当該省エネ住宅は、現実にこの理論通りに施工出来なければ無意味で、その適格な施工出来る施工法の適切な指導・指揮が必要です。一度そのモデルの見学会を望みます。・余りにも精密すぎて却って窒息とか不便が生じるのは如何に！と存じます。・最新の最新省エネ住宅なのに、マントルピースでの暖炉ができないのは情けない！可能にすべき対策が必要です。多人数で団らんしたり、ストーブを焚いたりして窒息するような密室は決して理想の家とはいえない！省エネ	
中部	一日講習	設計	今後が心配	省エネ基準適合義務化に慎重論相次ぐと記事で読みましたが、どう思うか。私もやりすぎと思う。	
九州・沖縄	半日講習	設計	今後が心配	住宅の性能について、法で規制する事には正直反対である。住宅は個人の財産であり、住み方もそれぞれ自由に選択できる様にすべき。只、法と守るべき建築士という立場で受講した。	

近畿	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	勉強になりました。アウトラインとして分かり易かったです。ありがとうございました。	参考・勉強・為になった、役立つ
北陸	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	勉強になりました。省エネへの普及、快適な暮らしの為にならばと思います。	
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	とても勉強になった。サッシなどで地域区分を聞かれることもあり、昔は5区分だったのが8区分になっているので、地域区分のミスがないようにしていきたいと思った。他、熱伝導率や抵抗値も聞かれるので、しっかり学びたいと思った。テキストが分かりにくい。(慣れていない部分もあるが…)	
関東	一日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	計算のところは、理解するのが難しかったが、演習問題は解くことができ、方法～一連の流れは身につけられたと思います。詳細部分はまだまだなので、テキストを見直し、今後役に立たせたいと思います。	
北海道	一日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	建築確認申請時の省エネ届が自分で出来そう。大変勉強になりました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	建築業界初心者で、住宅省エネルギーについては学び始めたばかりだったので、難しいと感じながらも今回の講習で理解を深めることができました。大変感謝しております。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	2回目の講習でしたので、だいぶ理解が進んでいたと思う。確認の意味で、大変になりました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	省エネルギー住宅の説明会には、参加したことがあるものの、実際の方法がわからなかったため、とても役に立ちました。	
中部	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	詳細計算はめんどろに感じるし、施工誤差が多くありそうな気がします。簡易計算で安全率を見る程度でいいかも…施工技術講習の方がより大事に思います。	参考・勉強・為になった、役立つ
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	長期申請が増えている。その中で外皮の計算も行っている。会社として耐震3普及で動いていること。エネルギー太陽光の普及をすすめている中でいい勉強になった。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	普段は学ぶことができない内容について学習する事が出来、いい機会になった。この業種に興味はあったが、実際にはあまり知らなかったため、今回の講習会を通して知識を増やすことができた。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	また機会があれば参加したいと思いました。短時間で多くの内容を学ぶ必要があり、スピード感がありましたが集中でき、自分の知識とすることができました。	
中部	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	今後の業務(対職人、お施主様)への説明について大変参考になるセミナーでした。ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	実務向けのご説明があり、とても参考になりました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	知らない事が多すぎてしまい、勉強になりました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	新入社員のため、質問12に解答できません。申し訳ございません。本日は、講習頂きましてありがとうございました。演習問題や考査により、理解をすることができ大変良かったです。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	設備については知識がありましたが、その設計の流れについて初めて知ることができ、興味深かった。今回のテキストが実際に設計をする際に役立ちそうだった。	
九州・沖縄	一日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	大変分かりやすく、実務に役立つと感じました。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	断熱材メーカーとして、とても勉強になりました。ありがとうございました。	
関東	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	とても勉強になりました。ありがとうございました。	
近畿	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	とてもわかりやすく、実務でもすぐ活用できそうな内容で、受講できて良かったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	非常に勉強になりました。ありがとうございました。	
北海道	一日講習	設計	参考・勉強・為になった、役立つ	普段仕事上で触れない内容だったので、勉強になりました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	参考・勉強・為になった、役立つ	本日は勉強になりました。ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	省エネ基準等が変わっていくと思うので、今後も講習会に参加していきたい。	継続的に学ぶ、また参加したい
北海道	一日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	1/11・1/16、2日受講して少しわかってきました。ありがとうございます。今後もこのような講習に参加し、知識を深めたいと思います。	
九州・沖縄	半日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	営業の立ち場で、建築業界が初めてなので今回受講させて頂きました。分かりやすいところもありましたが、専門的な用語で分からないところもありました。今後も省エネに向けて勉強していきます。ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	今後も協会の講習会には参加して、知識を向上させて自社商品に生かしていきたい	
関東	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	コンパクトに分かりやすく概要を授業していただき、大変勉強になりました。詳細計算ルートや施工技術者の講習も受講を検討したいと思います。	
四国	半日講習	現場管理	継続的に学ぶ、また参加したい	詳細計算ルートをぜひ受けてたい。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	継続的に学ぶ、また参加したい	帰って、再度教本を見直します。	
関東	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	今日は、簡易計算ルートに関する講習会でしたが、次はぜひ詳細計算ルートの講習を受講したいと思えるようになりました。	
東北	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	現在勉強中でしたので、とても参考になりました。テキストが頂けて良かったです。機会があったら、また参加したいです。	
東北	半日講習	現場管理	継続的に学ぶ、また参加したい	講習だけで理解するのは難しかった。戻ってからテキストを見るなりして、身に付けたいです。	
中部	半日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	この場では、少し理解できました。しかし、現場に届ける程の知識にはなっていないので、くり返し学んでいきたいと思えます。	
九州・沖縄	半日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	これからの就職先で、とてもためになる知識だったと思うので家に帰ってしっかり勉強したい	
近畿	一日講習	施工	継続的に学ぶ、また参加したい	今後ともお願いします。	
北陸	半日講習	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	今後もっと勉強していけないといけないと思う。知識を入れ、理解を深めていきたいが、講習の進み方が早く良く分からなかった。	
九州・沖縄	半日講習	現場管理	継続的に学ぶ、また参加したい	実際に計算して慣れるしかないと感じた。(テキストにもありましたが、モデルプランの計算式や演習問題を確認しながらやってみたいと思います)	
東北	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	十分な復習を要しますね	
関東	未回答	その他	継続的に学ぶ、また参加したい	大変勉強になりました。次回、機会があれば、詳細ルートを受講したいと思います。ありがとうございました。	
北陸	半日講習	設計	継続的に学ぶ、また参加したい	とてもわかりやすく、これからの実務に活かしていきます。これを機に、理解を深めていきます。今後もより掘り下げた講習会に参加したいと思います。ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	一度でも携わった人じゃないと、さっぱり分からないかも？(補助金、設計、等)	難しかった、わかりにくかった
近畿	一日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	省エネ届出を作成したことがあるため講習の内容はわかりましたが作成した経験のない人にとっては厳しかったのかもしれない	
関東	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	他の講義も機会があれば聞いてみたい。(施工編など)	
北陸	半日講習	その他	難しかった、わかりにくかった	おそらく、講師の方の説明は、建築士の方であれば容易に理解できるのだと思うのですが、普段建築に携わっていないので分かりにく感じたのだと思います。	
近畿	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	全体の関連性が少し理解しにくかった。	
関東	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	内容は難しくなかったが、実務的には面積は難しいと思う。	
近畿	一日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	初めての省エネ講習で、わからない事が多かった。この様なややこしい省エネチェックが必要なのか？	
中国	半日講習	現場管理	難しかった、わかりにくかった	難しかった。最後にテストするというのは初めてだ。おもしろい。	
関東	半日講習	その他	難しかった、わかりにくかった	床下(基礎)の断熱貫流量の計算方法が難しかったです。本日は大変お世話になりました。	

九州・沖縄	一日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	今現段階では頭がついていけない。	難しかった、わかりにくかった
中部	半日講習	その他	難しかった、わかりにくかった	今まで知らなかった事について知れたので、良かったです。計算が難しかったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	軽い気分で来てみたので、難しかったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	完全に理解するには時間がなかった	
近畿	一日講習	その他	難しかった、わかりにくかった	計算手順の流れが理解しにくかったです。個々については理解出来たつもりでしたが。	
近畿	半日講習	その他	難しかった、わかりにくかった	後半が難しかったです。	
近畿	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	実際に外皮面積からの計算するとしたら難しい、大変だと思います。(講習の演習のみなら、大丈夫ですが)	
中部	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	少々難しかったので再度読み直します。	
九州・沖縄	半日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	すみません。業務畑チャイでした。何の話の説明していただいたのか、まったく分かりません。参考になるかと思い受講しましたが、私には非常に難しかったです。	
九州・沖縄	一日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	内容がわかりにくい。講習内容が伝わらない。	
中国	半日講習	現場管理	難しかった、わかりにくかった	初めての受講なので、習った事がどのように役に立つのかイマイチ理解できていません。	難しかった、わかりにくかった
東北	半日講習	現場管理	難しかった、わかりにくかった	難しかった。分からない用語もあり勉強不足を感じた。	
東北	一日講習	設計	難しかった、わかりにくかった	・先週も講習を受けたので分かりやすかったです、今日が初めてならば難しいんじゃないかと思います。	
関東	半日講習	その他	わかりやすかった	特にありません。いつも分かりやすく説明をさせていただけて助かります。	わかりやすかった
近畿	半日講習	設計	わかりやすかった	とてもよい講習でした。分かりやすかったです。	
九州・沖縄	半日講習	設計	わかりやすかった	とても分かりやすくなる講習でした。今回のテキストを活用したいと思います。	
中部	半日講習	設計	わかりやすかった	まだ知識が浅いので完全に理解できたわけではないけど、思っていた以上に分かりやすかった。	
中部	一日講習	設計	わかりやすかった	よく分かる内容でした。もっといろいろ他も講習してほしいです。	
中国	半日講習	設計	わかりやすかった	実際に計算を行うので頭に入りやすく、理解しやすかった。	
北陸	半日講習	その他	わかりやすかった	事務をしています、わかりやすかったです。質問にも対応して頂きありがとうございました。	
関東	一日講習	設計	わかりやすかった	大変理解しやすい講義でした。ありがとうございました。	
中部	一日講習	その他	その他	まだ会社を作っている状態なので、仕様が決まっておらず未記入。	
中部	半日講習	その他	感謝	大変貴重な講習会を開いて下さりありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	その他	感謝	本日はありがとうございました。業務の参考となりました。12-1から12-5は該当ありません。	感謝
関東	一日講習	設計	感謝	本日はありがとうございました。とても良い研修内容でした。	
中部	半日講習	設計	感謝	・質問12以降、回答できずすみません。・ありがとうございました。	
九州・沖縄	半日講習	設計	感謝	講習を開いて頂き、とても助かりました。ありがとうございます。	
関東	半日講習	設計	感謝	とても為になりました。演習問題→問題があることにより緊張感生まれ、とても…心臓が悪かったです。ありがとうございました。	
東北	半日講習	設計	感謝	今後の業務のためには参加できて良かったです	
関東	半日講習	設計	感謝	参加して良かったです	
東北	半日講習	設計	感謝	省エネについて詳しく学ぶことができました。本日はありがとうございました。	
中部	半日講習	設計	感謝	ぜひ受講したい内容のものでした。ありがとうございました。	
関東	半日講習	その他	感謝	半日という短い時間でしたがすぐに実際にできる方法を教えていただきありがとうございました。	

平成30年度国土交通省補助事業 住宅市場整備推進等事業
住宅省エネ化推進体制強化事業
～省エネ設計・施工に関する実態調査～ 報告書

平成31年3月

一般社団法人 木を活かす建築推進協議会

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

TEL:03-3560-2882 FAX:03-3560-2878 URL: <http://www.kiwoikasu.or.jp>
